

沖縄県がん対策 関連データのアップデート 【総集編】

2022年9月22日
国際医療福祉大学大学院
教授
埴岡健一

はじめに

- 沖縄県がん診療連携協議会で提出してきた沖縄県のがんの現況に関する過去資料をとりまとめました。
- パートごとに会議日を付しています。必要に応じて元資料をご覧ください。
- 当時のデータですので、その後、更新がされている場合が多くあります。
- 本資料で概要を把握いただき、最新データは別途ご確認ください。
- ほとんどのパートがロジックモデルの構成要素ごとに部位横断的にデータを示しています。
- 部位別に検討する場合は、パート横断的に部位別記載をまとめてご覧ください。

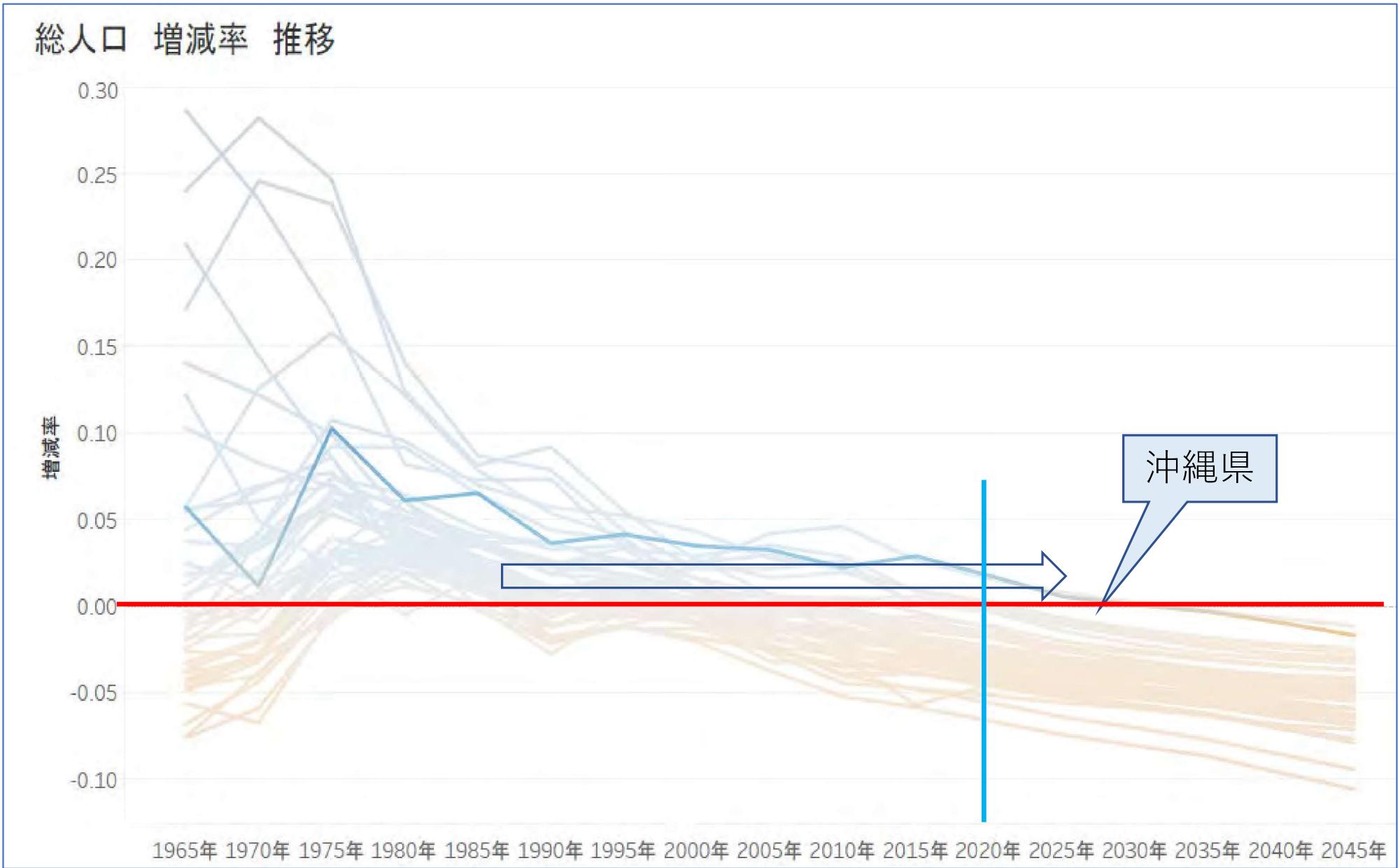
おおまかな構成と掲載順序

- 人口動態、患者数将来推計
- 死亡
- 罹患
- 早期発見
- 治療成績
- 医療内容
- がん部位別概要
- 大腸がん関連データ

人口動態の確認

<2021年11月19日資料>

47都道府県の人口増減率の推移（沖縄県にハイライト）

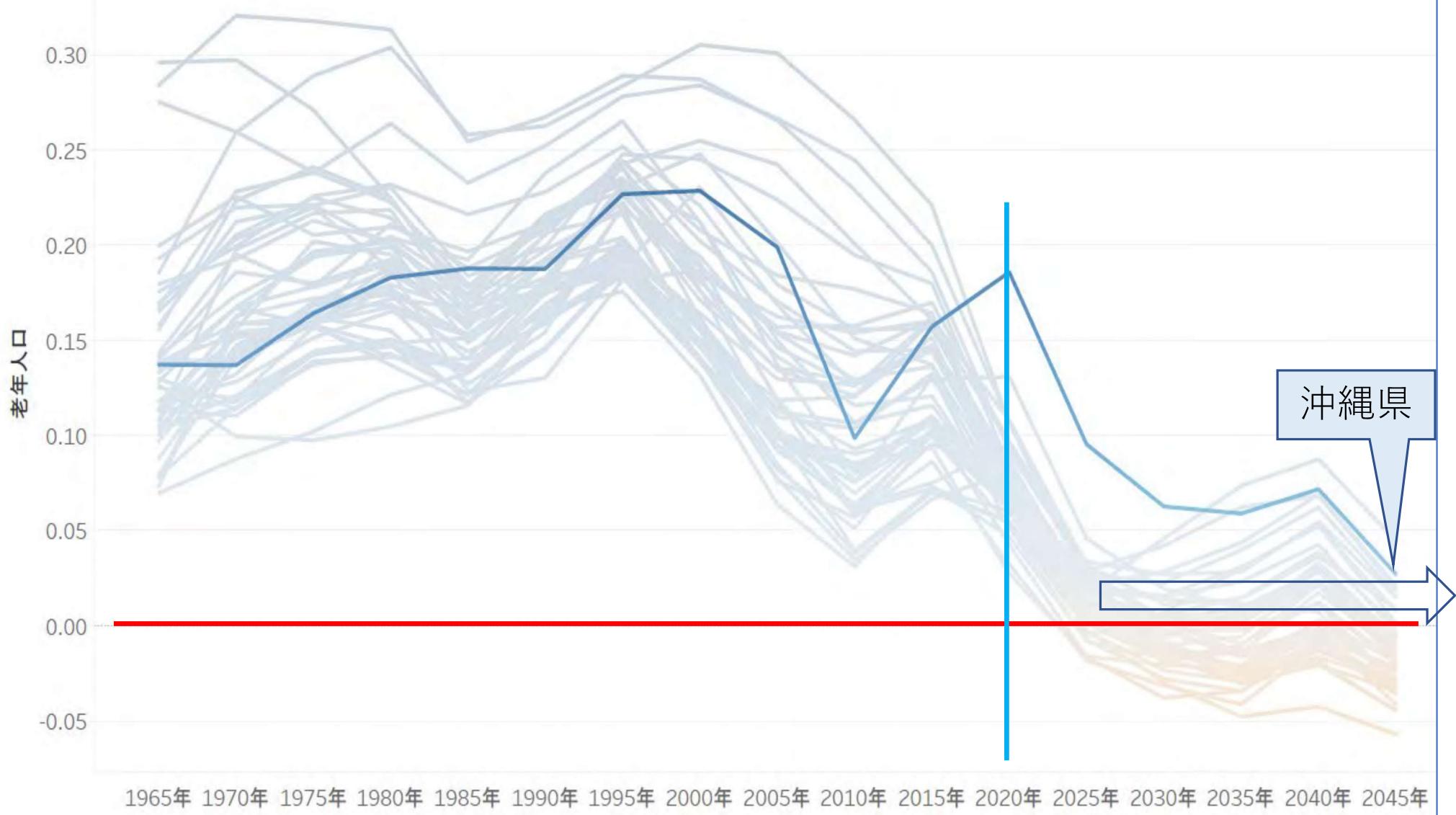


沖縄県はもっとも後に人口減少に入るグループにある

データ出典：地域経済分析システム（RESAS）→人口マップ→人口増減→ダウンロード
グラフ：演者作成

47都道府県の65歳以上人口増減率の推移（沖縄県にハイライト）

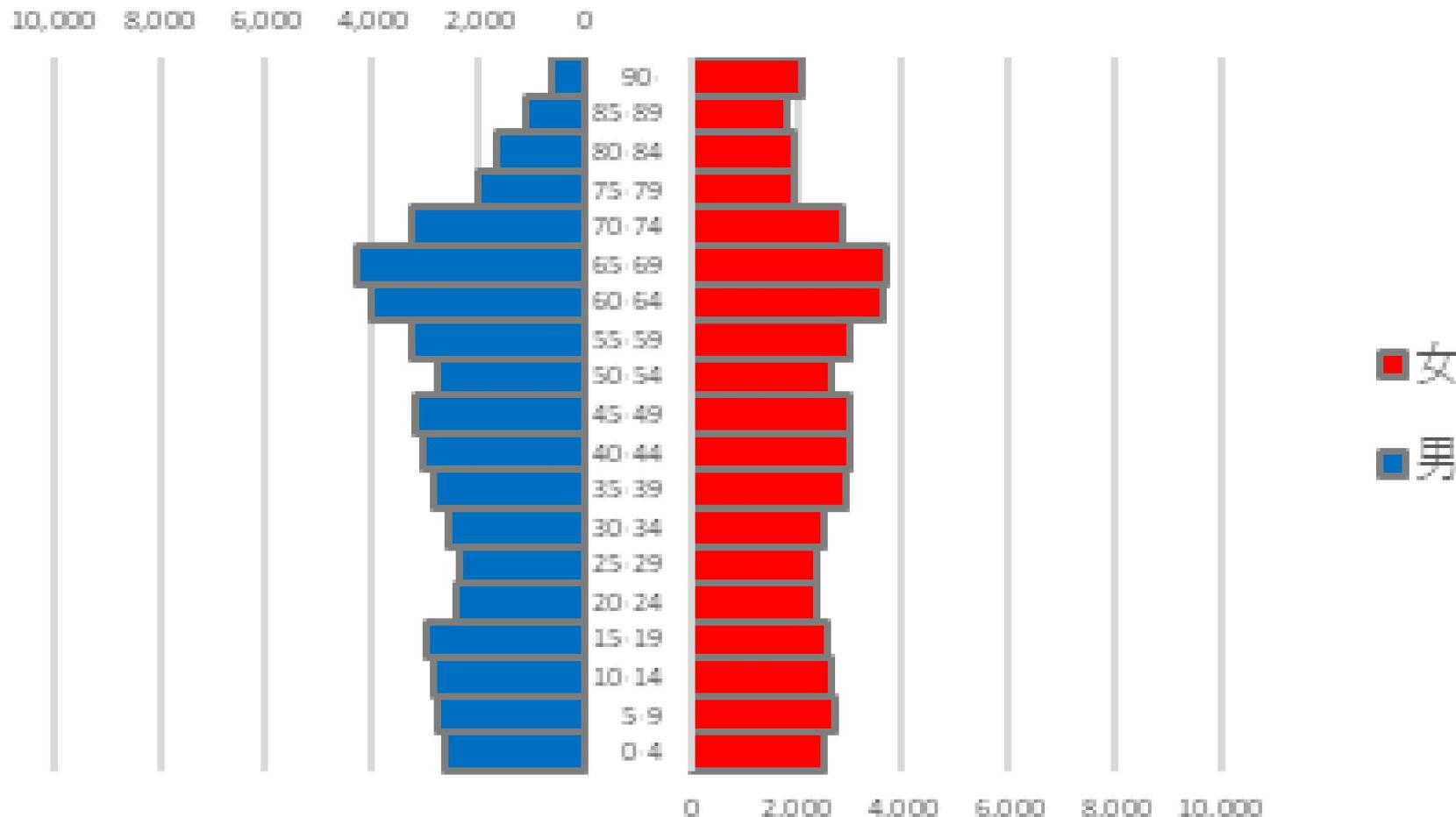
老年人口 増減率 推移



沖縄県は高齢者減少ももっとも遅く突入するグループにある

データ出典：地域経済分析システム（RESAS）→人口マップ→人口増減→ダウンロード
グラフ：演者作成

47沖縄県 4701北部 2020年



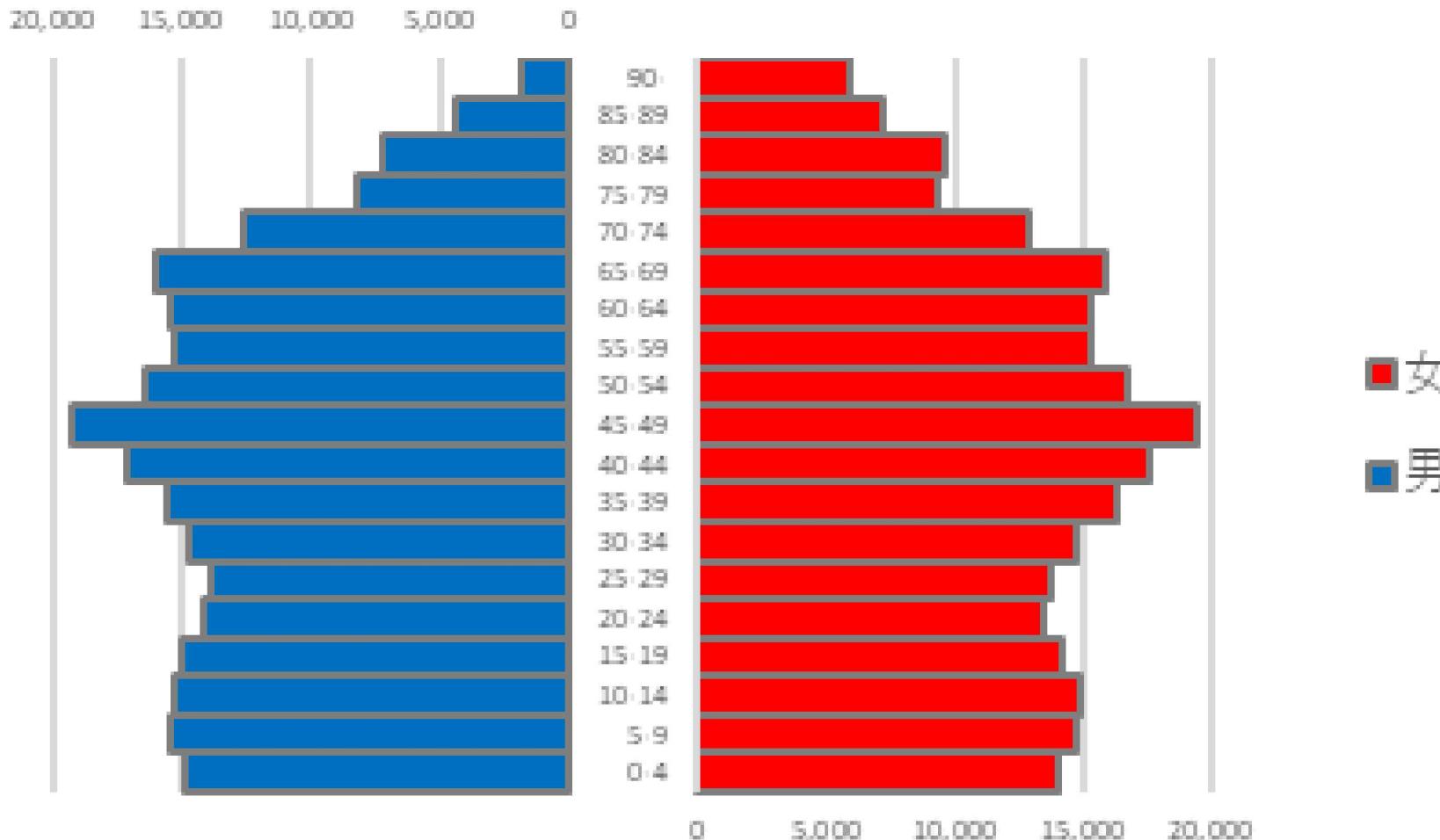
人口ピラミッドがだんだんフラットに。

47沖縄県 4701北部 2040年



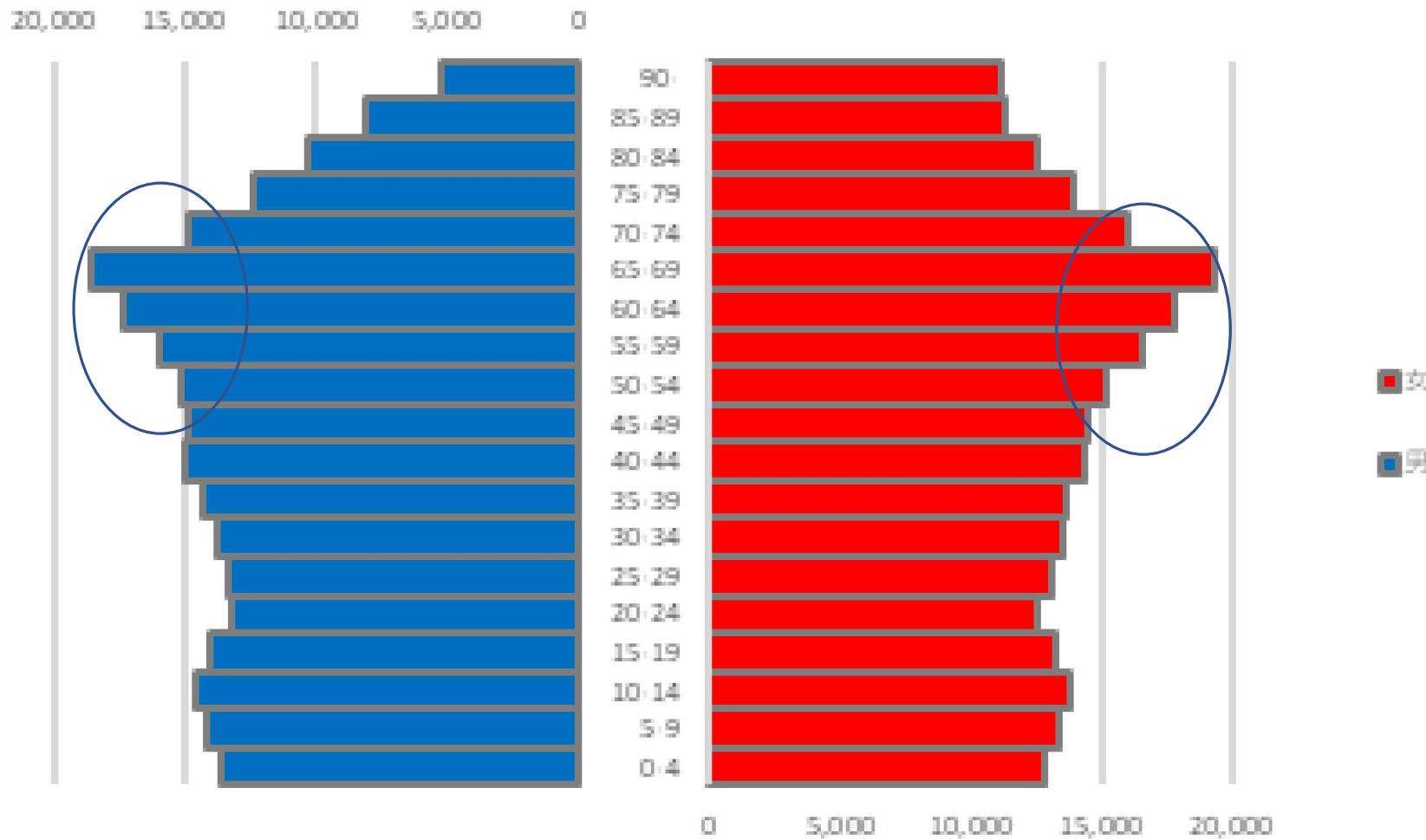
人口ピラミッドがフラットに。75歳以上女性のグループが出現

47沖縄県 4702中部 2020年



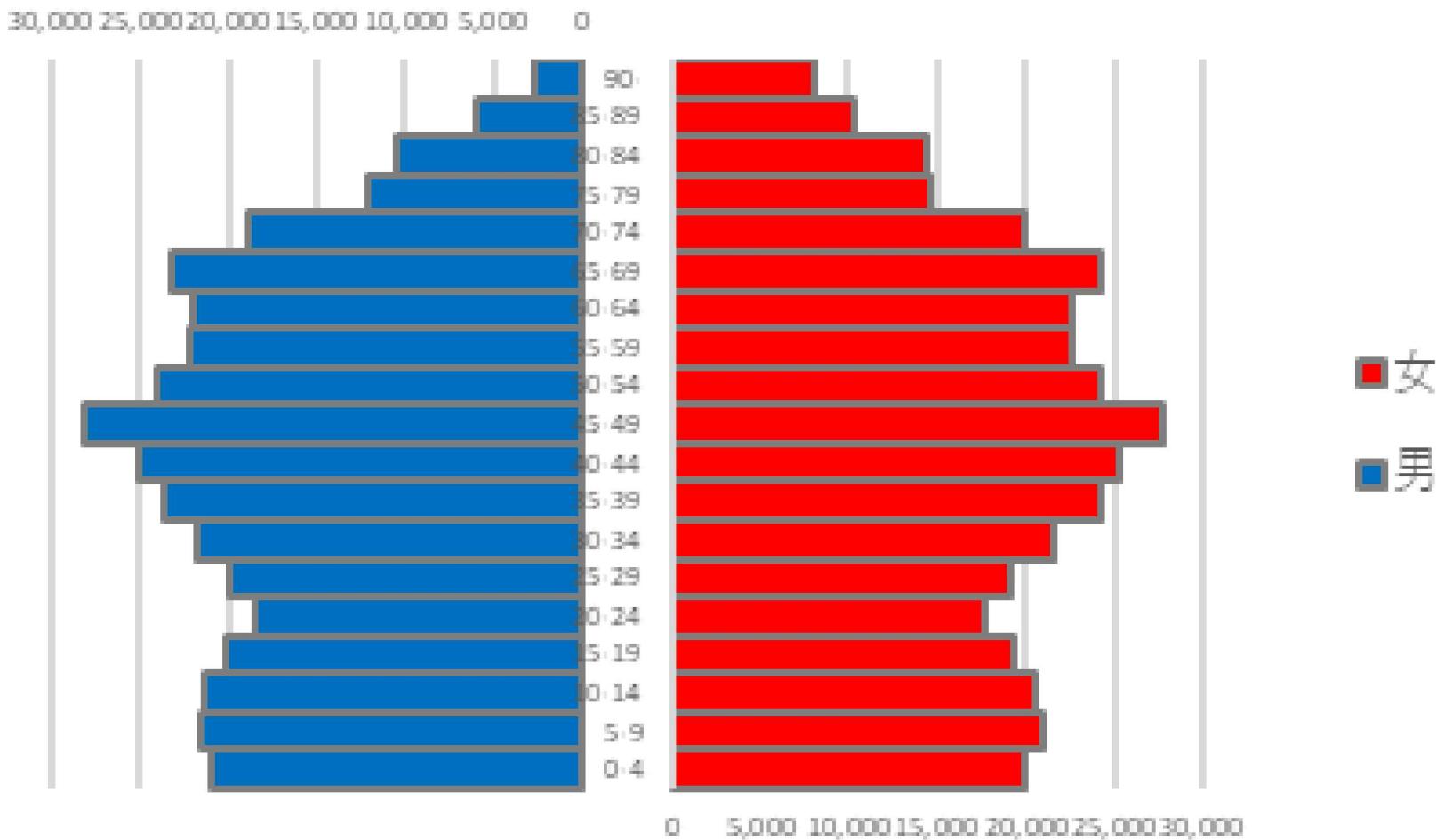
人口ピラミッドが逆ピラミッド形に近づく。

47沖縄県 4702中部 2040年



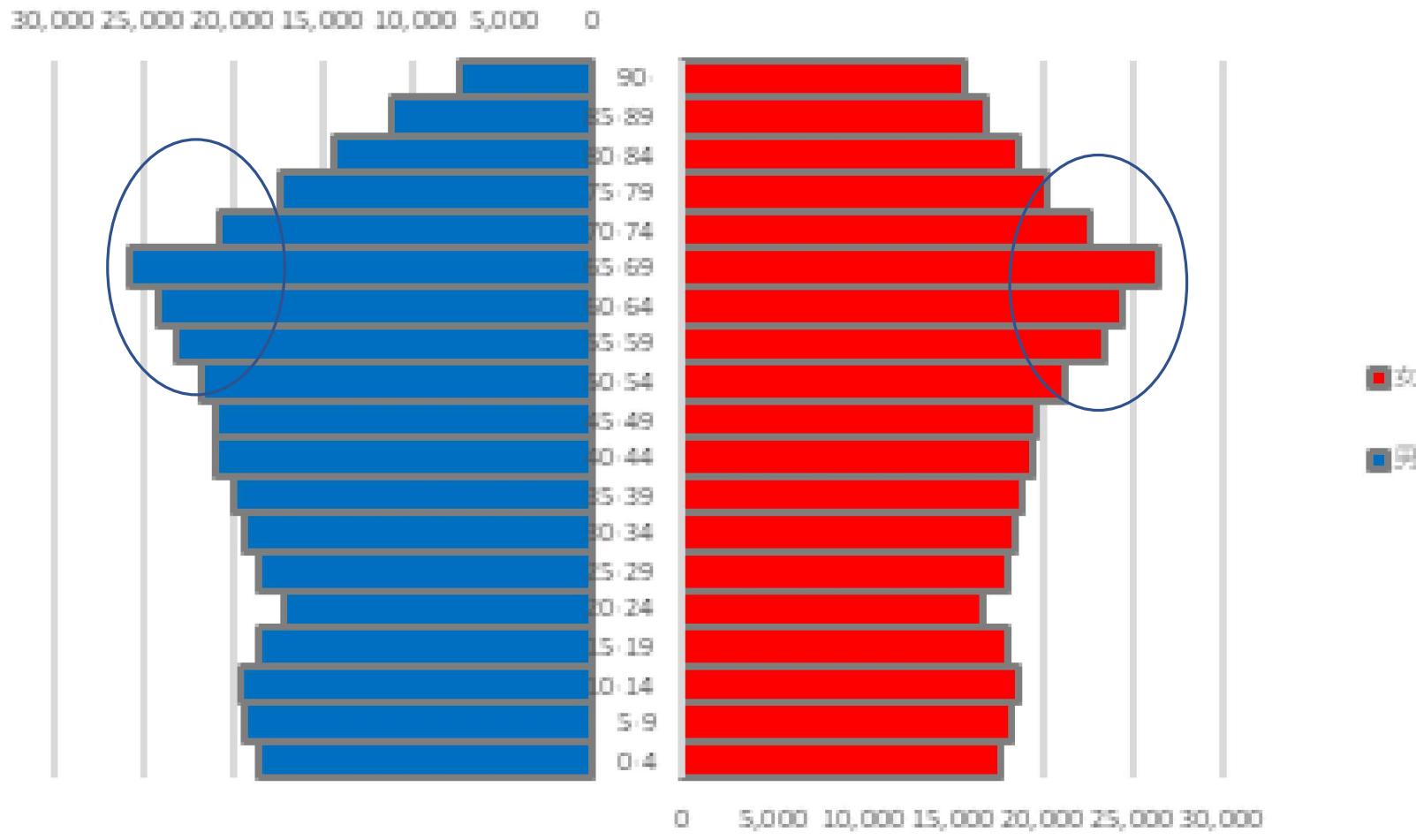
人口ピラミッドが逆ピラミッド形に近づく。70歳にボリュームゾーンが

47沖縄県 4703南部 2020年



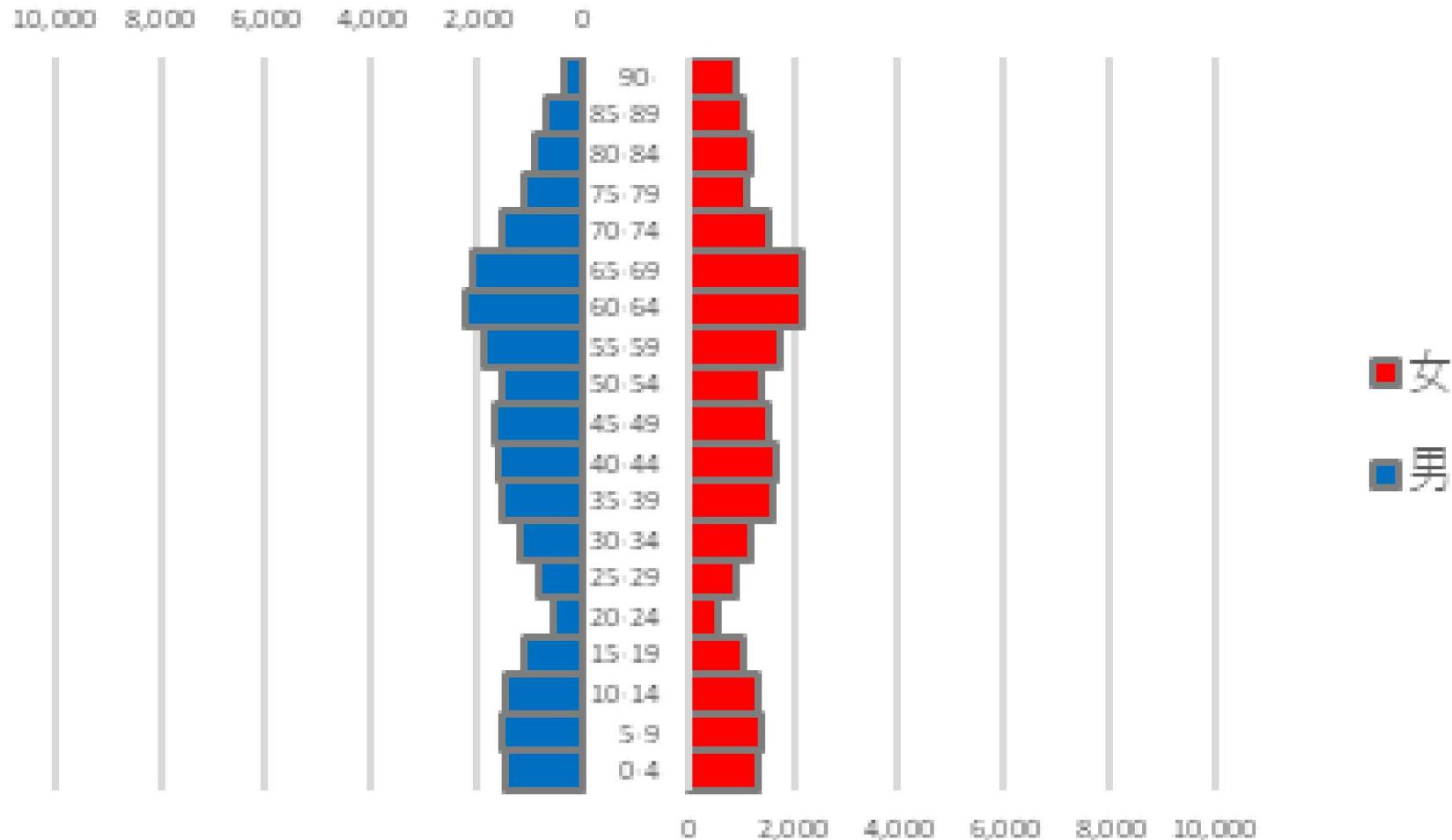
人口ピラミッドが逆ピラミッド形に近づく。

47沖縄県 4703南部 2040年



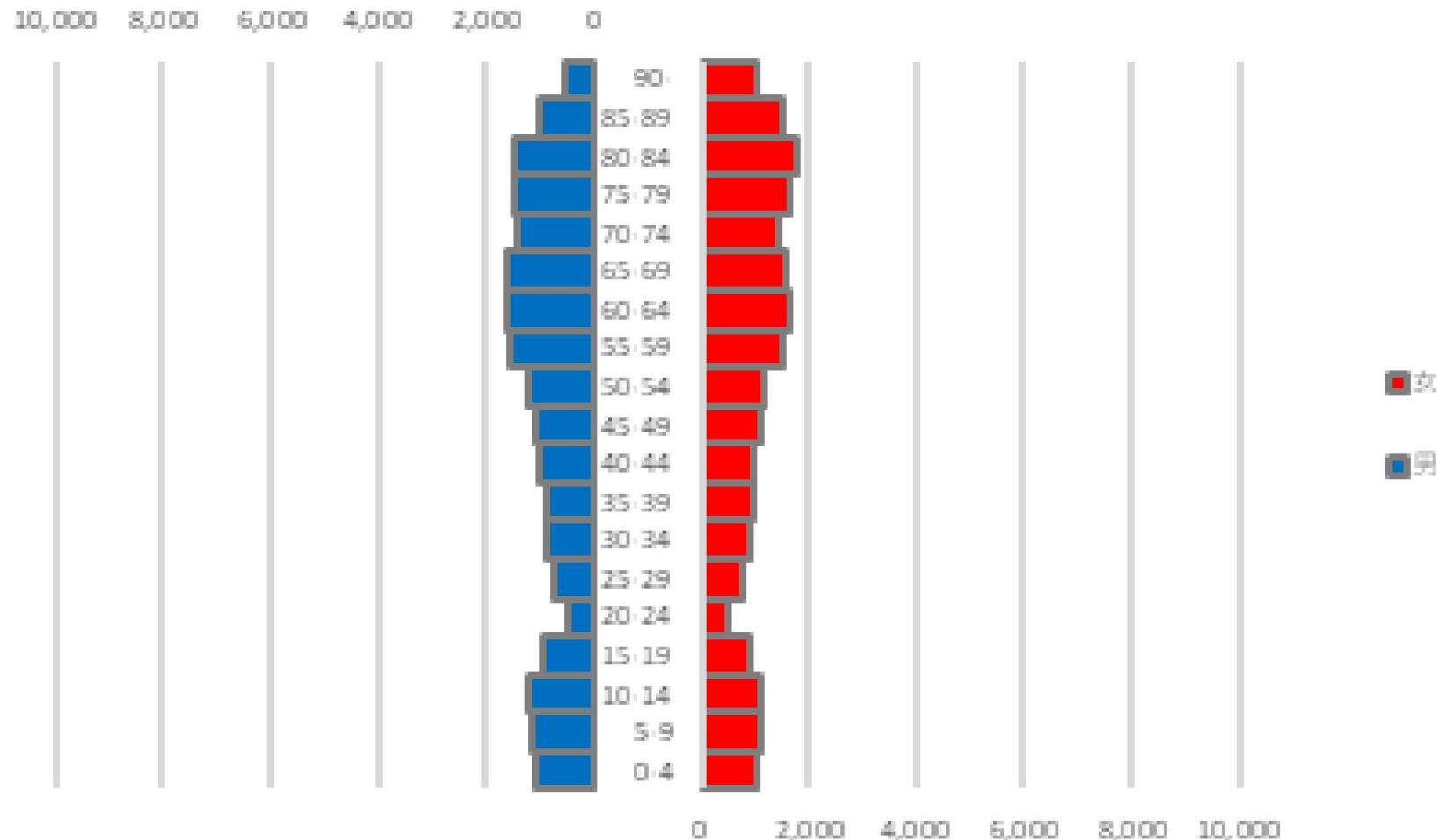
逆ピラミッド形に近づき、65歳～70歳とその前後にボリュームゾーンが生じる

47沖縄県 4704宮古 2020年



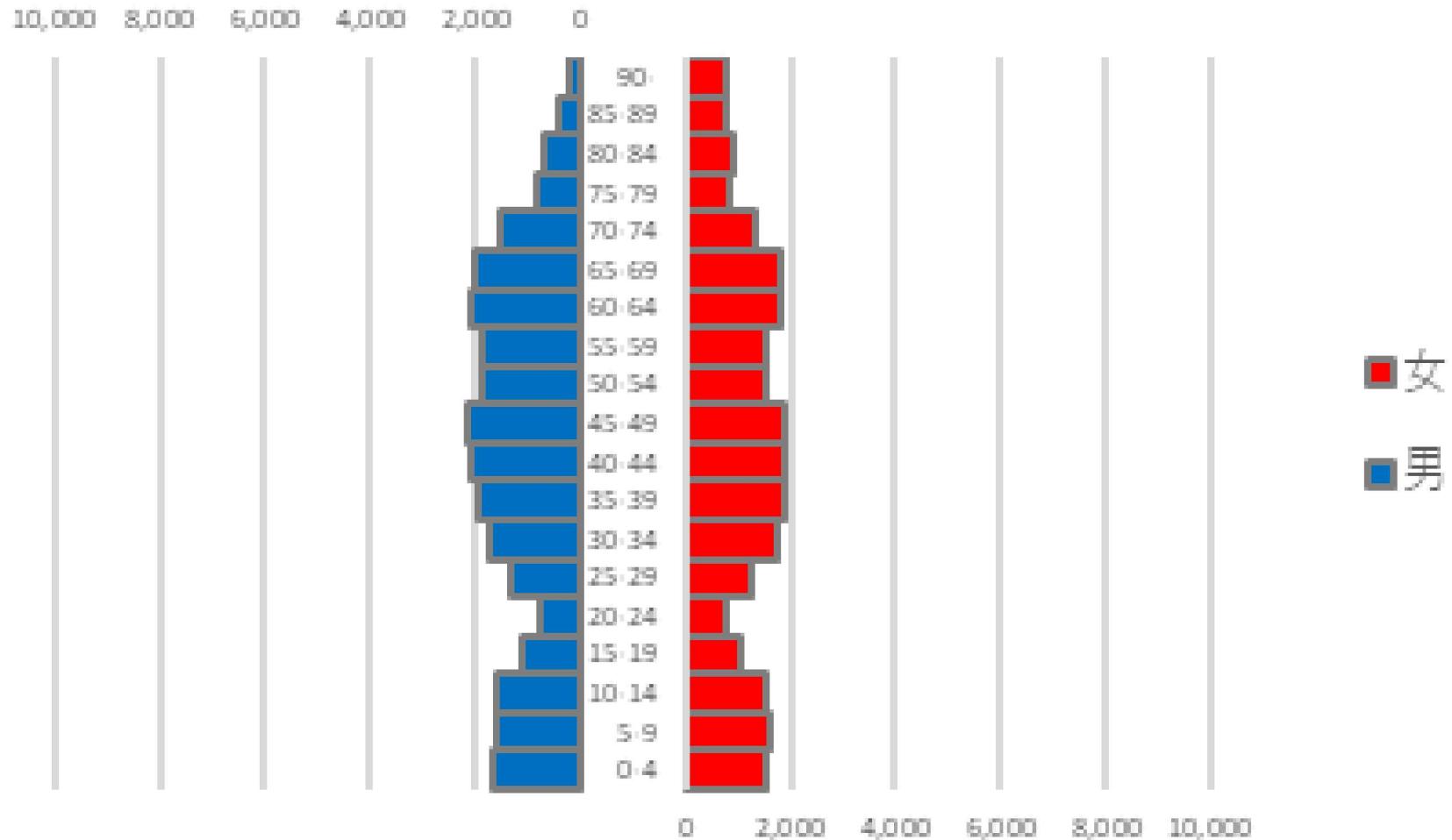
コーラ瓶形？

47沖縄県 4704宮古 2040年



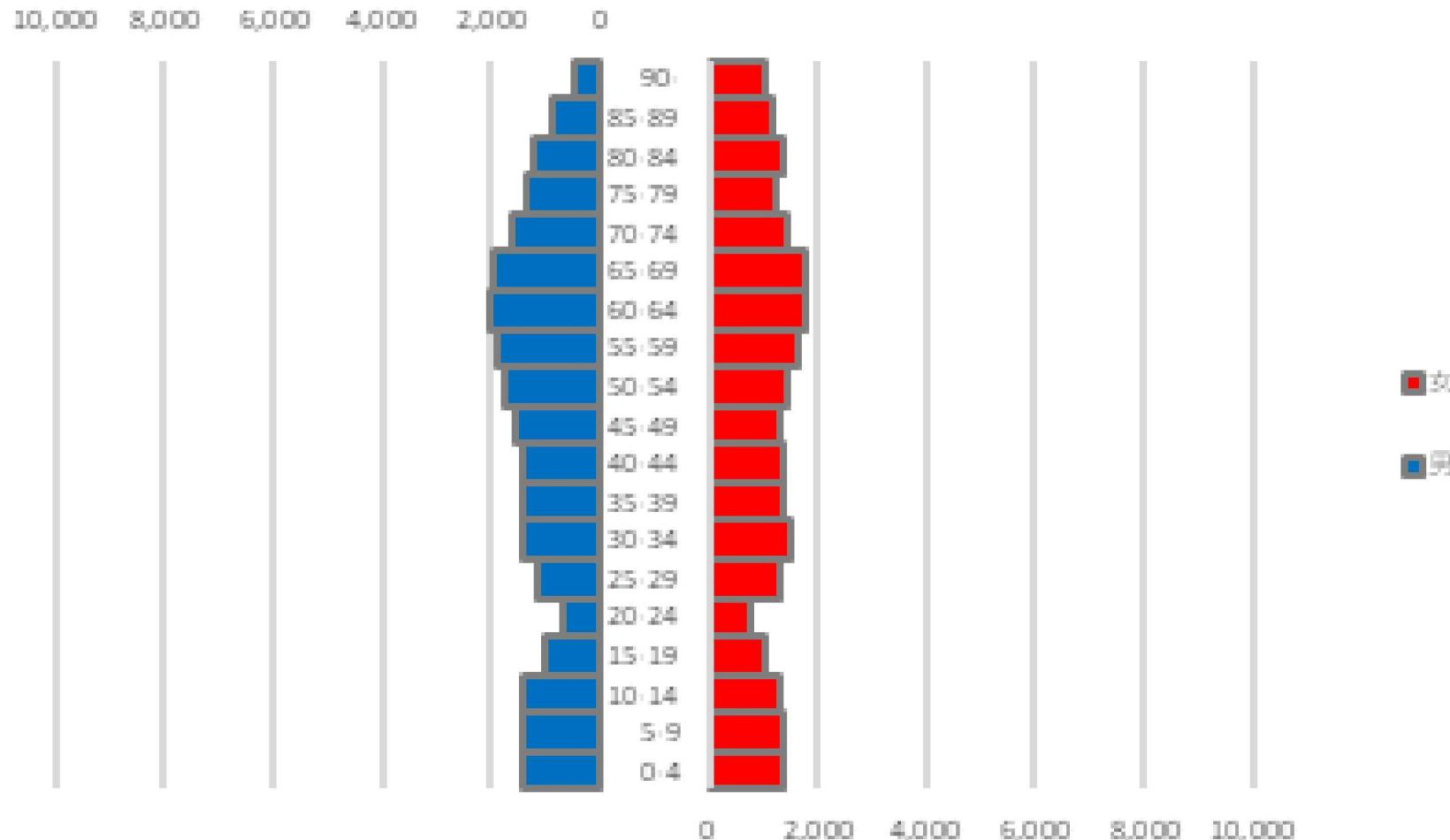
コーラ瓶形？ 上が厚く下がスリムに

47沖縄県 4705八重山 2020年



コラボ形？

47沖縄県 4705八重山 2040年

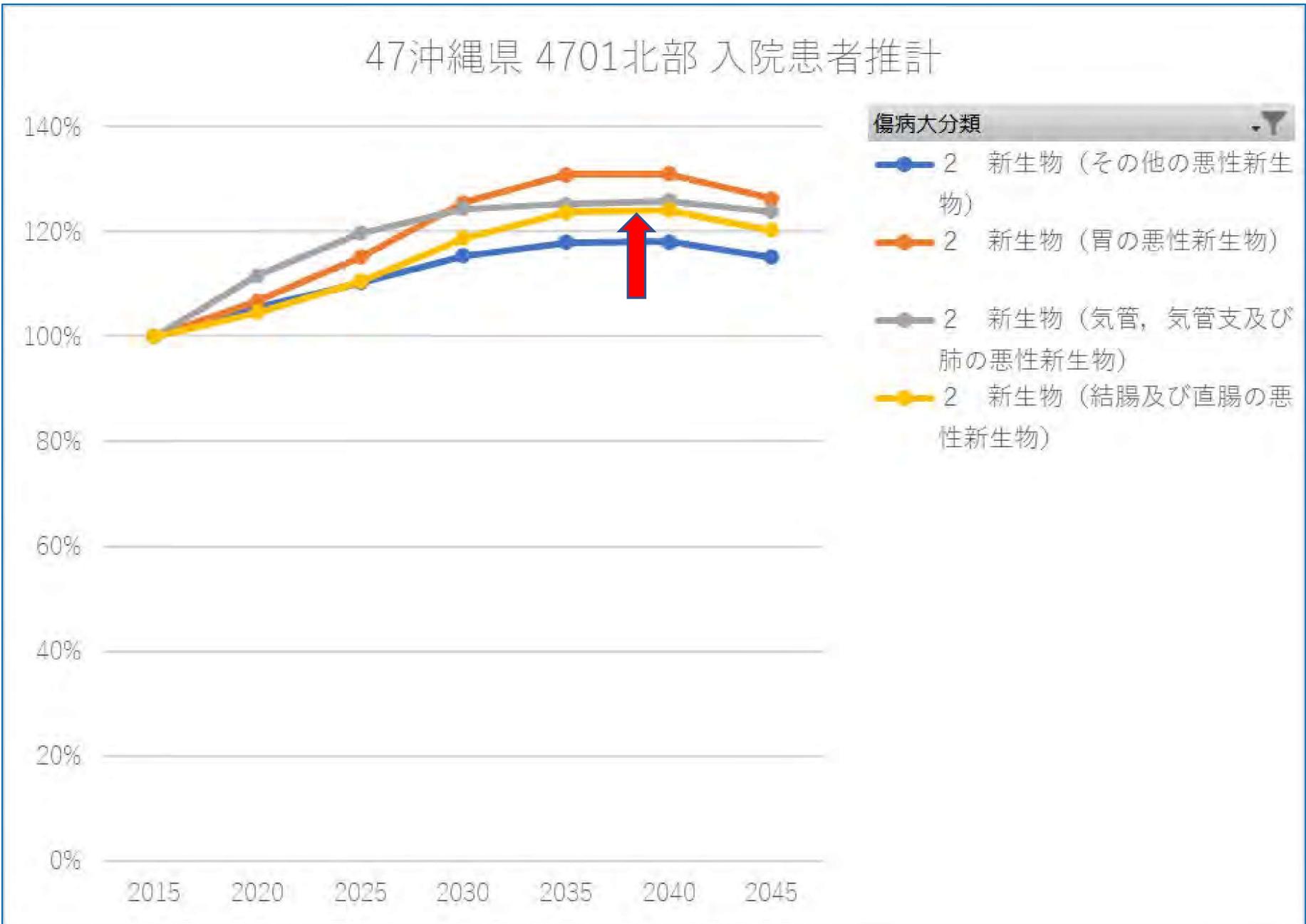


コーラ瓶形？ 上が厚く下がスリムに

将来需要（患者推計） の確認

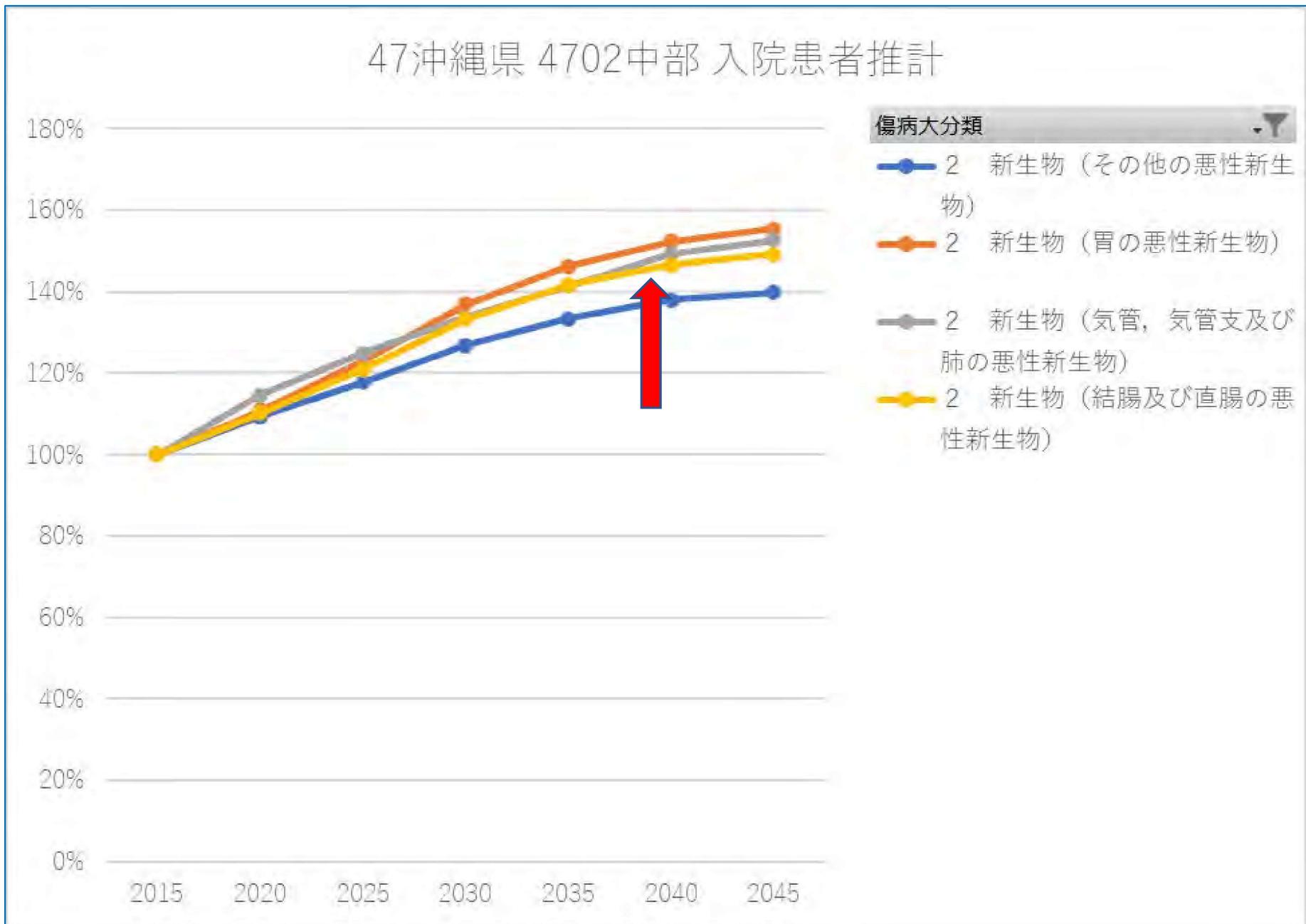
<2021年11月19日資料>

これから20年、がん患者〔入院〕の増減は？（北部医療圏）



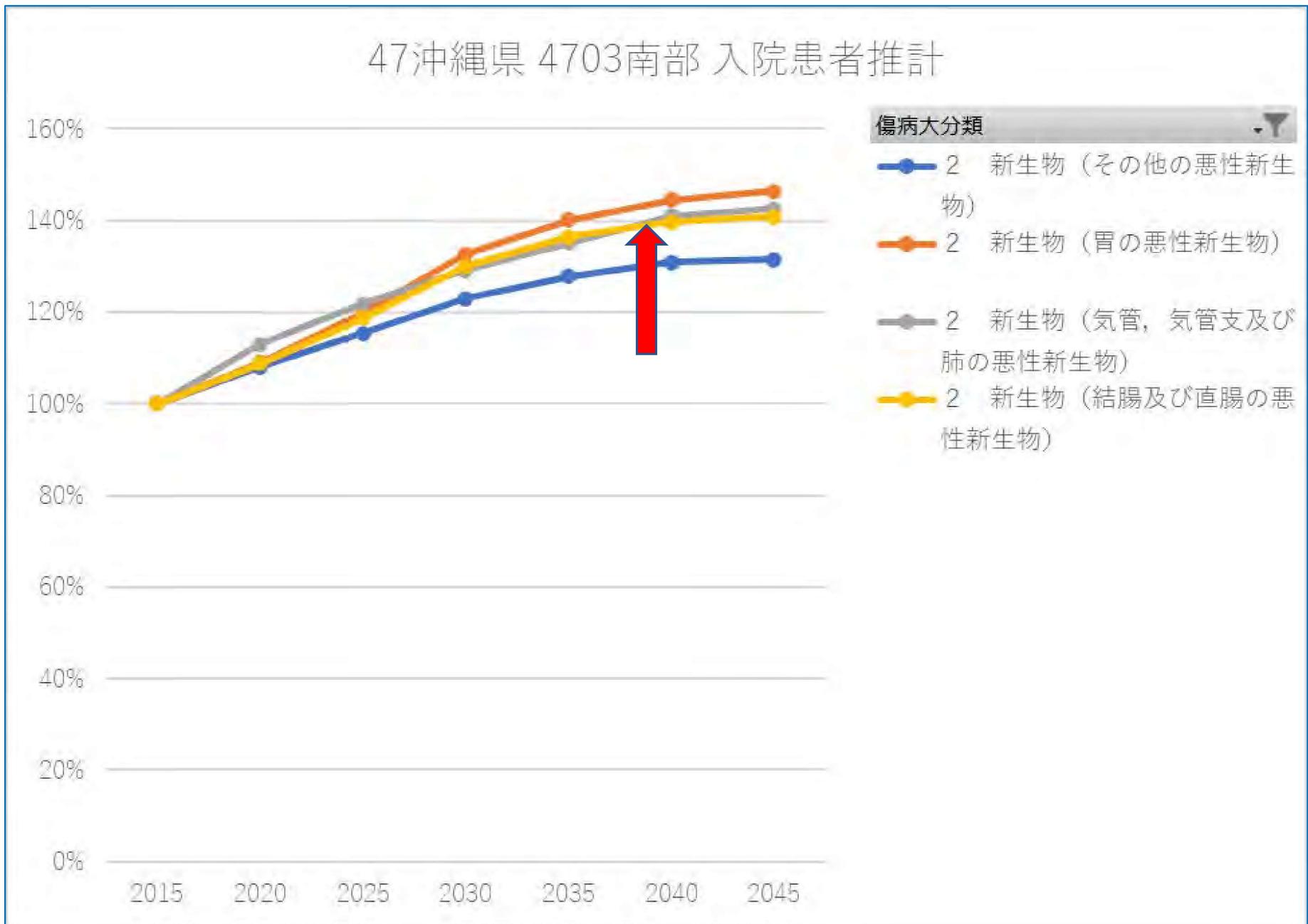
2~3割程度増えてピークを越えて減少に転じる

これから20年、がん患者〔入院〕の増減は？（中部医療圏）



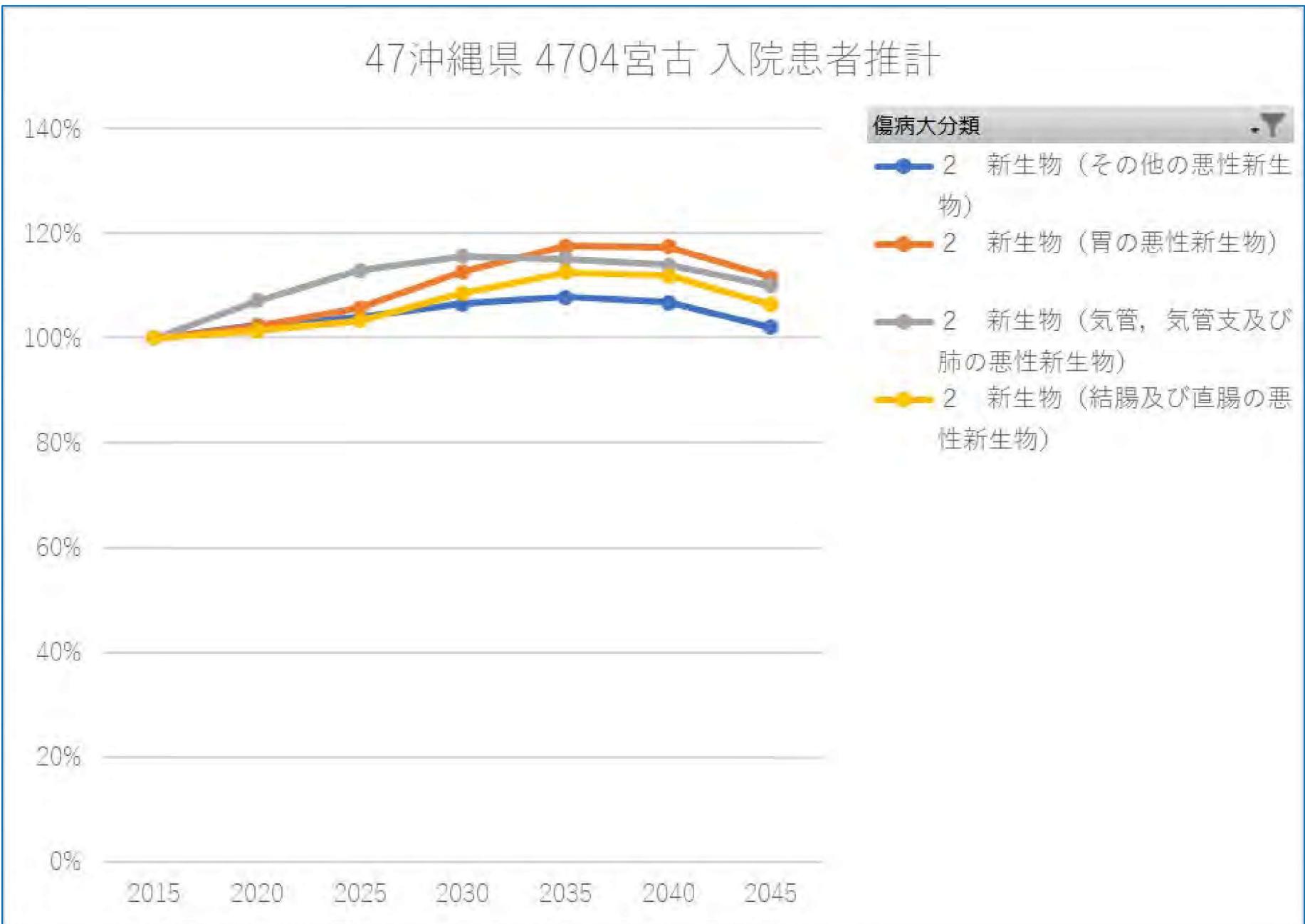
5割程度増えていく

これから20年、がん患者〔入院〕の増減は？（南部医療圏）



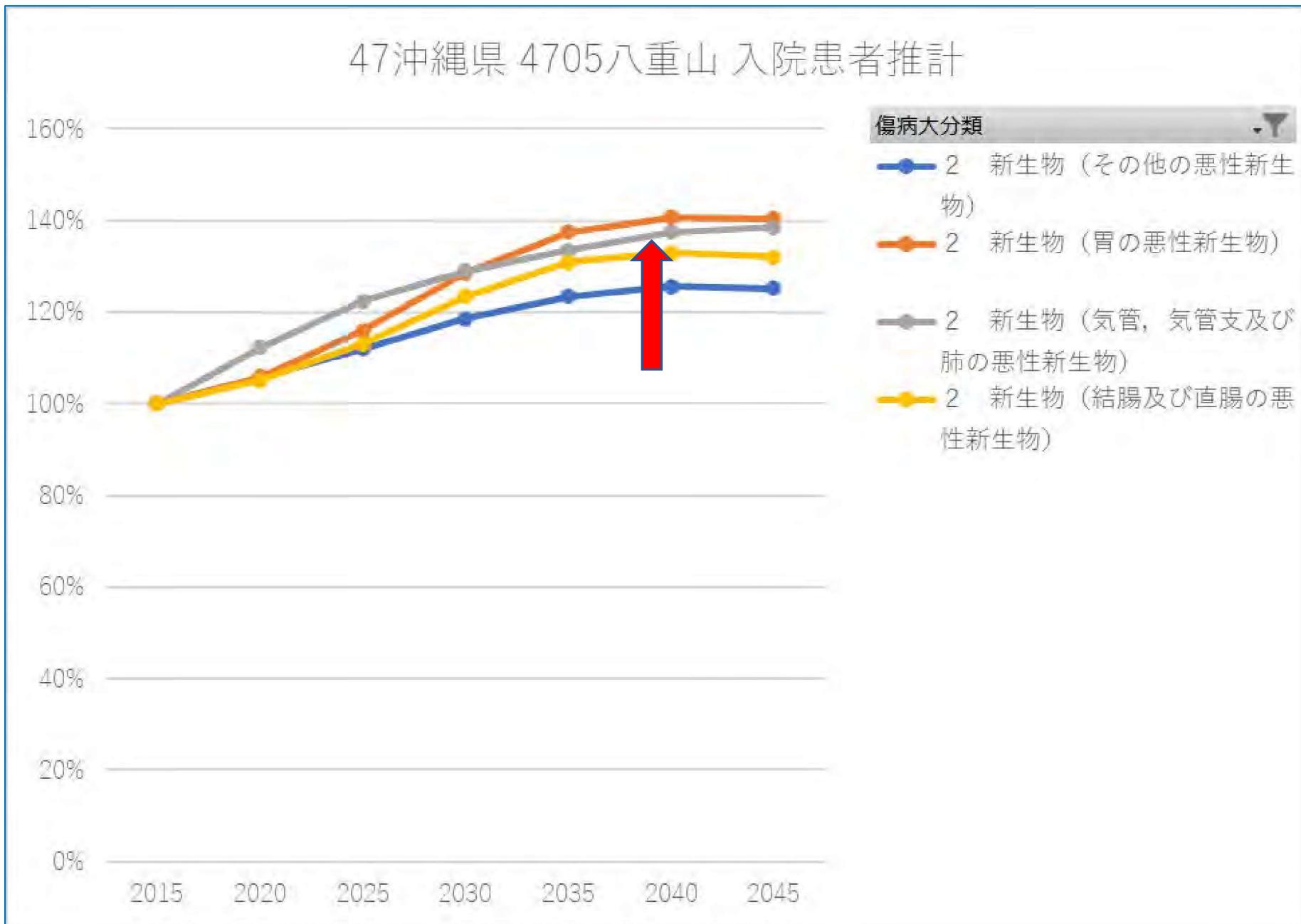
4割程度増えていく

これから20年、がん患者〔入院〕の増減は？（宮古医療圏）



1割前後増えてピークを越えて減少する

これから20年、がん患者〔入院〕の増減は？（八重山医療圏）

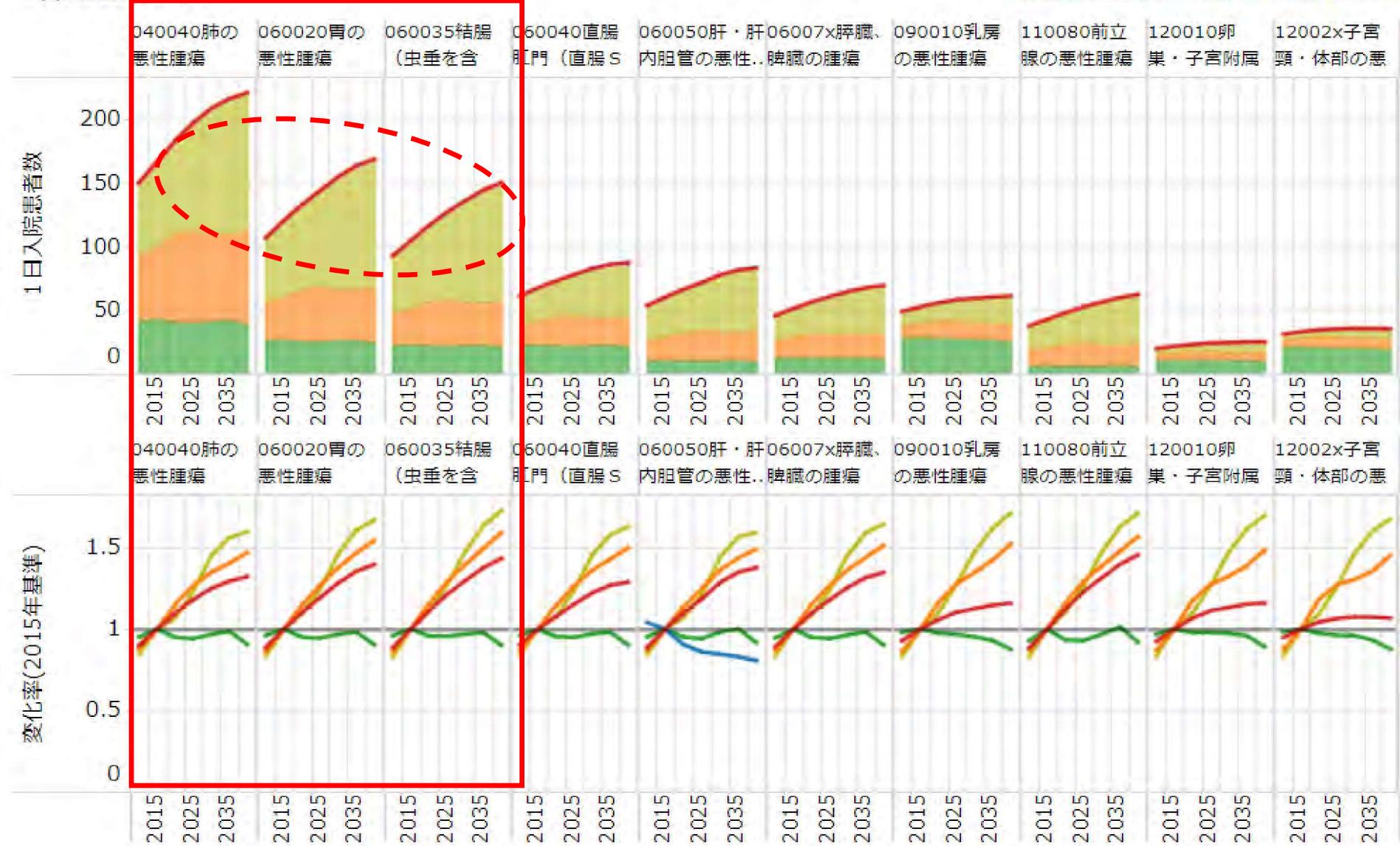


3～4割増えてフラットになる

これから20年、どの年代の患者〔入院〕が増える？（沖縄県全体）

都道府県 次医療圏 市区町村

1日入院患者数(人) 総数/15歳未満/15-64歳/65-74歳/75歳以上

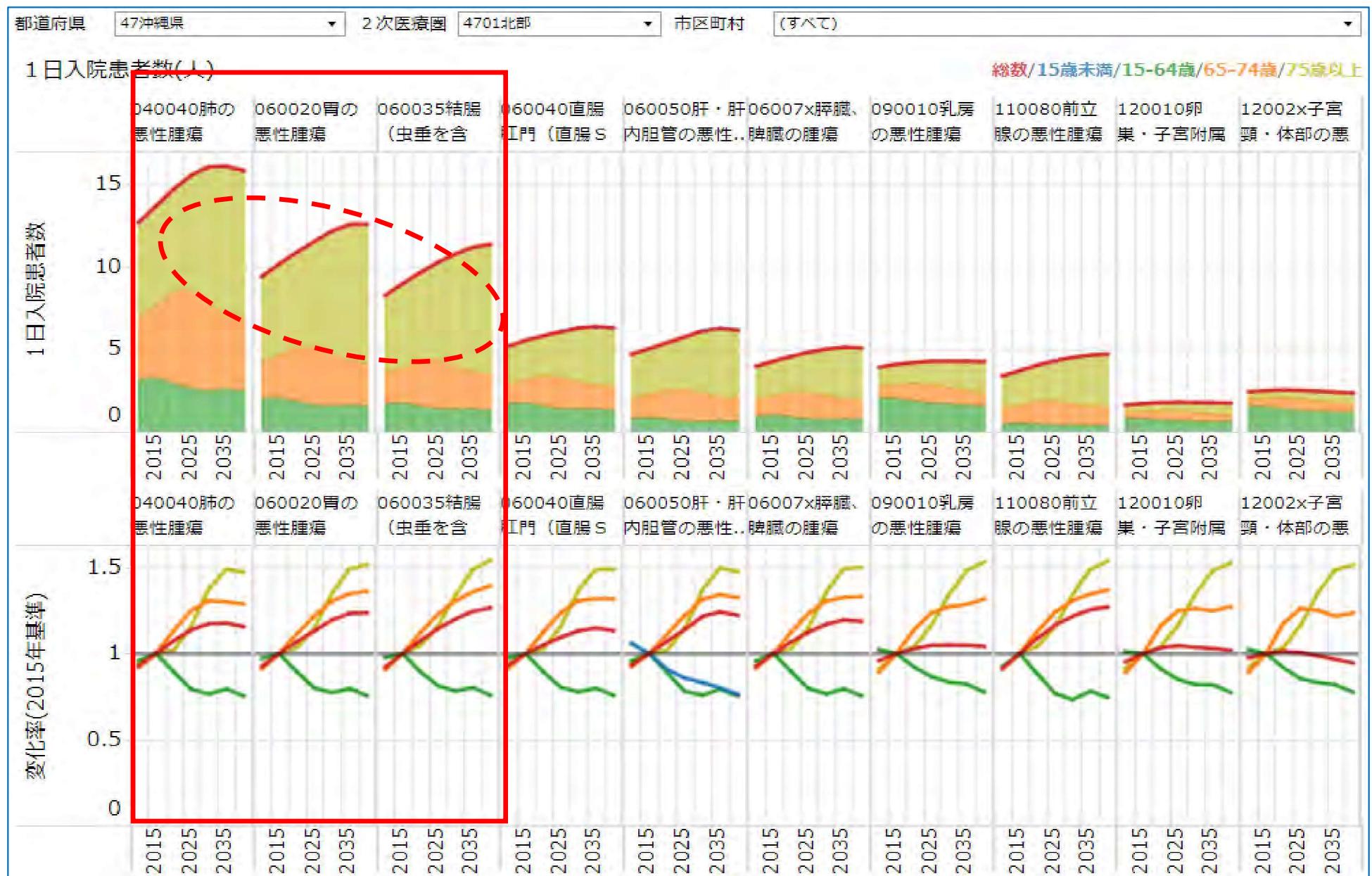


75歳以上の患者が大幅に増える

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト

<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

これから20年、どの年代の患者〔入院〕が増える？（北部医療圏）



75歳以上の患者が大幅に増える

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト

<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

これから20年、どの年代の患者〔入院〕が増える？（中部医療圏）



75歳以上の患者が大幅に増える。分母の大きい

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト

<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

これから20年、どの年代の患者〔入院〕が増える？（南部医療圏）

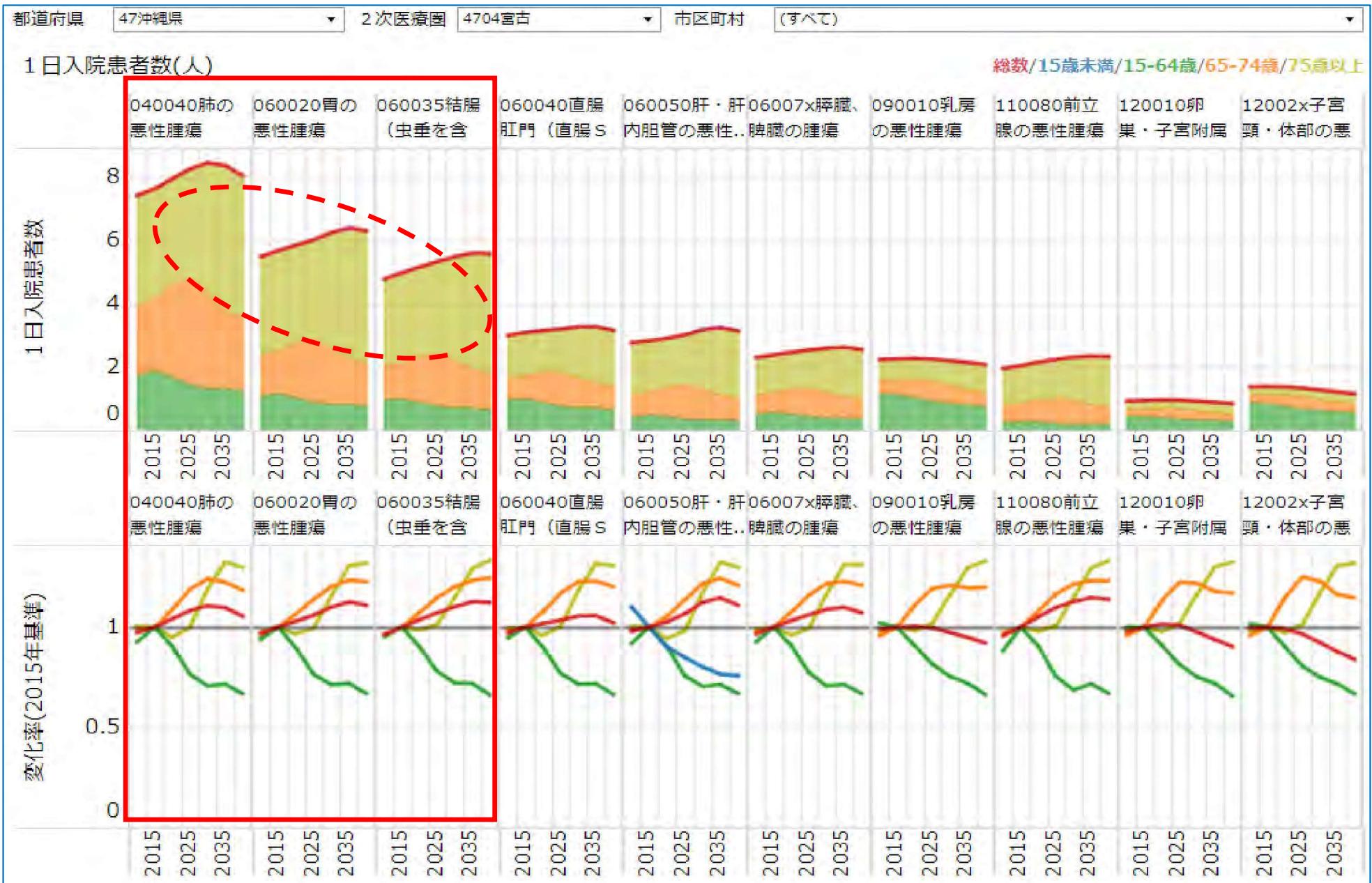


75歳以上の患者が大幅に増える。分母も大きい

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト

<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

これから20年、どの年代の患者〔入院〕が増える？（宮古医療圏）



75歳以上の患者が大幅に増える

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト

<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

これから20年、どの年代の患者〔入院〕が増える？（八重山医療圏）



75歳以上の患者が大幅に増える

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト

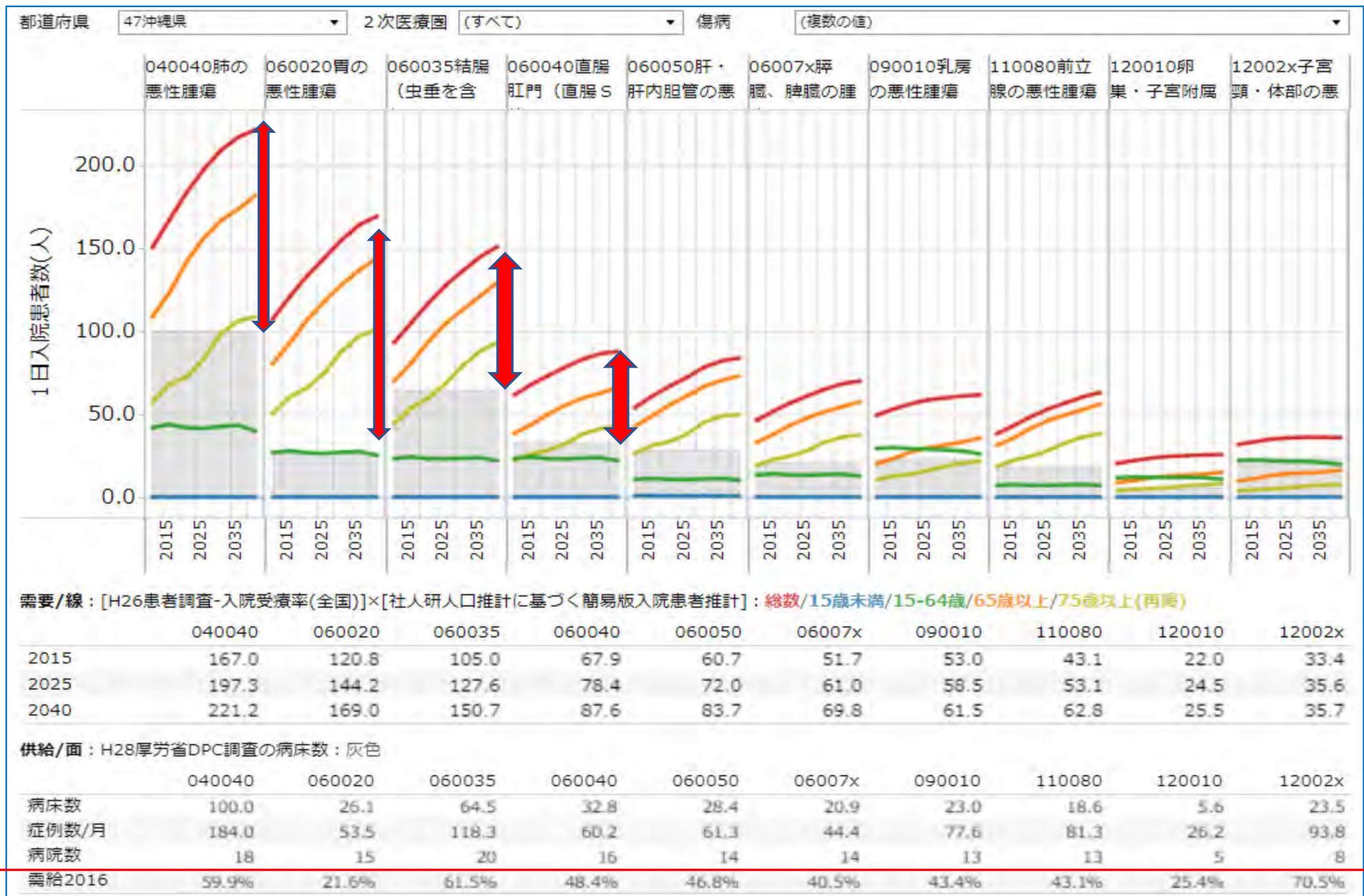
<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

需給ギャップ推計 の確認

* 需要は既存値を将来人口に引き当てただけであり、供給はDPC部分だけを勘案しているというデータ上の限界があります

<2021年11月19日資料>

これから20年余りの需給ギャップをどのように埋めるか（沖縄県。10種のがん）

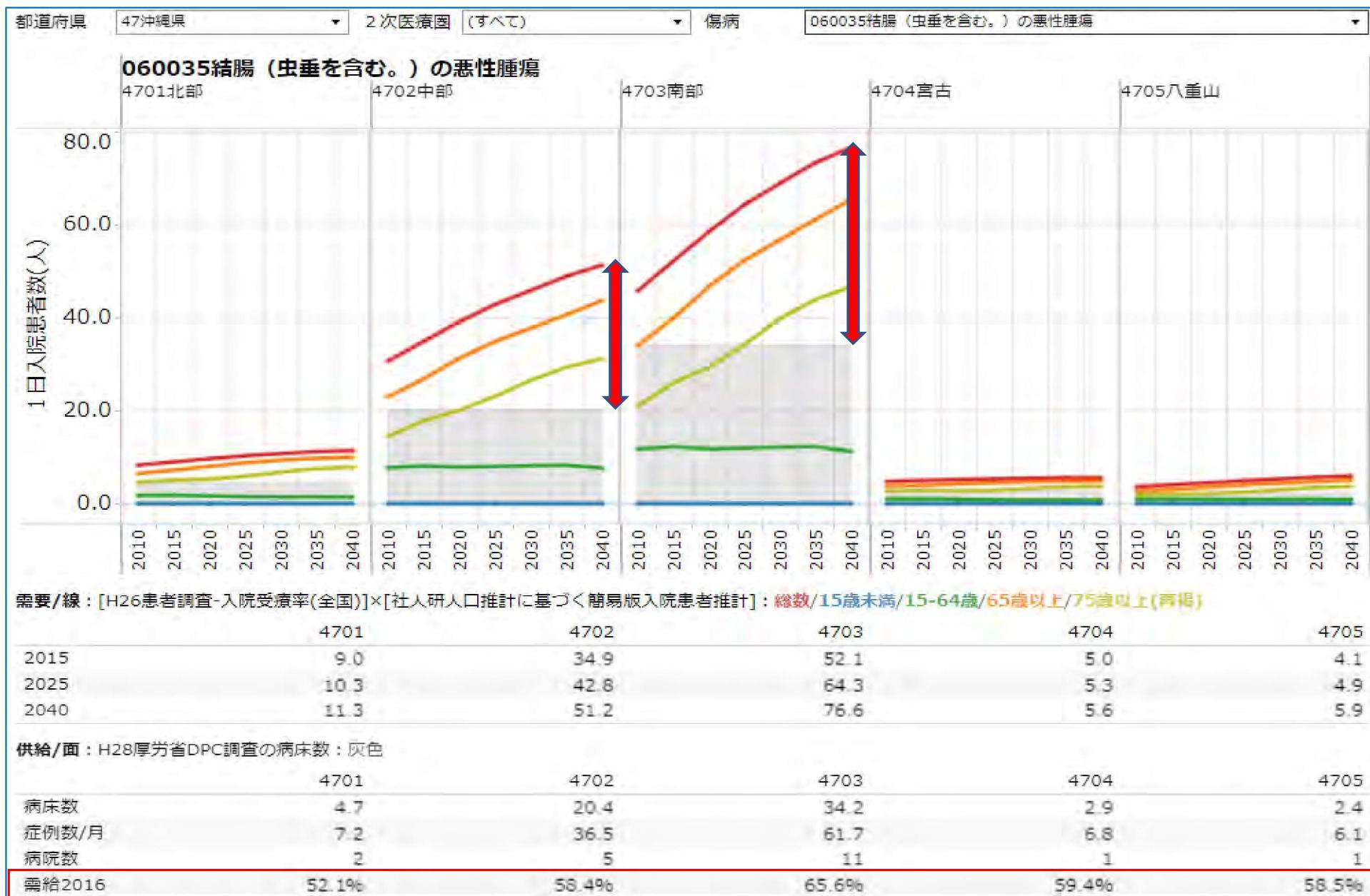


推計入院数とDPC症例数とのギャップによる試算。大きなギャップを埋める必要がある

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト

<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

これから20年余りの需給ギャップをどのように埋めるか（沖縄県。結腸がん、医療圏別）

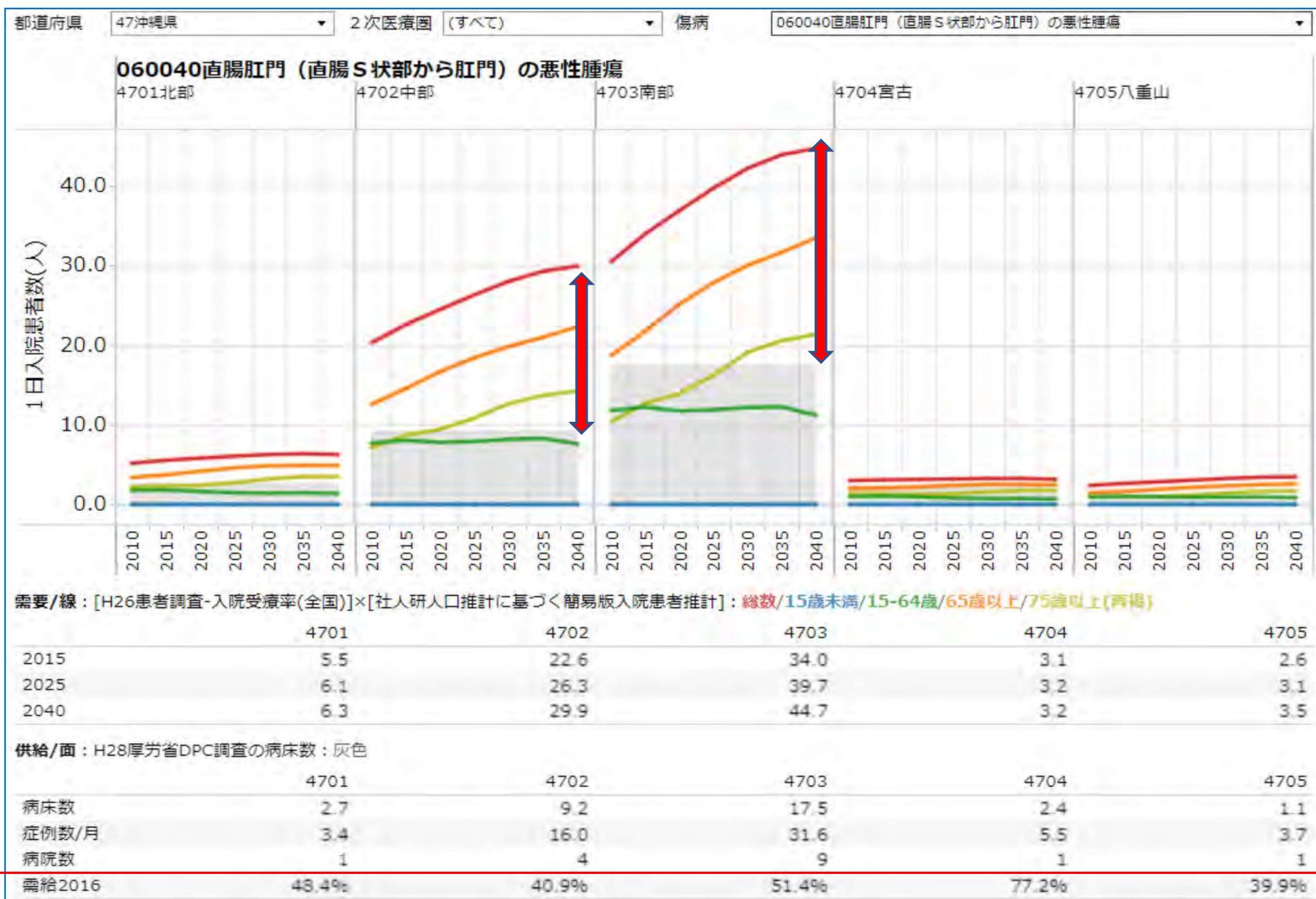


推計入院数とDPC症例数とのギャップによる試算。大きなギャップを埋める必要がある

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト

<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

これから20年余りの需給ギャップをどのように埋めるか（沖縄県。直腸がん、医療圏別）

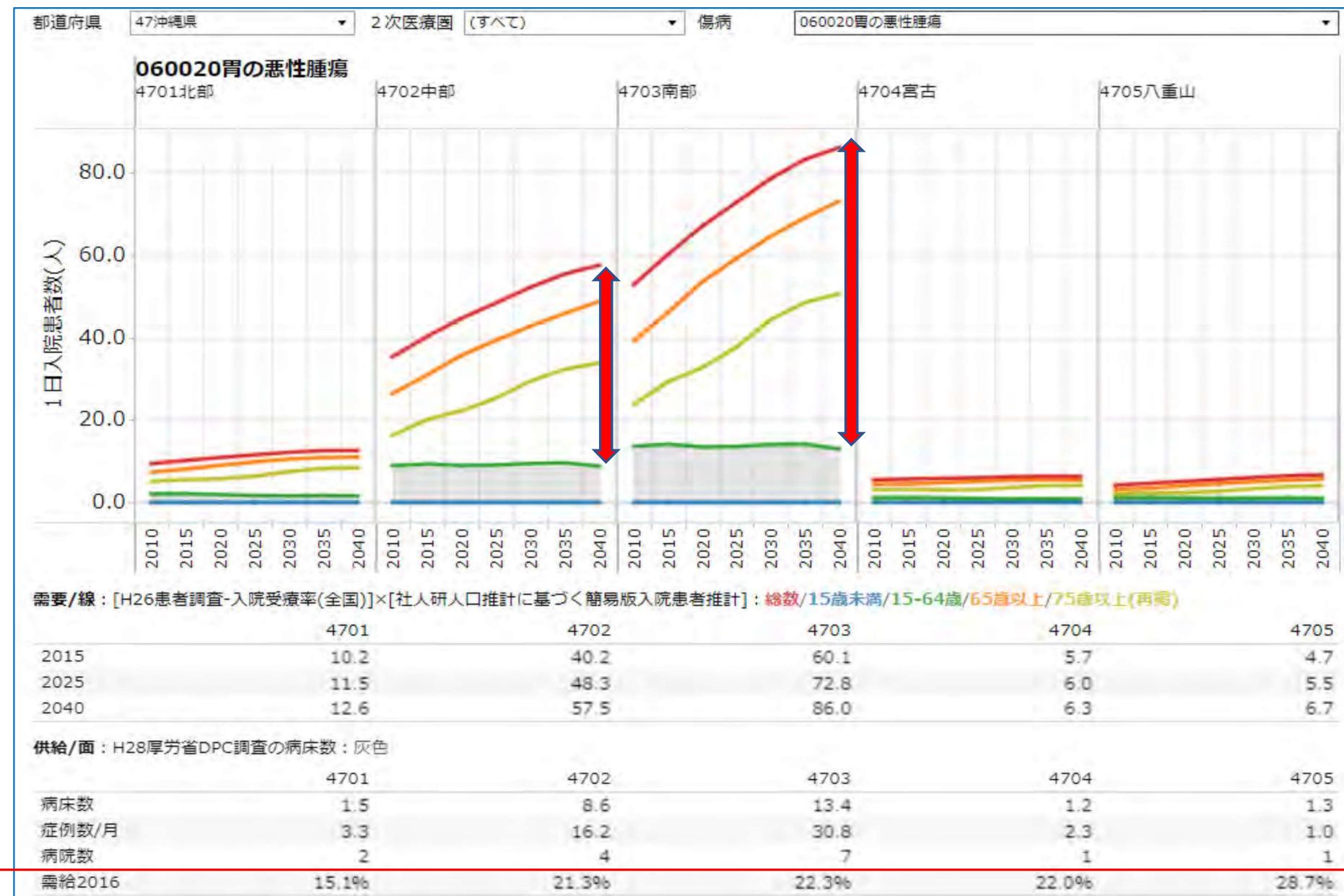


推計入院数とDPC症例数とのギャップによる試算。大きなギャップを埋める必要がある

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト

<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

これから20年余りの需給ギャップをどのように埋めるか（沖縄県。胃がん、医療圏別）

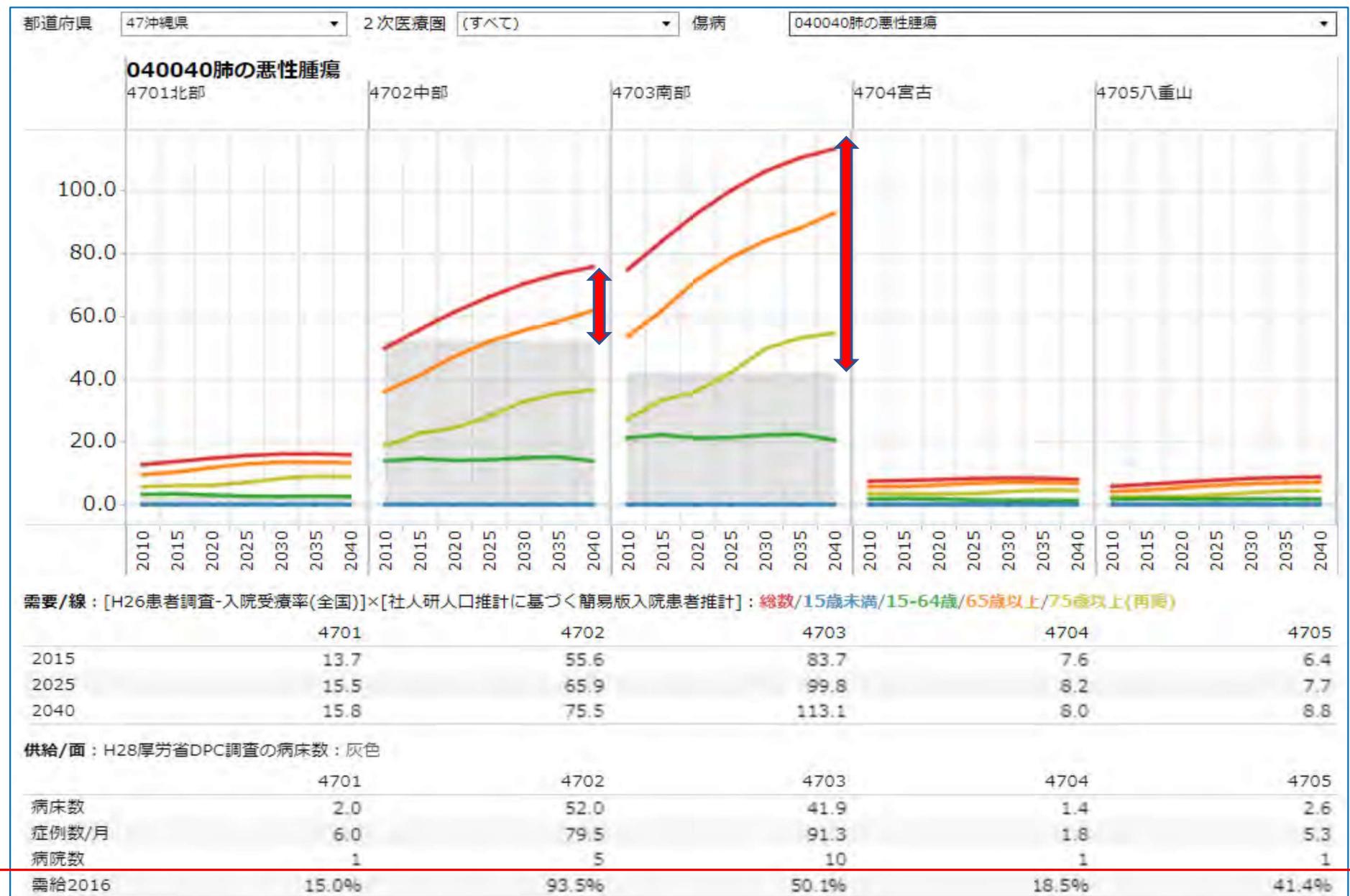


推計入院数とDPC症例数とのギャップによる試算。大きなギャップを埋める必要がある

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト

<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

これから20年余りの需給ギャップをどのように埋めるか（沖縄県。肺がん、医療圏別）

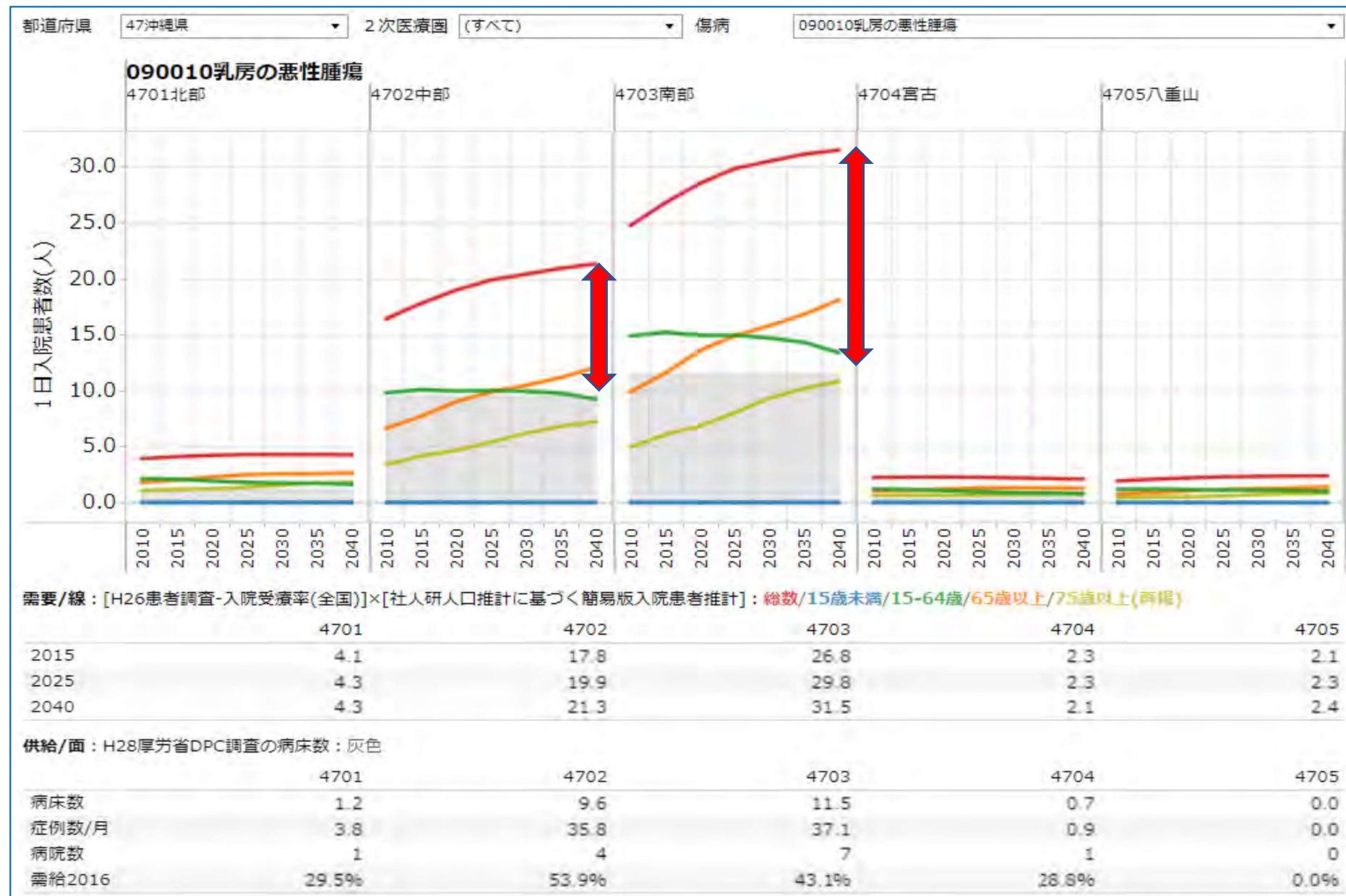


推計入院数とDPC症例数とのギャップによる試算。大きなギャップを埋める必要がある

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト

<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

これから20年余りの需給ギャップをどのように埋めるか（沖縄県。乳がん、医療圏別）



推計入院数とDPC症例数とのギャップによる試算。大きなギャップを埋める必要がある

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト

<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策

個別施策	指標

初期アウトカム

予防対策	指標
	<柱6>
	<柱6>

中間アウトカム

罹 患	指標
罹患が減少している	罹患率 <柱2>

最終アウトカム

死 亡	指標
死亡が減っている	死亡率 <柱1>

死亡

個別施策	指標

早期発見対策	指標
	<柱7>
	<柱7>

早期発見	指標
早期発見が高まっている	早期発見率 <柱4>

生 存	指標
生存が高まっている	5年生存率 <柱3>

個別施策	指標

医療の質対策	指標
	<柱8>
	<柱8>

治 療	指標
治療の質が高まっている	進行度別5年生存率 <柱5>

市町村別 標準化死亡比

<2022年5月13日資料>

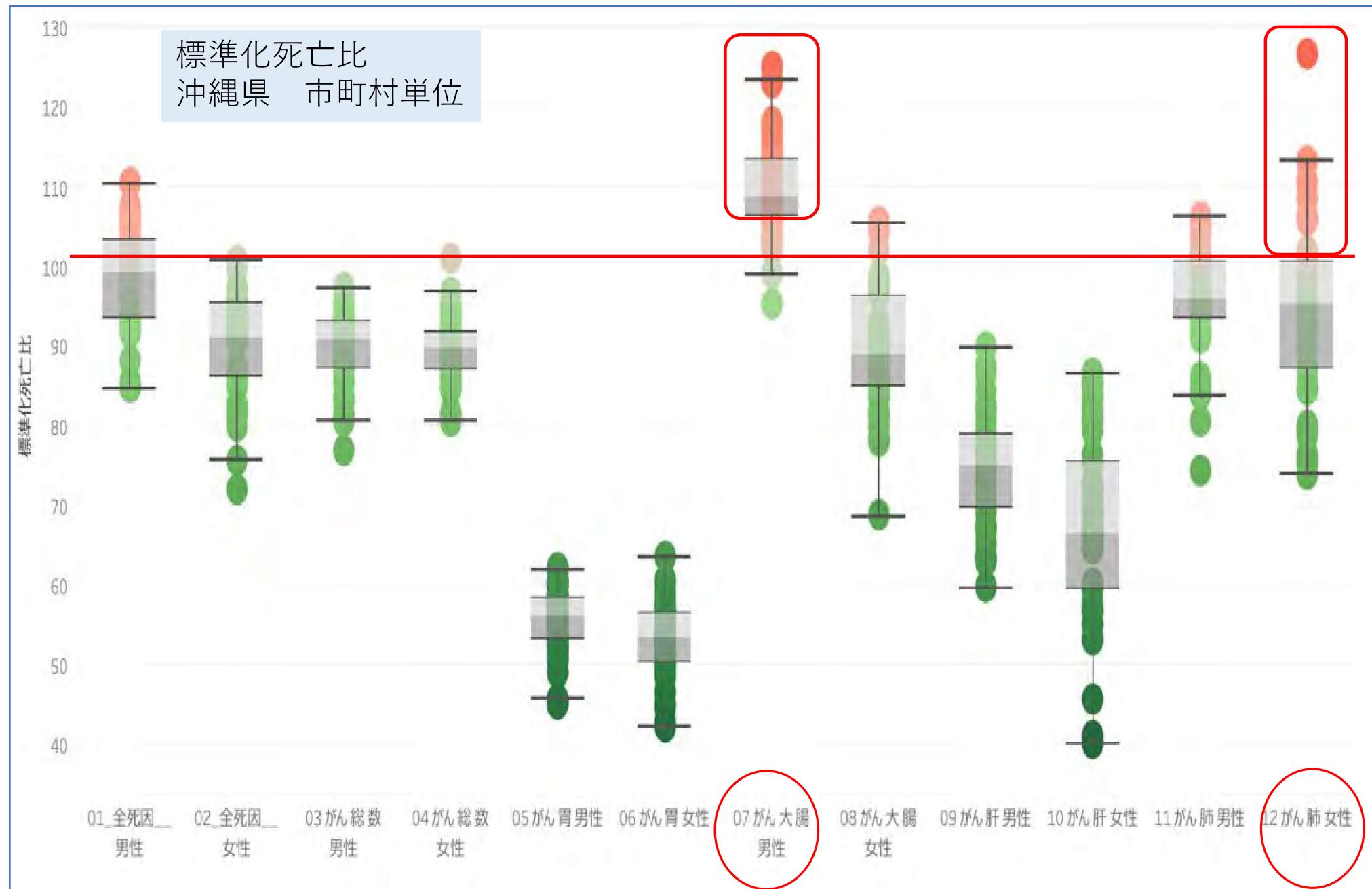
標準化死亡比：大腸がん（男）に注意。肺がん（女）もホットスポットが。

Id付地名	01_全死因 __男性	02_全死因 __女性	03がん総 数男性	04がん総 数女性	05がん腎 男性	06がん胃 女性	07がん大 腸男性	08がん大 腸女性	09がん肝 男性	10がん肝 女性	11がん肺 男性	12がん肺 女性
47沖縄県	99.3	90.5	90.2	90.7	56.1	54.1	111.2	91.4	75.0	68.3	95.1	95.2
47201那覇市	101.3	97.5	93.5	96.9	60.7	63.6	113.4	104.5	80.6	81.7	95.4	91.9
47205宜野湾市	97.9	86.8	87.8	88.4	55.4	54.7	103.0	90.4	63.0	40.1	103.8	105.8
47207石垣市	105.3	94.3	91.4	94.9	59.9	55.7	104.1	98.6	67.5	85.5	106.3	126.8
47208浦添市	92.8	86.5	87.8	90.5	51.9	58.3	123.4	96.4	79.0	45.6	80.5	94.5
47209名護市	98.2	82.0	81.3	81.6	45.8	42.8	106.1	68.8	82.4	68.7	84.5	75.1
47210糸満市	106.7	97.0	95.0	101.0	54.3	59.7	108.2	98.7	77.8	55.4	104.9	106.0
47211沖縄市	100.7	94.6	92.3	93.8	60.1	57.4	117.1	97.6	66.8	86.6	96.2	93.0
47212豊見城市	92.8	81.1	85.5	85.7	58.8	50.0	118.3	81.7	79.0	70.5	93.4	74.0
47213うるま市	107.6	91.0	97.4	94.1	61.8	57.4	123.2	85.2	77.0	72.4	102.0	110.8
47214宮古島市	105.4	96.6	92.9	81.3	54.0	42.3	125.0	79.8	73.0	56.7	101.1	95.6
47215南城市	93.9	85.1	88.5	89.2	58.0	48.6	99.1	97.8	89.9	54.8	91.1	113.4
47301国頭村	102.4	87.5	90.4	85.9	53.4	48.8	116.8	78.1	69.1	53.2	93.9	84.7
47302大宜味村	104.2	90.7	93.0	88.4	60.3	59.0	113.3	91.4	73.3	57.8	97.5	102.0
47303東村	96.7	92.9	91.7	92.6	58.9	55.4	111.4	92.9	73.3	72.8	98.8	97.6
47306今帰仁村	85.4	81.2	81.2	87.1	52.6	46.7	95.3	81.2	70.3	66.6	93.6	78.7
47308本部町	99.1	91.6	94.8	93.3	56.2	60.7	102.1	102.2	69.6	79.3	100.5	90.1
47311恩納村	110.5	94.8	93.9	84.9	59.0	46.5	110.8	97.7	84.3	56.9	101.6	97.6
47313宜野座村	95.9	97.3	85.5	84.7	57.1	54.2	106.3	85.3	87.0	64.5	91.5	75.8
47314金武町	106.5	86.3	96.6	85.9	55.6	50.7	110.1	89.1	81.6	53.3	100.5	87.2
47315伊江村	103.8	92.0	92.2	88.1	56.8	54.3	105.7	89.2	78.4	80.8	100.5	84.6
47324読谷村	95.7	97.5	83.4	95.3	51.5	56.6	109.6	105.5	63.4	41.2	92.8	100.7
47325嘉手納町	105.7	85.9	95.3	80.9	62.1	49.3	106.0	85.8	87.7	64.6	100.9	80.0
47326北谷町	92.2	82.7	92.9	97.1	52.8	53.5	106.4	91.2	65.0	60.2	85.3	108.5

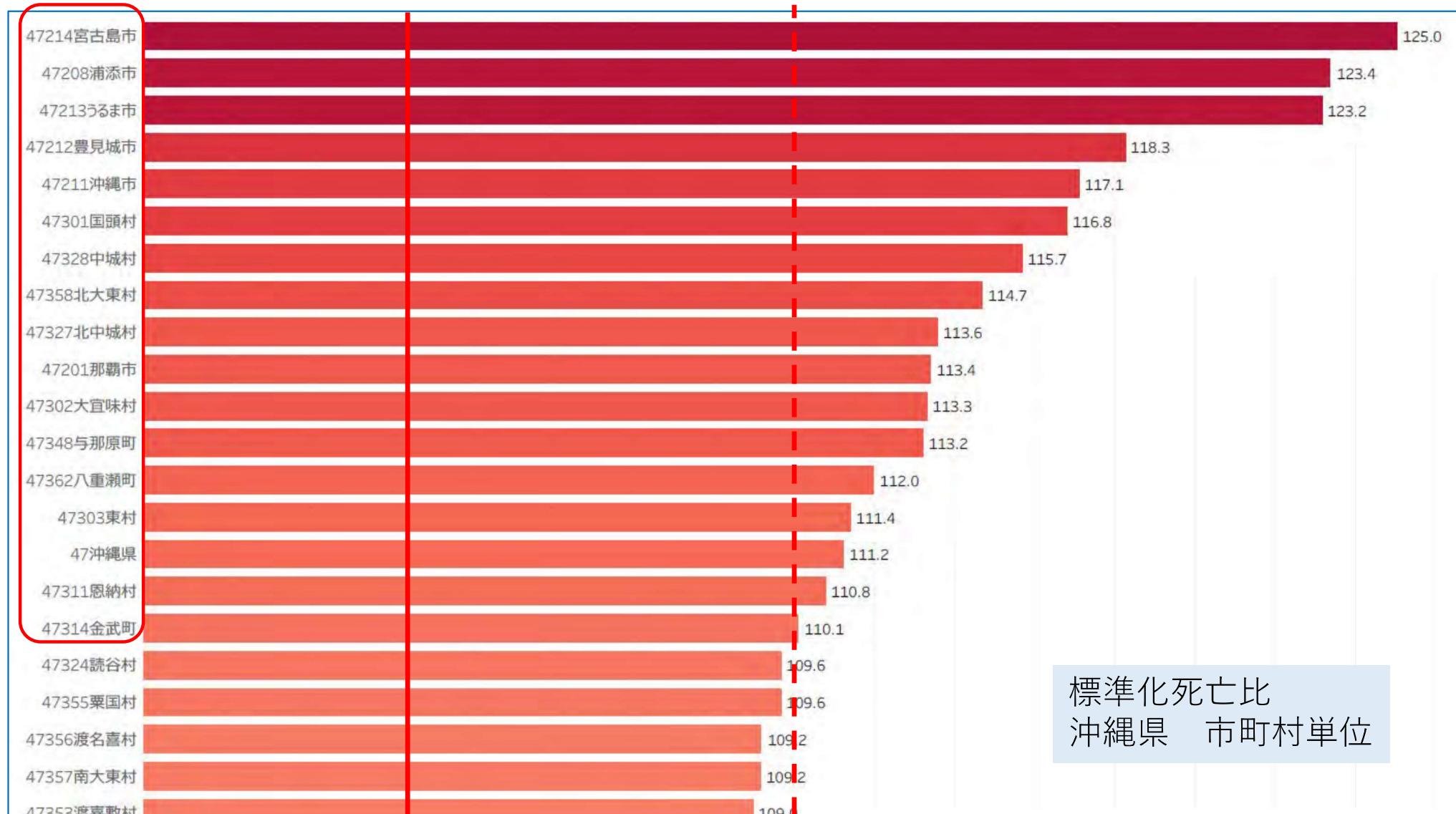
Id付地名	01_全死因 __男性	02_全死因 __女性	03がん総 数男性	04がん総 数女性	05がん腫 性男性	06がん胃 性女性	07がん大 腸男性	08がん大 腸女性	09がん肝 性男性	10がん肝 性女性	11がん肺 性男性	12がん肺 性女性
47327北中城村	88.3	71.9	83.3	80.7	44.9	44.7	113.6	82.0	59.8	75.4	86.1	79.8
47328中城村	92.8	75.7	87.3	91.6	57.5	50.3	115.7	97.3	77.0	69.2	97.3	76.4
47329西原町	84.7	82.4	80.6	89.8	53.6	51.4	107.6	90.3	63.5	85.0	84.0	97.1
47348与那原町	98.4	86.1	93.8	91.5	57.6	45.2	113.2	104.8	82.6	83.5	96.0	97.9
47350南風原町	84.8	79.9	76.0	86.6	49.0	52.3	103.4	70.7	67.5	71.1	74.3	85.7
47353渡嘉敷村	99.3	91.2	89.1	90.2	57.3	57.2	109.0	89.1	73.3	76.6	94.4	92.4
47354座間味村	101.7	99.8	92.0	90.0	54.9	53.1	108.6	89.0	73.0	66.4	93.9	97.7
47355栗国村	91.6	96.1	87.0	89.6	56.3	52.3	109.0	87.2	76.2	65.1	92.0	90.3
47356渡名喜村	100.3	94.1	90.9	90.3	55.1	53.5	109.2	89.9	77.8	67.0	98.5	93.3
47357南大東村	96.0	92.1	88.3	89.9	56.1	52.9	109.2	92.4	71.3	65.8	95.2	96.7
47358北大東村	101.8	91.6	92.1	91.5	57.6	53.6	114.7	90.2	77.9	67.3	95.0	99.2
47359伊平屋村	93.6	95.5	88.1	91.9	53.6	52.1	108.7	86.7	75.3	64.6	96.5	94.8
47360伊是名村	105.2	90.4	90.9	88.0	53.3	55.2	108.0	84.9	74.7	72.7	99.3	92.4
47361久米島町	99.9	95.5	91.8	92.0	60.4	53.6	108.2	83.5	63.6	80.4	94.8	99.3
47362八重瀬町	103.4	86.6	93.7	91.7	50.8	52.9	112.0	86.1	77.5	82.5	97.7	100.7
47375多良間村	102.9	96.1	93.6	90.3	58.5	52.4	106.9	87.4	71.5	65.1	95.5	106.2
47381竹富町	92.9	87.4	90.8	87.5	50.7	60.6	107.4	84.0	86.6	59.5	101.3	101.0
47382与那国町	100.2	100.7	91.3	89.2	58.0	56.4	108.5	87.3	75.1	65.0	96.5	95.3

出典：政府統計の総合窓口（e-Stat）人口動態統計特殊報告 / 平成25～29年 人口動態保健所・市区町村別統計、標準化死亡比（ベイズ推定値），主要死因・性・都道府県・保健所・市区町村別

前2ページの数値を、箱ひげ図で表示。高値、外れ値の地域が確認できる



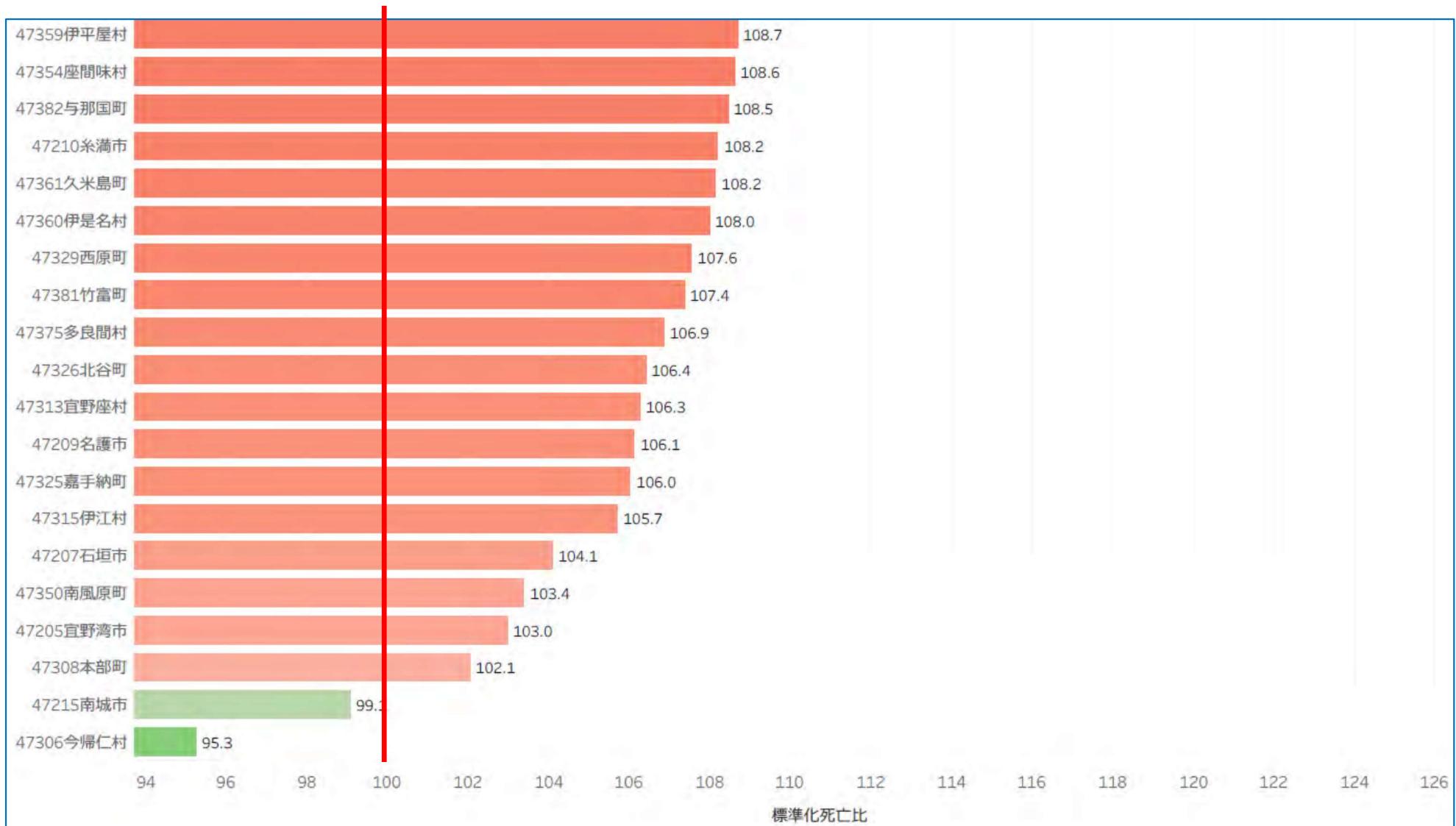
大腸がん 男



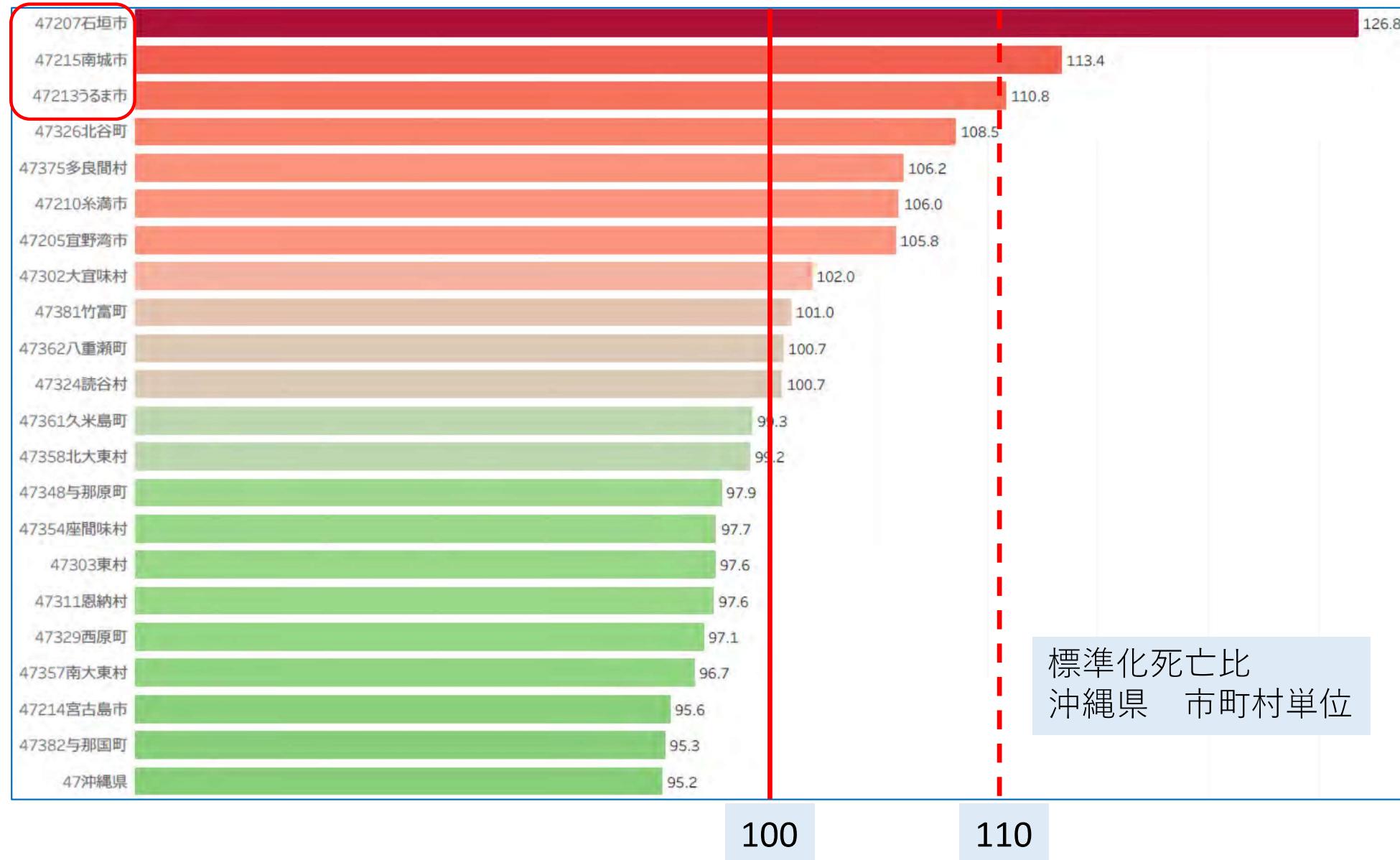
100

110

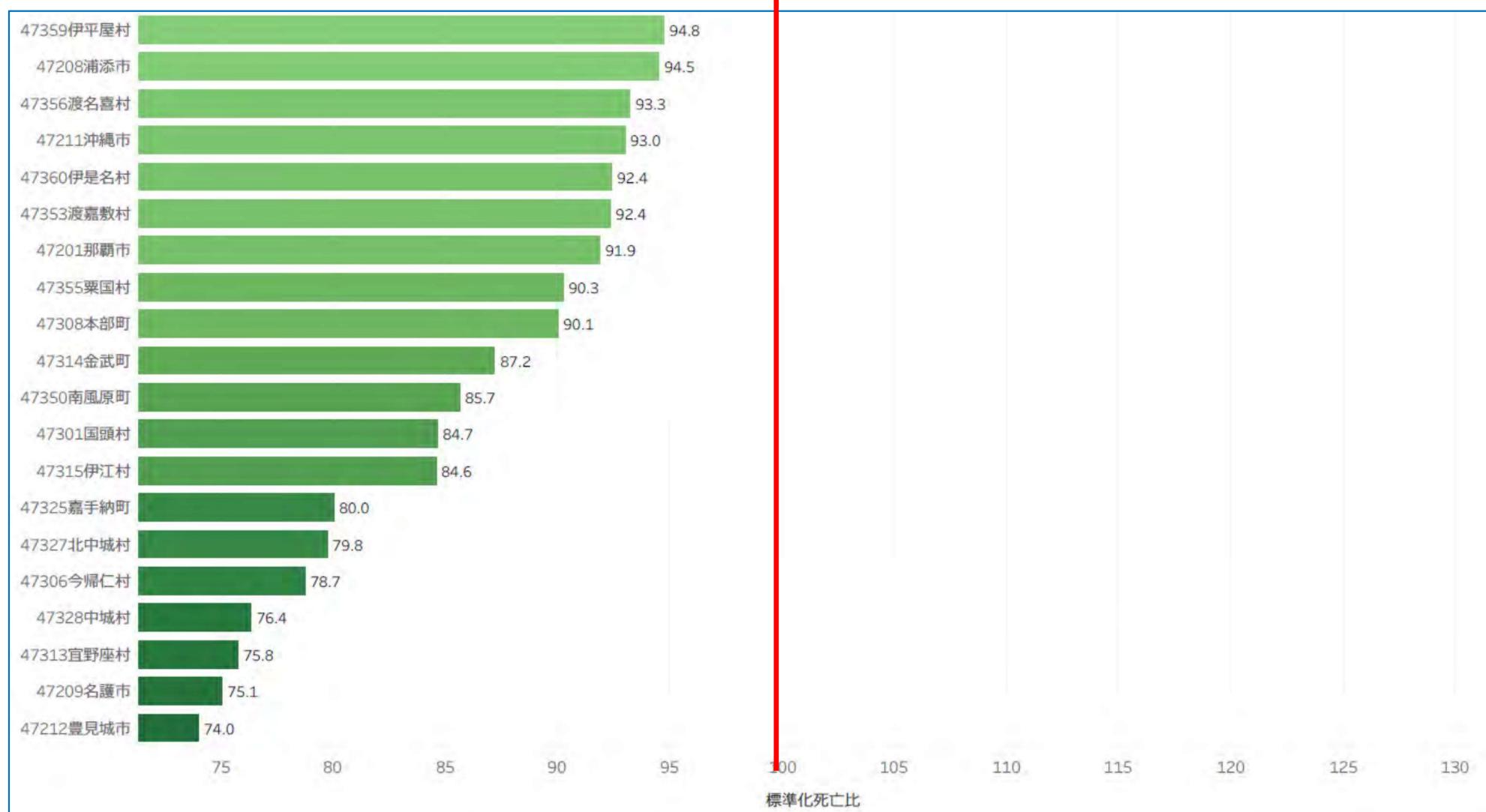
前ページ続き



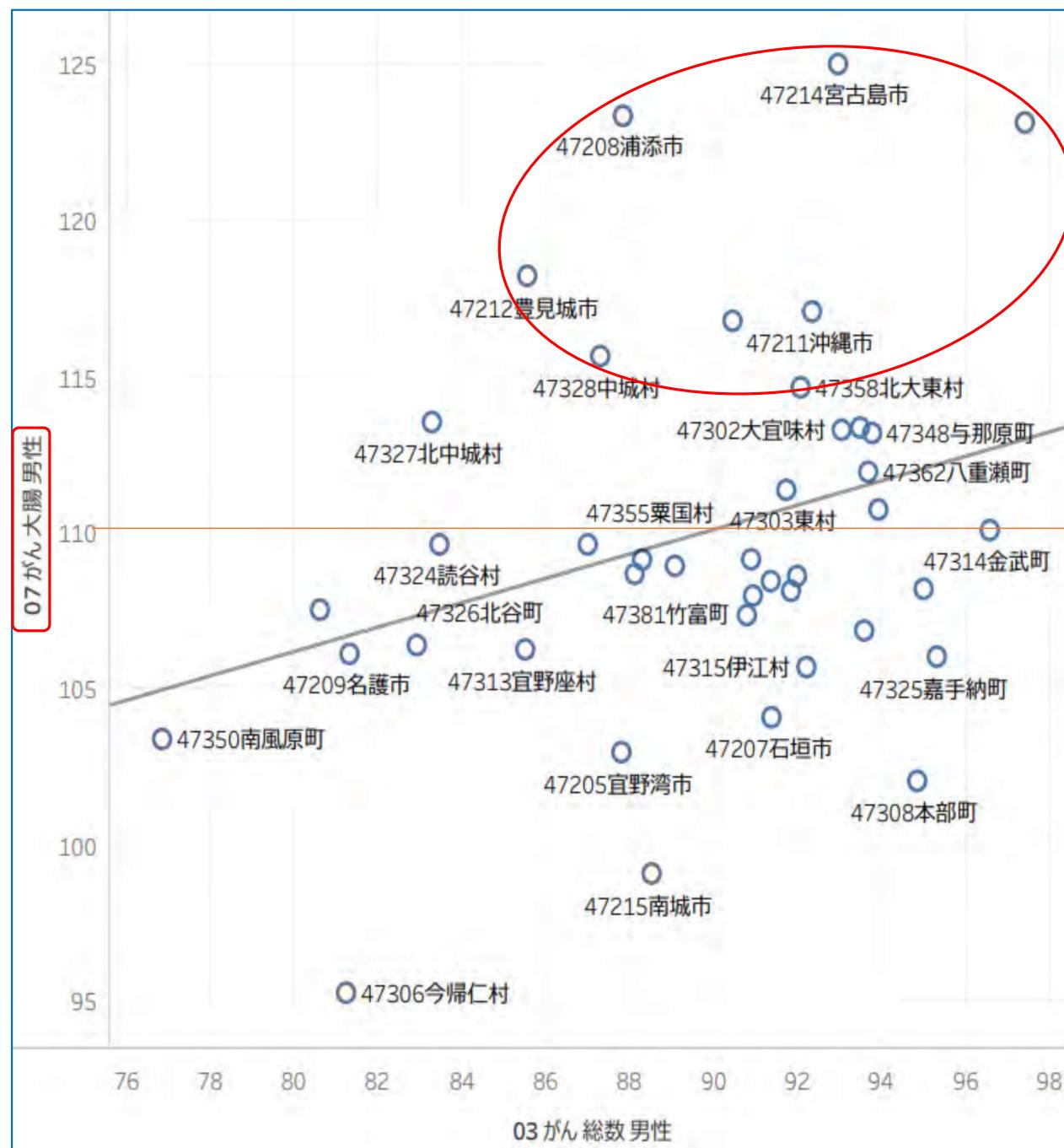
肺がん 女



前ページ続き

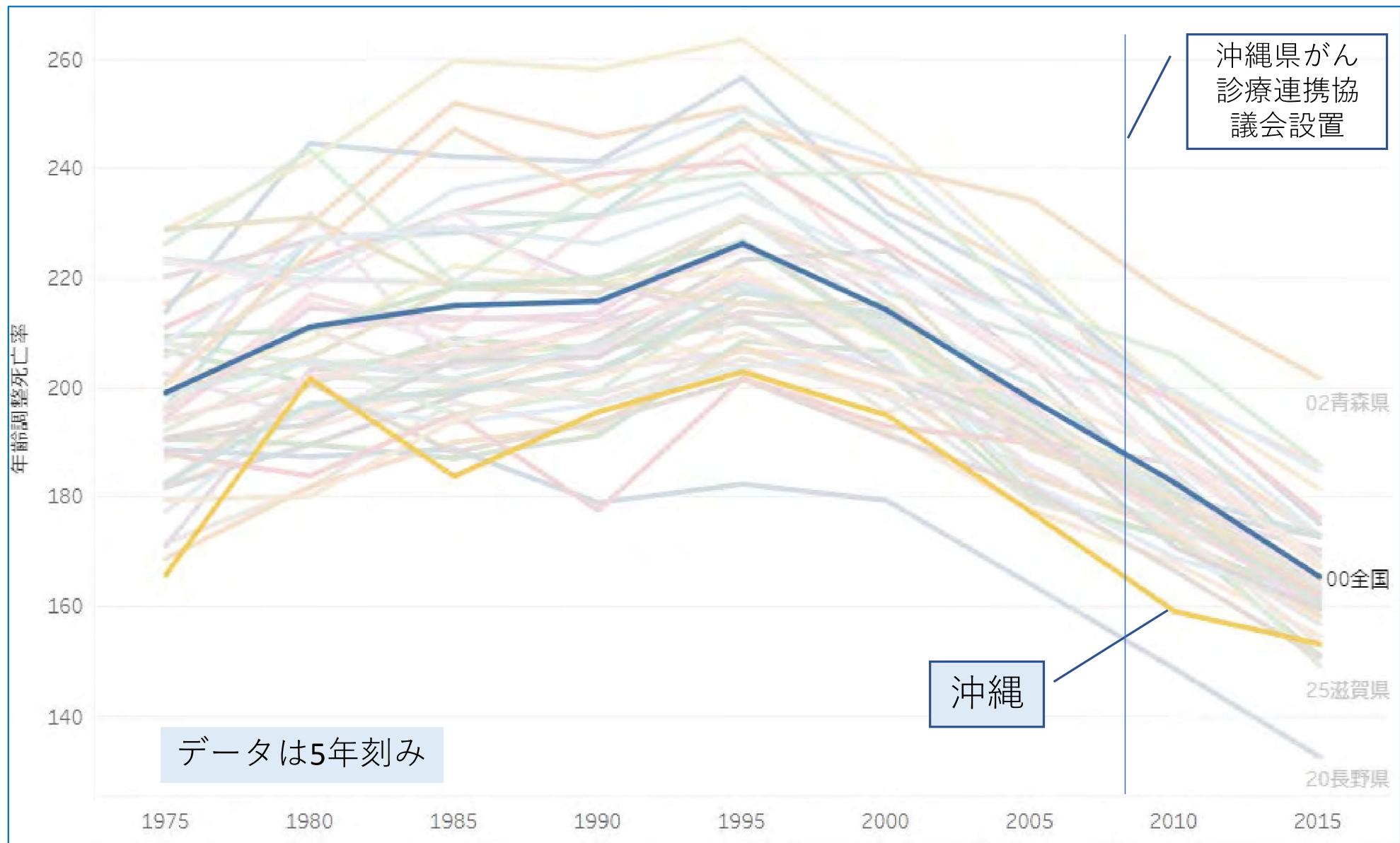


がん全体は少なめでも大腸がん（男）が特に高い地域があることに注意

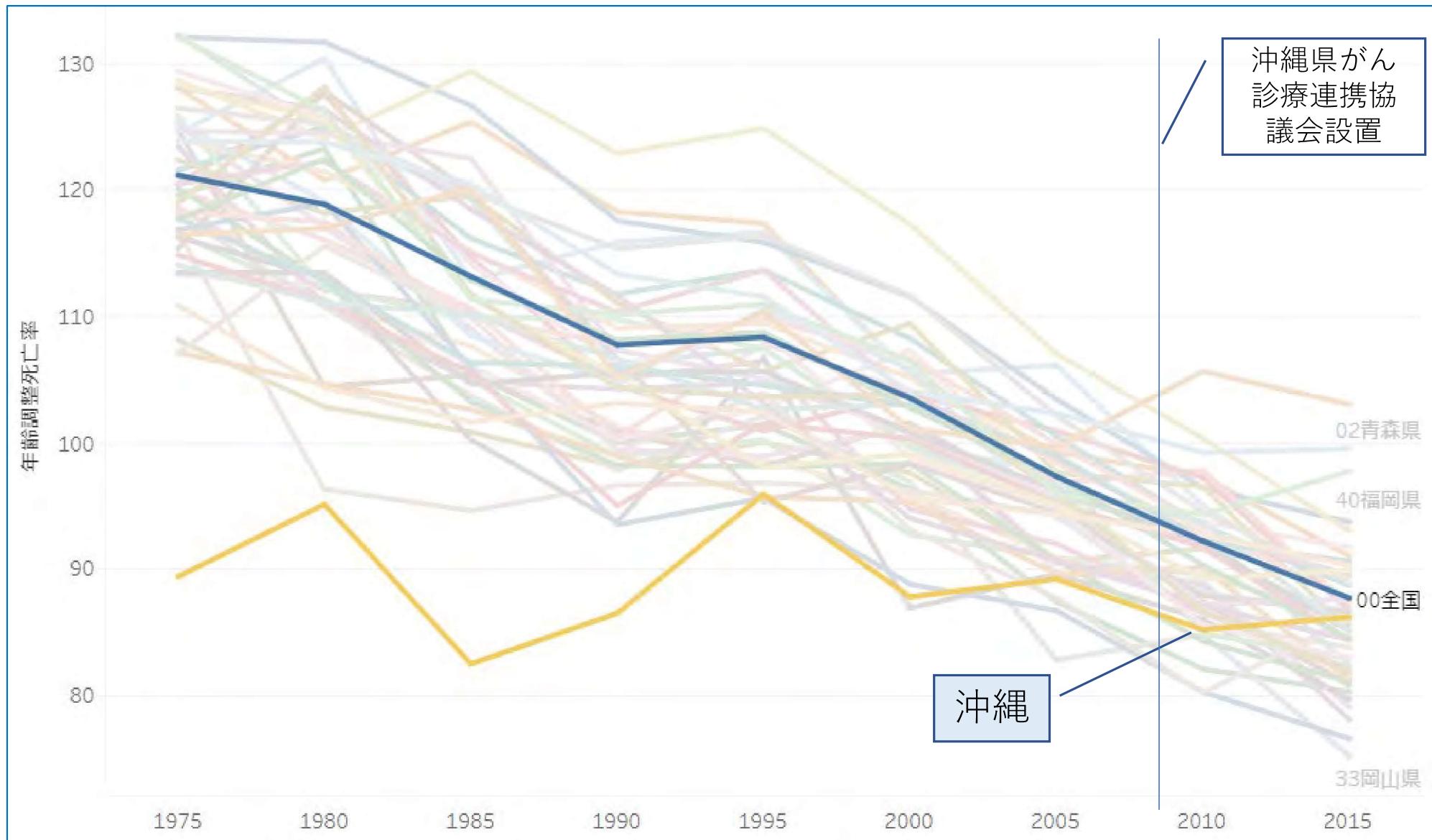


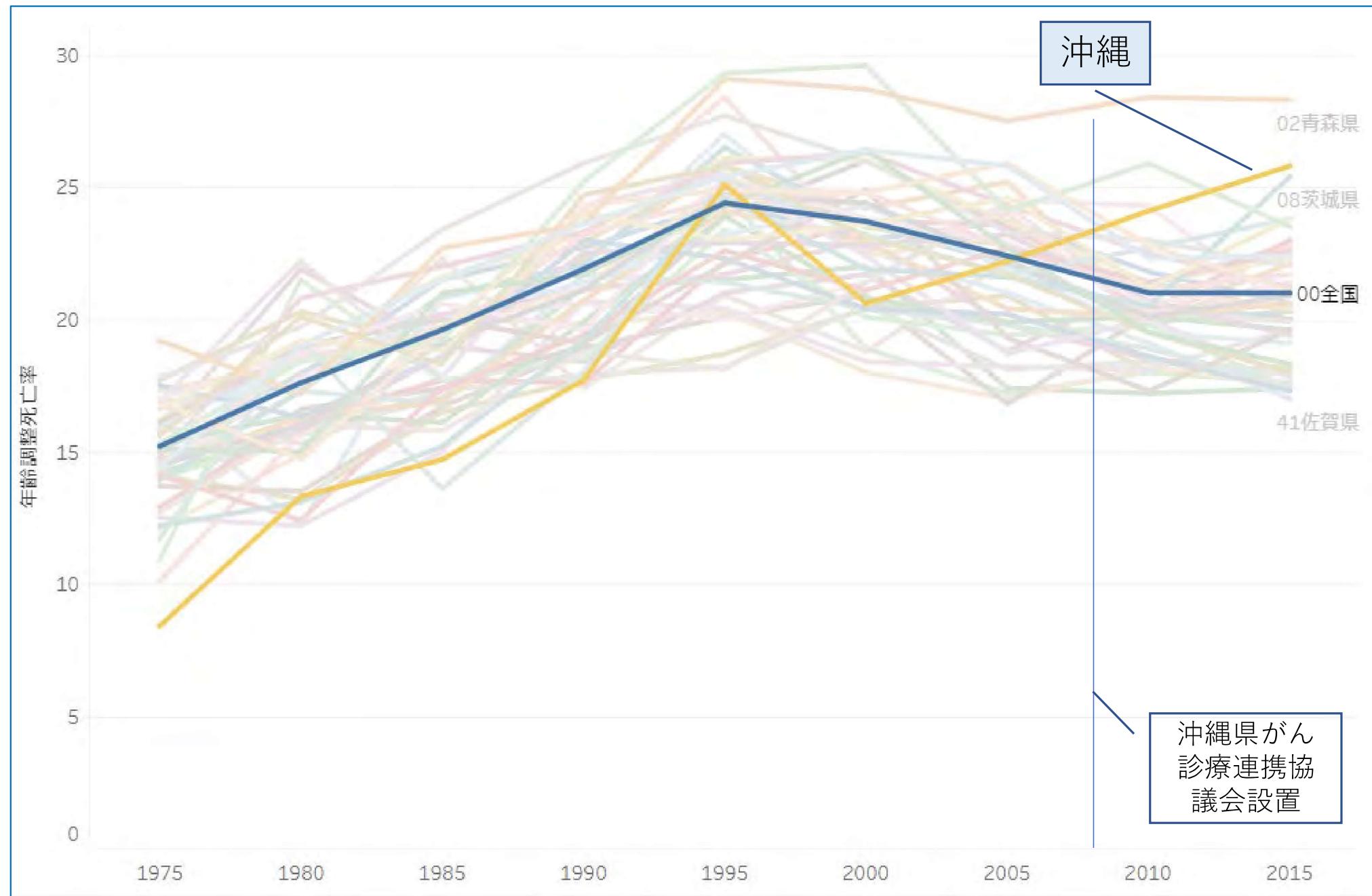
都道府県別 年齢調整死亡率 40年間長期動向

<2022年5月13日資料>

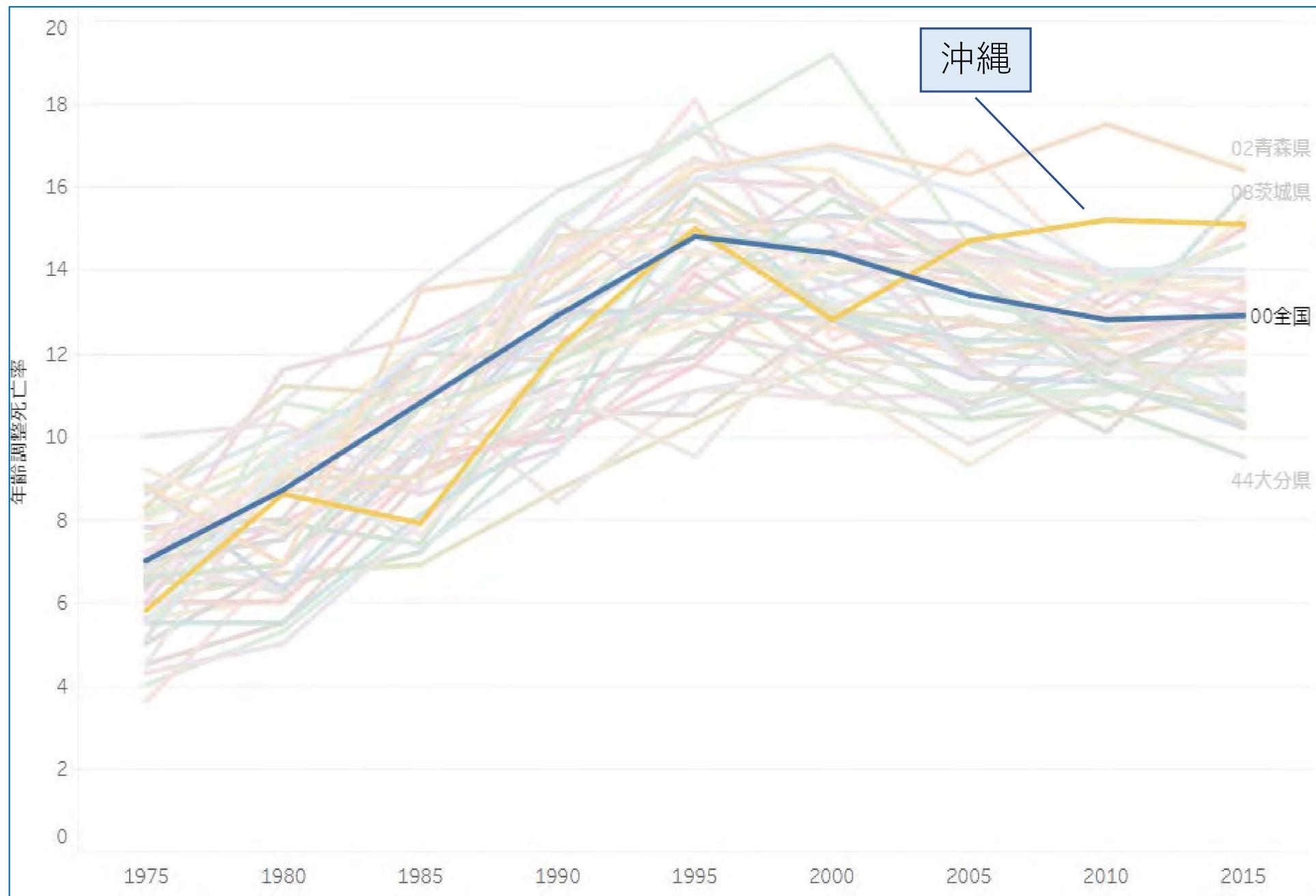


年齢調整死亡率40年推移 全がん（女）。急速に悪化。要因となっている部位の特定を

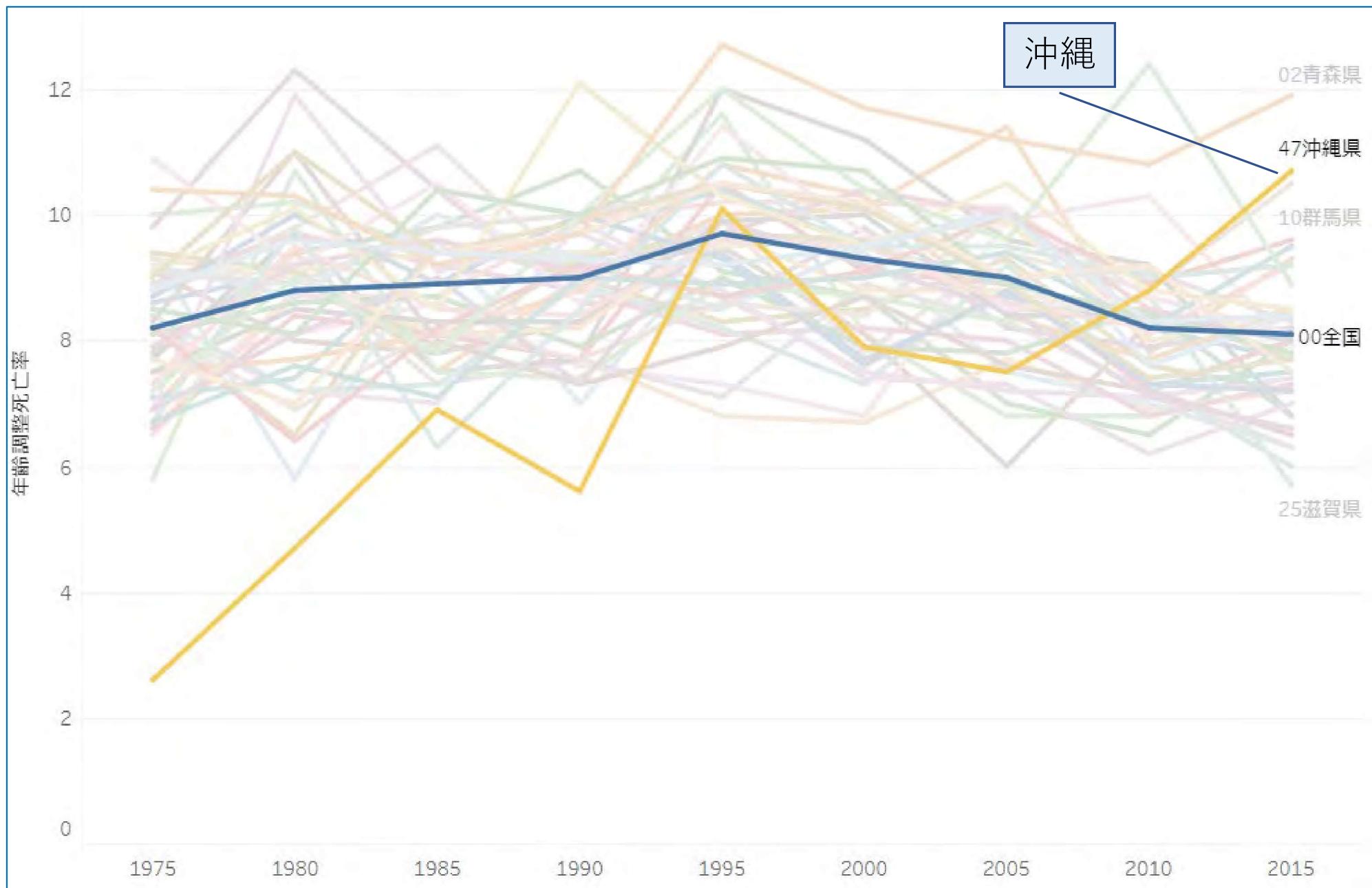




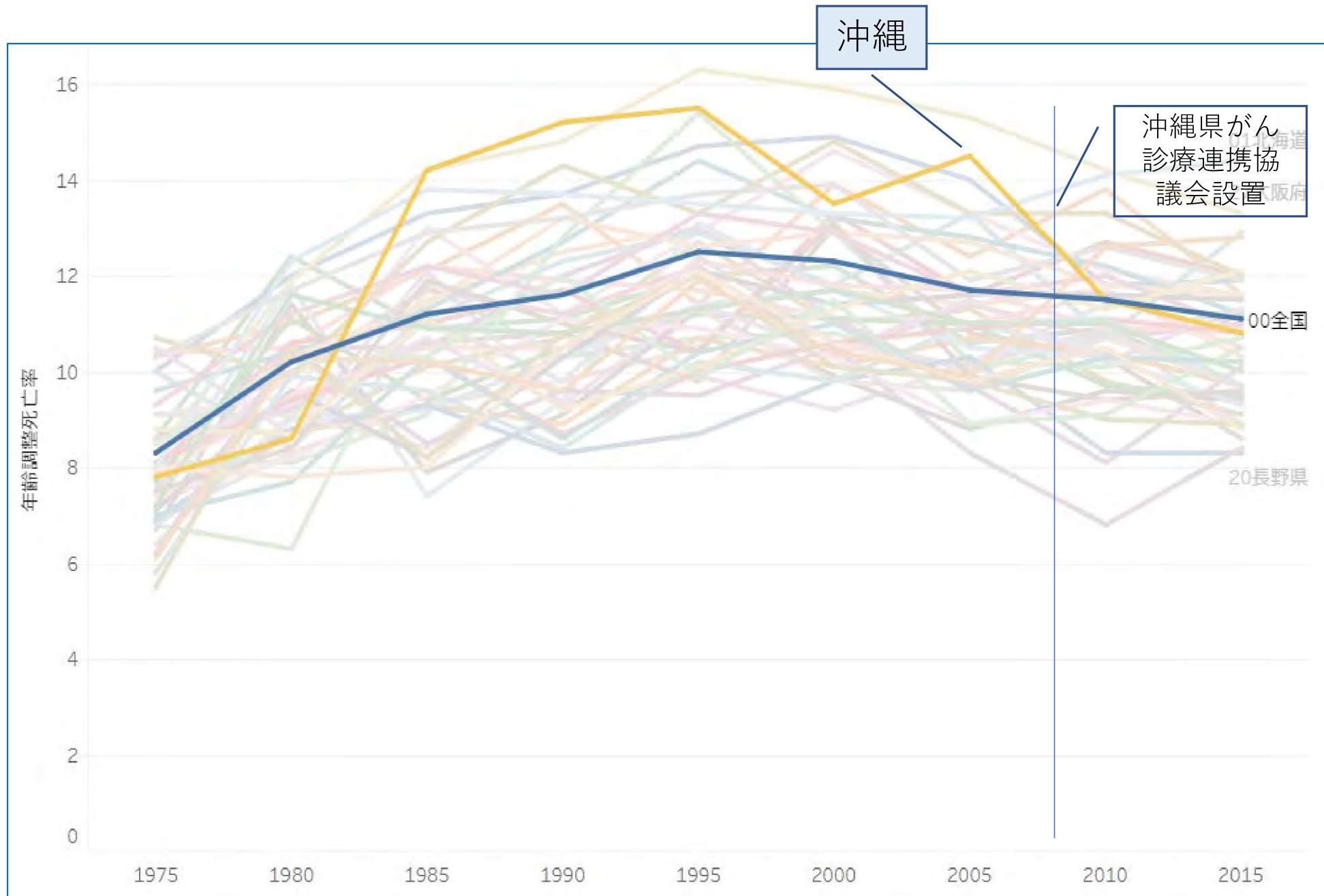
年齢調整死亡率40年推移 大腸がんのうち結腸がん（男）



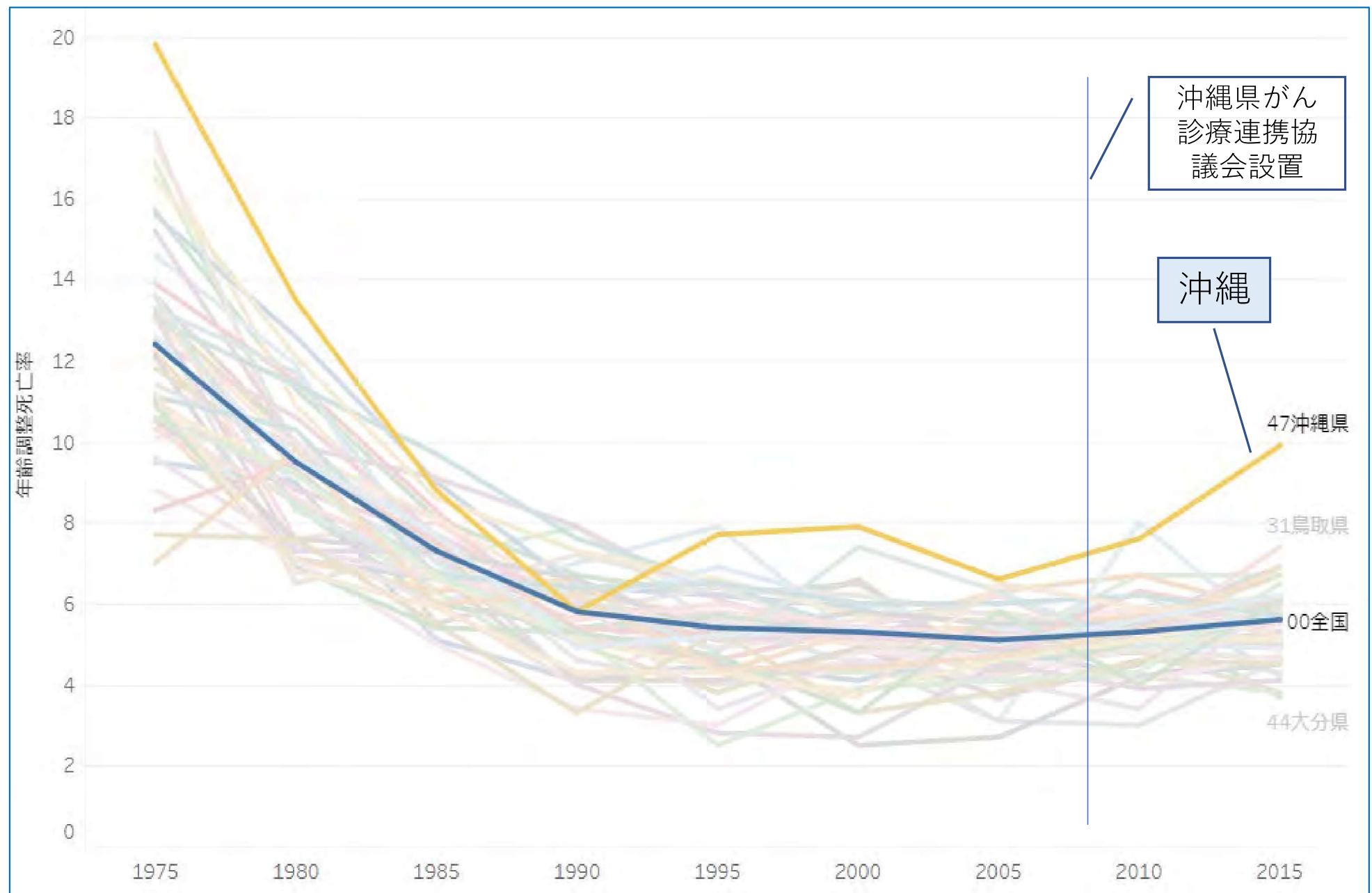
年齢調整死亡率40年推移 大腸がんのうち直腸がん（男）

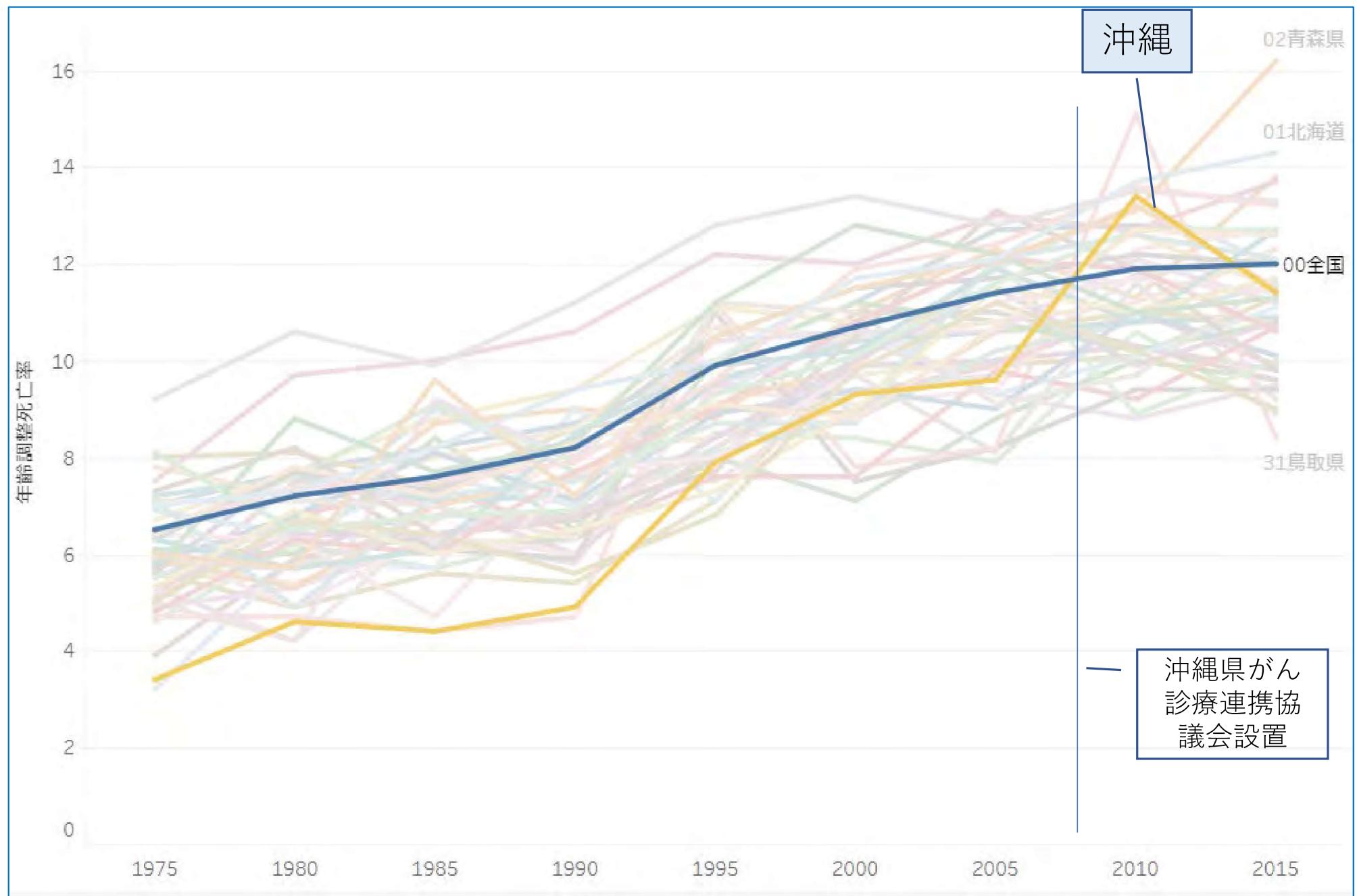


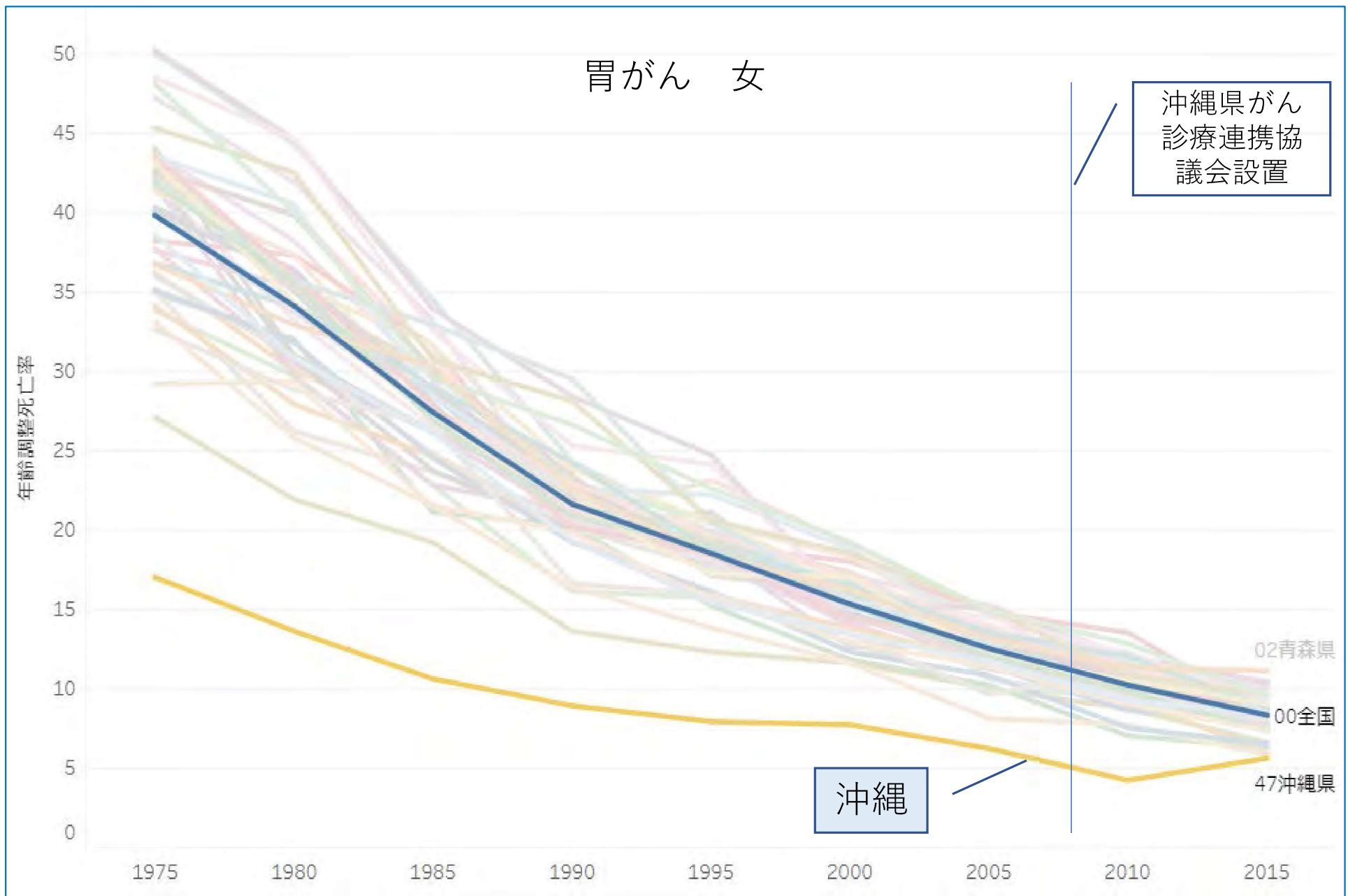
年齢調整死亡率40年推移 肺がん（女） 県全体では中位だが、高い医療圏が残る



年齢調整死亡率40年推移 子宮がん 全国値は下げ止まり。沖縄は増加

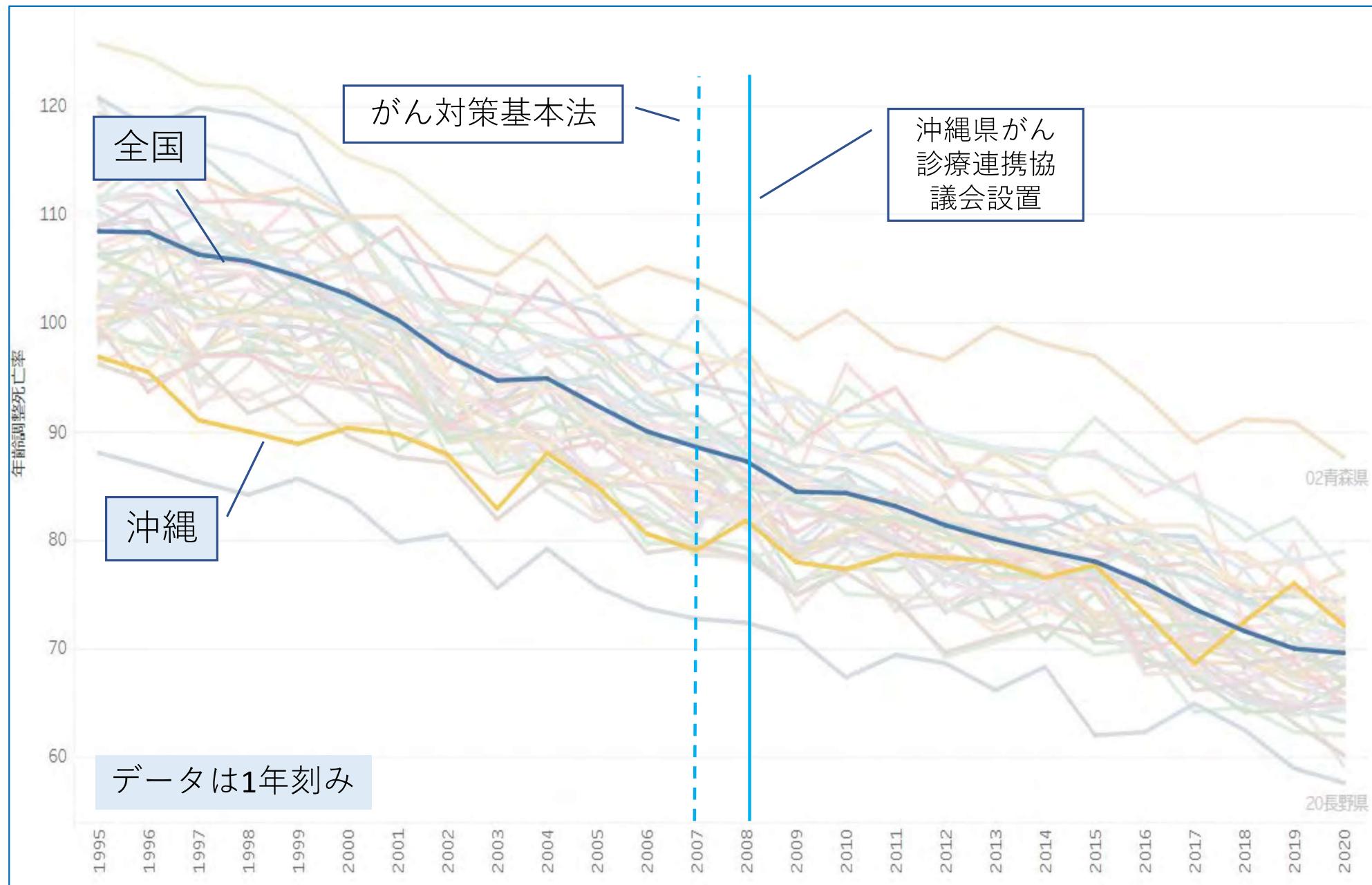


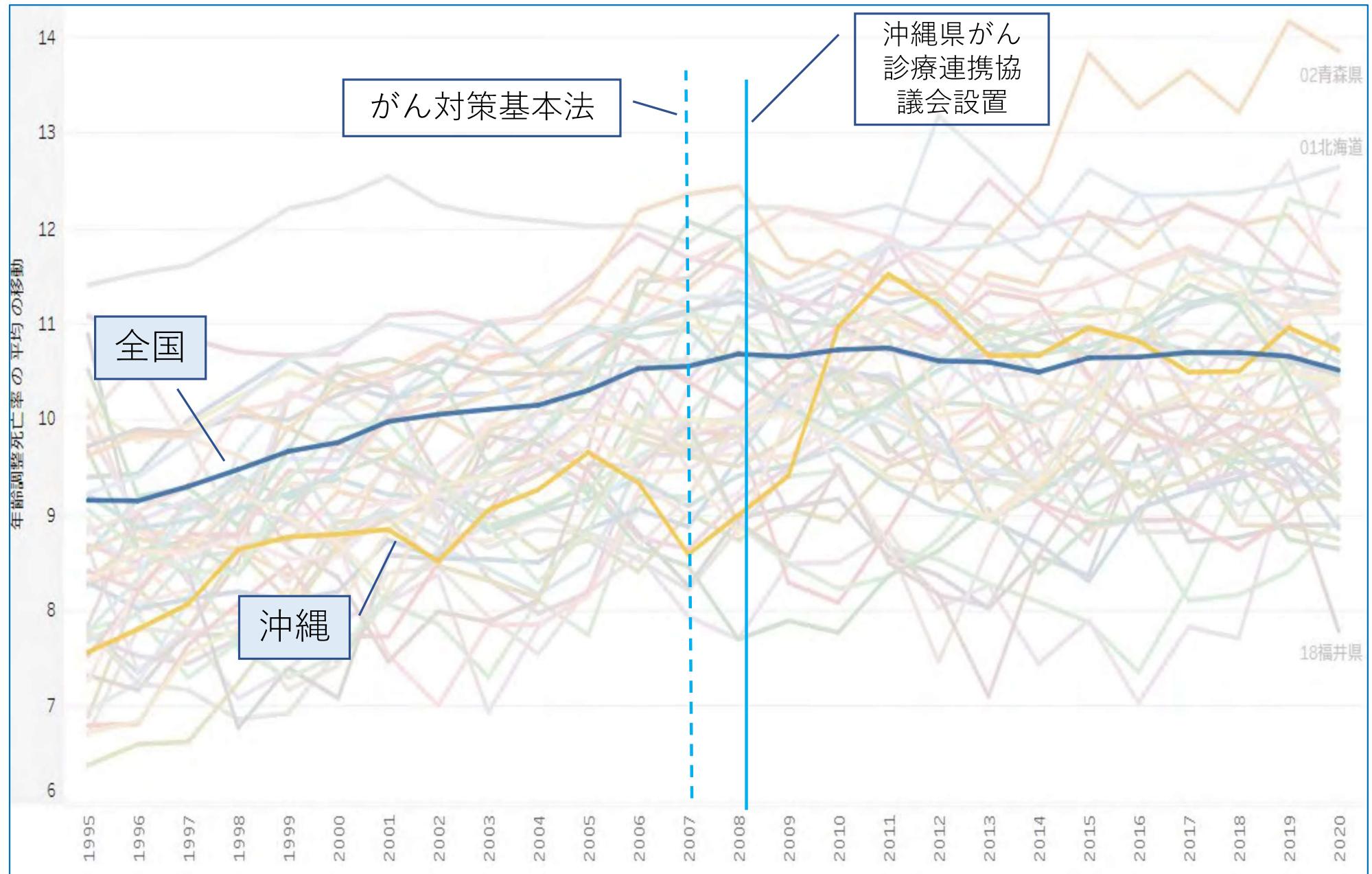


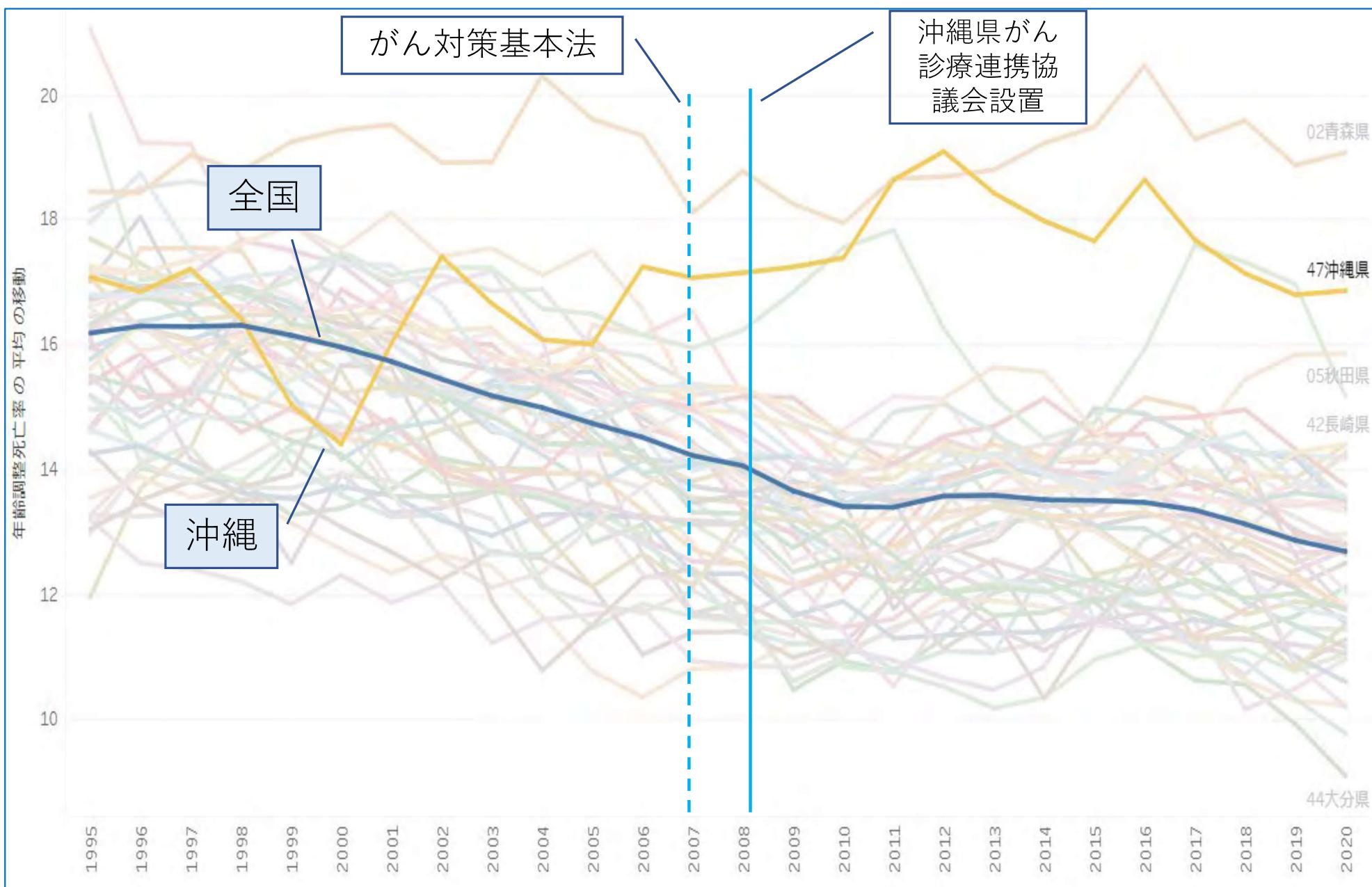


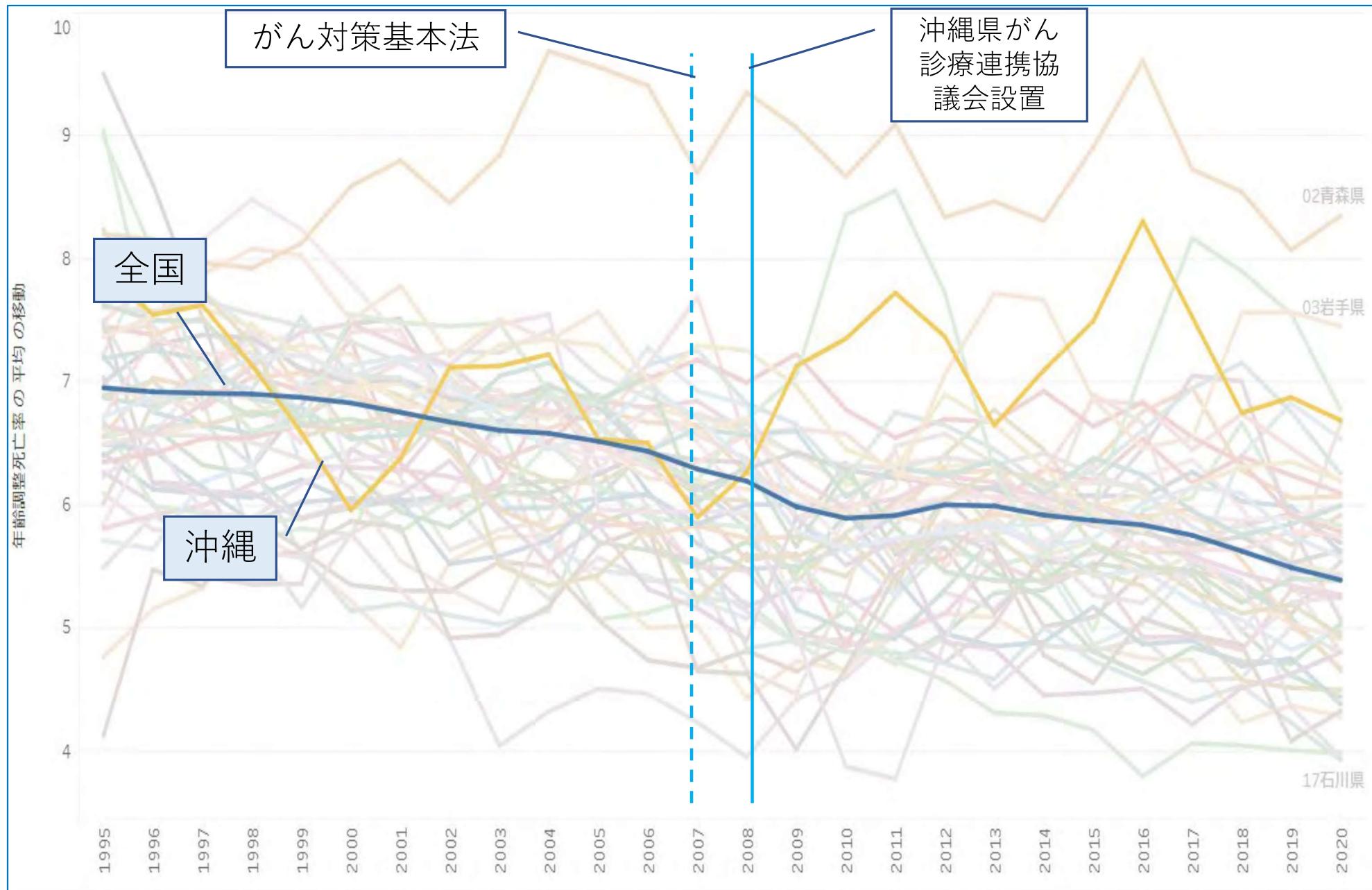
都道府県別 年齢調整死亡率 25年間長期動向

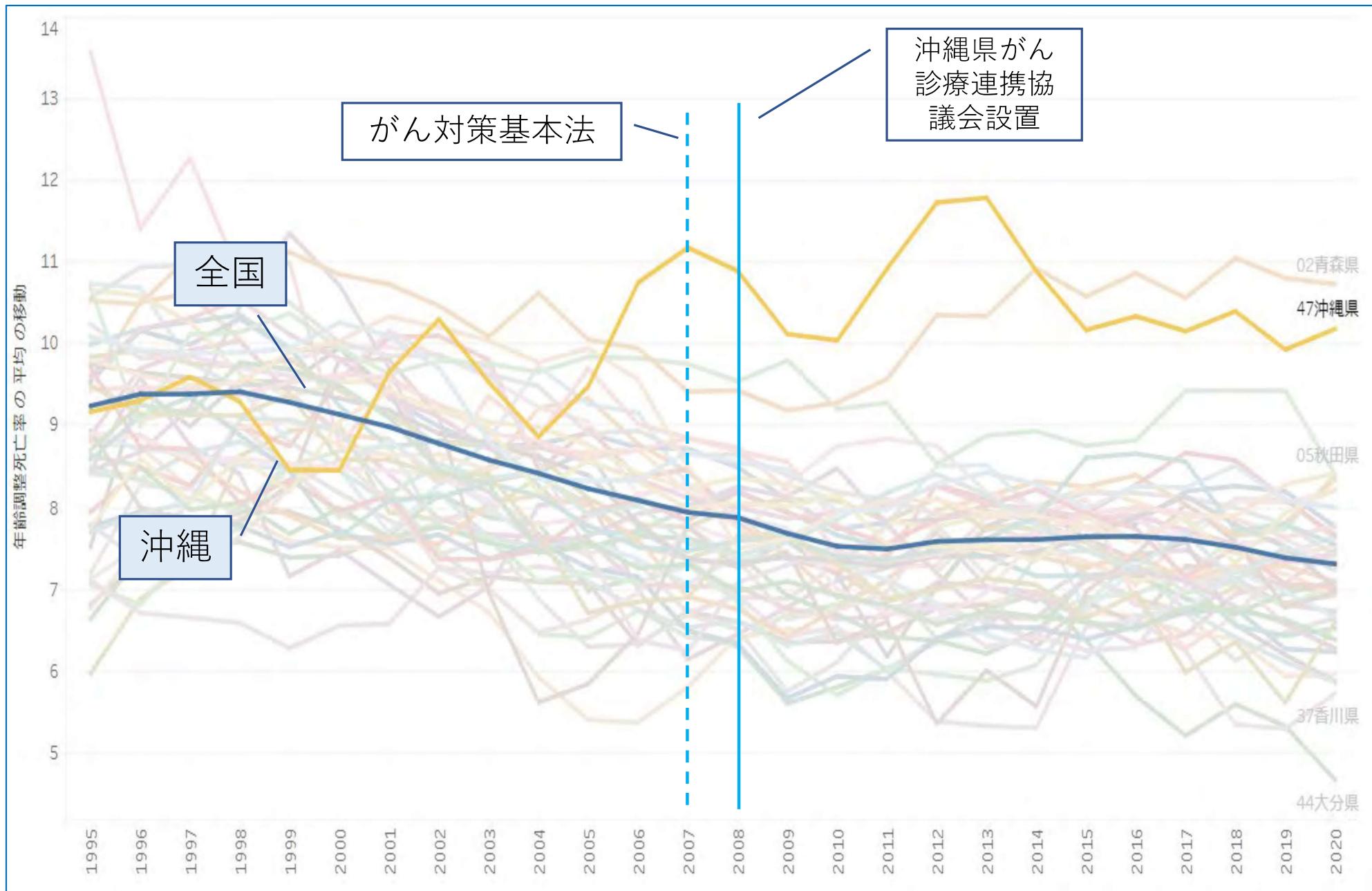
<2022年5月13日資料>

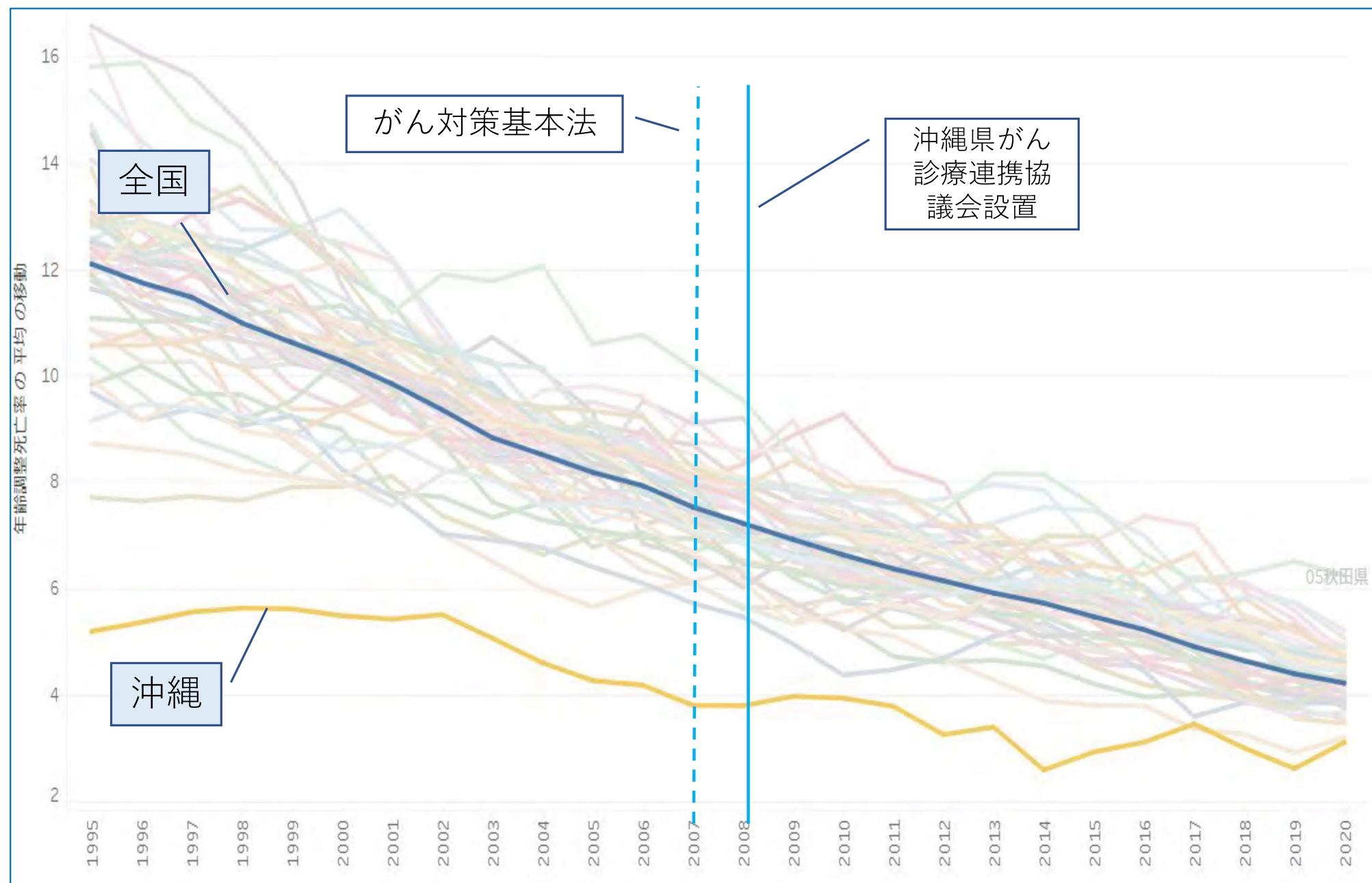






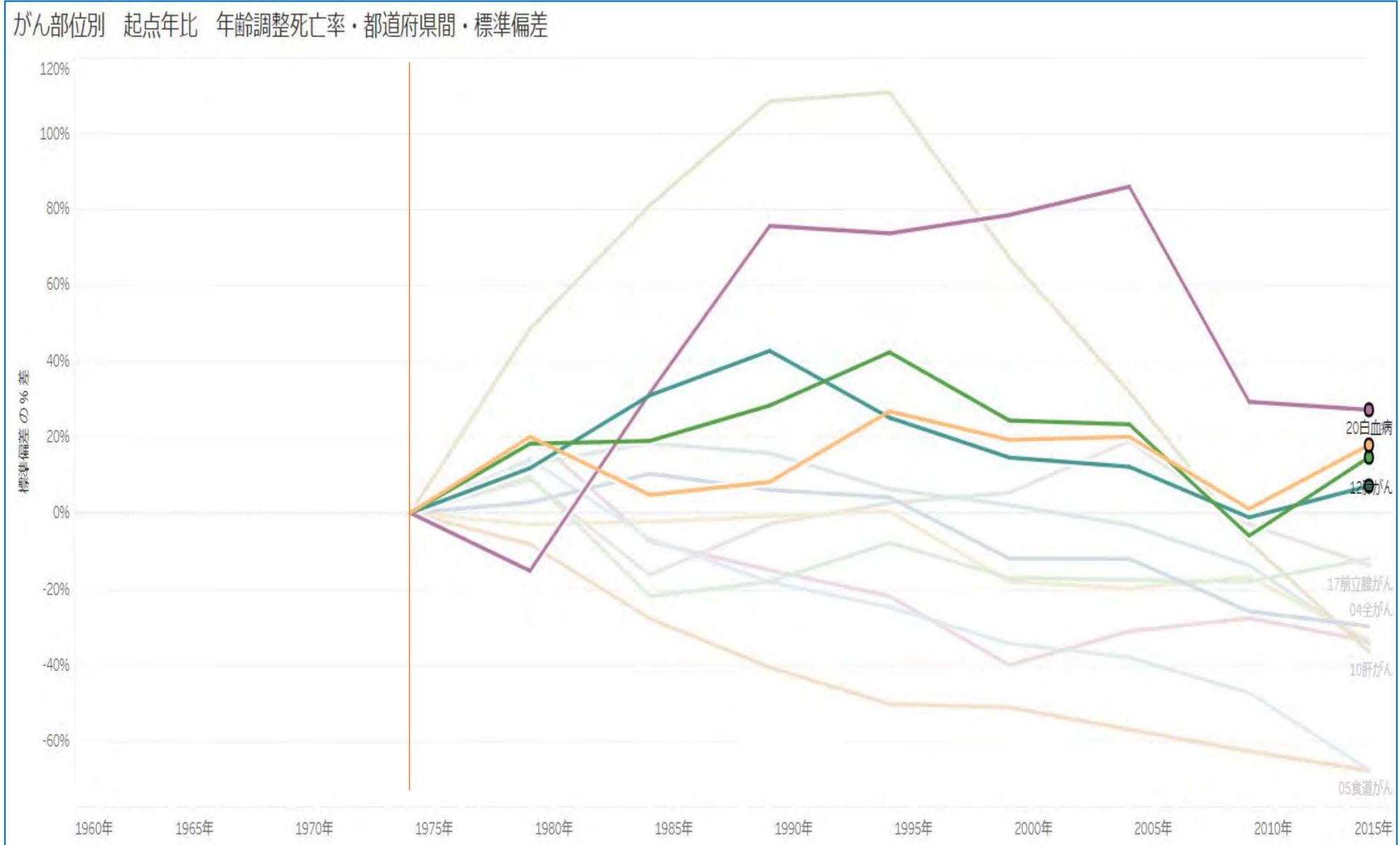






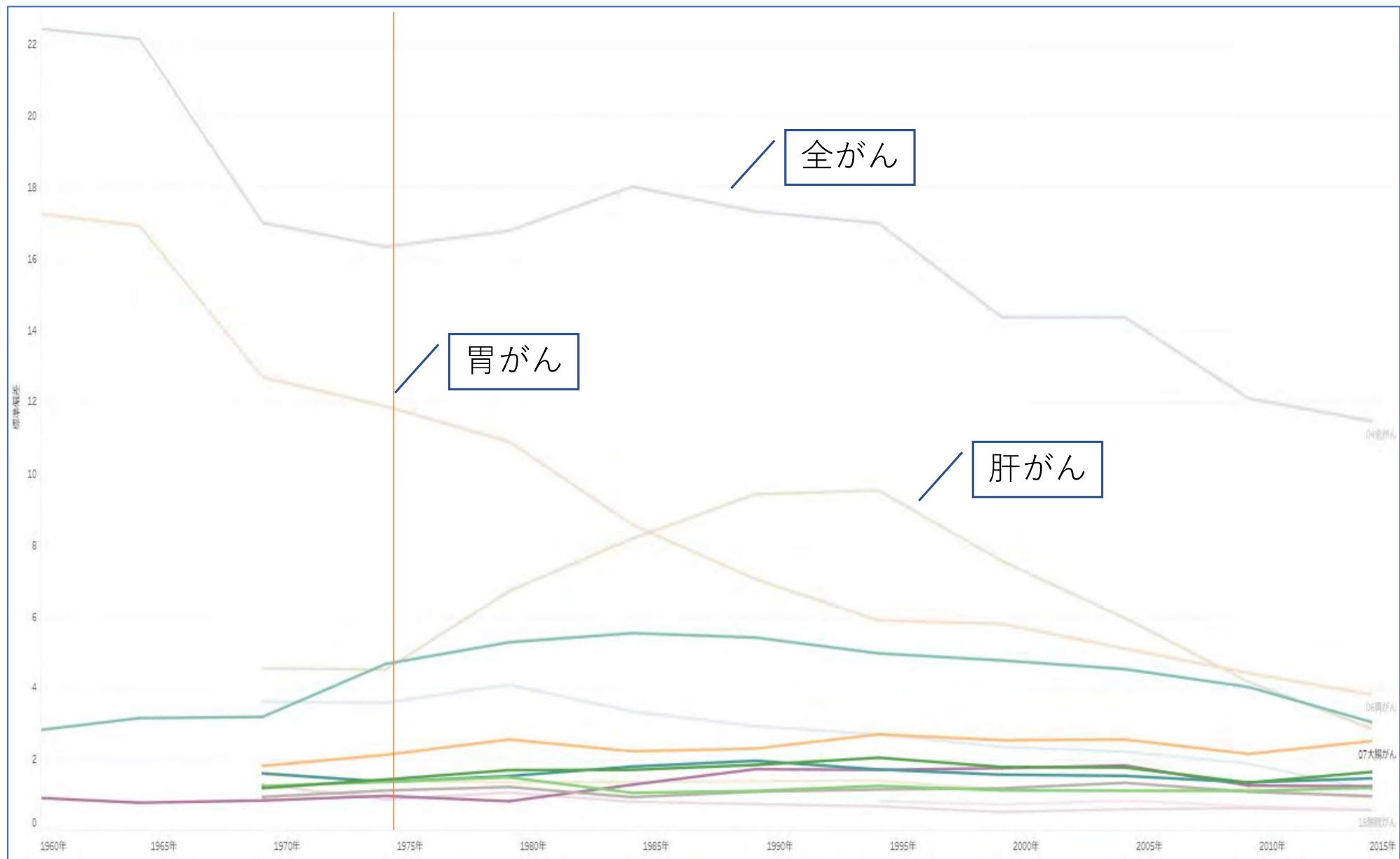
都道府県別
年齢調整死亡率
県間差
40年間長期動向

<2022年5月13日資料>



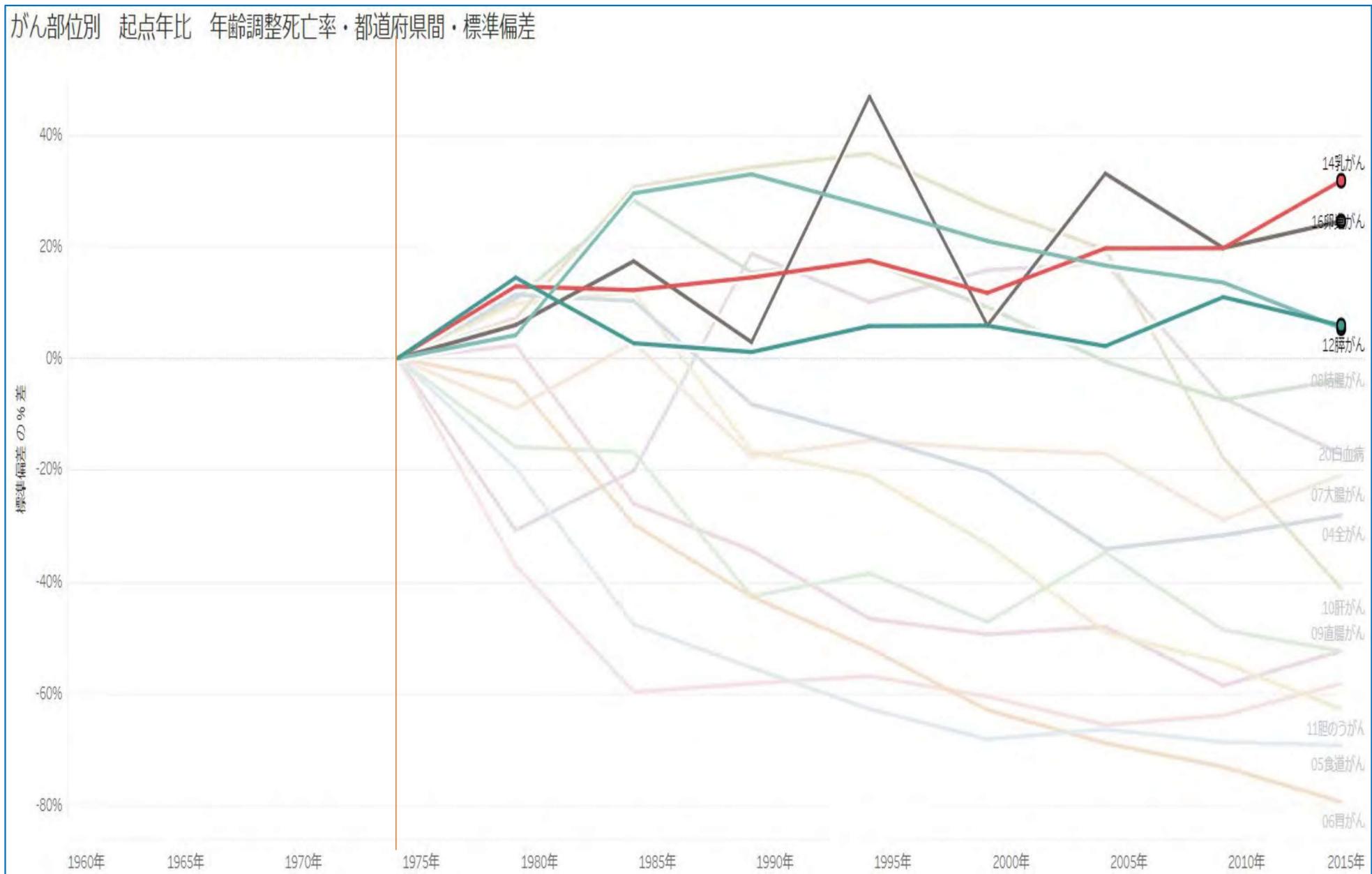
全がんより県間差縮小が小さい部位にマーク。白血病、大腸、前立腺、肺、膀胱

47都道府県間 標準偏差 部位別 男 55年推移 (1960-2015年)



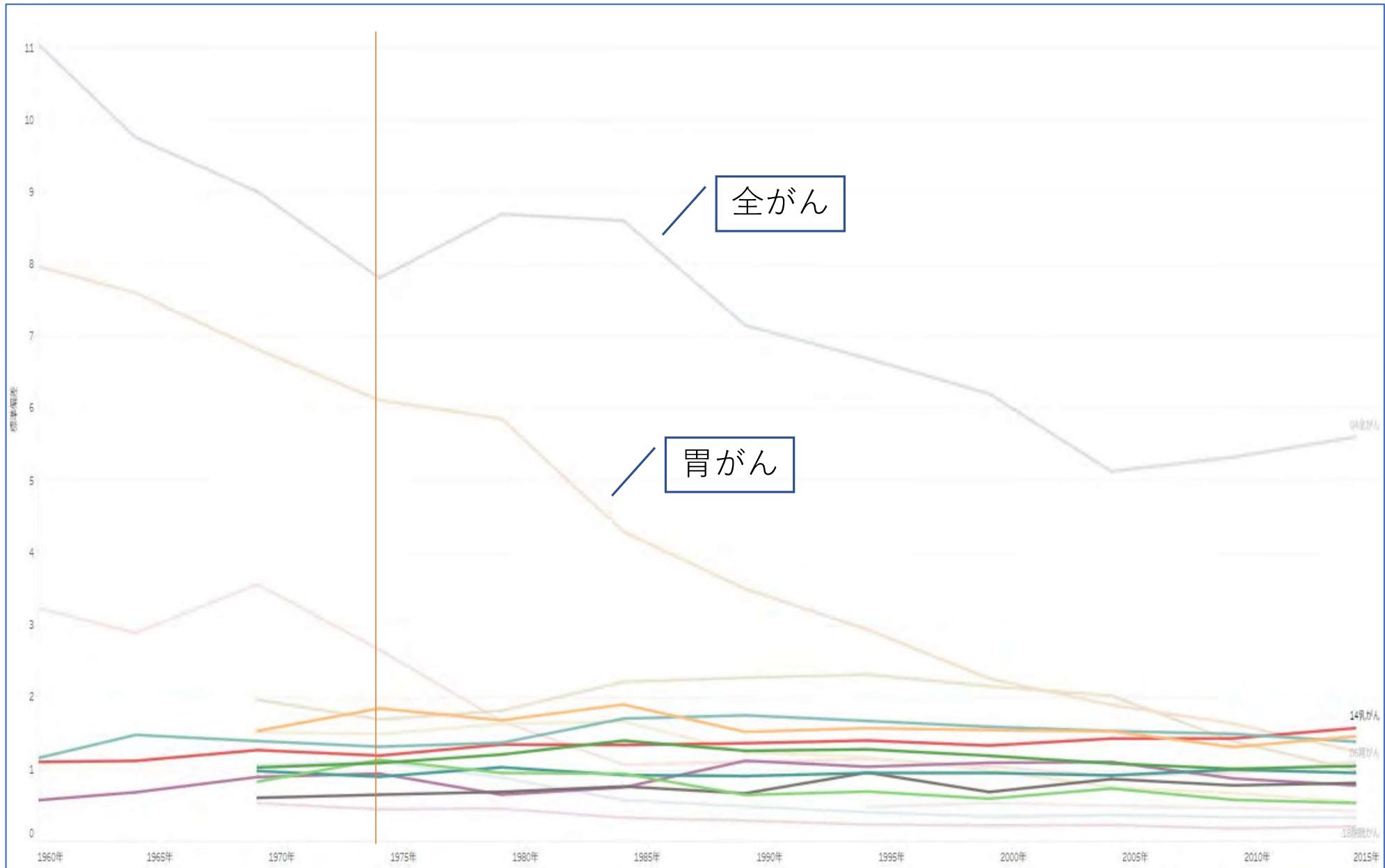
前ページにマークした部位にマーク。胃、肝のように縮小していない

47都道府県間 標準偏差 部位別 女 1975年比40年推移（1975-2015年）



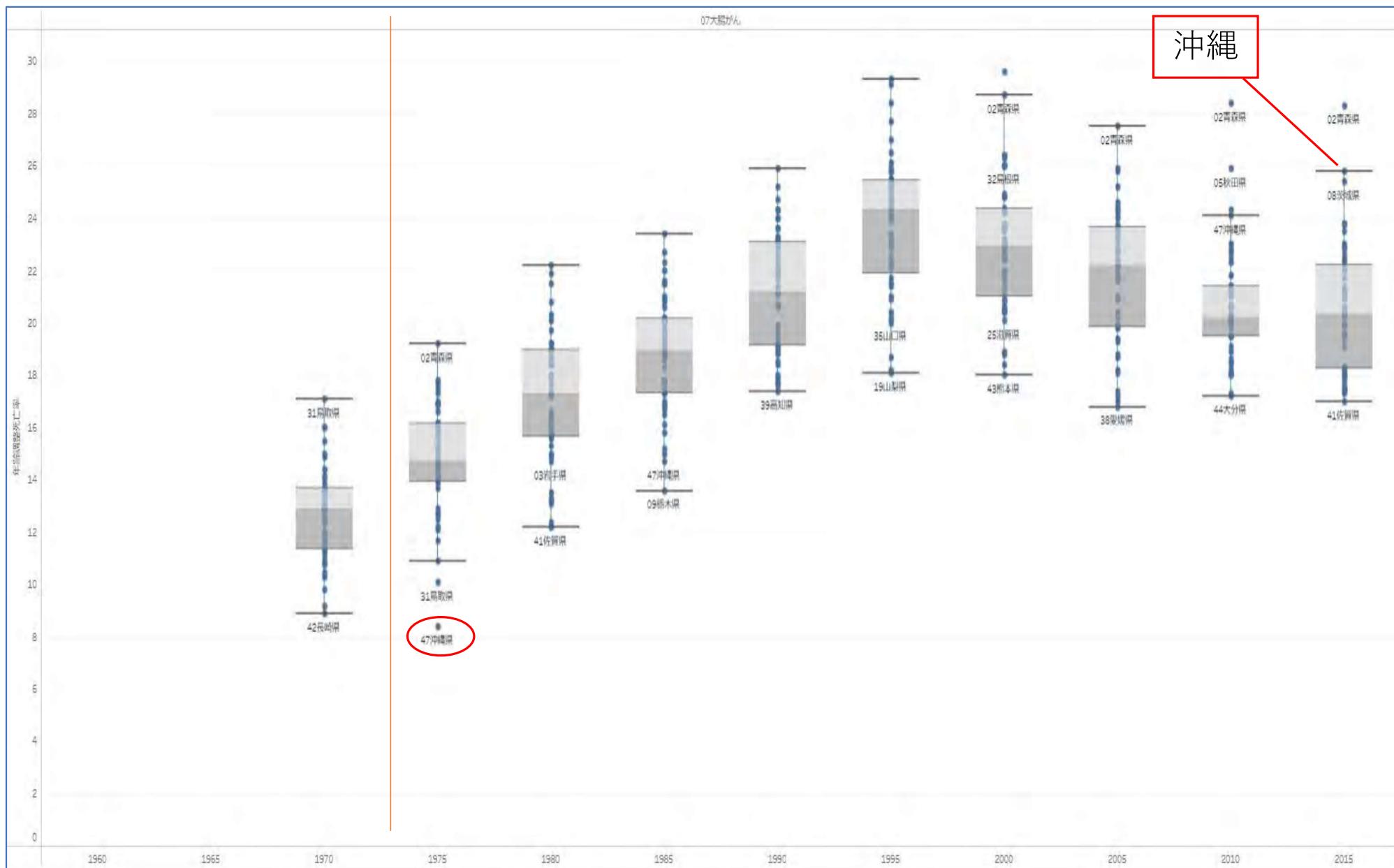
全がんより県間差縮小が小さい部位にマーク。乳、卵巣、肺、膵

47都道府県 標準偏差 部位別 女 55年推移 (1960-2015年)



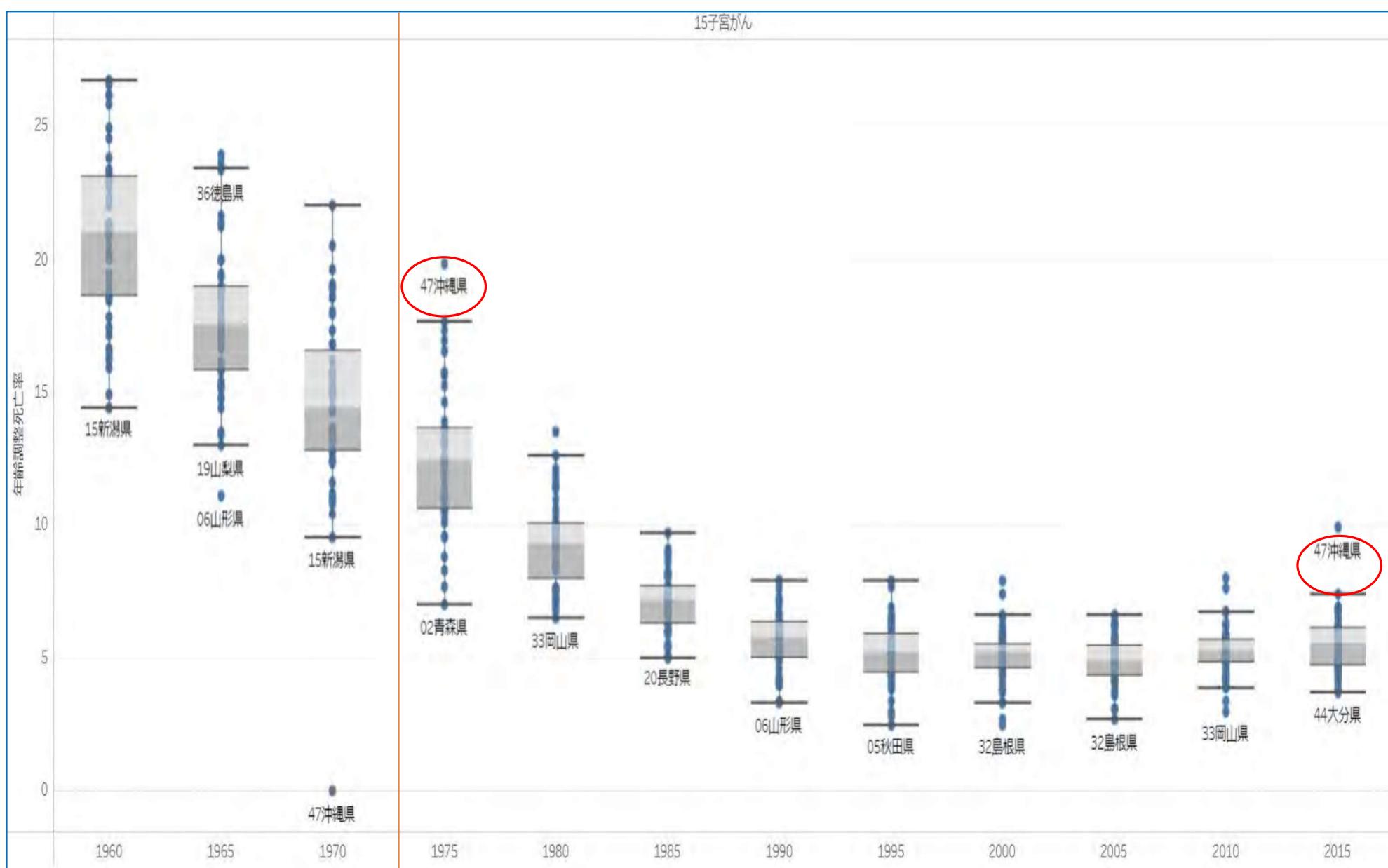
前ページにマークした部位にマーク。胃のように縮小していない

47都道府県 年齢調整死亡率 大腸がん（男）45年推移（1970-2015年）箱ひげ図



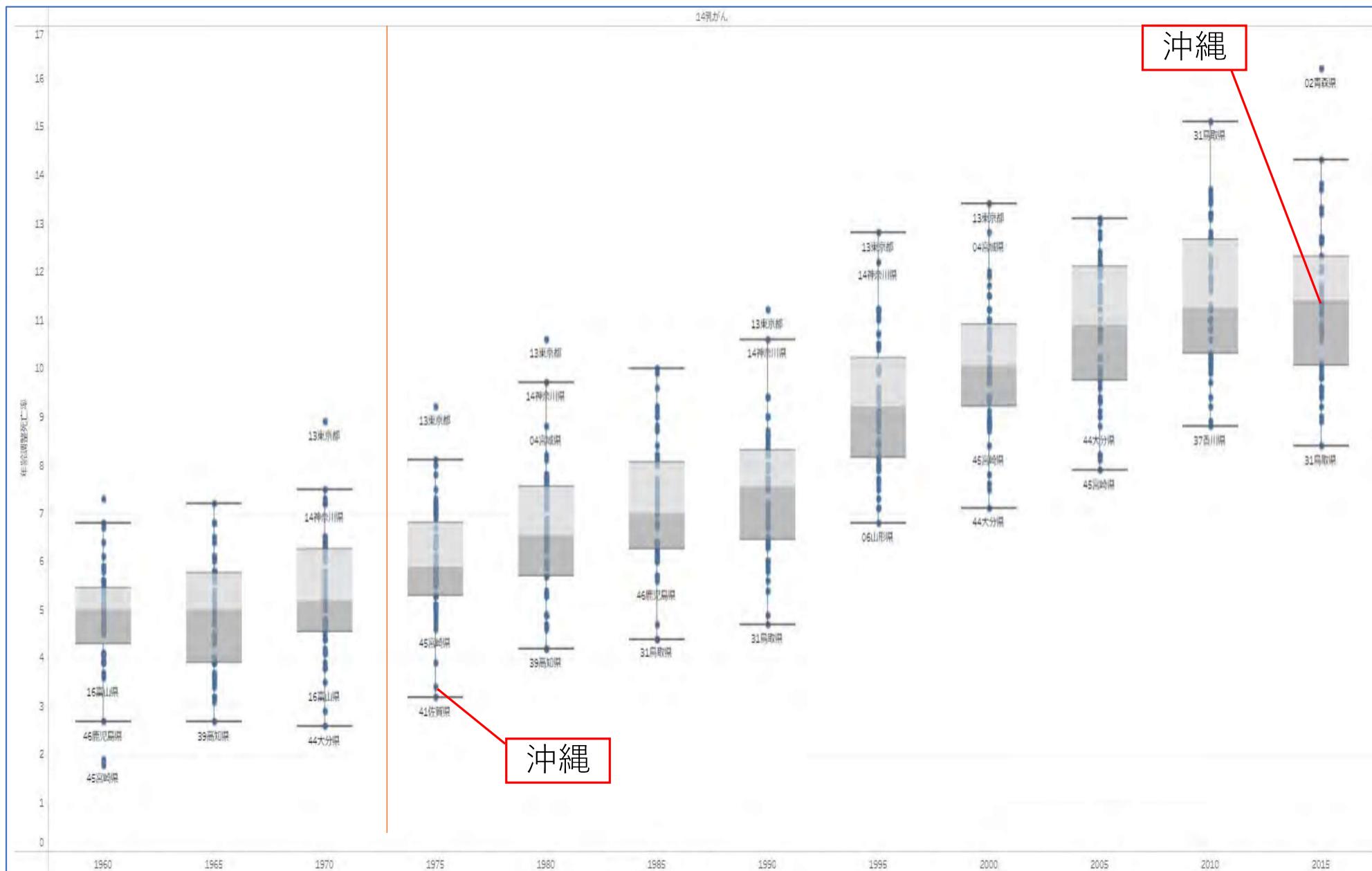
死亡率上昇後緩やかな下降。県間差縮小わずか。沖縄はベストからワースト2へ

47都道府県 年齢調整死亡率 子宮がん 45年推移（1970-2015年）箱ひげ図



リバウンドぎみ。沖縄は1975年も2015年もワースト

47都道府県 年齢調整死亡率 乳がん 55年推移（1960-2015年）箱ひげ図

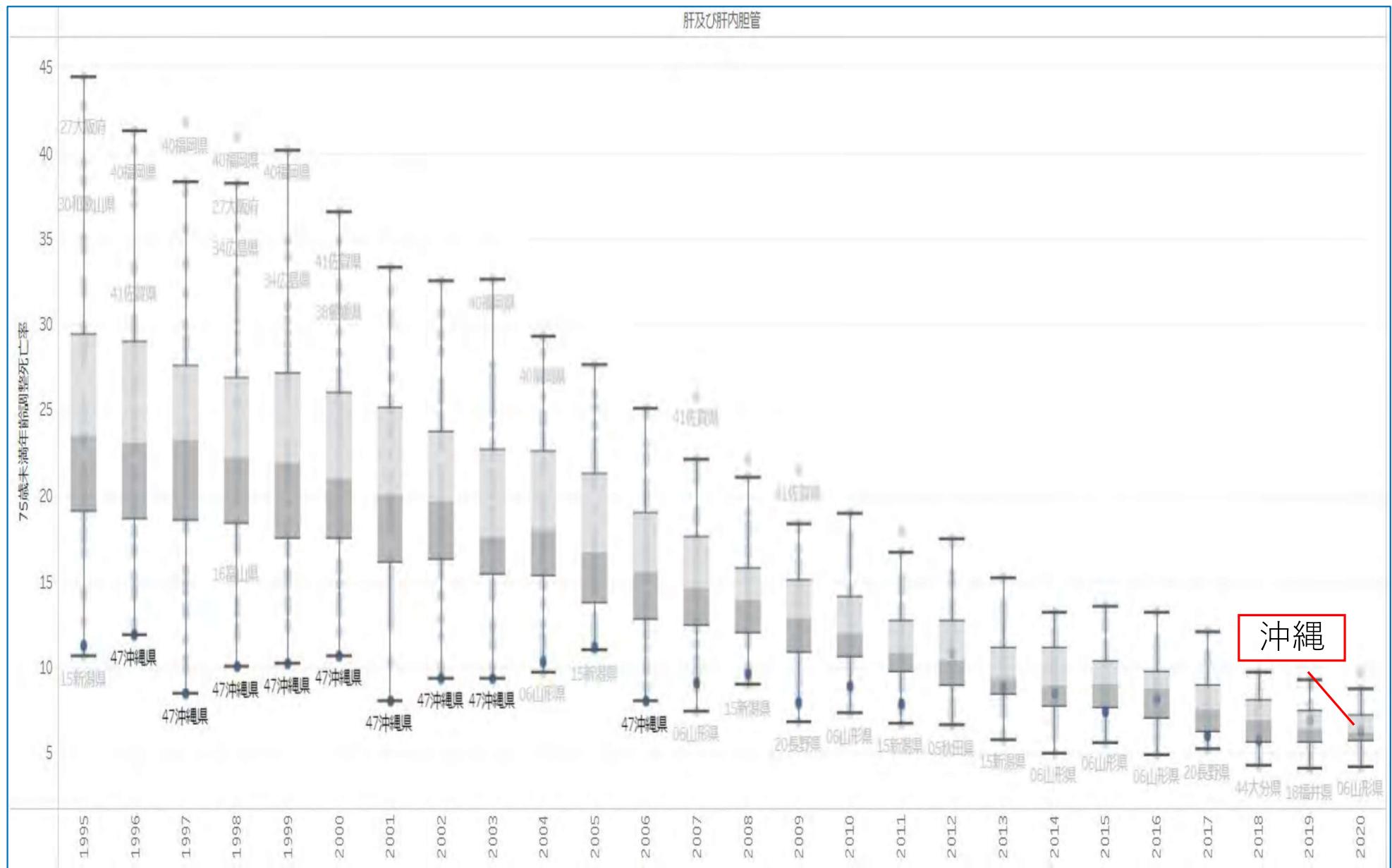


死亡率は上昇、県間差は縮小なし。沖縄はベストクラスから中位へ

都道府県別
年齢調整死亡率
県間差
25年間長期動向

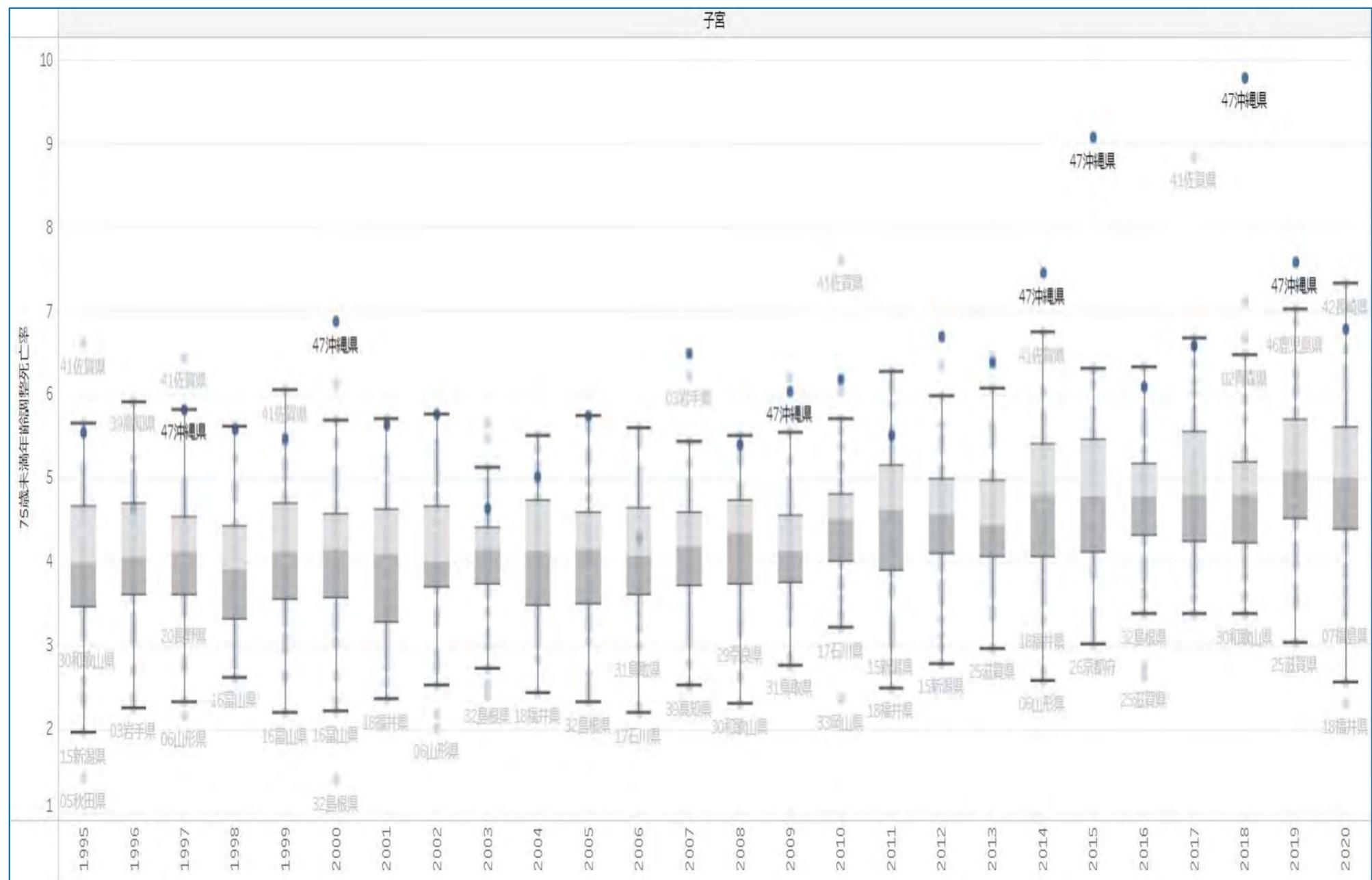
<2022年5月13日資料>

肝がん（男）死亡率25年間推移。均てん化が比較的進んだ部位。全体動向と沖縄の位置



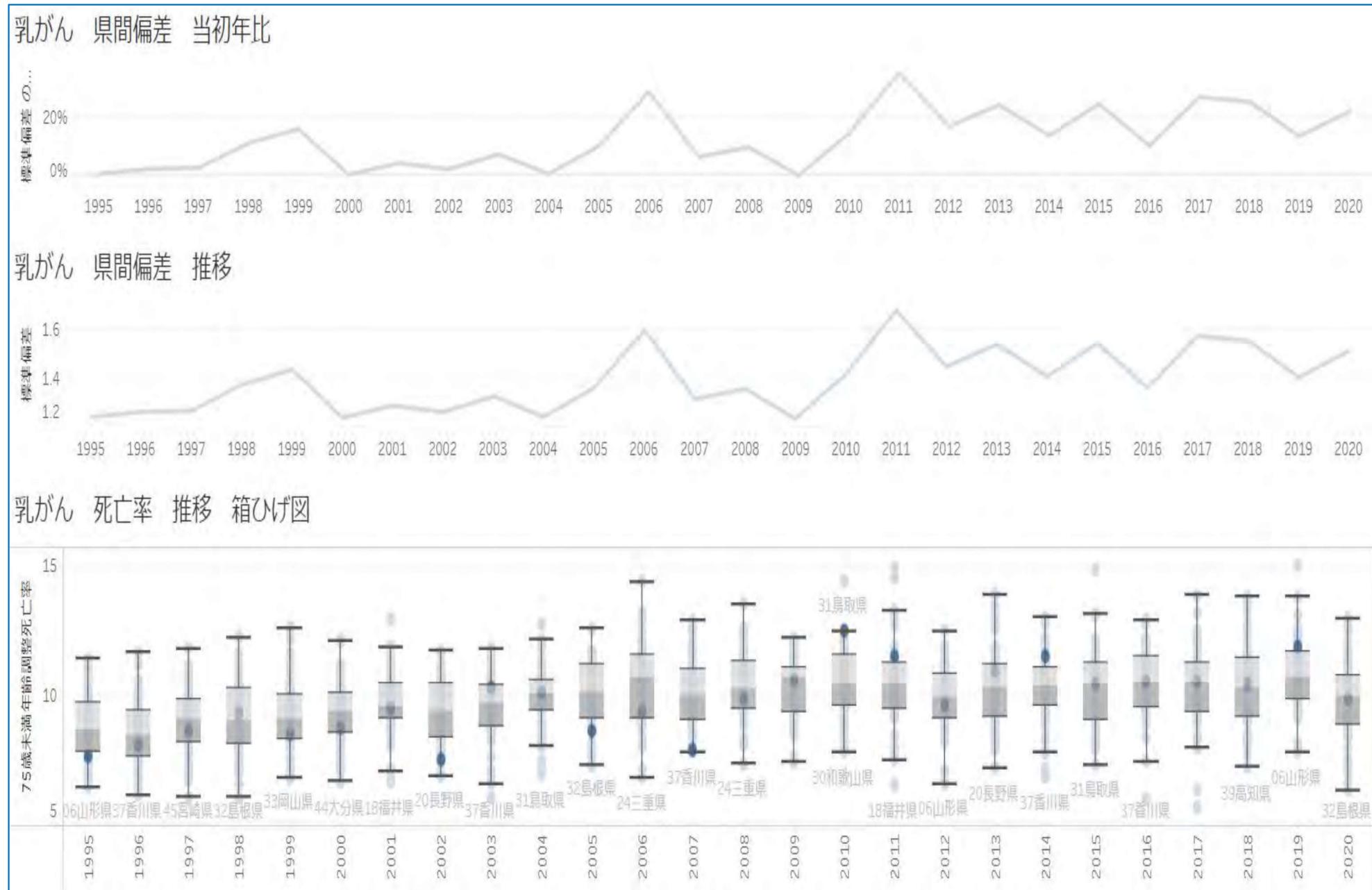
全体に死亡率低下、差縮小。沖縄はベストから中位へ

子宮がん死亡率25年間推移。均てん化が比較的進まなかつた部位。全体と沖縄の位置



全国は、死亡率上昇、差拡大の懸念。沖縄はワーストレベル

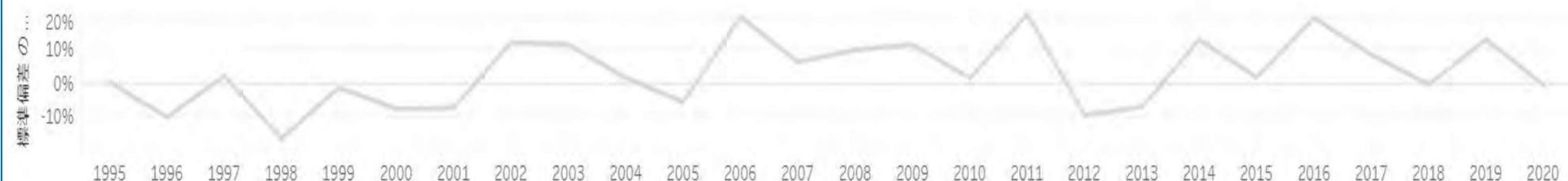
乳がん死亡率25年間推移。均てん化が比較的進まなかった部位。全体と沖縄の位置



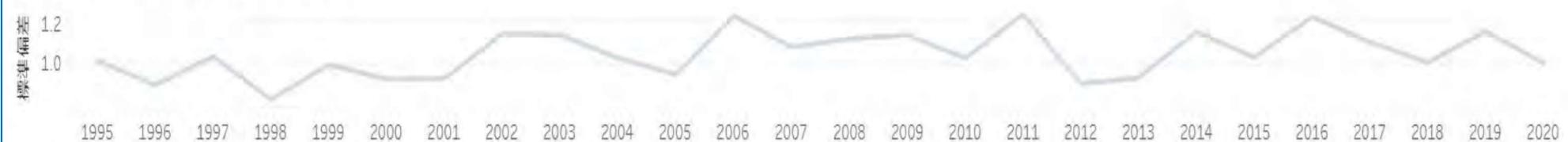
全国は顕著な死亡率低下、差縮小が見られない。沖縄は中位

直腸がん（男）死亡率25年間推移。均てん化が比較的進まなかった。全体と沖縄の位置

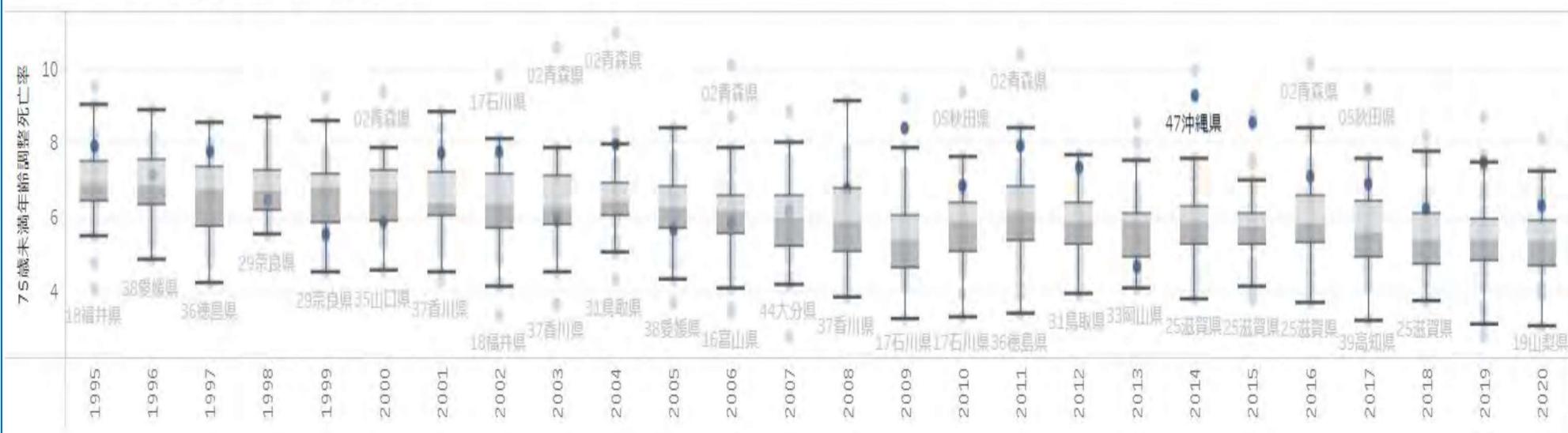
直腸がん 男 県間偏差 初当年比



直腸がん 男 県間偏差 推移



直腸がん 男 死亡率 推移 箱ひげ図



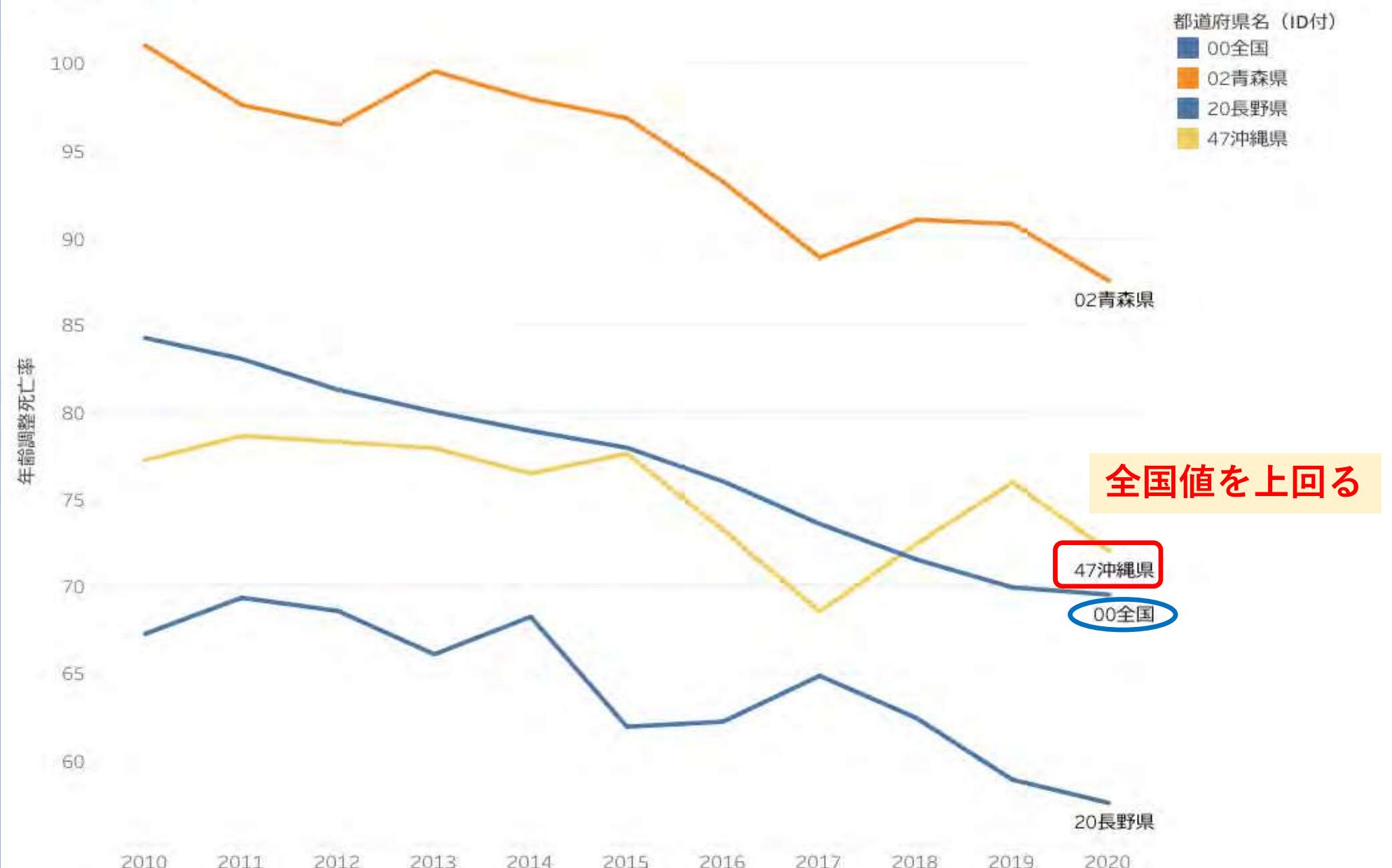
全国は死亡率微減、差は縮小なし。沖縄は高位で推移



死亡率（年齡調整）
<2022年2月4日資料>

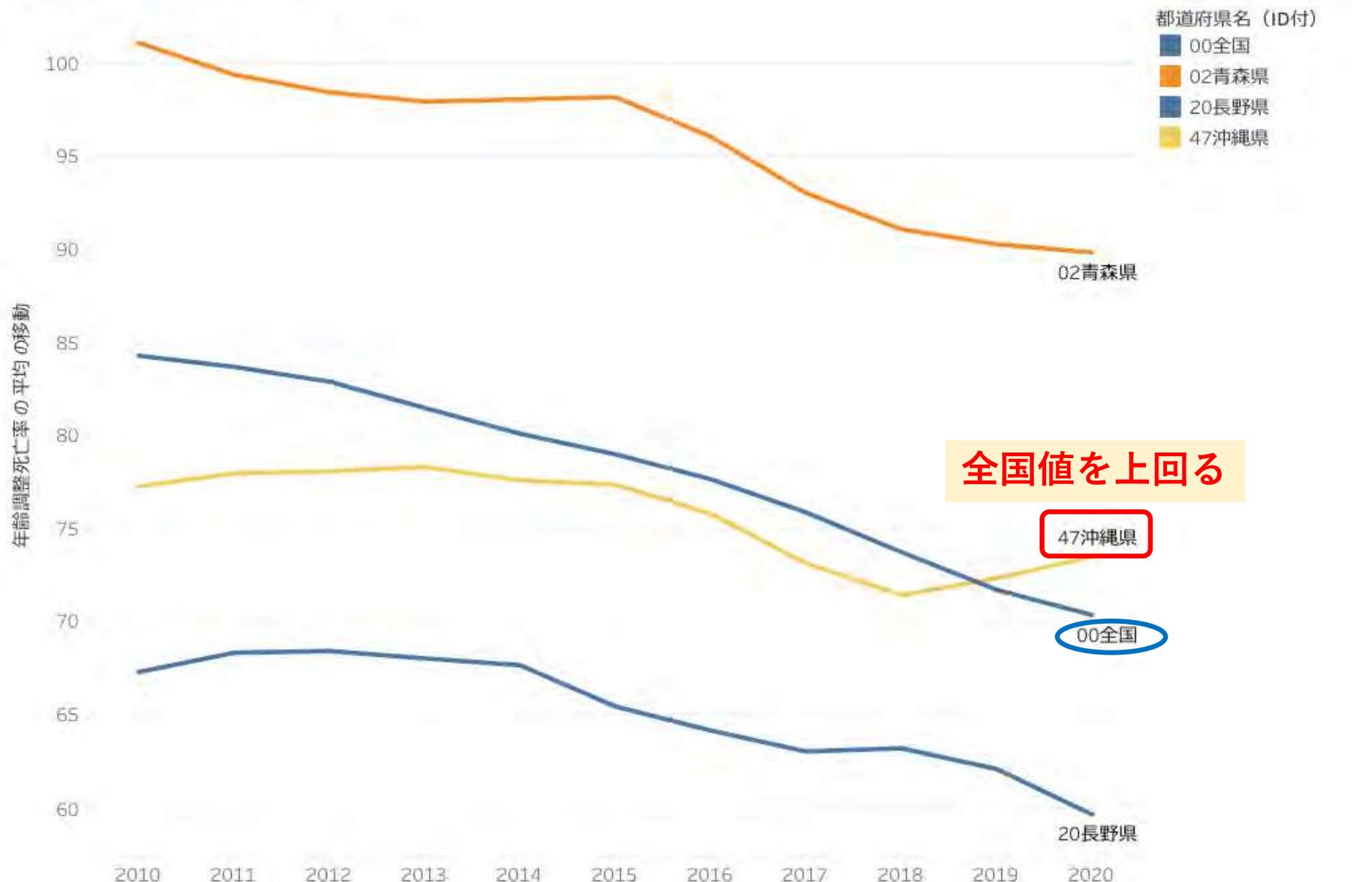
全部位 男女

以下、全国、ベスト県、ワースト県、沖縄県を表示



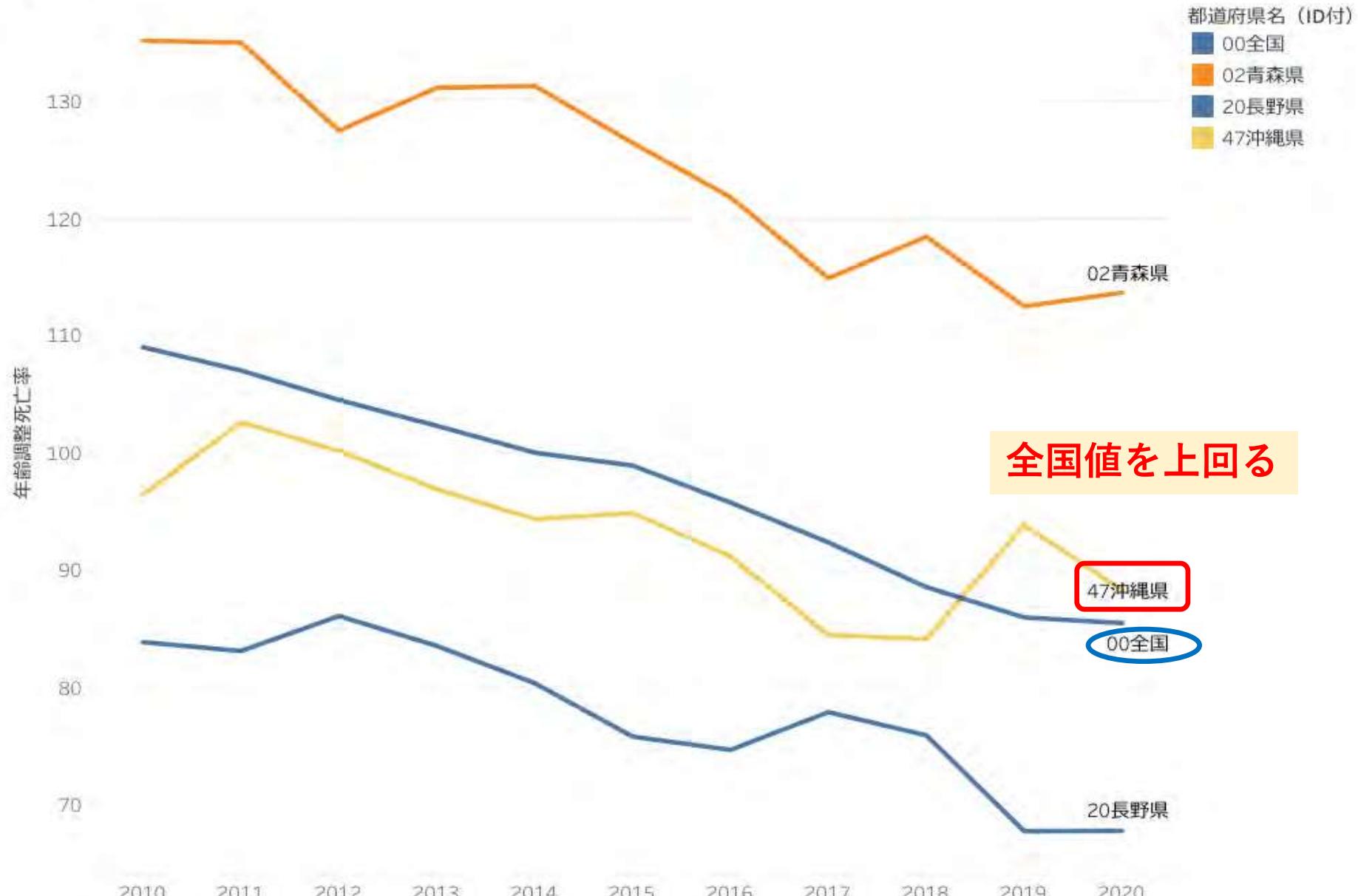
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

全部位 男女 3年移動平均



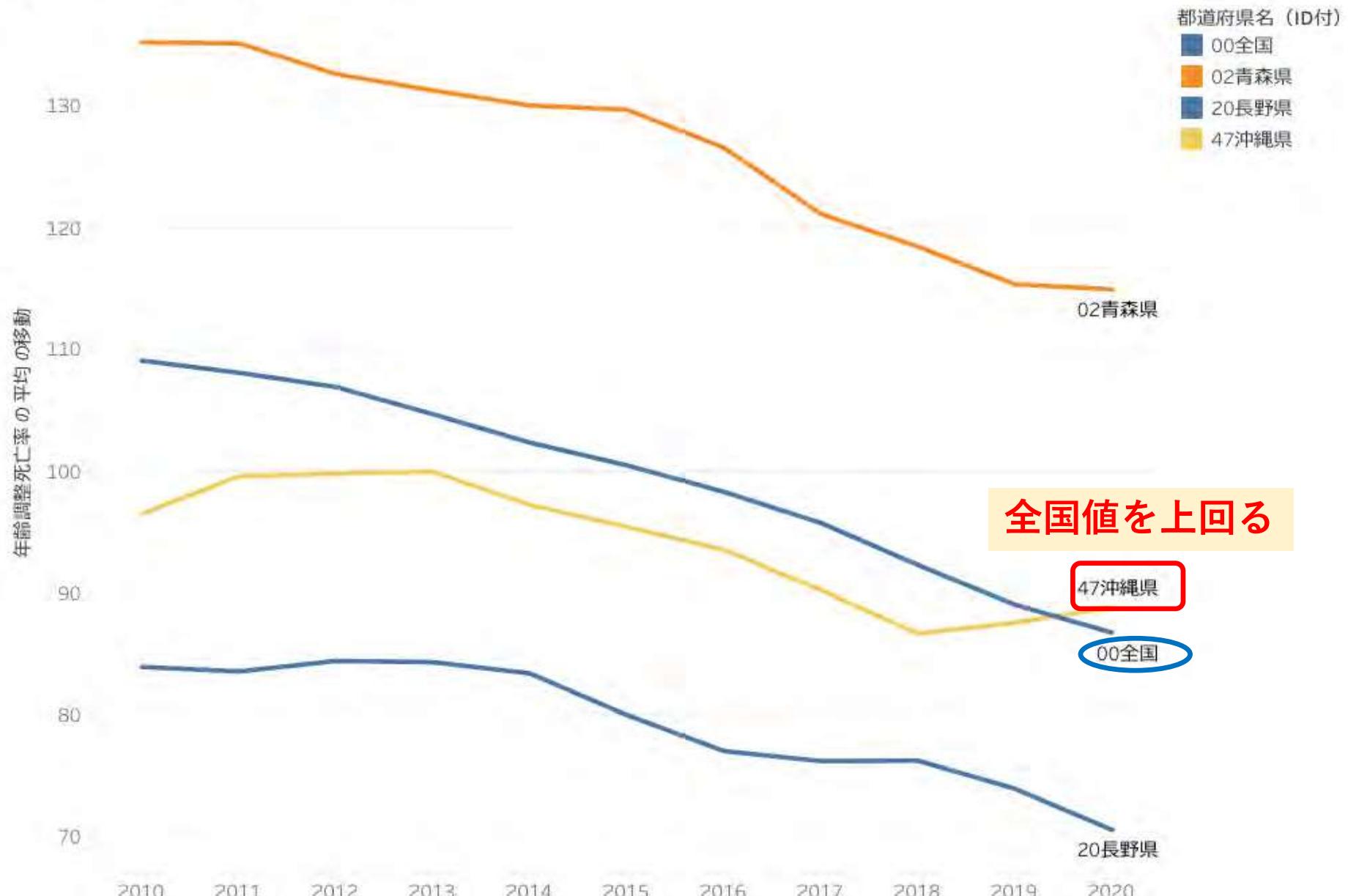
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

全部位 男



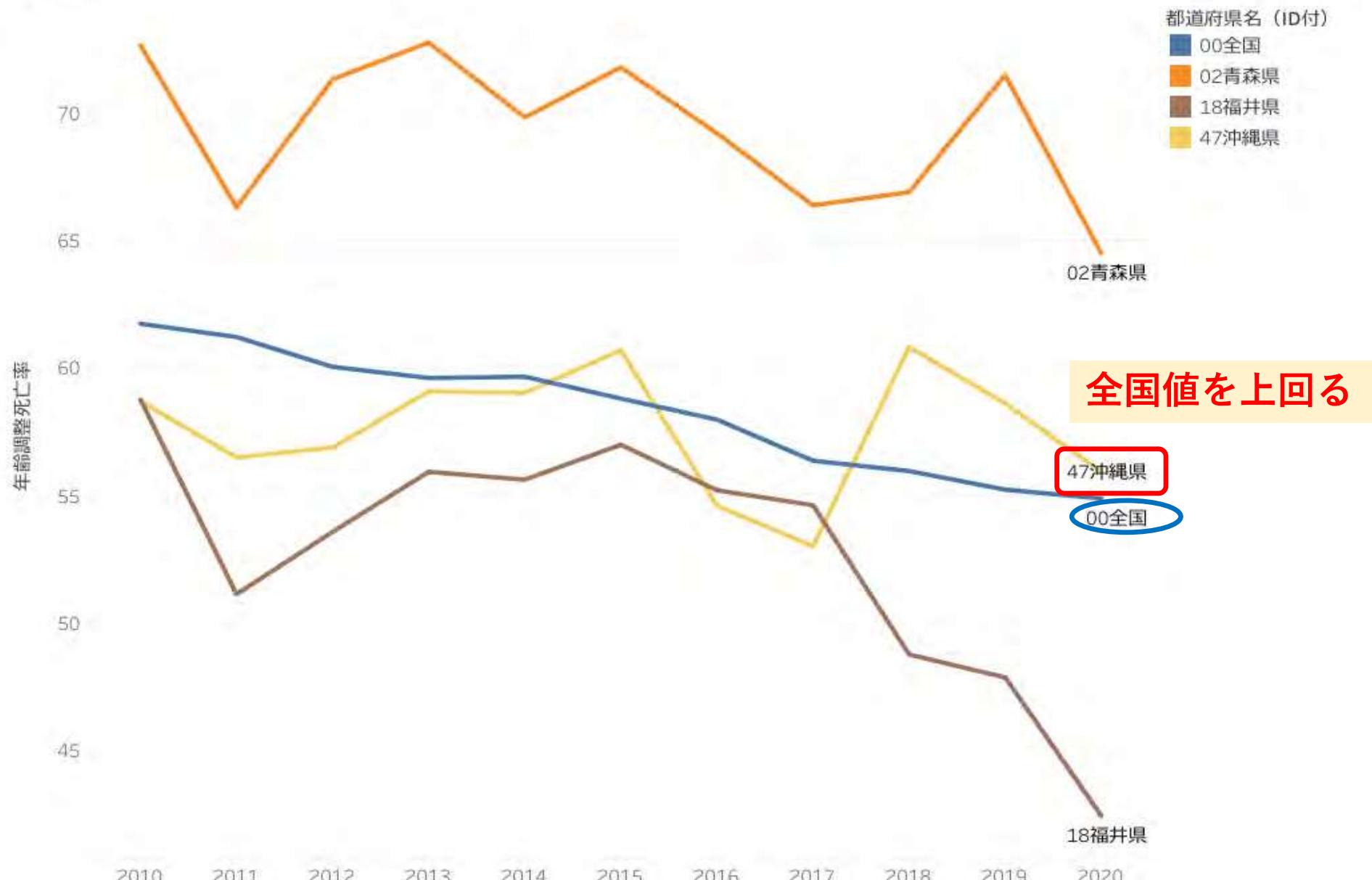
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

全部位 男 3年移動平均



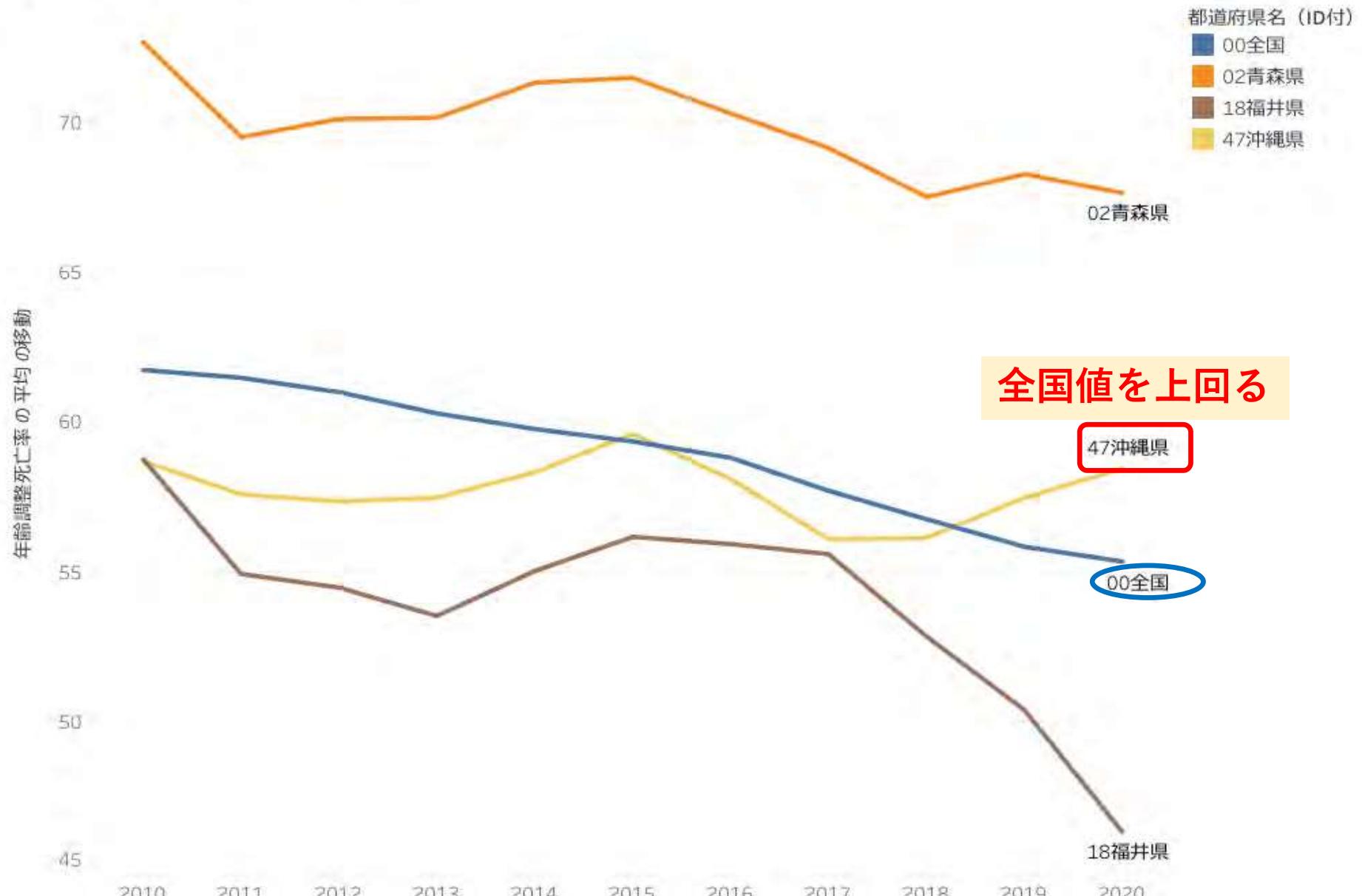
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

全部位 女



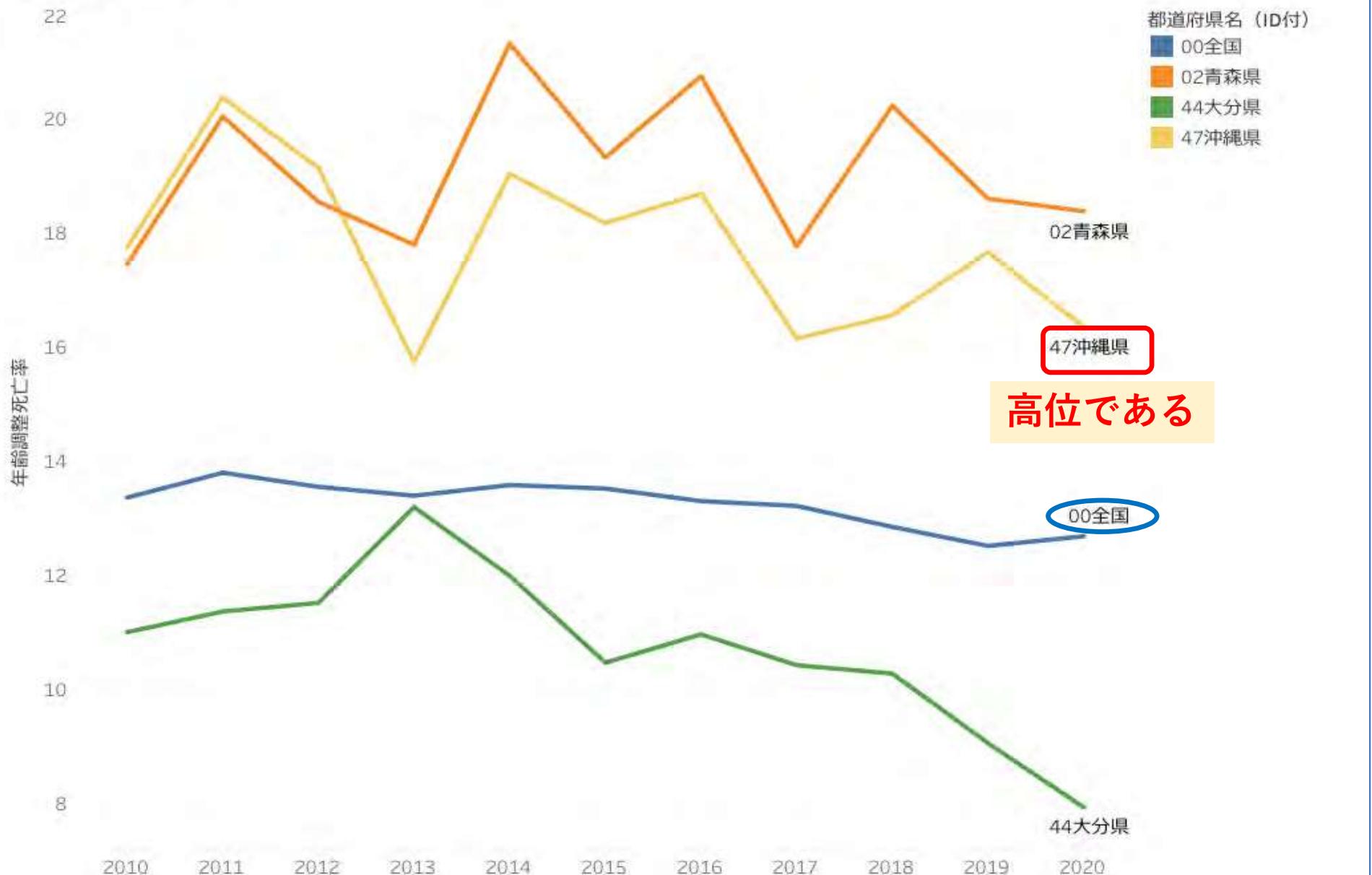
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

全部位 女（3年移動平均）



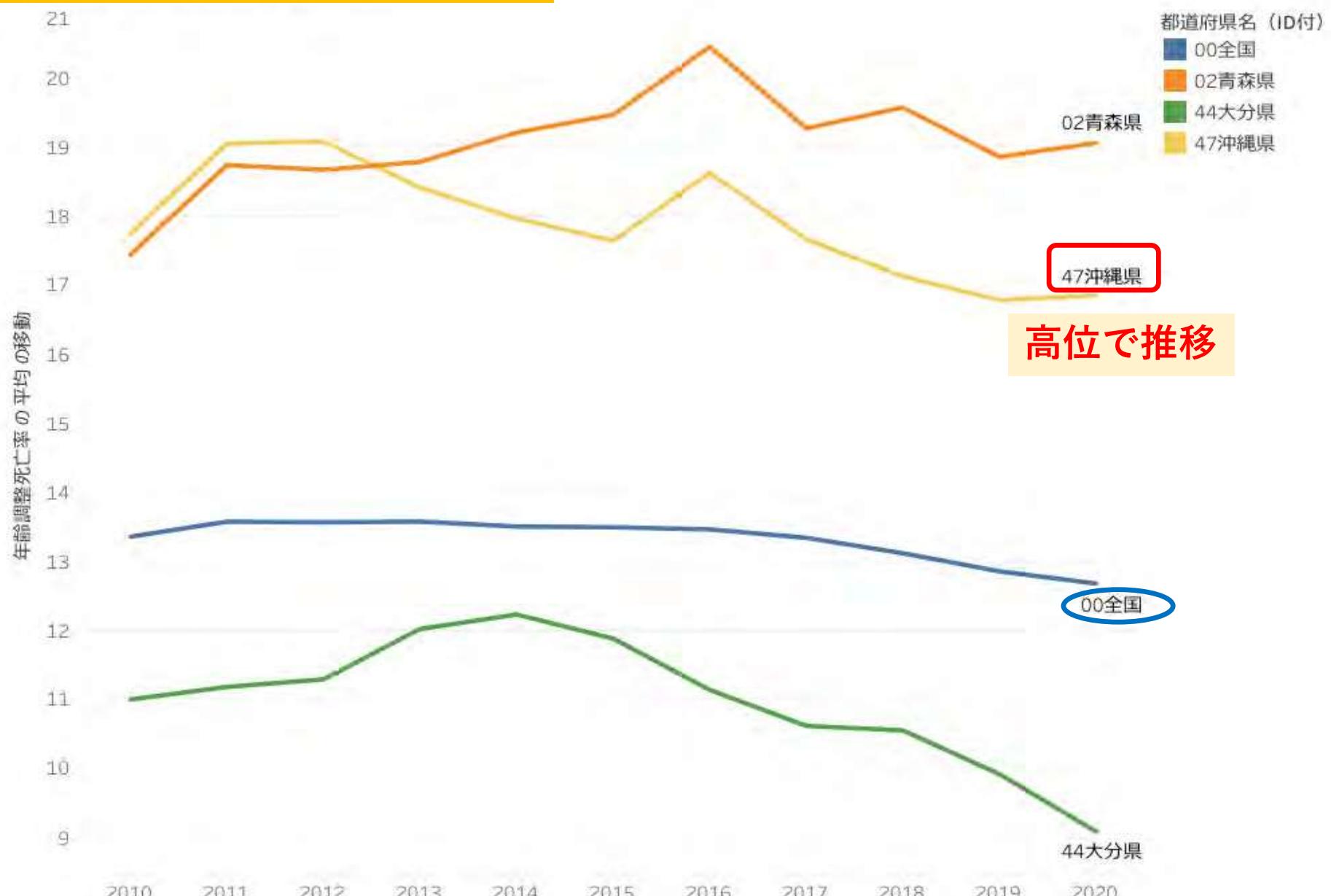
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

大腸がん 男



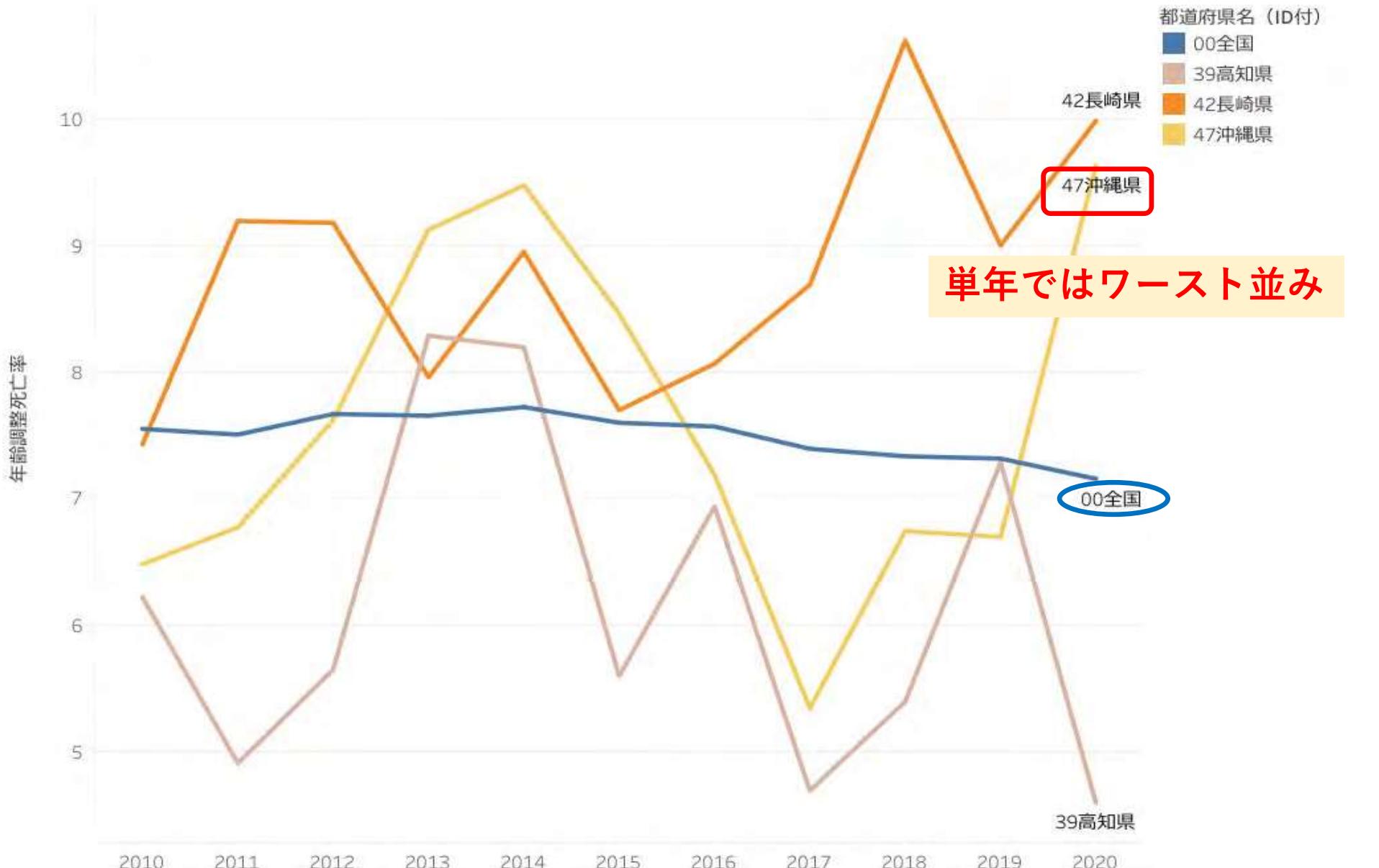
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

大腸がん 男 (3年移動平均)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

大腸がん 女



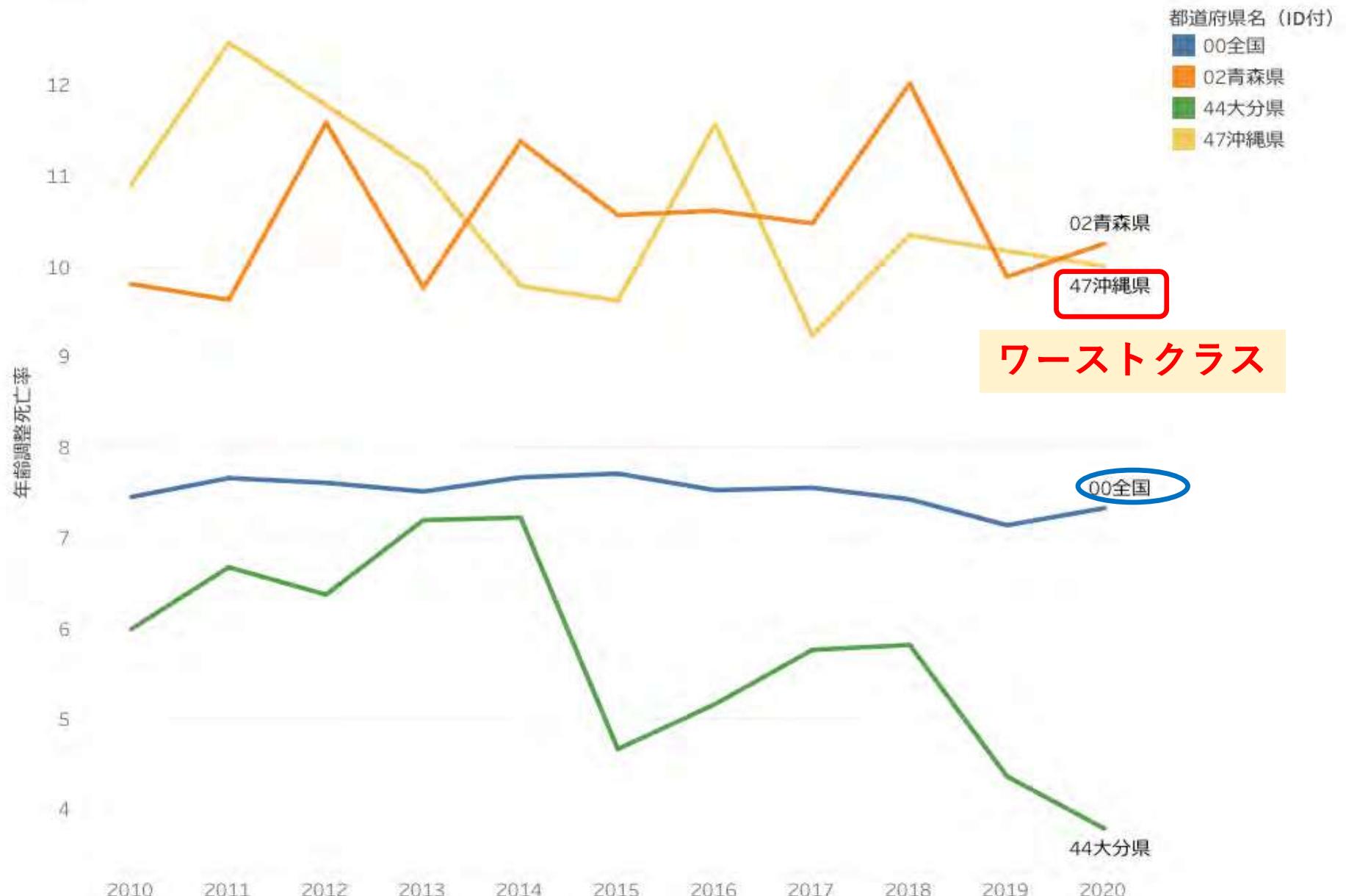
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

大腸がん 女（3年移動平均）



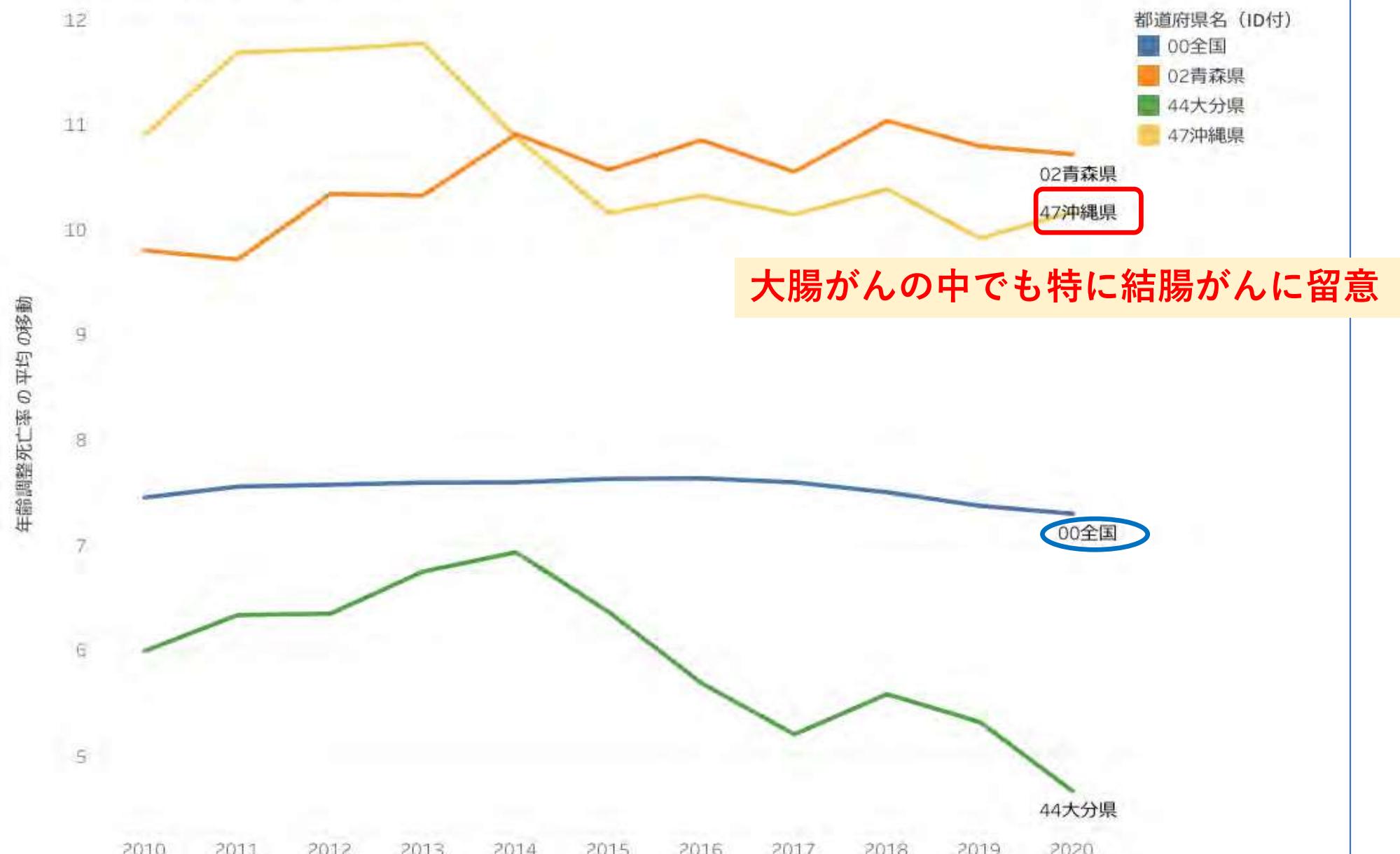
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

(結腸がん) 男



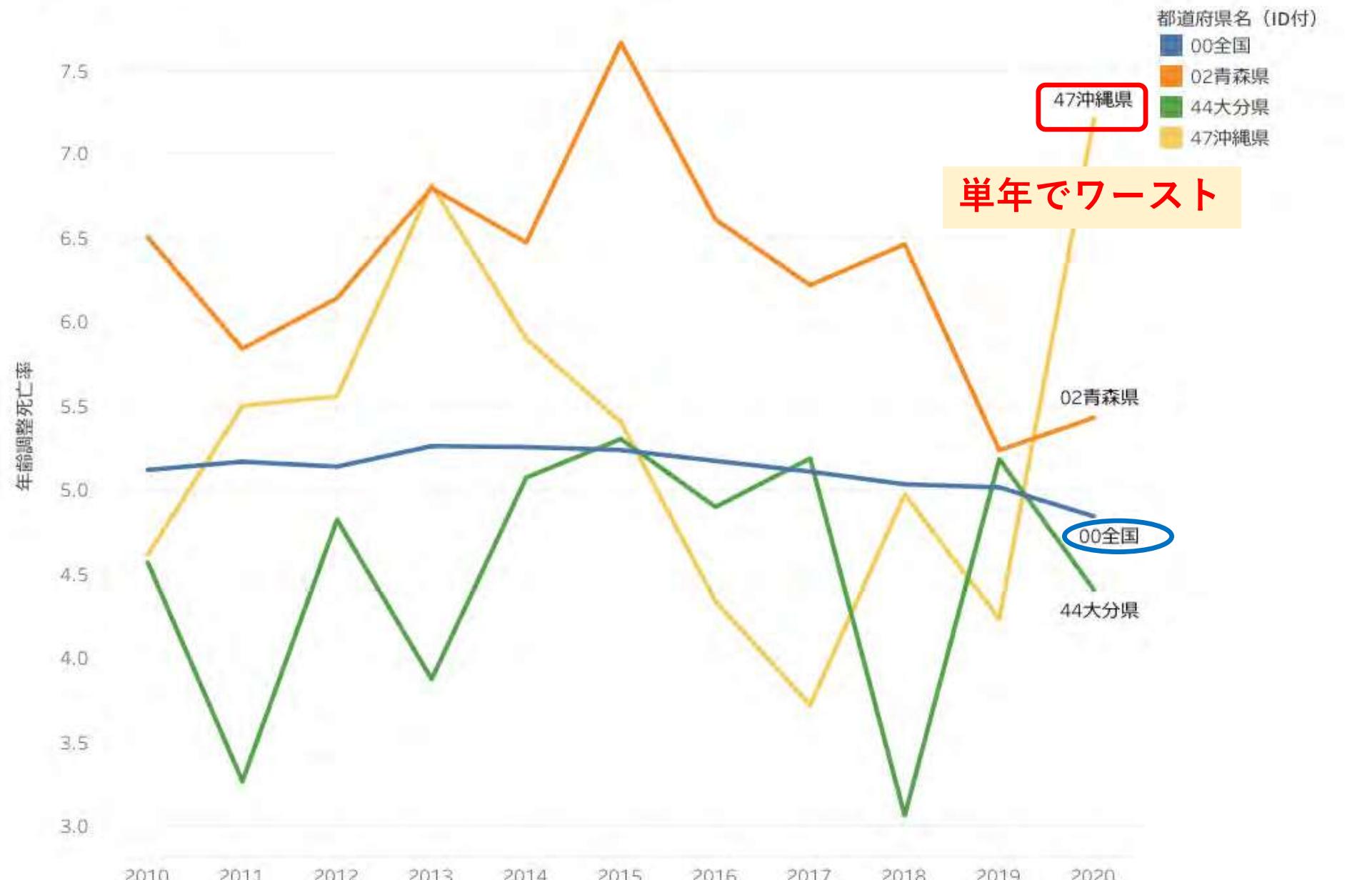
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

(結腸がん) 男 (3年移動平均)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

(結腸がん) 女



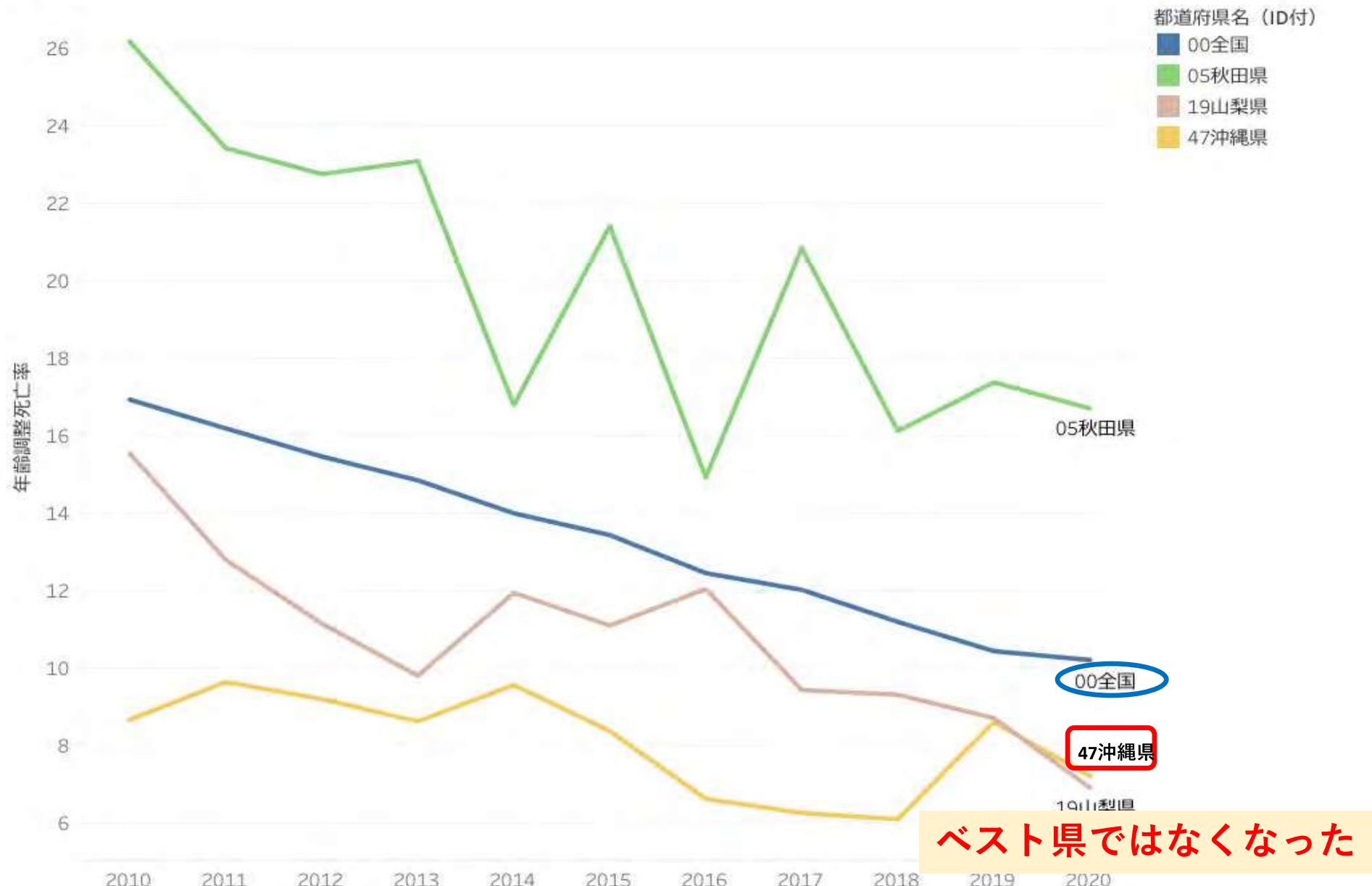
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

(結腸がん) 女 (3年移動平均)



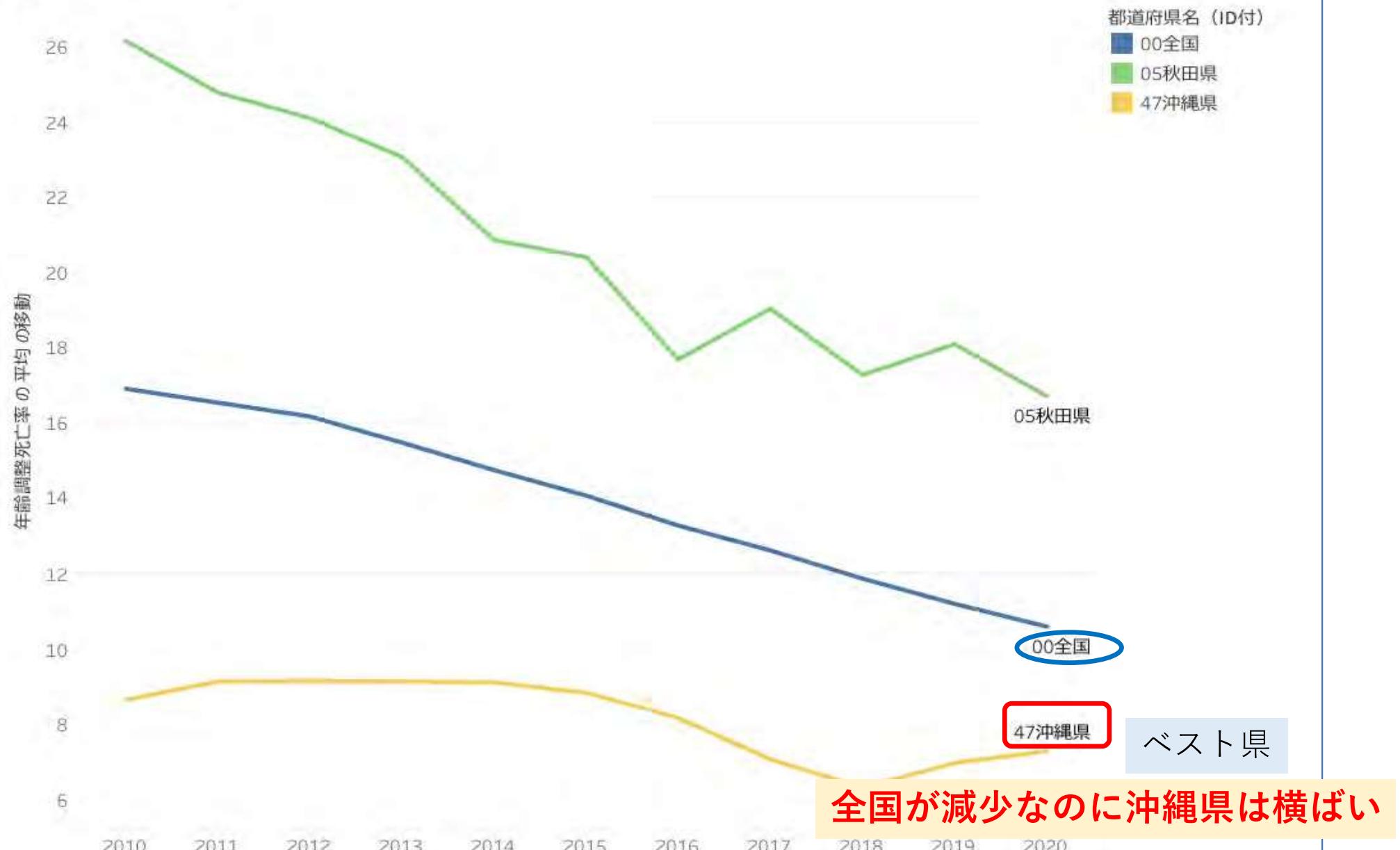
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

胃がん 男



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

胃がん 男 (3年移動平均)



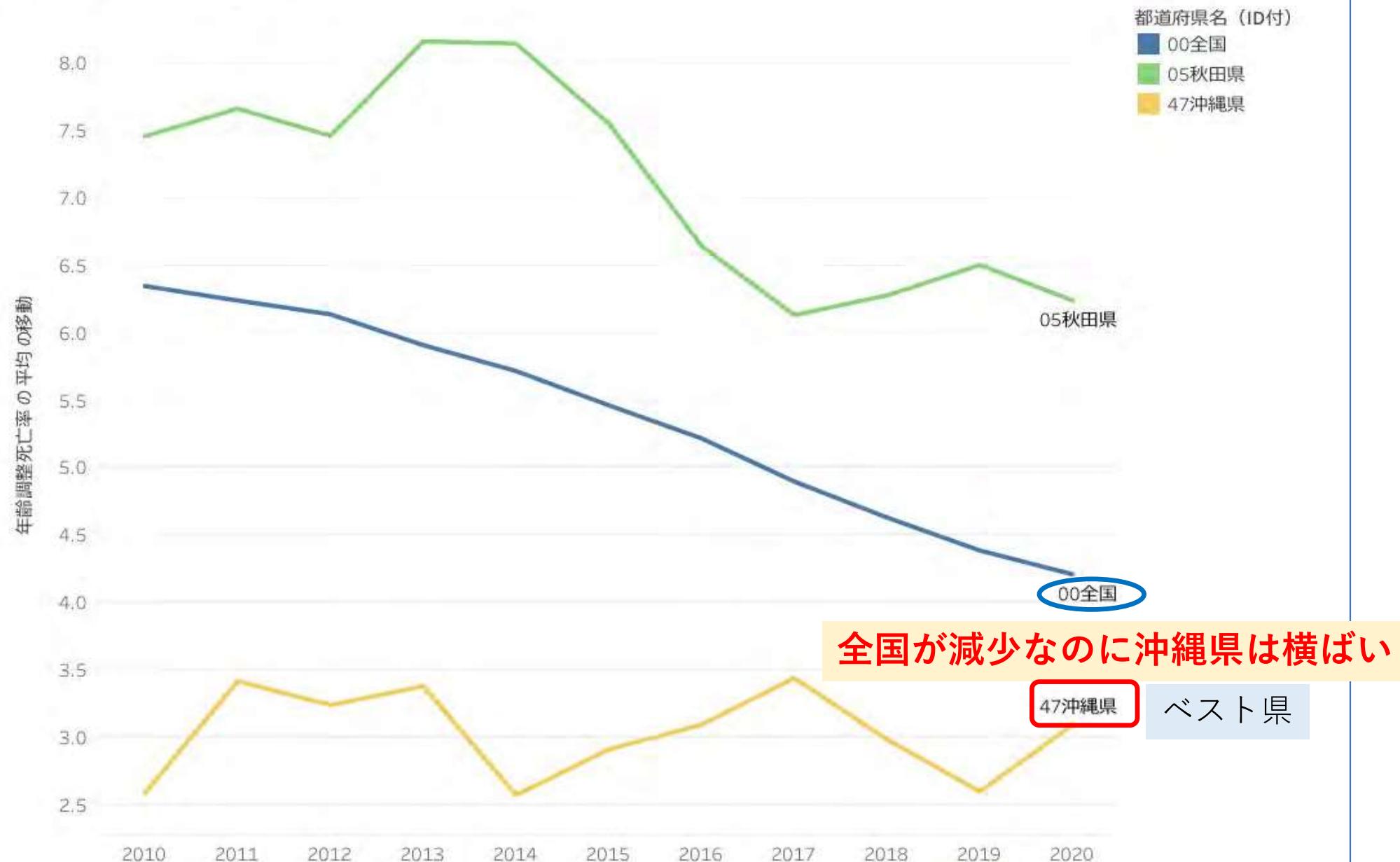
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

胃がん 女



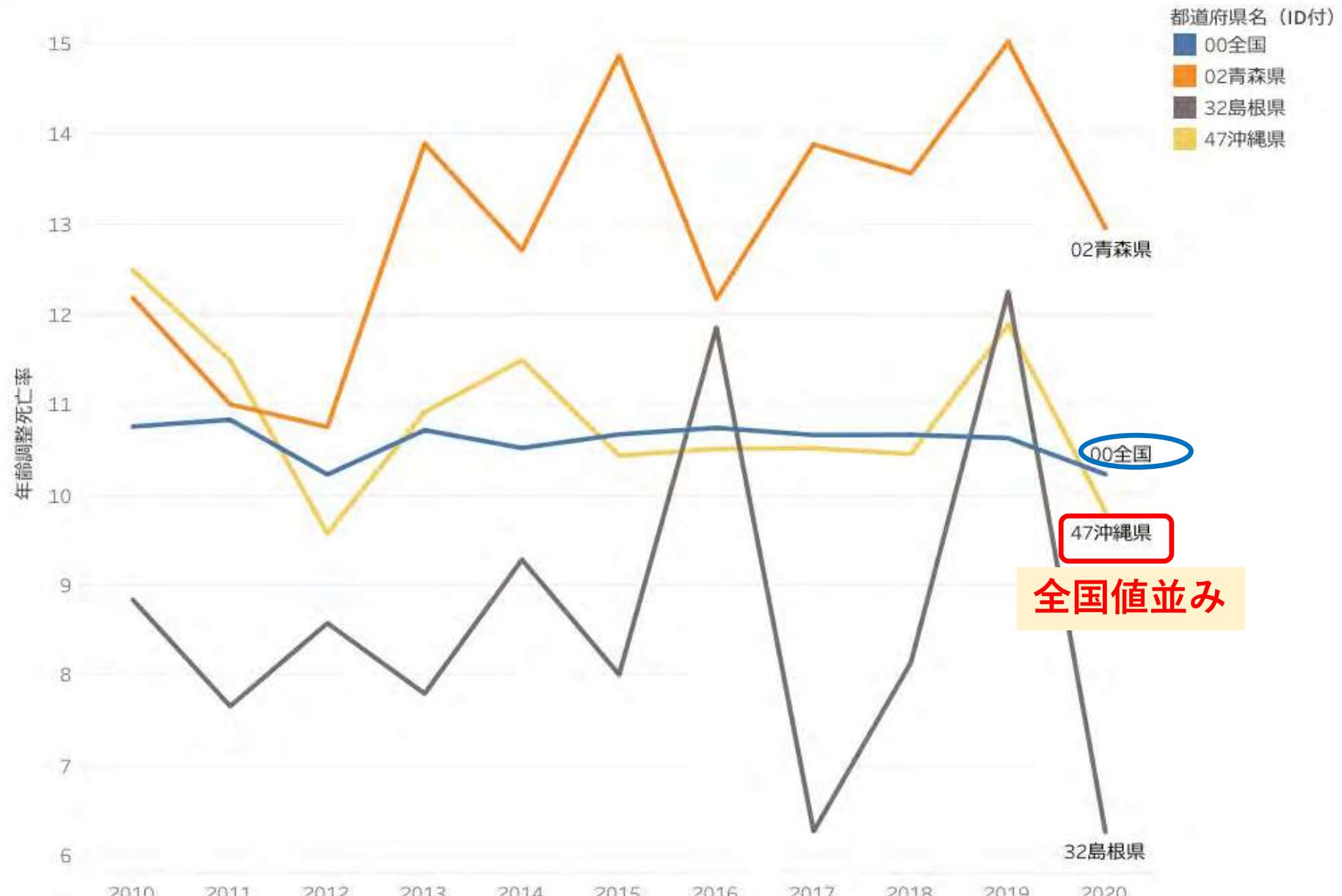
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

胃がん 女（3年移動平均）



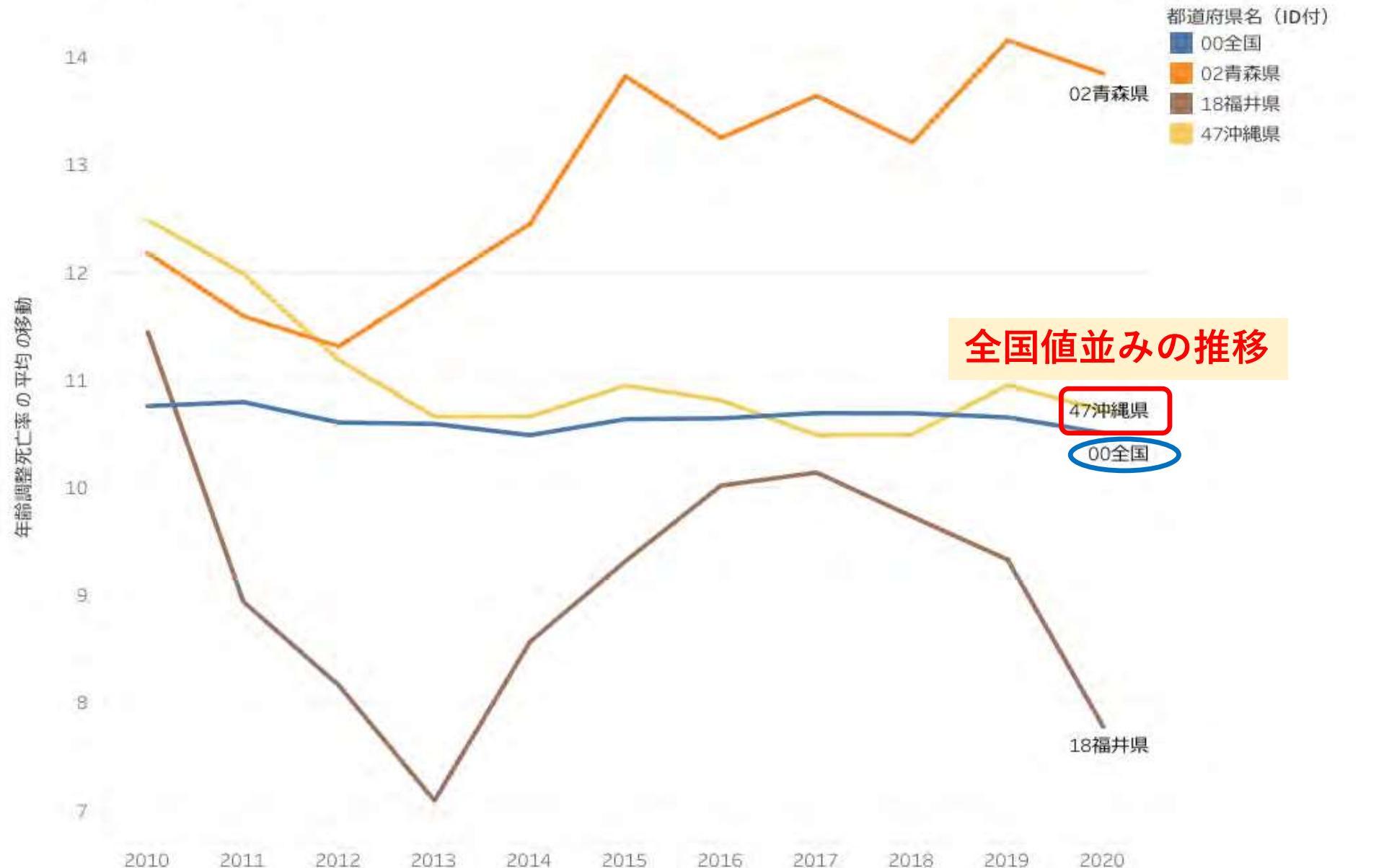
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

乳がん



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

乳がん（3年移動平均）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

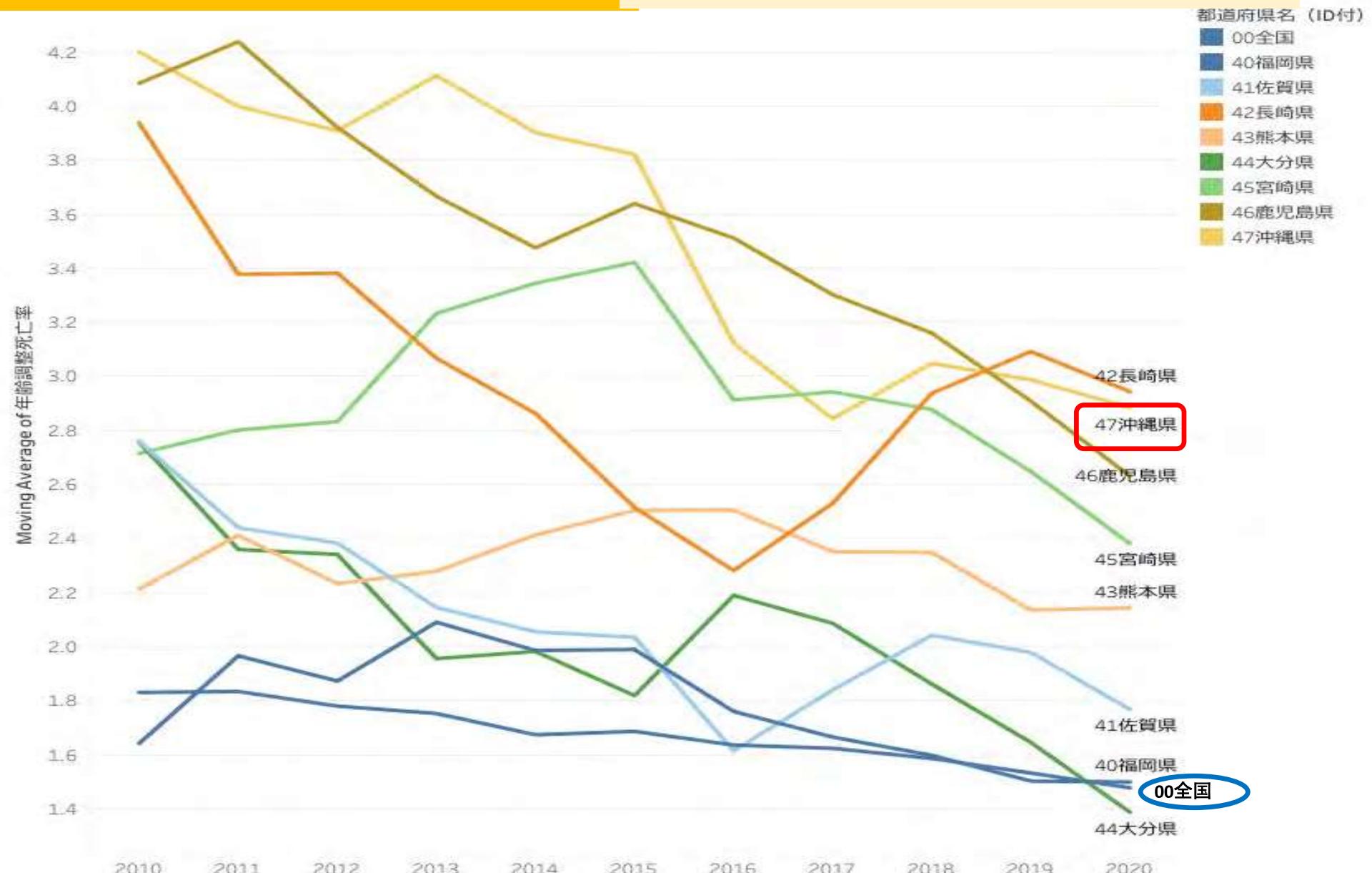
白血病 男（全国、九州沖縄地区）

急減するも全国値よりかなり高い



白血病 女（全国、九州沖縄地区）

減少するも依然としてワーストクラス



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）「部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2020年）」を可視化

がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策

個別施策	指標

初期アウトカム

予防対策	指標
	<柱6>
	<柱6>

中間アウトカム

罹 患	指標
罹患が減少している	罹患率 <柱2>

最終アウトカム

死 亡	指標
死亡が減っている	死亡率 <柱1>

罹患

個別施策	指標

早期発見対策	指標
	<柱7>
	<柱7>

指標	指標
早期発見が高まっている	早期発見率 <柱4>

生 存	指標
生存が高まっている	5年生存率 <柱3>

個別施策	指標

医療の質対策	指標
	<柱8>
	<柱8>

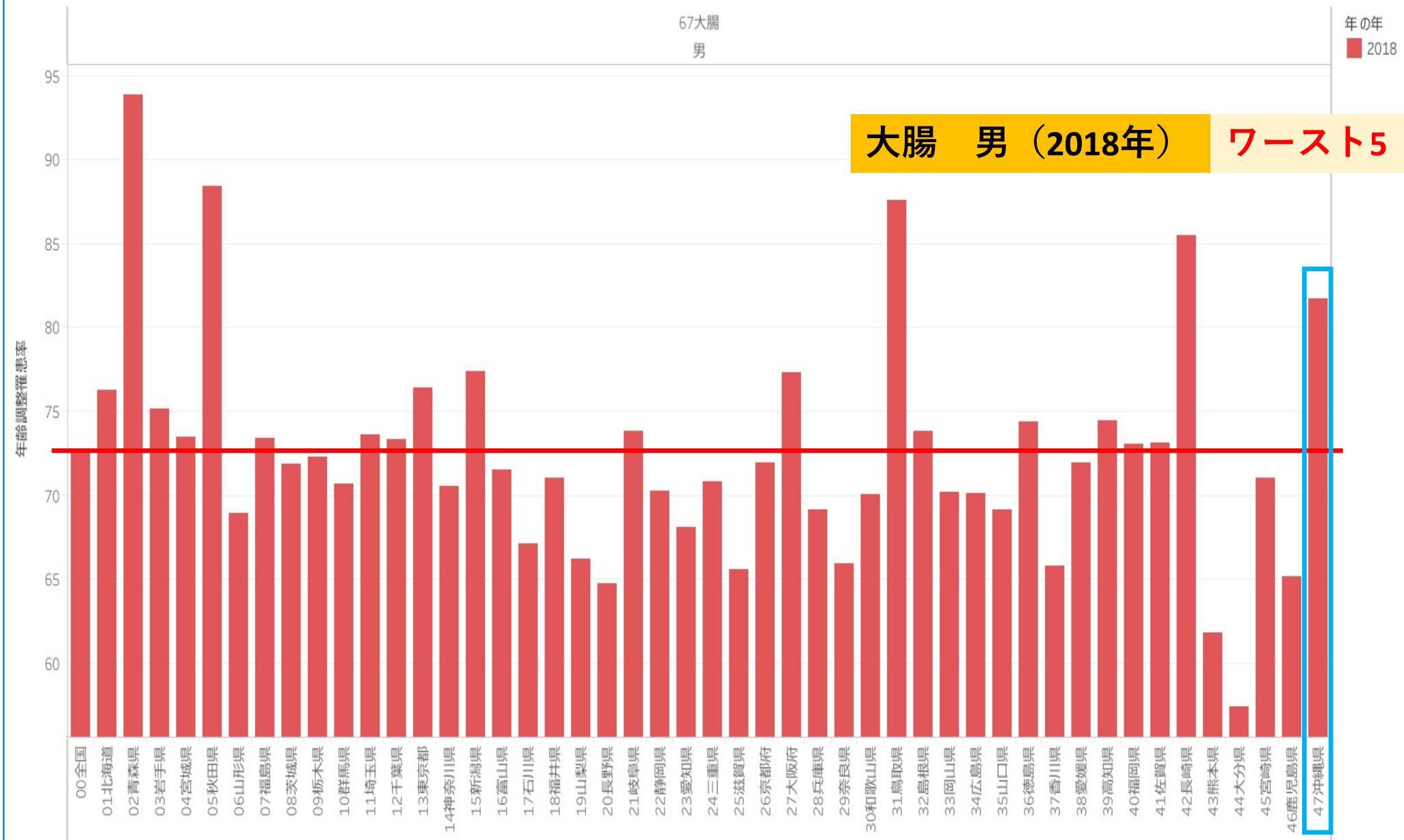
治 療	指標
治療の質が高まっている	進行度別5年生存率 <柱5>



罹患率（年齢調整）
2018年

<2022年2月4日資料>

都道府県別年齢調整罹患率（部位別・性別）（2016-18）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）、全国がん罹患データ（2016年～2018年）を可視化

大腸 年齢別罹患率（2018年）

特に男性50代に注意

大腸がん 年齢階級別罹患率(人口10万対)

性別	総数	総数	総数	男	男	男	女	女	女
都道府県	全 国	沖 繩	比率	全 国	沖 繩	比率	全 国	沖 繩	比率
35-39歳	12.9	15.1	116%	14.3	17.4	122%	11.5	12.8	111%
40-44歳	23.1	31.7	137%	25.0	36.5	146%	21.2	26.9	127%
45-49歳	39.1	33.3	85%	43.9	35.3	80%	34.2	31.4	92%
50-54歳	68.5	86.5	126%	76.8	109.1	142%	60.2	64.4	107%
55-59歳	113.6	143.3	126%	140.3	200.0	143%	87.1	86.7	100%
60-64歳	170.4	189.2	111%	222.8	268.1	120%	119.4	108.7	91%
65-69歳	246.1	287.6	117%	328.1	385.7	118%	169.4	187.5	111%
70-74歳	304.9	280.0	92%	405.7	413.8	102%	215.6	154.8	72%
75-79歳	357.6	344.6	96%	470.4	500.0	106%	266.4	210.0	79%
80-84歳	394.7	330.6	84%	507.5	447.6	88%	316.3	242.9	77%
85歳以上	409.1	340.4	83%	510.2	425.0	83%	363.8	302.8	83%

政府統計の総合窓口e-Stat 全国がん登録

23-2-A 上皮内がん除く:年齢階級別罹患率(人口10万対, 85歳以上まるめ):都道府県別、性別

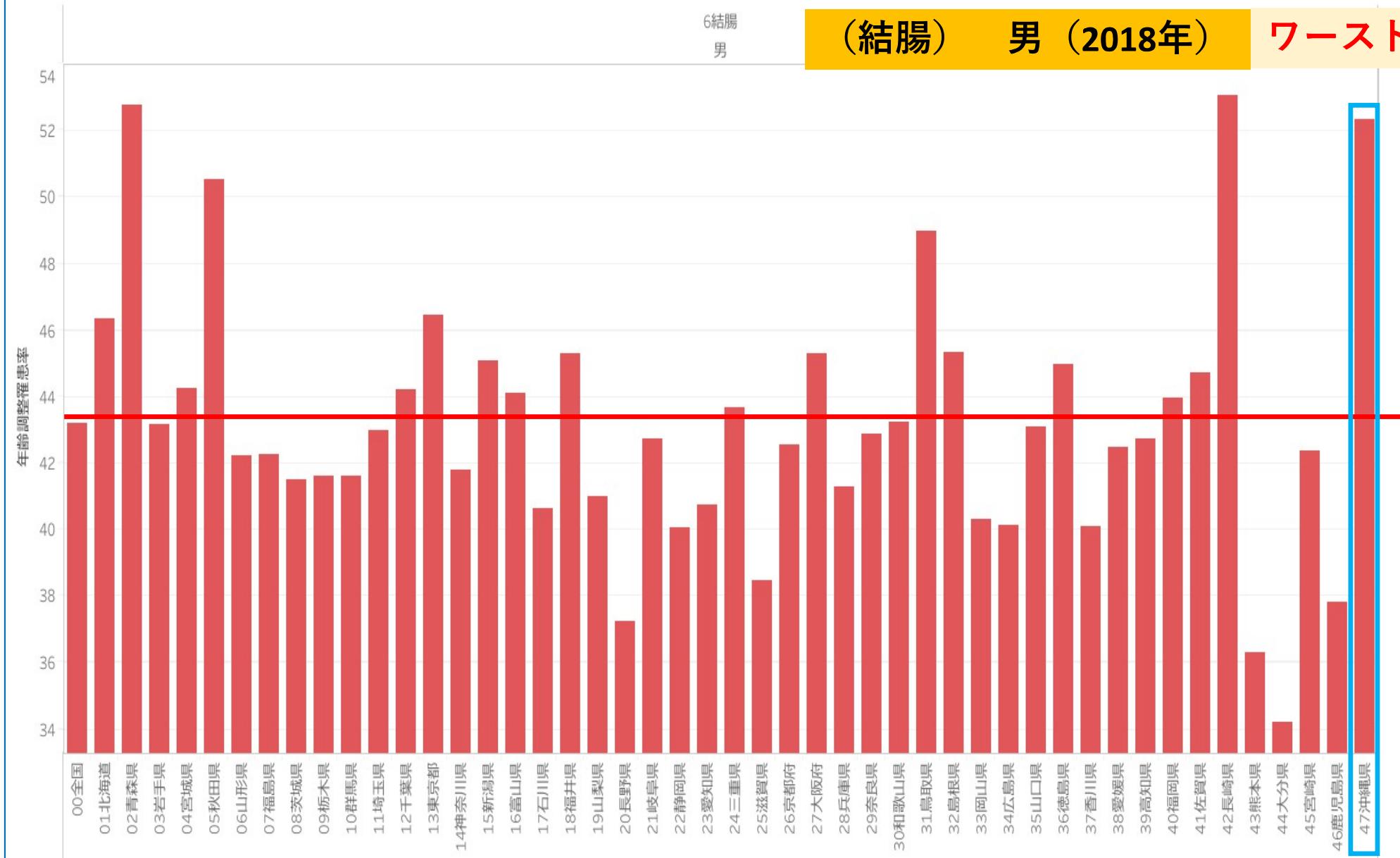
23-2-A-5 大腸(結腸・直腸) C18-C20 2018年

都道府県別年齢調整罹患率（部位別・性別）（2016-18）

6結腸
男

(結腸) 男 (2018年)

ワースト3



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）、全国がん罹患データ（2016年～2018年）を可視化

(結腸) 年齢別罹患率 (2018年) 特に男性50代、60代に注意

結腸がん 年齢階級別罹患率(人口10万対)

性別	総数	総数	総数	男	男	男	女	女	女
都道府県	全国	沖縄	比率	全国	沖縄	比率	全国	沖縄	比率
35-39歳	6.9	8.6	125.3%	7.3	8.7	119.4%	6.4	8.5	132.3%
40-44歳	12.1	18.3	150.9%	12.7	21.2	166.9%	11.5	15.4	133.4%
45-49歳	21.1	19.6	92.9%	22.0	25.5	115.9%	20.2	13.7	67.9%
50-54歳	37.6	52.8	140.6%	38.8	65.9	170.1%	36.3	40.0	110.1%
55-59歳	64.5	78.9	122.3%	75.0	106.7	142.3%	54.0	51.1	94.6%
60-64歳	98.4	110.8	112.6%	120.9	148.9	123.2%	76.4	71.7	93.9%
65-69歳	150.9	188.7	125.0%	189.5	238.8	126.0%	114.7	137.5	119.9%
70-74歳	200.8	186.7	93.0%	254.1	279.3	109.9%	153.5	100.0	65.1%
75-79歳	249.9	273.2	109.3%	313.6	388.5	123.9%	198.4	173.3	87.4%
80-84歳	290.2	251.0	86.5%	360.6	342.9	95.1%	241.2	182.1	75.5%
85歳以上	318.9	284.6	89.2%	382.3	343.8	89.9%	290.6	258.3	88.9%

政府統計の総合窓口e-Stat 全国がん登録

23-2-A 上皮内がん除く:年齢階級別罹患率(人口10万対, 85歳以上まるめ):都道府県別、性別

23-2-A-6 結腸 C18 2018年

(直腸) 年齢別罹患率 (2018年)

直腸の男性55～65歳も注意

直腸がん 年齢階級別罹患率(人口10万対)

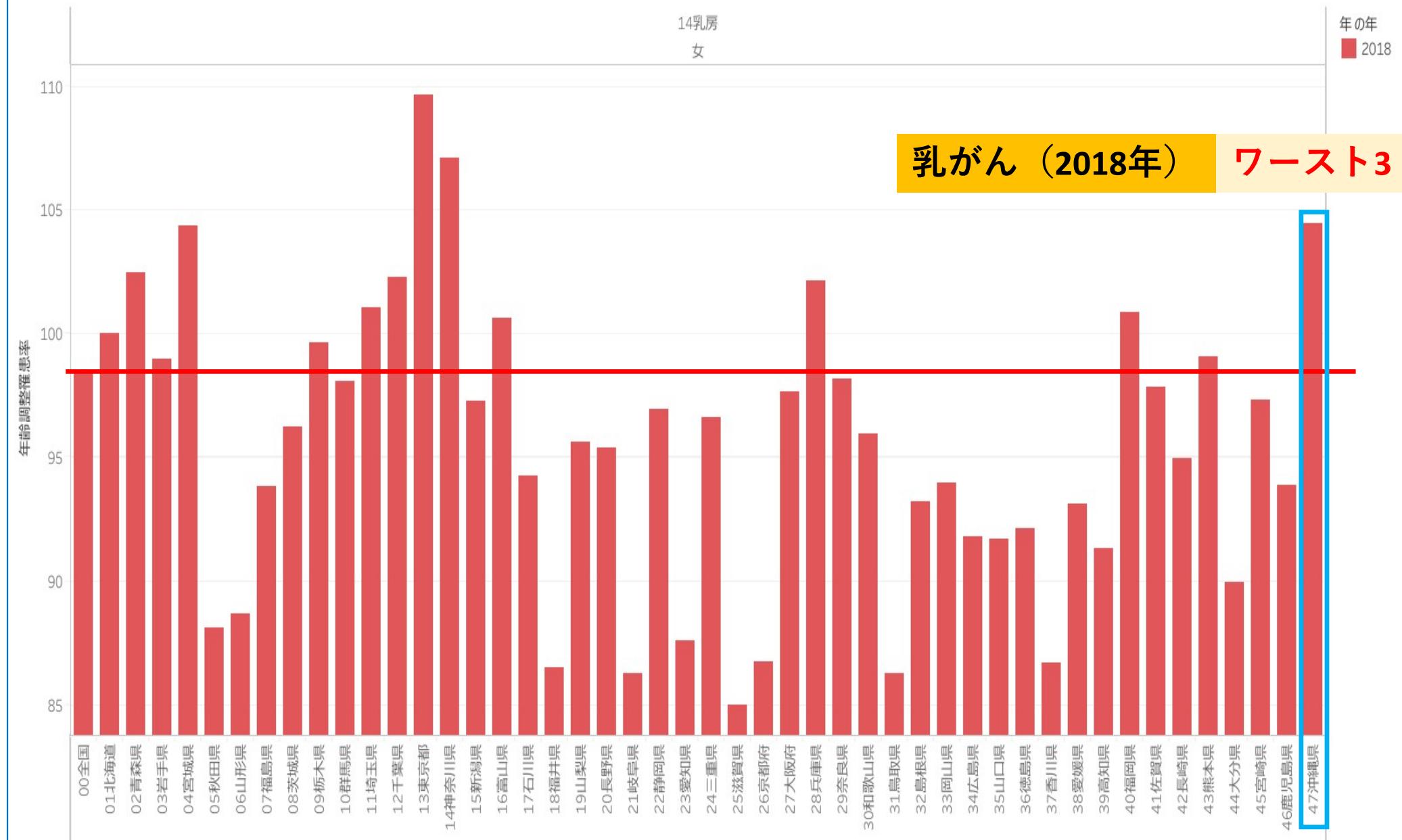
性別	総数	総数	総数	男	男	男	女	女	女
都道府県	全国	沖縄	比率	全国	沖縄	比率	全国	沖縄	比率
35-39歳	6.1	6.5	106.3%	7.0	8.7	124.2%	5.1	4.3	83.2%
40-44歳	11.0	13.5	122.1%	12.3	15.4	124.6%	9.7	11.5	119.5%
45-49歳	18.0	13.7	76.2%	21.9	9.8	44.7%	14.0	17.6	126.0%
50-54歳	31.0	33.7	108.8%	38.0	43.2	113.5%	23.8	24.4	102.6%
55-59歳	49.2	64.4	131.1%	65.3	93.3	142.9%	33.0	35.6	107.6%
60-64歳	72.1	78.5	108.9%	101.9	119.1	116.9%	43.0	37.0	85.9%
65-69歳	95.2	99.0	103.9%	138.6	146.9	106.0%	54.7	50.0	91.5%
70-74歳	104.1	93.3	89.6%	151.5	134.5	88.8%	62.1	54.8	88.3%
75-79歳	107.7	71.4	66.3%	156.7	111.5	71.2%	68.0	36.7	54.0%
80-84歳	104.5	79.6	76.1%	146.9	104.8	71.3%	75.1	60.7	80.9%
85歳以上	90.1	55.8	61.9%	127.9	81.3	63.5%	73.2	44.4	60.7%

政府統計の総合窓口e-Stat 全国がん登録

23-2-A 上皮内がん除く:年齢階級別罹患率(人口10万対, 85歳以上まるめ):都道府県別、性別

23-2-A-7 直腸 C19-C20 2018年

都道府県別年齢調整罹患率（部位別・性別）（2016-18）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）、全国がん罹患データ（2016年～2018年）を可視化

乳がん 年齢別罹患率（2018年）

特に45～49歳の診断が多い

乳がん 年齢階級別罹患率(人口10万対)

都道府県	全 国	沖 縄	比率
総数	144.6	135.6	93.8%
30-34歳	27.4	35.6	129.7%
35-39歳	67.5	55.3	81.9%
40-44歳	145.4	140.4	96.6%
45-49歳	224.9	280.4	124.7%
50-54歳	225.3	217.8	96.7%
55-59歳	226.5	231.1	102.0%
60-64歳	242.7	247.8	102.1%
65-69歳	255.4	272.9	106.9%
70-74歳	250.9	293.5	117.0%
75-79歳	231.0	263.3	114.0%
80-84歳	207.7	196.4	94.6%
85歳以上	170.6	175.0	102.6%

政府統計の総合窓口e-Stat 全国がん登録

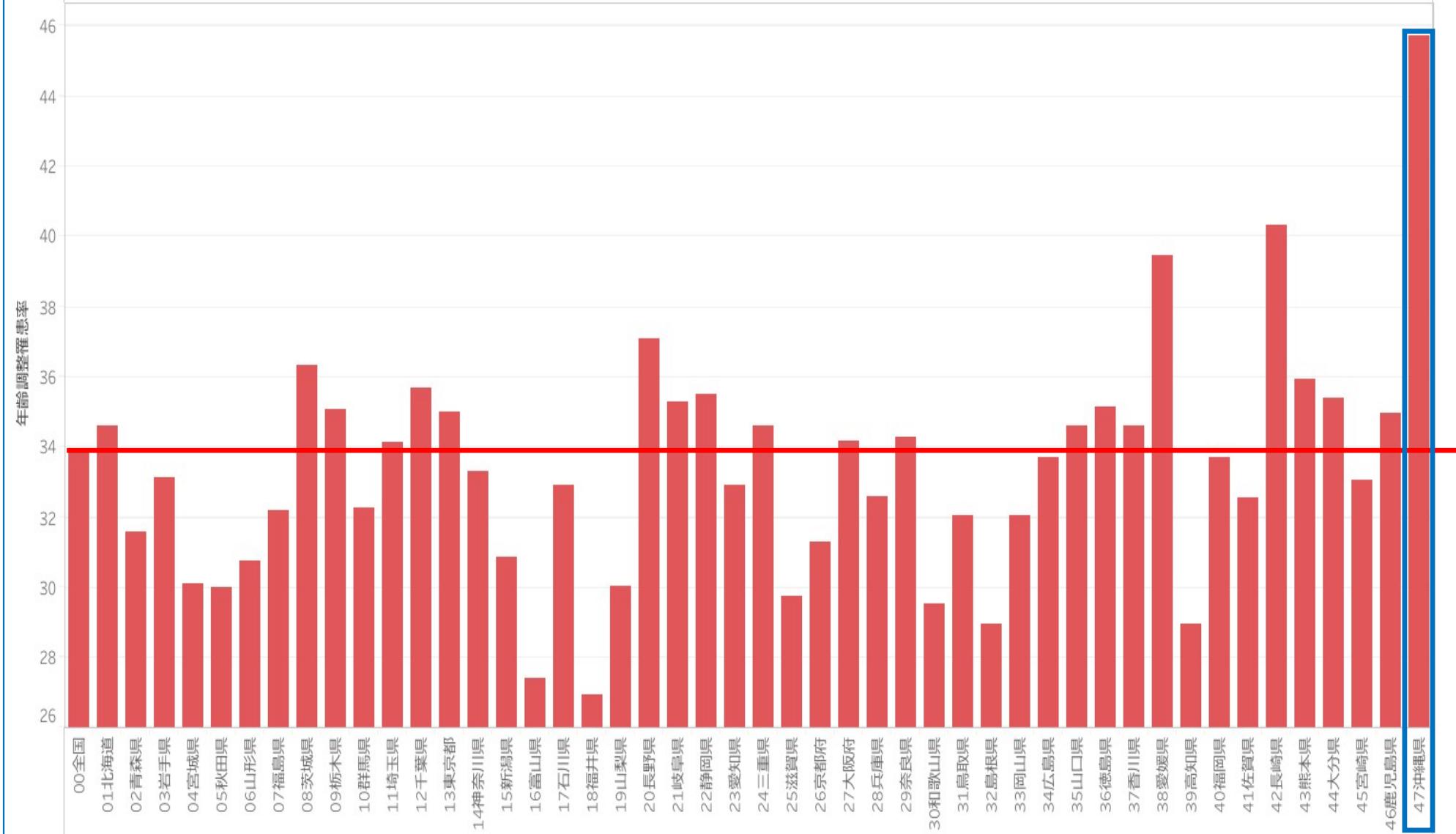
23-2-A 上皮内がん除く:年齢階級別罹患率(人口10万対, 85歳以上まるめ):都道府県別、性別

23-2-A-14 乳房 C50 2018年

都道府県別年齢調整罹患率（部位別・性別）（2016-18）

子宮（2018年）

2位を大きく離したワースト1



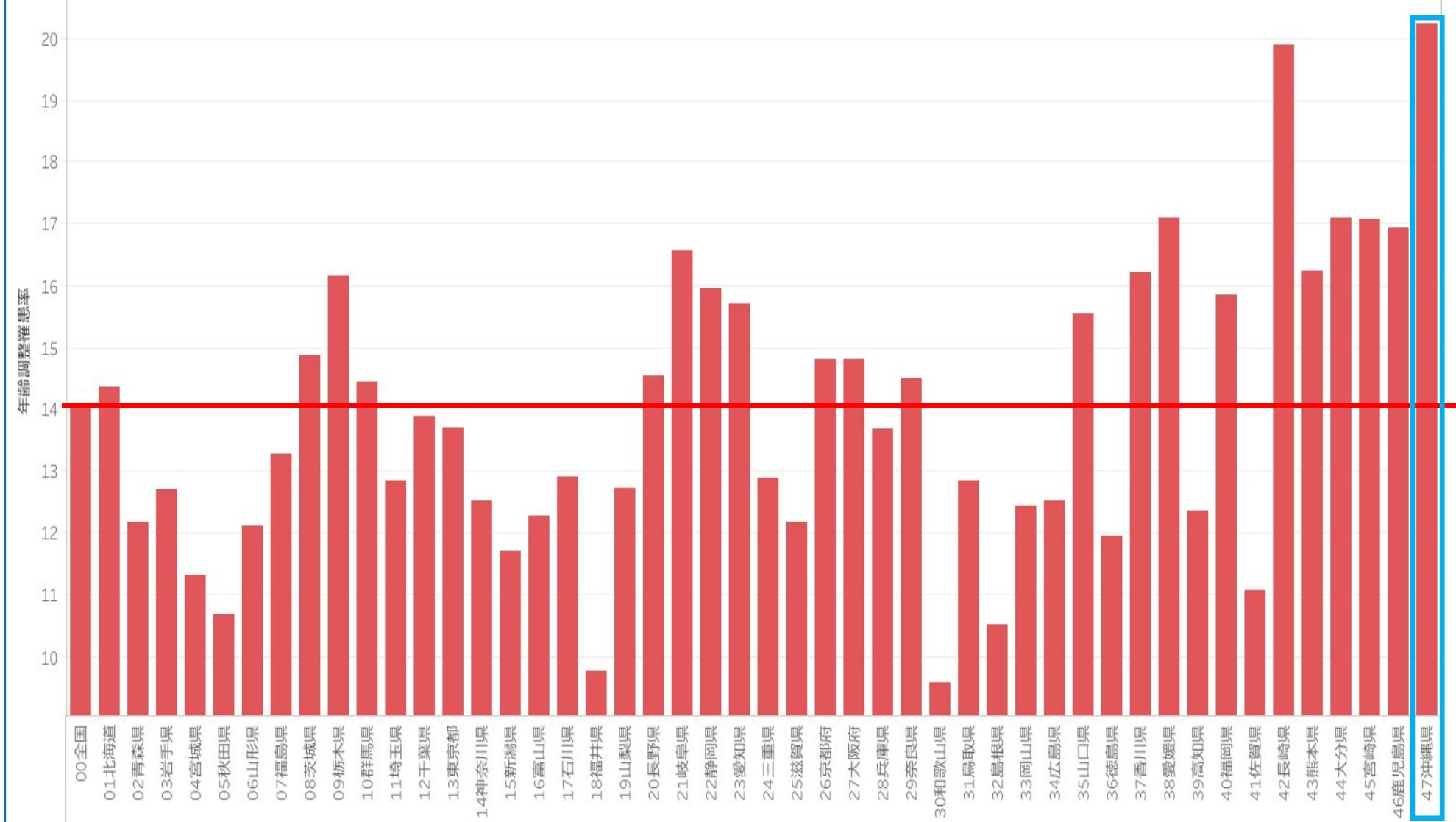
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）、全国がん罹患データ（2016年～2018年）を可視化

都道府県別年齢調整罹患率（部位別・性別）（2016-18）

17子宮頸部
女

子宮頸部（2018年）

ワースト1



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）、全国がん罹患データ（2016年～2018年）を可視化

子宮頸がん 年齢別罹患率 (2018年)

30～69歳まで幅広い年齢で極めて高い

子宮頸がん 年齢階級別罹患率(人口10万対)

都道府県	全 国	沖 縄	比率
総数	16.9	23.2	137.4%
20-24歳	0.7	2.9	398.1%
25-29歳	5.2	10.5	203.1%
30-34歳	18.1	28.9	159.4%
35-39歳	26.4	34.0	129.0%
40-44歳	27.8	25.0	89.9%
45-49歳	29.2	47.1	161.1%
50-54歳	26.4	44.4	168.2%
55-59歳	23.5	33.3	142.1%
60-64歳	20.0	34.8	173.7%
65-69歳	22.2	41.7	188.0%
70-74歳	19.7	12.9	65.7%
75-79歳	17.0	20.0	117.5%
80-84歳	16.7	25.0	150.1%
85歳以上	16.8	33.3	198.5%

政府統計の総合窓口e-Stat 全国がん登録

23-2-A 上皮内がん除く:年齢階級別罹患率(人口10万対, 85歳以上まるめ):都道府県別、性別

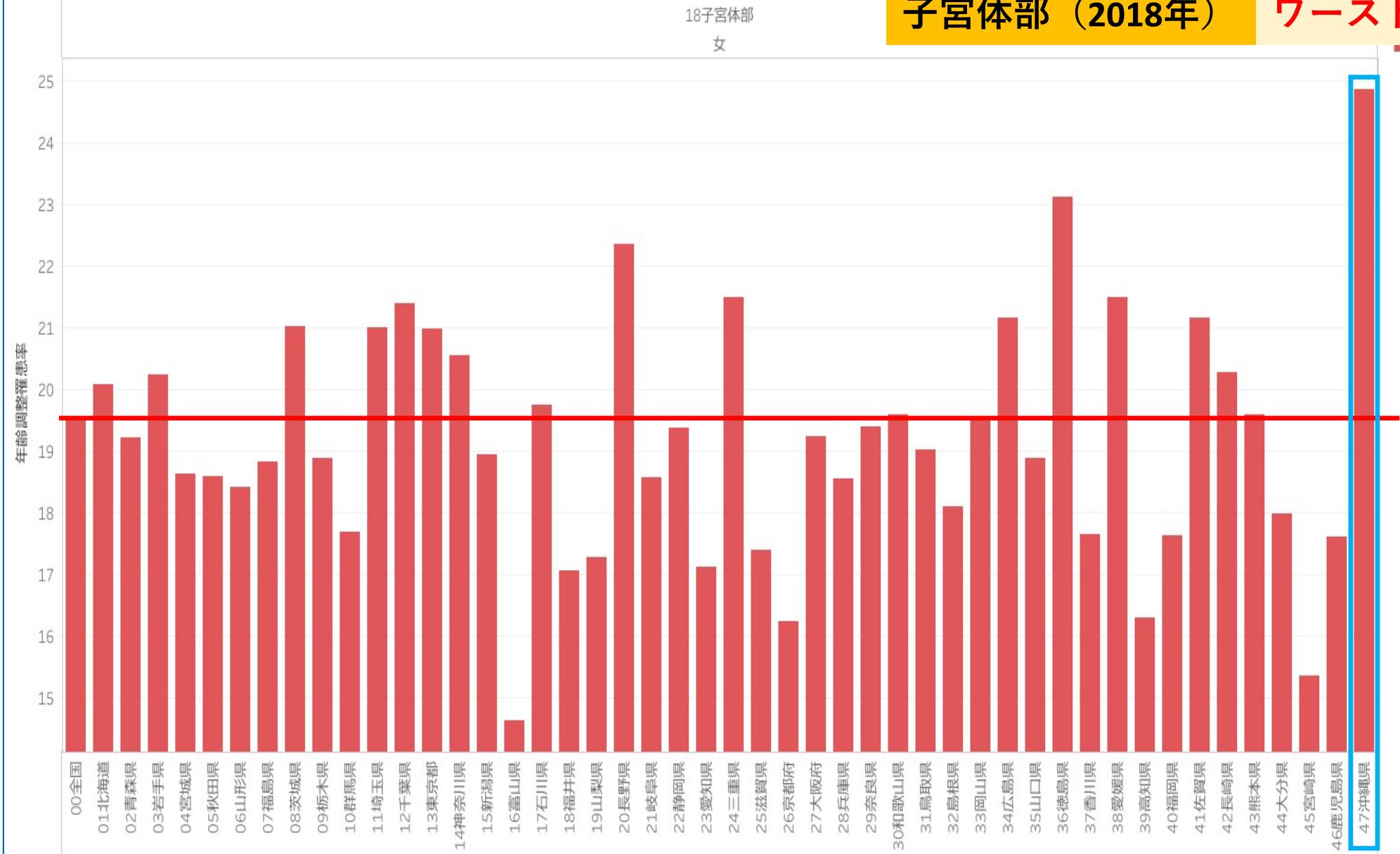
23-2-A-16 子宮頸部 C53 2018年

都道府県別年齢調整罹患率（部位別・性別）（2016-18）

18子宮体部
女

子宮体部（2018年）

ワースト1



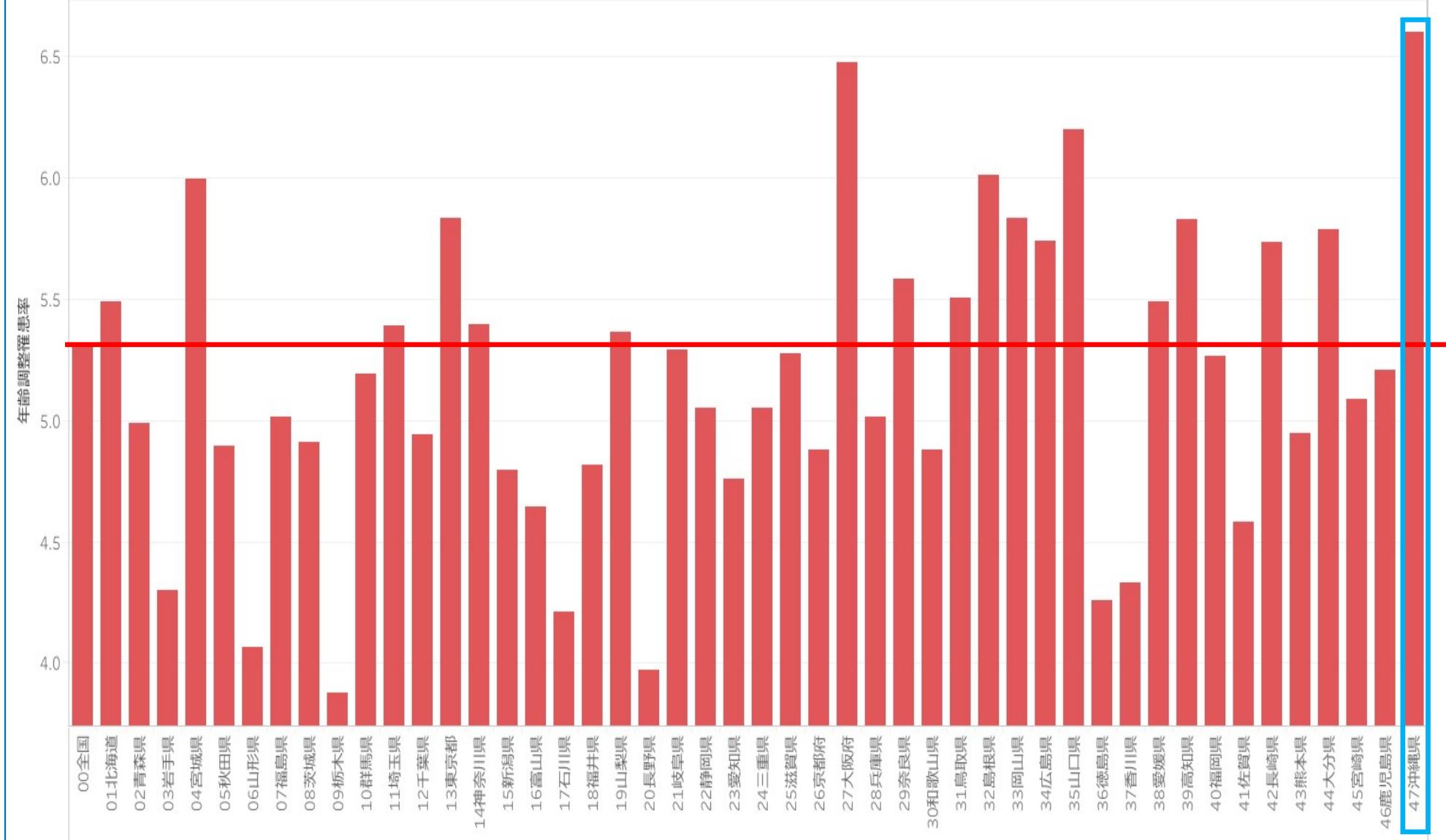
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）、全国がん罹患データ（2016年～2018年）を可視化

都道府県別年齢調整罹患率（部位別・性別）（2016-18）

3口腔・咽頭
女

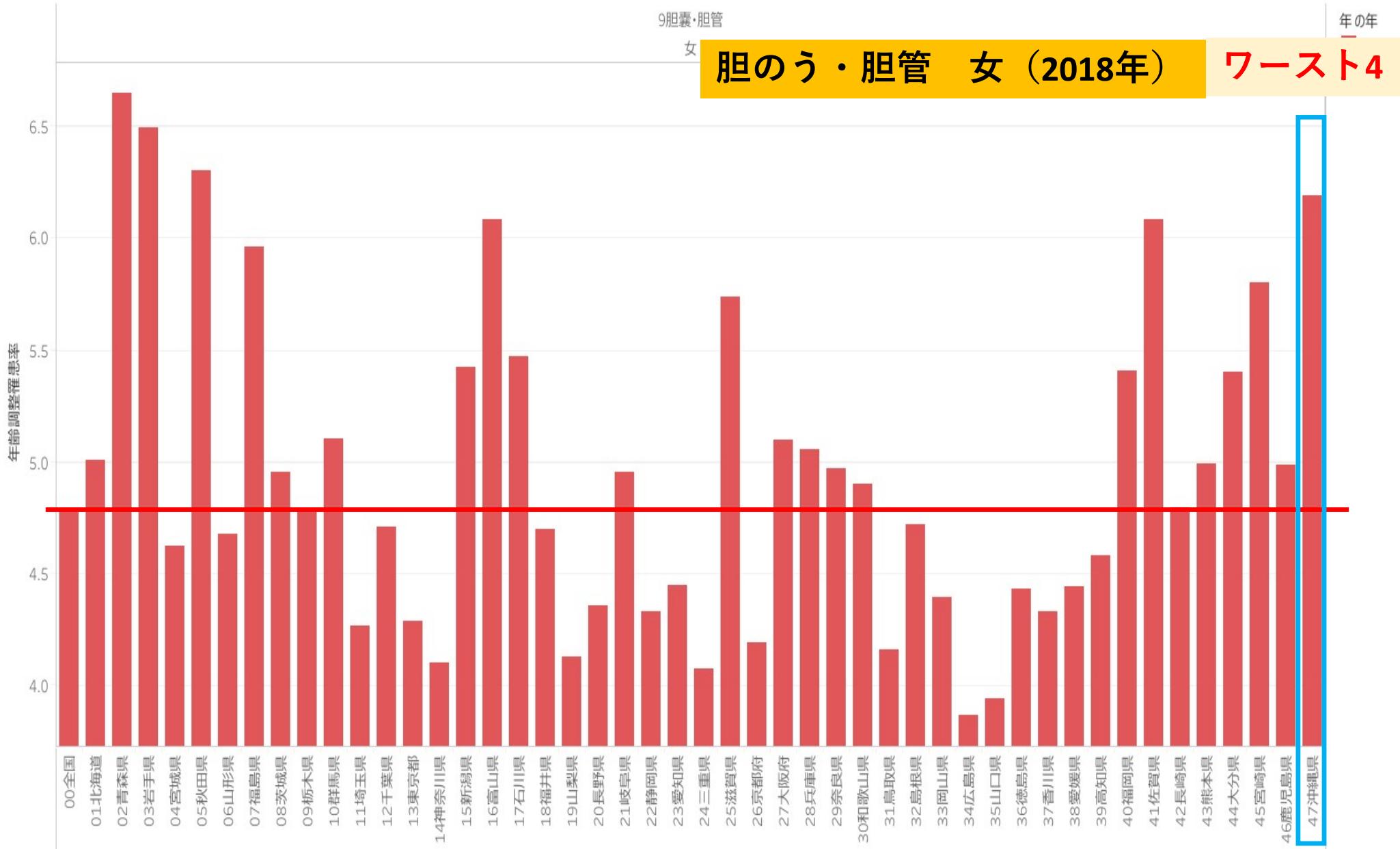
口腔・咽頭（2018年）

ワースト1



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）、全国がん罹患データ（2016年～2018年）を可視化

都道府県別年齢調整罹患率（部位別・性別）（2016-18）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）、全国がん罹患データ（2016年～2018年）を可視化

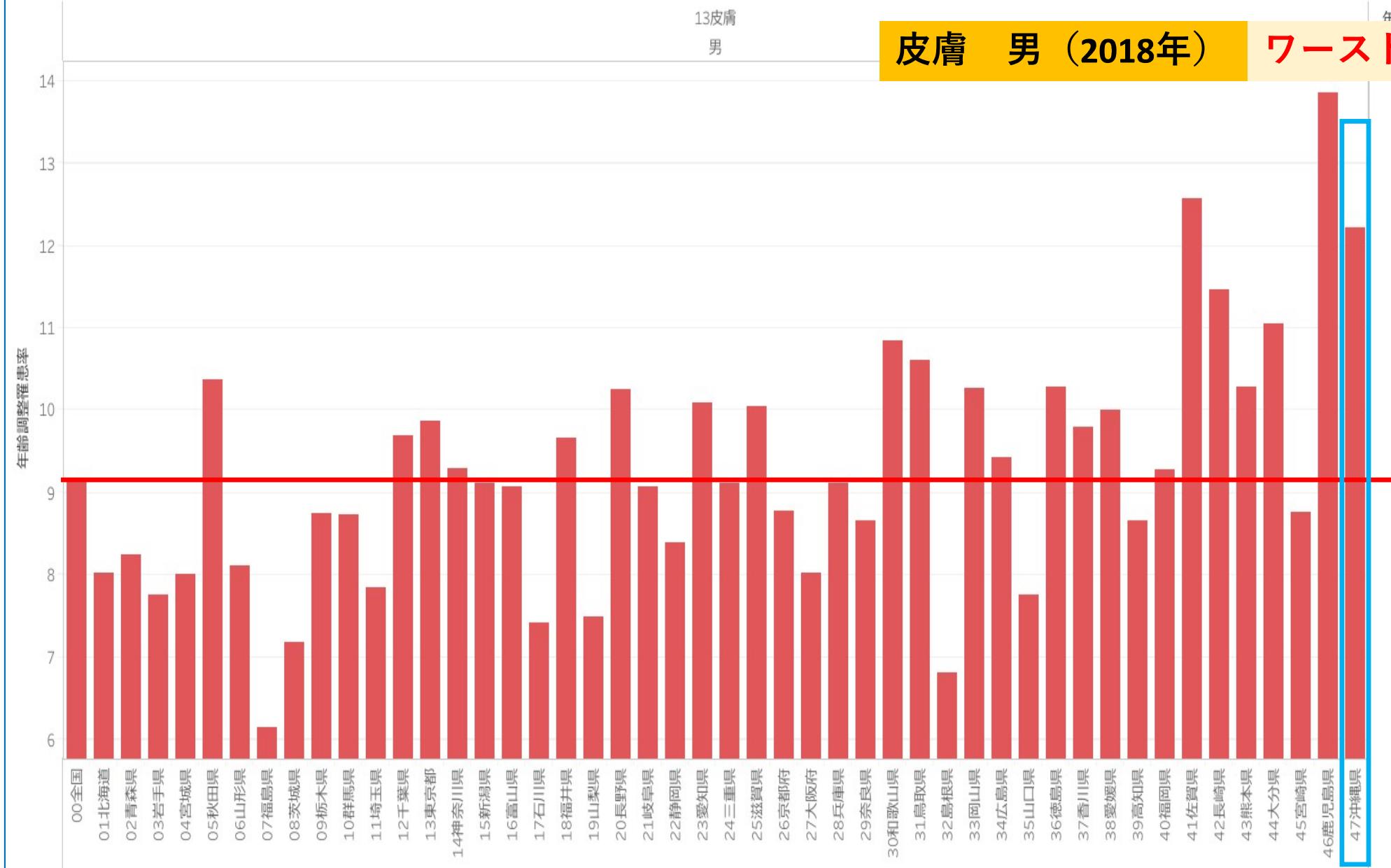
都道府県別年齢調整罹患率（部位別・性別）（2016-18）

13皮膚
男

皮膚 男（2018年）

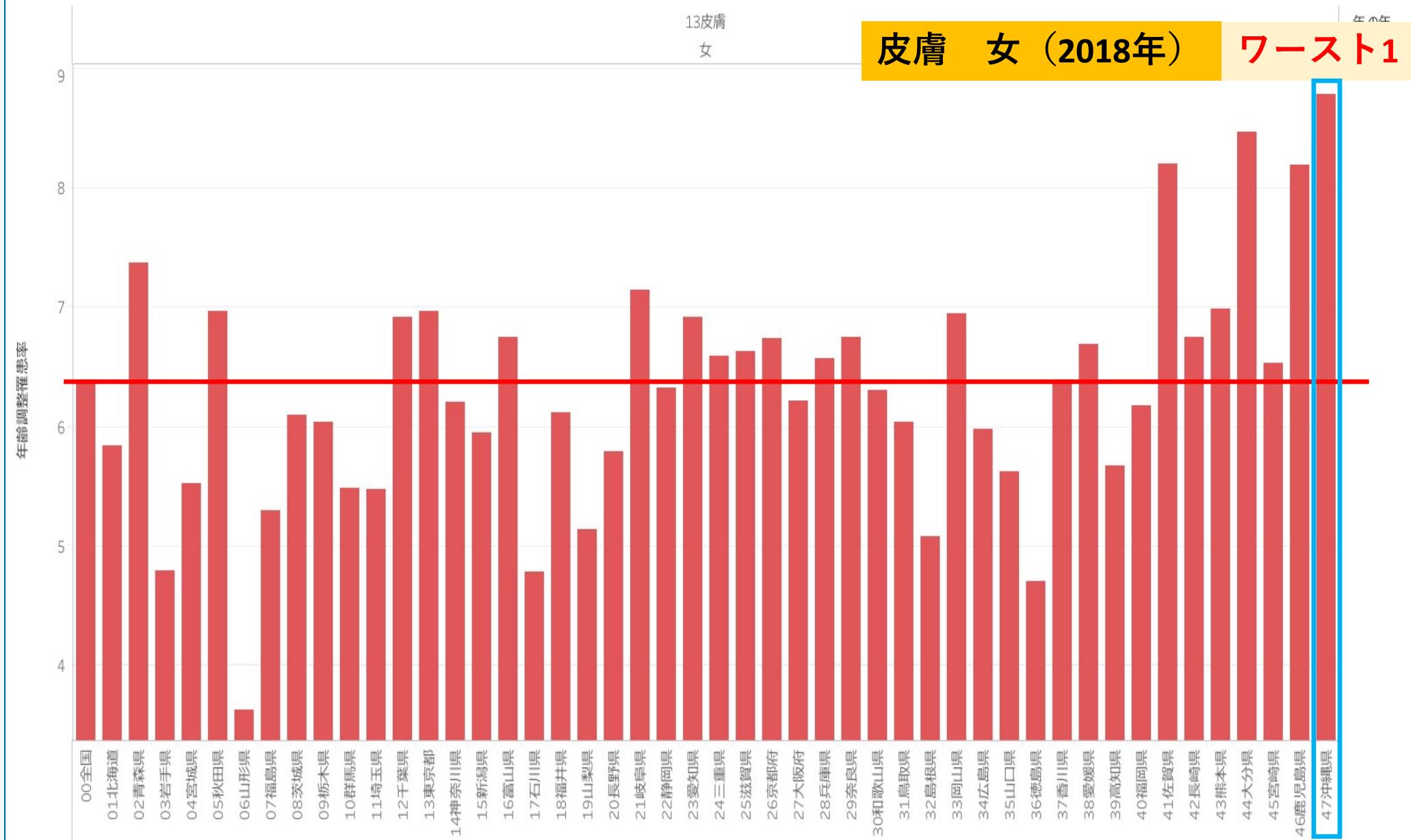
ワースト3

午の年



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）、全国がん罹患データ（2016年～2018年）を可視化

都道府県別年齢調整罹患率（部位別・性別）(2016-18)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）、全国がん罹患データ（2016年～2018年）を可視化

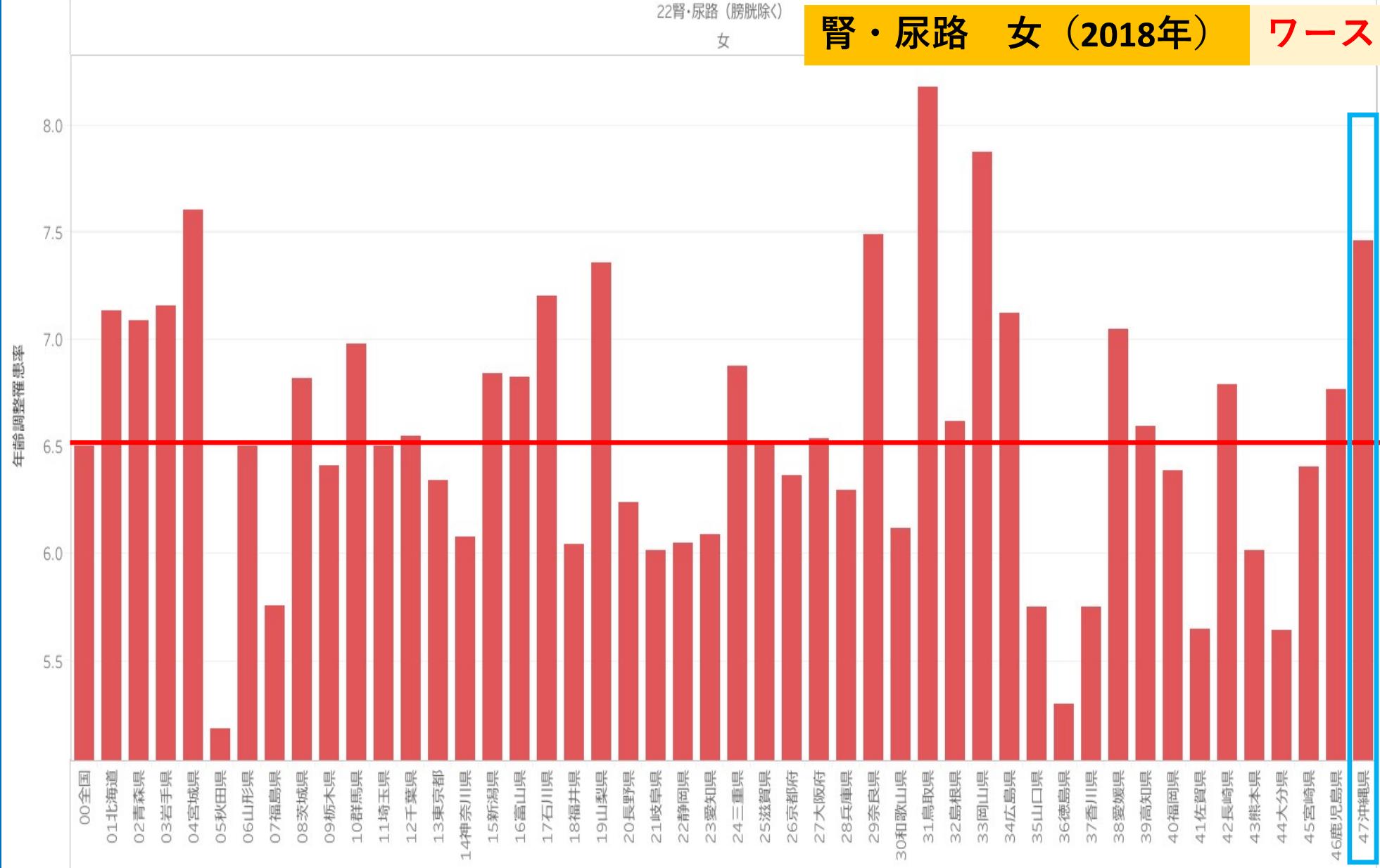
都道府県別年齢調整罹患率（部位別・性別）（2016-18）

22腎・尿路（膀胱除く）

女

腎・尿路 女（2018年）

ワースト5



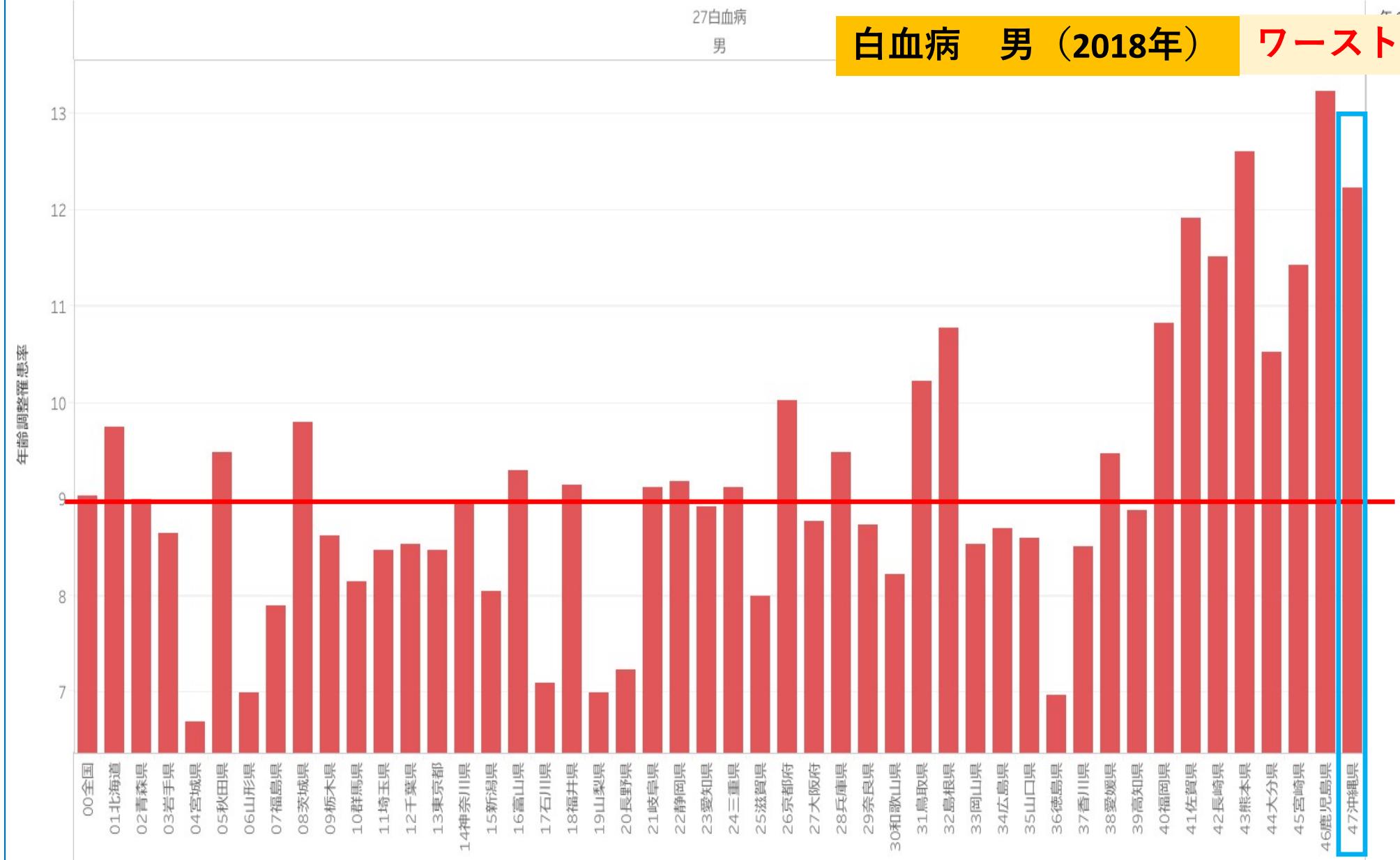
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）、全国がん罹患データ（2016年～2018年）を可視化

都道府県別年齢調整罹患率（部位別・性別）（2016-18）

27白血病
男

白血病 男（2018年）

ワースト3



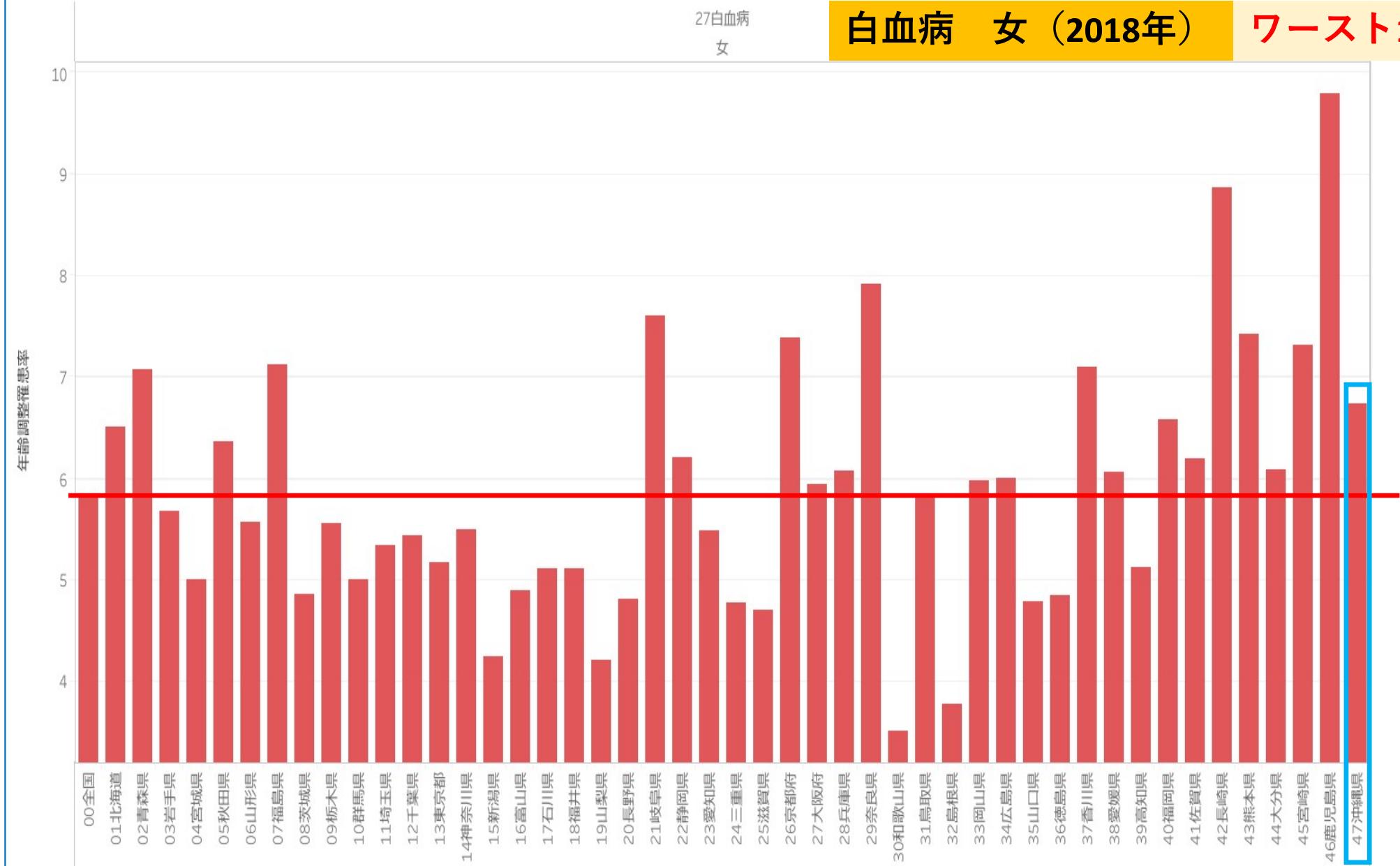
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）、全国がん罹患データ（2016年～2018年）を可視化

都道府県別年齢調整罹患率（部位別・性別）（2016-18）

27白血病
女

白血病 女（2018年）

ワースト11

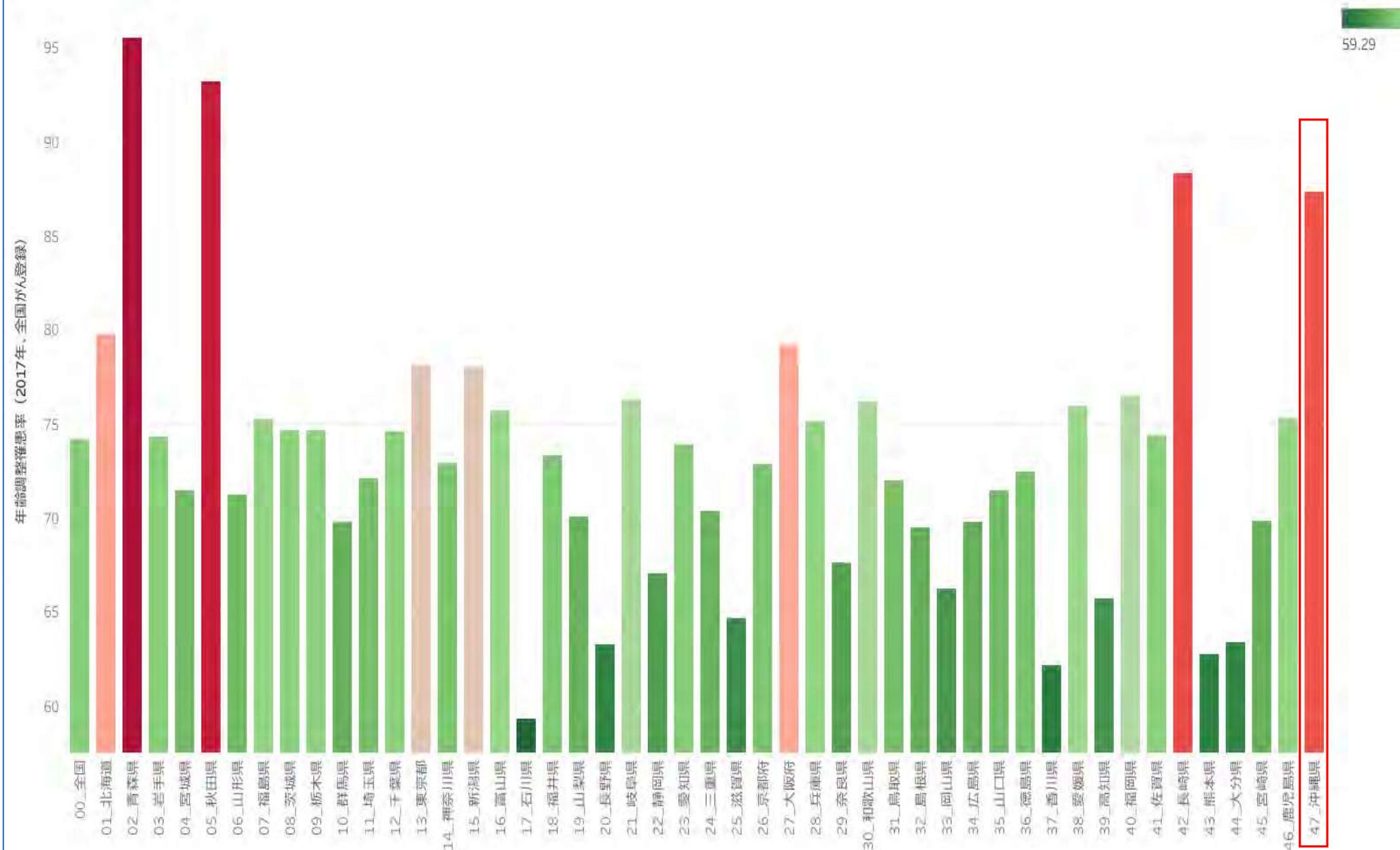


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）、全国がん罹患データ（2016年～2018年）を可視化

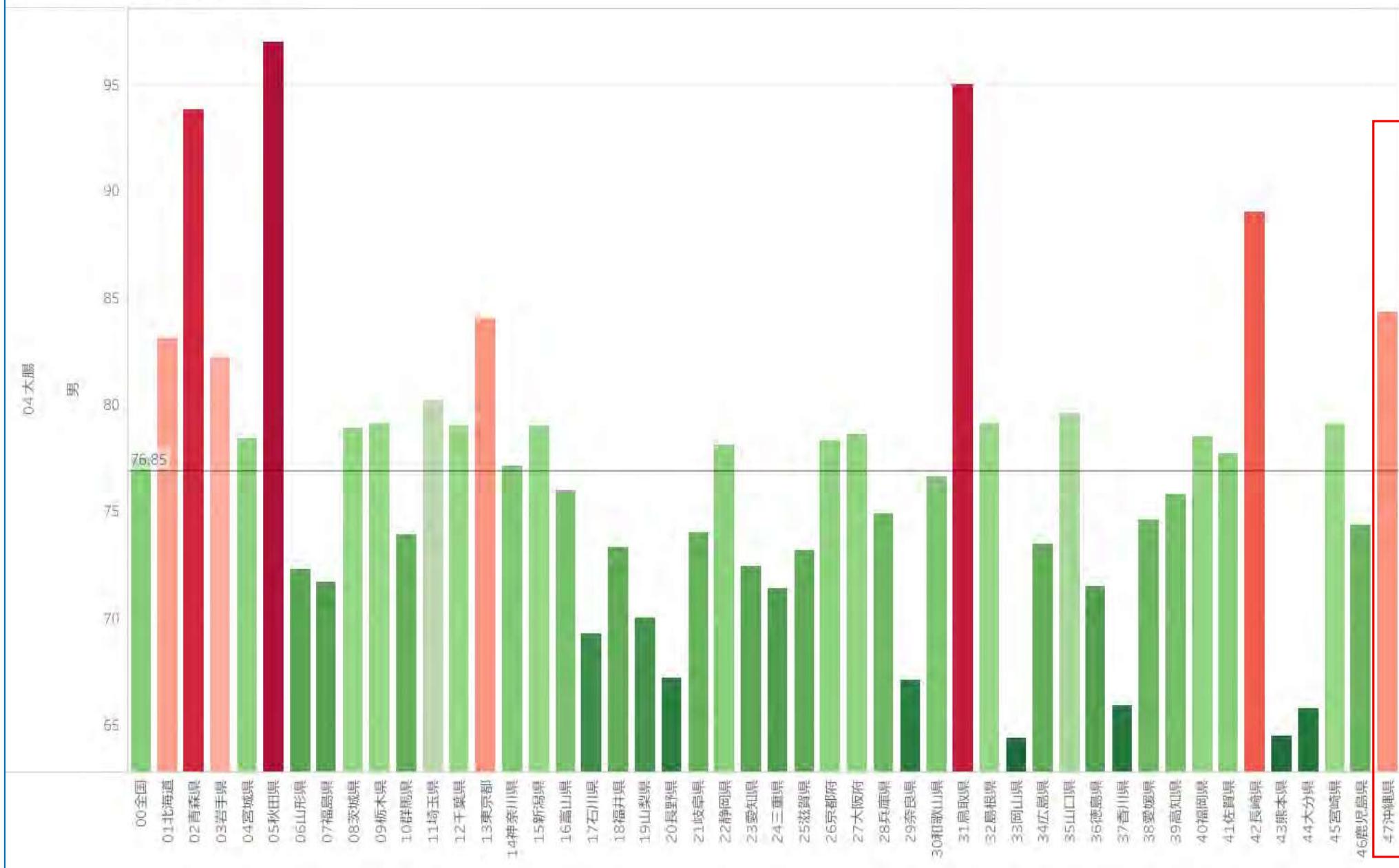


罹患率（年齢調整）
2016年、2017年
<2020年8月7日資料>

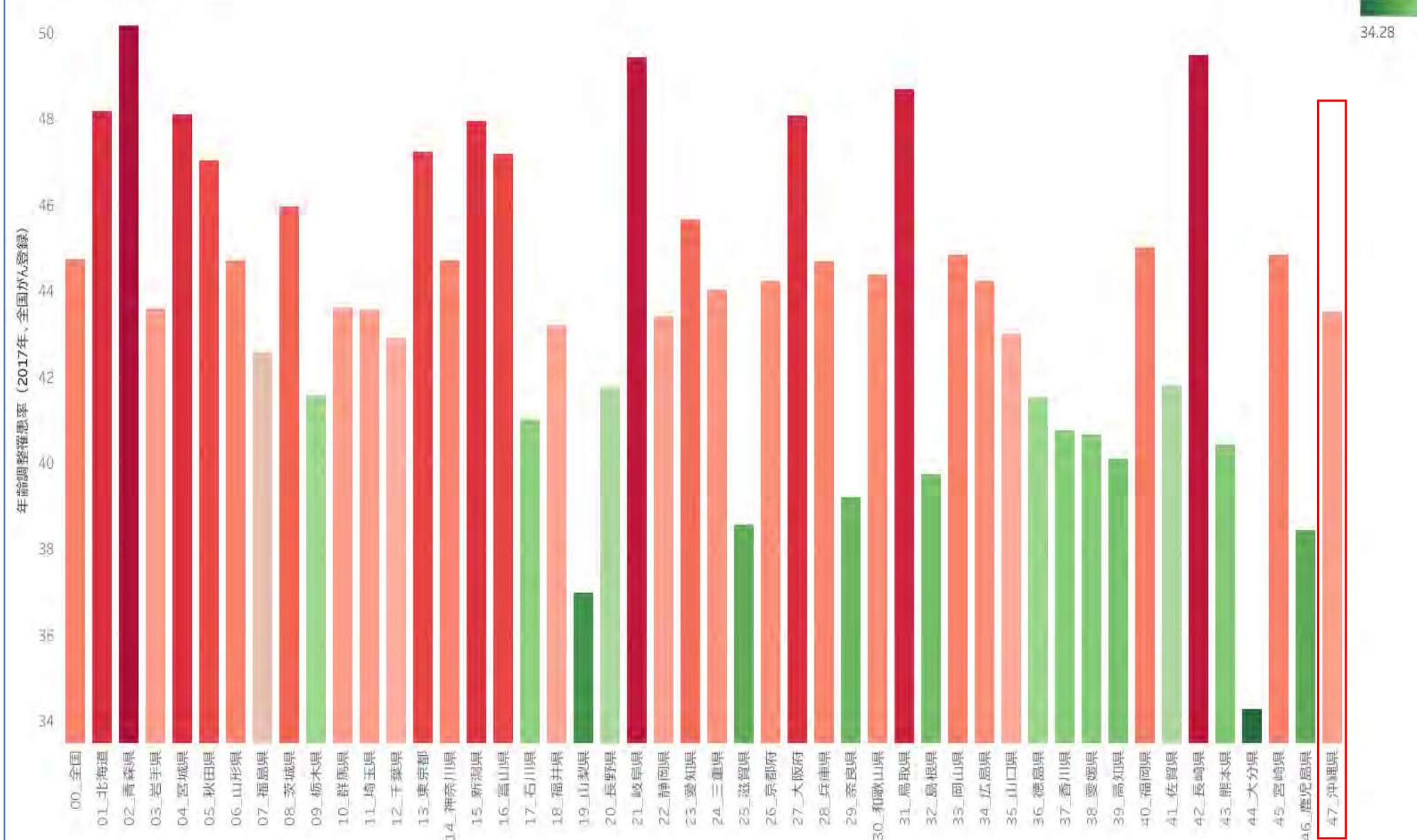
都道府県別罹患率



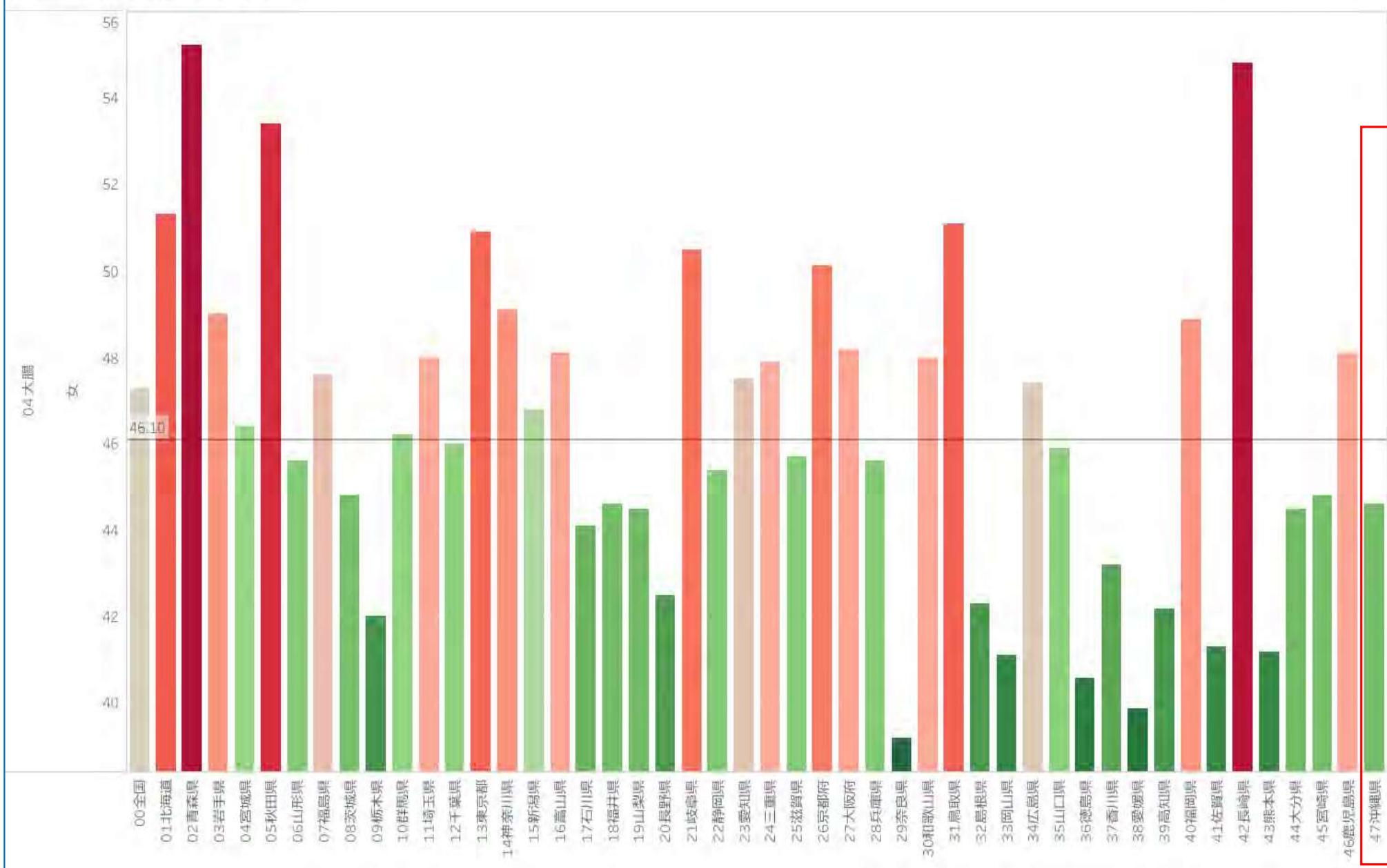
都道府県別年齢調整罹患率



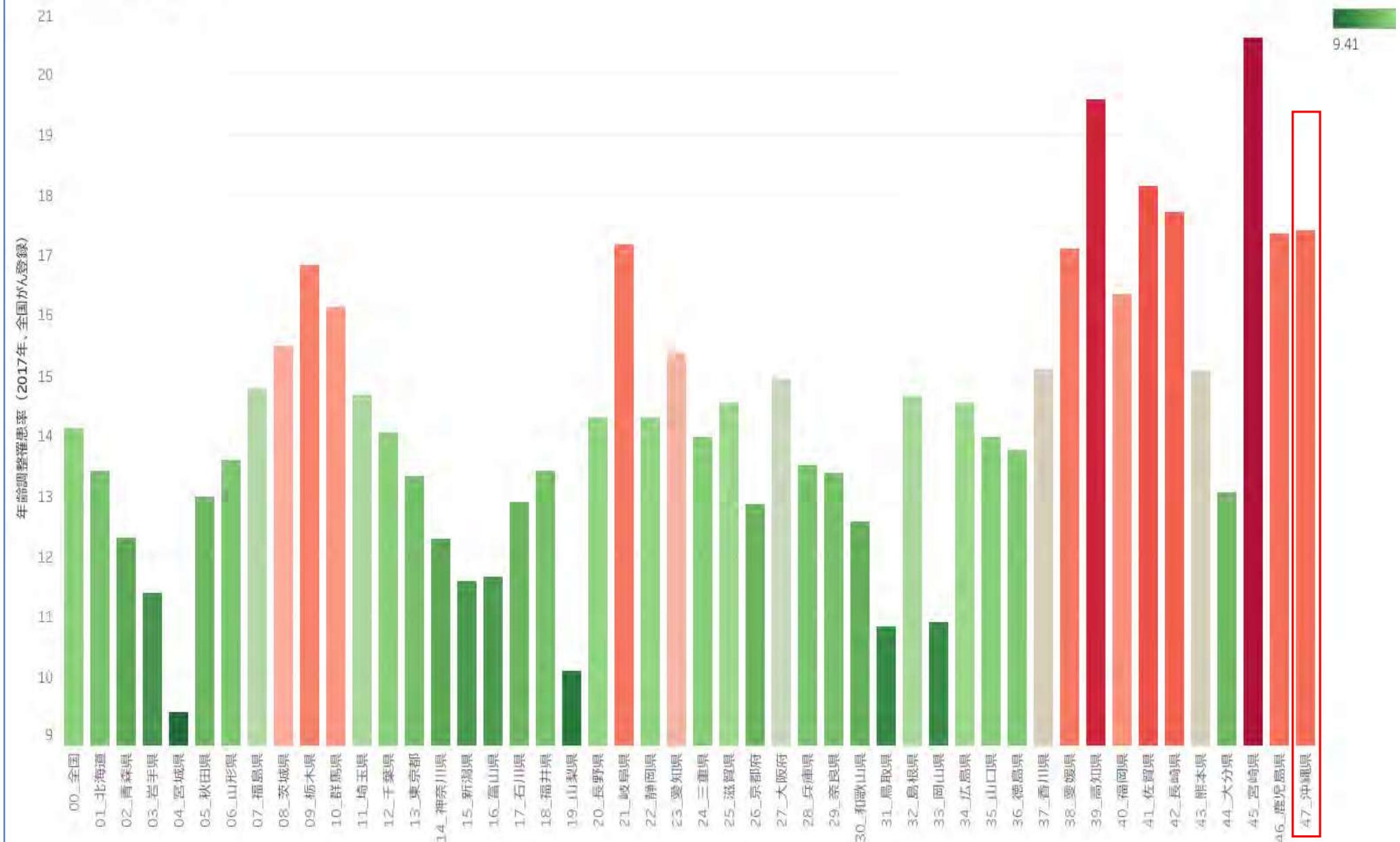
都道府県別罹患率



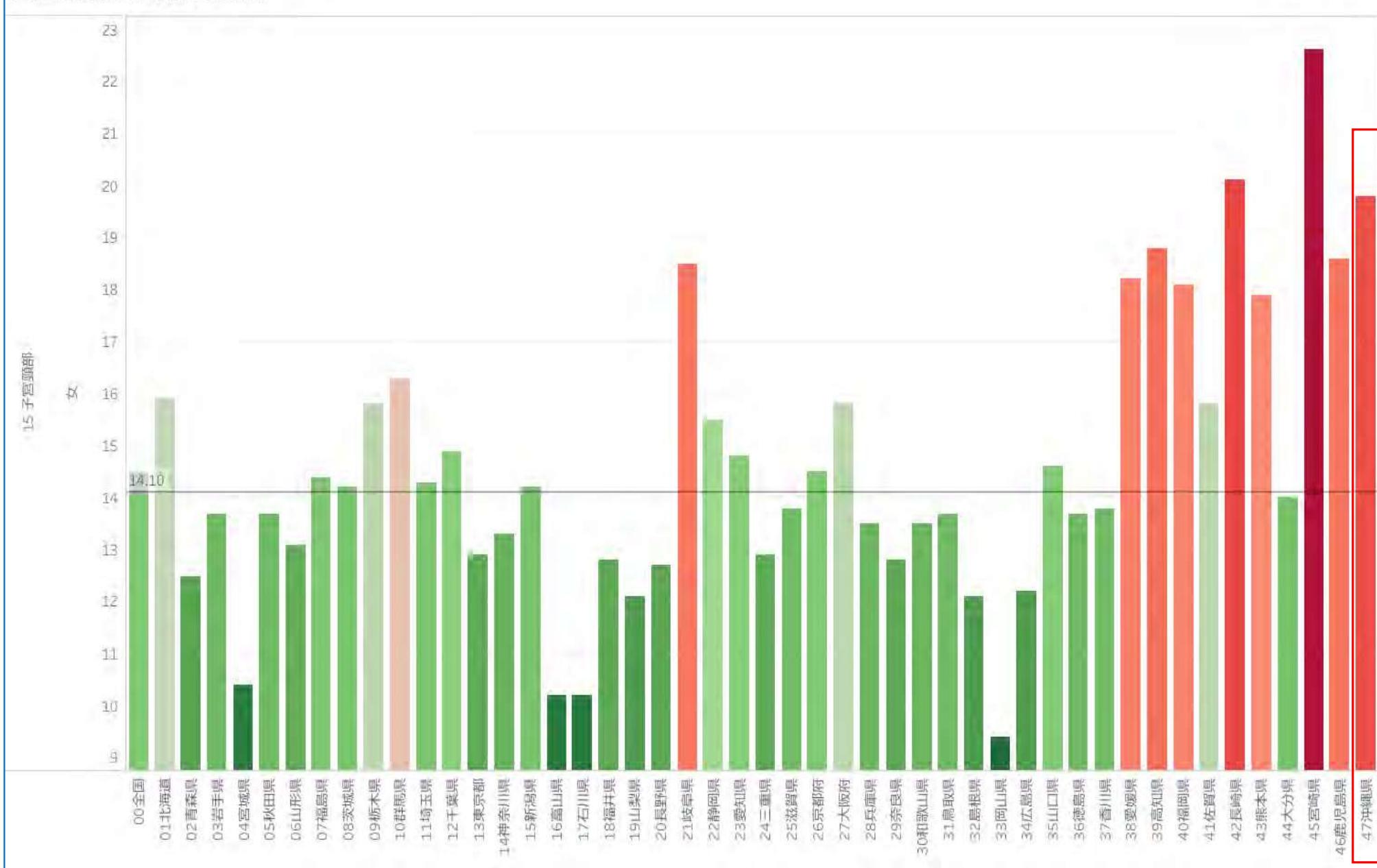
都道府県別年齢調整罹患率



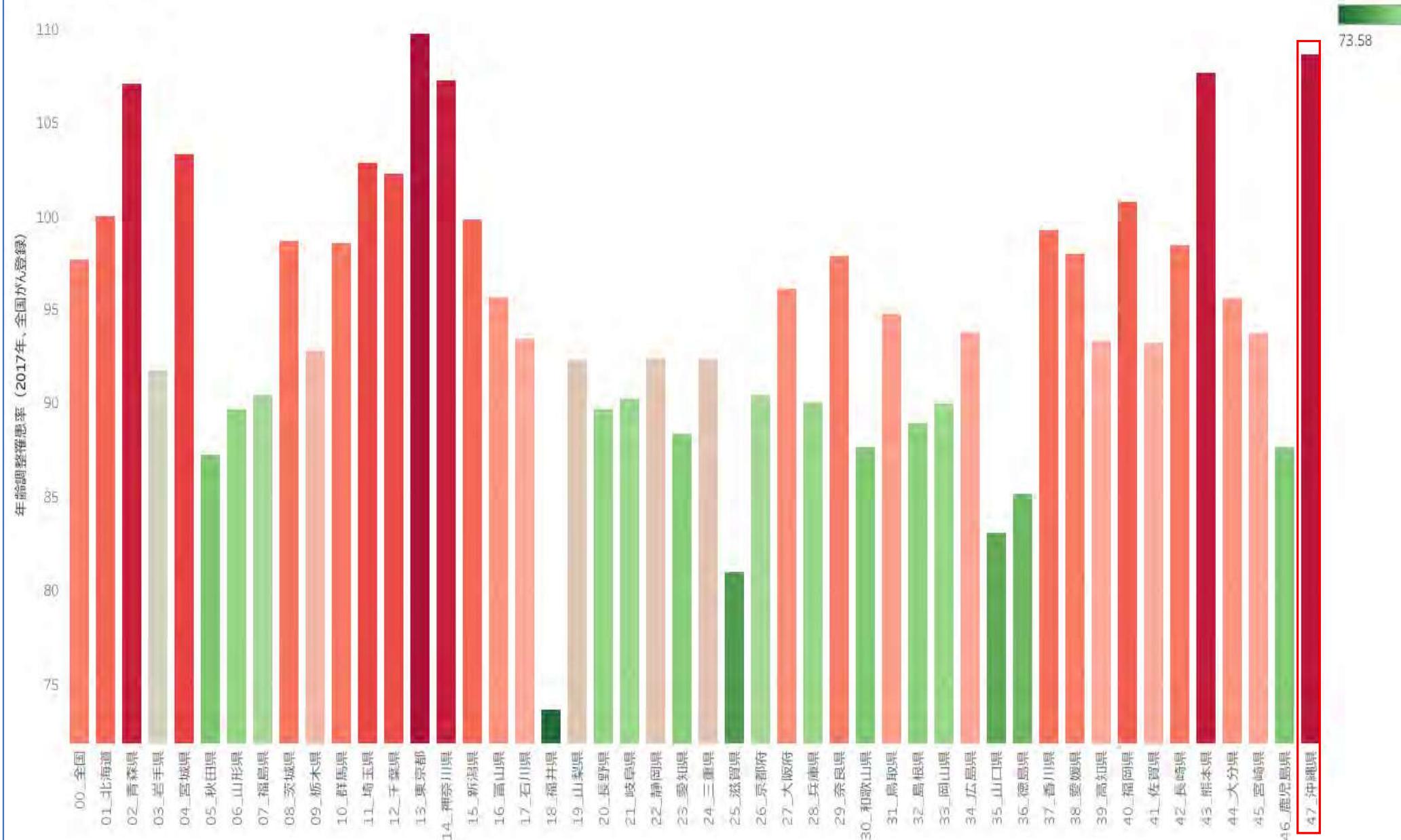
都道府県別罹患率



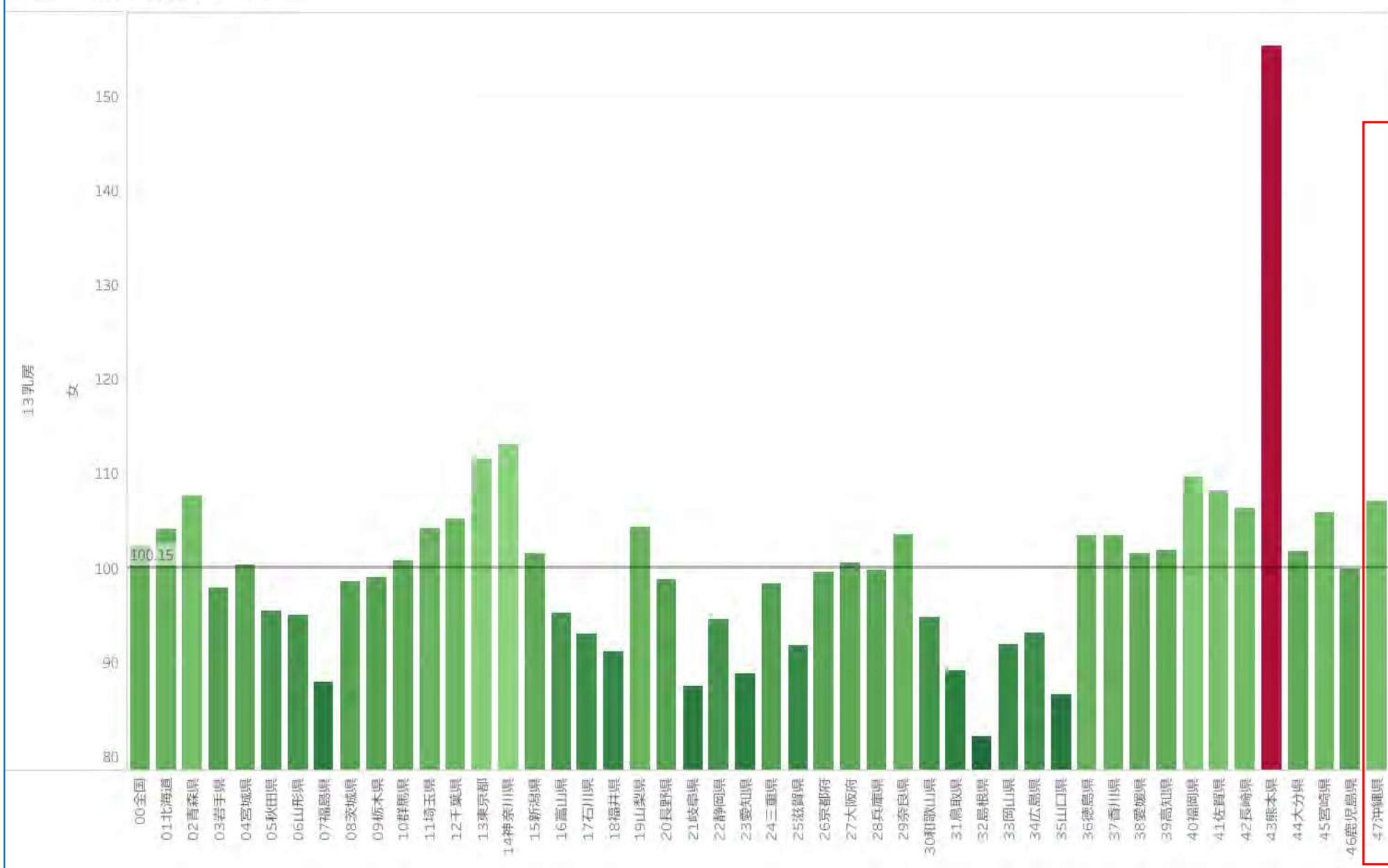
都道府県別年齢調整罹患率



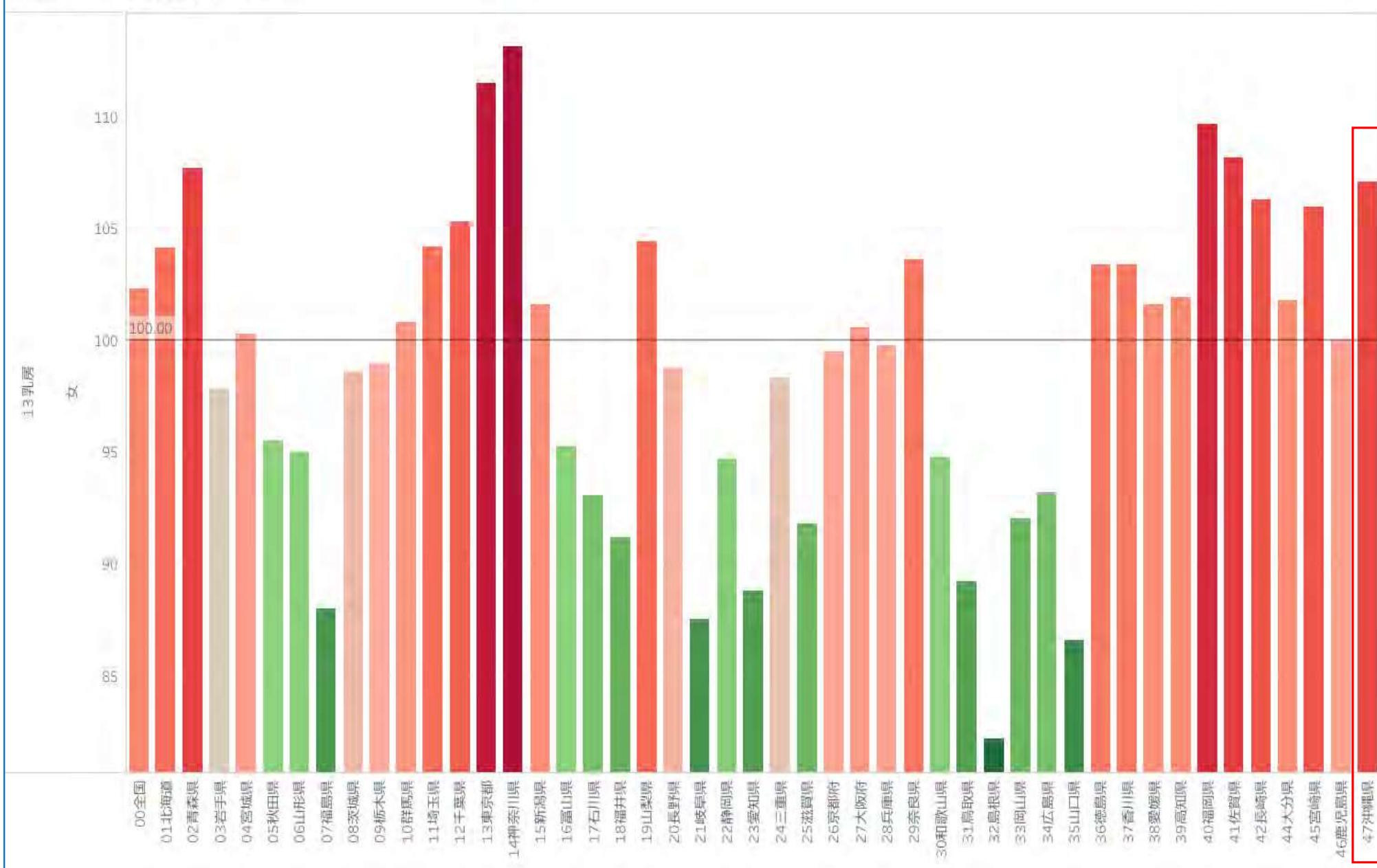
都道府県別罹患率



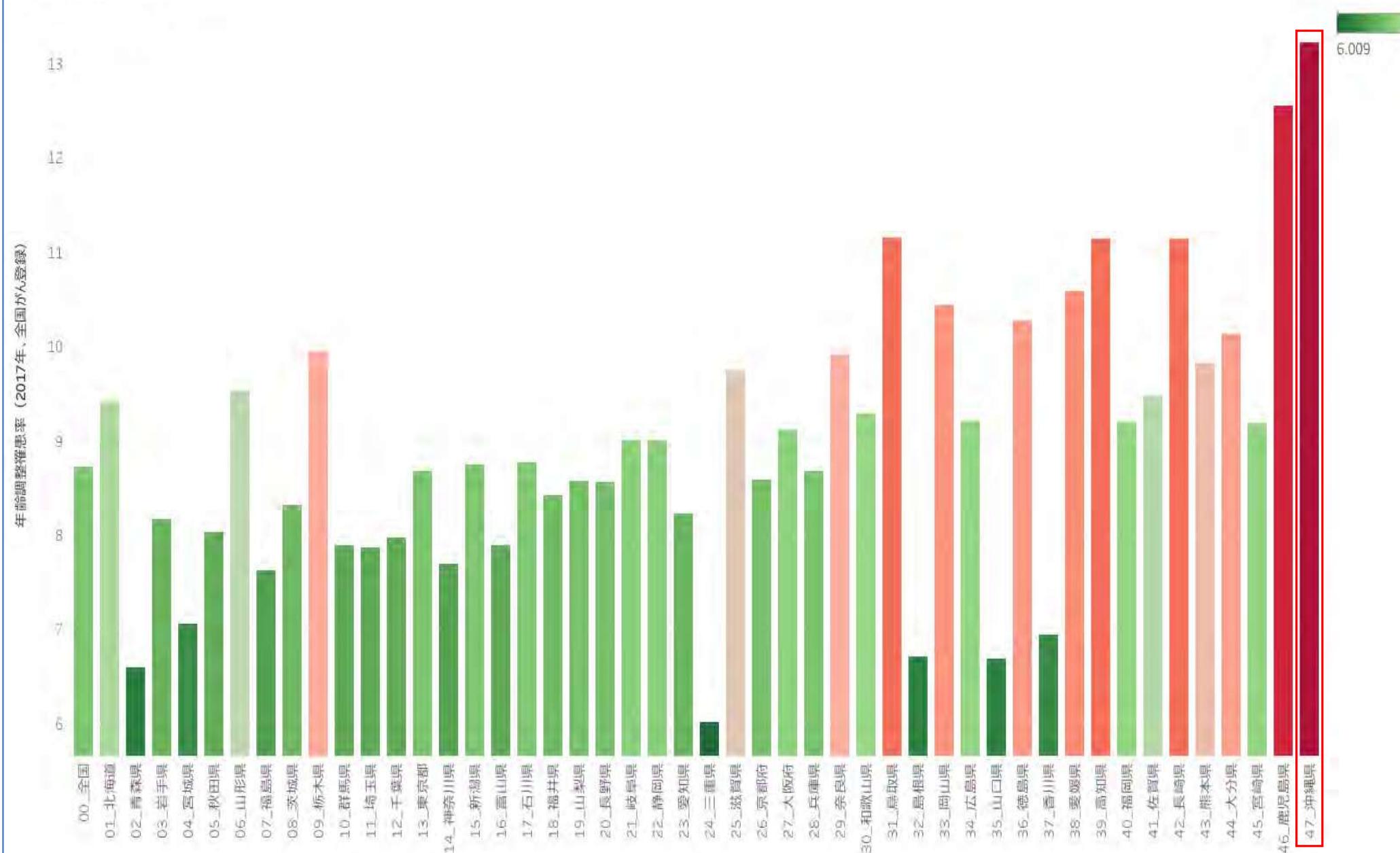
都道府県別年齢調整罹患率



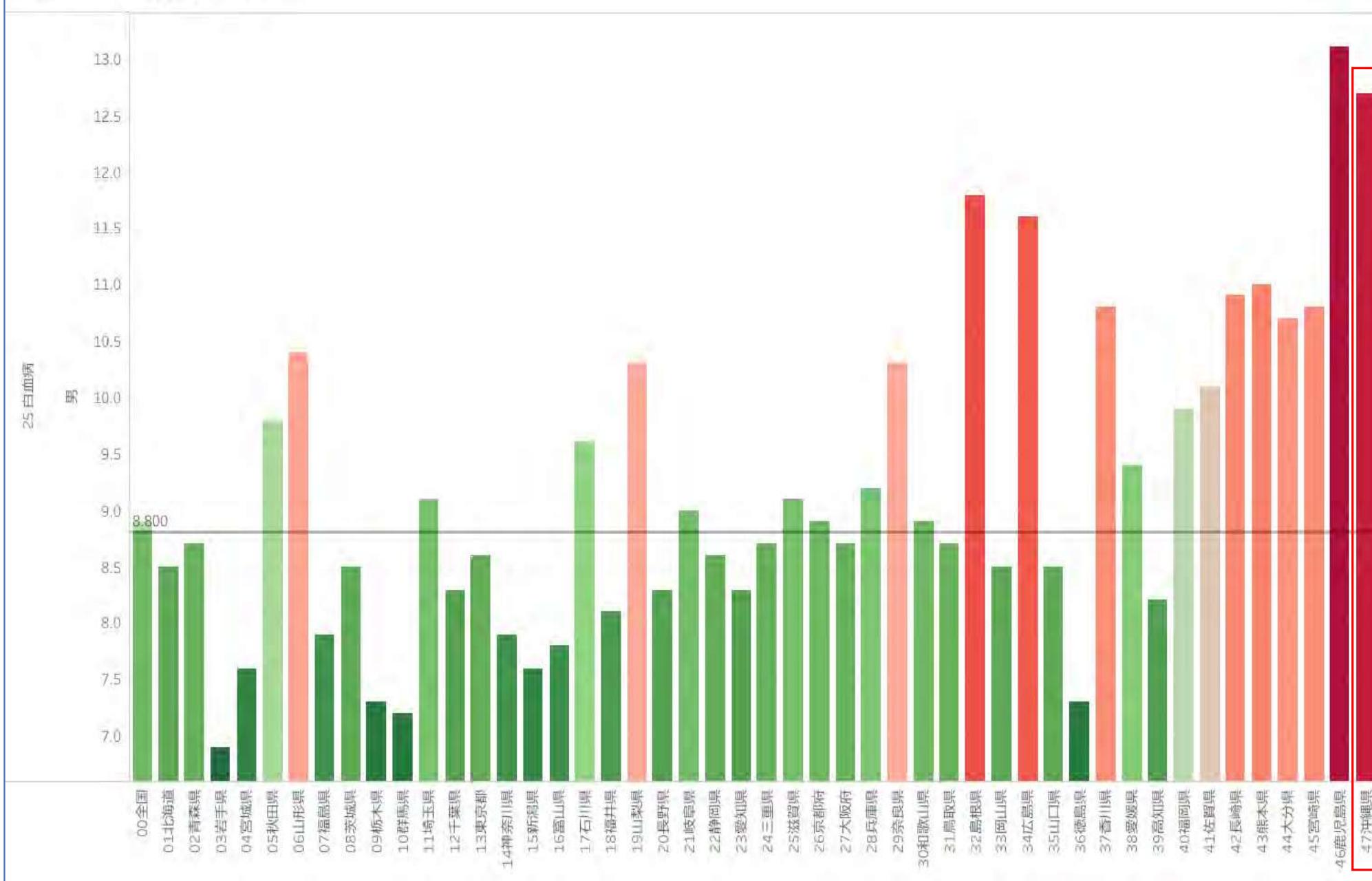
都道府県別年齢調整罹患率



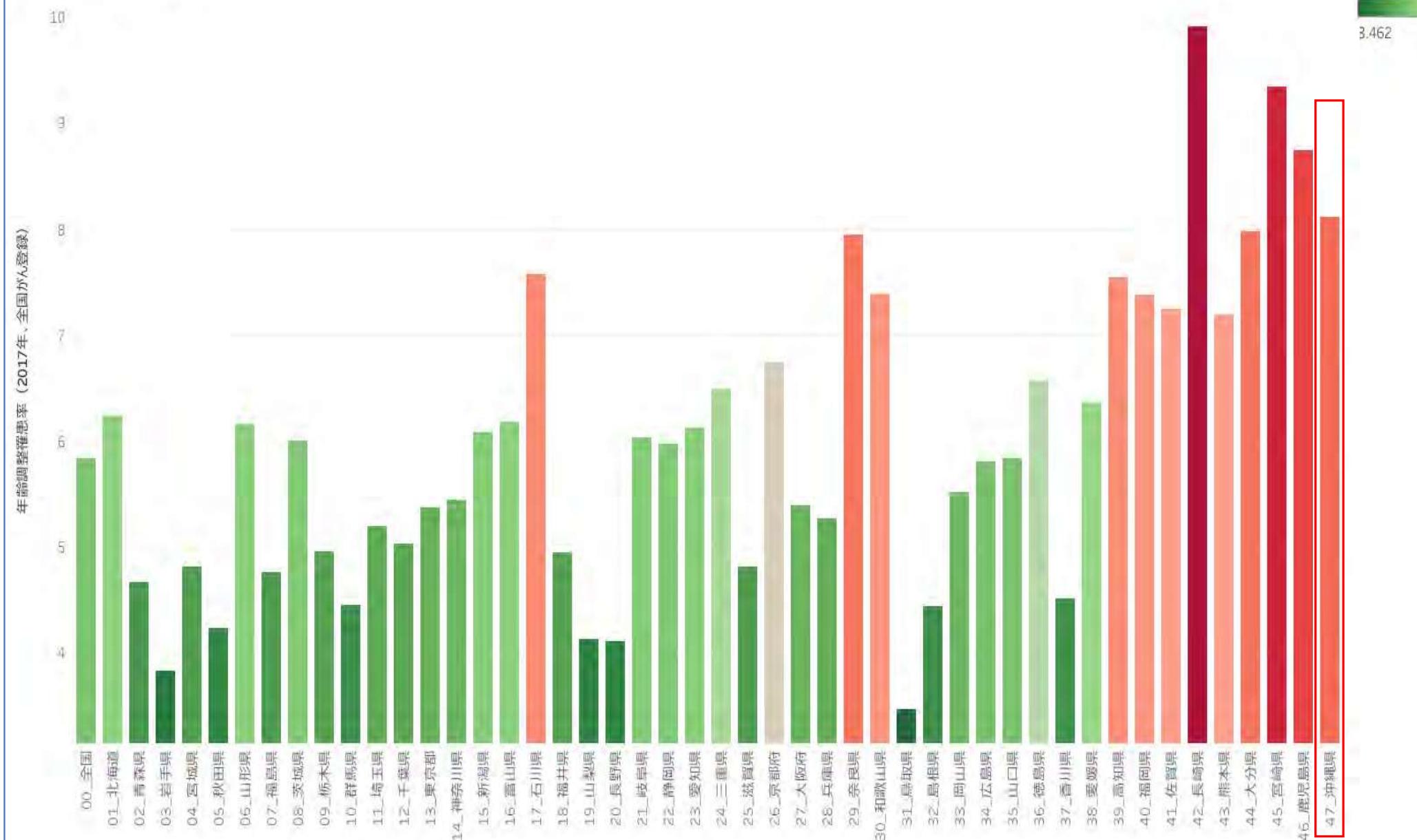
都道府県別罹患率



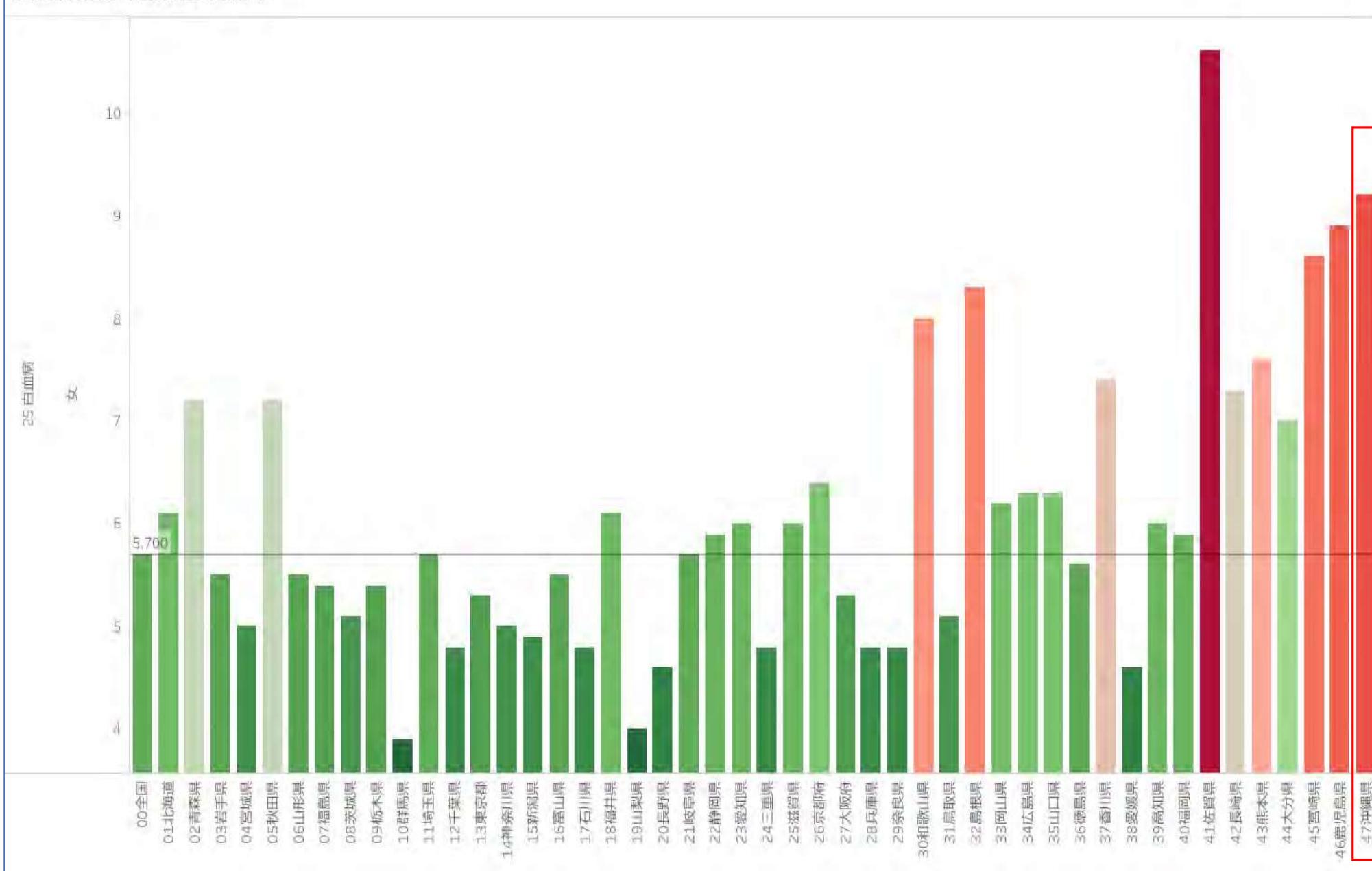
都道府県別年齢調整罹患率



都道府県別罹患率

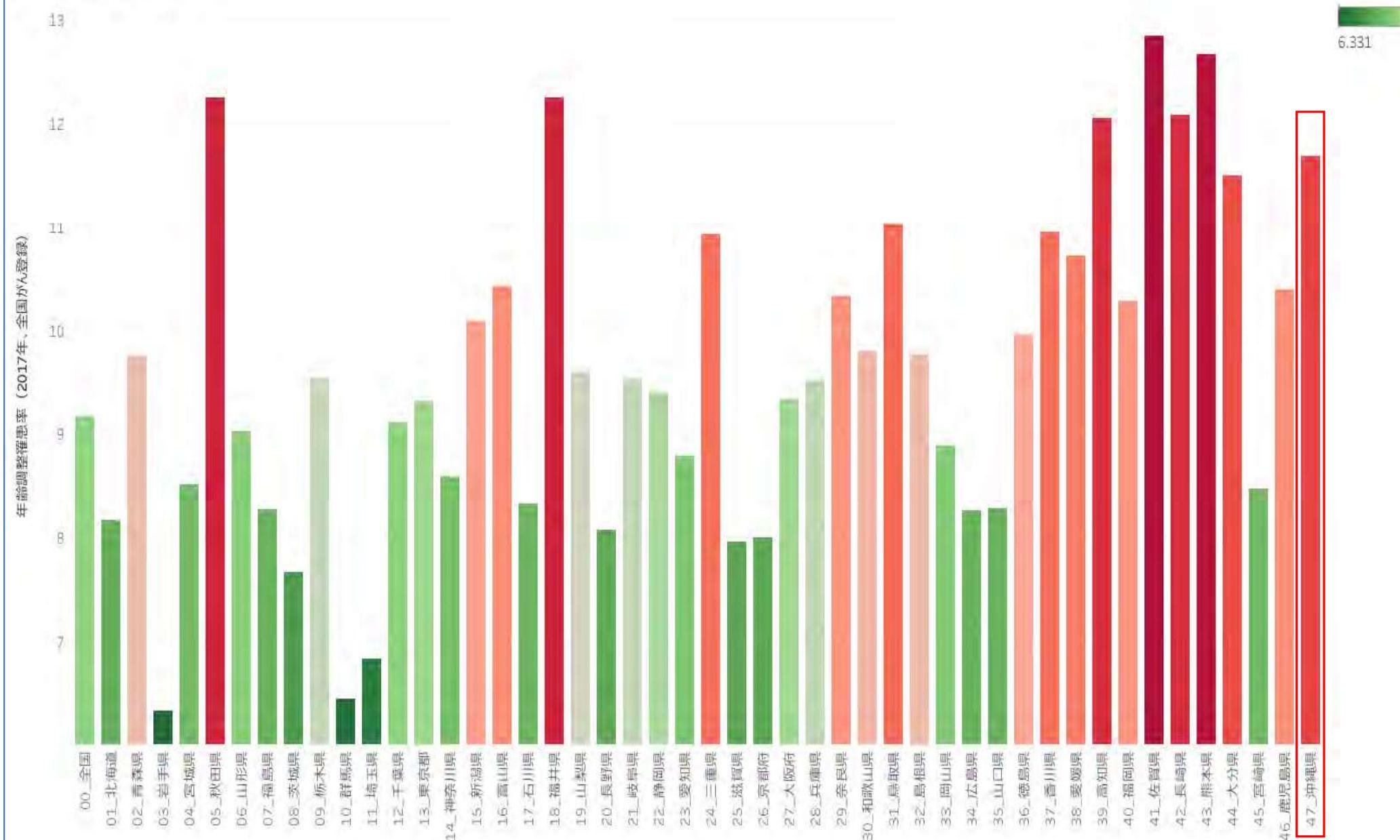


都道府県別年齢調整罹患率

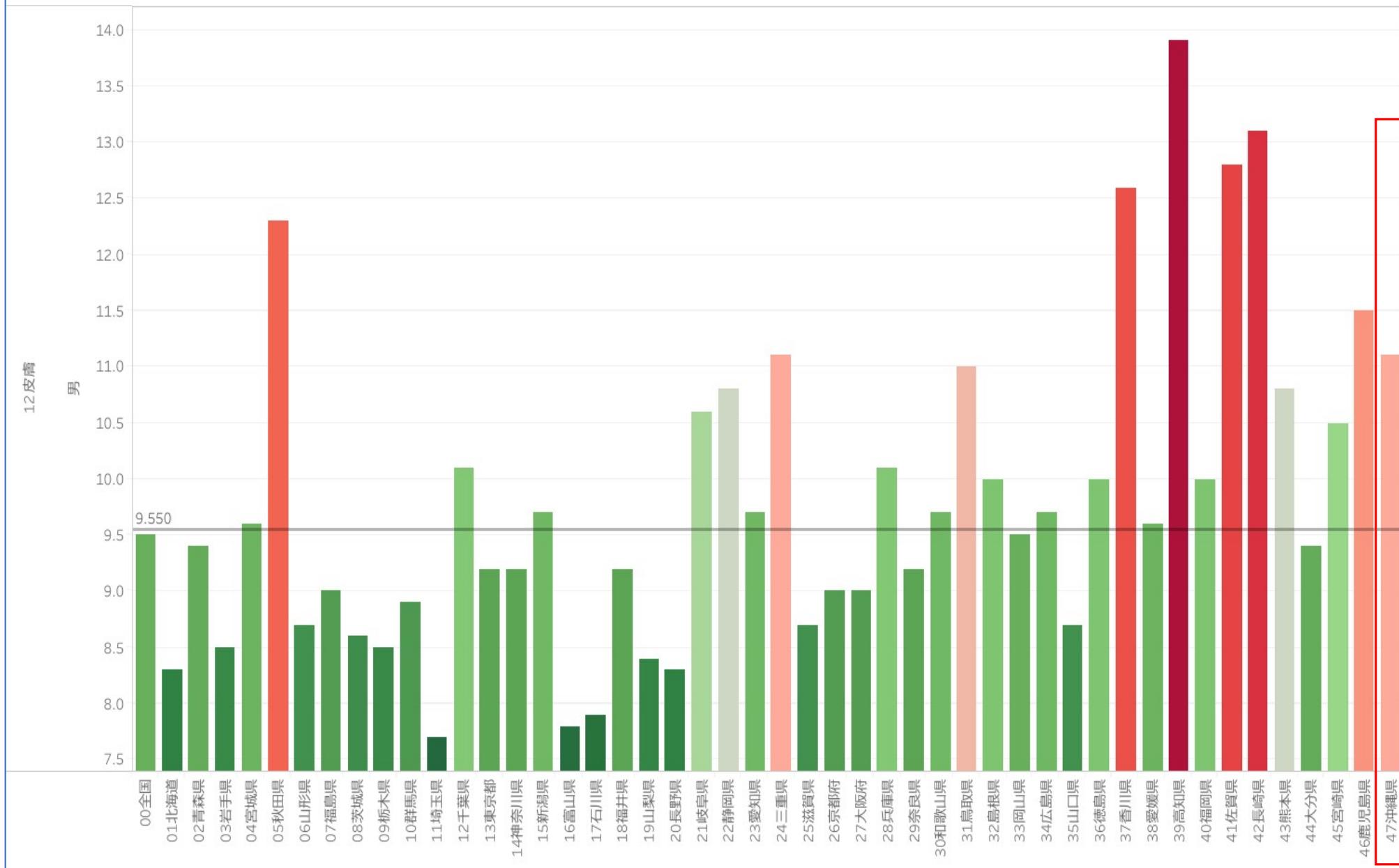


出典：厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2016』

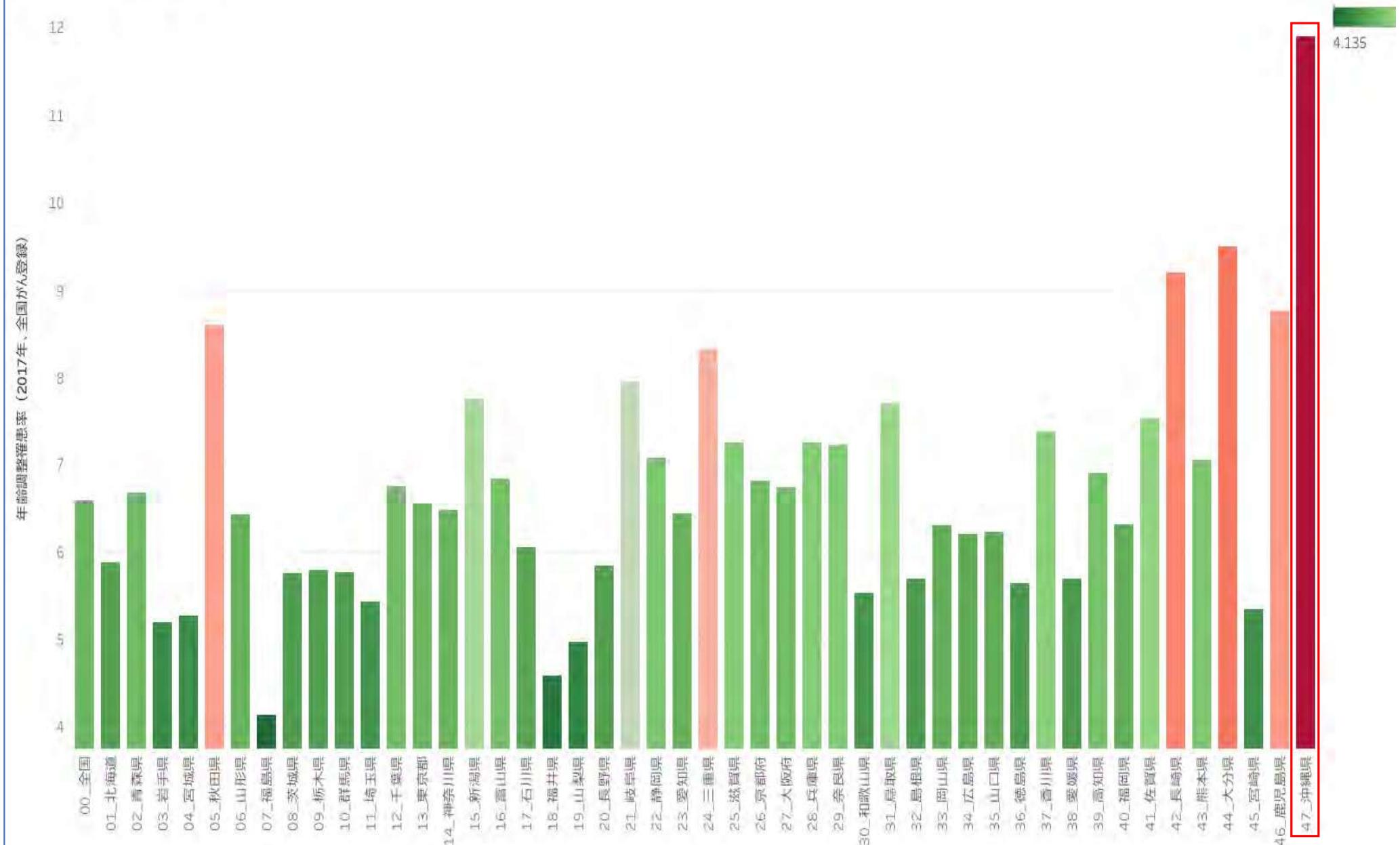
都道府県別罹患率



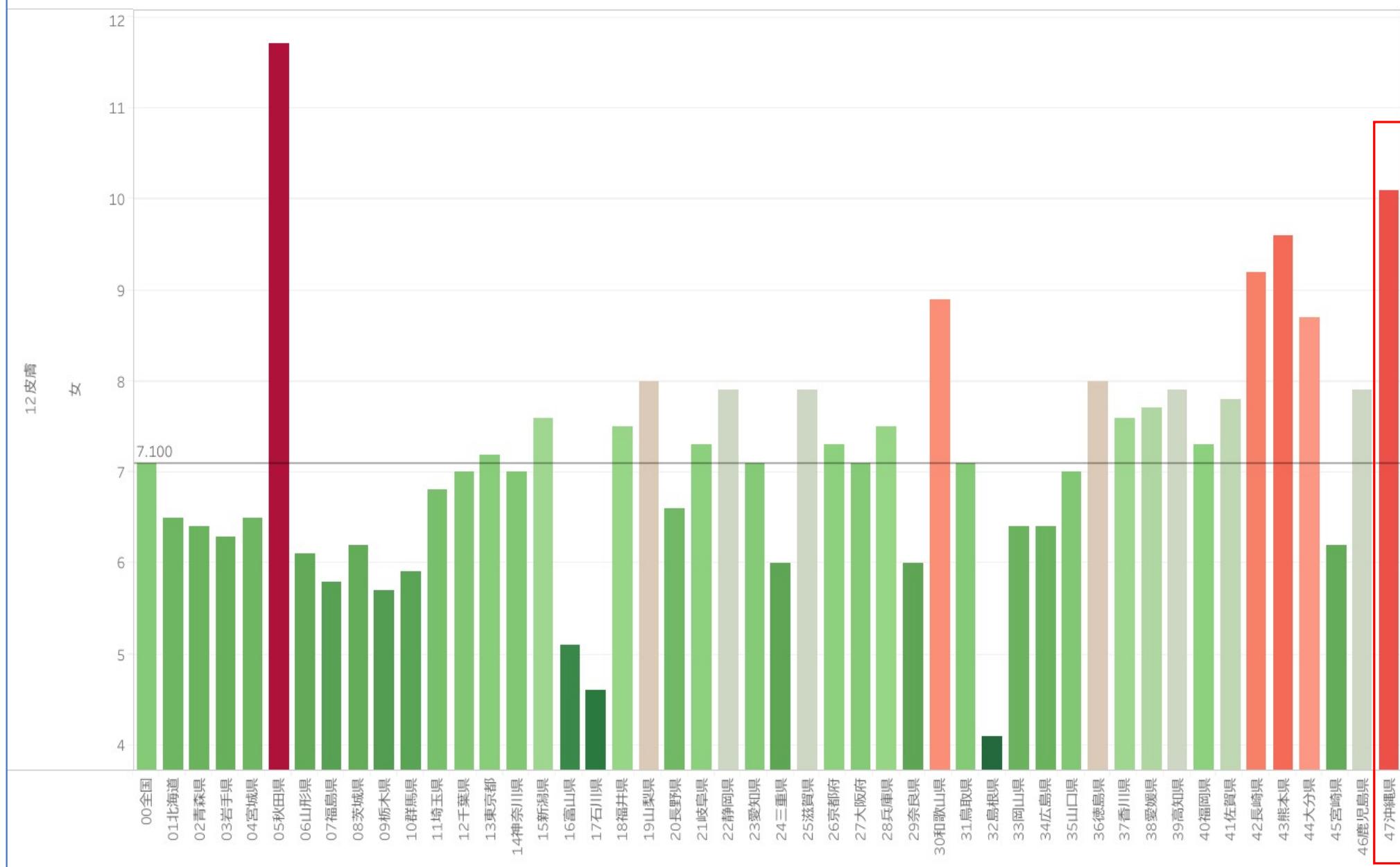
都道府県別年齢調整罹患率



都道府県別罹患率



都道府県別年齢調整罹患率



がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策

個別施策	指標

初期アウトカム

予防対策	指標
	<柱6>
	<柱6>

中間アウトカム

罹 患	指標
罹患が減少している	罹患率 <柱2>

最終アウトカム

死 亡	指標
死亡が減っている	死亡率 <柱1>

個別施策	指標

早期発見対策	指標
	<柱7>
	<柱7>

早期発見	指標
早期発見が高まっている	早期発見率 <柱4>

生 存	指標
生存が高まっている	5年生存率 <柱3>

個別施策	指標

医療の質対策	指標
	<柱8>
	<柱8>

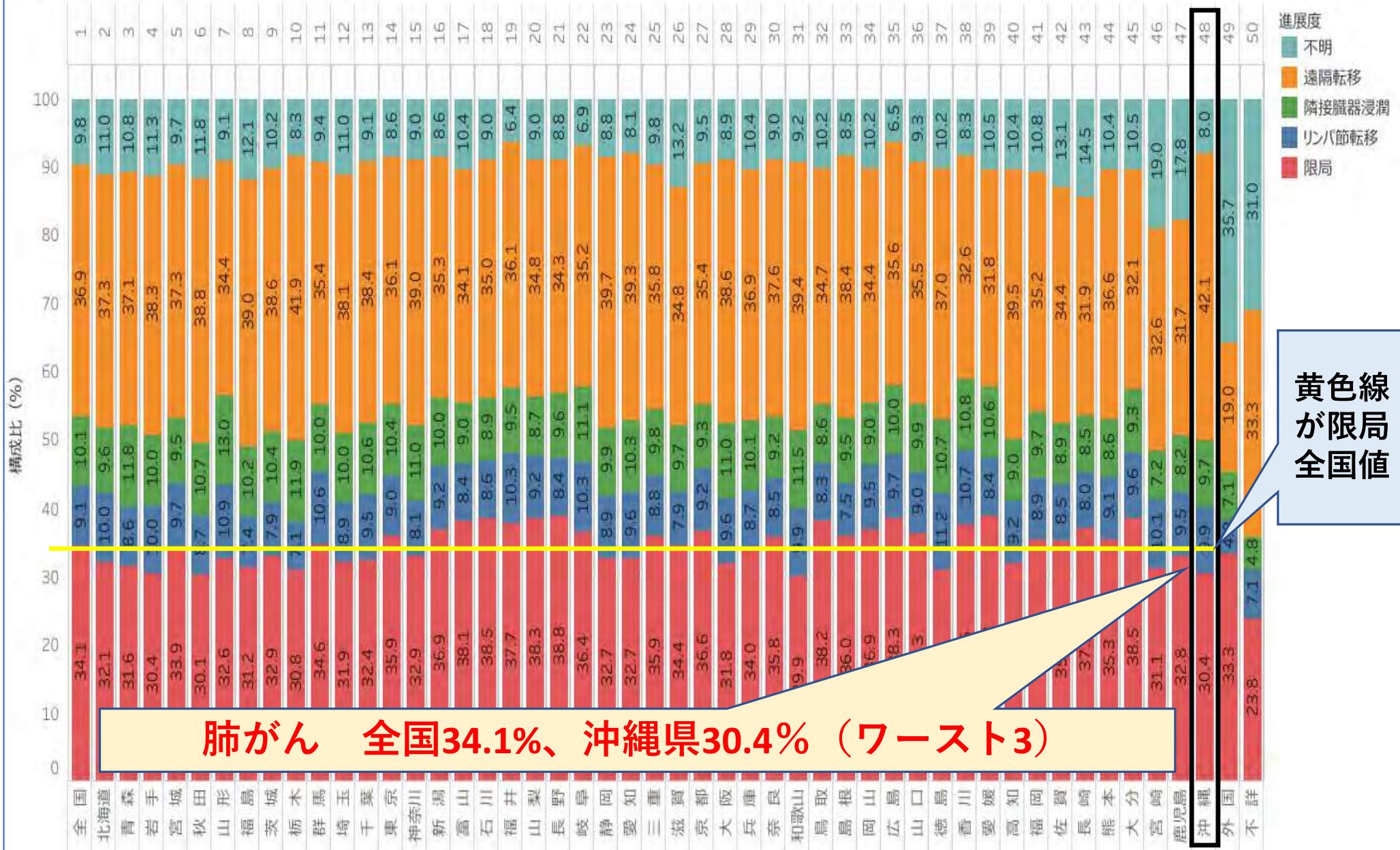
治療の質が高まっている	進行度別5年生存率 <柱5>

早期発見

がん進展度/ 早期発見率

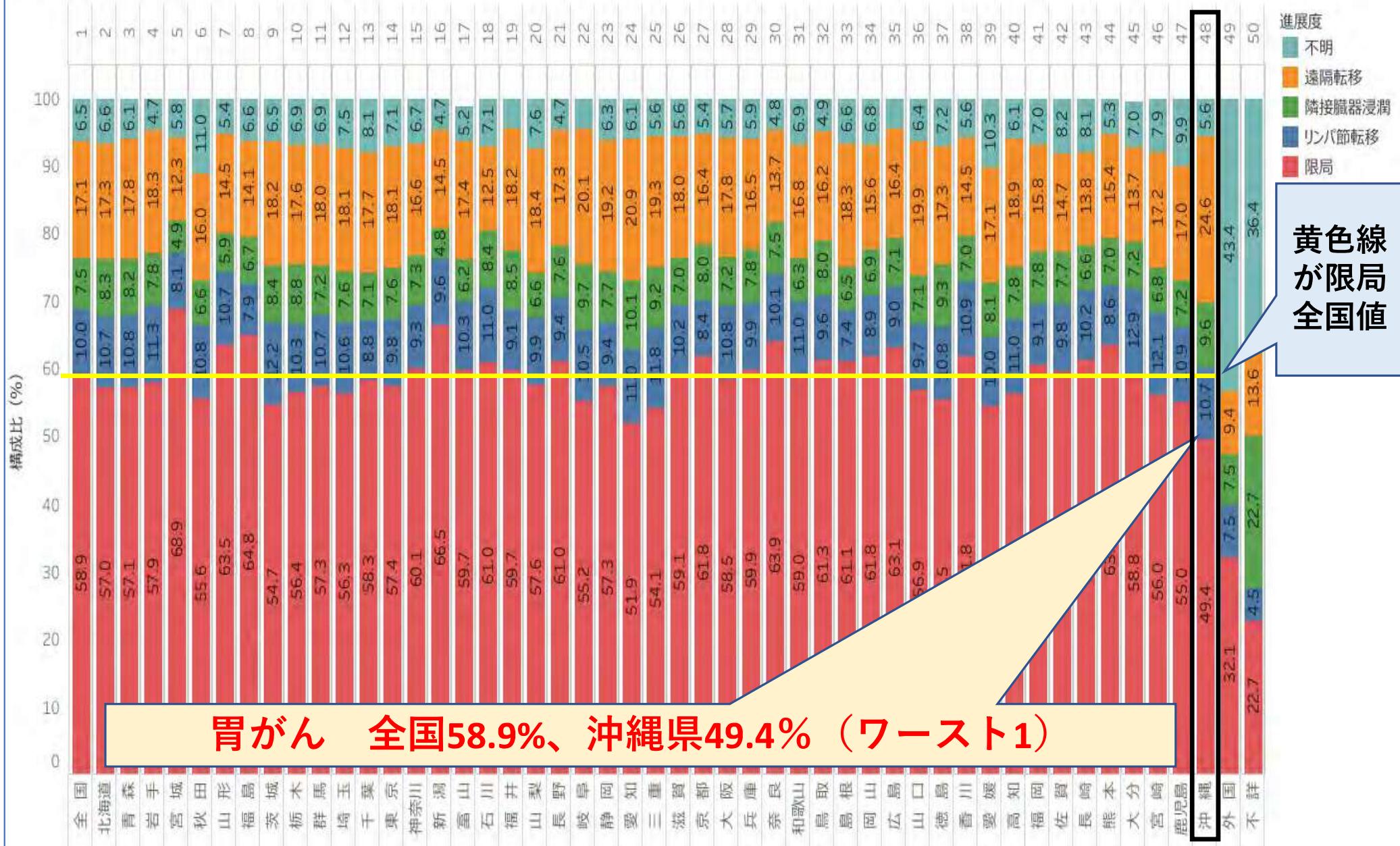
<2022年2月4日資料>

がん進展度（総合）（上皮内がん除く）



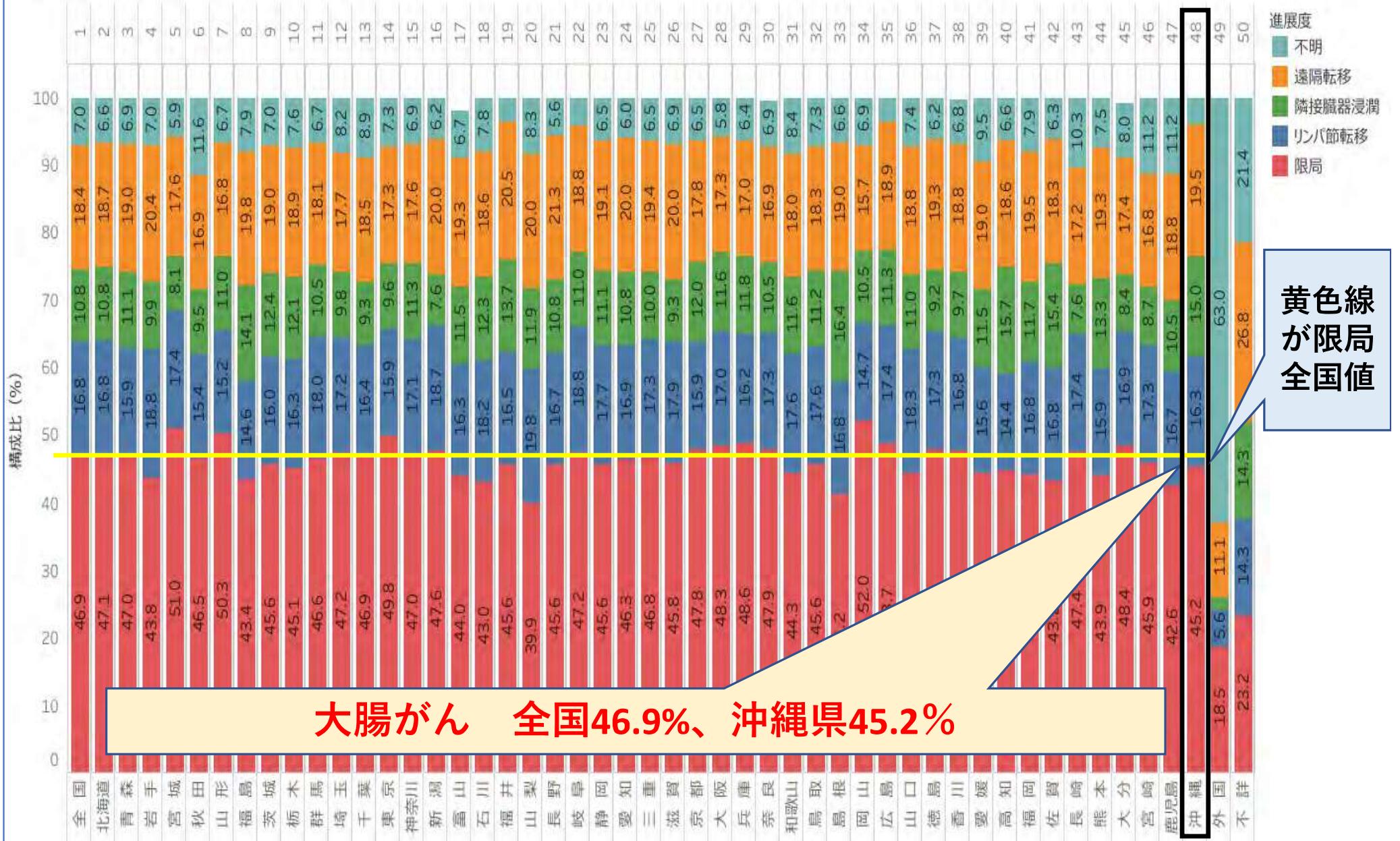
出典：政府統計の窓口（e-Stat）、全国がん登録、全国がん登録罹患数・率、都道府県一覧、進展度、2018年 から可視化 139

がん進展度（総合）（上皮内がん除く）



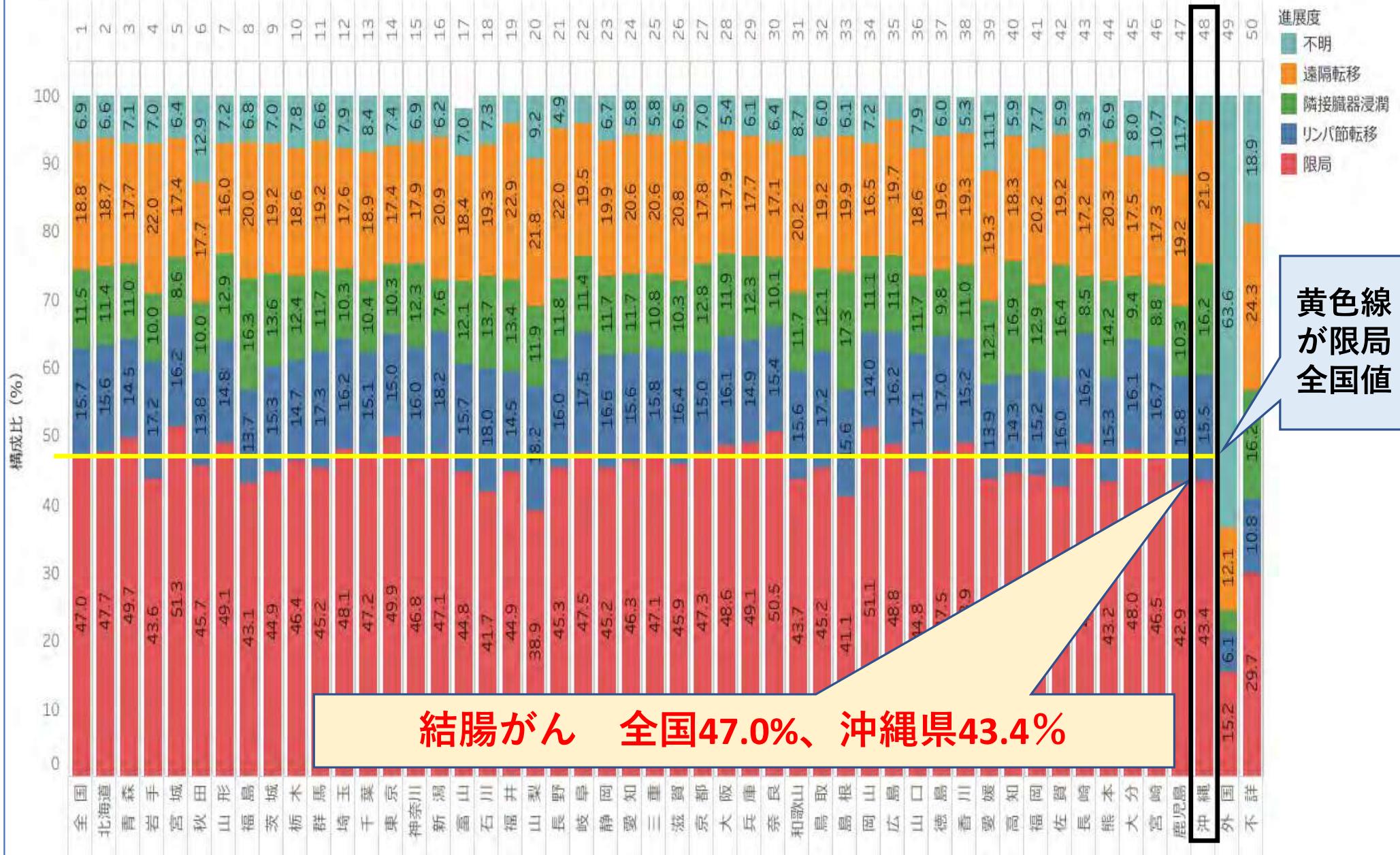
出典：政府統計の窓口（e-Stat）、全国がん登録、全国がん登録罹患数・率、都道府県一覧、進展度、2018年から可視化

がん進展度（総合）（上皮内がん除く）



出典：政府統計の窓口（e-Stat）、全国がん登録、全国がん登録罹患数・率、都道府県一覧、進展度、2018年から可視化

がん進展度（総合）（上皮内がん除く）



出典：政府統計の窓口（e-Stat）、全国がん登録、全国がん登録罹患数・率、都道府県一覧、進展度、2018年から可視化

説明：治療前、術後、総合の3種の進展度の関係（結腸がん）

結腸がん 進展度・治療前 (%)

都道府県	全 国	沖 縄
集計対象数	99187	985
上皮内	2.6	0.5
限局	40.7	33.5
リンパ節転移	13.8	17.4
隣接臓器浸潤	12.3	19.7
遠隔転移	17.5	19.5
不明	13.1	9.4
領域	26.2	37.1
合計	100.0	100.0

25-2-A 上皮内がん除く：進展度・治療前

(%) : 都道府県別

25-2-A-6 結腸 C18 2018年

結腸がん 進展度・術後 (%)

都道府県	全 国	沖 縄
集計対象数	83493	808
限局	50.9	48.4
リンパ節転移	17.4	16.8
隣接臓器浸潤	11.7	17.2
遠隔転移	10.9	11.6
不明	9.2	5.8
領域	29.1	34.0
合計	100.0	99.9

25-3-A 上皮内がん除く：進展度・術後

(%) : 都道府県別

25-3-A-6 結腸 C18 2018年

結腸がん 進展度・総合 (%)

都道府県	全 国	沖 縄
集計対象数	99187	985
限局	47.0	43.4
リンパ節転移	15.7	15.5
隣接臓器浸潤	11.5	16.2
遠隔転移	18.8	21.0
不明	6.9	3.9
領域	27.2	31.8
合計	99.9	100.0

25-1-A 上皮内がん除く：進展度・総合

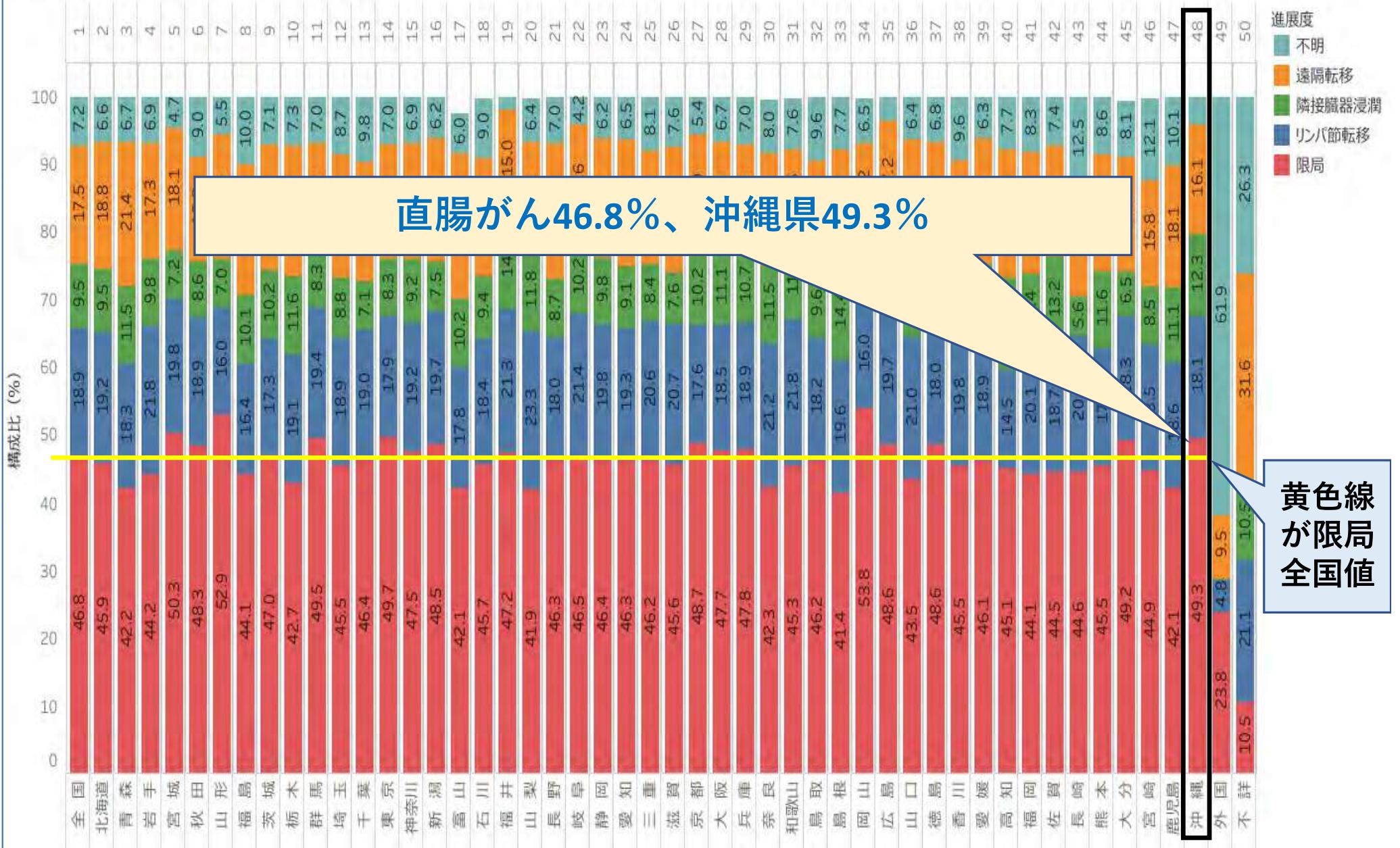
(%) : 都道府県別

25-1-A-6 結腸 C18 2018年

注：領域=リンパ節転移 + 隣接臓器浸潤

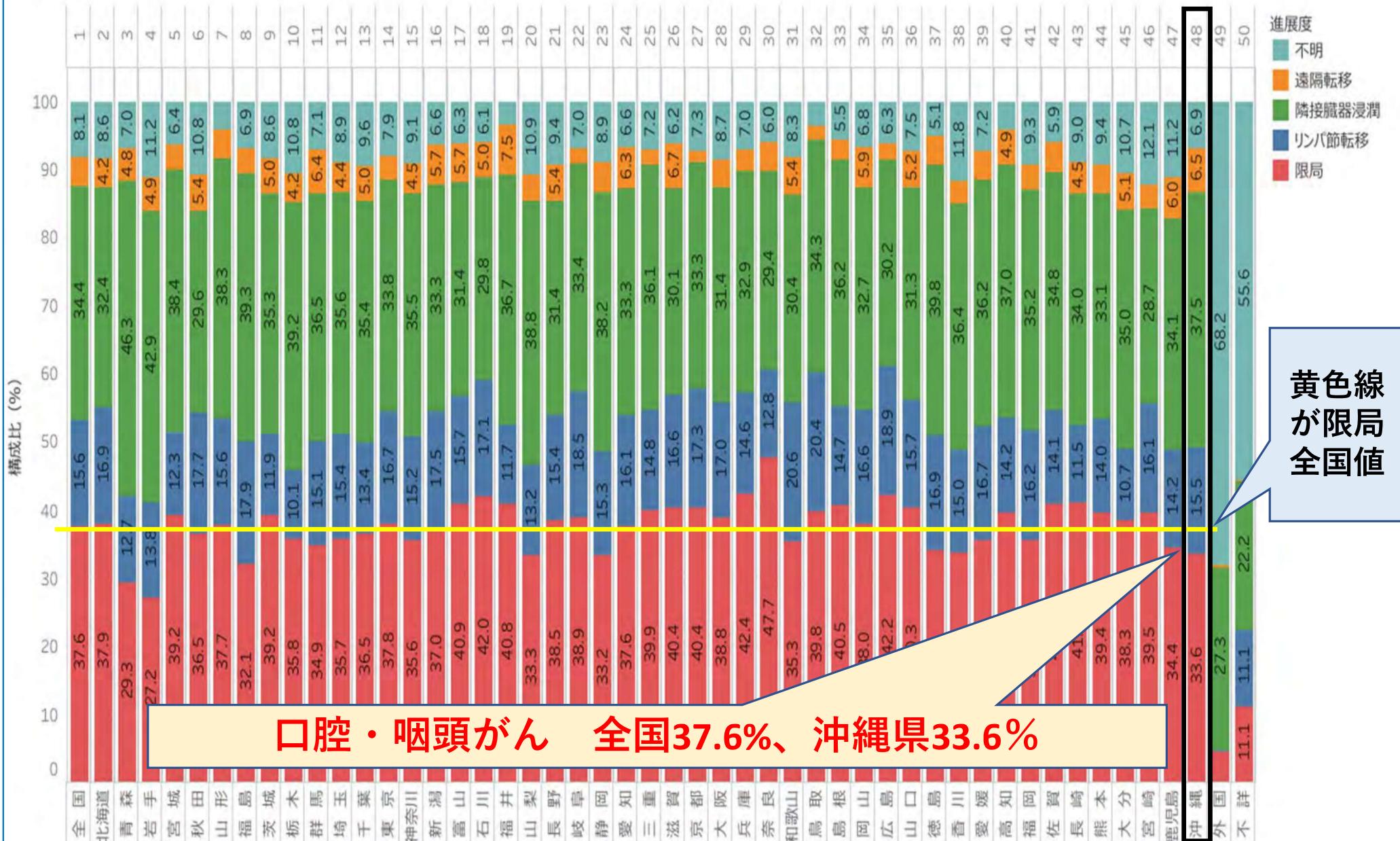
出典：政府統計の窓口（e-Stat）、全国がん登録、全国がん登録罹患数・率、都道府県 143
一覧、進展度、2018年 から作成

がん進展度（総合）（上皮内がん除く）



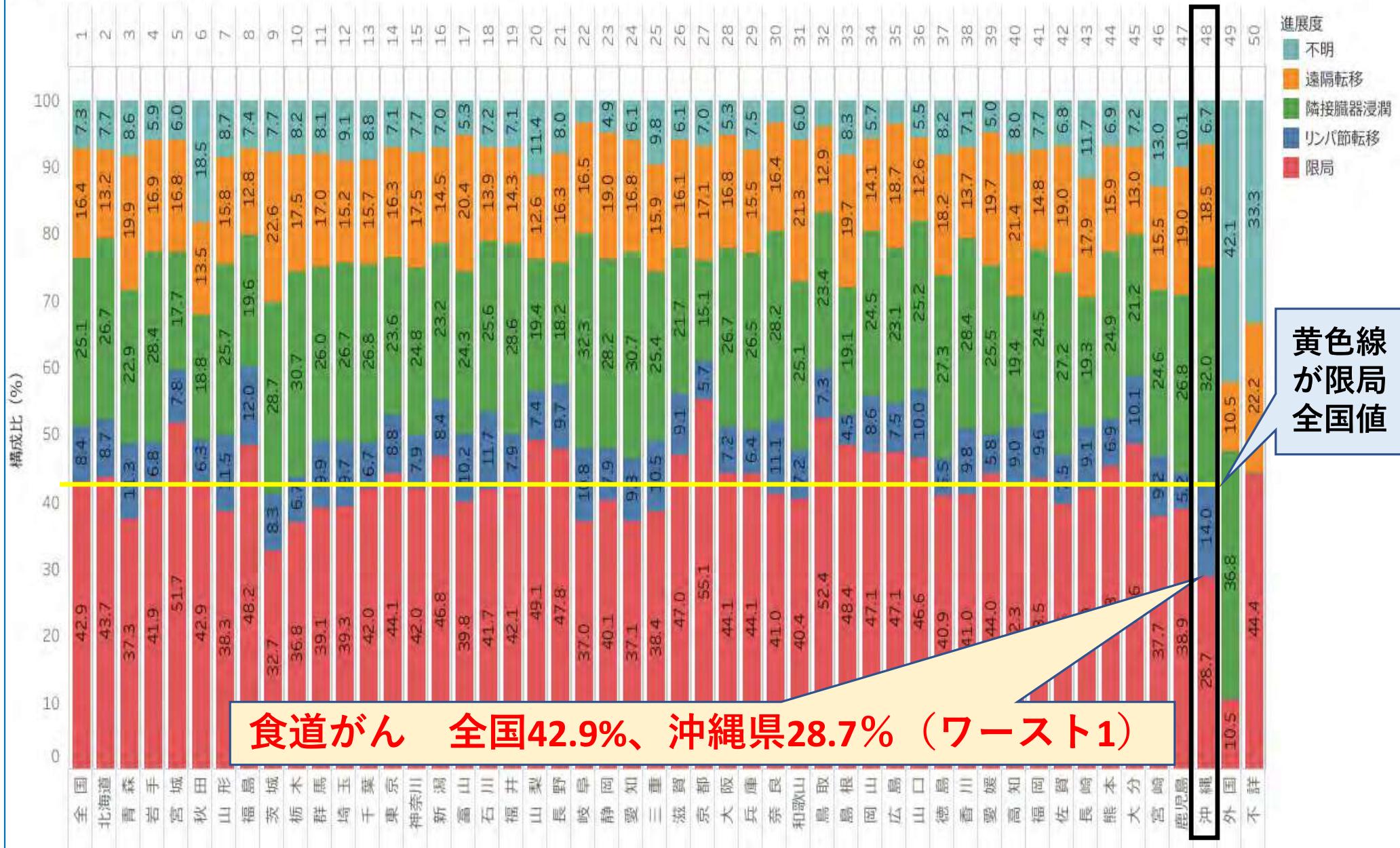
出典：政府統計の窓口（e-Stat）、全国がん登録、全国がん登録罹患数・率、都道府県一覧、進展度、2018年から可視化 144

がん進展度（総合）（上皮内がん除く）



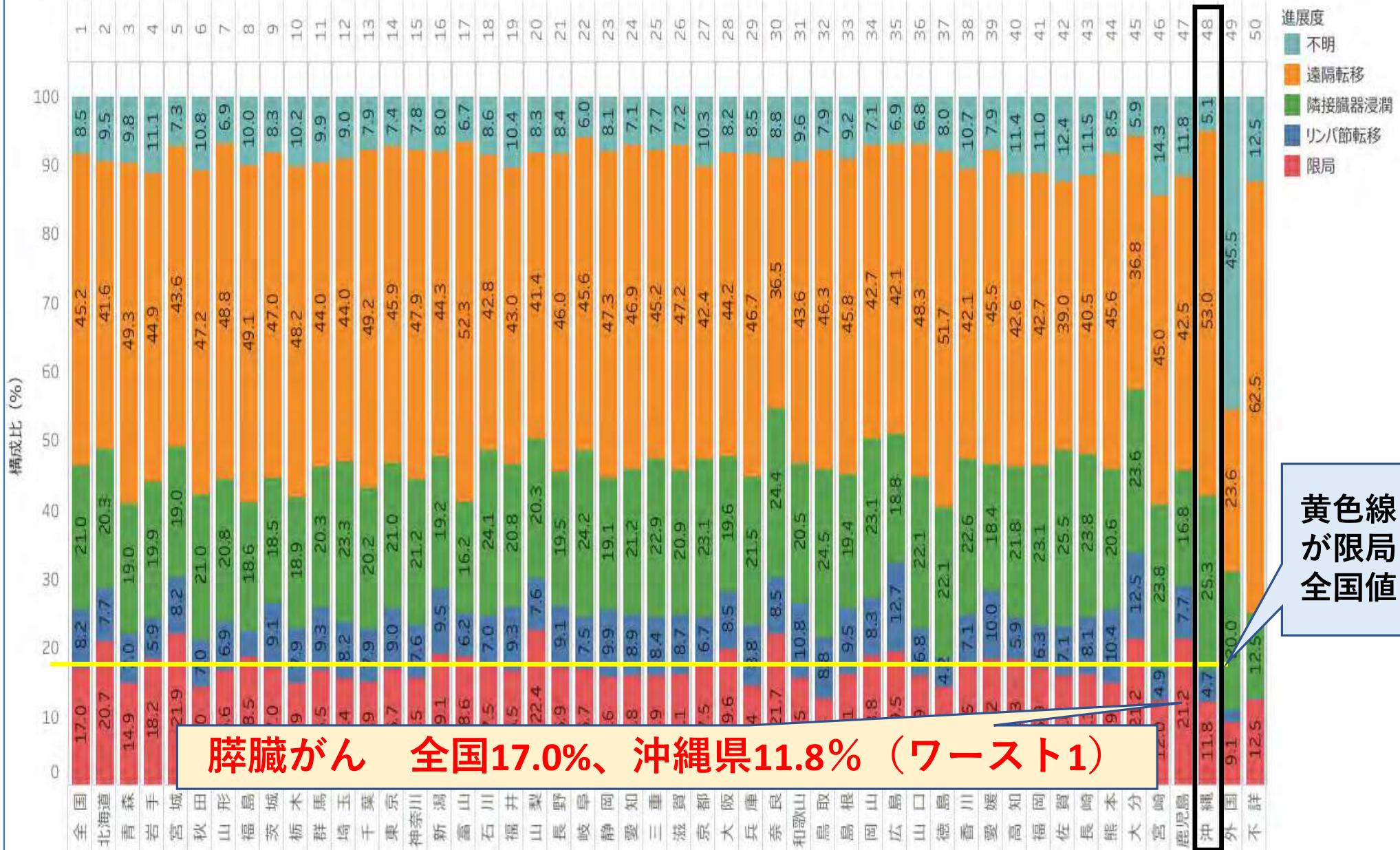
出典：政府統計の窓口（e-Stat）、全国がん登録、全国がん登録罹患数・率、都道府県一覧、進展度、2018年から可視化

がん進展度（総合）（上皮内がん除く）



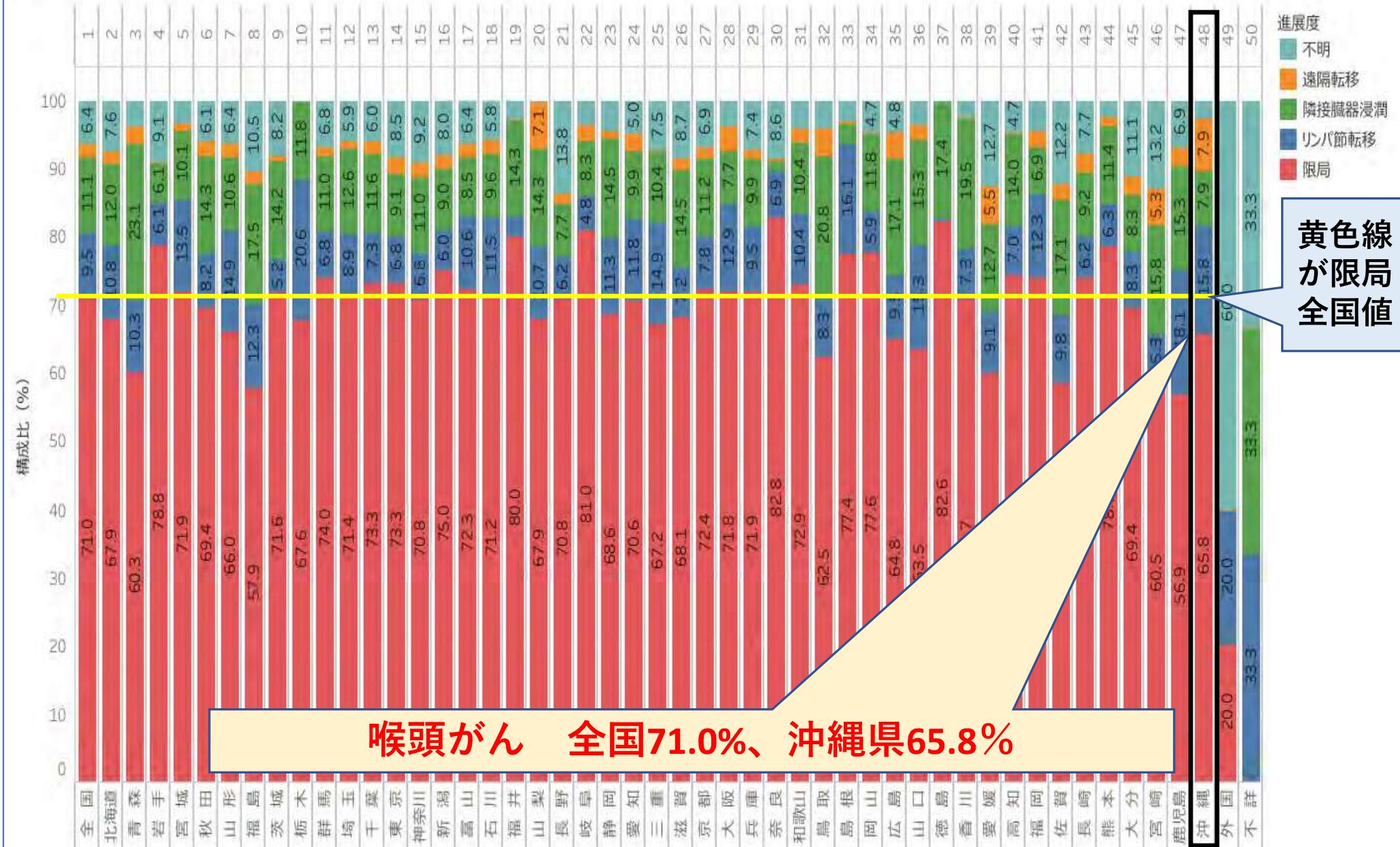
出典：政府統計の窓口（e-Stat）、全国がん登録、全国がん登録罹患数・率、都道府県一覧、進展度、2018年から可視化

がん進展度（総合）（上皮内がん除く）



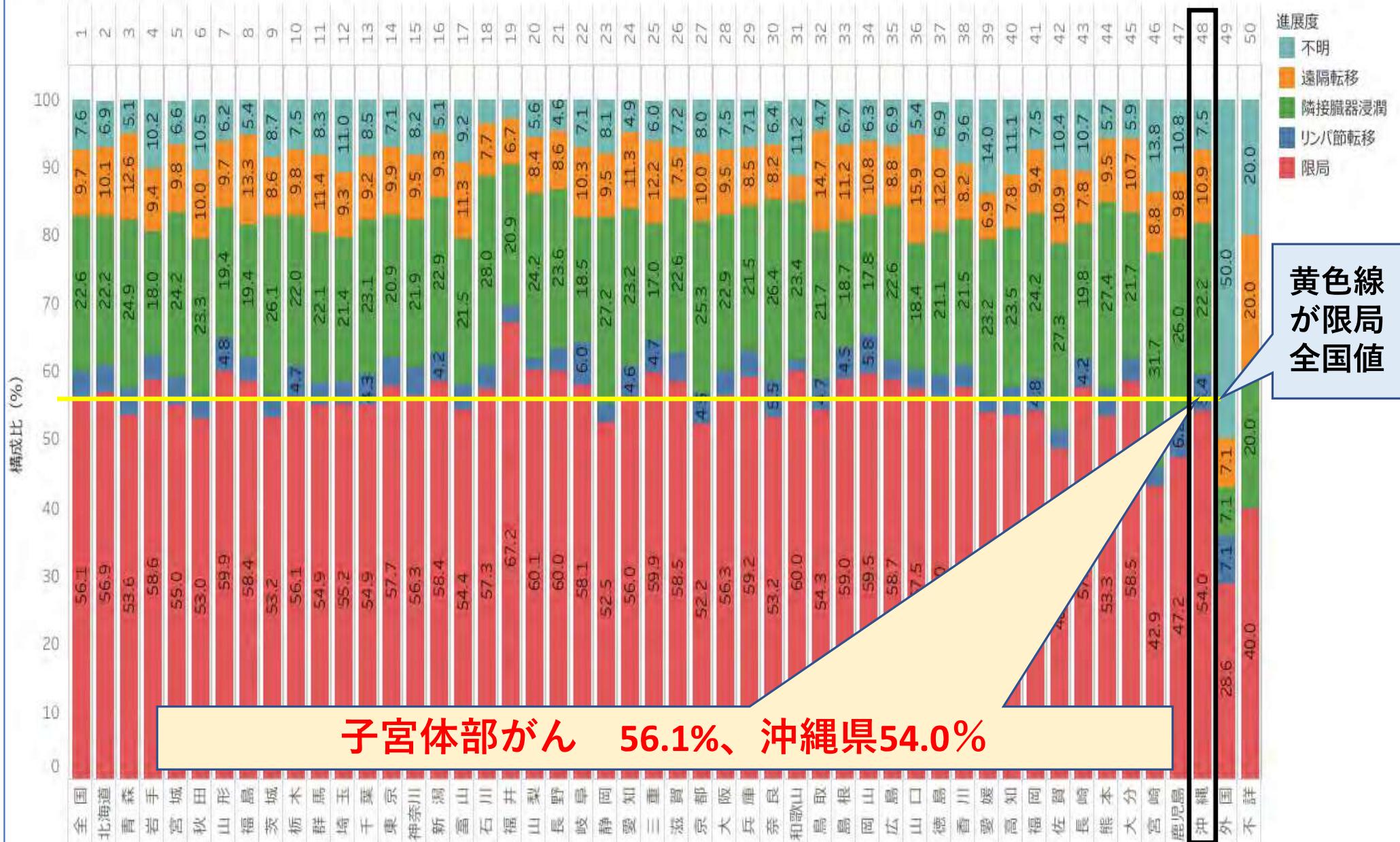
出典：政府統計の窓口（e-Stat）、全国がん登録、全国がん登録罹患数・率、都道府県一覧、進展度、2018年から可視化

がん進展度（総合）（上皮内がん除く）



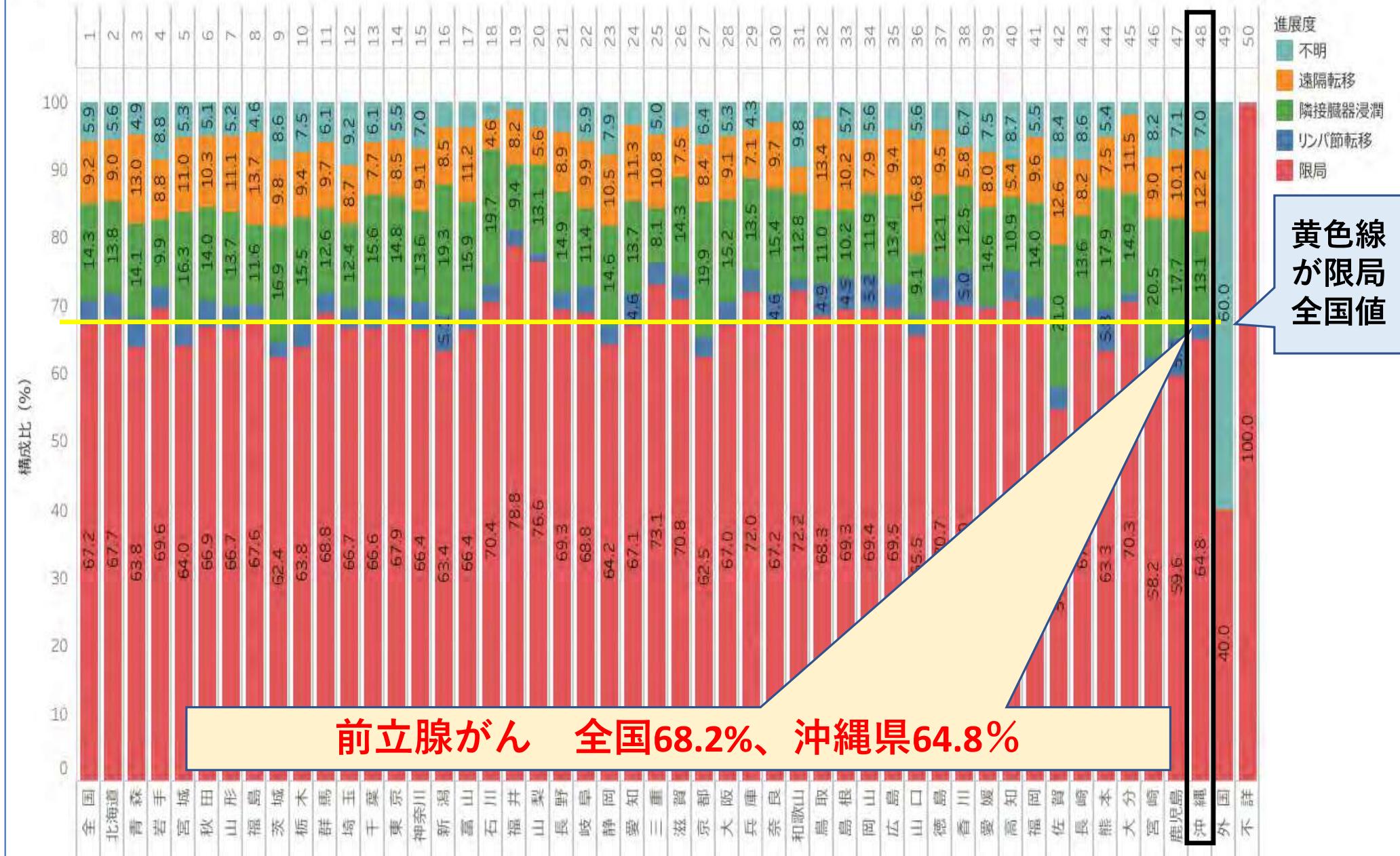
出典：政府統計の窓口（e-Stat）、全国がん登録、全国がん登録罹患数・率、都道府県一覧、進展度、2018年から可視化

がん進展度（総合）（上皮内がん除く）



出典：政府統計の窓口（e-Stat）、全国がん登録、全国がん登録罹患数・率、都道府県一覧、進展度、2018年 から可視化 149

がん進展度（総合）（上皮内がん除く）



出典：政府統計の窓口（e-Stat）、全国がん登録、全国がん登録罹患数・率、都道府県一覧、進展度、2018年から可視化

がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策

個別施策	指標

初期アウトカム

予防対策	指標
	<柱6>
	<柱6>

中間アウトカム

罹 患	指標
罹患が減少している	罹患率
	<柱2>

最終アウトカム

死 亡	指標
死亡が減っている	死亡率
	<柱1>

個別施策	指標

早期発見対策	指標
	<柱7>
	<柱7>

早期発見	指標
早期発見が高まっている	早期発見率
	<柱4>

生 存	指標
生存が高まっている	5年生存率
	<柱3>

個別施策	指標

医療の質対策	指標
	<柱8>
	<柱8>

治 療	指標
治療の質が高まっている	進行度別5年生存率
	<柱5>

治療

部位別病期別 5年生存率 (施設別)

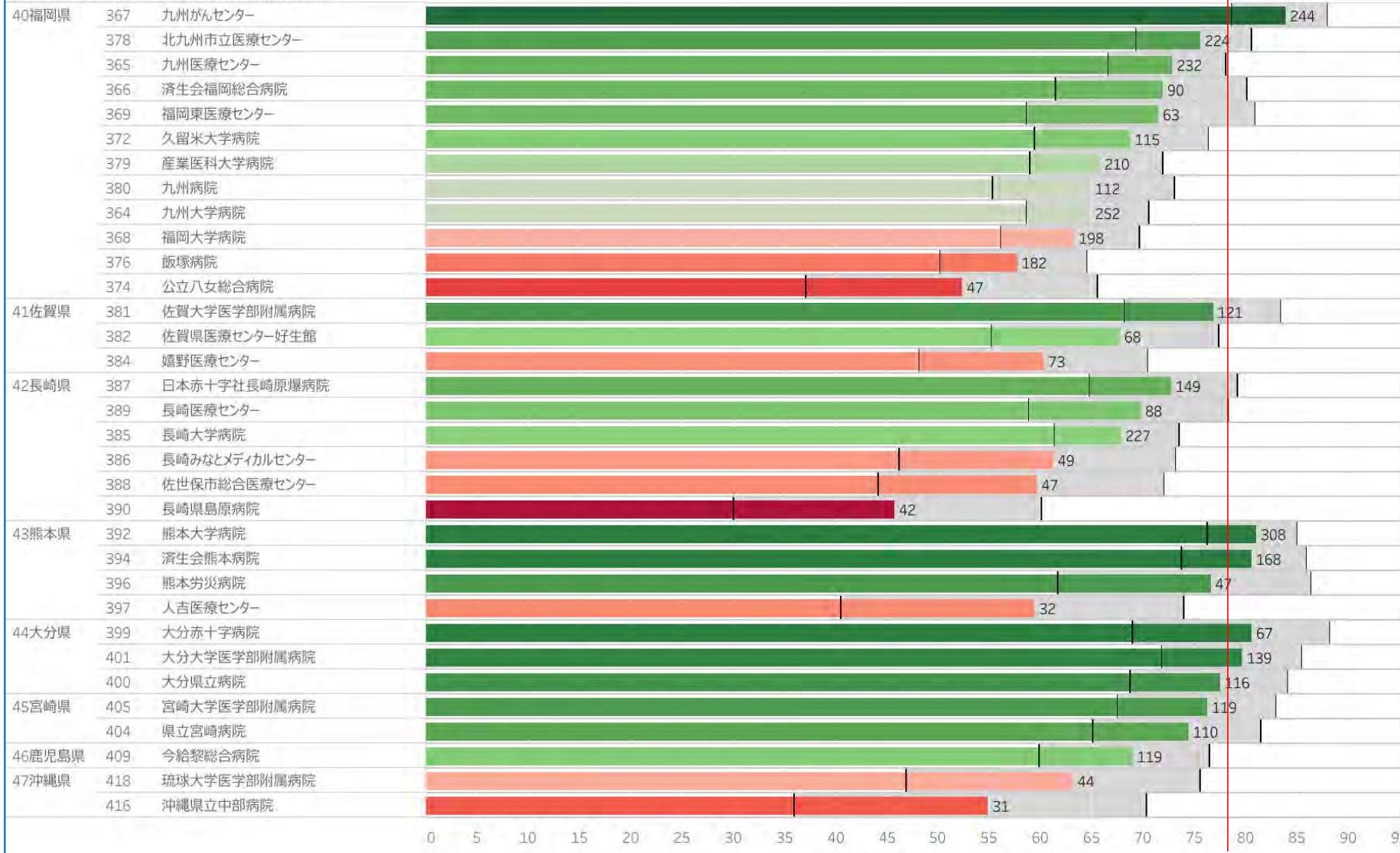
<2020年5月8日資料>

肺がん1期5年生存率（九州・沖縄地区）

肺がん1期5年生存率（2010～2011年）

* 数字は症例数、グレーの両端は95%信頼区間の上限、下限を示す

ID付都道府.. 001.. 004_共通_2_施設名(略称)



このデータ上では有意差があることになる。

赤の補助線を引いた。他の施設の上限と交差していないれば、

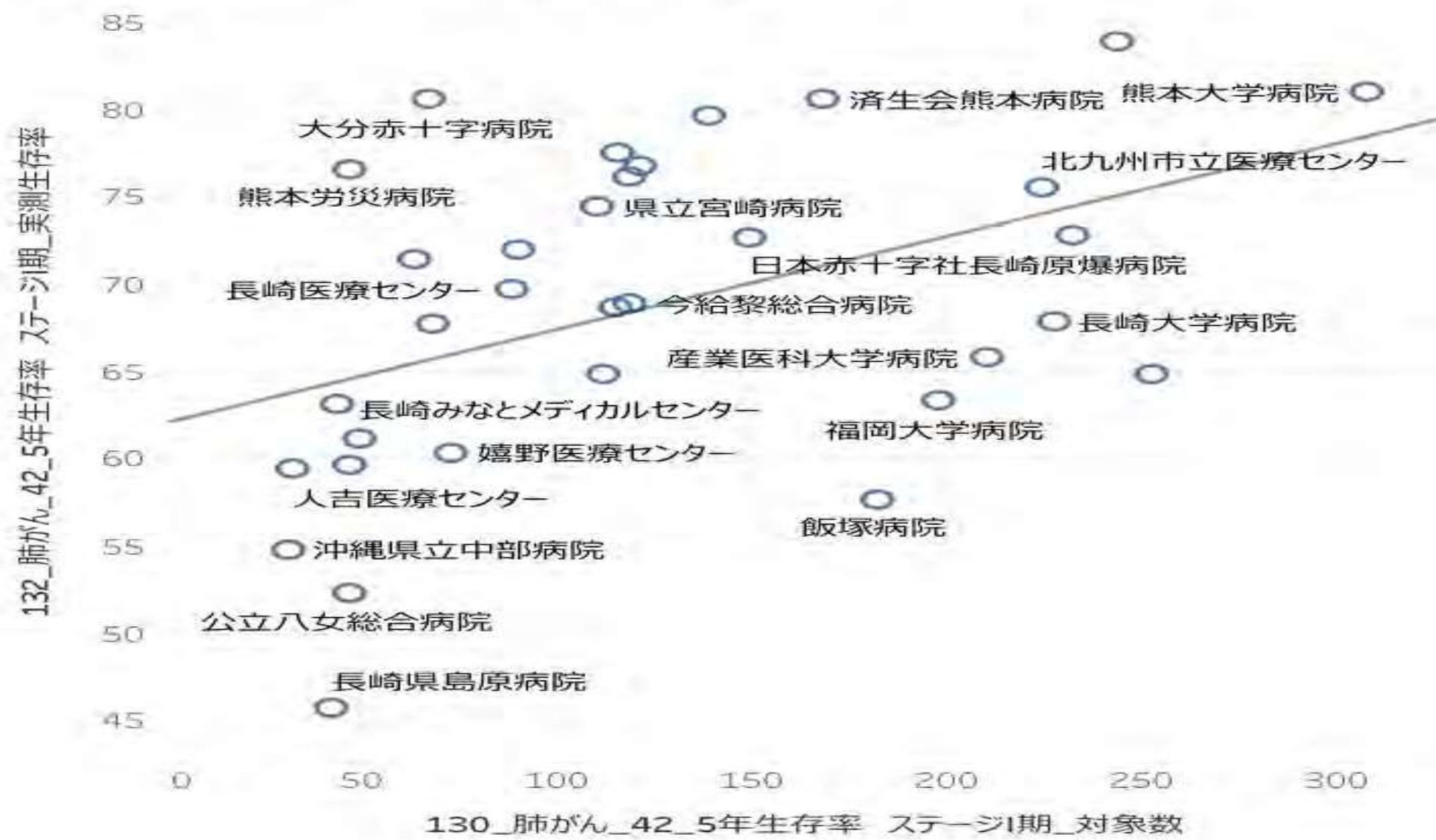
福岡県で数値が最高の九州がんセンターの信頼区間下限に

情報源：がん診療連携拠点病院等院内がん登録2010-2011年生存率集計報告書

(注) 施設別の生存率を表示していますが、高齢者の多い少ないなど、施設毎に治療している患者さんの構成が異なります。そのため、単純に生存率を比較して、その施設の治療成績の良し悪しを論ずることはできません。

出典：がん対策地域別データ集「見える化」グラフ集、がん拠点病院データセット肺がんデータ可視化(Ver.4.1.0)

肺がん1期症例数×5年生存率 (2010~2011年)



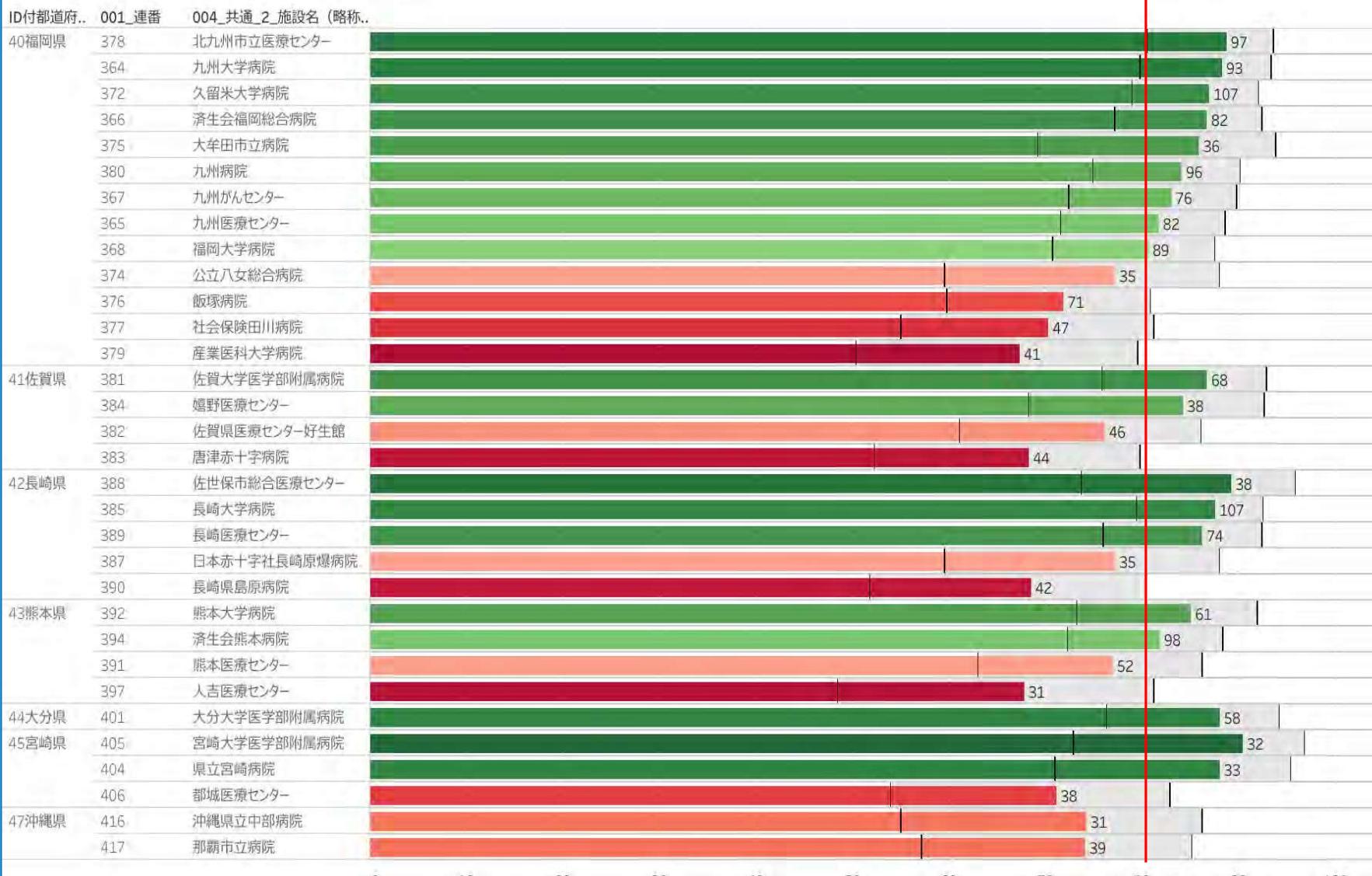
情報源：がん診療連携拠点病院等院内がん登録2010-2011年生存率集計報告書

(注) 施設別の生存率を表示していますが、高齢者の多い少ないなど、施設毎に治療している患者さんの構成が異なります。そのため、単純に生存率を比較して、その施設の治療成績の良し悪しを論ずることはできません。

出典：がん対策地域別データ集「見える化」グラフ集、がん拠点病院データセット肺がんデータ可視化(Ver.4.1.0)

大腸がん1期5年生存率（九州・沖縄地区）

大腸がん1期5年生存率（2010～2011年）



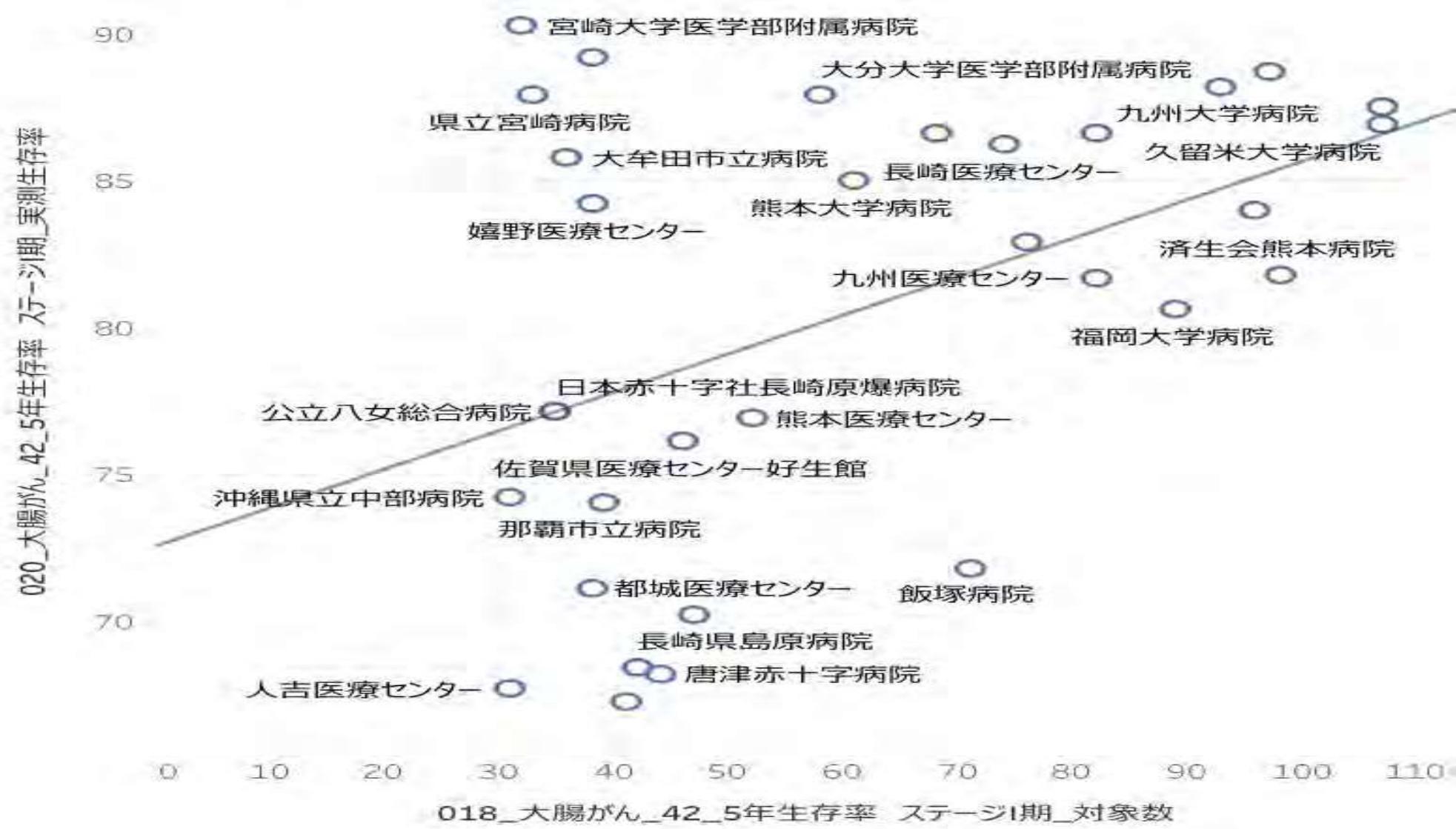
福岡県で数値が最高の北九州市立医療センターの信頼区間に、赤の補助線を引いた。他の施設の上限と交差していなければ、下限にこのデータ上では有意差があることになる。

情報源：がん診療連携拠点病院等院内がん登録2010-2011年生存率集計報告書

(注) 施設別の生存率を表示していますが、高齢者の多い少ないなど、施設毎に治療している患者さんの構成が異なります。そのため、単純に生存率を比較して、その施設の治療成績の良し悪しを論ずることはできません。

出典：がん対策地域別データ集「見える化」グラフ集、がん拠点病院データセット肺がんデータ可視化(Ver.4.1.0)

大腸がん1期症例数×5年生存率



情報源：がん診療連携拠点病院等院内がん登録2010-2011年生存率集計報告書

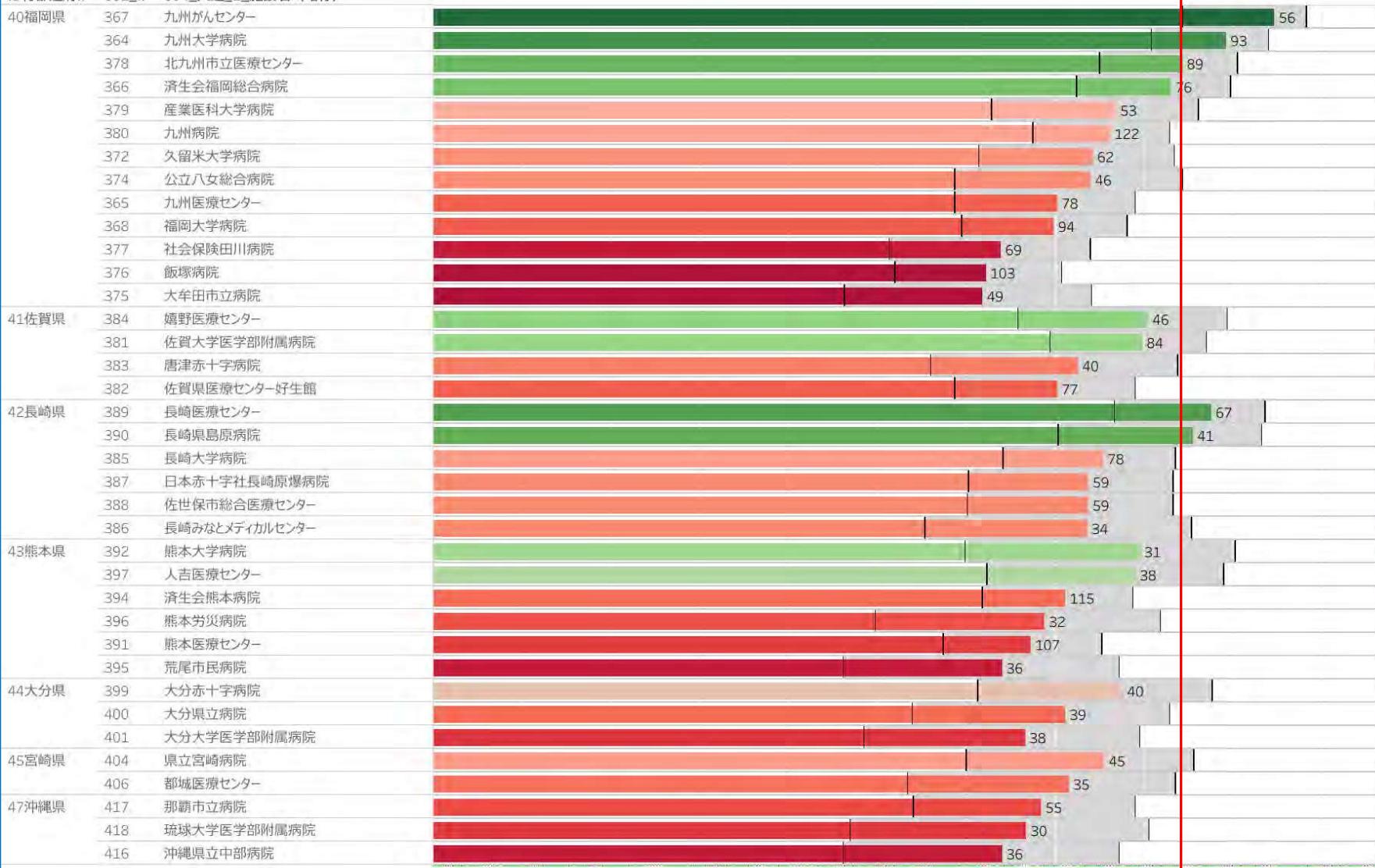
(注) 施設別の生存率を表示していますが、高齢者の多い少ないなど、施設毎に治療している患者さんの構成が異なります。そのため、単純に生存率を比較して、その施設の治療成績の良し悪しを論ずることはできません。

出典：がん対策地域別データ集「見える化」グラフ集、がん拠点病院データセット肺がんデータ可視化(Ver.4.1.0)

大腸がん2期5年生存率（九州・沖縄地区）

大腸がん2期5年生存率（2010～2011年）

ID付都道府.. 001.. 004_共通_2_施設名（略称）



福岡県で数値が最高の九州がんセンターの信頼区間下限に赤の補助線を引いた。他施設の上限と交差していなければ、このデータ上では有意差があることになる。

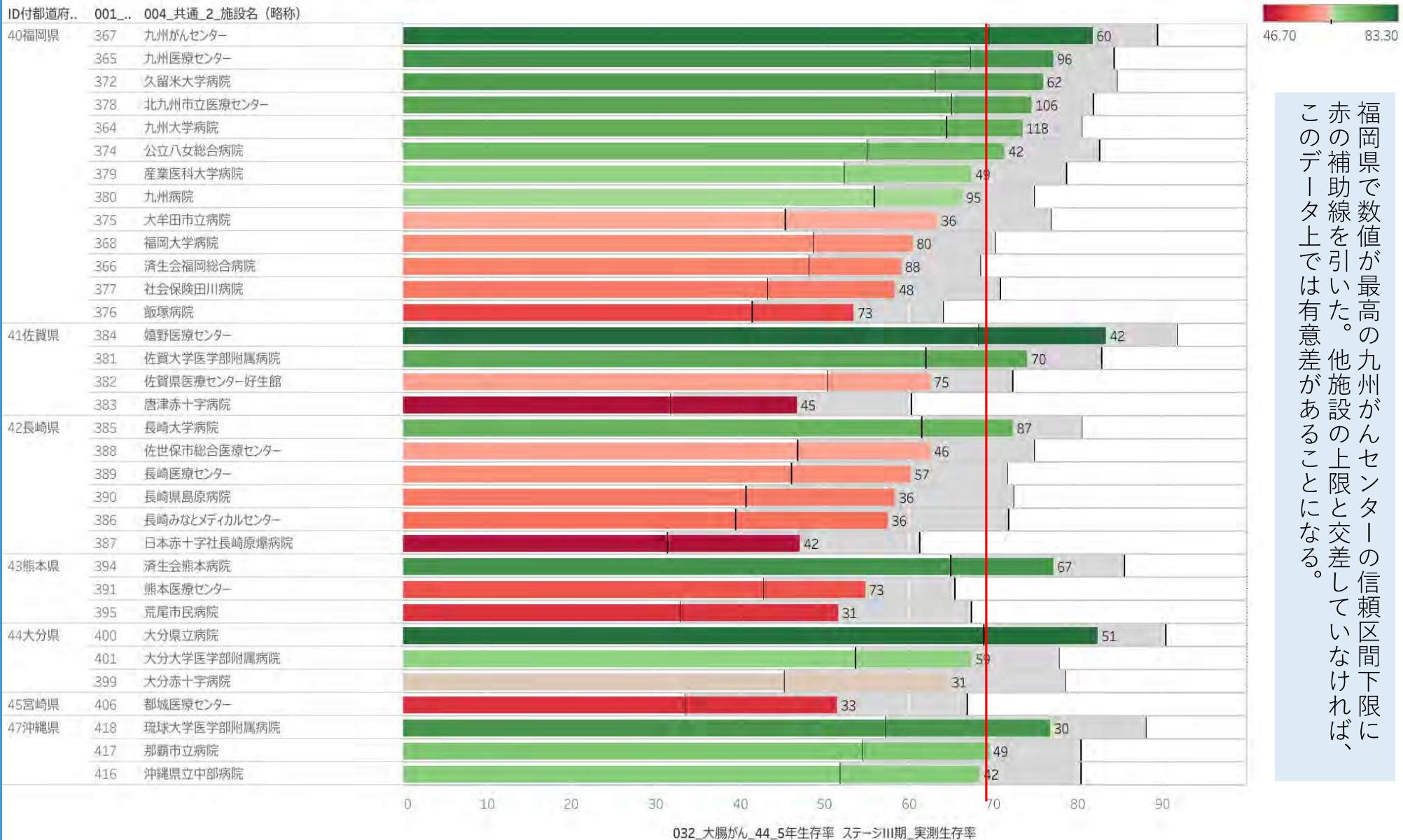
情報源：がん診療連携拠点病院等院内がん登録2010-2011年生存率集計報告書

(注) 施設別の生存率を表示していますが、高齢者の多い少ないなど、施設毎に治療している患者さんの構成が異なります。そのため、単純に生存率を比較して、その施設の治療成績の良し悪しを論ずることはできません。

出典：がん対策地域別データ集「見える化」グラフ集、がん拠点病院データセット肺がんデータ可視化(Ver.4.1.0)

大腸がん3期5年生存率（九州・沖縄地区）

大腸がん3期5年生存率（2010～2011年）



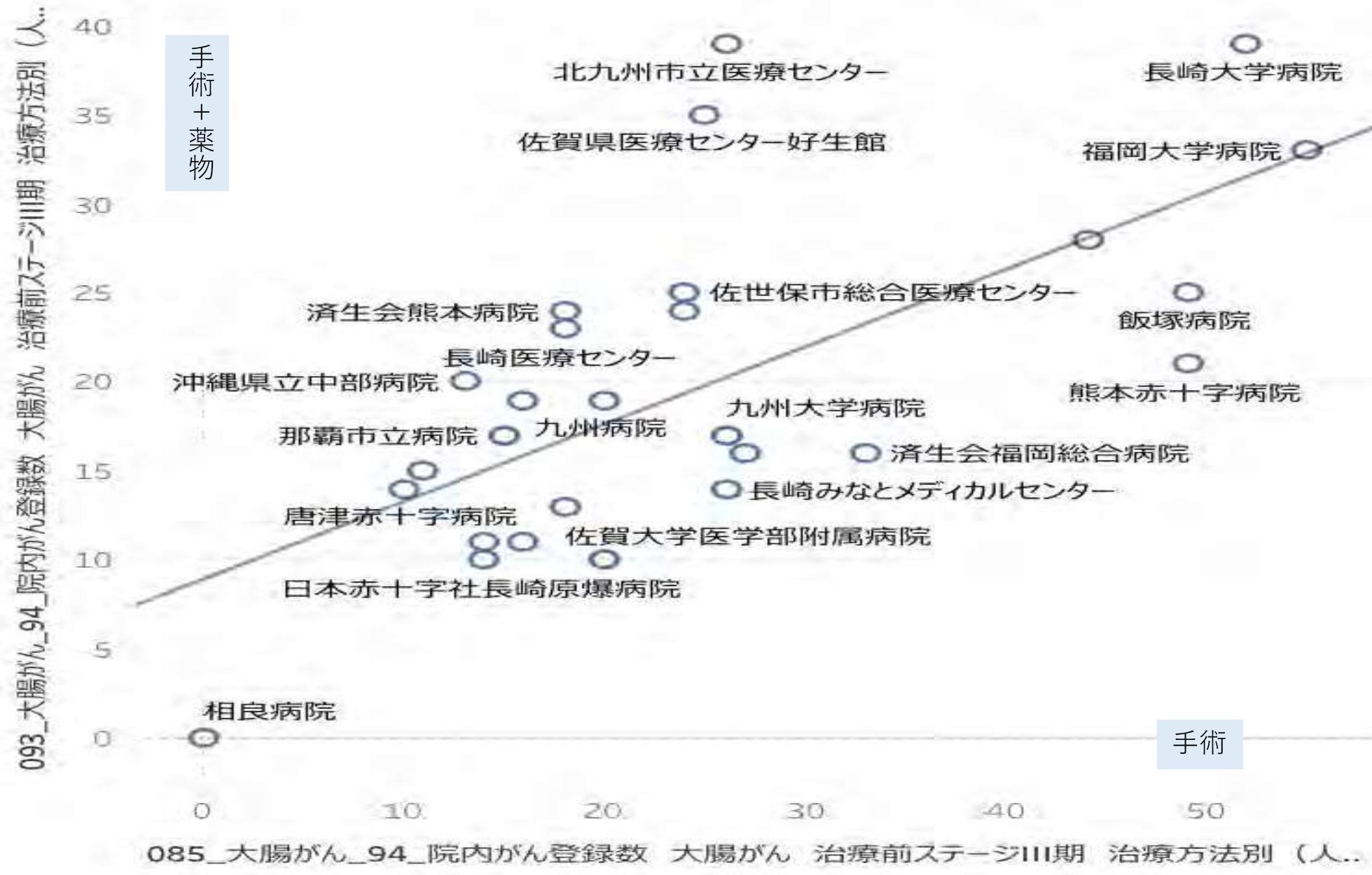
このデータ上では有意差があることになる。福岡県で数値が最高の九州がんセンターの信頼区間に上では有意差があることになる。

情報源：がん診療連携拠点病院等院内がん登録2010-2011年生存率集計報告書

(注) 施設別の生存率を表示していますが、高齢者の多い少ないなど、施設毎に治療している患者さんの構成が異なります。そのため、単純に生存率を比較して、その施設の治療成績の良し悪しを論ずることはできません。

出典：がん対策地域別データ集「見える化」グラフ集、がん拠点病院データセット肺がんデータ可視化(Ver.4.1.0)

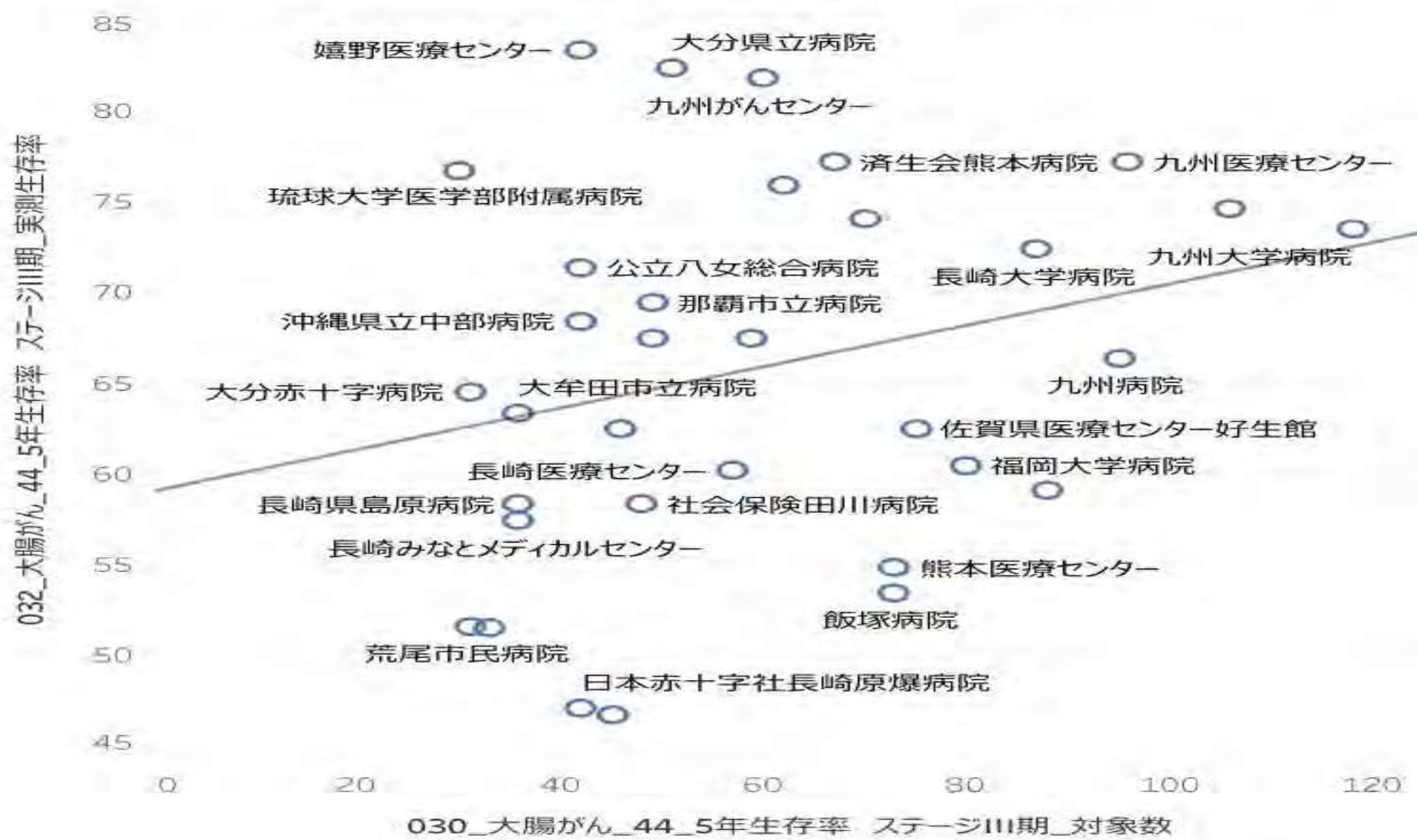
大腸がん3期治療別件数 手術×手術+薬物 (2018年)



情報源：がん診療連携拠点病院等 院内がん登録2018年全国集計

出典：がん対策地域別データ集「見える化」グラフ集、がん拠点病院データセット肺がんデータ可視化(Ver.4.1.0)

大腸がん3期症例数×生存率 散布図 (2010-2020年)

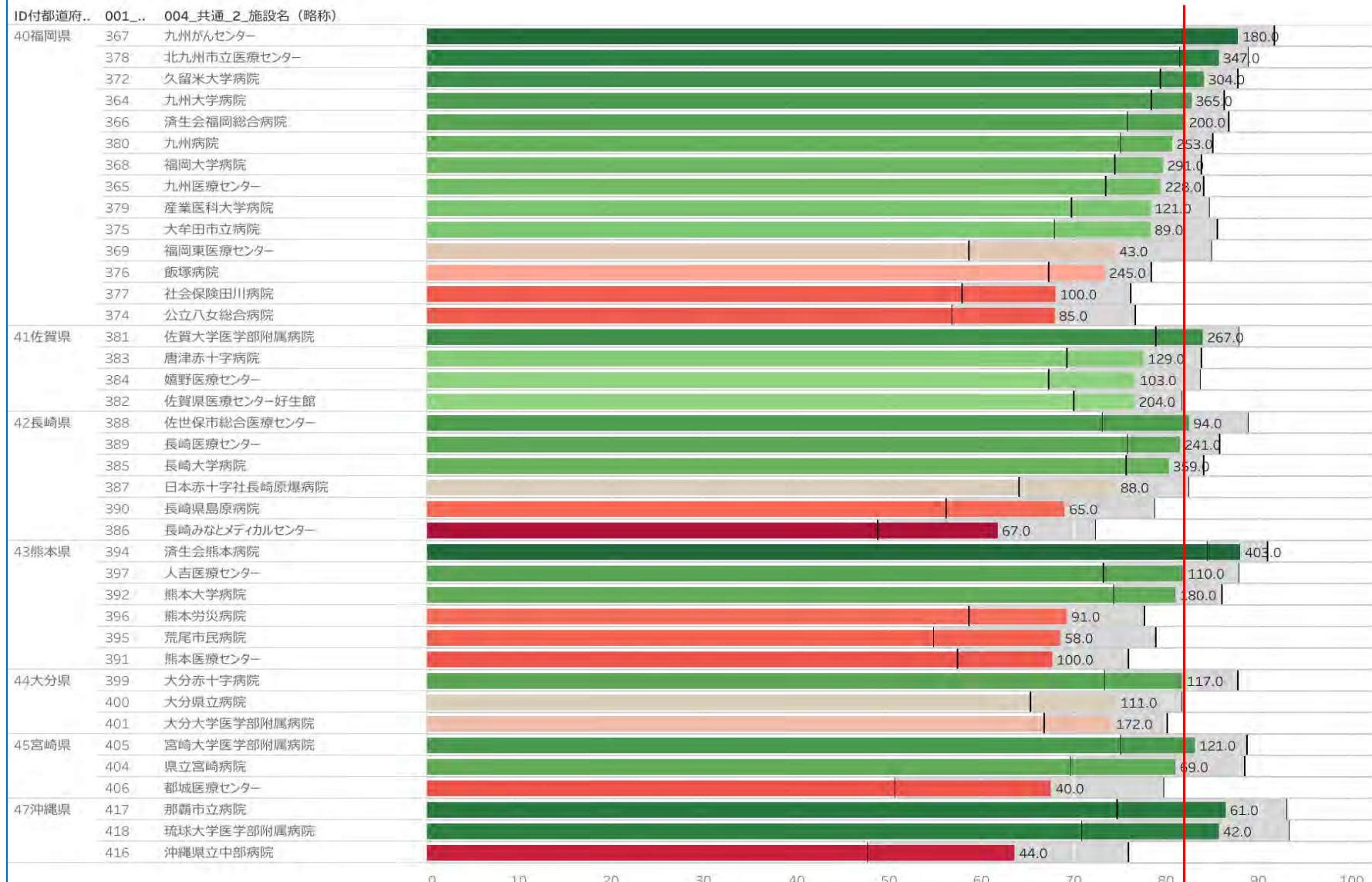


情報源：がん診療連携拠点病院等院内がん登録2010-2011年生存率集計報告書

(注) 施設別の生存率を表示していますが、高齢者の多い少ないなど、施設毎に治療している患者さんの構成が異なります。そのため、単純に生存率を比較して、その施設の治療成績の良し悪しを論ずることはできません。出典：がん対策地域別データ集「見える化」グラフ集、がん拠点病院データセット肺がんデータ可視化(Ver.4.1.0)

胃がん1期5年生存率（九州・沖縄地区）

胃がん1期5年生存率（2010-2011年）



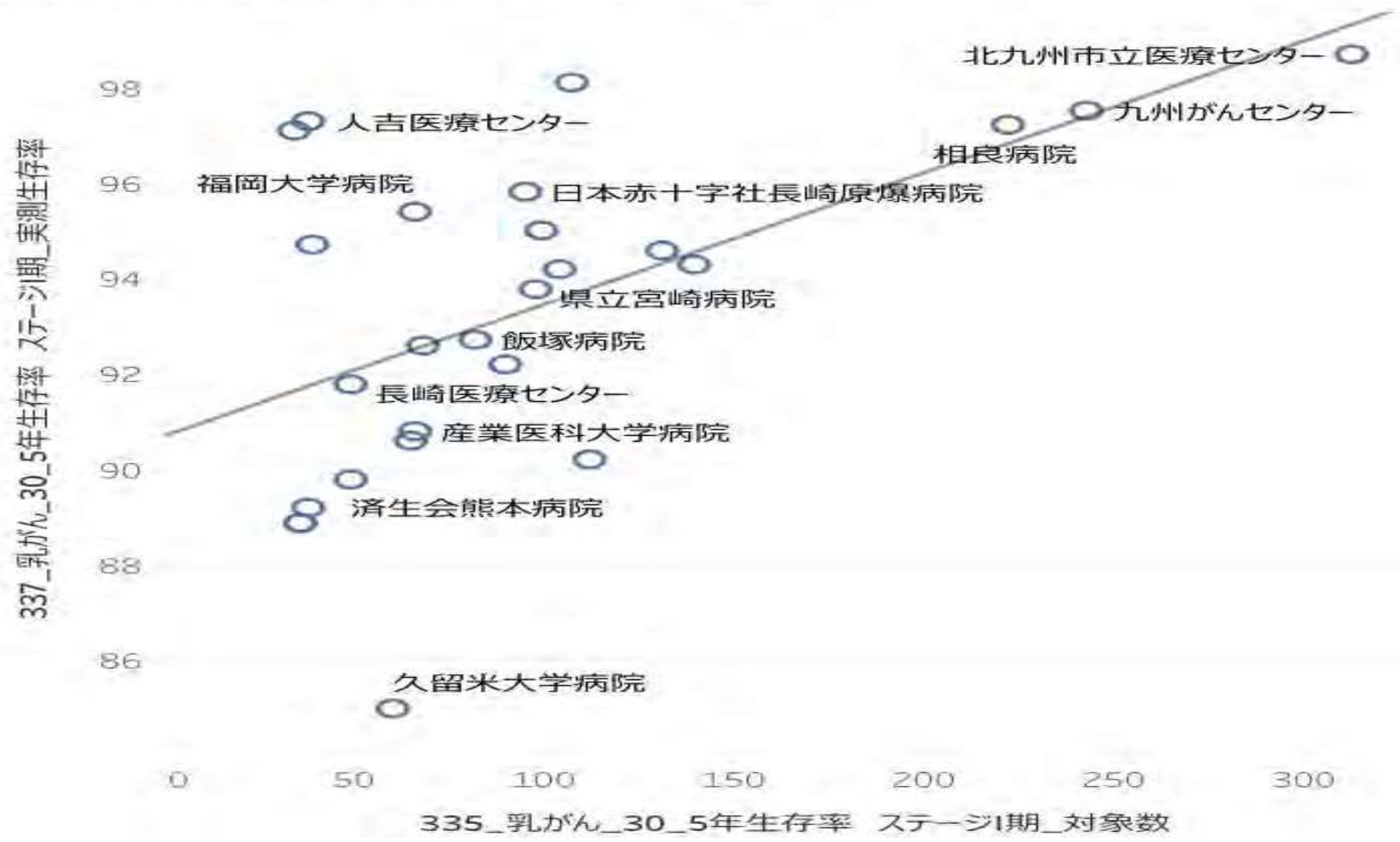
赤福岡県で数値が最高の九州がんセンターの信頼区間下限にて、このデータ上では有意差があることになる。

赤の補助線を引いた。他施設の上限と交差していなければ、

情報源：がん診療連携拠点病院等院内がん登録2010-2011年生存率集計報告書

(注) 施設別の生存率を表示していますが、高齢者の多い少ないなど、施設毎に治療している患者さんの構成が異なります。そのため、単純に生存率を比較して、その施設の治療成績の良し悪しを論ずることはできません。出典：がん対策地域別データ集「見える化」グラフ集、がん拠点病院データセット肺がんデータ可視化(Ver.4.1.0)

乳がん1期 症例数×5年生存率



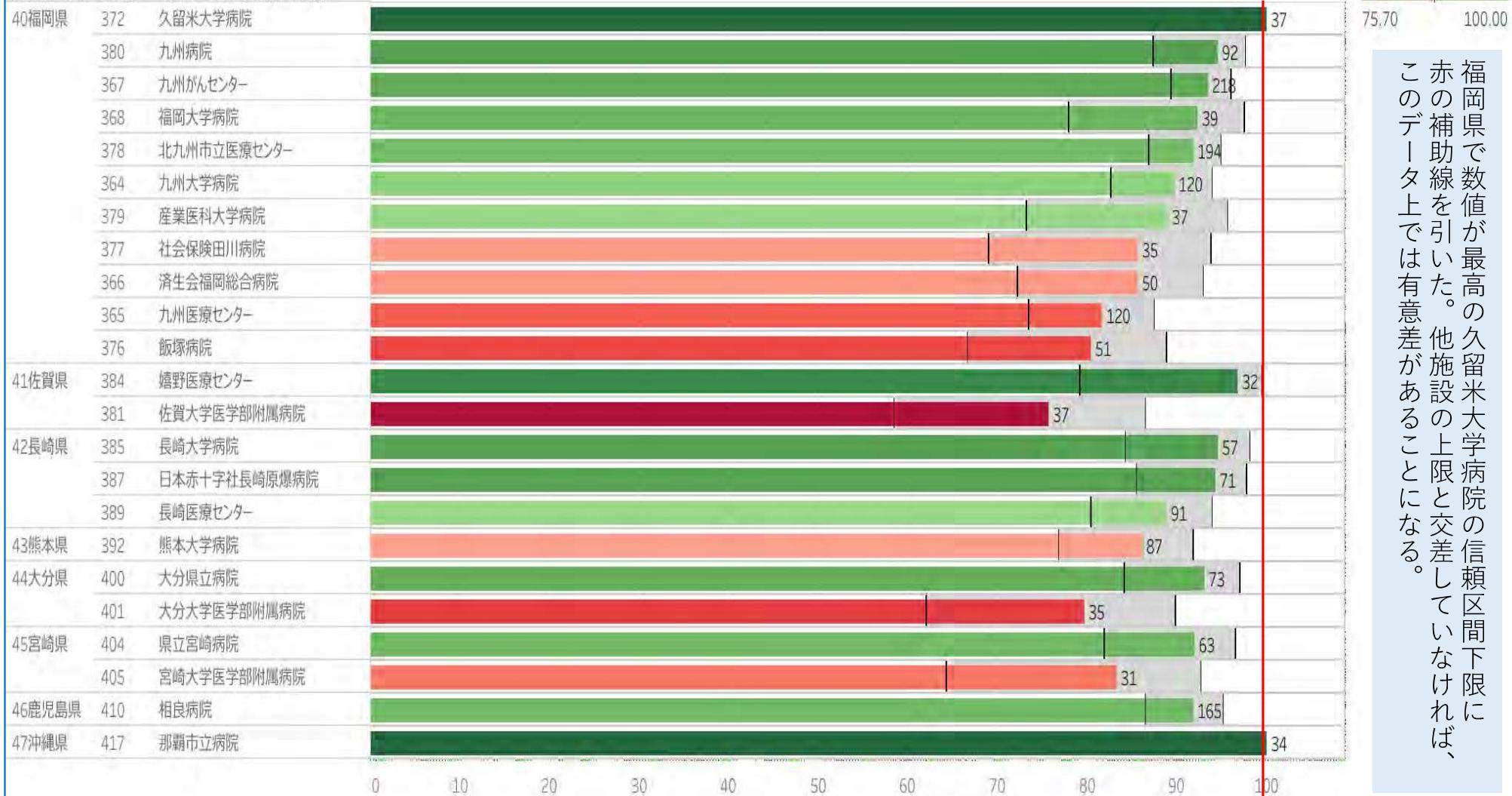
情報源：がん診療連携拠点病院等院内がん登録2010-2011年生存率集計報告書

(注) 施設別の生存率を表示していますが、高齢者の多い少ないなど、施設毎に治療している患者さんの構成が異なります。そのため、単純に生存率を比較して、その施設の治療成績の良し悪しを論ずることはできません。出典：がん対策地域別データ集「見える化」グラフ集、がん拠点病院データセット肺がんデータ可視化(Ver.4.1.0)

乳がん2期5年生存率（九州・沖縄地区）

乳がん2期5年生存率（2010-2011年）

ID付都道府.. 001... 004_共通_2 施設名(略称)



このデータ上では有意差があることになる。赤の補助線を引いた。他施設の上限と交差していなければ、福岡県で数値が最高の久留米大学病院の信頼区間下限に

343_乳がん_31_5年生存率 ステージ別_実測生存率

情報源：がん診療連携拠点病院等院内がん登録2010-2011年生存率集計報告書

(注) 施設別の生存率を表示していますが、高齢者の多い少ないなど、施設毎に治療している患者さんの構成が異なります。そのため、単純に生存率を比較して、その施設の治療成績の良し悪しを論ずることはできません。出典：がん対策地域別データ集「見える化」グラフ集、がん拠点病院データセット肺がんデータ可視化(Ver.4.1.0)

がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策

個別施策	指標

初期アウトカム

予防対策	指標
	<柱6>
	<柱6>

中間アウトカム

罹 患	指標
罹患が減少している	罹患率 <柱2>

最終アウトカム

死 亡	指標
死亡が減っている	死亡率 <柱1>

個別施策	指標

早期発見対策	指標
	<柱7>
	<柱7>

矢療

早期発見	指標
早期発見が高まっている	早期発見率 <柱4>

生 存	指標
生存が高まっている	5年生存率 <柱3>

個別施策	指標

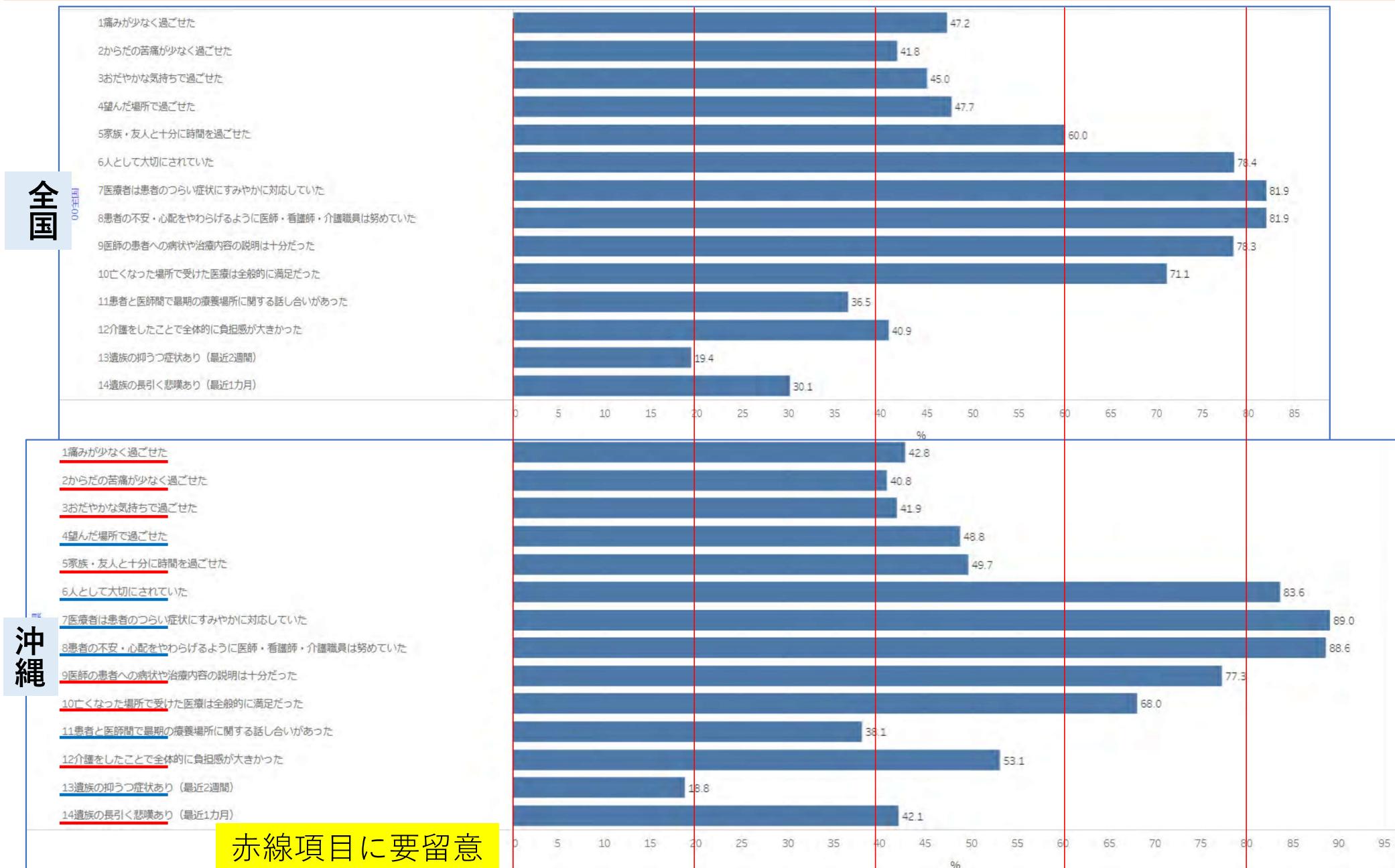
医療の質対策	指標
	<柱8>
	<柱8>

治 療	指標
治療の質が高まっている	進行度別5年生存率 <柱5>

遺族調査結果

<2022年5月13日資料>

遺族調査結果（全国値と沖縄県値） 改善余地を検討

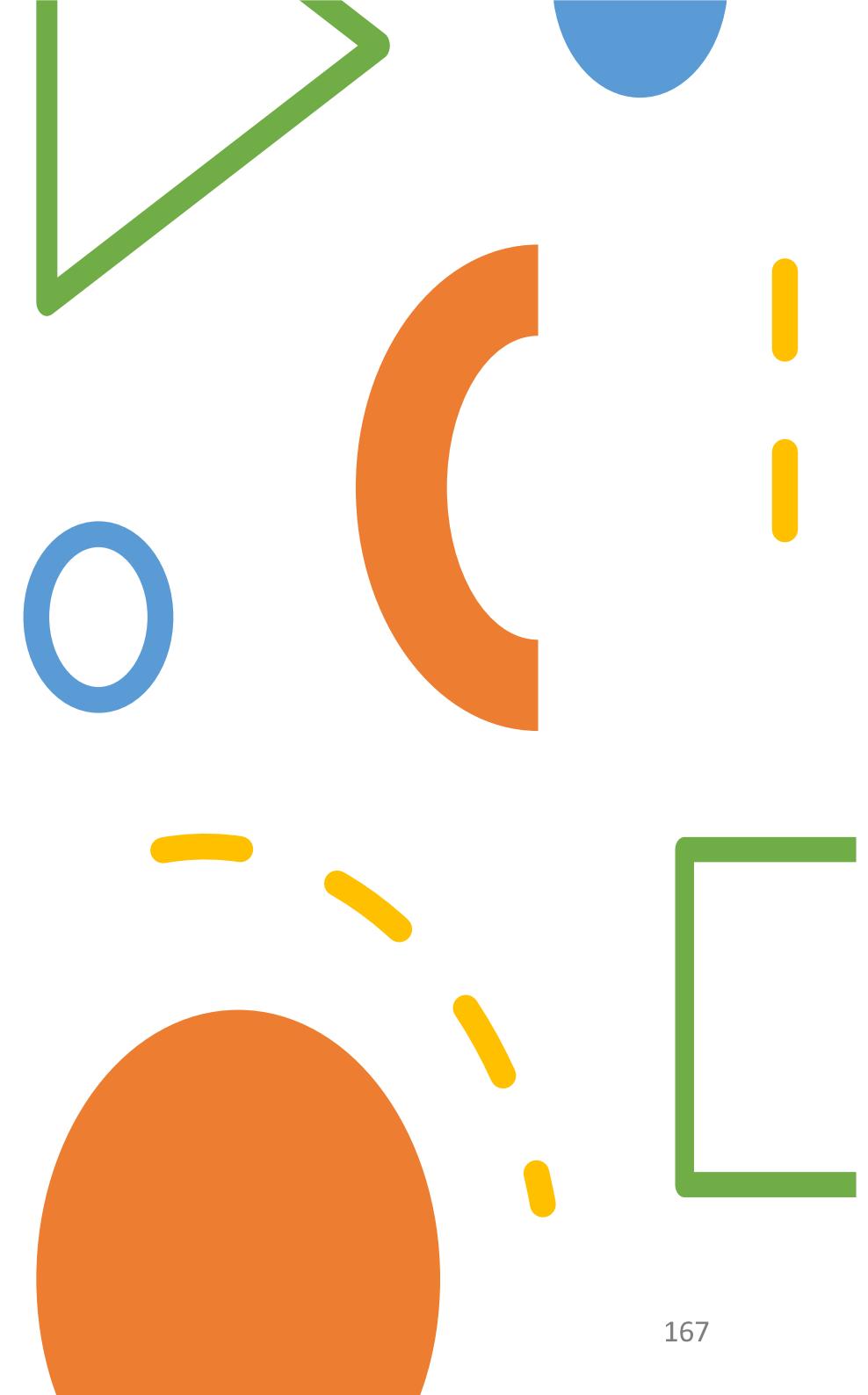


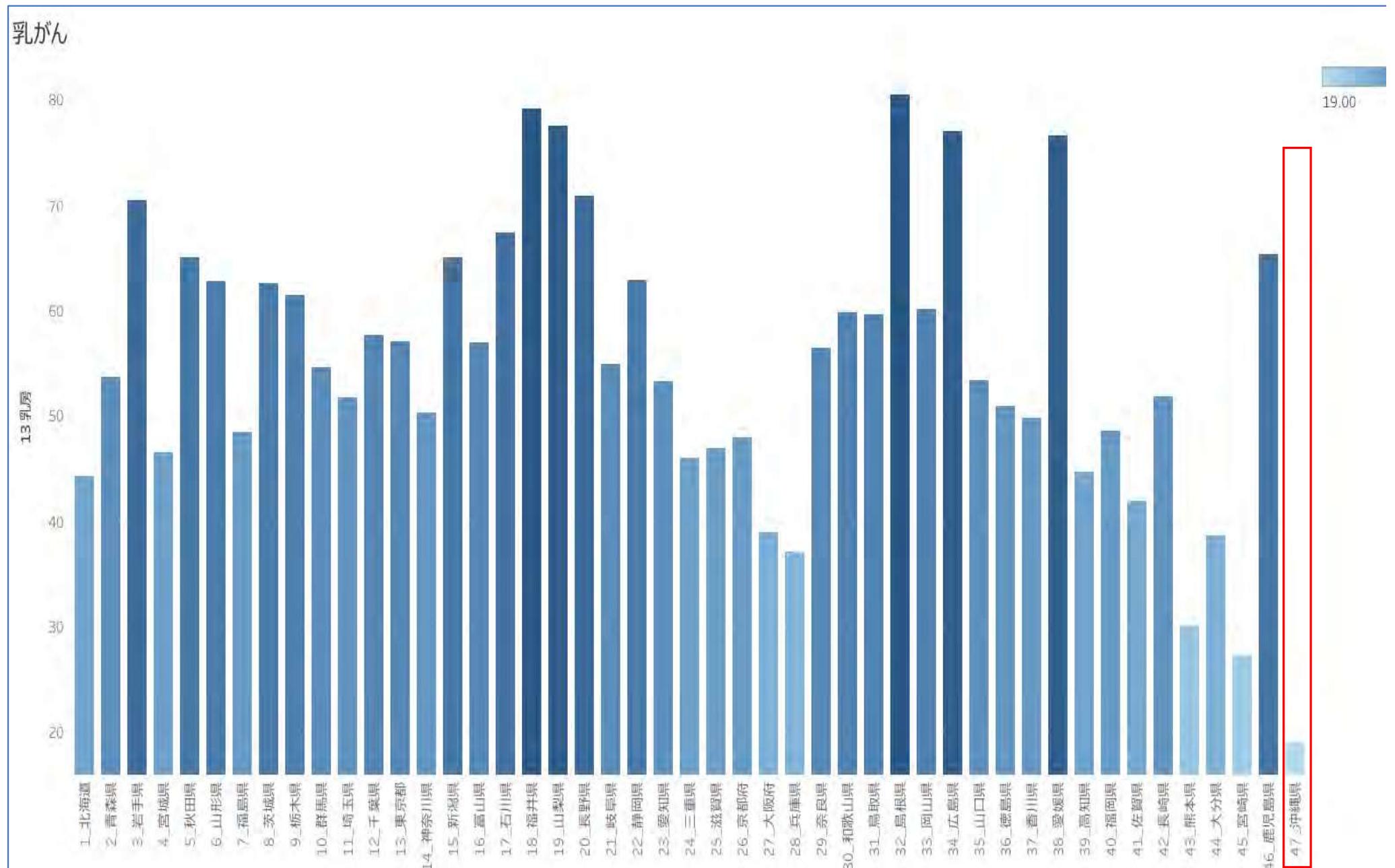
原注：都道府県別の結果は、対象者数が少ないため誤差が非常に大きいとともに、各都道府県の状況が異なるため、単純な比較は困難であり、参考値とすべきである。

出典：厚生労働省委託事業 がん患者の療養生活の最終段階における実態把握事業 患者さまが受けられた医療に関するご遺族の方への調査 平成30年度調査結果報告書 国立がん研究センター
がん対策情報センター 2020年10月

拠点病院カバー率 (乳がん、肺がん...)

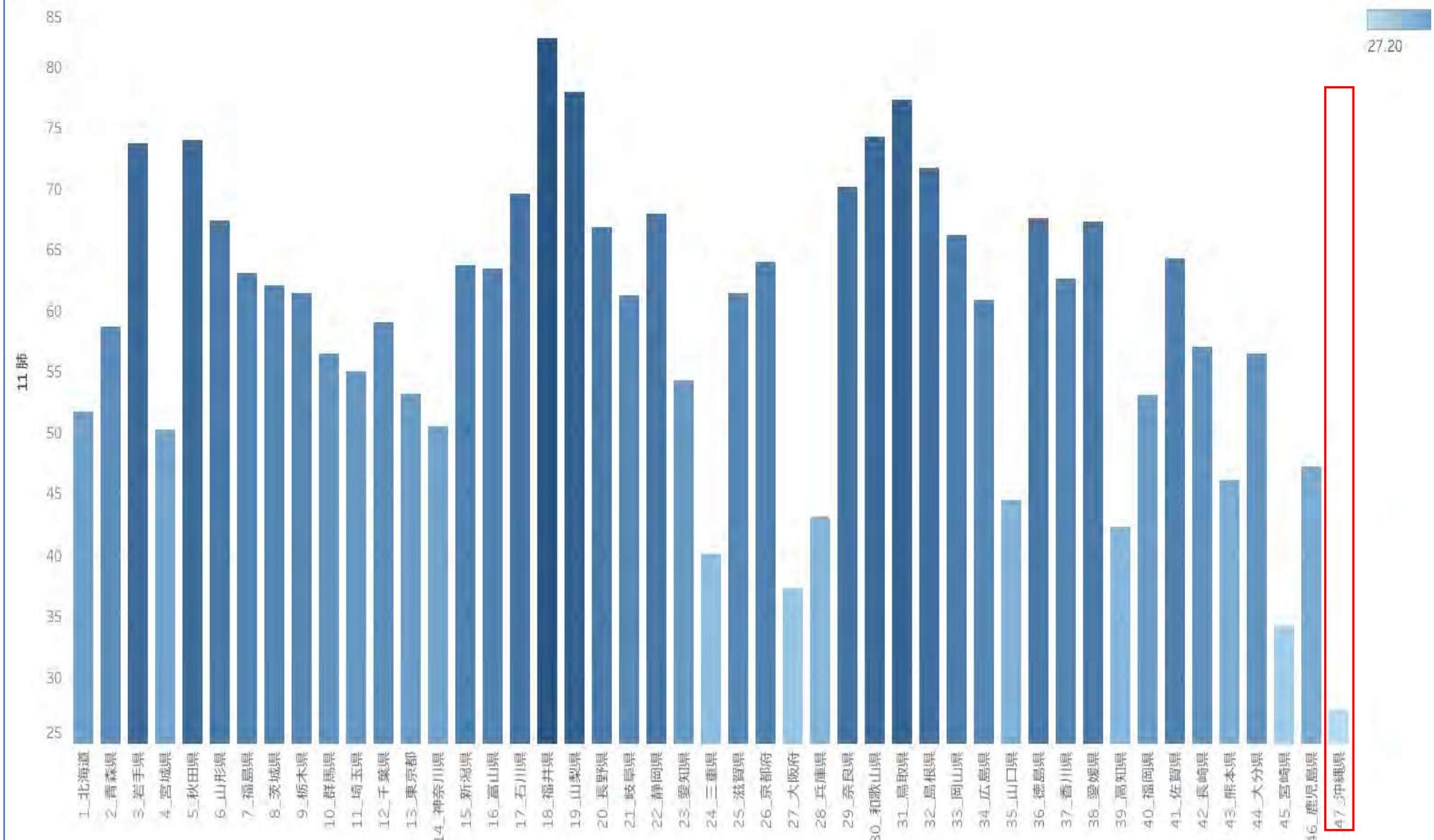
<2020年8月7日資料>





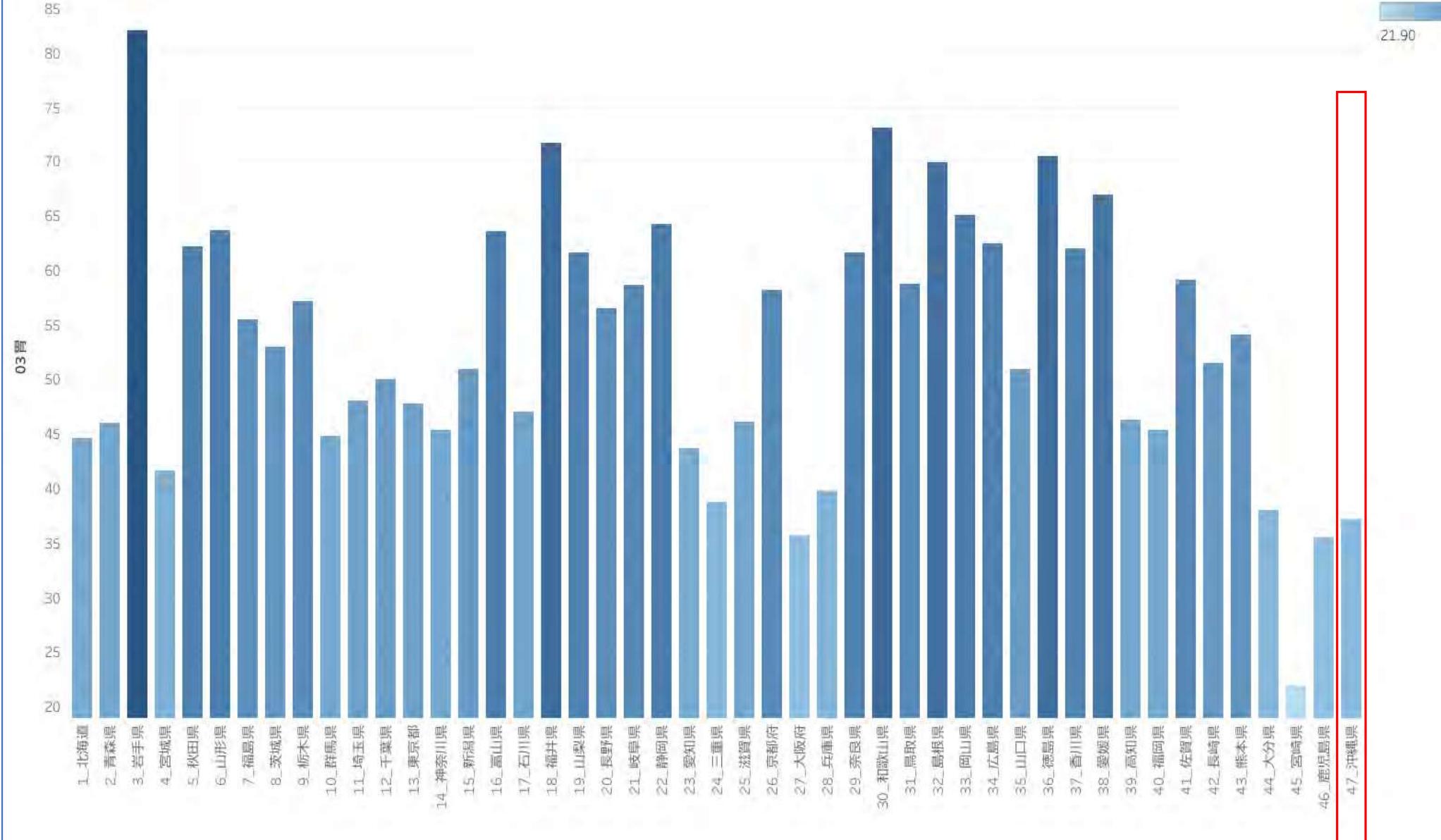
出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11 都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）

肺がん



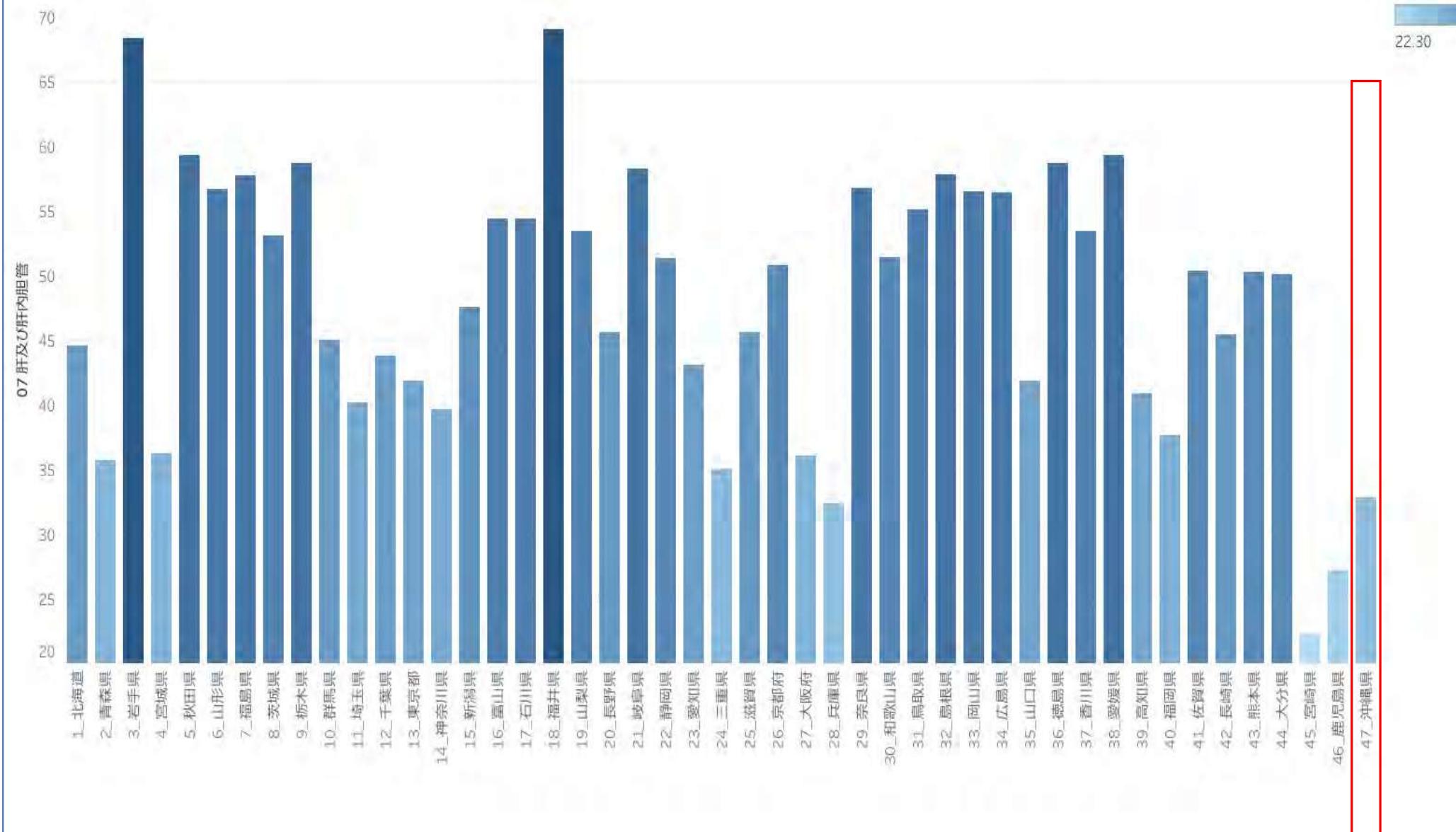
出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11 都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）

胃がん



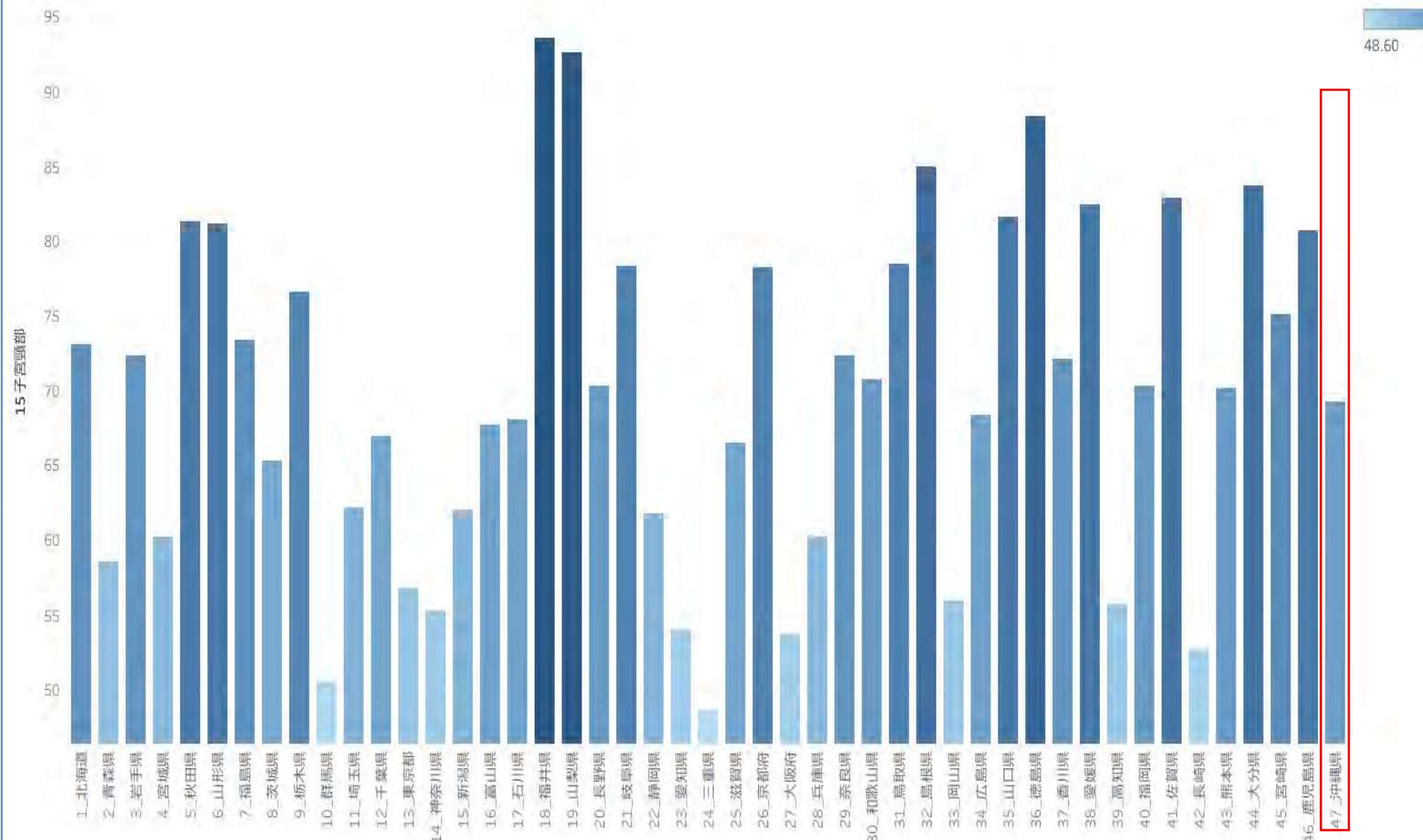
出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11 都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）

肝がん



出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11 都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）

子宮頸がん



出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11
連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）

都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療
センター

患者の医療圏間移動と 医療機関の役割分担

<2021年11月19日資料>

病院別の患者居住地（医療圏別）で患者がどこから来ているかを把握する

II. 2018年二次医療圏別登録数（症例区分80を除く全登録数）：沖縄県

施設名	中部	八重山	北部	南部	宮古	都道府県外	不明
おもろまちメディカルセンター	(4-6)	(1-3)	(1-3)	103	0	0	0
仁愛会 浦添総合病院	205	15	18	424	(4-6)	(7-9)	(1-3)
北部地区医師会病院	11	0	300	(1-3)	0	(4-6)	(1-3)
医療法人おもと会 大浜第一病院	(7-9)	(1-3)	(7-9)	171	(1-3)	(1-3)	0
医療法人和の会与那原中央病院	(4-6)	0	0	63	0	0	0
医療法人沖縄徳洲会	589	14	18	45	(1-3)	18	(1-3)
中部徳洲会病院	49	14	(1-3)	436	(7-9)	15	(1-3)
南部徳洲会病院	477	50	133	824	71	20	0
国立大学法人	107	10	24	130	(7-9)	(4-6)	0
琉球大学医学部附属病院	57	26	(7-9)	820	26	10	0
地方独立行政法人那覇市立病院	0	(1-3)	0	0	92	0	(1-3)
宮古島徳洲会病院	(7-9)	(1-3)	(4-6)	292	0	(4-6)	0
沖縄医療生活協同組合	927	15	81	26	(4-6)	12	(1-3)
沖縄協同病院	0	218	0	(1-3)	0	(4-6)	(1-3)
沖縄県立中部病院	40	20	22	497	22	(7-9)	0
沖縄県立八重山病院	(1-3)	0	0	0	294	(1-3)	0
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	12	(7-9)	(4-6)	574	12	(4-6)	0
社会医療法人 友愛会	20	16	(4-6)	756	13	18	(1-3)
豊見城中央病院	234	(1-3)	12	255	(1-3)	(4-6)	0
社会医療法人かりゆし会	(1-3)	(1-3)	0	178	0	(1-3)	0
ハートライフ病院	987	(1-3)	76	(7-9)	(1-3)	(4-6)	0
社会医療法人友愛会 南部病院	987	(1-3)	76	(7-9)	(1-3)	(4-6)	0
社会医療法人敬愛会中頭病院							

出典：がん診療連携拠点病院等院内がん登録バー率）と二次医療圏別登録数 令和3年8月

2018年全国集計報告書資料 院内がん登録割合（力
国立がん研究センター・がん対策情報センター

患者の医療圏を超えた移動を把握する

連番	医療圏	施設名	北部	中部	南部	宮古	八重山	都道府県外	不明	合計	医療圏内比率
1 1	北部	北部地区医師会病院	300	11	2	0	0	5	2	320	93.8%
2 2	中部	医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院	18	589	45	2	14	18	2	688	85.6%
3 2	中部	国立病院機構沖縄病院	24	107	130	8	10	5	0	284	37.7%
4 2	中部	沖縄県立中部病院	81	927	26	5	15	12	2	1068	86.8%
5 2	中部	社会医療法人敬愛会中頭病院	76	987	8	2	2	5	0	1080	91.4%
6 2	中部	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院	12	234	255	2	2	5	0	510	45.9%
7 3	南部	おもろまちメディカルセンター	2	5	103	0	2	0	0	112	92.0%
8 3	南部	仁愛会 浦添総合病院	18	205	424	5	15	8	2	677	62.6%
9 3	南部	医療法人おもと会 大浜第一病院	8	8	171	2	2	2	0	193	88.6%
10 3	南部	医療法人和の会与那原中央病院	0	5	63	0	0	0	0	68	92.6%
11 3	南部	南部徳洲会病院	2	49	436	8	14	15	2	526	82.9%
12 3	南部	国立大学法人琉球大学医学部附属病院	133	477	824	71	50	20	0	1575	52.3%
13 3	南部	地方独立行政法人那覇市立病院	8	57	820	26	26	10	0	947	86.6%
14 3	南部	沖縄医療生活協同組合沖縄協同病院	5	8	292	0	2	5	0	312	93.6%
15 3	南部	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	22	40	497	22	20	8	0	609	81.6%
16 3	南部	沖縄赤十字病院	5	12	574	12	8	5	0	616	93.2%
17 3	南部	社会医療法人 友愛会豊見城中央病院	5	20	756	13	16	18	2	830	91.1%
18 3	南部	社会医療法人友愛会 南部病院	0	2	178	0	2	2	0	184	96.7%
19 4	宮古	宮古島徳洲会病院	0	0	0	92	2	0	2	96	95.8%
20 4	宮古	沖縄県立宮古病院	0	2	0	294	0	2	0	298	98.7%
21 5	八重山	沖縄県立八重山病院	0	0	2	0	218	5	2	227	96.0%
		医療圏内計	300	2844	5138	386	218				
		医療圏外系	419	901	468	178	202				
		合計	719	3745	5606	564	420	150	16	11220	
		医療圏内部比率	41.7%	75.9%	91.7%	68.4%	51.9%				
		医療圏外部比率	58.3%	24.1%	8.3%	31.6%	48.1%				

出典：前ページのデータを筆者が加工。症例数(1-3)=2,(4-6)=5,(7-9)=8に変換して計算

集約しつつキャパシティの拡大に対応することを計画的に実施する

4病院のシェアは県の4割程度

	大腸がん	2015		2016		2017		2018		2019	
		件数	シェア								
	沖縄県18施設合計	1,803	100%	1,824	100%	1,925	100%	1,913	100%	2,056	100%
1	北部地区医師会病院	89	4.9%	88	4.8%	96	5.0%	82	4.3%	94	4.6%
2	国立病院機構沖縄病院	36	2.0%	39	2.1%	46	2.4%	33	1.7%	39	1.9%
3	県立中部病院	166	9.2%	142	7.8%	163	8.5%	166	8.7%	185	9.0%
4	中頭病院	240	13.3%	211	11.6%	227	11.8%	275	14.4%	250	12.2%
5	中部徳洲会病院	135	7.5%	147	8.1%	125	6.5%	137	7.2%	150	7.3%
6	ハートライフ病院	101	5.6%	91	5.0%	93	4.8%	87	4.5%	102	5.0%
7	那覇市立病院	130	7.2%	142	7.8%	172	8.9%	146	7.6%	182	8.9%
8	沖縄赤十字病院	82	4.5%	95	5.2%	103	5.4%	113	5.9%	122	5.9%
9	大浜第一病院	—		43	2.4%	55	2.9%	52	2.7%	41	2.0%
10	浦添総合病院	158	8.8%	200	11.0%	173	9.0%	148	7.7%	157	7.6%
11	琉球大学病院	87	4.8%	74	4.1%	80	4.2%	67	3.5%	92	4.5%
12	県立南部医療センター・こども医療センター	98	5.4%	68	3.7%	79	4.1%	102	5.3%	98	4.8%
13	豊見城中央病院	40	2.2%	33	1.8%	22	1.1%	26	1.4%	26	1.3%
14	南部徳洲会病院	78	4.3%	89	4.9%	81	4.2%	95	5.0%	131	6.4%
15	沖縄協同病院	74	4.1%	71	3.9%	91	4.7%	77	4.0%	100	4.9%
16	友愛医療センター	166	9.2%	150	8.2%	184	9.6%	192	10.0%	161	7.8%
17	県立宮古病院	67	3.7%	75	4.1%	82	4.3%	72	3.8%	76	3.7%
18	県立八重山病院	56	3.1%	66	3.6%	53	2.8%	43	2.2%	50	2.4%
	4病院合計	730	40.5%	703	38.5%	747	38.8%	781	40.8%	753	36.6%

出典：院内がん登録データからみる沖縄県のがん診療の現状（2019年症例　院内がん登録集計報告書）を加工

表11 都道府県別罹患数（2018）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別

		岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
口腔・咽頭	C00-C14	91.6	92.9	84.4	94.2	82.3	86.0	89.6	74.2	84.7	81.2	86.6	83.8	73.5	75.9	92.3
食道	C15 D001	91.6	92.5	75.7	86.0	84.1	88.7	81.5	76.5	81.2	85.0	93.0	75.6	59.3	84.2	95.7
胃	C16	79.0	78.4	58.9	81.6	66.6	74.8	72.8	58.6	61.0	61.7	81.6	57.9	27.7	67.7	91.9
大腸（結腸・直腸）	C18-C20 D010-D012	72.4	76.8	55.4	75.1	60.4	75.1	71.5	54.5	61.5	64.2	84.1	54.6	28.8	63.2	95.2
結腸	C18 D010	71.8	77.9	55.0	74.4	59.6	74.2	69.2	54.0	59.4	64.8	83.7	55.1	29.2	64.2	95.9
直腸	C19-C20 D011-D012	73.6	74.5	56.4	76.6	62.1	77.1	75.7	55.6	66.5	62.7	85.0	53.7	28.1	61.2	93.6
肝及び肝内胆管	C22	72.0	74.4	53.8	66.9	62.6	68.7	52.6	49.6	58.5	60.1	72.7	61.2	25.6	55.4	88.1
胆のう・胆管	C23	73.6	71.6	57.6	53.6	54.6	70.4	56.8	53.1	59.4	60.4	76.4	66.1	32.4	60.7	88.2
脾臓	C25	75.0	71.2	56.1	69.5	54.7	74.5	54.6	54.6	61.6	54.3	74.8	63.1	34.1	61.5	92.6
喉頭	C32	94.2	90.5	75.3	95.8	95.1	81.8	86.4	86.7	80.5	84.6	92.4	83.3	67.5	81.9	94.7
肺	C33-C34 D021-D022	80.5	78.1	65.5	73.1	67.8	77.4	71.1	62.6	71.0	64.9	74.6	72.6	54.9	65.7	88.9
皮膚	C43-C44 D030-D049	81.4	87.7	78.4	86.9	71.3	85.0	69.9	73.4	60.1	78.6	80.9	84.0	42.1	69.3	96.1
乳房	C50 D05	78.4	84.0	58.1	70.6	54.3	80.8	64.6	56.4	44.7	70.9	71.1	45.7	35.3	73.4	62.4
子宮	C53-C55 D06	88.2	86.5	89.2	89.7	82.4	83.9	90.0	77.9	77.7	62.7	80.3	87.4	85.1	86.4	90.8
子宮頸部	C53 D06	89.4	85.3	91.2	91.2	83.0	86.9	93.3	78.6	75.5	60.0	76.7	86.1	87.9	87.1	92.4
子宮体部	C54	86.9	89.7	88.3	88.8	85.8	86.4	87.0	79.2	86.6	70.0	92.5	93.9	82.9	89.9	91.6
卵巣	C56	82.0	83.5	79.7	81.3	76.7	80.0	69.5	64.6	85.4	61.9	84.1	73.1	73.7	77.0	93.8
前立腺	C61	69.0	73.3	59.3	68.6	60.6	68.1	62.0	51.6	39.5	63.2	61.3	55.5	37.3	37.2	80.2
腎・尿路（膀胱除く）	C64-C66, C68	81.6	84.6	63.6	80.1	69.1	75.6	75.3	61.9	72.0	75.1	84.9	75.2	59.8	75.9	94.3
膀胱	C67 D090	74.1	79.2	61.0	66.7	50.1	72.8	66.8	57.6	58.5	73.9	72.4	63.2	56.7	65.0	85.0
脳・中枢神経系	C70-C72	65.5	66.1	58.4	68.0	66.7	71.3	45.0	62.2	75.0	62.5	65.2	68.3	53.1	50.5	93.7
甲状腺	C73	83.7	51.2	55.7	65.8	67.0	72.1	71.4	37.3	42.3	67.9	47.3	9.1	23.5	69.6	84.3
悪性リンパ腫	C81-C85, C96	85.8	82.4	58.5	86.4	70.7	75.3	72.4	70.4	80.3	72.7	82.0	73.3	57.5	67.0	93.2
多発性骨髓腫	C88-C90	83.8	76.6	49.5	75.4	63.2	65.7	78.0	66.3	69.6	64.4	68.0	66.3	54.3	60.7	89.7
白血病	C91-C95	88.8	79.5	60.8	93.9	72.8	81.4	79.3	65.5	83.2	76.4	79.9	66.1	60.7	60.1	97.1

沖縄は拠点病院カバー率が低いがデータ提出病院カバー率が高い。だが低い部位もある

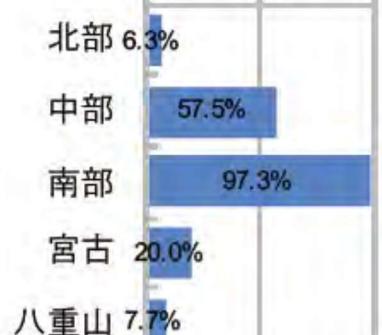
地元で治療を受けるべき部位とセンターに移動して受けるべき部位の役割分担を確認

二次保健医療圏別 部位別 当該医療圏在住患者に対する

当該医療圏担当施設による初回治療実施割合*

口腔・咽頭

0% 50% 100%



胃

0% 50% 100%



大腸

0% 50% 100%



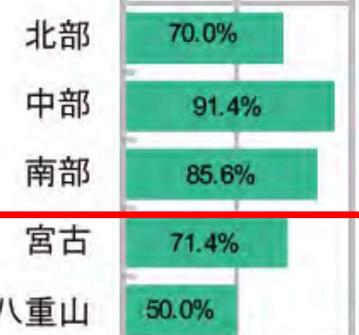
肝臓

0% 50% 100%



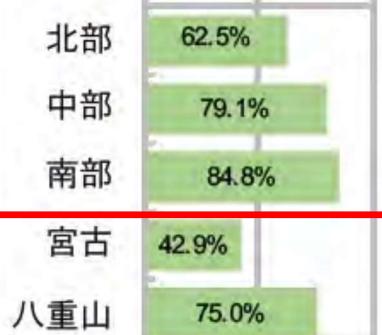
胆のう・胆管

0% 50% 100%



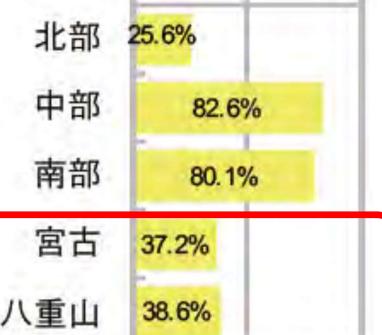
膵臓

0% 50% 100%



肺

0% 50% 100%

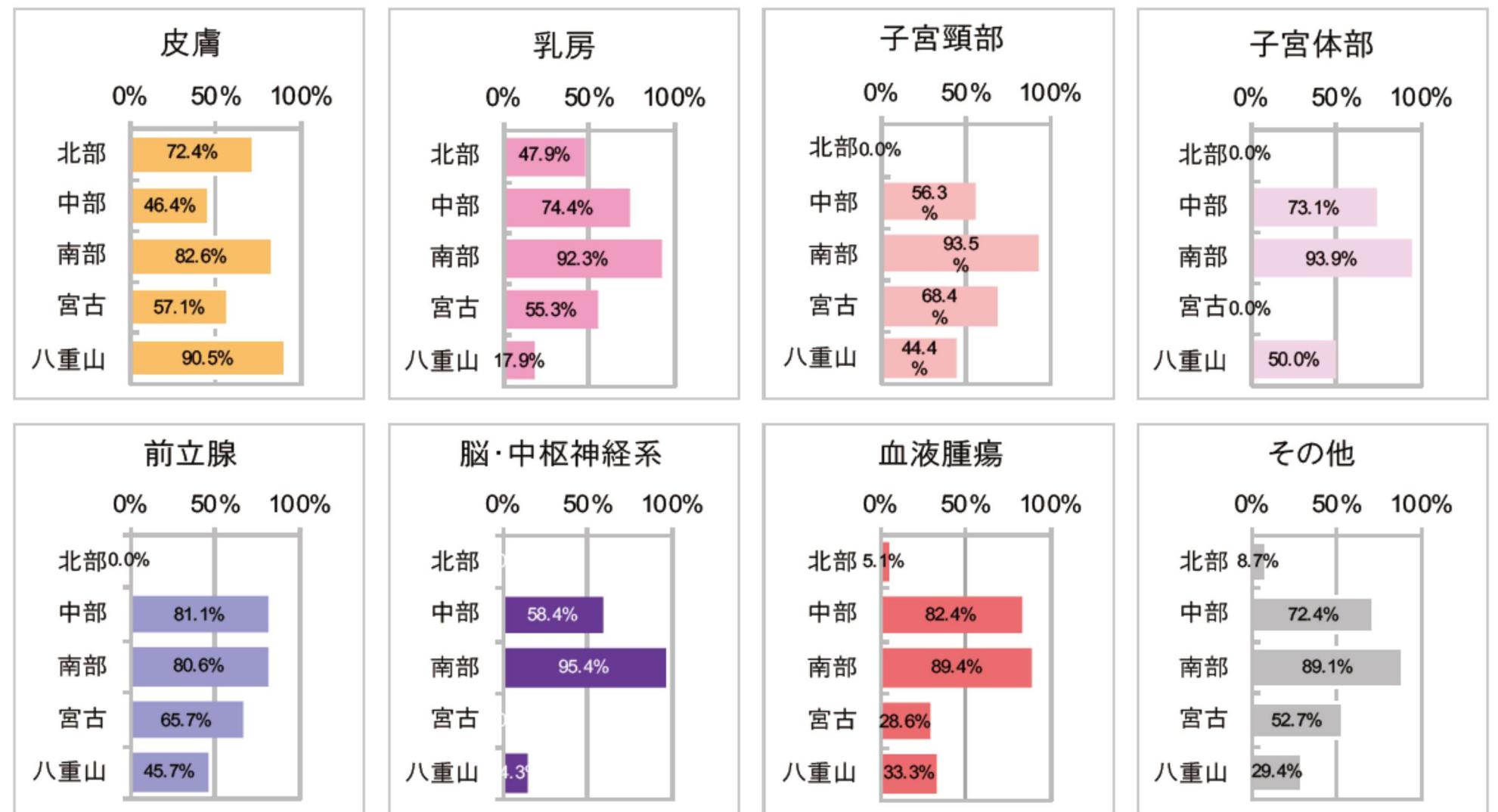


骨・軟部組織

0% 50% 100%



出典：院内がん登録データからみる沖縄県のがん診療の現状（2019年症例 院内がん登録集計報告書）



*初回治療実施件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計

*患者ががんと診断された時点の住所（診断時住所）をもとに市町村分類し、二次保健医療圏ごとに集計

*初回治療実施割合：当該二次保健医療圏在住の初回治療実施数÷当該医療圏担当施設による初回治療実施数

出典：院内がん登録データからみる沖縄県のがん診療の現状（2019年症例 院内がん登録集計報告書）

がん部位別 化学療法実施状況

オーバーユース、アンダーユース
がないか確認

* 医療機関所在地ベース。

* 医療機関数が3未満となる場合は表示されない。

<2022年5月13日資料>

大腸がん化学療法 標準化レセプト出現比（NDB-SCR）（2019年）入院・外来医療圏別

大腸がん 主病名 入院・外来		医療圏名	4701北部	4702中部	4703南部	4704宮古	4705八重山
1	42xxxxx化学療法剤全体		96.0	95.0	79.3	94.4	57.3
2	4211002経口用エンドキサン原末				376.6		
3	4211401注射用エンドキサン			65.7	132.3		
4	4223005ゼローダ錠 3			94.9	161.1		
5	42234015 - F U注			92.5	70.0		
6	4224403ジェムザール注射用				14.8		
7	4229100ユーエフティE配合顆粒			12.8	31.6		
8	4229101ティーエスワン配合顆粒			49.0	118.2		
9	4231400マイトイマイシン注用				42.6		
10	4235402ドキシリ注			61.1	165.1		
11	4240404トポテシン点滴静注			89.6	101.2		
12	4240405タキソール点滴静注用			96.0	43.1		
13	4240406タキソール注射液			75.7	89.3		
14	4240407ナベルビン注			218.6	293.4		
15	4240409アブラキサン点滴静注用				12.6		
16	4291009カンデックス錠			35.9	8.1		
17	4291010アリミデックス錠				42.9		
18	4291011グリベック錠				13.4		
19	4291015フェマーラ錠			41.4	247.6		
20	4291018ステントカプセル				157.5		
21	4291024レブラミドカプセル			207.3			
22	4291029スチバーガ錠			46.4	36.6		
23	4291401動注用アイエーコール			17.4	58.6		
24	4291403パラプラチン注射液			87.4	44.1		
25	4291410エルプラット点滴静注液			108.4	83.5		
26	4291413アバスチン点滴静注用			85.6	85.8		
27	4291415アービタックス注射液			130.2	113.3		
28	4291417ベクティビックス点滴静注			103.4	56.3		
29	4291419ビダーザ注射用				700.6		
30	4291421フェンロデックス筋注				100.5		
31	4291427オプジーボ点滴静注				286.4		
32	4291429サイラムザ点滴静注液			148.8	92.2		
33	4291435キイトルーダ点滴静注			83.1	28.1		
34	4291436ザルトラップ点滴静注				69.0		
35	4299100ロンサーフ配合錠 T				46.1		

大腸がん化学療法 標準化レセプト出現比（NDB-SCR）（2019年）入院 医療圏別

	大腸がん 主病名 入院					
	医療圏名	4701北部	4702中部	4703南部	4704宮古	4705八重山
1	42xxxxx化学療法剤全体	10.2	39.4	85.8	63.6	115.6
2	4211002経口用エンドキサン原末			919.8		
3	4223005ゼローダ錠 3		74.7	80.0		
4	42234015 - F U注		30.4	87.9		
5	4229100ユーエフティ E 配合顆粒		31.0			
6	4229101ティーエスワン配合顆粒		59.9	96.5		
7	4231400マイトマイシン注用			58.9		
8	4235402ドキシリ注			118.6		
9	4240404トポテシン点滴静注		34.2	104.3		
10	4240406タキソール注射液			72.2		
11	4240409アブラキサン点滴静注用			206.9		
12	4291009カソデックス錠		68.5	23.1		
13	4291010アリミデックス錠			87.9		
14	4291011グリベック錠			198.8		
15	4291015フェマーラ錠		199.5	132.5		
16	4291018ステントカプセル			943.0		
17	4291024レブラミドカプセル		5157.0			
18	4291029スチバーガ錠		161.9	21.9		
19	4291401動注用アイエーコール		28.2	57.1		
20	4291403パラプラチン注射液			51.4		
21	4291410エルプラット点滴静注液		38.4	82.0		
22	4291413アバスチン点滴静注用		23.5	109.3		
23	4291415アービタックス注射液		89.9	170.5		
24	4291417ベクティビックス点滴静注		45.4	74.3		
25	4291427オプジーボ点滴静注			1520.6		
26	4291429サイラムザ点滴静注液		37.5	43.4		
27	4291435キイトルーダ点滴静注		229.8	155.2		
28	4291436ザルトラップ点滴静注			38.3		
29	4299100ロンサーフ配合錠 T			68.1		

出典：内閣府 医療提供状況の地域差 SCRデーター一覧 令和元(2019)年度診療分 癌の化学療法 二

次医療圏

大腸がん化学療法 標準化レセプト出現比（NDB-SCR）（2019年）外来 医療圏別

大腸がん 主病名 外来						
	医療圏名	4701北部	4702中部	4703南部	4704宮古	4705八重山
1	42xxxxx化学療法剤全体	122.2	111.9	77.3	103.8	39.7
2	4211401注射用エンドキサン		78.1	157.3		
3	4223005ゼローダ錠 3		104.7	200.5		
4	4223401 5 - F U注		127.2	60.0		
5	4224403ジェムザール注射用			15.8		
6	4229100ユーエフティ E 配合顆粒		9.9	36.6		
7	4229101ティーエスワン配合顆粒		43.8	128.5		
8	4235402ドキシリル注		93.5	189.8		
9	4240404トポテシン点滴静注		109.2	100.1		
10	4240405タキソテール点滴静注用		107.0	48.0		
11	4240406タキソール注射液		92.1	92.9		
12	4240407ナベルビン注		234.9	315.1		
13	4291009カソデックス錠		18.4			
14	4291010アリミデックス錠			28.4		
15	4291015フェマーラ錠			277.7		
16	4291024レブラミドカプセル		71.0			
17	4291029スチバーガ錠		10.2	41.2		
18	4291401動注用アイエーコール			61.0		
19	4291403パラプラチン注射液		122.4	41.2		
20	4291410エルプラット点滴静注液		137.2	84.2		
21	4291413アバスチン点滴静注用		101.5	79.8		
22	4291415アービタックス注射液		142.3	96.2		
23	4291417ベクティビックス点滴静注		125.0	49.6		
24	4291419ビダーザ注射用			875.3		
25	4291421フェンロデックス筋注			102.1		
26	4291429サイラムザ点滴静注液		203.9	116.3		
27	4291435キイトルーダ点滴静注		60.1	8.1		
28	4291436ザルトラップ点滴静注			82.9		
29	4299100ロンサーフ配合錠 T			39.3		

乳がん化学療法 標準化レセプト出現比（NDB-SCR）（2019年）入院・外来 医療圏別

乳がん（主病名） 入院・外来		医療圏名	4701北部	4702中部	4703南部	4704宮古	4705八重山
1	42xxxxx化学療法剤全体		37.7	60.9	193.0	73.8	59.0
2	4211002経口用エンドキサン原末				315.5		
3	4211401注射用エンドキサン			80.2	117.8		
4	4222400メソトレキセート点滴静注液				74.1		
5	4223005ゼローダ錠 3				334.3		
6	42234015-F U注			18.1	24.6		
7	4224403ジェムザール注射用			44.1	77.0		
8	4229100ユーエフティE配合顆粒				2297.5		
9	4229101ティーエスワン配合顆粒			41.6	260.4		
10	4235402ドキシリル注			283.8	51.4		
11	4235404ファルモルビシンRTU注射液			4.5	156.7		
12	4240400オンコビン注射用				675.8		
13	4240404トポテシン点滴静注				100.9		
14	4240405タキソテール点滴静注用			88.2	99.4		
15	4240406タキソール注射液			51.9	135.4		
16	4240407ナベルビン注			12.1	114.4		
17	4240409アブラキサン点滴静注用			20.2	98.6		
18	4291003ノルバデックス錠			28.7	344.0	38.5	66.2
19	4291007フェアストン錠				122.0		
20	4291010アリミデックス錠	30.9	4.2		243.0		
21	4291012アロマシン錠			8.8	671.7		
22	4291015フェマーラ錠	34.2	62.2		302.9		283.8
23	4291022タイケルブ錠				650.8		
24	4291023アフィニートール錠				862.2		
25	4291024レブラミドカプセル				923.8		
26	4291051イブランスカプセル				197.3		
27	4291401動注用アイエーコール				199.5		
28	4291403パラプラチン注射液		116.6	166.2			
29	4291406ハーセプチニ注射用			97.1	136.0		
30	4291410エルプラット点滴静注液			75.9	67.3		
31	4291413アバスチン点滴静注用			34.6	70.9		
32	4291420ハラヴェン静注			27.5	181.1		
33	4291421フェンロデックス筋注			90.8	126.9		
34	4291424バージェタ点滴静注			107.7	176.2		
35	4291426カドサイラ点滴静注用				132.9		
36	4299400ピシバニール注射用				347.2		
37	4299405ユニタルク胸膜腔内注入用懸濁剤		101.0	68.3			

出典：内閣府 医療提供状況の地域差 SCRデーター一覧 令和元(2019)年度診療分 癌の化学療法 二

次医療圏

乳がん化学療法 標準化レセプト出現比（NDB-SCR）（2019年）入院 医療圏別

乳がん 主病名 入院	医療圏名	4701北部	4702中部	4703南部	4704宮古	4705八重山
1 42xxxxx化学療法剤全体		72.5	60.0	139.5	105.9	30.2
2 4211401注射用エンドキサン			29.0	122.1		
3 4223005ゼローダ錠 3				108.3		
4 42234015 - F U注				5.3		
5 4224403ジェムザール注射用			111.8	225.3		
6 4229101ティーエスワン配合顆粒			61.3			
7 4235402ドキシリ注			140.6	77.8		
8 4235404ファルモルビシンR T U注射液			3.0	154.2		
9 4240405タキソテール点滴静注用			15.6	68.9		
10 4240406タキソール注射液			32.6	68.9		
11 4240409アブラキサン点滴静注用				103.4		
12 4291003ノルバデックス錠			185.5	244.4	157.8	161.1
13 4291007フェアストン錠				355.7		
14 4291010アリミデックス錠	491.8	48.3	272.3			
15 4291012アロマシン錠			149.5	40.3		
16 4291015フェマーラ錠	175.1	294.2	316.2			
17 4291022タイケルブ錠				468.2		
18 4291023アフィニートール錠				198.4		
19 4291024レブラミドカプセル				5660.4		
20 4291401動注用アイエーコール				101.0		
21 4291403パラプラチン注射液				245.2		
22 4291406ハーセプチニ注射用			20.6	124.0		
23 4291413アバスチン点滴静注用			19.9	60.6		
24 4291420ハラヴェン静注			45.3	173.2		
25 4291421フェンロデックス筋注			44.6	45.0		
26 4291424ページェタ点滴静注			10.7	133.6		
27 4291426カドサイラ点滴静注用				148.5		
28 4299400ピシバニール注射用				526.7		
29 4299405ユニタルク胸膜腔内注入用懸濁剤		102.0		68.9		

出典：内閣府 医療提供状況の地域差 SCRデーター一覧 令和元(2019)年度診療分 癌の化学療法 二次医療圏

乳がん化学療法 標準化レセプト出現比（NDB-SCR）（2019年）外来 医療圏別

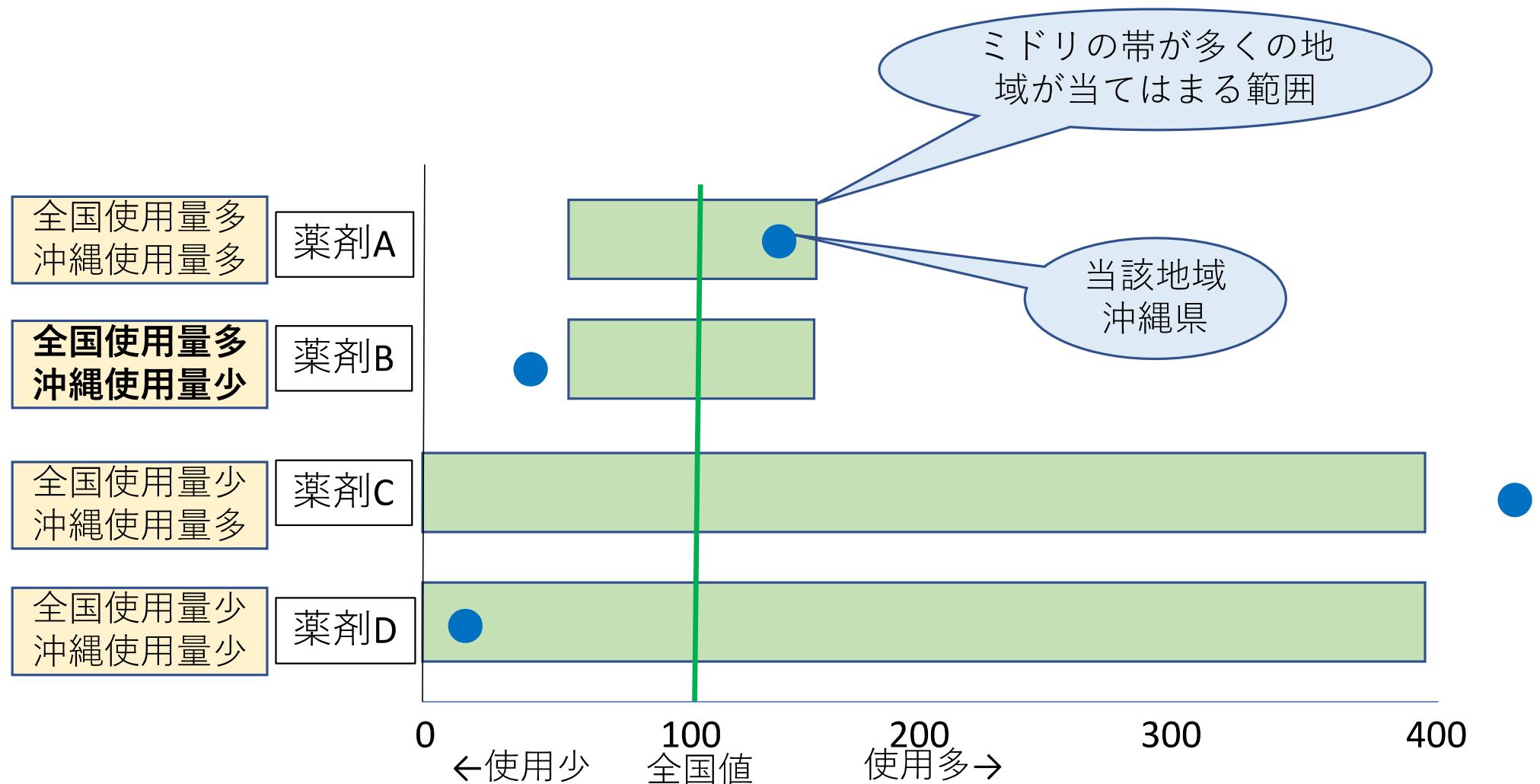
乳がん	主病名	外来	医療圏名	4701北部	4702中部	4703南部	4704宮古	4705八重山
1	42xxxxx化学療法剤全体			34.9	61.0	197.4	71.1	61.4
2	4211002経口用エンドキサン原末					360.9		
3	4211401注射用エンドキサン				94.2	116.6		
4	4222400メソトレキセート点滴静注液					85.2		
5	4223005ゼローダ錠 3					349.7		
6	42234015 - F U注				22.9	29.7		
7	4224403ジェムザール注射用				38.3	64.3		
8	4229100ユーエフティ E 配合顆粒					2340.9		
9	4229101ティーエスワン配合顆粒				39.5	288.4		
10	4235402ドキシリル注				320.6	44.6		
11	4235404ファルモルビシンR T U注射液				5.0	157.4		
12	4240400オンコビン注射用					762.7		
13	4240404トポテシン点滴静注					114.2		
14	4240405タキソテール点滴静注用				105.1	106.5		
15	4240406タキソール注射液				54.6	144.4		
16	4240407ナベルビン注				13.2	124.1		
17	4240409アブラキサン点滴静注用				23.3	97.9		
18	4291003ノルバデックス錠				22.5	348.0	33.4	62.4
19	4291007フェアストン錠					111.0		
20	4291010アリミデックス錠				1.3	241.2		
21	4291012アロマシン錠					710.8		
22	4291015フェマーラ錠			25.0	47.7	302.0		301.6
23	4291022タイケルブ錠					664.1		
24	4291023アフィニートール錠					900.3		
25	4291024レブラミドカプセル					578.2		
26	4291051イブランスカプセル					202.4		
27	4291401動注用アイエーコール					295.4		
28	4291403パラプラチン注射液				144.5	147.2		
29	4291406ハーセプチニ注射用				103.0	136.9		
30	4291410エルプラット点滴静注液				81.6	72.4		
31	4291413アバスチン点滴静注用				36.2	72.1		
32	4291420ハラヴェン静注				25.9	181.8		
33	4291421フェンロデックス筋注				91.4	128.0		
34	4291424パージェタ点滴静注				117.3	180.4		
35	4291426カドサイラ点滴静注用					131.9		

がん化学療法実施量

<2022年2月4日資料>

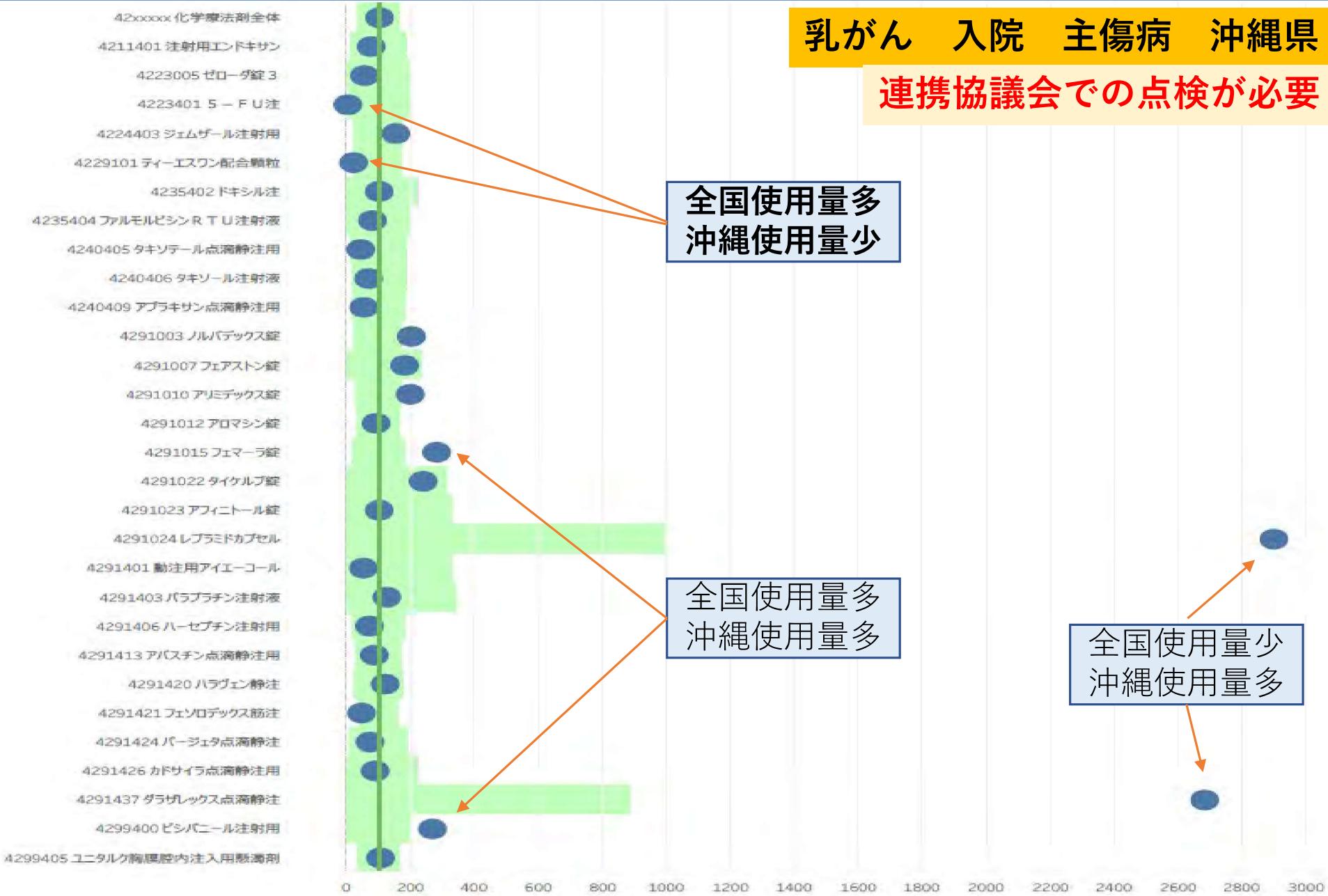


図の見方



乳がん 入院 主傷病 沖縄県

連携協議会での点検が必要



原注：薬剤の商品名は同種同効薬の代表的な薬剤であり、その値は後発品を含みます。

出典：東北大学藤森教授による医療提供状況の可視化、都道府県別 五大癌の化学療法 SCR₁₈₉
https://public.tableau.com/app/profile/fujimori/viz/R01SCR_16182143430410/sheet0

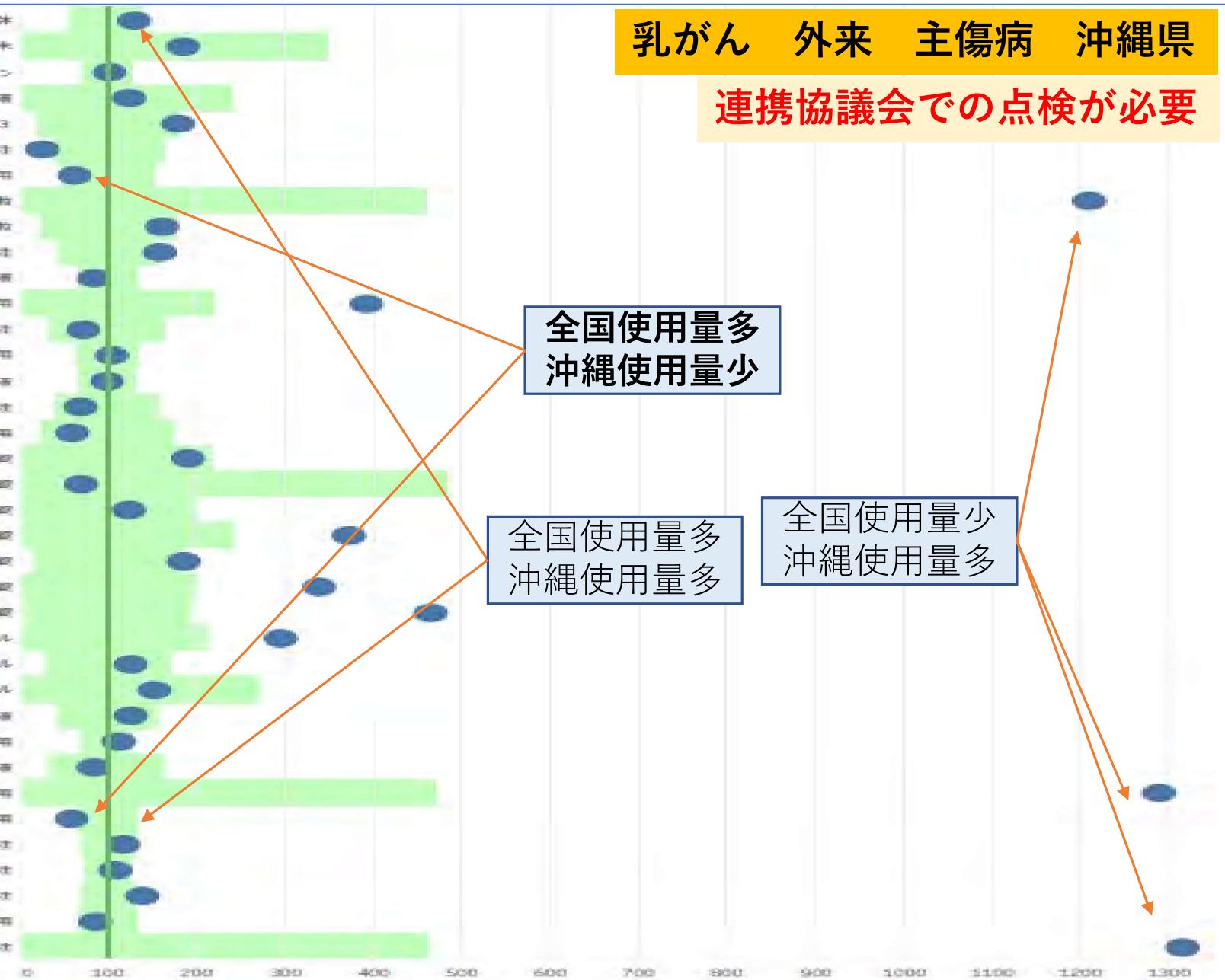
乳がん 外来 主傷病 沖縄県

連携協議会での点検が必要

全国使用量多
沖縄使用量少

全国使用量多
沖縄使用量多

全国使用量少
沖縄使用量多



原注：薬剤の商品名は同種同効薬の代表的な薬剤であり、その値は後発品を含みます。

出典：東北大学藤森教授による医療提供状況の可視化、都道府県別五大癌の化学療法 SCR₁₉₀
https://public.tableau.com/app/profile/fujimori/viz/R01SCR_16182143430410/sheet0

大腸がん 入院 主傷病 沖縄県

連携協議会での点検が必要

全国使用量多
沖縄使用量少

全国使用量多
沖縄使用量多

全国使用量少
沖縄使用量多

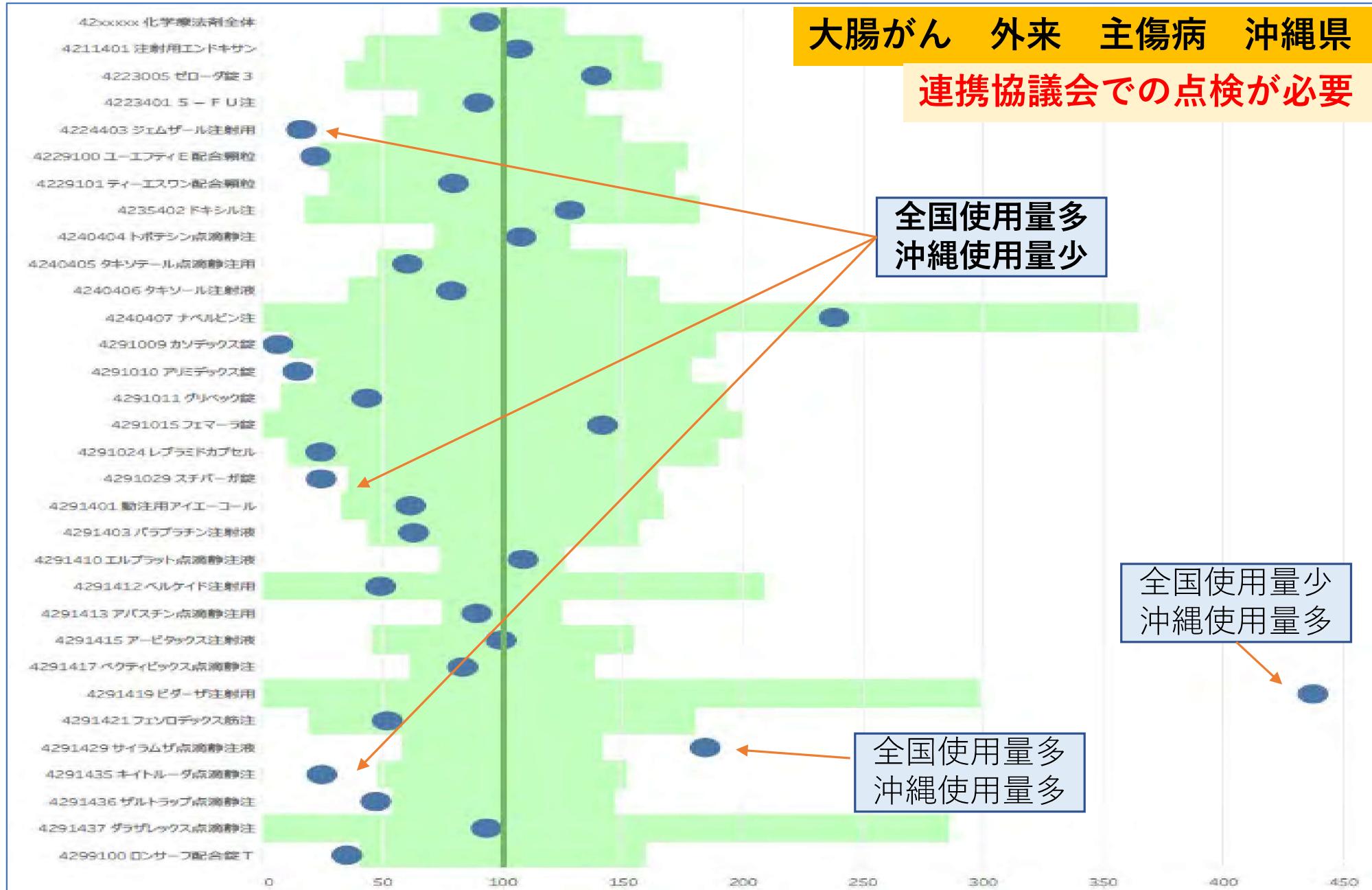
42xxxxx 化学療法剤全体
4211002 経口用エンドキサン原末
4223005 ゼローダ錠 3
4223401 5 - F U注
4229100 ユーエフティ E 配合顆粒
4229101 ティーエスワン配合顆粒
4231400 マイトマイシン注用
4235402 ドキシリ注
4240403 ラステット注
4240404 トボテシン点滴静注
4240406 タキソール注射液
4240409 アブラキサン点滴静注用
4291009 カンデックス錠
4291010 アリミデックス錠
4291011 グリベック錠
4291015 フェマーラ錠
4291018 スーデントカプセル
4291024 レブラミドカプセル
4291029 スチバーガ錠
4291401 動注用アイーコール
4291403 バラプラチン注射液
4291410 エルプラット点滴静注液
4291413 アバスチン点滴静注用
4291415 アービタックス注射液
4291417 ベクティビックス点滴静注
4291427 オブジーポ点滴静注
4291429 サイラムザ点滴静注液
4291435 キトルーグ点滴静注
4291436 ザルトラップ点滴静注
4291437 ダラザレックス点滴静注
4299100 ロンサーフ配合錠 T

-100 0 100 200 300 400 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1300 1400 1500 1600 1700 1800

原注：薬剤の商品名は同種同効薬の代表的な薬剤であり、その値は後発品を含みます。

出典：東北大学藤森教授による医療提供状況の可視化、都道府県別五大癌の化学療法 SCR ₁₉₁
https://public.tableau.com/app/profile/fujimori/viz/R01SCR_16182143430410/sheet0

大腸がん 外来 主傷病 沖縄県
連携協議会での点検が必要



原注：薬剤の商品名は同種同効薬の代表的な薬剤であり、その値は後発品を含みます。

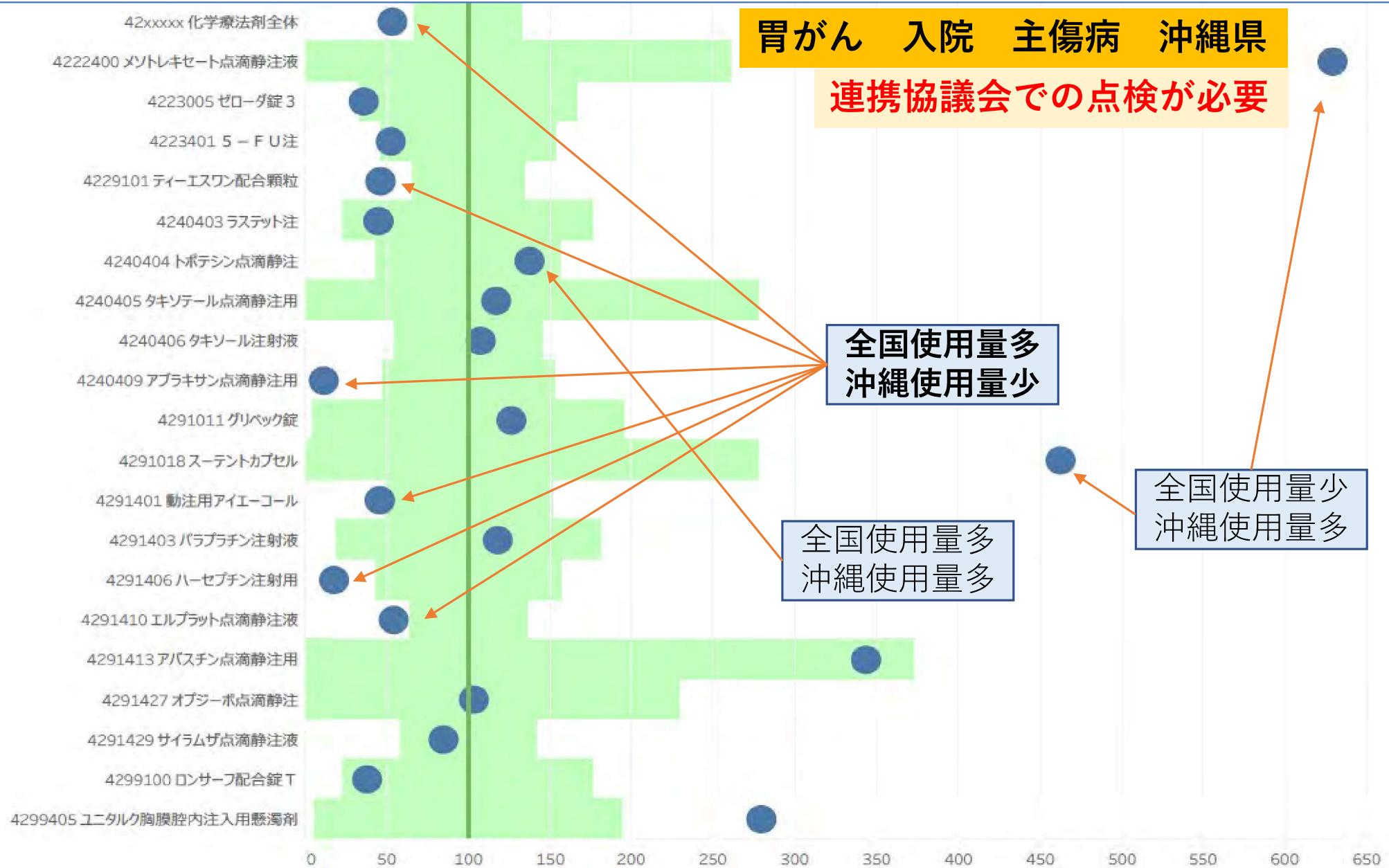
出典：東北大学藤森教授による医療提供状況の可視化、都道府県別五大癌の化学療法 SCR₁₉₂
https://public.tableau.com/app/profile/fujimori/viz/R01SCR_16182143430410/sheet0

胃がん 入院 主傷病 沖縄県
連携協議会での点検が必要

全国使用量多
沖縄使用量少

全国使用量少
沖縄使用量多

全国使用量多
沖縄使用量多



原注：薬剤の商品名は同種同効薬の代表的な薬剤であり、その値は後発品を含みます。

出典：東北大学藤森教授による医療提供状況の可視化、都道府県別五大癌の化学療法 SCR₁₉₃
https://public.tableau.com/app/profile/fujimori/viz/R01SCR_16182143430410/sheet0

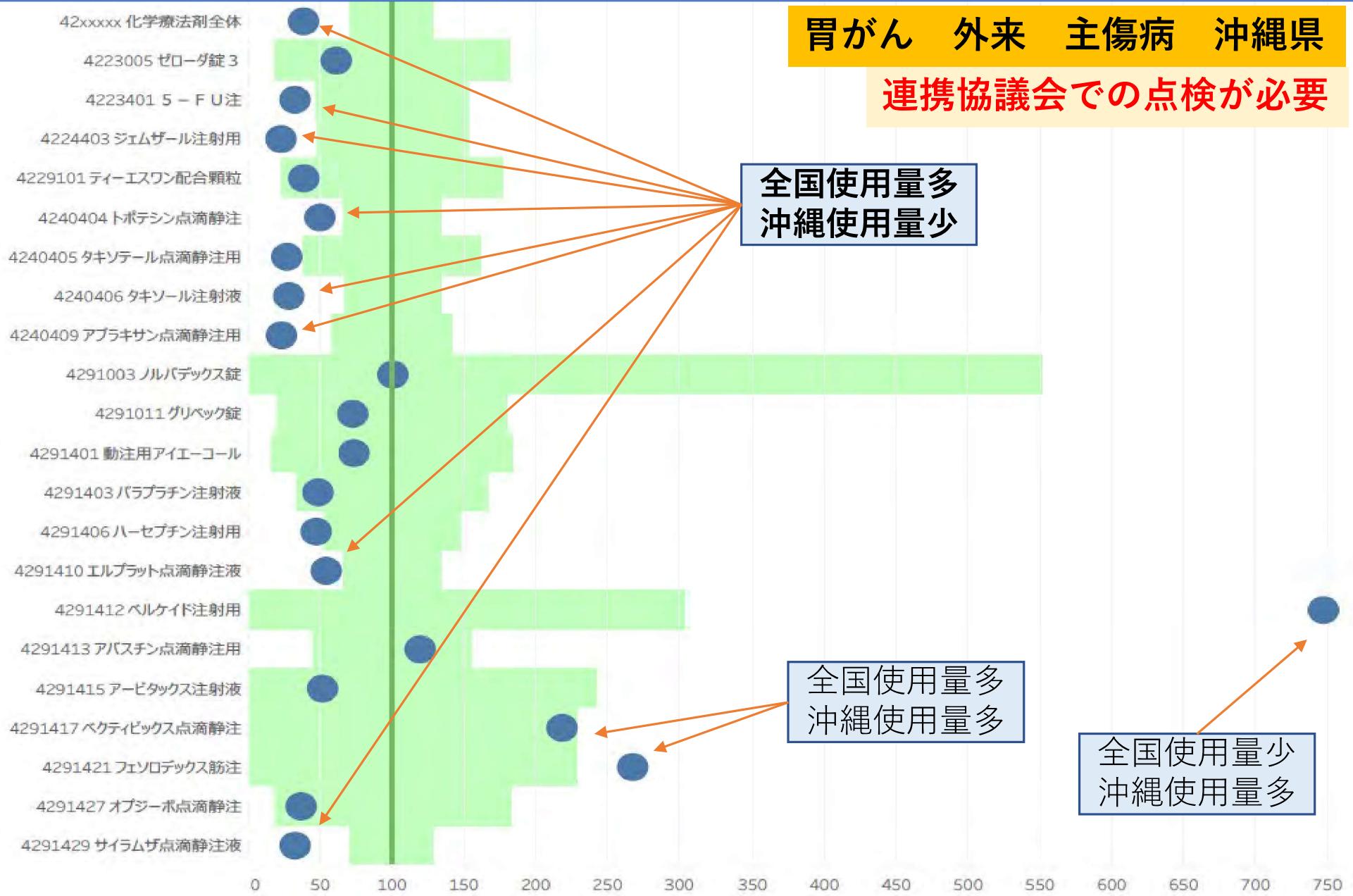
胃がん 外来 主傷病 沖縄県

連携協議会での点検が必要

全国使用量多
沖縄使用量少

全国使用量多
沖縄使用量多

全国使用量少
沖縄使用量多



原注：薬剤の商品名は同種同効薬の代表的な薬剤であり、その値は後発品を含みます。

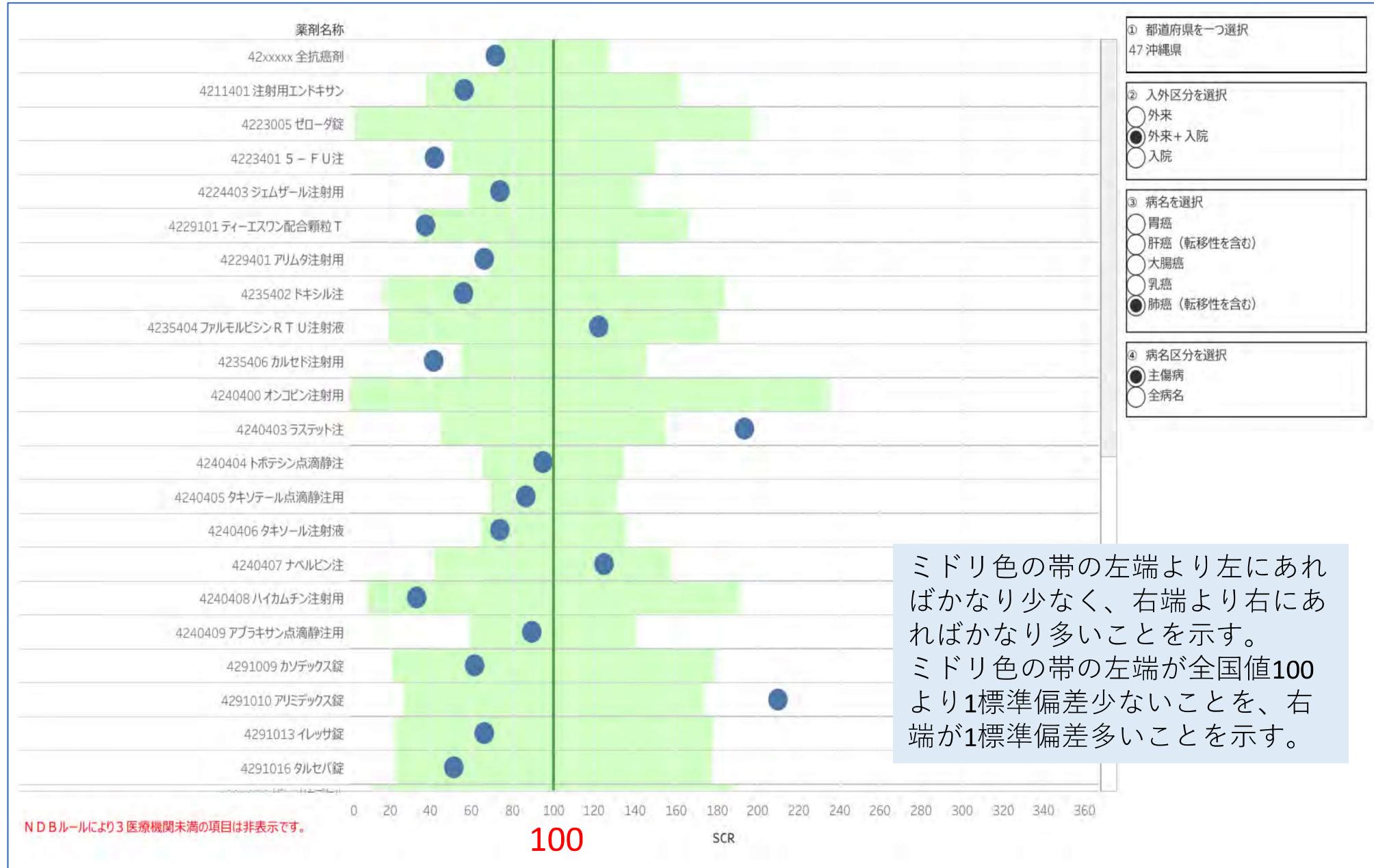
出典：東北大学藤森教授による医療提供状況の可視化、都道府県別 五大癌の化学療法 SCR

https://public.tableau.com/app/profile/fujimori/viz/R01SCR_16182143430410/sheet0

抗がん剤の使用量と構成 (医療圏別)

<2020年5月8日資料>

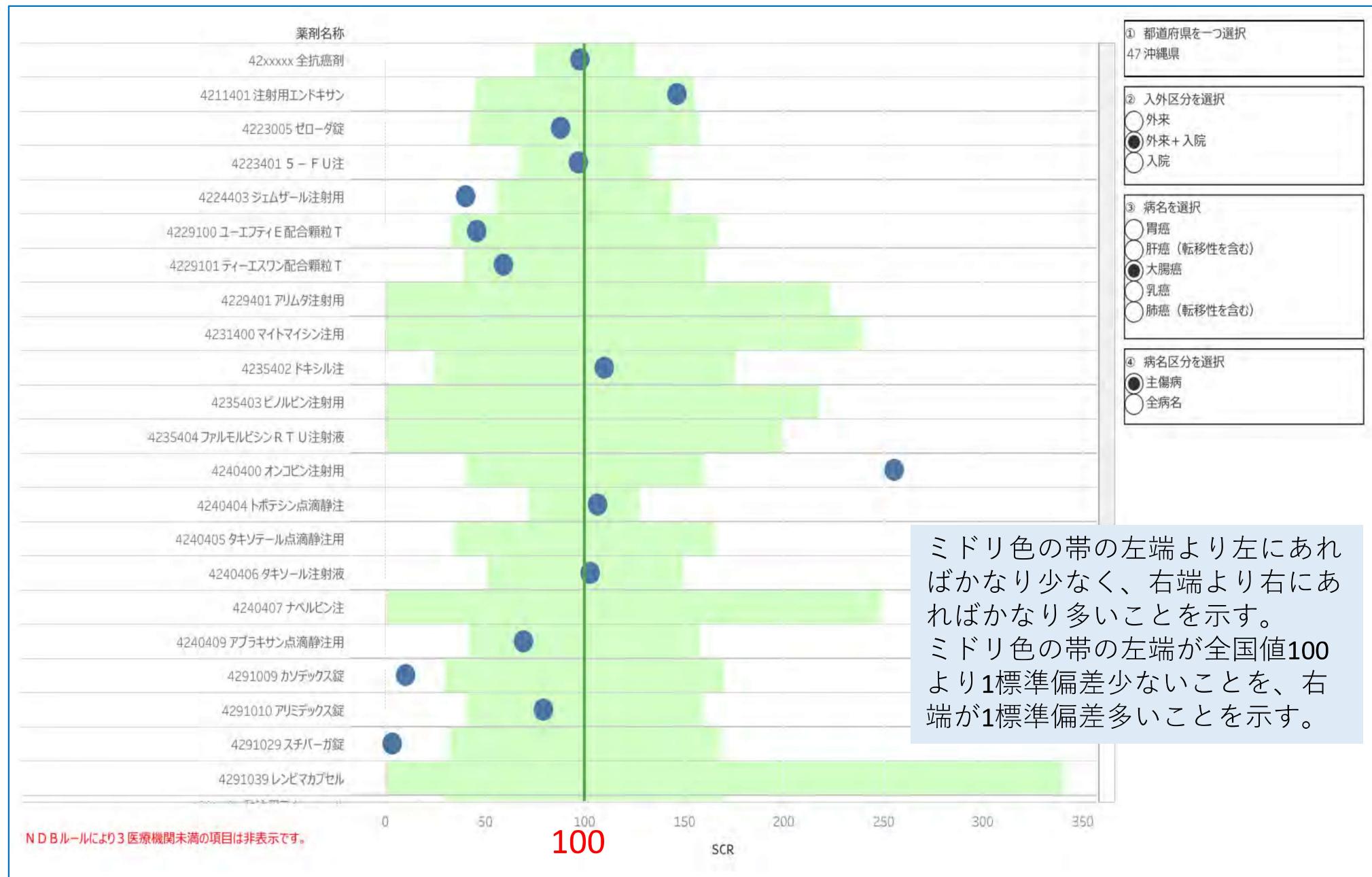
肺がん化学療法：使用薬の地域別ポートフォリオ（沖縄県、外来+入院）



出典：62 H30 都道府県別 【癌の化学療法】 SCR

https://public.tableau.com/profile/fujimori#/vizhome/New62H30_SCR/sheet0

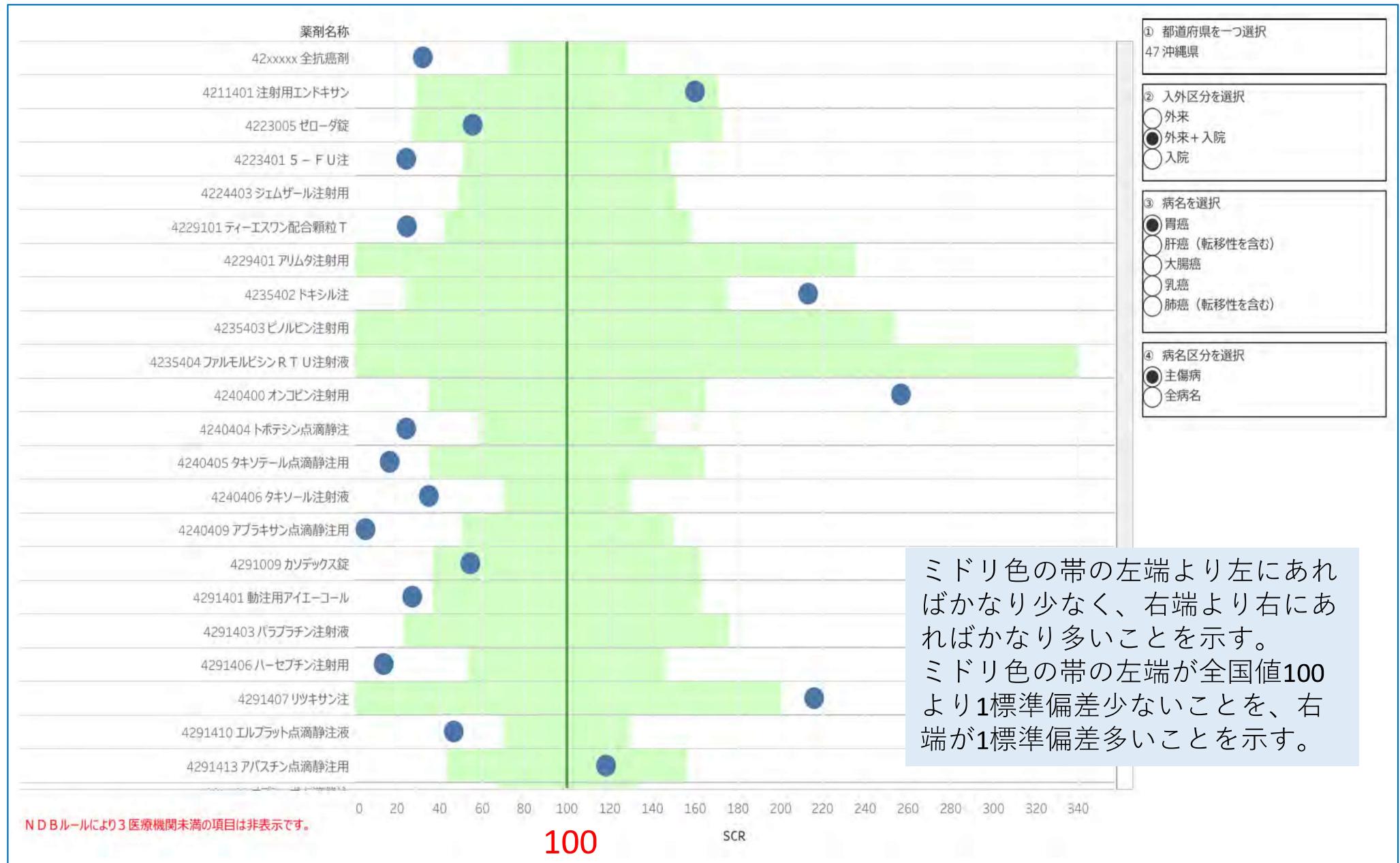
大腸がん化学療法：使用薬の地域別ポートフォリオ（沖縄県、外来 + 入院）



出典：62 H30_都道府県別 【癌の化学療法】SCR

https://public.tableau.com/profile/fujimori#/vizhome/New62H30_SCR/sheet0

胃がん化学療法：使用薬の地域別ポートフォリオ（沖縄県、外来+入院）



出典：62 H30 都道府県別

https://public.tableau.com/profile/fujimori#!vizhome/New62H30_SCR/sheet0

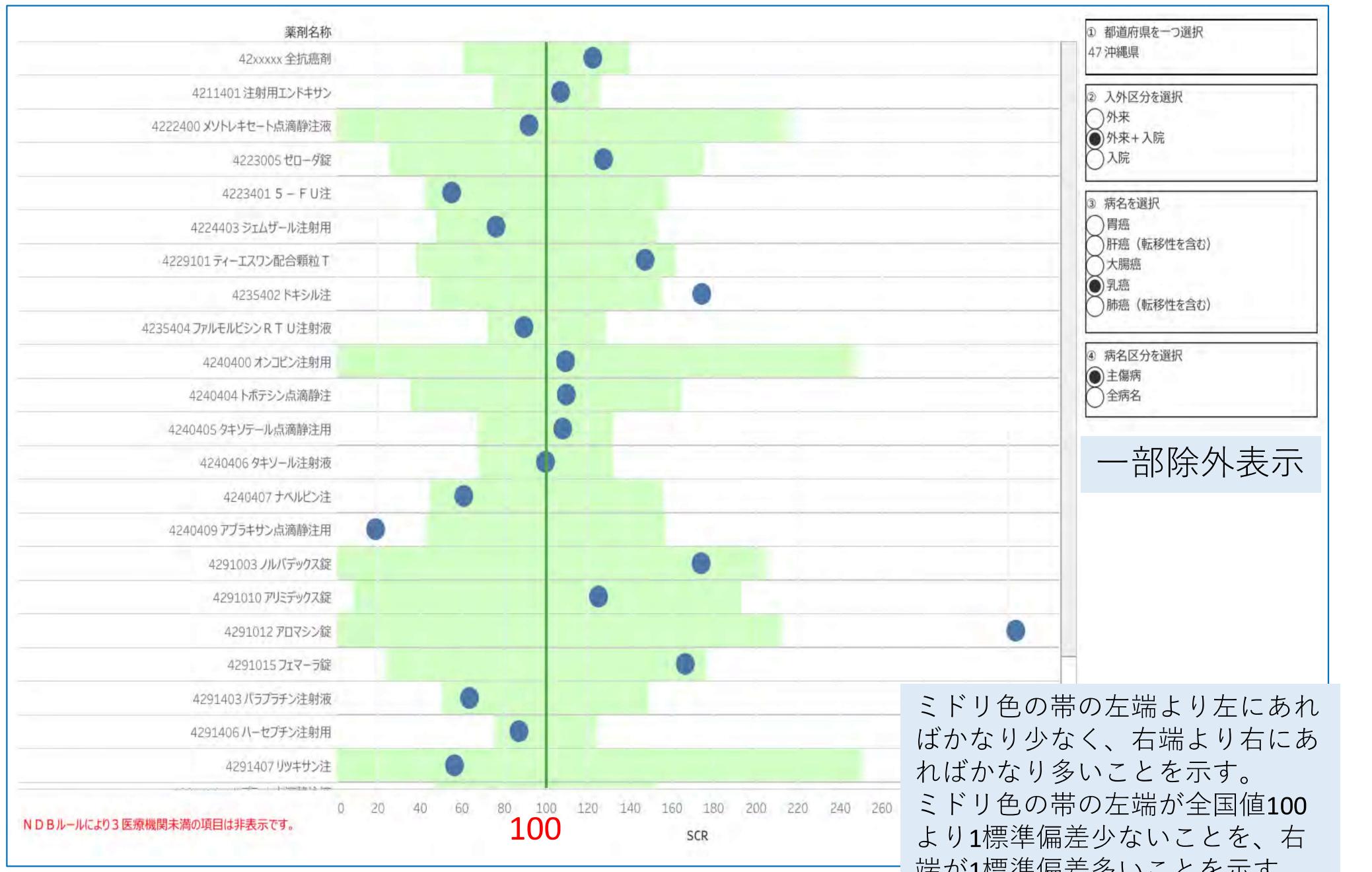
乳がん化学療法：使用薬の地域別ポートフォリオ（沖縄県、外来+入院）



出典：62H30_都道府県別 【癌の化学療法】SCR

https://public.tableau.com/profile/fujimori#/vizhome/New62H30_SCR/sheet0

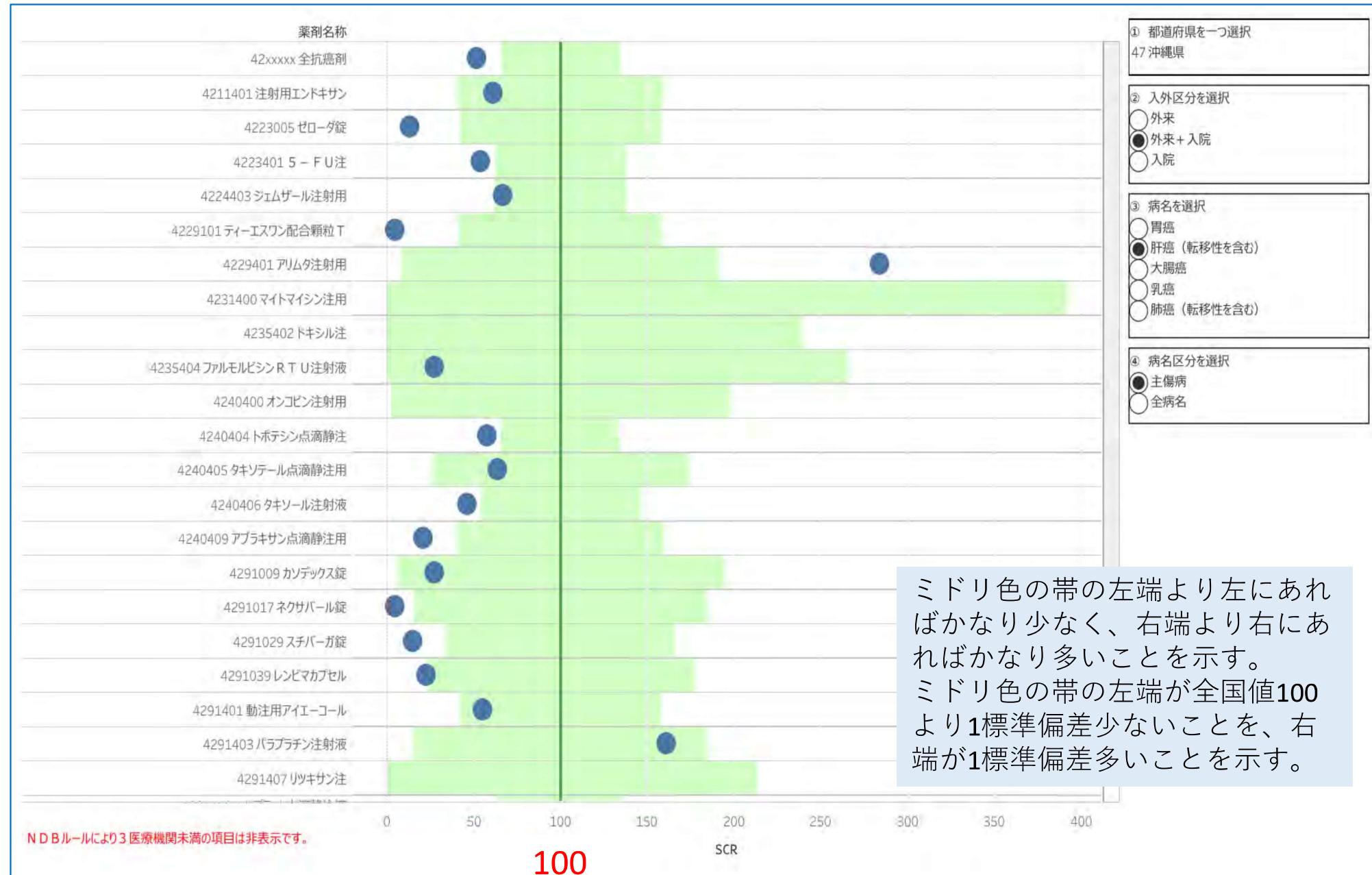
乳がん化学療法：使用薬の地域別ポートフォリオ（沖縄県、外来+入院）



出典：62H30_都道府県別 【癌の化学療法】SCR

https://public.tableau.com/profile/fujimori#/vizhome/New62H30_SCR/sheet0

肝がん化学療法：使用薬の地域別ポートフォリオ（沖縄県、外来+入院）



出典：62 H30_都道府県別 【癌の化学療法】SCR

https://public.tableau.com/profile/fujimori#/vizhome/New62H30_SCR/sheet0

遺伝子マークー等 検査実施状況

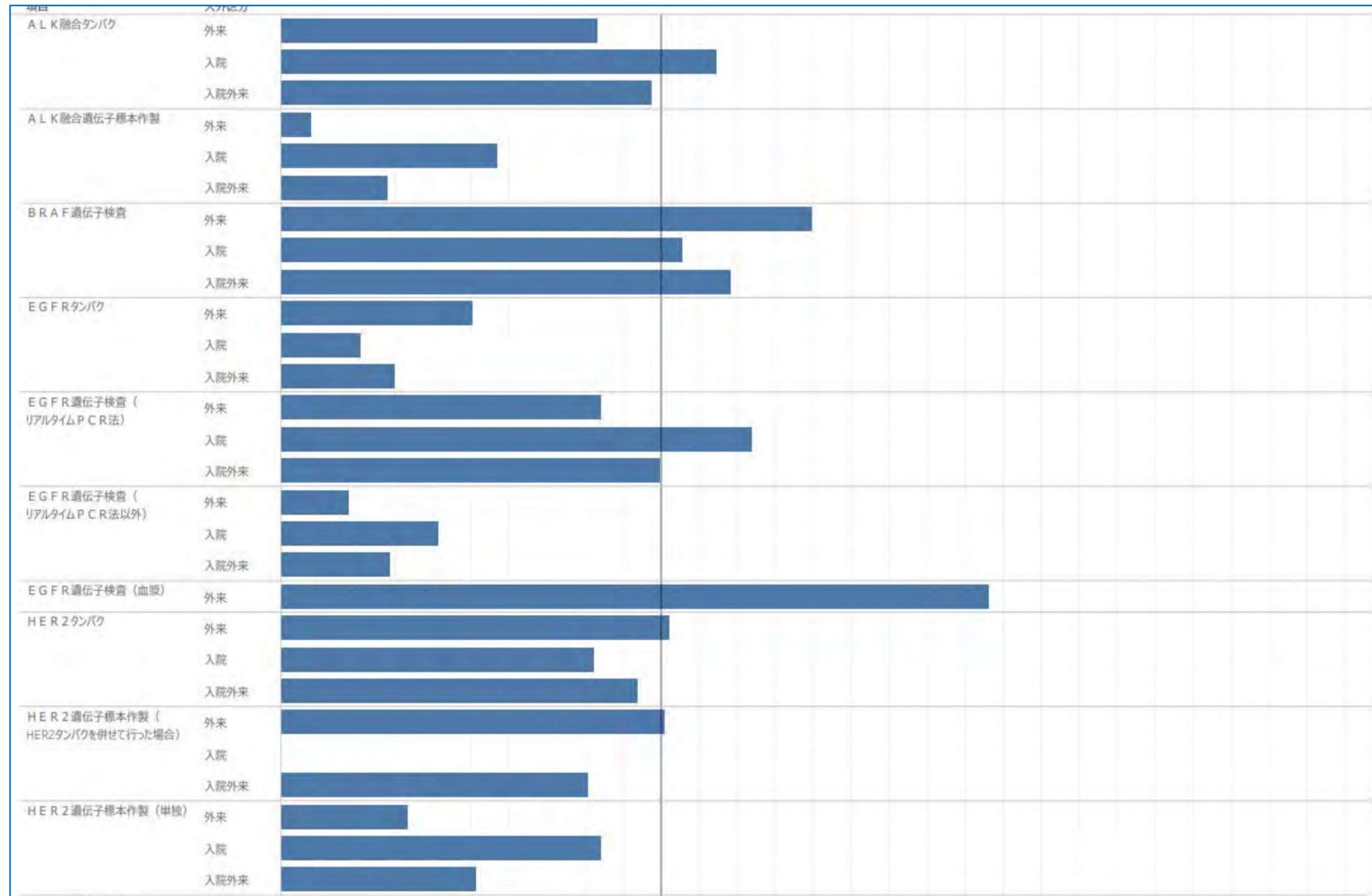
オーバーユース、アンダーユース
がないか確認

* 医療機関所在地ベース。

* 医療機関数が3未満となる場合は表示されない。

<2022年5月13日資料>

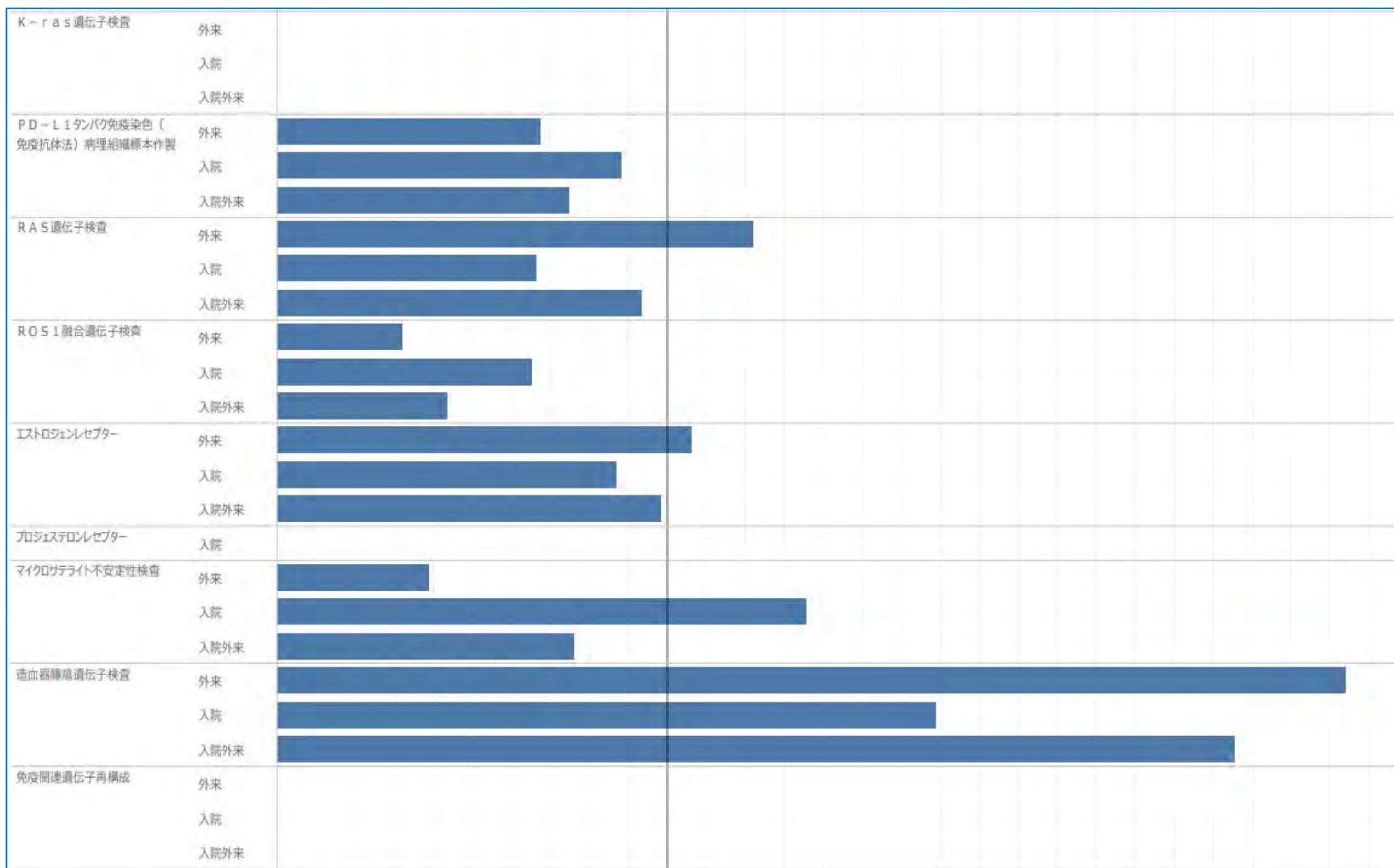
がん遺伝子マーカー検査等 レセプト出現比（NDB-SCR）（2019年）中部医療圏①



https://public.tableau.com/app/profile/ken.hanioka/viz/NDB-SCR2019_16493289092960/sheet0

出典：内閣府 医療提供体制の地域差 SCRデータ一覧 2019年 二

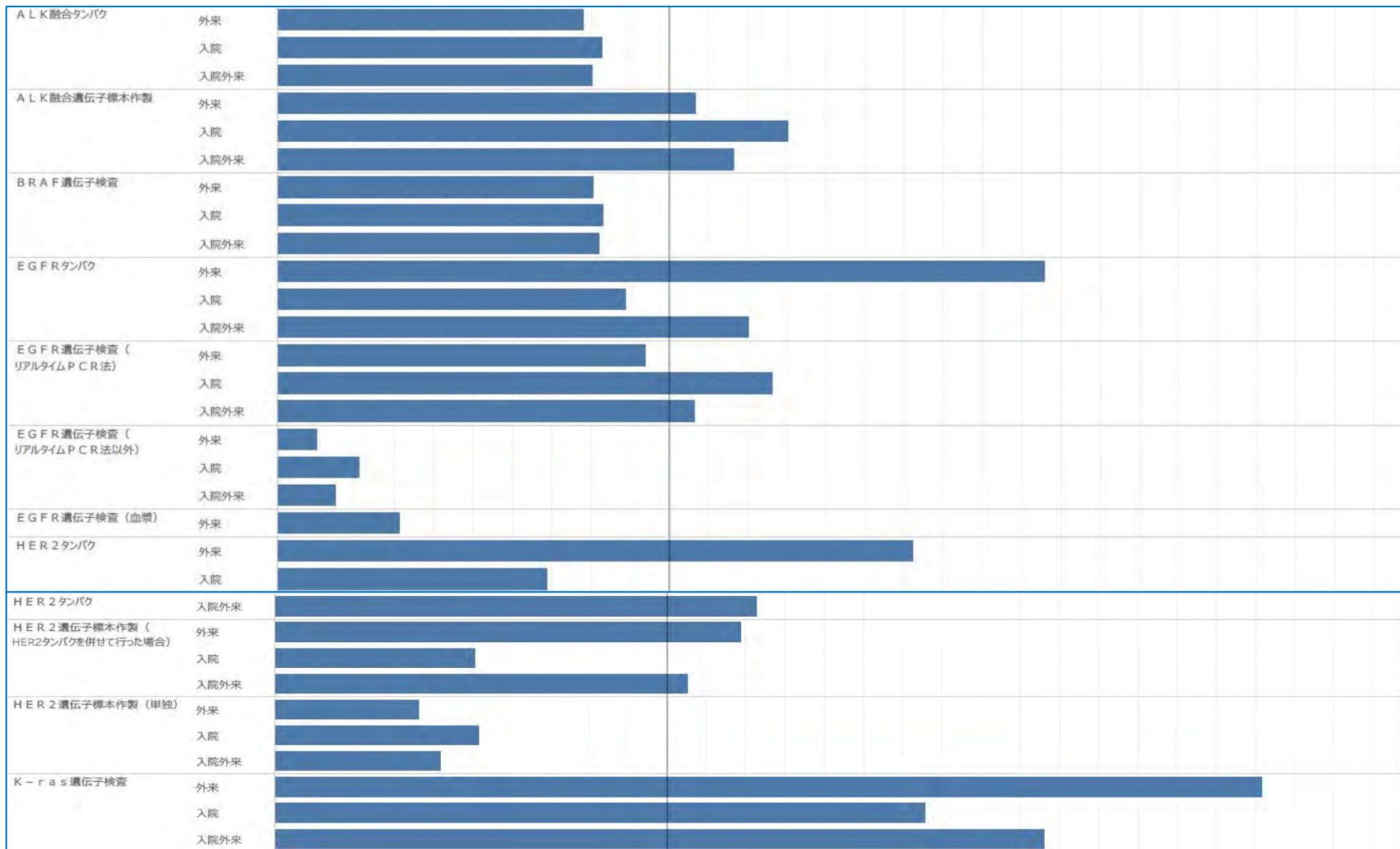
次医療圏 診療行為コード



https://public.tableau.com/app/profile/ken.hanioka/viz/NDB-SCR2019_16493289092960/sheet0

出典：内閣府 医療提供体制の地域差 SCRデータ一覧 2019年 二

次医療圏 診療行為コード

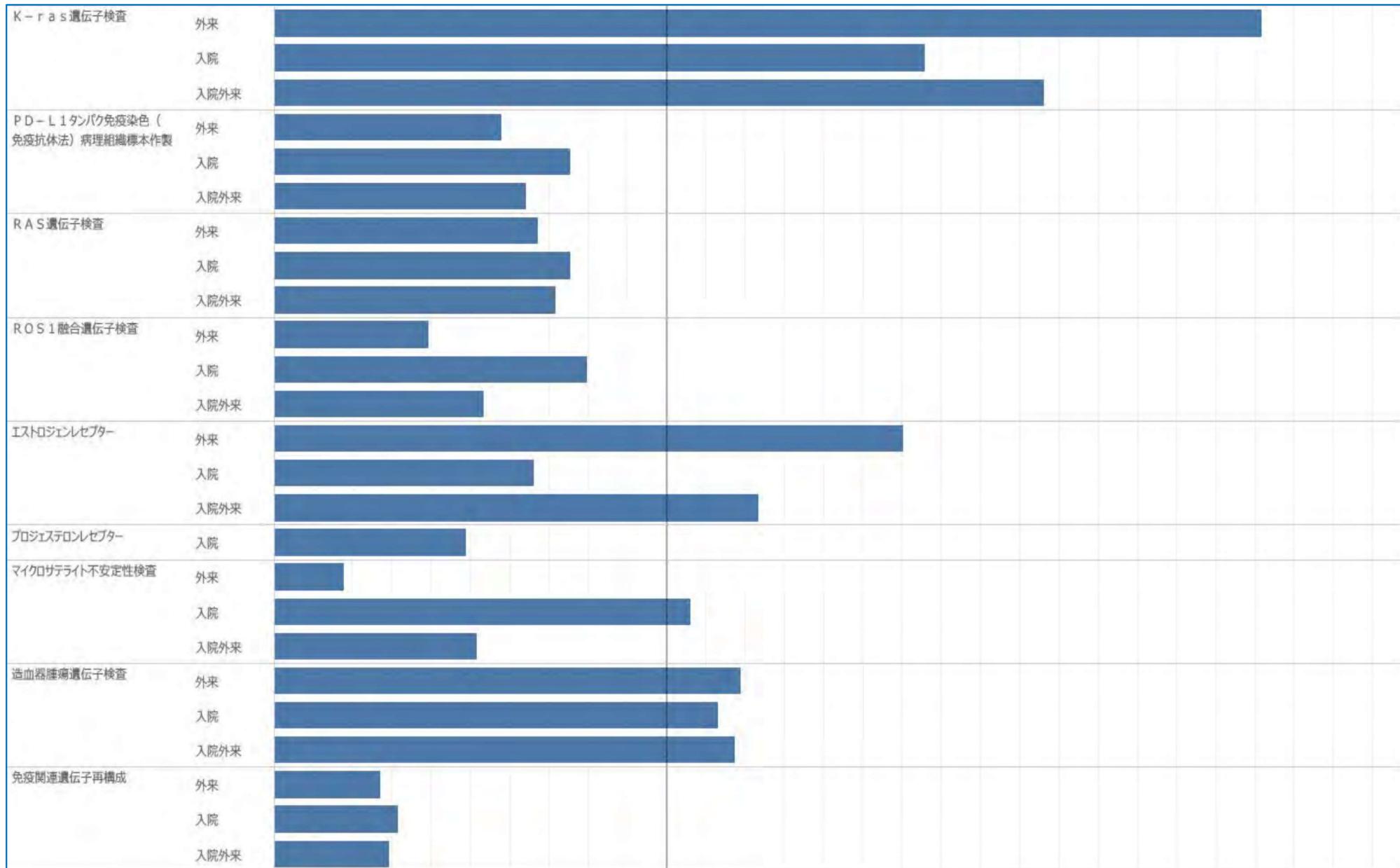


https://public.tableau.com/app/profile/ken.hanioka/viz/NDB-SCR2019_16493289092960/sheet0

出典：内閣府 医療提供体制の地域差 SCRデータ一覧 2019年 二

次医療圏 診療行為コード

がん遺伝子マーカー検査等 レセプト出現比 (NDB-SCR) (2019年) 南部医療圏②



https://public.tableau.com/app/profile/ken.hanioka/viz/NDB-SCR2019_16493289092960/sheet0

出典：内閣府 医療提供体制の地域差 SCRデータ一覧 2019年 二

次医療圏 診療行為コード

免疫チェックポイント阻害薬 使用状況

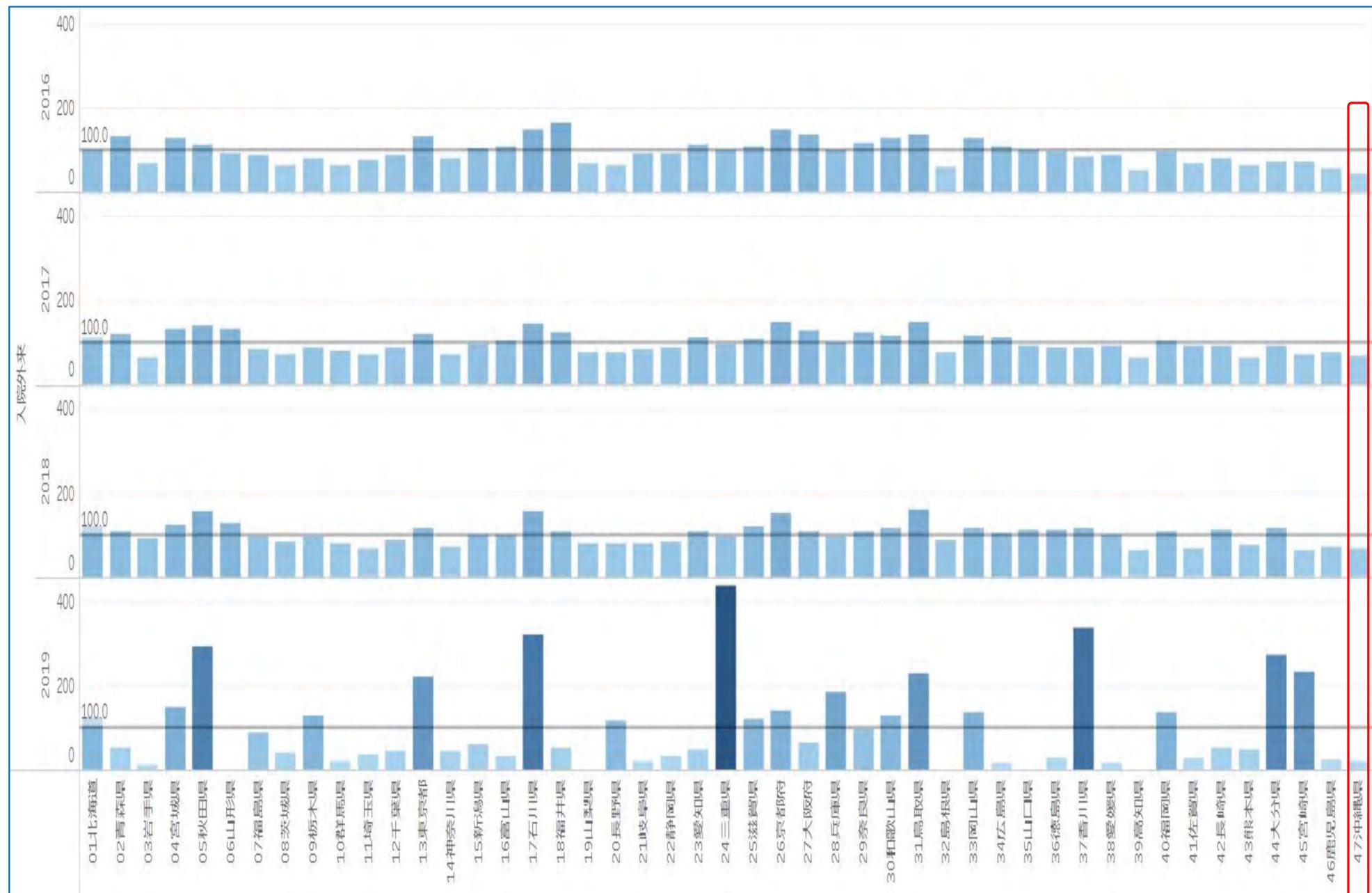
オーバーユース、アンダーユース
がないか確認

* 医療機関所在地ベース。

* 医療機関数が3未満となる場合は表示されない。

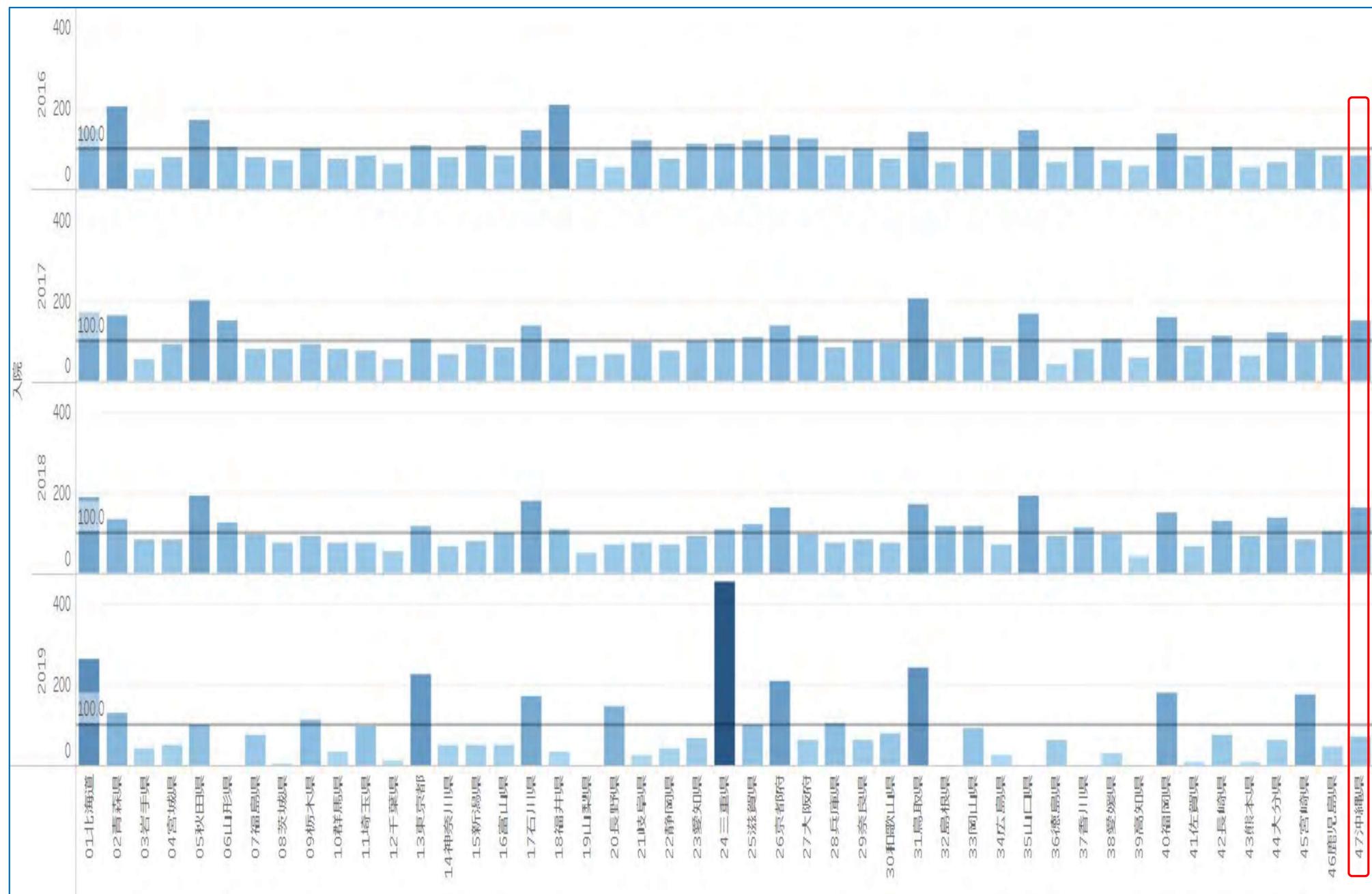
<2022年5月13日資料>

オプジーボ 標準化レセプト出現比 (NDB-SCR) 入院・外来 (2016-2019年)



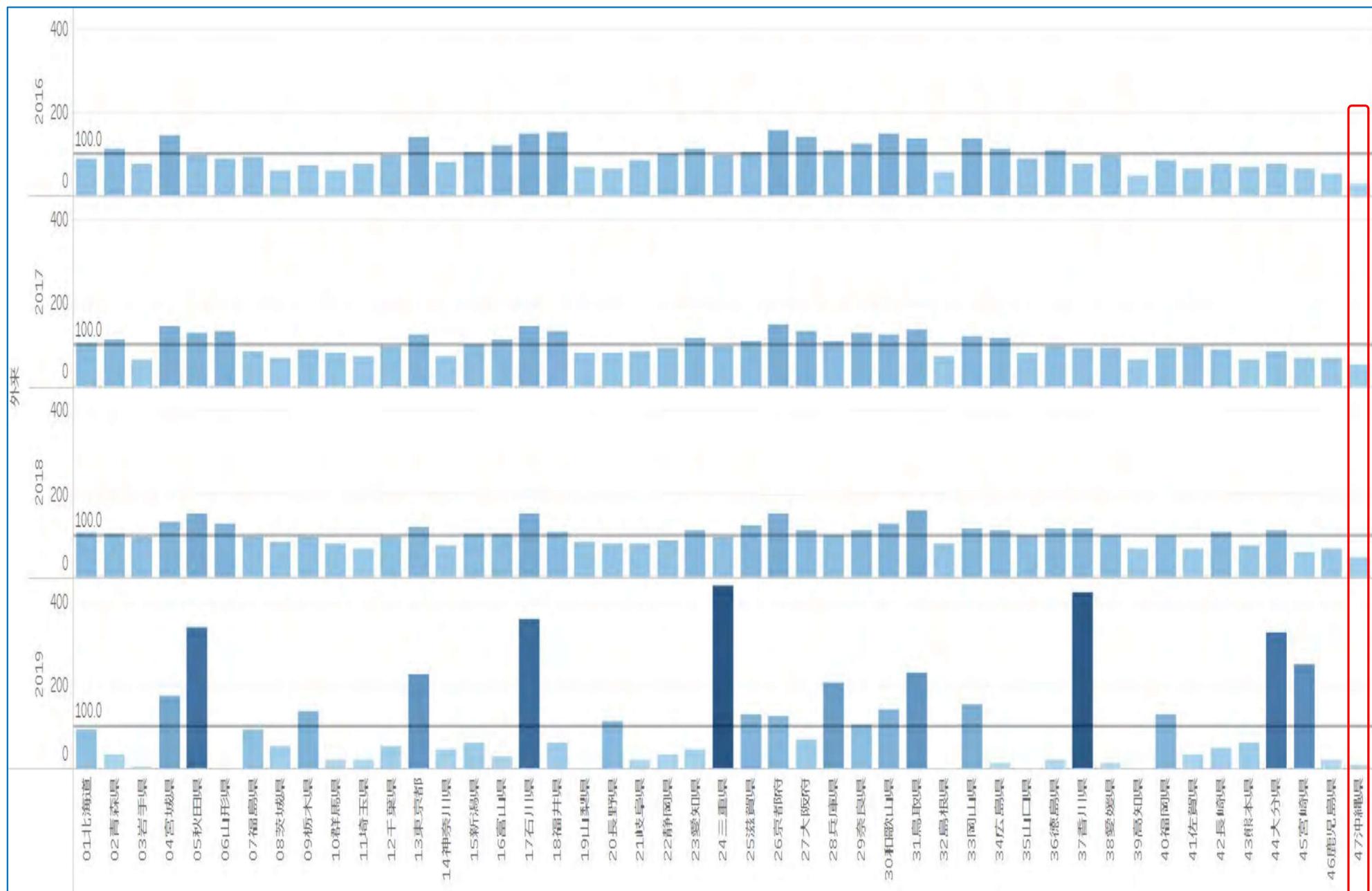
出典：内閣府 医療提供体制の地域差 SCRデータ一覧 2019年、
2018年、2017年、2016年 都道府県 薬剤薬効7行

オプジーボ 標準化レセプト出現比 (NDB-SCR) 入院 (2016-2019年)

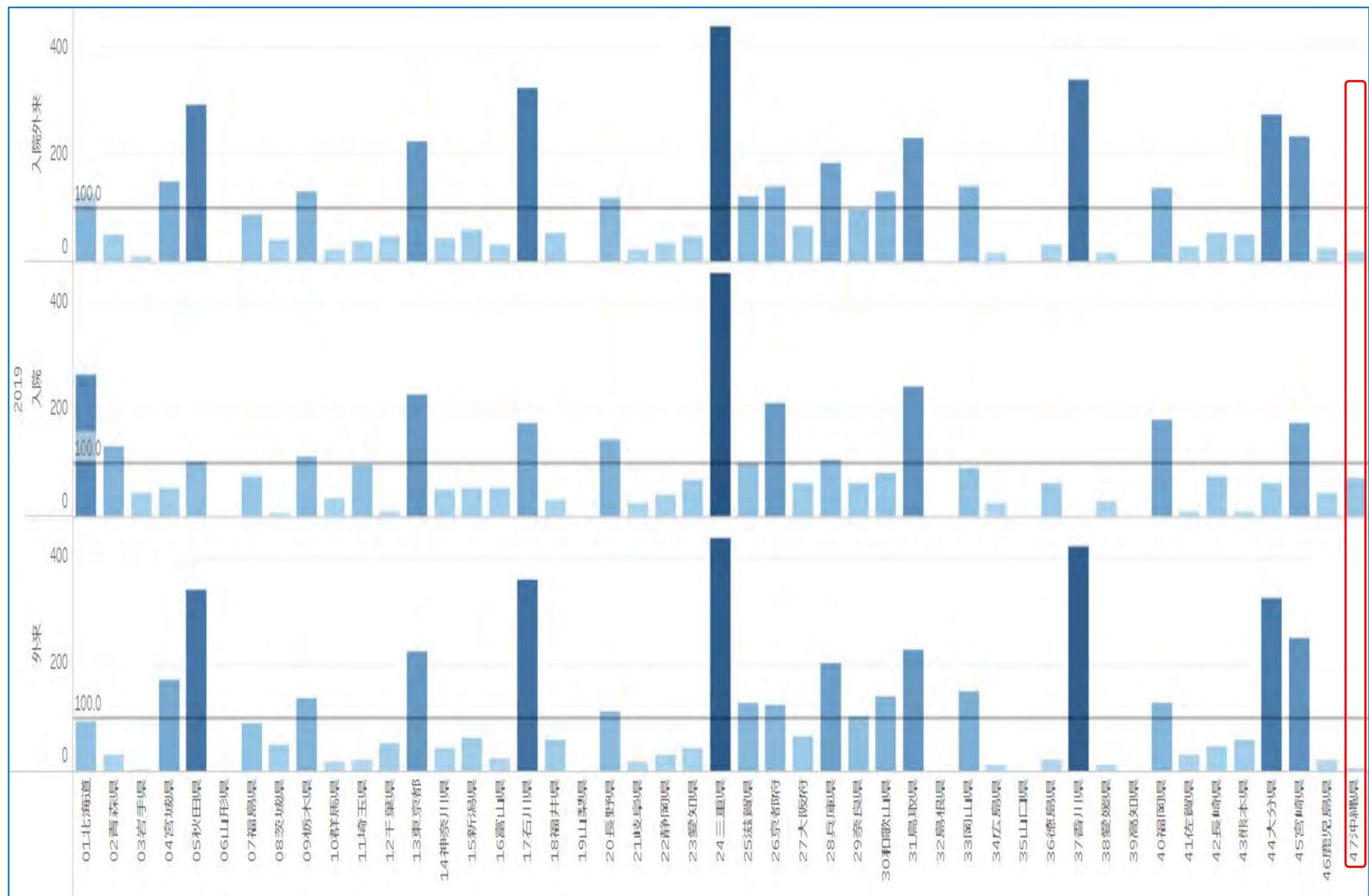


出典：内閣府 医療提供体制の地域差 SCRデータ一覧 2019年、
2018年、2017年、2016年 都道府県 薬剤薬効7桁

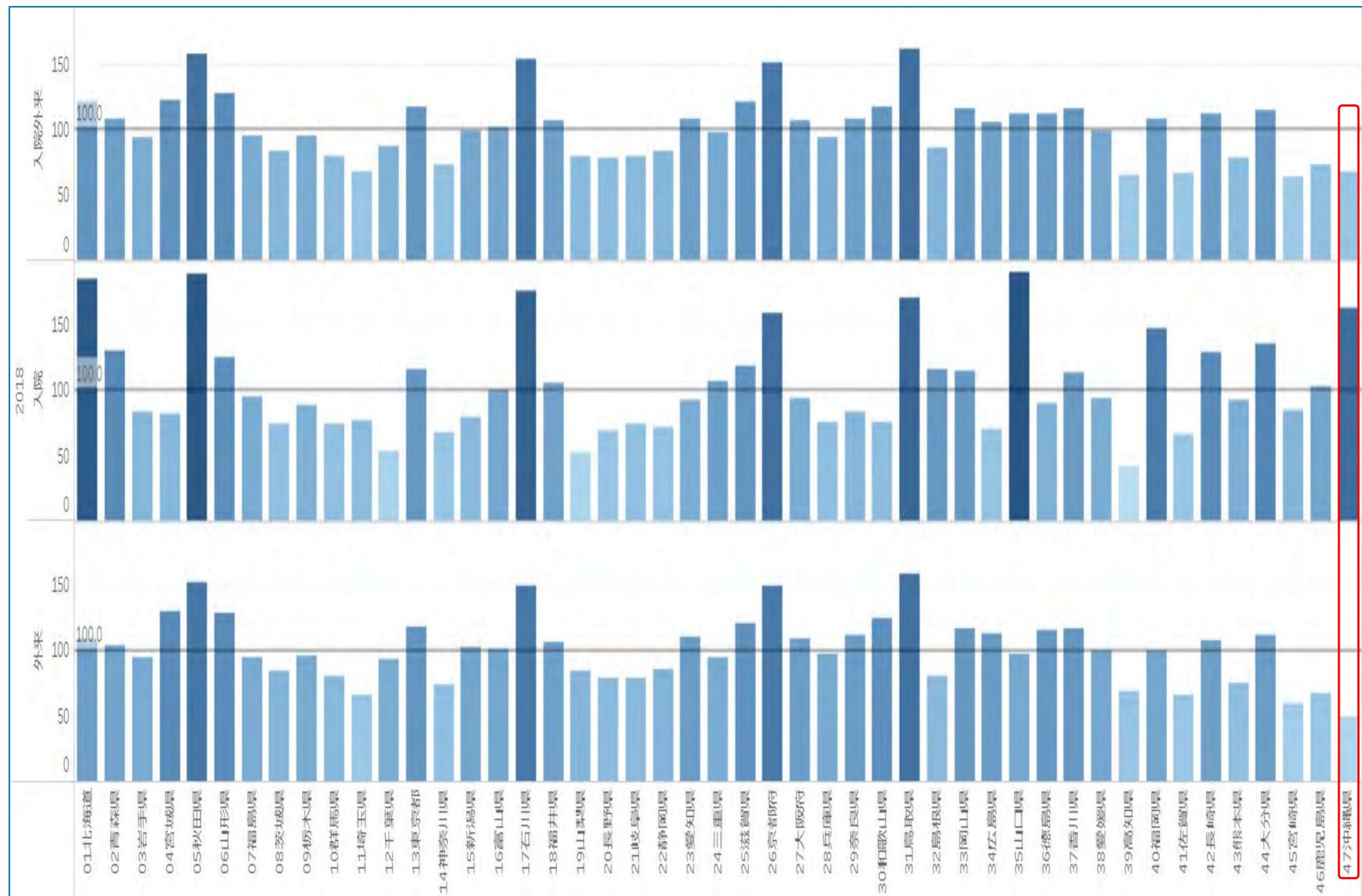
オプジーボ 標準化レセプト出現比 (NDB-SCR) 外来 (2016-2019年)



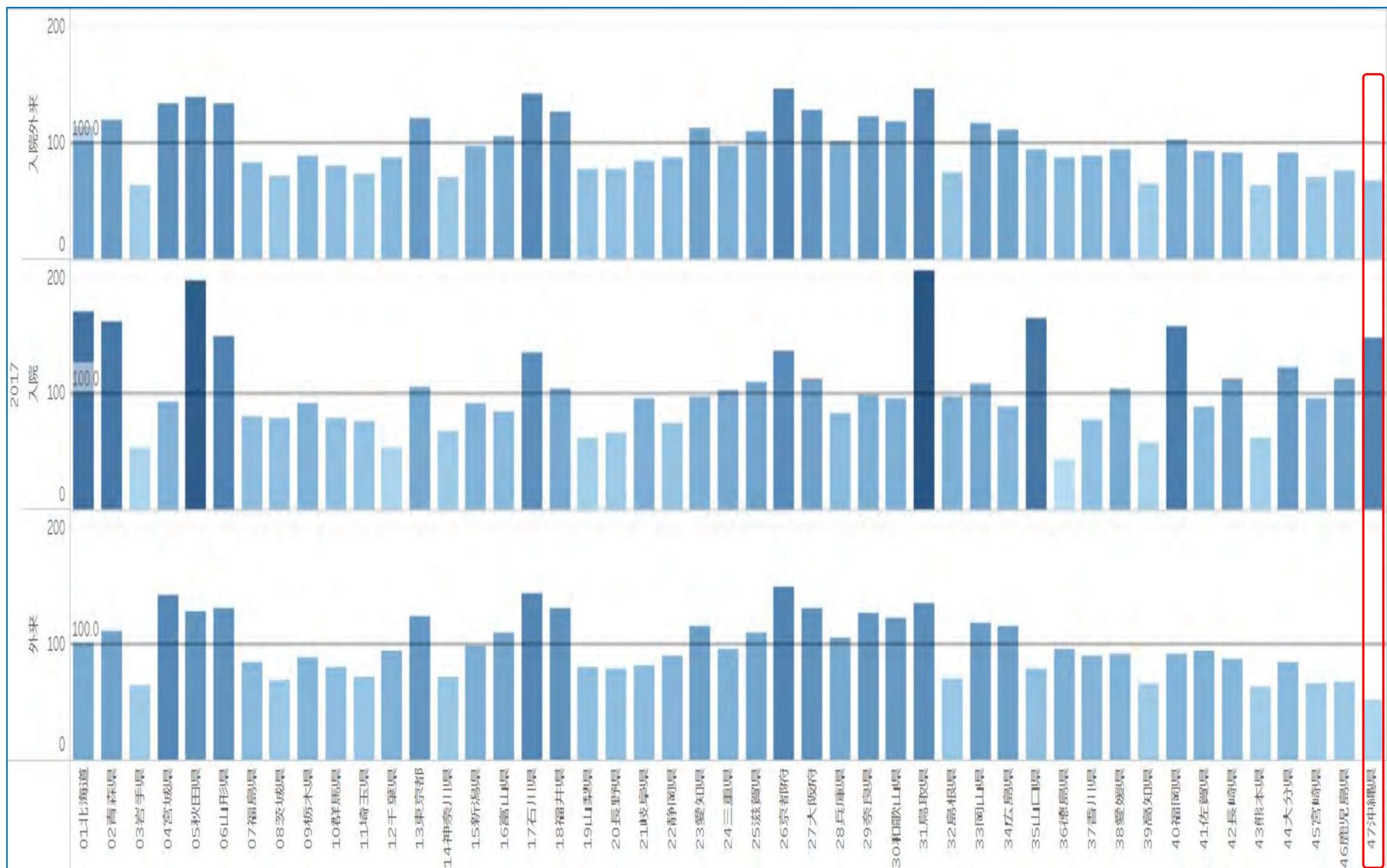
出典：内閣府 医療提供体制の地域差 SCRデータ一覧 2019年、
2018年、2017年、2016年 都道府県 薬剤薬効7桁



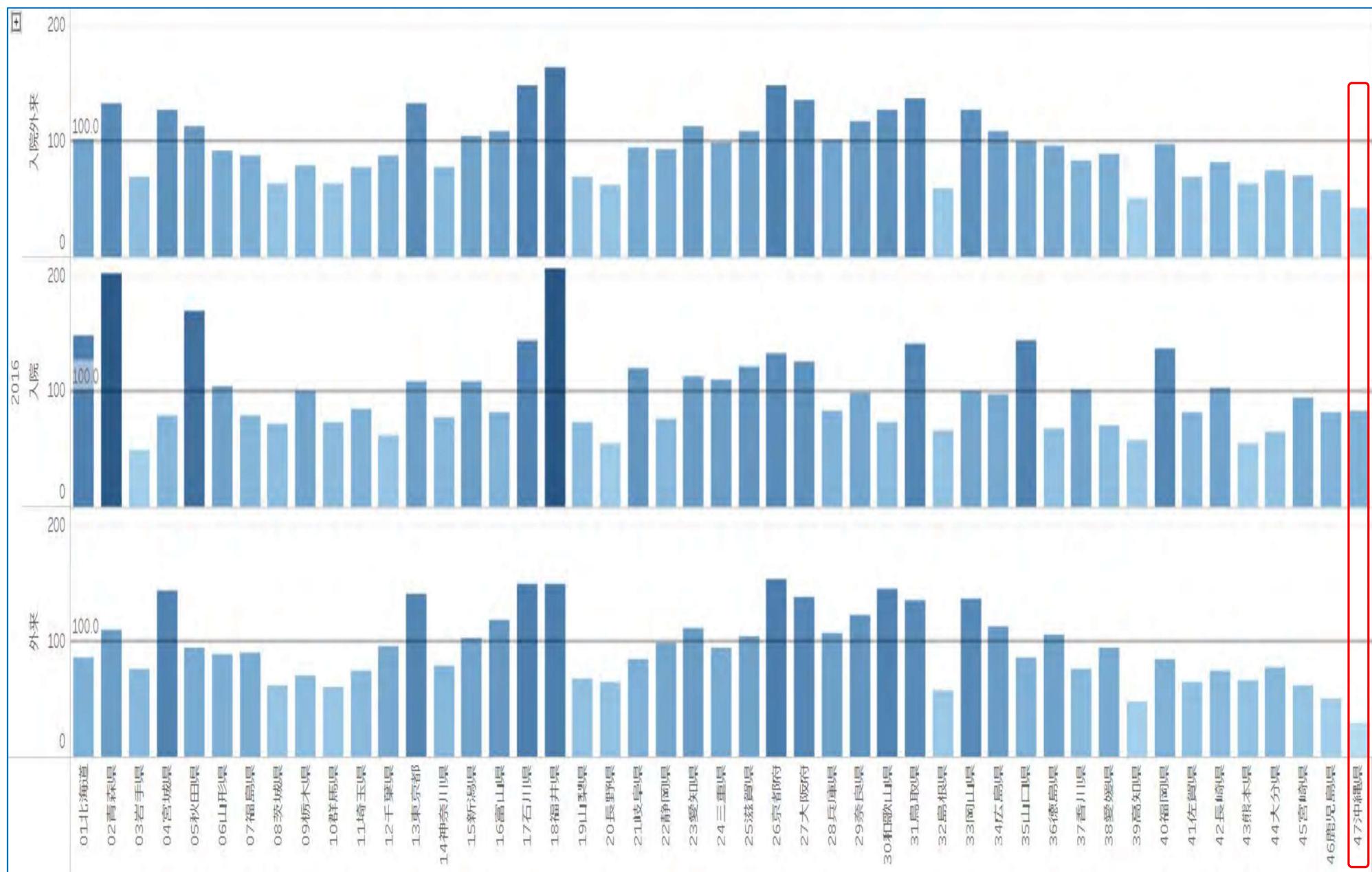
出典：内閣府 医療提供体制の地域差 SCRデータ一覧 2019年、
2018年、2017年、2016年 都道府県 薬剤薬効7桁



出典：内閣府 医療提供体制の地域差 SCRデータ一覧 2019年、
2018年、2017年、2016年 都道府県 薬剤薬効7桁



出典：内閣府 医療提供体制の地域差 SCRデータ一覧 2019年、
2018年、2017年、2016年 都道府県 薬剤薬効7桁



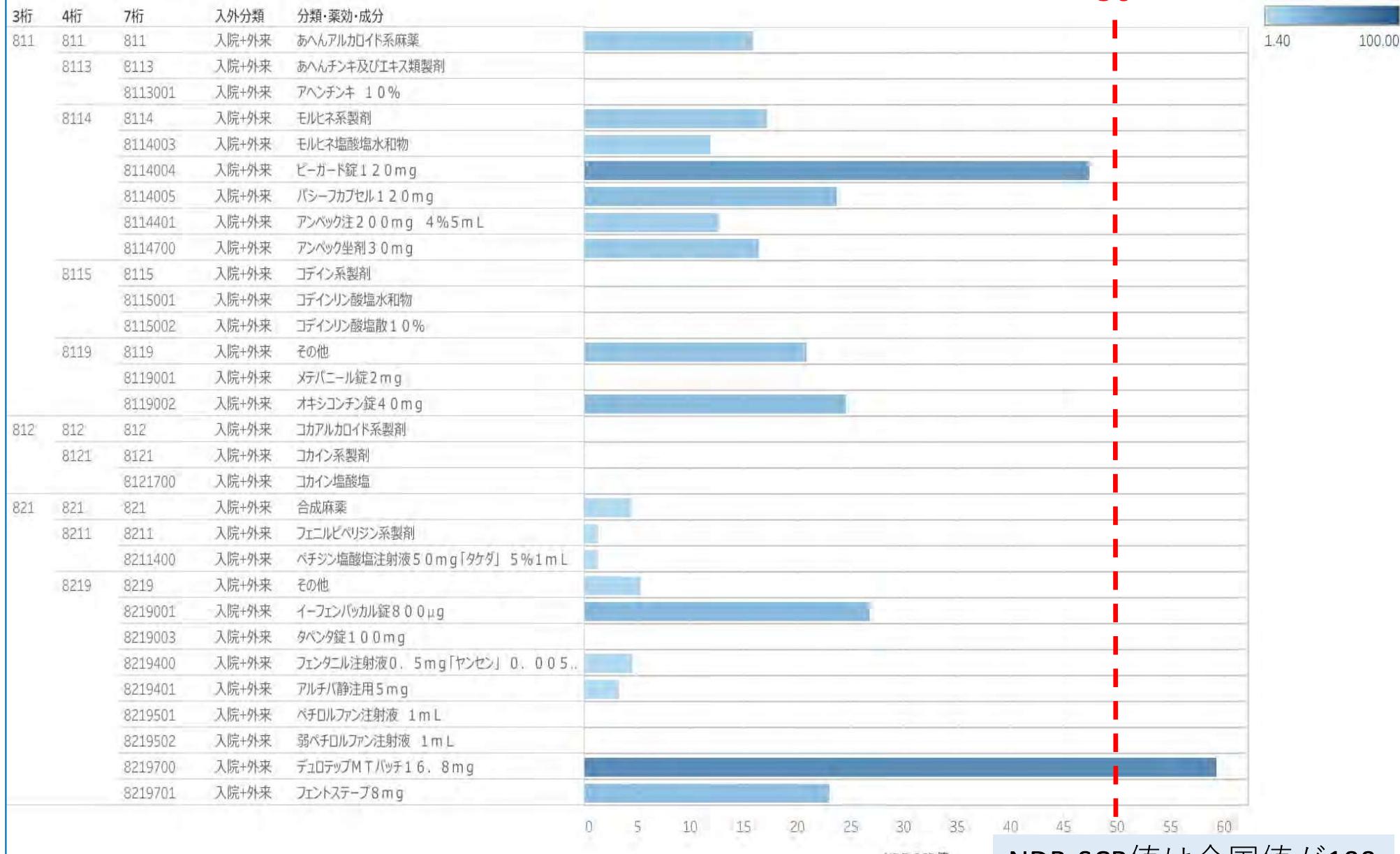
出典：内閣府 医療提供体制の地域差 SCRデータ一覧 2019年、
2018年、2017年、2016年 都道府県 薬剤薬効7桁

疼痛管理薬の使用量と構成 医療圏別

<2020年5月8日資料>

疼痛管理薬の地域別ポートフォリオ（沖縄県北部医療圏）

疼痛管理薬の地域別ポートフォリオ 沖縄県北部医療圏

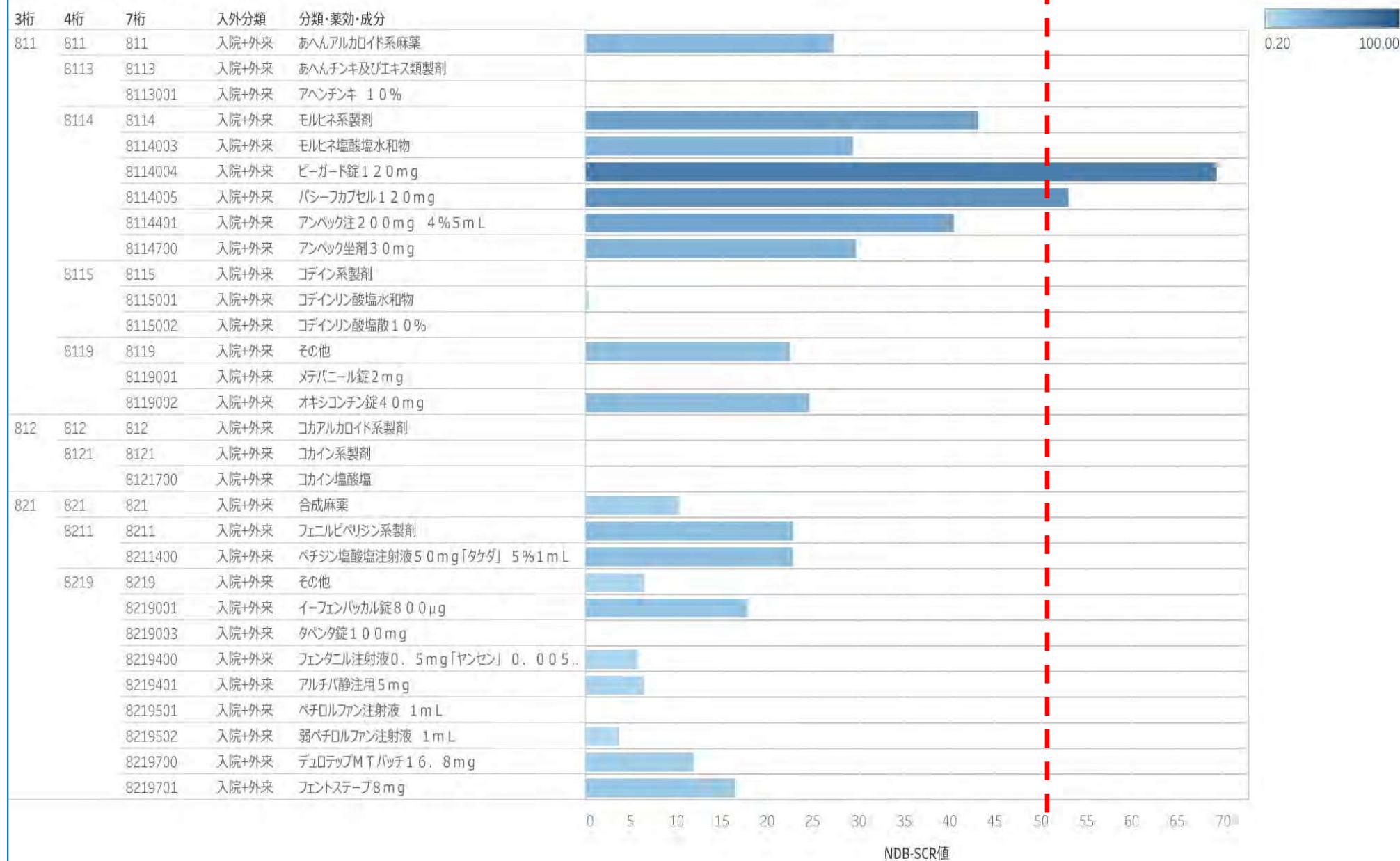


出典：内閣府 医療提供状況の地域差（薬効7桁表の医療圏版から作成）

216

https://public.tableau.com/profile/ken.hanioka#!/vizhome/200312_15840158374670/sheet0

疼痛管理薬の地域別ポートフォリオ 沖縄県中部医療圏

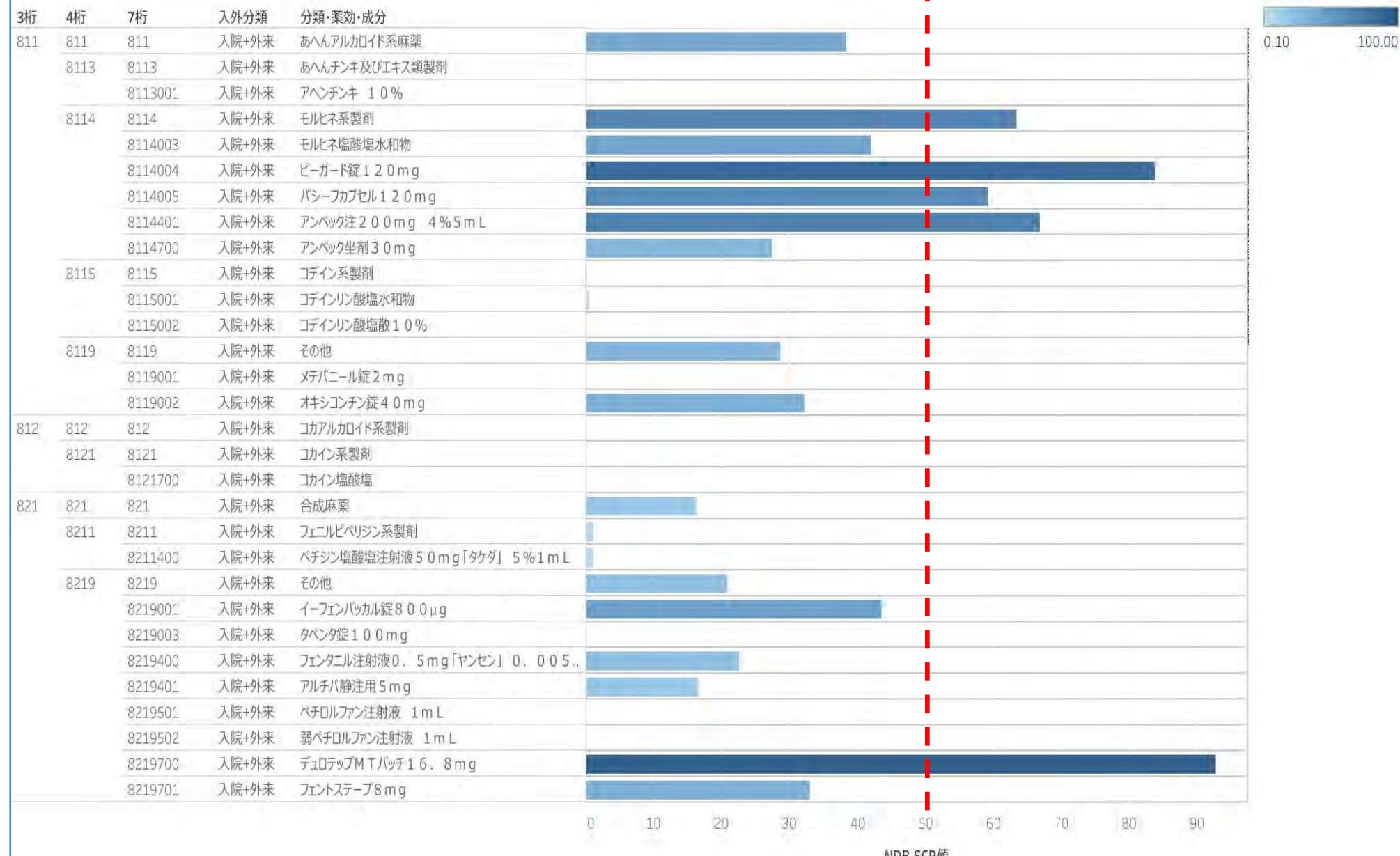


出典：内閣府 医療提供状況の地域差（薬効7桁表の医療圏版から作成）

https://public.tableau.com/profile/ken.hanioka#!/vizhome/200312_15840158374670/sheet0

疼痛管理薬の地域別ポートフォリオ（沖縄県南部医療圏）

疼痛管理薬の地域別ポートフォリオ 沖縄県南部医療圏



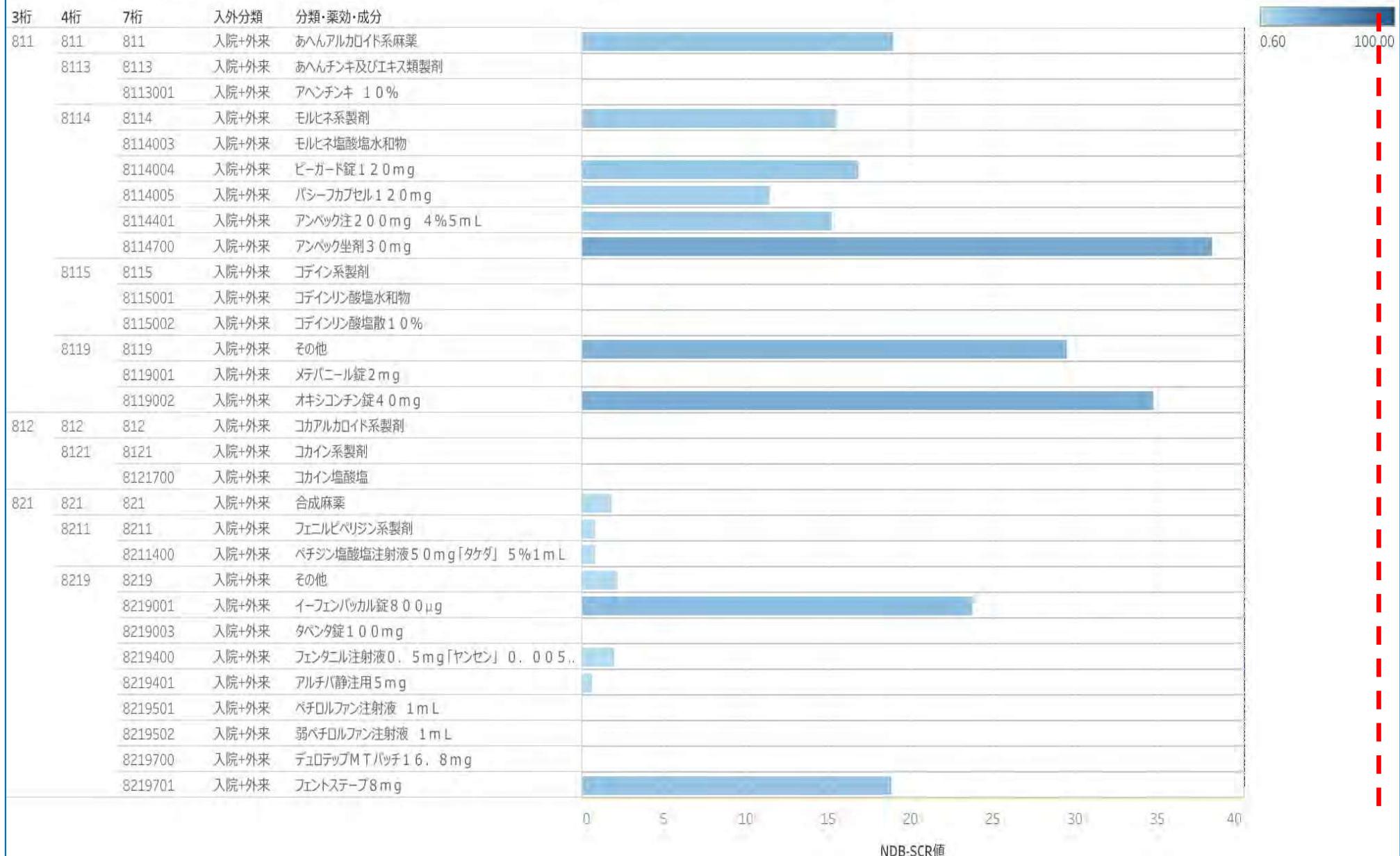
出典：内閣府 医療提供状況の地域差（薬効7桁表の医療圏版から作成）

https://public.tableau.com/profile/ken.hanioka#!/vizhome/200312_15840158374670/sheet0

疼痛管理薬の地域別ポートフォリオ（沖縄県宮古医療圏）

50

疼痛管理薬の地域別ポートフォリオ 沖縄県宮古医療圏



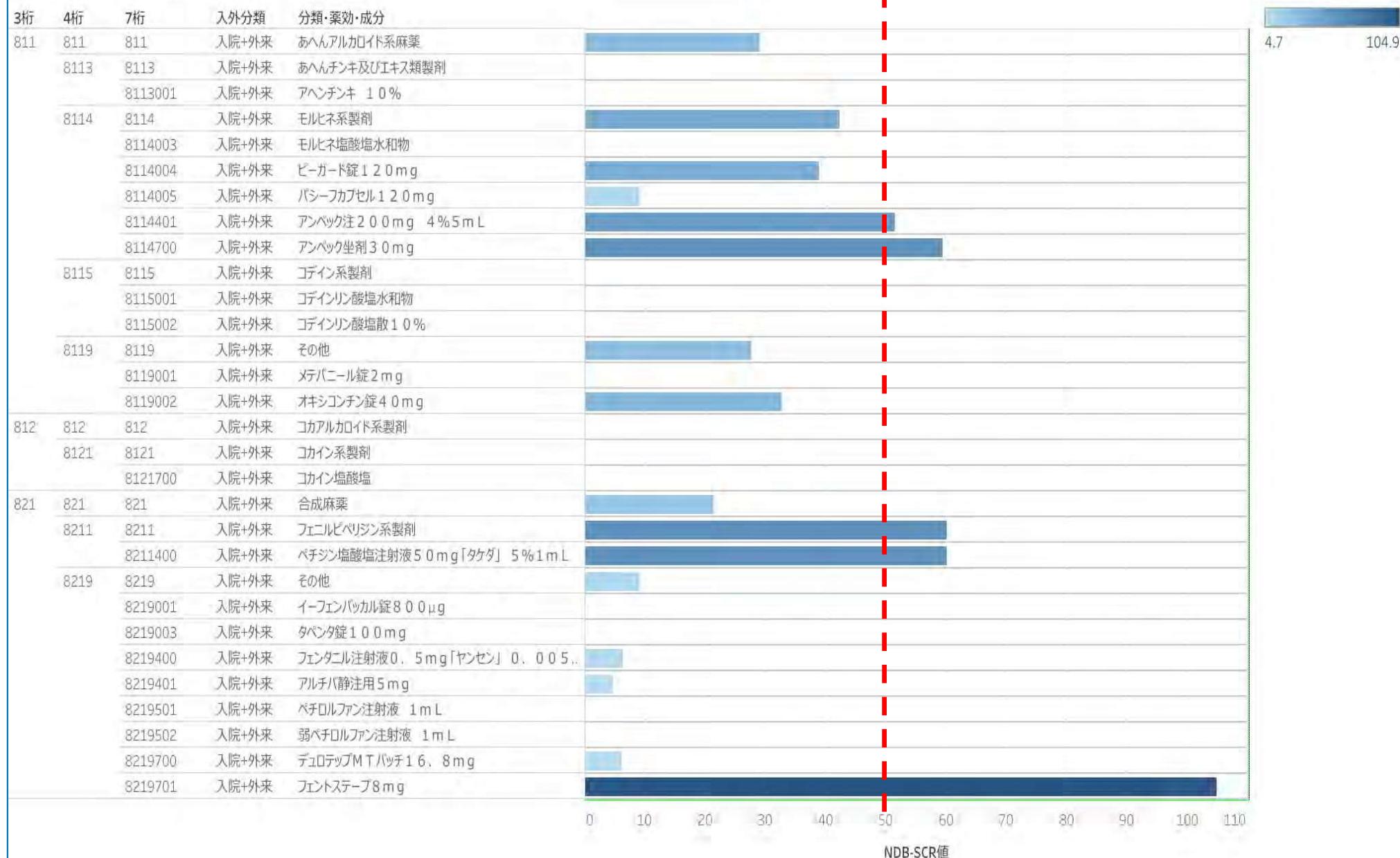
出典：内閣府 医療提供状況の地域差（薬効7桁表の医療圏版から作成）

219

https://public.tableau.com/profile/ken.hanioka#!/vizhome/200312_15840158374670/sheet0

疼痛管理薬の地域別ポートフォリオ（沖縄県八重山医療圏）

疼痛管理薬の地域別ポートフォリオ 沖縄県八重山医療圏



出典：内閣府 医療提供状況の地域差（薬効7桁表の医療圏版から作成）

https://public.tableau.com/profile/ken.hanioka#!/vizhome/200312_15840158374670/sheet0

がん対策地域別データ集: ロジック

部位別全体像

個別施策

個別施策	指標

初期アウトカム

予防対策	指標
	<柱6>

部位別全体像

中間アウトカム

罹 患	指標
罹患が減少している	罹患率 <柱2>

最終アウトカム

死 亡	指標
死亡が減っている	死亡率 <柱1>

個別施策	指標
	<柱7>

早期発見対策	指標
	<柱7>

早期発見	指標
早期発見が高まっている	早期発見率 <柱4>

生 存	指標
生存が高まっている	5年生存率 <柱3>

個別施策	指標
	<柱8>

医療の質対策	指標
	<柱8>

治 療	指標
治療の質が高まっている	進行度別5年生存率 <柱5>



部位別アウトカム データセット (肺、大腸、胃、乳)

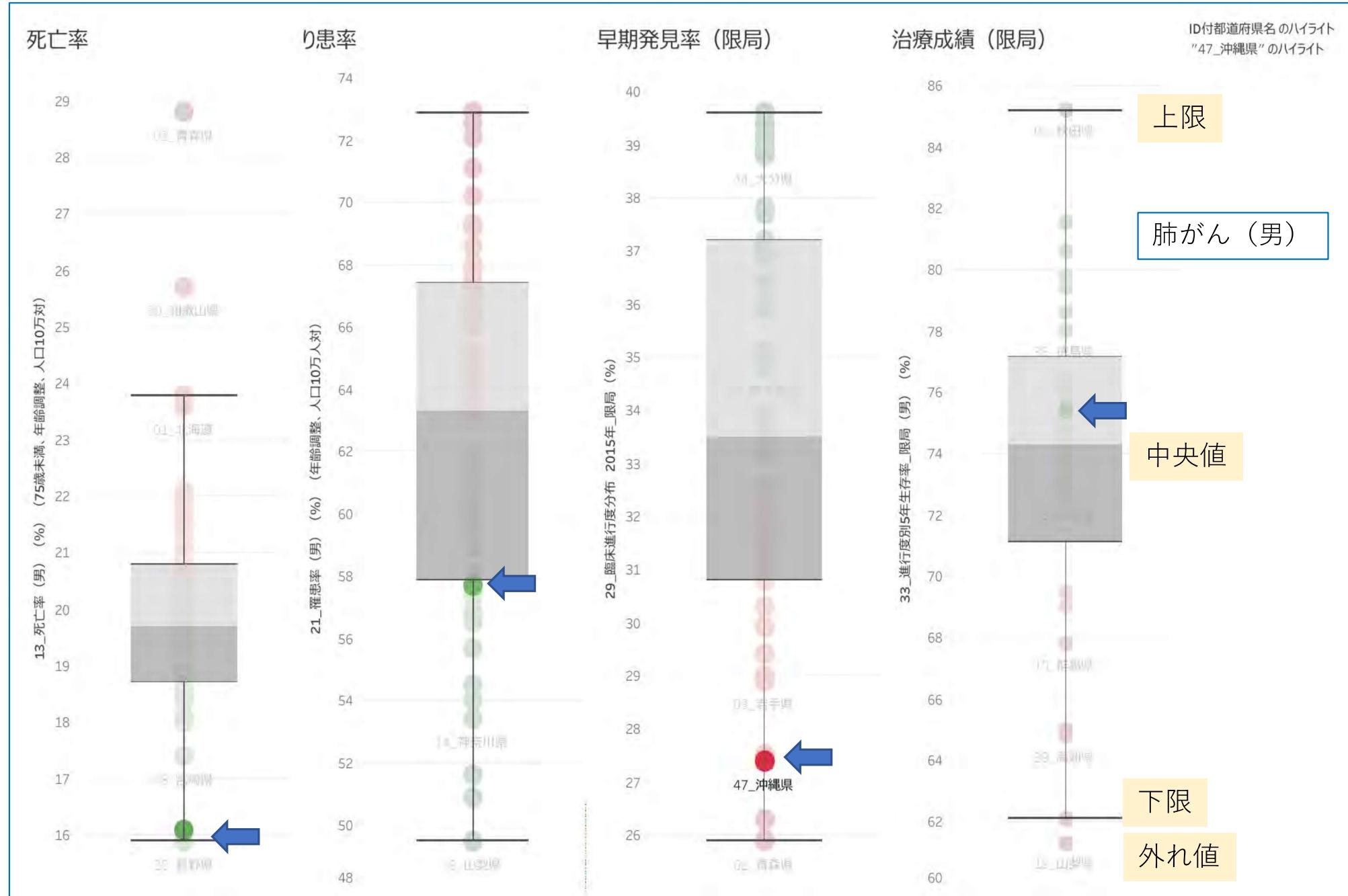
<2020年5月8日資料>

ここで使用したデータ項目の内容

	項目名	出典
1	死亡率	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2018年）
2	罹患率	全国がん罹患モニタリング集計2015年罹患数・率報告書
3	早期発見率	全国がん罹患モニタリング集計2015年罹患数・率報告書
4	治療成績	全国がん罹患モニタリング集計2006-2008生存率報告
出所	・データセット： https://cpsum.org/ccm/ccm_base ・可視化グラフ集： https://public.tableau.com/profile/cancer.policy.summit#!/	

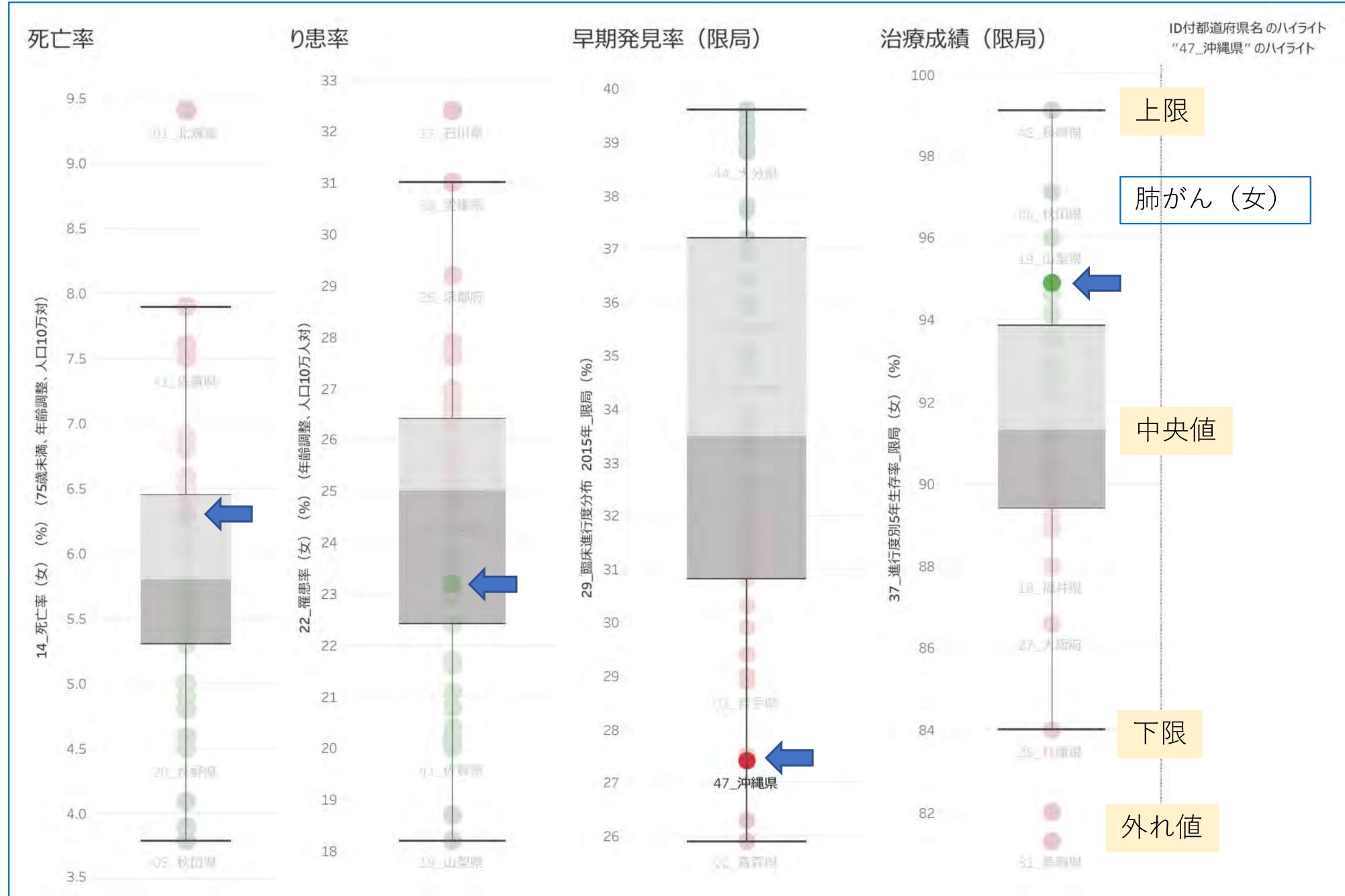
肺がん（男） 早期発見率に着目？

← は沖縄県



悪いと考えられる方向を赤に、良いと考えられる方向をミドリに、中央値を中立色として、グラデーションで色表示

出典：がん対策地域別データ集「見える化」グラフ集、肺がん（男）主要指標（都道府県別）Ver.4.1.0、全体概要把握

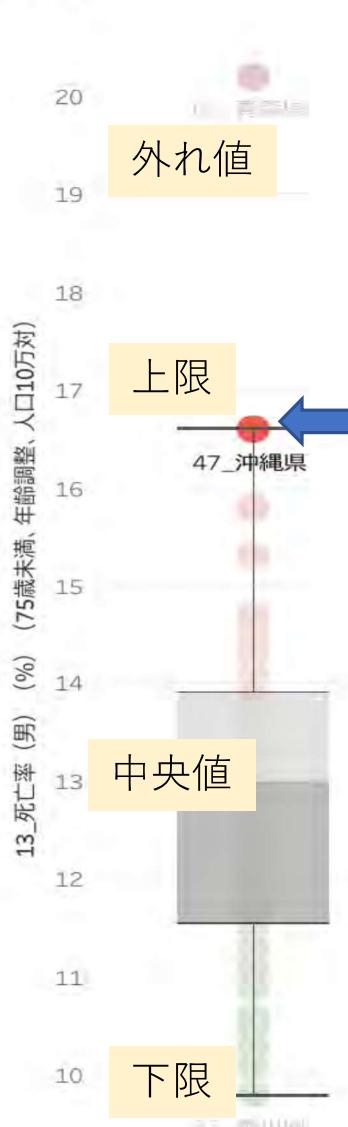


悪いと考えられる方向を赤に、良いと考えられる方向をミドリに、中央値を中立色として、グラデーションで色表示

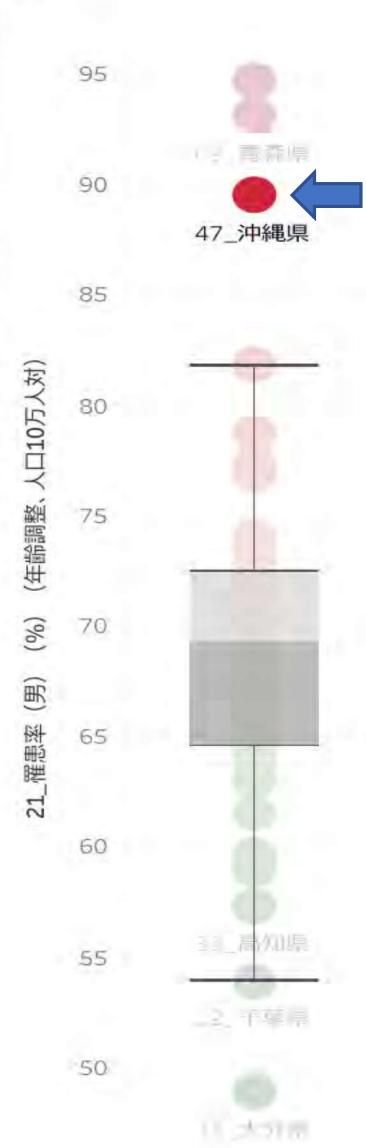
出典：がん対策地域別データ集「見える化」グラフ集、肺がん（女）主要指標（都道府県別）Ver.4.1.0、全体概要把握

全体概要把握

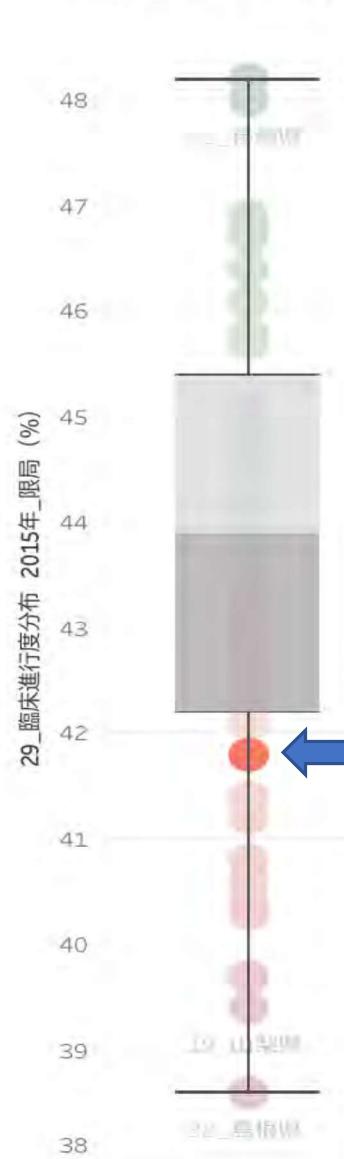
死亡率



罹患率



早期発見率（限局）



治療成績（領域）

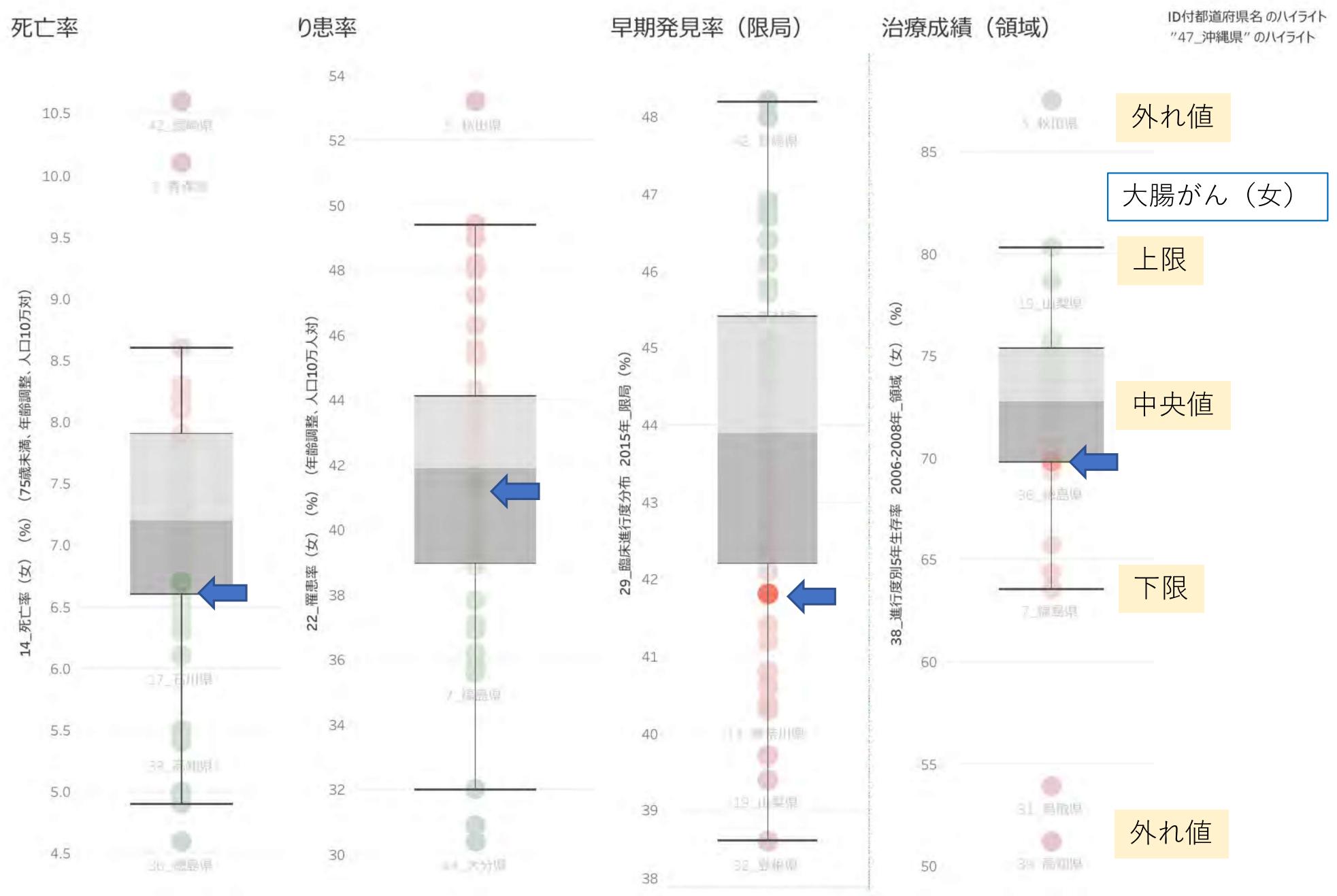


ID付都道府県名のハイライト
"47_沖縄県" のハイライト

大腸がん（男）

悪いと考えられる方向を赤に、良いと考えられる方向をミドリに、中央値を中立色として、グラデーションで色表示

出典：がん対策地域別データ集「見える化」グラフ集、大腸がん（男）主要指標（都道府県別）Ver.4.1.0、全体概要把握

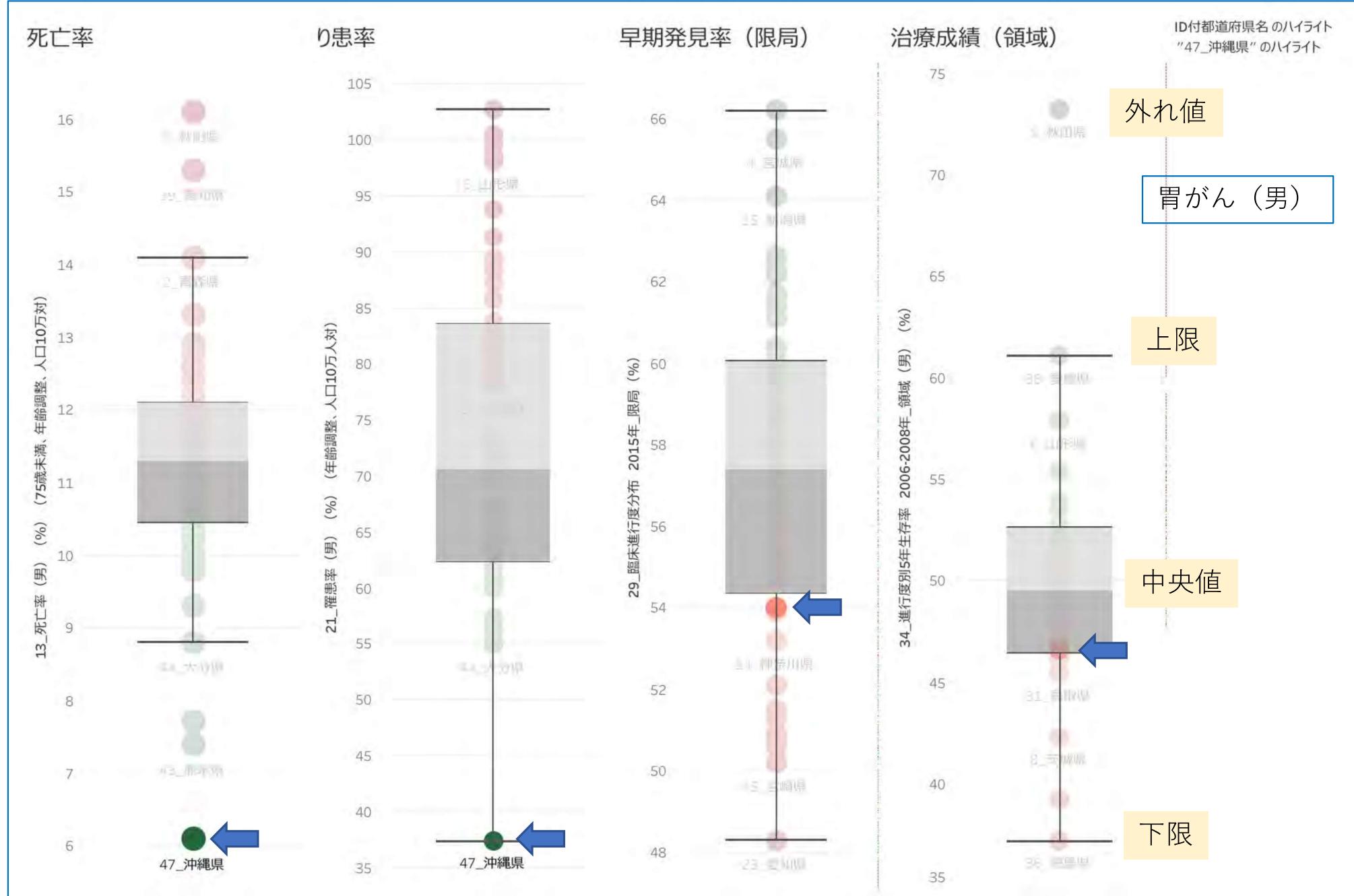


悪いと考えられる方向を赤に、良いと考えられる方向をミドリに、中央値を中立色として、グラデーションで色表示

出典：がん対策地域別データ集「見える化」グラフ集、大腸がん（女）主要指標（都道府県別）Ver.4.1.0、全体概要把握

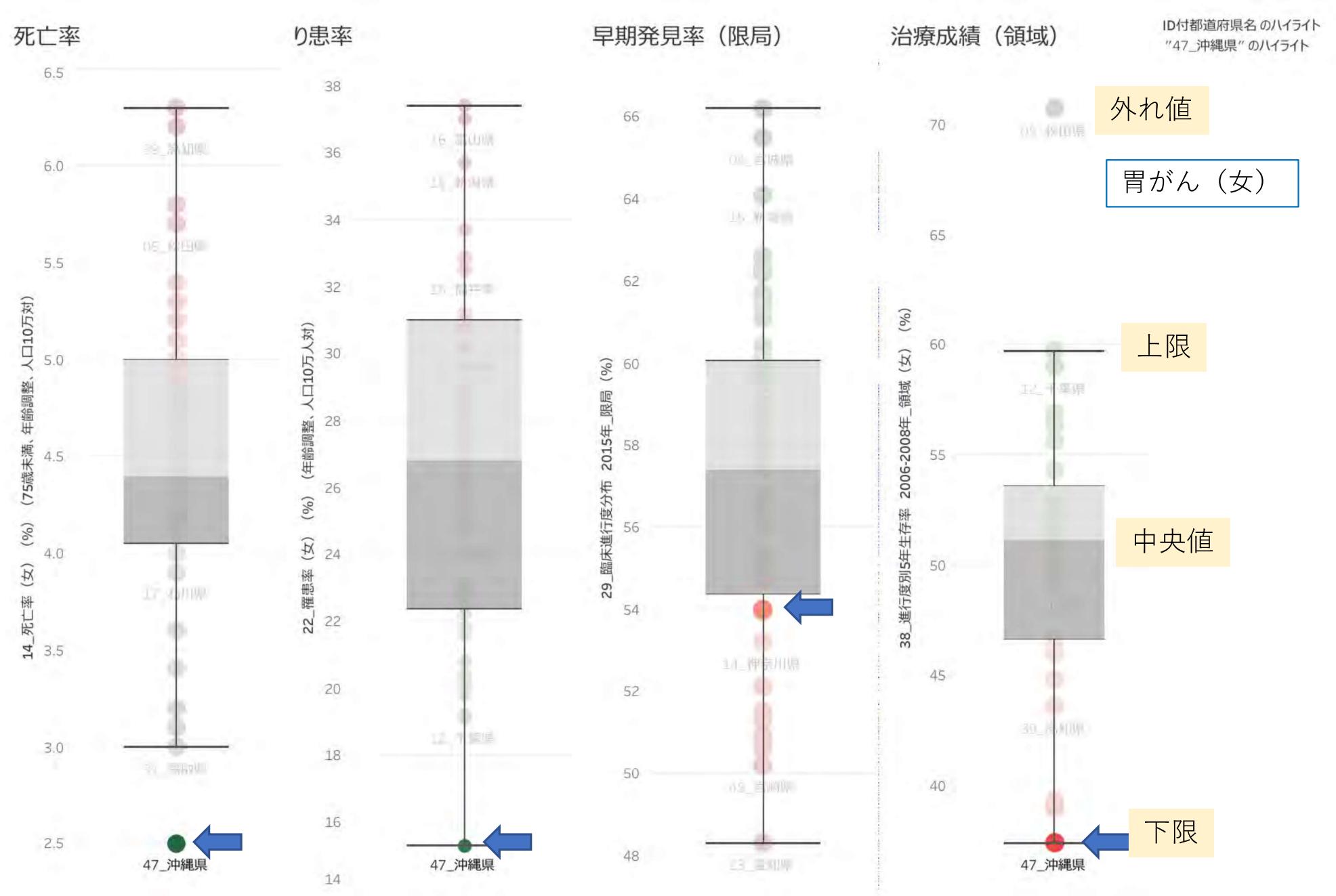
胃がん（男） 早期発見率、治療成績に着目？

 は沖縄県



悪いと考えられる方向を赤に、良いと考えられる方向をミドリに、中央値を中立色として、グラデーションで色表示

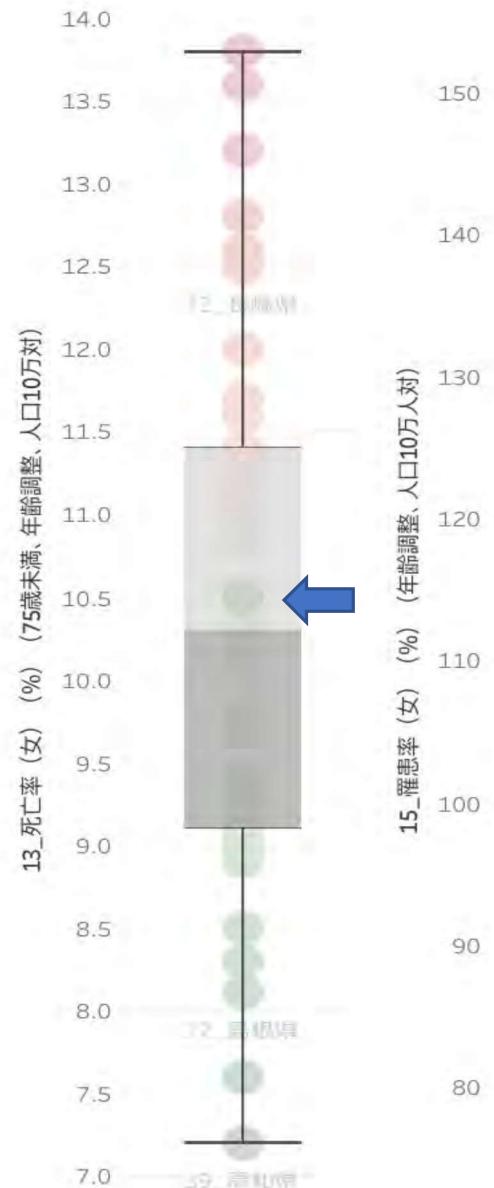
出典：がん対策地域別データ集 「見える化」グラフ集、胃がん（男）主要指標（都道府県別）Ver.4.1.0、全体概要把握



悪いと考えられる方向を赤に、良いと考えられる方向をミドリに、中央値を中立色として、グラデーションで色表示

出典：がん対策地域別データ集「見える化」グラフ集、胃がん（女）主要指標（都道府県別）Ver.4.1.0、全体概要把握

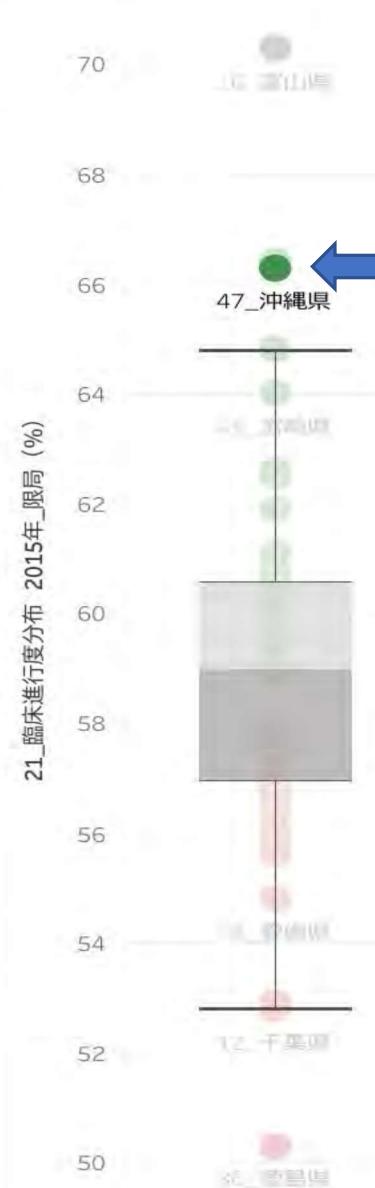
死亡率



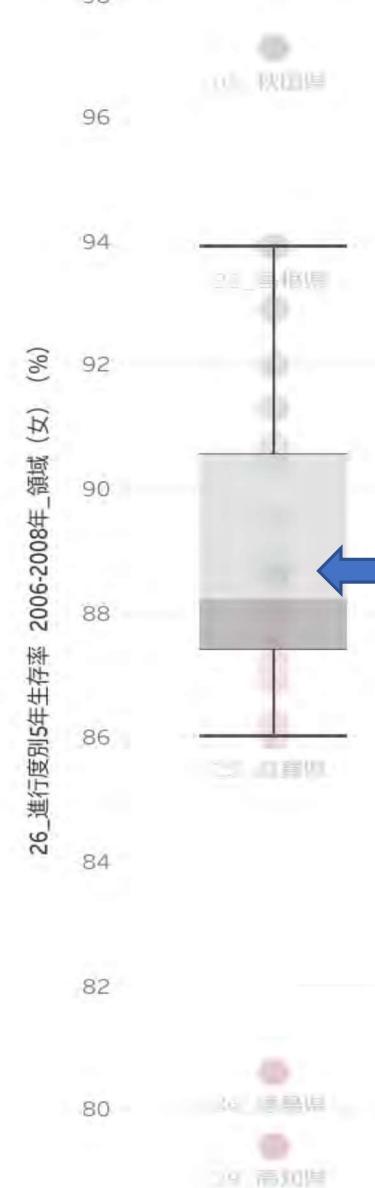
罹患率



早期発見率（限局）



治療成績（領域）

ID付都道府県名 のハイライト
"47_沖縄県" のハイライト

外れ値

上限

中央値

下限

外れ値

悪いと考えられる方向を赤に、良いと考えられる方向をミドリに、中央値を中立色として、グラデーションで色表示

出典：がん対策地域別データ集「見える化」グラフ集、乳がん（男）主要指標（都道府県別）Ver.4.1.0、全体概要把握

大腸がんデータ アップデート

<2020年8月7日資料>



データセットによって抽出された課題候補（検証・検討が必要）

スタート

個別施策

初期アウトカム

中間アウトカム

最終アウトカム

個別施策	指標

予防対策	指標
野菜摂取が少ない？	
肥満度が高い、ハイリスク飲酒が多い	

罹 患	指標
男の罹患率が高い（全国67.9、沖縄86.8）？	
県がん登録データで医療圏分析ができるか？	

死 亡	指標
男の死亡率が高い（全国13.2、沖縄16.2）。中部、南部、八重山でSMR高い？	

個別施策	指標
アセスメント/マネジメントに改善余地あり	

早期発見対策	指標
受診率がやや低い。 精検受診率が低い。 対象年齢順守が低い。 再勧奨率が低い…？	
低い市町村あり	

早期発見	指標
遠隔比率が高い（全国16.6、沖縄21.1）？	

生 存	指標
男の5年相対生存率（全国72.2、沖縄66.7）が低い？	

個別施策	指標
ビッグプレイヤーが全て参加するカバー率の高いデータ必要	

医療の質対策	指標
手術件数が少ない。 外科専門医が少ない？	
施設単位でもO、P、S指標に懸念があるところがある	

治 療	指標
男の領域の治療成績が低い（全国72.1、沖縄61.1）？	

詳細はバックデータを参照
(ページ数が赤文字に着目)

がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策

個別施策	指標

初期アウトカム

予防対策	指標
	<柱6>
	<柱6>

中間アウトカム

罹 患	指標
罹患が減少している	罹患率 <柱2>

最終アウトカム

死 亡	指標
死亡が減っている	死亡率 <柱1>

ア：地域の5年生存率
『全国がん罹患モニタリング集計
2009-2011年生存率報告』

個別施策	指標
	<柱7>
	<柱7>

早期発見対策	指標
	<柱7>
	<柱7>

早期発見	指標
早期発見が高まっている	早期発見率 <柱4>

ア：地域の5年生存率
『全国がん罹患モニタリング集計
2009-2011年生存率報告』

生 存	指標
生存が高まっている	5年生存率 <柱3>

個別施策	指標
	<柱8>
	<柱8>

医療の質対策	指標
	<柱8>
	<柱8>

治 療	指標
治療の質が高まっている	進行度別5年生存率 <柱5>

イ：地域の病期別の5年生存率
『全国がん罹患モニタリング集計
2009-2011年生存率報告』

ウ：拠点病院カバー率

『2017年 院内がん登録におけるがん登録割合』

エ：拠点病院カバー率

『沖縄県院内がん登録集計報告書2018年症例』

		全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県
		男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女
臨床進 行度	対象者 数	対象者 数	5年相対 生存率	5年相対 生存率	標準誤 差	標準誤 差	対象者 数	対象者 数	5年相対 生存率	5年相対 生存率	標準誤 差	標準誤 差	
大腸	限局	22,825	668	97.1	96.0	0.3	1.7	16,037	430	97.5	94.4	0.3	2.0
	領域	14,899	493	75.7	75.2	0.5	2.4	12,597	332	74.8	73.1	0.5	3.0
	遠隔	9,908	315	18.2	14.8	0.4	2.1	7,830	173	16.2	14.6	0.4	2.8
	不明	3,633	126	52.3	50.5	1.0	5.1	3,047	64	45.1	28.9	1.0	6.3
	合計	51,266	1,602	72.4	70.2	0.3	1.4	39,511	999	70.1	69.5	0.3	1.8
結腸	限局	13,840	425	98.3	94.8	0.4	2.3	11,147	312	98.1	95.4	0.4	2.4
	領域	8,679	313	76.9	75.3	0.6	3.1	8,892	256	75.1	74.7	0.6	3.5
	遠隔	6,127	199	17.3	14.5	0.5	2.7	5,802	128	14.9	13.9	0.5	3.2
	不明	2,116	62	51.1	44.7	1.3	7.2	2,050	46	42.5	30.3	1.3	7.5
	合計	30,763	999	72.8	70.2	0.3	1.8	27,891	742	69.4	70.9	0.3	2.1
直腸	限局	8,985	243	95.3	95.1	0.5	2.5	4,890	118	96.4	88.7	0.5	3.8
	領域	6,220	180	74.0	75.1	0.7	3.9	3,705	76	73.9	68.2	0.9	6.0
	遠隔	3,781	116	19.7	15.3	0.7	3.6	2,028	45	19.8	16.5	0.9	5.7
	不明	1,517	64	53.9	56.2	1.5	7.3	997	18	50.3	25.4	1.8	11.2
	合計	20,503	603	71.7	70.3	0.4	2.2	11,620	257	71.9	65.7	0.5	3.3

		全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県
		男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女
臨床進 行度	対象者 数	対象者 数	5年相対 生存率	5年相対 生存率	標準誤 差	標準誤 差	対象者 数	対象者 数	5年相対 生存率	5年相対 生存率	標準誤 差	標準誤 差	
大腸	限局	24,443	335	96.8	96.5	0.3	2.4	16,949	207	96.3	92.9	0.3	1.9
	領域	15,515	182	72.1	61.1	0.5	4.2	12,675	123	72.1	69.8	0.5	3.3
	遠隔	9,571	174	16.3	13.2	0.4	2.8	7,531	89	15.1	11.9	0.4	2.2
	不明	9,120	85	66.2	44.5	0.6	6.3	6,802	50	59.4	44.5	0.7	5.0
	合計	58,744	776	72.2	63.5	0.2	2.1	44,020	469	69.6	66.7	0.3	1.6
結腸	限局	15,005	218	98.2	96.1	0.4	3.1	11,742	153	96.5	90.6	0.4	2.4
	領域	8,905	112	74.5	57.8	0.6	5.5	8,775	97	73.0	71.2	0.6	4.0
	遠隔	5,878	104	15.5	10.8	0.5	3.2	5,462	67	14.6	11.6	0.5	2.6
	不明	5,424	42	69.1	43.7	0.8	9.4	4,678	32	58.6	39.6	0.8	6.9
	合計	35,272	476	73.8	63.3	0.3	2.7	30,703	349	69.3	66.0	0.3	2.0
直腸	限局	9,438	117	94.7	95.6	0.5	3.7	5,207	54	95.8	99.2	0.5	2.9
	領域	6,610	70	68.9	66.0	0.7	6.5	3,900	26	70.3	64.2	0.9	5.5
	遠隔	3,693	70	17.6	17.0	0.7	4.9	2,069	22	16.5	11.8	0.9	4.2
	不明	3,696	43	62.0	44.9	1.0	8.5	2,124	18	61.1	53.4	1.2	7.4
	合計	23,472	300	69.9	63.7	0.4	3.3	13,317	120	70.3	68.8	0.5	2.7

出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告

* 全国値は21県データから算出

* 沖縄県データは2007-2008年

大腸がん 5年生存率 2006-2008年→2009-2011年推移

		2007-2008	2009-2011	差	2007-2008	2009-2011	差
		沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県
		男	男	男	女	女	女
部位	臨床進行度	5年相対生存率	5年相対生存率	向上分	5年相対生存率	5年相対生存率	向上分
大腸	限局	96.5	96.0	-0.5	92.9	94.4	1.5
	領域	61.1	75.2	14.1	69.8	73.1	3.3
	遠隔	13.2	14.8	1.6	11.9	14.6	2.7
	不明	44.5	50.5	6.0	44.5	28.9	-15.6
	合計	63.5	70.2	6.7	66.7	69.5	2.8
結腸	限局	96.1	94.8	-1.3	90.6	95.4	4.8
	領域	57.8	75.3	17.5	71.2	74.7	3.5
	遠隔	10.8	14.5	3.7	11.6	13.9	2.3
	不明	43.7	44.7	1.0	39.6	30.3	-9.3
	合計	63.3	70.2	6.9	66.0	70.9	4.9
直腸	限局	95.6	95.1	-0.5	99.2	88.7	-10.5
	領域	66.0	75.1	9.1	64.2	68.2	4.0
	遠隔	17.0	15.3	-1.7	11.8	16.5	4.7
	不明	44.9	56.2	11.3	53.4	25.4	-28.0
	合計	63.7	70.3	6.6	68.8	65.7	-3.1

出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告、2009-2011年生存率報告

*全国値は21県データから算出 *沖縄県データは2007-2008年

大腸がん 5年生存率 2006-2008年→2009-2011年推移 全国値との対比

		2006-2008	2007-2008		2009-2011	2009-2011		2006-2008	2007-2008		2009-2011	2009-2011	
		全国	沖縄県	沖縄県									
		男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女
部位	臨床進行度	5年相対生存率	5年相対生存率	差分									
大腸	限局	96.8	96.5	0.3	97.1	96.0	1.1	96.3	92.9	3.4	97.5	94.4	3.1
	領域	72.1	61.1	11.0	75.7	75.2	0.5	72.1	69.8	2.3	74.8	73.1	1.7
	遠隔	16.3	13.2	3.1	18.2	14.8	3.4	15.1	11.9	3.2	16.2	14.6	1.6
	不明	66.2	44.5	21.7	52.3	50.5	1.8	59.4	44.5	14.9	45.1	28.9	16.2
	合計	72.2	63.5	8.7	72.4	70.2	2.2	69.6	66.7	2.9	70.1	69.5	0.6
結腸	限局	98.2	96.1	2.1	98.3	94.8	3.5	96.5	90.6	5.9	98.1	95.4	2.7
	領域	74.5	57.8	16.7	76.9	75.3	1.6	73.0	71.2	1.8	75.1	74.7	0.4
	遠隔	15.5	10.8	4.7	17.3	14.5	2.8	14.6	11.6	3.0	14.9	13.9	1.0
	不明	69.1	43.7	25.4	51.1	44.7	6.4	58.6	39.6	19.0	42.5	30.3	12.2
	合計	73.8	63.3	10.5	72.8	70.2	2.6	69.3	66.0	3.3	69.4	70.9	-1.5
直腸	限局	94.7	95.6	-0.9	95.3	95.1	0.2	95.8	99.2	-3.4	96.4	88.7	7.7
	領域	68.9	66.0	2.9	74.0	75.1	-1.1	70.3	64.2	6.1	73.9	68.2	5.7
	遠隔	17.6	17.0	0.6	19.7	15.3	4.4	16.5	11.8	4.7	19.8	16.5	3.3
	不明	62.0	44.9	17.1	53.9	56.2	-2.3	61.1	53.4	7.7	50.3	25.4	24.9
	合計	69.9	63.7	6.2	71.7	70.3	1.4	70.3	68.8	1.5	71.9	65.7	6.2

出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告、2009-2011年生存率報告

*全国値は21県データから算出 *沖縄県データは2007-2008年

		全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県
		男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女
臨床進 行度	対象者 数	対象者 数	5年相対 生存率	5年相対 生存率	標準誤 差	標準誤 差	対象者 数	対象者 数	5年相対 生存率	5年相対 生存率	標準誤 差	標準誤 差	
大腸	限局	22,825	668	97.1	96.0	0.3	1.7	16,037	430	97.5	94.4	0.3	2.0
	領域	14,899	493	75.7	75.2	0.5	2.4	12,597	332	74.8	73.1	0.5	3.0
	遠隔	9,908	315	18.2	14.8	0.4	2.1	7,830	173	16.2	14.6	0.4	2.8
	不明	3,633	126	52.3	50.5	1.0	5.1	3,047	64	45.1	28.9	1.0	6.3
	合計	51,266	1,602	72.4	70.2	0.3	1.4	39,511	999	70.1	69.5	0.3	1.8
結腸	限局	13,840	425	98.3	94.8	0.4	2.3	11,147	312	98.1	95.4	0.4	2.4
	領域	8,679	313	76.9	75.3	0.6	3.1	8,892	256	75.1	74.7	0.6	3.5
	遠隔	6,127	199	17.3	14.5	0.5	2.7	5,802	128	14.9	13.9	0.5	3.2
	不明	2,116	62	51.1	44.7	1.3	7.2	2,050	46	42.5	30.3	1.3	7.5
	合計	30,763	999	72.8	70.2	0.3	1.8	27,891	742	69.4	70.9	0.3	2.1
直腸	限局	8,985	243	95.3	95.1	0.5	2.5	4,890	118	96.4	88.7	0.5	3.8
	領域	6,220	180	74.0	75.1	0.7	3.9	3,705	76	73.9	68.2	0.9	6.0
	遠隔	3,781	116	19.7	15.3	0.7	3.6	2,028	45	19.8	16.5	0.9	5.7
	不明	1,517	64	53.9	56.2	1.5	7.3	997	18	50.3	25.4	1.8	11.2
	合計	20,503	603	71.7	70.3	0.4	2.2	11,620	257	71.9	65.7	0.5	3.3

		全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県
		男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女
臨床進 行度	対象者 数	対象者 数	5年相対 生存率	5年相対 生存率	標準誤 差	標準誤 差	対象者 数	対象者 数	5年相対 生存率	5年相対 生存率	標準誤 差	標準誤 差	
大腸	限局	24,443	335	96.8	96.5	0.3	2.4	16,949	207	96.3	92.9	0.3	1.9
	領域	15,515	182	72.1	61.1	0.5	4.2	12,675	123	72.1	69.8	0.5	3.3
	遠隔	9,571	174	16.3	13.2	0.4	2.8	7,531	89	15.1	11.9	0.4	2.2
	不明	9,120	85	66.2	44.5	0.6	6.3	6,802	50	59.4	44.5	0.7	5.0
	合計	58,744	776	72.2	63.5	0.2	2.1	44,020	469	69.6	66.7	0.3	1.6
結腸	限局	15,005	218	98.2	96.1	0.4	3.1	11,742	153	96.5	90.6	0.4	2.4
	領域	8,905	112	74.5	57.8	0.6	5.5	8,775	97	73.0	71.2	0.6	4.0
	遠隔	5,878	104	15.5	10.8	0.5	3.2	5,462	67	14.6	11.6	0.5	2.6
	不明	5,424	42	69.1	43.7	0.8	9.4	4,678	32	58.6	39.6	0.8	6.9
	合計	35,272	476	73.8	63.3	0.3	2.7	30,703	349	69.3	66.0	0.3	2.0
直腸	限局	9,438	117	94.7	95.6	0.5	3.7	5,207	54	95.8	99.2	0.5	2.9
	領域	6,610	70	68.9	66.0	0.7	6.5	3,900	26	70.3	64.2	0.9	5.5
	遠隔	3,693	70	17.6	17.0	0.7	4.9	2,069	22	16.5	11.8	0.9	4.2
	不明	3,696	43	62.0	44.9	1.0	8.5	2,124	18	61.1	53.4	1.2	7.4
	合計	23,472	300	69.9	63.7	0.4	3.3	13,317	120	70.3	68.8	0.5	2.7

出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告

* 全国値は21県データから算出 * 沖縄県データは2007-2008年

大腸がん 5年生存率 2006-2008年→2009-2011年推移

		2007-2008	2009-2011	差	2007-2008	2009-2011	差
		沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県
		男	男	男	女	女	女
部位	臨床進行度	5年相対生存率	5年相対生存率	向上分	5年相対生存率	5年相対生存率	向上分
大腸	限局	96.5	96.0	-0.5	92.9	94.4	1.5
	領域	61.1	75.2	14.1	69.8	73.1	3.3
	遠隔	13.2	14.8	1.6	11.9	14.6	2.7
	不明	44.5	50.5	6.0	44.5	28.9	-15.6
	合計	63.5	70.2	6.7	66.7	69.5	2.8
結腸	限局	96.1	94.8	-1.3	90.6	95.4	4.8
	領域	57.8	75.3	17.5	71.2	74.7	3.5
	遠隔	10.8	14.5	3.7	11.6	13.9	2.3
	不明	43.7	44.7	1.0	39.6	30.3	-9.3
	合計	63.3	70.2	6.9	66.0	70.9	4.9
直腸	限局	95.6	95.1	-0.5	99.2	88.7	-10.5
	領域	66.0	75.1	9.1	64.2	68.2	4.0
	遠隔	17.0	15.3	-1.7	11.8	16.5	4.7
	不明	44.9	56.2	11.3	53.4	25.4	-28.0
	合計	63.7	70.3	6.6	68.8	65.7	-3.1

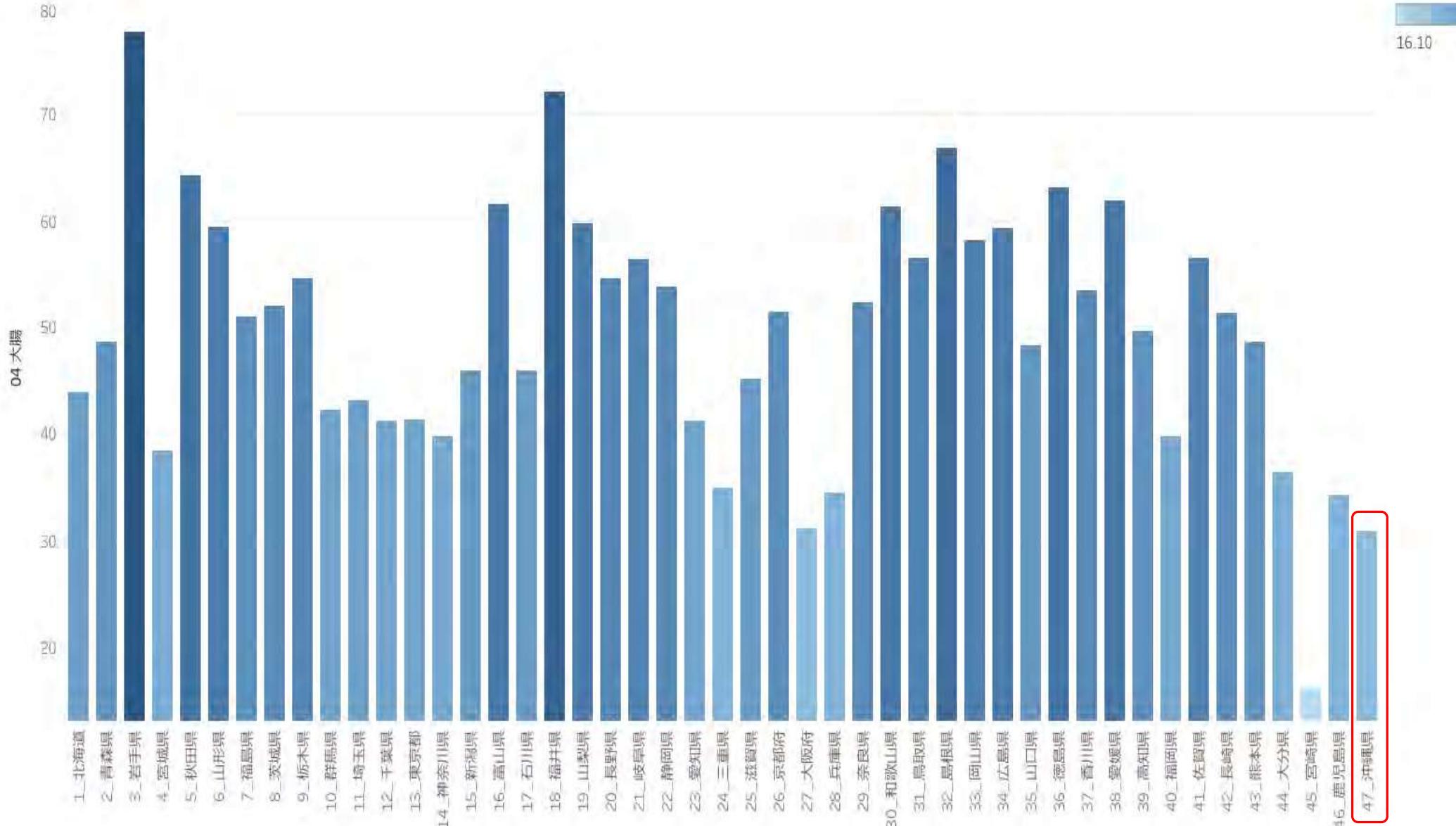
出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告、2009-2011年生存率報告
 *全国値は21県データから算出 *沖縄県データは2007-2008年

大腸がん 5年生存率 2006-2008年→2009-2011年推移 全国値との対比

		2006-2008	2007-2008		2009-2011	2009-2011		2006-2008	2007-2008		2009-2011	2009-2011	
		全国	沖縄県	沖縄県									
		男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女
部位	臨床進行度	5年相対生存率	5年相対生存率	差分									
大腸	限局	96.8	96.5	0.3	97.1	96.0	1.1	96.3	92.9	3.4	97.5	94.4	3.1
	領域	72.1	61.1	11.0	75.7	75.2	0.5	72.1	69.8	2.3	74.8	73.1	1.7
	遠隔	16.3	13.2	3.1	18.2	14.8	3.4	15.1	11.9	3.2	16.2	14.6	1.6
	不明	66.2	44.5	21.7	52.3	50.5	1.8	59.4	44.5	14.9	45.1	28.9	16.2
	合計	72.2	63.5	8.7	72.4	70.2	2.2	69.6	66.7	2.9	70.1	69.5	0.6
結腸	限局	98.2	96.1	2.1	98.3	94.8	3.5	96.5	90.6	5.9	98.1	95.4	2.7
	領域	74.5	57.8	16.7	76.9	75.3	1.6	73.0	71.2	1.8	75.1	74.7	0.4
	遠隔	15.5	10.8	4.7	17.3	14.5	2.8	14.6	11.6	3.0	14.9	13.9	1.0
	不明	69.1	43.7	25.4	51.1	44.7	6.4	58.6	39.6	19.0	42.5	30.3	12.2
	合計	73.8	63.3	10.5	72.8	70.2	2.6	69.3	66.0	3.3	69.4	70.9	-1.5
直腸	限局	94.7	95.6	-0.9	95.3	95.1	0.2	95.8	99.2	-3.4	96.4	88.7	7.7
	領域	68.9	66.0	2.9	74.0	75.1	-1.1	70.3	64.2	6.1	73.9	68.2	5.7
	遠隔	17.6	17.0	0.6	19.7	15.3	4.4	16.5	11.8	4.7	19.8	16.5	3.3
	不明	62.0	44.9	17.1	53.9	56.2	-2.3	61.1	53.4	7.7	50.3	25.4	24.9
	合計	69.9	63.7	6.2	71.7	70.3	1.4	70.3	68.8	1.5	71.9	65.7	6.2

出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告、2009-2011年生存率報告
 *全国値は21県データから算出 *沖縄県データは2007-2008年 241

大腸がん



出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11 都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）



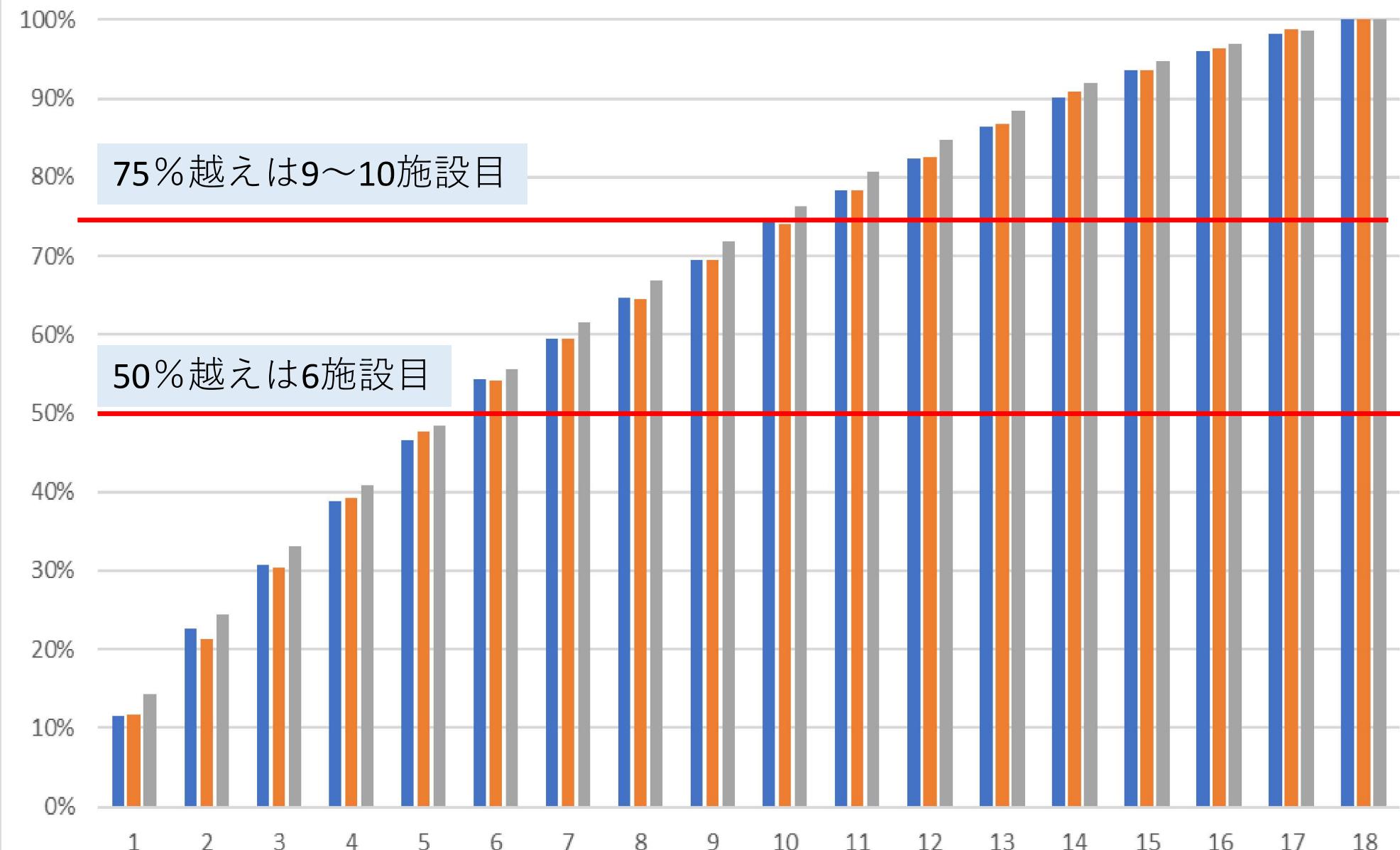
出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表7 都道府県別罹患数に占める院内がん登録全国集計参加病院登録割合、表9 都道府県罹患数に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん除く、診断時住所別）（国立がん研究センターがん対策情報センター）から作成

大腸がん 施設別 登録数の推移（表）

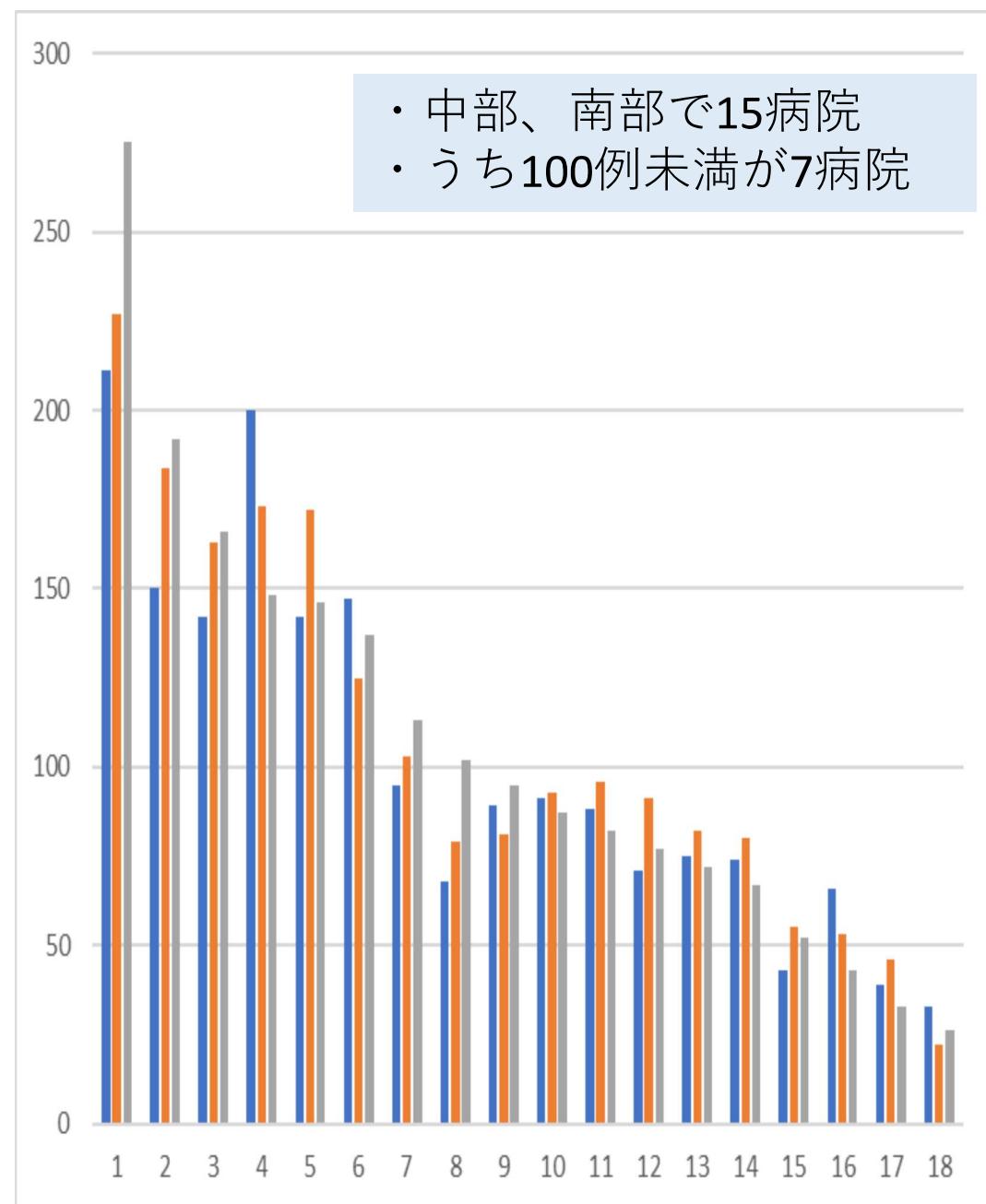
	施設名	2014年 件数	2014年 シェア	2015年 件数	2015年 シェア	2016年 件数	2016年 シェア	2017年 件数	2017年 シェア	2018年 件数	2018年 シェア
0	沖縄県18施設合計	1,677	100.0%	1,803	100.0%	1,824	100.0%	1,925	100.0%	1,913	100.0%
1	北部地区医師会病院	96	5.7%	89	4.9%	88	4.8%	96	5.0%	82	4.3%
2	国立病院機構沖縄病院	40	2.4%	36	2.0%	39	2.1%	46	2.4%	33	1.7%
3	県立中部病院	138	8.2%	166	9.2%	142	7.8%	163	8.5%	166	8.7%
4	中頭病院	209	12.5%	240	13.3%	211	11.6%	227	11.8%	275	14.4%
5	中部徳洲会病院	117	7.0%	135	7.5%	147	8.1%	125	6.5%	137	7.2%
6	ハートライフ病院	110	6.6%	101	5.6%	91	5.0%	93	4.8%	87	4.5%
7	那覇市立病院	131	7.8%	130	7.2%	142	7.8%	172	8.9%	146	7.6%
8	沖縄赤十字病院	72	4.3%	82	4.5%	95	5.2%	103	5.4%	113	5.9%
9	大浜第一病院	--	--	--	--	43	2.4%	55	2.9%	52	2.7%
10	浦添総合病院	175	10.4%	158	8.8%	200	11.0%	173	9.0%	148	7.7%
11	琉球大学医学部附属病院	109	6.5%	87	4.8%	74	4.1%	80	4.2%	67	3.5%
12	県立南部医療センター・こども医療センター	63	3.8%	98	5.4%	68	3.7%	79	4.1%	102	5.3%
13	南部病院	31	1.8%	40	2.2%	33	1.8%	22	1.1%	26	1.4%
14	南部徳洲会病院	76	4.5%	78	4.3%	89	4.9%	81	4.2%	95	5.0%
15	沖縄協同病院	63	3.8%	74	4.1%	71	3.9%	91	4.7%	77	4.0%
16	豊見城中央病院	149	8.9%	166	9.2%	150	8.2%	184	9.6%	192	10.0%
17	県立宮古病院	64	3.8%	67	3.7%	75	4.1%	82	4.3%	72	3.8%
18	県立八重山病院	34	2.0%	56	3.1%	66	3.6%	53	2.8%	43	2.2%
	平均症例数	93		100		101		107		106	

出典：琉球大学医学部附属病院がんセンターがん登録室 『沖縄県院内がん登録集計報告書2018年症例』

沖縄県大腸がん施設別症例数推移（症例数順累積症例数、2016-2018年）



症例数▼	施設名▼	2016年▼	2017年▼	2018年▼
1	中頭病院	211	227	275
2	豊見城中央病院	150	184	192
3	県立中部病院	142	163	166
4	浦添総合病院	200	173	148
5	那覇市立病院	142	172	146
6	中部徳洲会病院	147	125	137
7	沖縄赤十字病院	95	103	113
8	県立南部医療センター・こども医療センター	68	79	102
9	南部徳洲会病院	89	81	95
10	ハートライフ病院	91	93	87
11	北部地区医師会病院	88	96	82
12	沖縄協同病院	71	91	77
13	県立宮古病院	75	82	72
14	琉球大学医学部附属病院	74	80	67
15	大浜第一病院	43	55	52
16	県立八重山病院	66	53	43
17	国立病院機構沖縄病院	39	46	33
18	南部病院	33	22	26



4 大腸がん 新選定要件（案）

以下の2項目を同時にすべて満たす施設とする

1 以下の項目が組織上明確に位置付けられた上で整備され、機能していること

- (1) キャンサーボード
- (2) がん薬物療法のレジメン審査・登録・管理委員会
- (3) 緩和ケアチーム
- (4) セカンドオピニオン
- (5) 院内がん登録に関する委員会
- (6) 医療安全管理に関する委員会

2019年5月13日、沖縄県がん診療連携協議会 資料12
「沖縄県におけるがん診療に関する種別専門医療機関の選定条件について」から

2 以下の項目のどちらかをすべて満たしていること

A 認定基準

- (1) 一般財団法人日本消化器病学会認定施設
- (2) 一般社団法人日本消化器外科学会認定施設
- (3) 結腸がんに対する手術が年 48 例以上ある施設
- (4) 直腸がんに対する手術が年 24 例以上ある施設
- (5) 大腸がんに対する放射線治療が年 6 例以上ある施設。または適切に連携を取ることにより、必要な時期に適切に他の医療機関に紹介して放射線治療を実施していく、その放射線治療が年 6 例以上ある施設
- (6) 大腸がんに対する薬物療法が年 36 例以上ある施設

B 認定基準

- (1) 一般財団法人日本消化器病学会認定施設
- (2) 一般社団法人日本消化器外科学会認定施設
- (3) 結腸がんに対する手術が年 24 例以上ある施設
- (4) 直腸がんに対する手術が年 12 例以上ある施設
- (5) 大腸がんに対する放射線治療が年 2 例以上ある施設。または適切に連携を取ることにより、必要な時期に適切に他の医療機関に紹介して放射線治療を実施していて、その放射線治療が年 2 例以上ある施設
- (6) 大腸がんに対する薬物療法が年 24 例以上ある施設

補足事項

- 1 選定要件は、今回と同じような方法で、毎年見直すこととする
- 2 第1項を満たすことができない場合には、平成31年度内にその整備を確約でき、沖縄県が年度内にその整備を確認することを受け入れることを条件に認定することとする。
その際には、琉球大学医学部附属病院がんセンターが技術供与等も含めた助言をすることとする
- 3 第2項は、沖縄県により毎年行われる医療機能調査、全国がん登録および院内がん登録等の結果等を用いて、毎年選定施設の更新を行う
- 4 第2項における例数の規定は、全て最近3年間の平均値とする
- 5 放射線治療の例数には、緩和的放射線治療を含む
- 6 選定施設名の公開の際には、A 認定基準による施設、B 認定基準による施設を区別はせず公開する

大腸がんデータ アップデート

<2021年8月6日資料>

趣旨

- ・沖縄県では大腸がんの死亡率（男）が高いことが課題になっている。
- ・大腸がんプロジェクトが進行中である。
- ・2019年2月1日、大腸がんデータの概況を報告。
- ・2020年8月7日、データアップデートを報告。
- ・本日は、①年齢調整死亡率②年齢調整罹患率③5年生存率——をアップデートする

がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策

個別施策	指標

初期アウトカム

予防対策	指標
	<柱6>
	<柱6>

中間アウトカム

罹 患	指標
罹患が減少している	罹患率
	<柱2>

最終アウトカム

死 亡	指標
死亡が減っている	死亡率
	<柱1>

個別施策	指標

早期発見対策	指標
	<柱7>
	<柱7>

早期発見	指標
早期発見が高まっている	早期発見率
	<柱4>

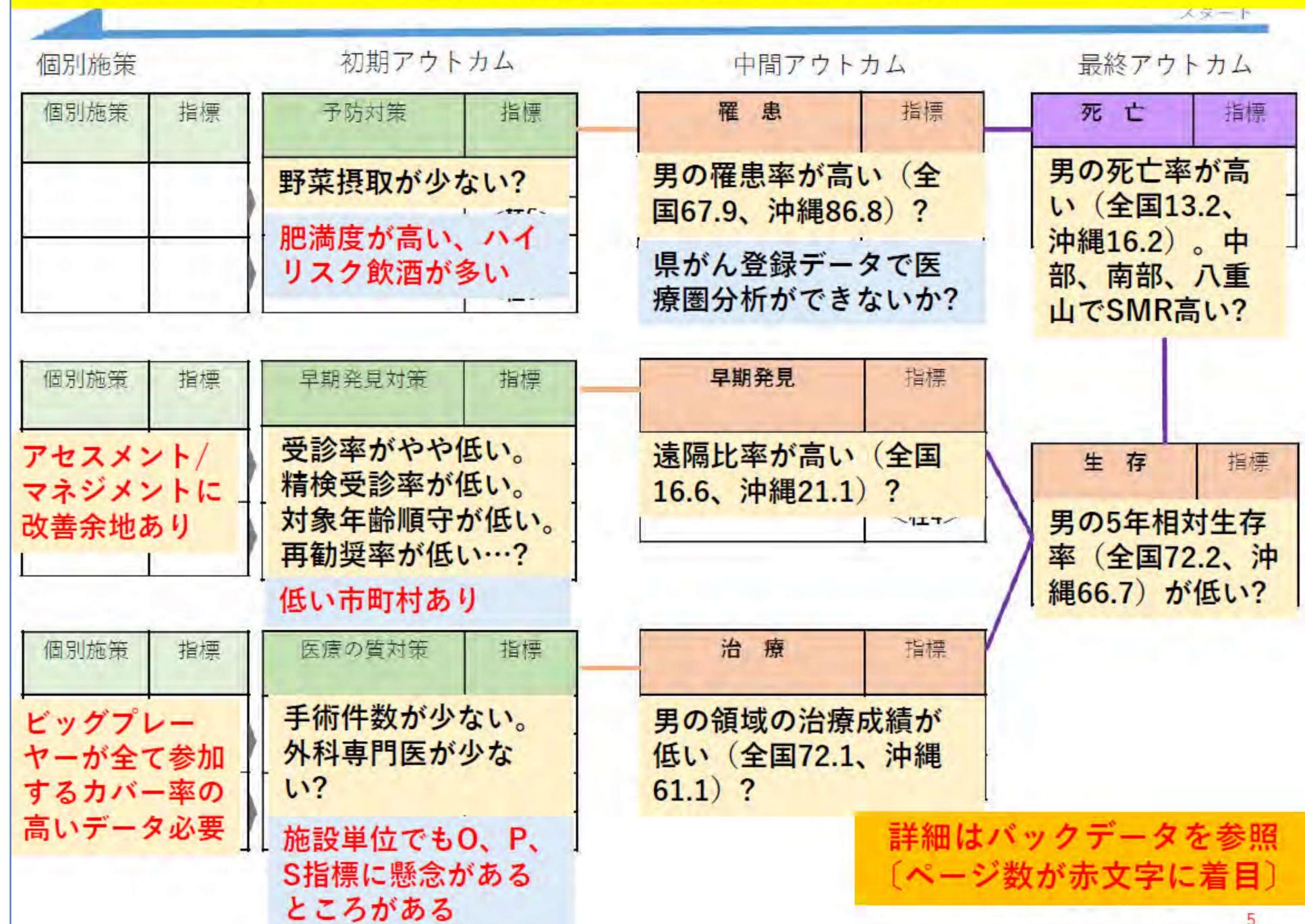
生 存	指標
生存が高まっている	5年生存率
	<柱3>

個別施策	指標

医療の質対策	指標
	<柱8>
	<柱8>

治 療	指標
治療の質が高まっている	進行度別5年生存率
	<柱5>

データセットによって抽出された課題候補（検証・検討が必要）



がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策

初期アウトカム

中間アウトカム

最終アウトカム

個別施策	指標

予防対策	指標
	<柱6>
	<柱6>

罹 患	指標
罹患が減少している	罹患率 <柱2>

死 亡	指標
死亡が減っている	死亡率 <柱1>

ア：地域の5年生存率
『全国がん罹患モニタリング集計
2009-2011年生存率報告』

個別施策	指標

早期発見対策	指標
	<柱7>
	<柱7>

早期発見	指
早期発見が高まっている	早期発見率 <柱4>

生 存	指標
生存が高まっている	5年生存率 <柱3>

個別施策	指標

医療の質対策	指標
	<柱8>
	<柱8>

治 療	指標
治療の質が高まっている	進行度別5年生存率 <柱5>

イ：地域の病期別の5年生存率
『全国がん罹患モニタリング集計
2009-2011年生存率報告』

ウ：拠点病院カバー率

『2017年 院内がん登録におけるがん登録割合』

エ：拠点病院カバー率

『沖縄県院内がん登録集計報告書2018年症例』

がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策

初期アウトカム

中間アウトカム

最終アウトカム

個別施策	指標

予防対策	指標

罹 患	指標
罹患が減少している	罹患率 <柱2>

死 亡	指標
死亡が減っている	死亡率 <柱1>

イ：地域の罹患率
『全国がん登録 罹患数・率報告2018年』

個別施策	指標

早期発見対策	指標
	<柱7>
	<柱7>

早期発見	指
早期発見が高まっている	早期率 <柱4>

ア：地域の死亡率
『国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2019年）』

生存が高まっている	5年生存率 <柱3>
-----------	---------------

個別施策	指標

医療の質対策	指標
	<柱8>
	<柱8>

治 療	指標
治療の質が高まっている	進行度別5年生存率 <柱5>

エ：個別拠点病院等の病期別5年生存率
『がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書』

ウ：地域の拠点病院等の病期別5年生存率
『がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書』

要約

【死亡率】

- ・大腸がん（男）はワースト2
- ・全国値は改善。2018年⇒2019年悪化県は13。沖縄県は悪化。
- ・10年間改善率は全国値3.8%、沖縄県0.6%。

【罹患率】大腸がん（男）は全国ワースト5。

【5年生存率】参加病院、相対生存率（男女）。

全体：全国72.6%、沖縄県65.8% (-6.8%)

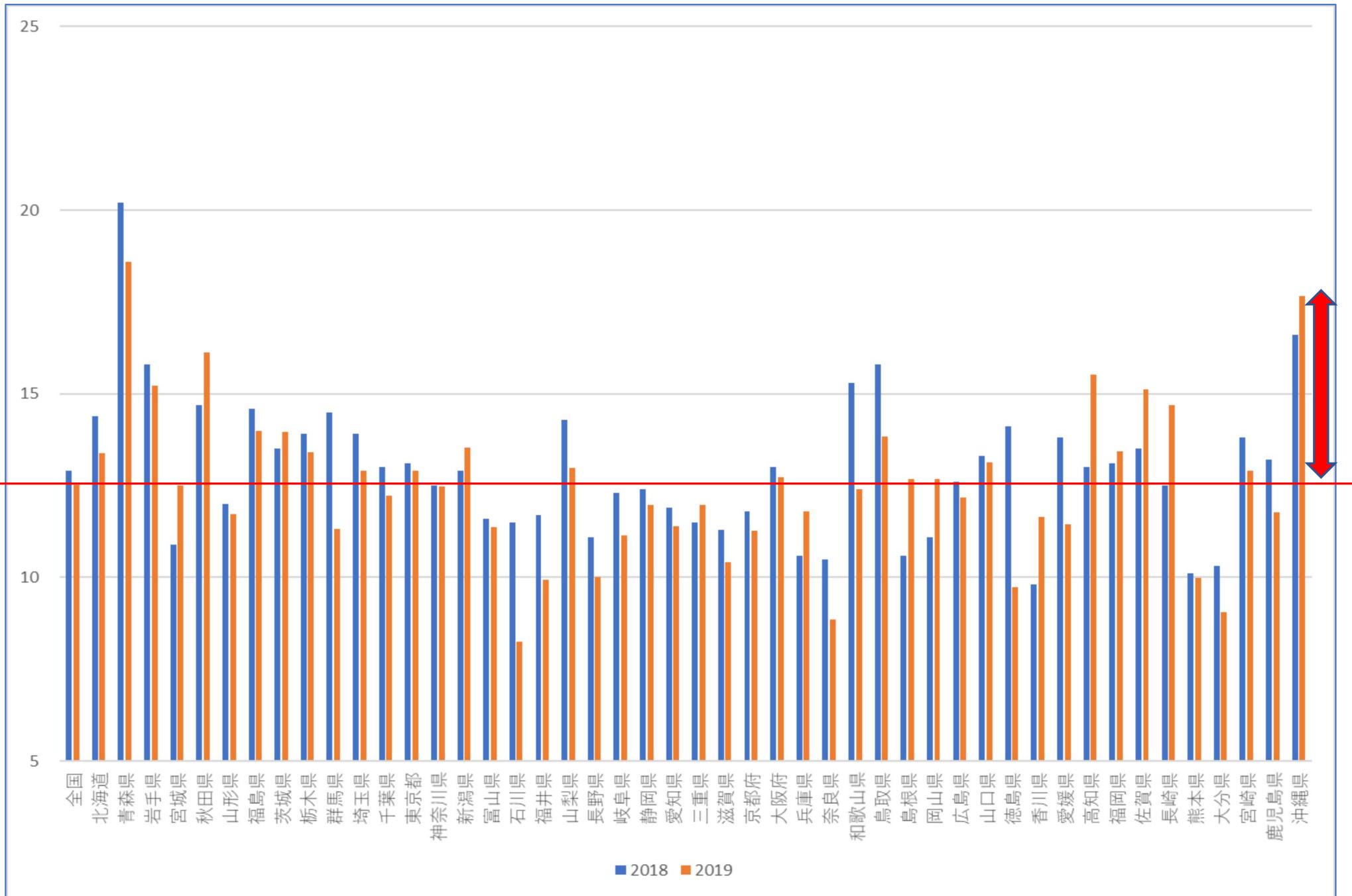
1期：全国94.4%、沖縄県93.1% (-1.3%)

2期：全国89.0%、沖縄県84.3% (-4.7%)

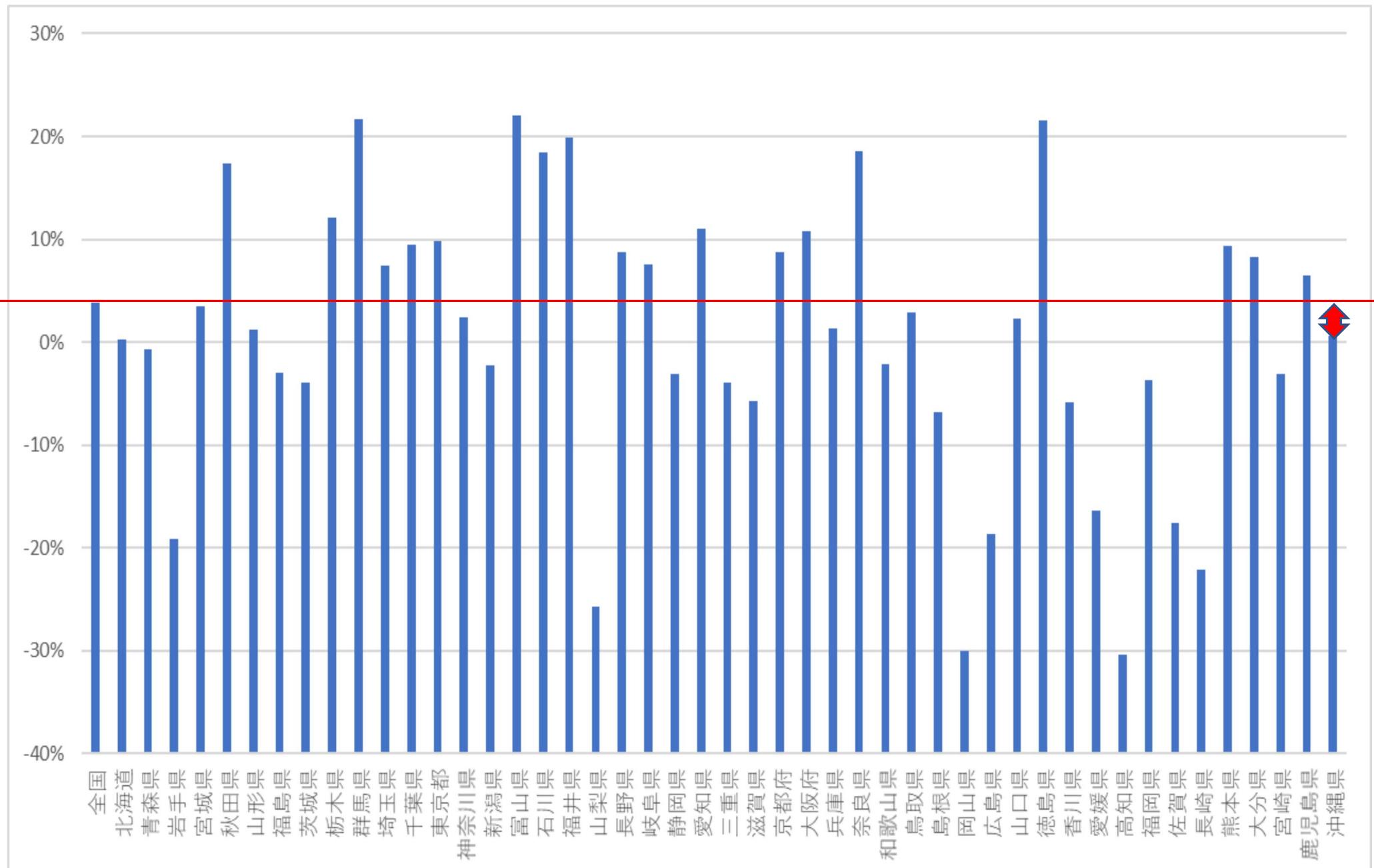
3期：全国77.5%、沖縄69.0% (-8.5%)

4期：全国18.8%、沖縄18.0% (-0.8%)

年齢調整死亡率 大腸がん 男

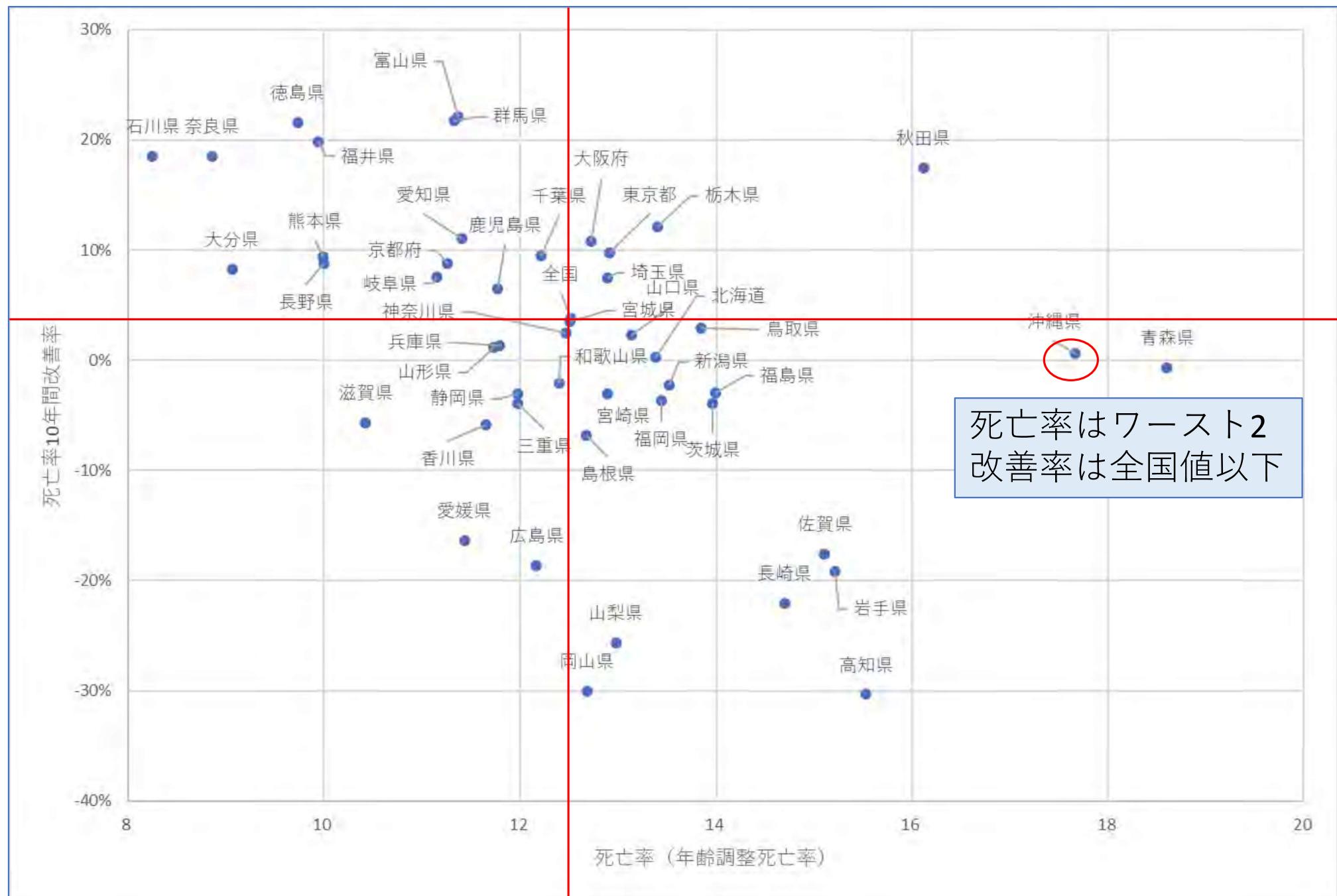


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2019年）から作成



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2019年）から作成

死亡率と死亡率改善率の2項目を同時に表示した散布図 大腸がん 男

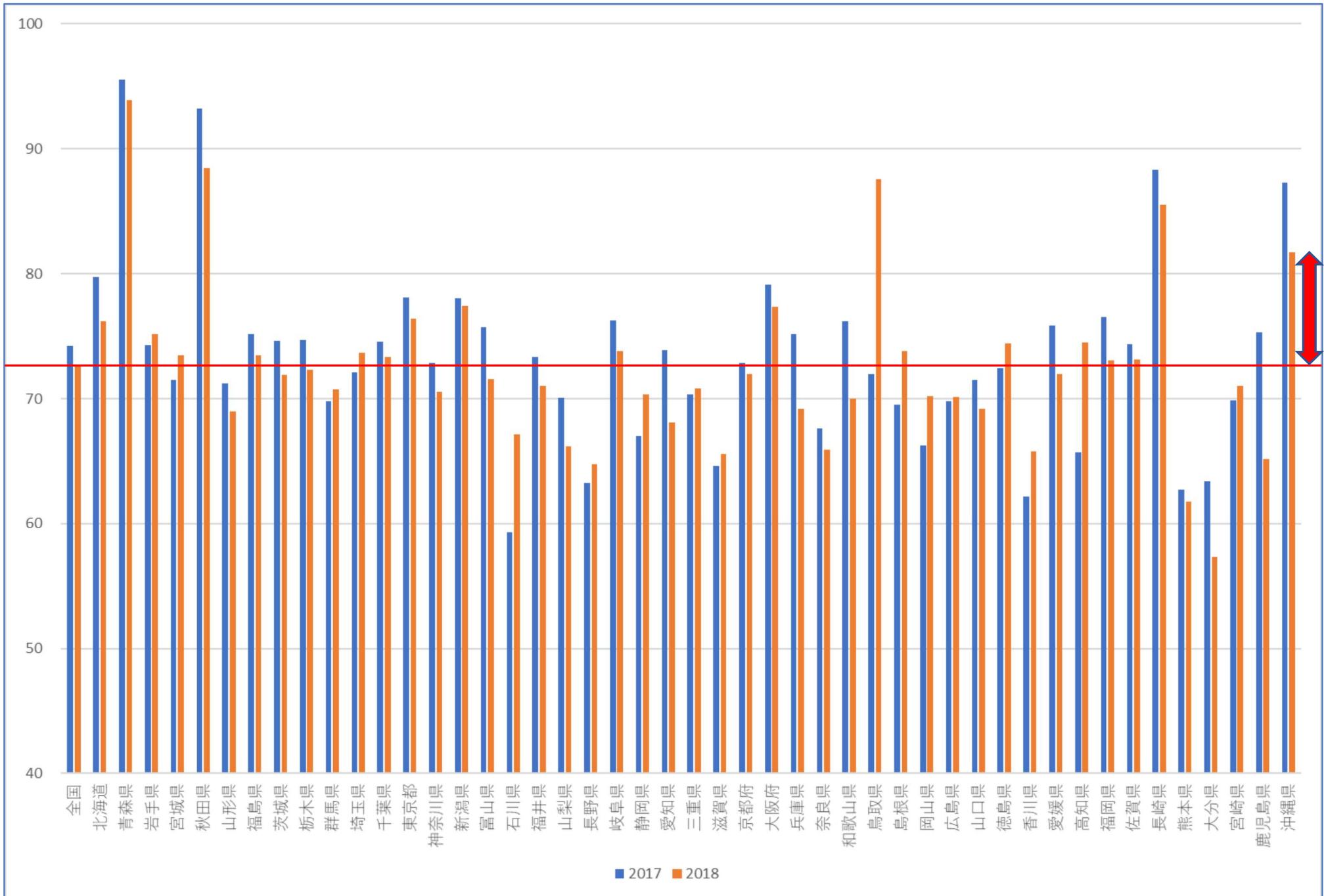


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2019年）から作成

標準化死亡比（SMR）

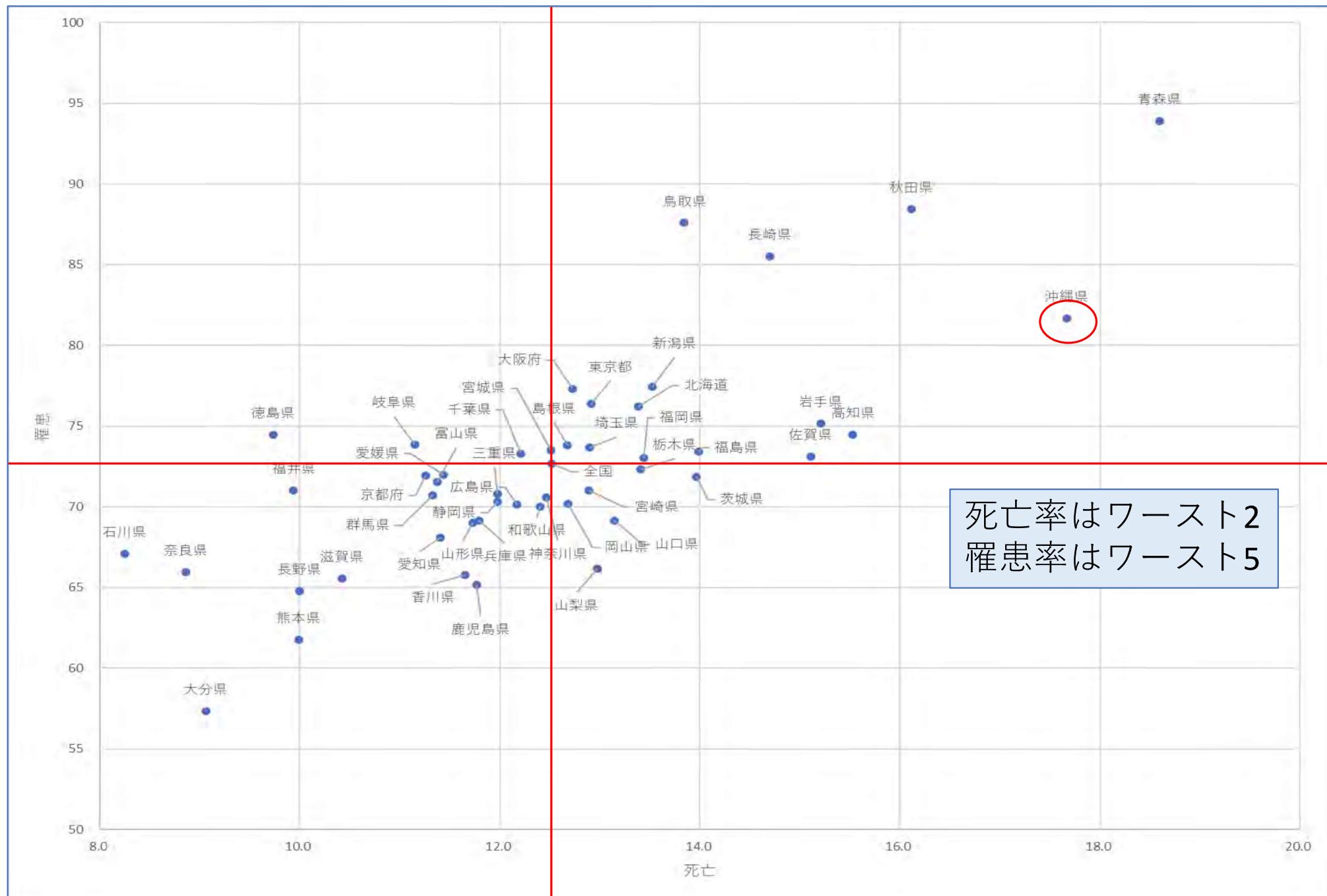
地域名	標準化死亡比（男）
北部	106.2
中部	114.4
南部	113.0
宮古	125.0
八重山	104.1

年齢調整罹患率 大腸がん 男

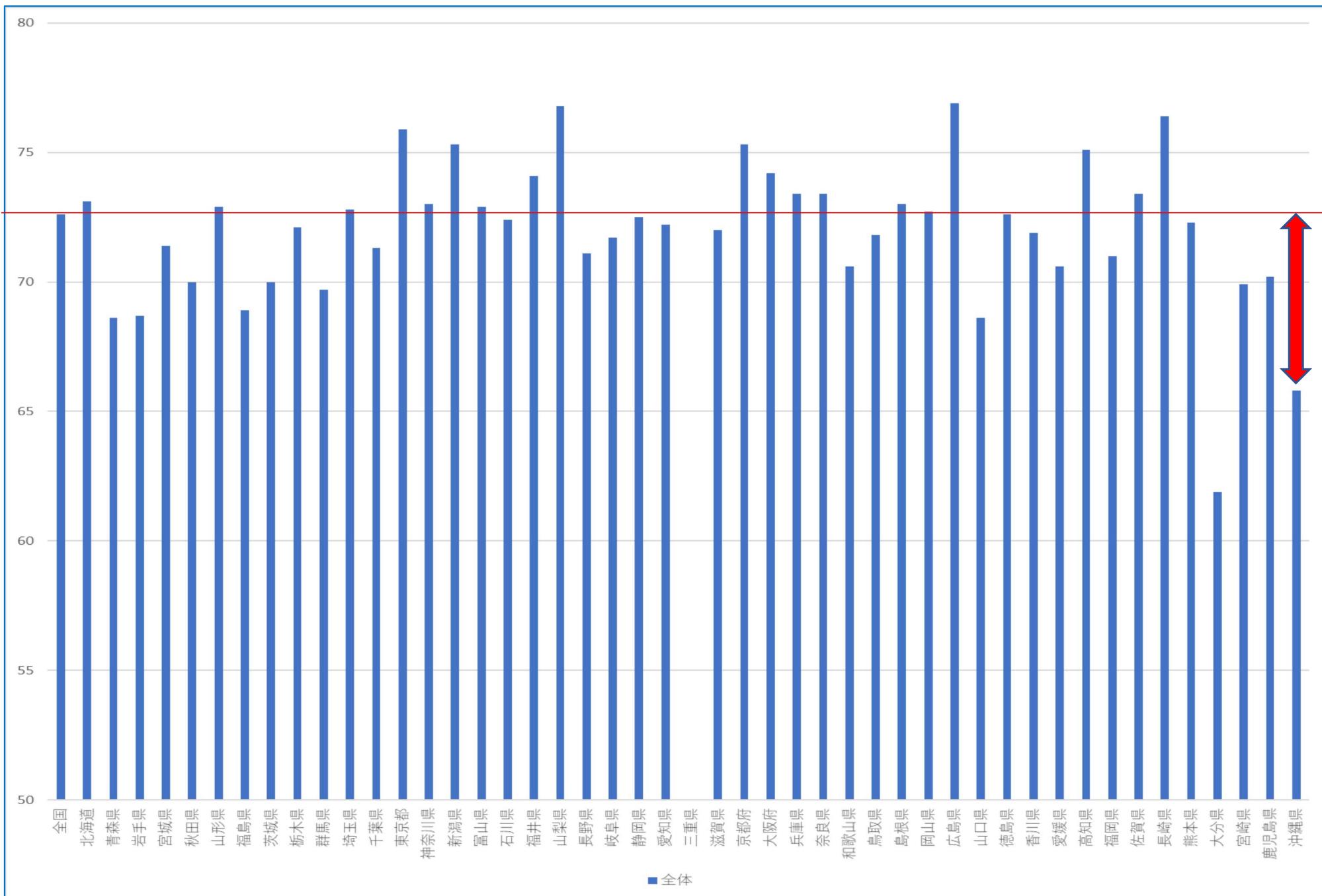


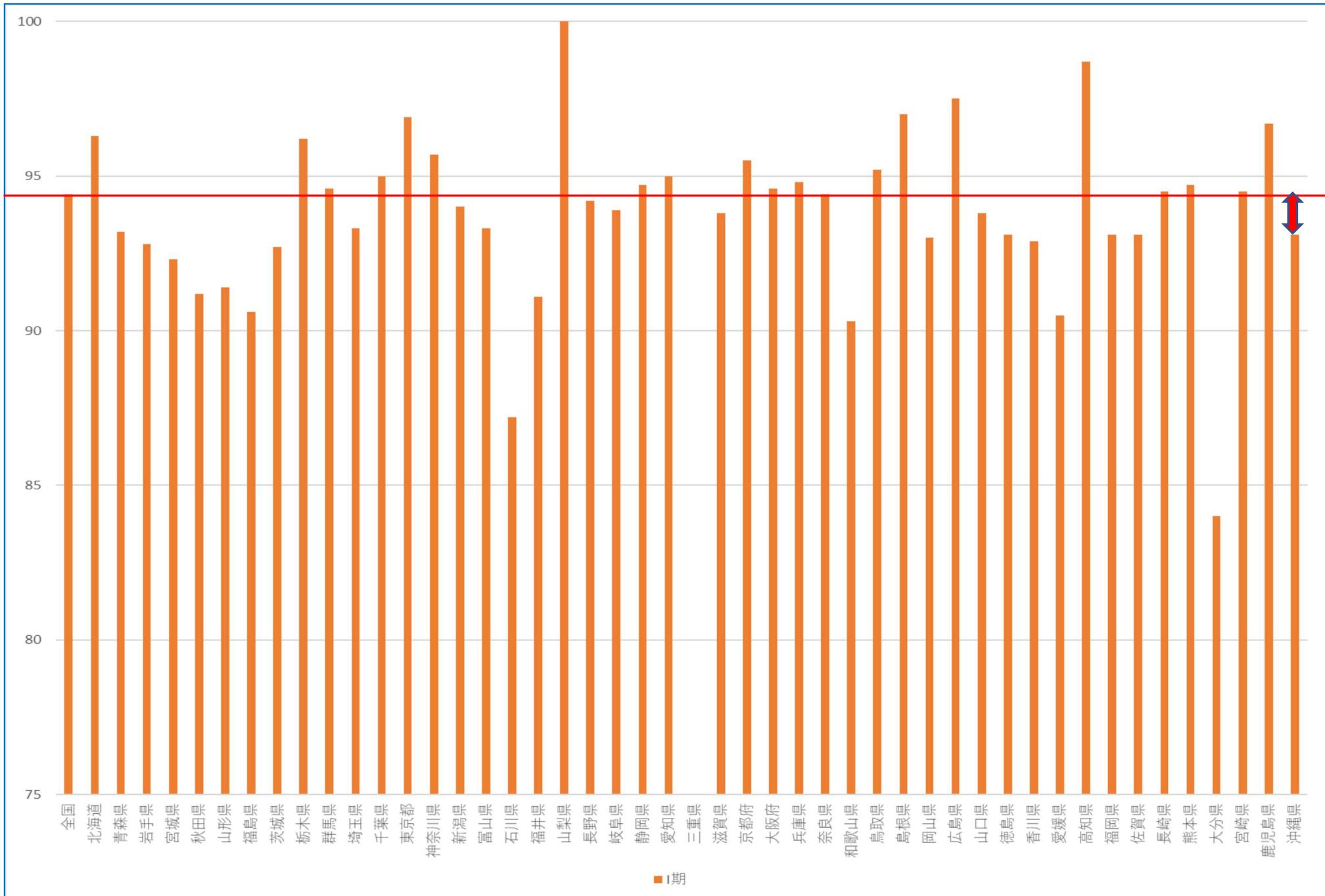
出典:全国がん登録 罹患数・率報告2017、2018から作成

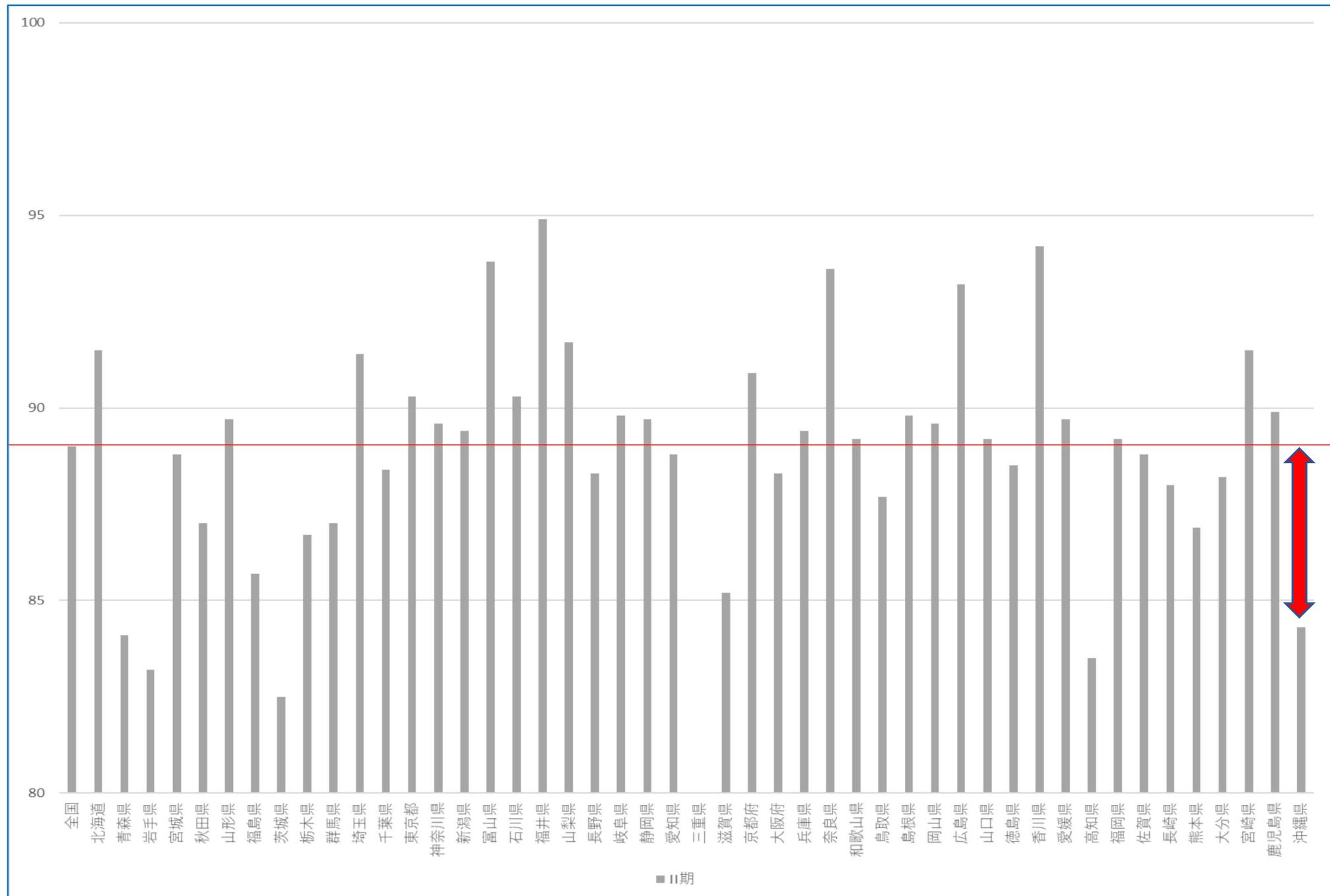
死亡率と罹患率の2項目を同時に表示した散布図 大腸がん 男

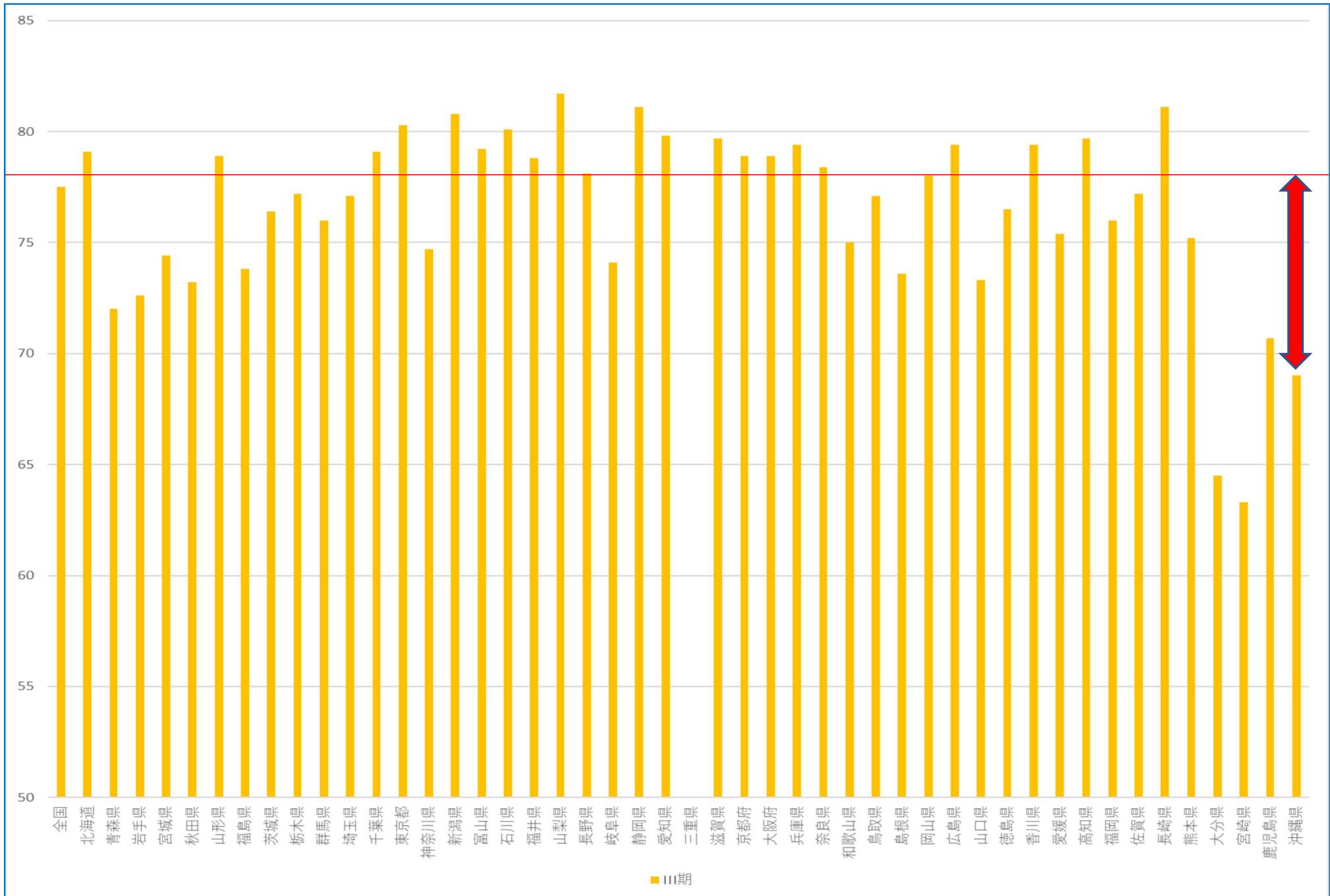


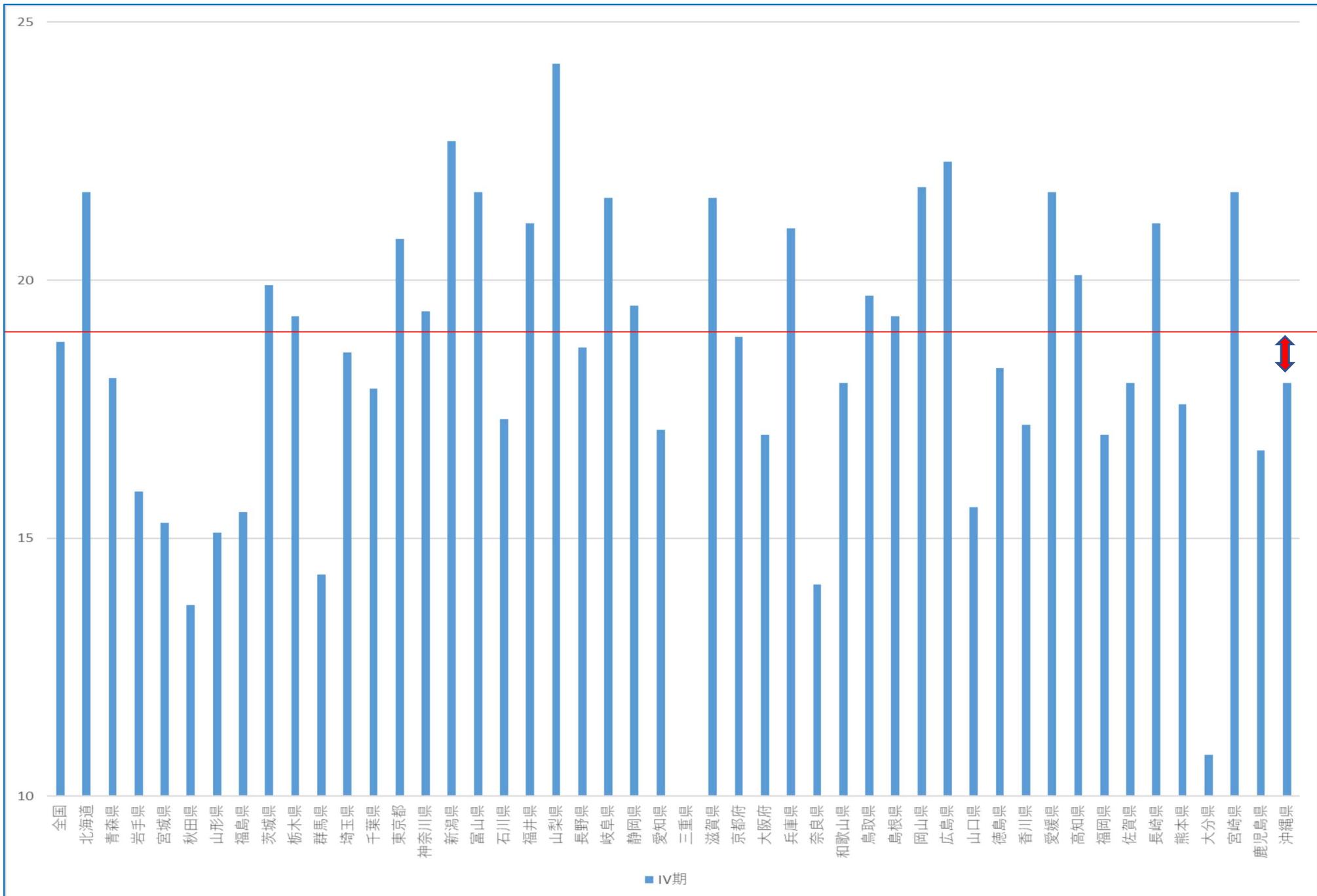
出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2019年）、全国がん登録 罹患数・率報告2018、から作成











大腸

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	194	81	(4-6)	97.4	57.7	50.3	64.3	69.0
I期	46	(7-9)	(1-3)	97.8	82.3	67.6	90.7	68.5
II期	43	12	0	100.0	72.1	56.1	83.1	69.3
III期	63	25	(1-3)	95.2	59.2	45.8	70.4	69.0
IV期	39	33	(1-3)	97.4	13.2	4.8	25.8	67.7

属性別集計対象数

性別	男性	女性			
対象数	122	72			
%	62.9	37.1			
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
対象数	(7-9)	32	60	57	38
%		16.5	30.9	29.4	19.6
UICC TNM分類総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不詳
対象数	46	43	63	39	(1-3)
%	23.7	22.2	32.5	20.1	
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳
対象数	30	164	138	26	0
%	15.5	84.5	71.1	13.4	
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他	
対象数	26	11	31	126	
%	13.4	5.7	16.0	64.9	

出典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書

●病院コメント

「大腸がん」全体では全国63.3%、沖縄県57.9%に対し、当院は54.2%と低い結果となりました。ステージにおいて当院・沖縄県は全国と比較し、若干、進行期の割合が高いものの、大きな差はありませんが、観血的治療の実施割合が全国と比較して17%低いことが影響していると考えられます。

大腸

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	188	86	(1-3)	98.9	54.2	46.8	61.0	69.3
I期	45	13	0	100.0	71.1	55.5	82.1	73.4
II期	43	11	(1-3)	95.3	73.9	57.8	84.6	67.8
III期	52	19	0	100.0	63.5	48.9	74.9	67.9
IV期	44	39	0	100.0	11.4	4.2	22.6	66.6

属性別集計対象数

性別	男性	女性			
対象数	107	81			
%	56.9	43.1			
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
対象数	11	28	54	50	45
%	5.9	14.9	28.7	26.6	23.9
UICC TNM分類総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不詳
対象数	45	43	52	44	(4-6)
%	23.9	22.9	27.7	23.4	
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳
対象数	56	132	128	(4-6)	0
%	29.8	70.2	68.1		
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他	
対象数	(7-9)	16	47	118	
%		8.5	25.0	62.8	

●病院コメント

「大腸がん」の全体の実測生存率63.3%に対して、琉球大学病院は57.5%と下回る結果でした。UICC TNM分類総合ステージⅢ+Ⅳ期の割合は全国値45.8%に比べて琉球大学病院51.9%と高いことが、生存率低下に影響した原因の1つと考えられます。

大腸

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	102	43	(1-3)	99.0	57.5	47.3	66.4	63.9
I期	20	(1-3)	0	-	-	-	-	-
II期	27	10	(1-3)	-	-	-	-	-
III期	26	10	0	-	-	-	-	-
IV期	27	19	0	-	-	-	-	-

属性別集計対象数

性別	男性	女性			
対象数	61	41			
%	59.8	40.2			
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
対象数	21	15	21	34	11
%	20.6	14.7	20.6	33.3	10.8
UICC TNM分類総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不詳
対象数	20	27	26	27	(1-3)
%	19.6	26.5	25.5	26.5	
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳
対象数	18	84	78	(4-6)	(1-3)
%	17.6	82.4	76.5		
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他	
対象数	(1-3)	(7-9)	30	62	
%			29.4	60.8	

大腸
5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	91	37	(4-6)	95.6	58.7	47.8	68.1	67.5
I期	17	(1-3)	(1-3)	-	-	-	-	-
II期	26	(4-6)	(1-3)	-	-	-	-	-
III期	18	(4-6)	0	-	-	-	-	-
IV期	30	23	(1-3)	96.7	23.3	10.3	39.4	65.4

属性別集計対象数

性別	男性	女性			
対象数	51	40			
%	56.0	44.0			
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
対象数	(4-6)	17	29	28	12
%		18.7	31.9	30.8	13.2
UICC TNM分類総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不詳
対象数	17	26	18	30	0
%	18.7	28.6	19.8	33.0	
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳
対象数	17	74	73	(1-3)	0
%	18.7	81.3	80.2		
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他	
対象数	(4-6)	(7-9)	23	53	
%			25.3	58.2	

出典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書

大腸

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	58	22	0	100.0	62.1	48.3	73.1	67.8
I期	(7-9)	0	0	-	-	-	-	-
II期	20	(4-6)	0	-	-	-	-	-
III期	24	12	0	-	-	-	-	-
IV期	(1-3)	(1-3)	0	-	-	-	-	-

属性別集計対象数

性別	男性	女性			
対象数	36	22			
%	62.1	37.9			
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
対象数	(4-6)	10	15	16	12
%		17.2	25.9	27.6	20.7
UICC TNM分類総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不詳
対象数	(7-9)	20	24	(1-3)	(1-3)
%		34.5	41.4		
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳
対象数	(4-6)	53	53	0	0
%		91.4	91.4		
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他	
対象数	(4-6)	(1-3)	(4-6)	48	
%				82.8	

出典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書

●病院コメント

【大腸がん】

わが国における大腸がんの罹患率は増加傾向にあり、国立がん研究センターの人口動態統計による都道府県別がん死亡データによりますと、2018年沖縄県の大腸がんによる死亡率は、男性が2位、女性33位、男女計3位と高く、現在も深刻な問題となっております。当院でも大腸がんの症例は多く、2013年院内がん登録件数509件中、大腸がんは92件と全体の18%を占めております。性別で見ますと、男性では、当院60.2%、全国57.9%、沖縄県58.9%、女性では、当院39.8%、全国42.1%、沖縄県41.1%となっており、全国、沖縄県同様男性の割合が高くなっています。診断時年齢は、当院では70歳代が最も多く、次いで60歳代と全国、沖縄県と同様となっています。発見経緯は、全国同様、がん検診・健康診断での発見が少なく、その他が最も多く自覚症状を認め来院となつた方が多くなっています。

UICC TNM分類総合ステージを見ますと、当院はI期30.1%、次いでII期29.3%となっており、全国同様リンパ節転移、遠隔転移のないI、II期の患者さんの割合が多くなっています。

観血的治療の治癒切除率を比較してみると、当院75.9%、全国78.4%、沖縄県75.8%とほぼ同様ですが、実測生存率は、当院63.1%、全国63.3%、沖縄県57.2%と沖縄県の生存率が低くなっています。要因として、当院と全国がI、II期の患者さんが多いのに対し、沖縄県は、III期の患者さんが最も多く、進行された状態で発見された患者さんが多いことから、生存率が低くなつたと考えられます。

大腸がんは、早期に診断、治療が開始できれば根治が可能ながんであります。当院では、「大腸がん早期発見プロジェクト」を立ち上げ、入院患者さんに対し、便潜血の無料検査を実施し、大腸がん死亡率低下を目指しております。

大腸**5年生存率**

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	133	49	(1-3)	98.5	63.1	54.2	70.6	69.6
I期	40	(7-9)	(1-3)	97.5	77.5	61.2	87.6	71.5
II期	39	(7-9)	(1-3)	97.4	76.6	59.8	87.1	69.2
III期	28	(7-9)	0	-	-	-	-	-
IV期	24	21	0	-	-	-	-	-

属性別集計対象数

性別	男性	女性			
対象数	80	53			
%	60.2	39.8			
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
対象数	(4-6)	20	33	49	25
%		15.0	24.8	36.8	18.8
UICC TNM分類総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不詳
対象数	40	39	28	24	(1-3)
%	30.1	29.3	21.1	18.0	
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳
対象数	16	117	101	15	(1-3)
%	12.0	88.0	75.9	11.3	
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他	
対象数	(4-6)	18	34	76	
%		13.5	25.6	57.1	

沖縄県の院内がん登録報告書で公表している大腸がん施設別病期別5年相対生存率

	2007-2008年				2009-2013年				
	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	
3 病院計	I 期	93	-	-	15.1	243	91.7	3.0	2.5
	II 期	97	87.1	4.9	5.2	289	82.1	3.1	1.7
	III 期	109	73.9	5.1	3.7	335	74.9	2.9	1.5
	IV 期	98	11.9	3.5	3.1	252	17.2	2.5	0.8
	不明	8	18.6	17.7	0.0	15	0.0	0.0	0.0
	全体	405	65.1	2.8	6.4	1,134	66.5	1.7	1.6
琉球大学病院	I 期	45	-	-	26.7	51	95.9	4.7	3.9
	II 期	15	96.2	7.4	6.7	67	75.5	6.6	1.5
	III 期	25	67.3	10.8	8.0	75	80.0	5.6	0.0
	IV 期	22	16.7	9.0	9.1	65	26.1	5.7	0.0
	不明	2	50.8	37.9	0.0	2	0.0	0.0	0.0
	全体	109	-	-	15.6	260	68.6	3.3	1.2
那覇市立病院	I 期	26	90.5	9.2	7.7	104	94.4	4.4	2.9
	II 期	40	87.4	7.6	7.5	119	80.9	4.8	1.7
	III 期	51	76.2	7.6	3.9	142	73.3	4.5	2.8
	IV 期	41	11.6	5.4	2.4	81	12.5	3.9	1.2
	不明	1	0.0	0.0	0.0	3	0.0	0.0	0.0
	全体	159	65.5	4.6	5.0	449	69.4	2.7	2.2
県立中部病院	I 期	22	88.6	9.1	0.0	65	86.7	6.0	1.5
	II 期	42	76.4	8.0	2.4	83	86.6	5.8	2.4
	III 期	33	70.2	9.2	0.0	95	70.7	5.7	1.1
	IV 期	35	9.1	5.0	0.0	84	16.8	4.3	1.2
	不明	5	0.0	0.0	0.0	10	0.0	0.0	0.0
	全体	137	58.5	4.8	0.7	337	62.5	3.1	1.5

出典：沖縄県院内がん登録集計報告書2019年症例

ウェブで公表している大腸がん施設別病期別5年相対生存率

		2007年				2008年				2009年			
		対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合
沖縄県がん診療連携拠点病院3施設	I期	43	-	-	11.6	56	-	-	21.4	45	92.4	5.6	4.4
	II期	47	75.5	7.9	0	33	69.8	9.4	6.1	35	87.3	8.7	0
	III期	44	71	8.3	4.5	68	86.4	6	4.4	69	85.7	5.6	0
	IV期	51	14.1	5.4	7.8	48	7.4	4.1	2.1	44	22	6.7	0
	不明	14	79.4	14.8	7.1	14	-	-	14.3	21	53.5	12.5	4.8
	全体	199	64.4	4.1	6	219	64.6	3.8	9.1	214	72.6	3.7	1.4
国立大学法人 琉球大学医学部附属病院	I期	19	-	-	26.32	31	-	-	29.03	15	95.9	7.2	6.7
	II期	4	100	0	0	5	81.1	18.9	0	11	74.1	14.1	0
	III期	9	-	-	22.22	15	87.56	9.02	0	15	95.2	7.3	0
	IV期	9	-	-	22.22	11	19.43	12.8	0	13	16.4	11.1	0
	不明	2	100	0	0	3	-	-	66.67	2	51.8	40.8	0
	全体	43	-	-	20.93	65	-	-	16.92	56	77.1	6.8	1.8

275

出典：おきなわ がん情報ネット みるん・しるん⇒がんの種類を部位から探す⇒大腸がん⇒5年生存率

		2007年				2008年				2009年			
		対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合
地方独立行政法人那覇市立病院	I期	16	96.1	6.9	0	14	-	-	14.3	18	92	8.1	0
	II期	29	82.4	9.4	0	14	-	-	14.3	14	86.9	13.1	0
	III期	15	64.7	14.3	0	32	79.5	9.9	9.4	25	80.5	9.5	0
	IV期	25	8.6	5.9	0	14	0	0	7.1	12	18	11.8	0
	不明	2	51.1	39.3	0	6	85	16.2	0	11	67.3	15.7	9.1
	全体	87	62.5	6	0	80	67.1	6.5	10	80	76.3	5.8	1.3
沖縄県立中部病院	I期	11	92.8	9.6	0	11	74.3	16.1	9.1	12	80.3	14	8.3
	II期	15	50.5	14.1	0	14	63	14.9	0	10	82.3	19	0
	III期	20	82.5	10.9	0	21	84.5	10.6	0	29	79.3	9.3	0
	IV期	20	23	10.2	10	23	4.6	4.5	0	19	27.9	11.1	0
	不明	11	70.5	18.3	9.1	5	46.7	26.1	0	8	28.2	18.9	0
	全体	77	63.2	6.4	3.9	74	52.4	6.6	1.4	78	65.1	6.5	1.3

出典元:院内がん登録データからみる沖縄県のがん診療の現状（院内がん登録集計報告書）（2014年症例）

がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策

個別施策	指標

初期アウトカム

予防対策	指標
	<柱6>
	<柱6>

中間アウトカム

罹 患	指標
男の罹患率が高い（全国72.7、沖縄81.7）と低い。	

最終アウトカム

死 亡	指標
男の死亡率が高い（全国12.5、沖縄17.7）。SMR中部114、南部113、宮古125と高い。	

個別施策	指標

早期発見対策	指標
	<柱7>
	<柱7>

早期発見	指標
限局率低い（全国43.6、沖縄41.8）、領域率高い（28.4、30.7）、遠隔率高い（18.2、20.0）。	

生 存	指標
男の5年相対生存率が（全国72.4、沖縄70.2）と低い。	

個別施策	指標

医療の質対策	指標
	<柱8>
	<柱8>

治 療	指標
県・男・5生の限局低い（全国97.1、沖縄96.0）、領域低い（75.7、75.2）、遠隔低い（18.2、14.8）。拠点病院等5生1期低い（94.4、93.1）、2期低い（89.0、84.3）、3期低い（77.5、69.0）、4期低い（18.8、18.0）。	

大腸がんデータ アップデート

<2019年2月1日資料>



データセットによって抽出された課題候補〔検証・検討が必要〕

スタート

個別施策

個別施策	指標

初期アウトカム

予防対策	指標
野菜摂取が少ない?	
肥満度が高い、ハイリスク飲酒が多い	

中間アウトカム

罹 患	指標
男の罹患率が高い（全国67.9、沖縄86.8）？	
県がん登録データで医療圏分析ができるか？	

最終アウトカム

死 亡	指標
男の死亡率が高い（全国13.2、沖縄16.2）。中部、南部、八重山でSMR高い？	

個別施策	指標
アセスメント/マネジメントに改善余地あり	

早期発見対策	指標
受診率がやや低い。 精検受診率が低い。 対象年齢順守が低い。 再勧奨率が低い…？	
低い市町村あり	

早期発見	指標
遠隔比率が高い（全国16.6、沖縄21.1）？	
ヘエヤン	

生 存	指標
男の5年相対生存率（全国72.2、沖縄66.7）が低い？	

個別施策	指標
ビッグプレイヤーが全て参加するカバー率の高いデータ必要	

医療の質対策	指標
手術件数が少ない。 外科専門医が少ない？	
施設単位でもO、P、S指標に懸念があるところがある	

治 療	指標
男の領域の治療成績が低い（全国72.1、沖縄61.1）？	
ヘエヤン	

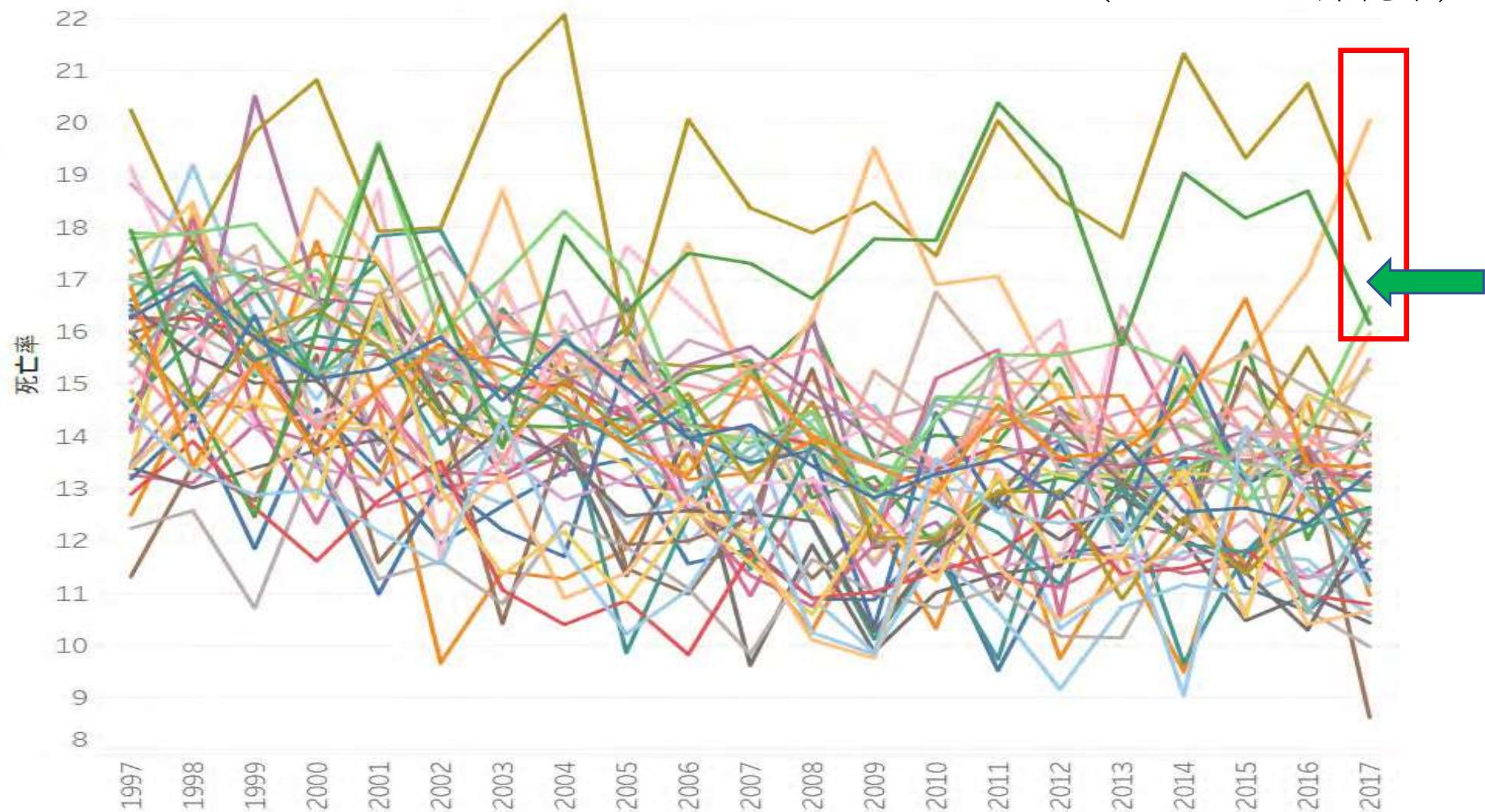
詳細はバックデータを参照
〔ページ数が赤文字に着目〕

大腸がん（男）75歳未満年齢調整死亡率推移 全国、47都道府県

単年

年

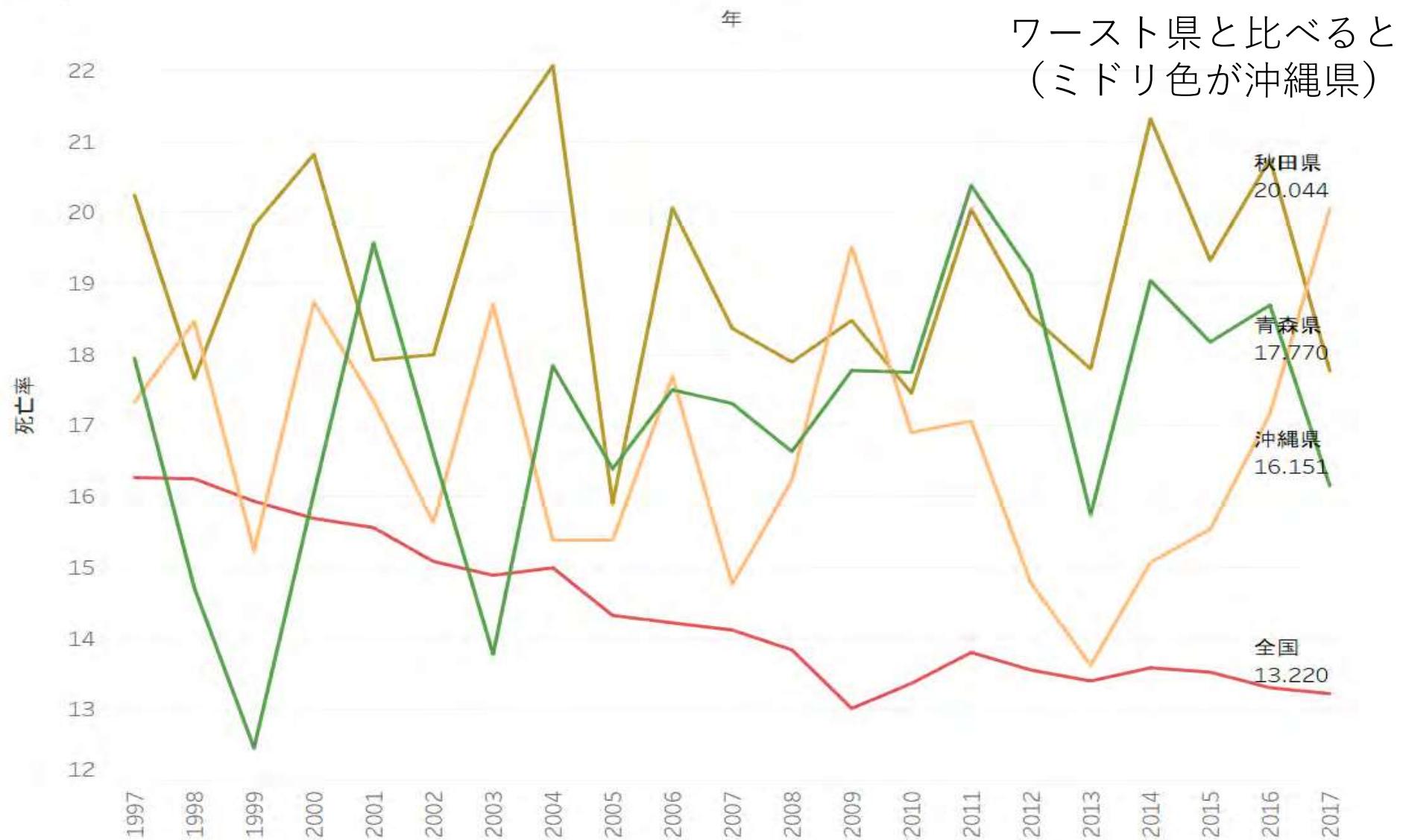
沖縄県ワースト4位
(ミドリ色が沖縄県)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」、都道府県別死亡データ、部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2017年） 加工：埴岡健一

大腸がん（男）75歳未満年齢調整死亡率 全国、青森県、秋田県、沖縄県

単年



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」、都道府県別死亡データ、部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2017年） 加工：埴岡健一

大腸がん（男）75歳未満年齢調整死亡率（3年平均） 全国、青森県、秋田県、沖縄県

3年平均

3年平均で見てみると
(ミドリ色が沖縄県)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」、都道府県別死亡データ、部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2017年） 加工：埴岡健一

大腸がん（男）75歳未満年齢調整死亡率（傾向線付） 全国、青森県、秋田県、沖縄県

単年傾向線付

過去20年
(ミドリ色が沖縄県)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」、都道府県別死亡データ、部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2017年） 加工：埴岡健一

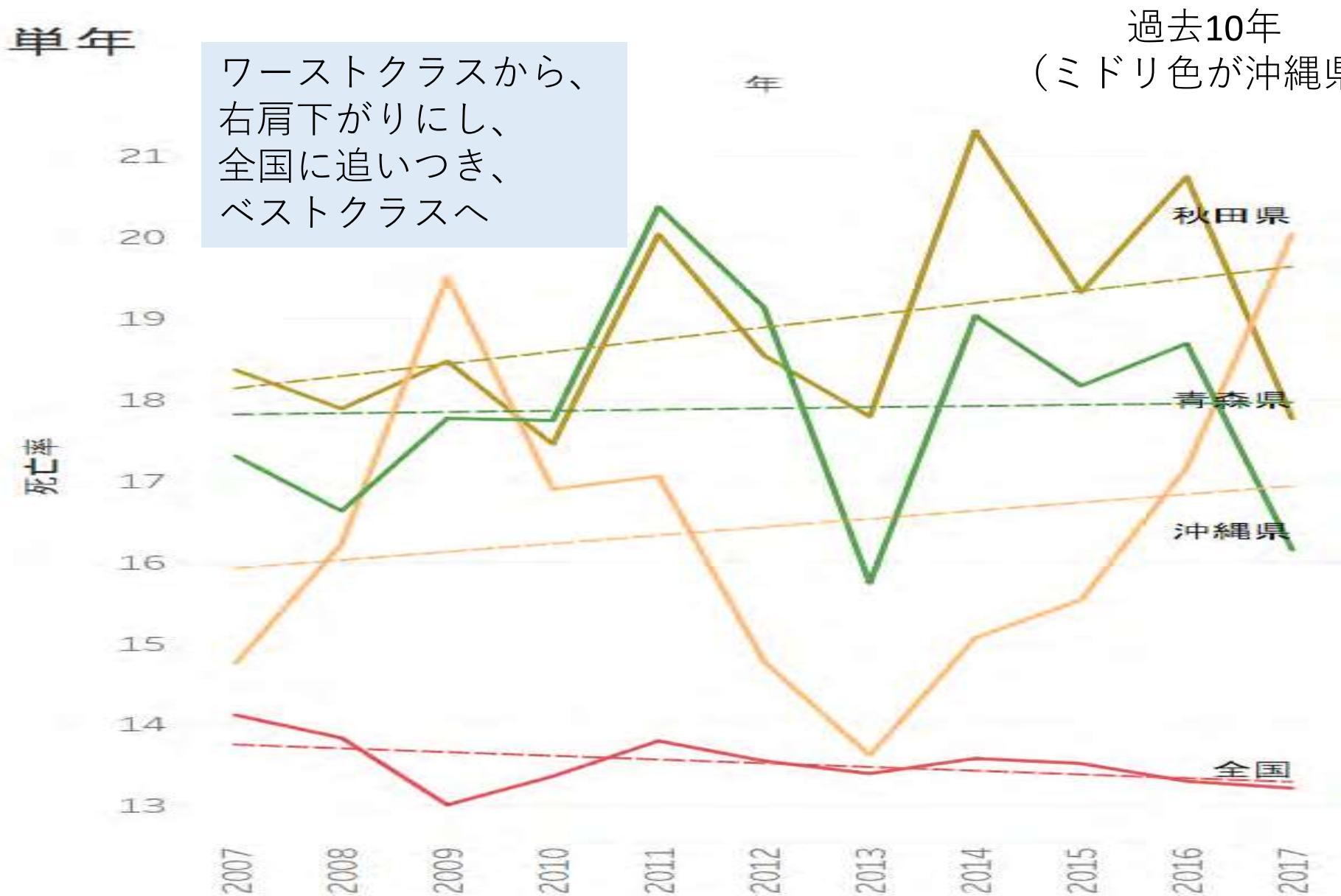
大腸がん（男）75歳未満年齢調整死亡率（傾向線付） 全国、青森県、秋田県、沖縄県

単年

ワーストクラスから、
右肩下がりにし、
全国に追いつき、
ベストクラスへ

年

過去10年
(ミドリ色が沖縄県)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」、都道府県別死亡データ、部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2017年） 加工：埴岡健一

個別施策

初期アウトカム

中間アウトカム

最終アウトカム

個別施策	指標

予防対策	指標
野菜摂取が少ない?	
肥満度、飲酒量を調べる必要あり。	

罹 患	指標
男の罹患率が高い（全国67.9、沖縄86.8）?	
県がん登録データで医療圏分析ができるか?	

死 亡	指標
男の死亡率が高い（全国13.2、沖縄16.2）。中部、南部、八重山でSMR高い?	

個別施策	指標

早期発見対策	指標
受診率がやや低い。 精検受診率が低い。 対象年齢順守が低い。 再勧奨率が低い…? 市町村単位では?	

早期発見	指標
遠隔比率が高い（全国16.6、沖縄21.1）?	

生 存	指標
男の5年相対生存率（全国72.2、沖縄66.7）が低い?	

個別施策	指標

医療の質対策	指標
手術件数が少ない。 外科専門医が少ない? 外科以外の分野は? 施設単位では?	

治 療	指標
男の領域の治療成績が低い（全国72.1、沖縄61.1）?	

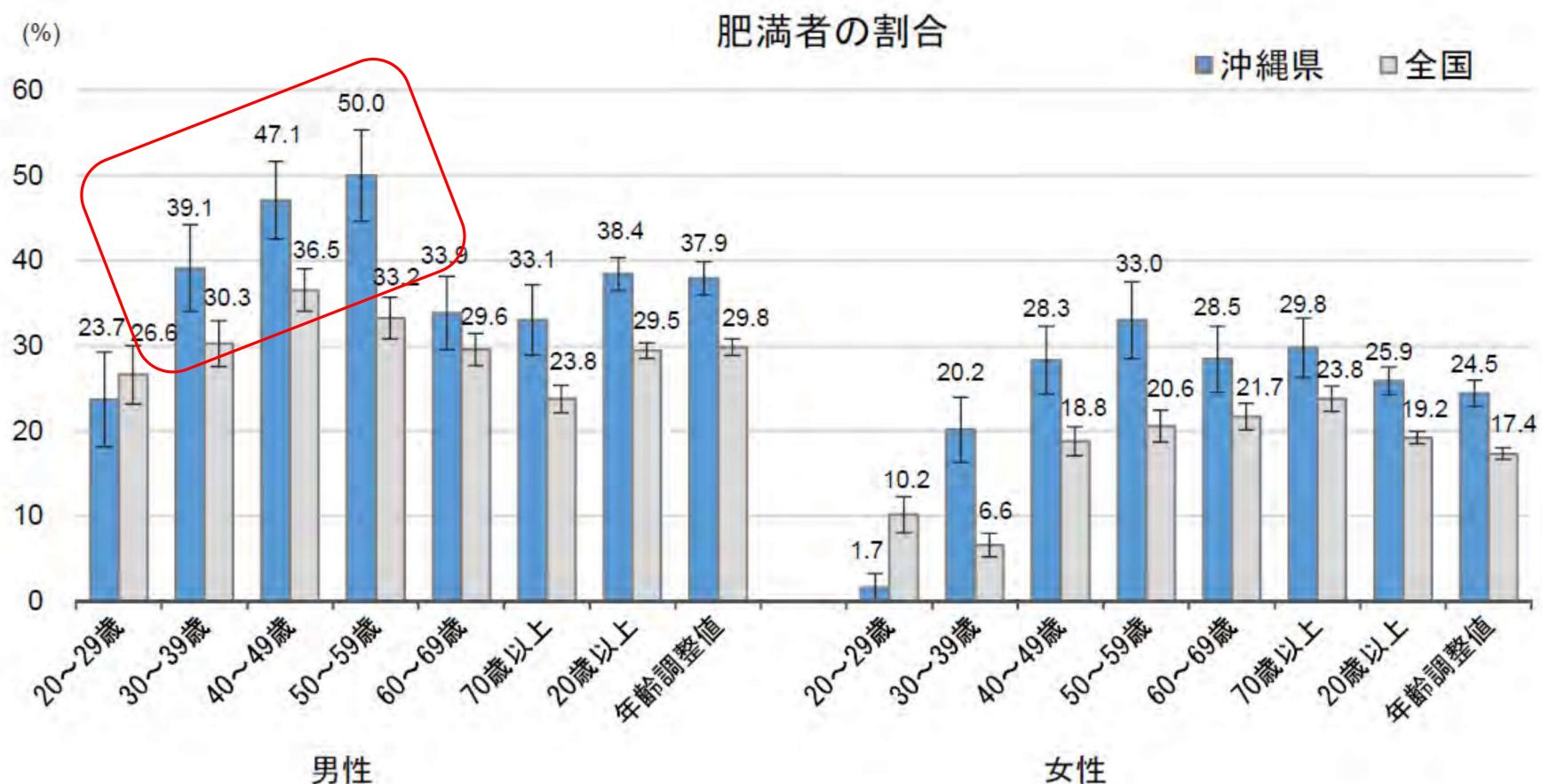
平成 28 年度
県民健康・栄養調査結果の概要



平成 30 年 1 月

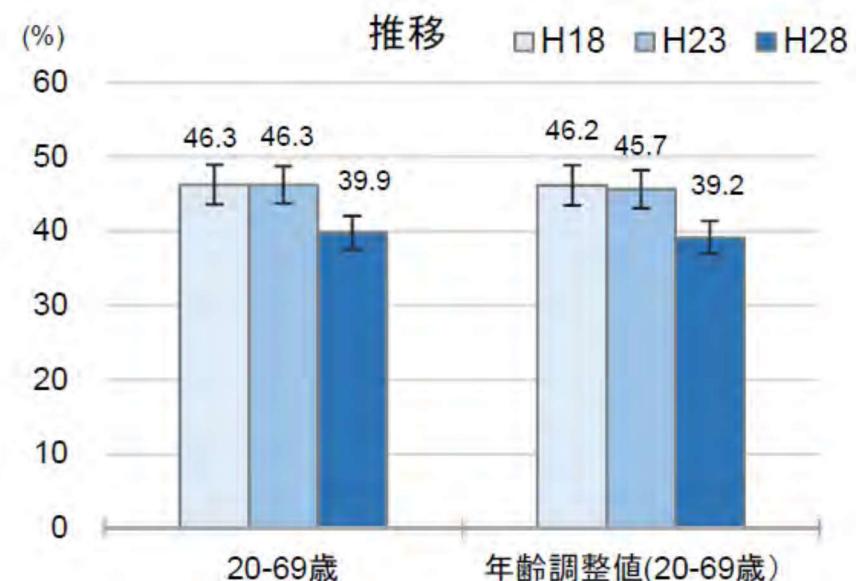
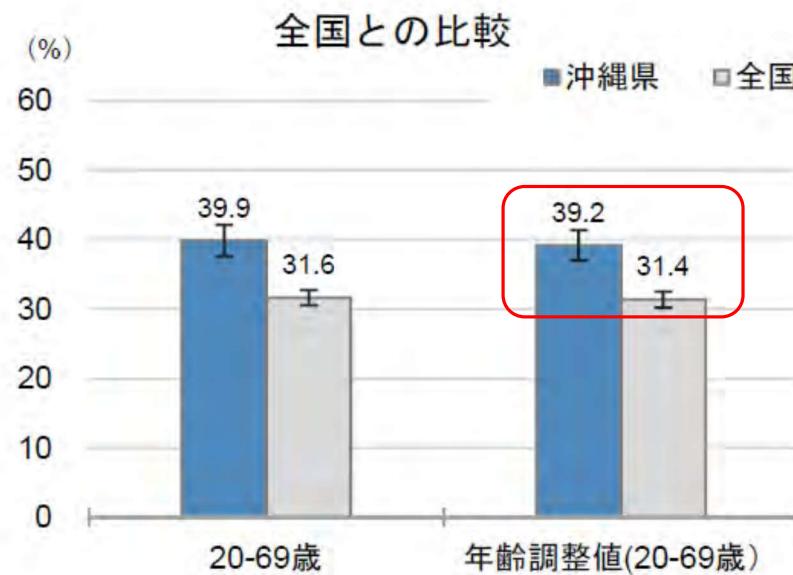
沖縄県保健医療部

20歳以上の肥満者の割合は、男女ともに全国より有意に高い。平成18年からの推移をみると減少傾向にあり、平成28年と平成23年とを比較すると、男女ともに有意に減少している。

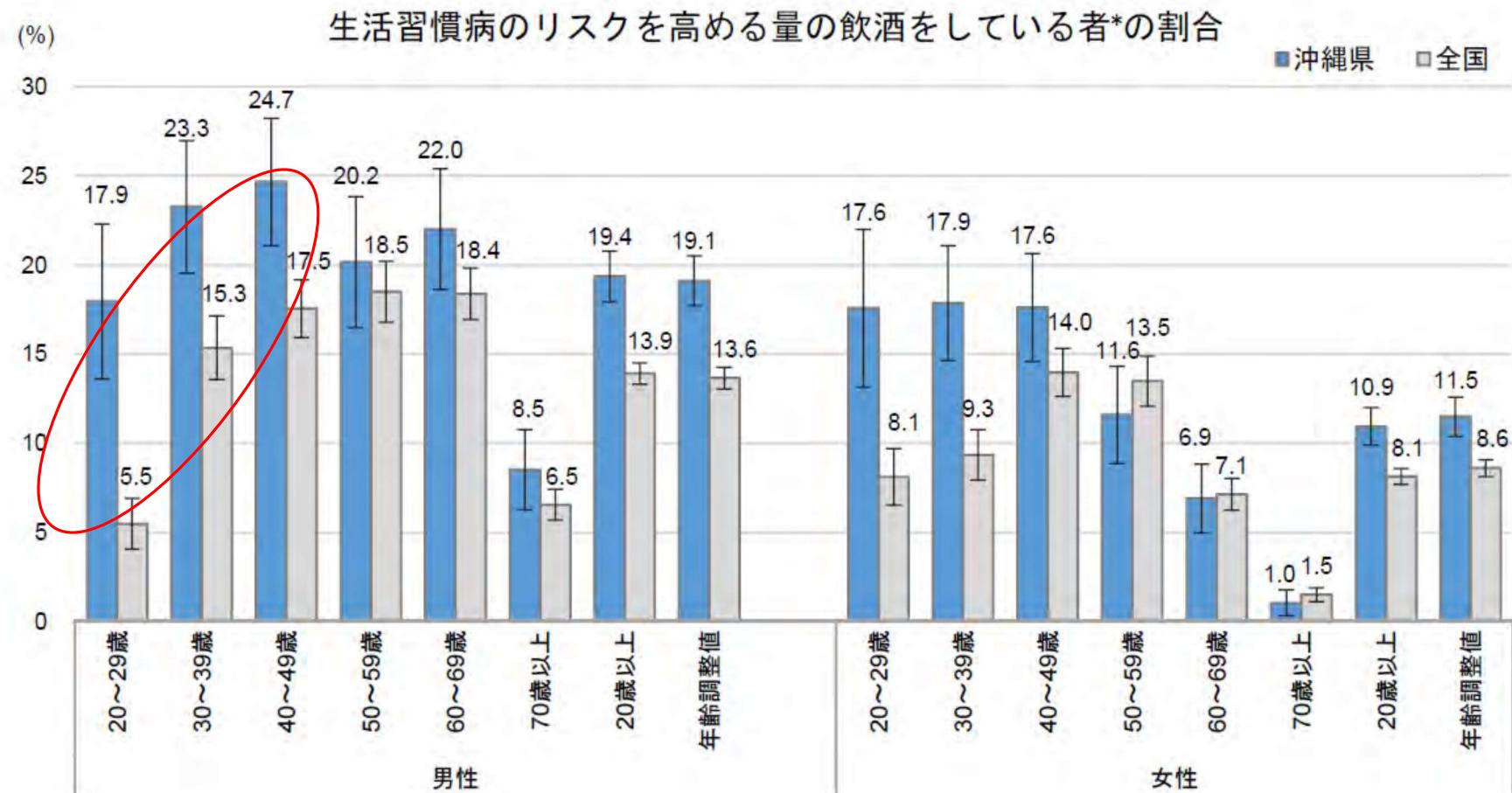


- ・20～69歳男性の肥満の割合は、約4割で、全国より有意に高い。平成23年と比較すると、有意な差はみられない。
- ・40～69歳女性の肥満の割合は、約3割で、全国より有意に高い。平成23年と比較すると、有意に減少した。

20～69歳男性の肥満者の割合



・生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者*の割合は、男性は約2割、女性は約1割であり、全国の割合と比較すると、男女ともに有意に高い。

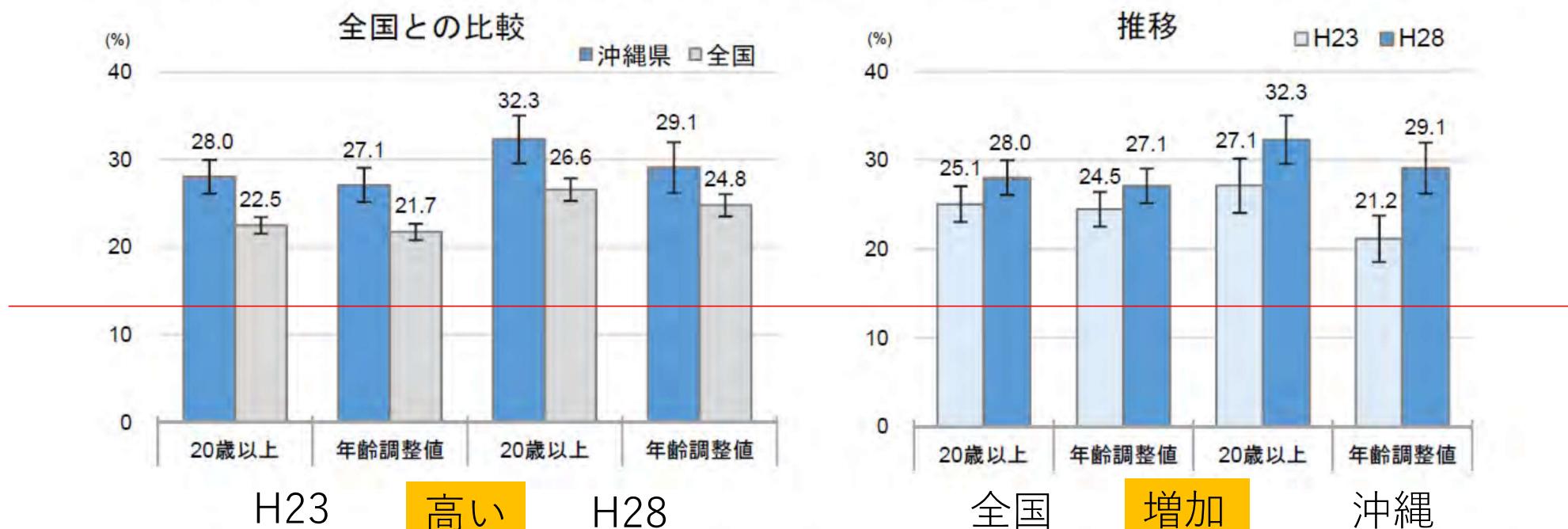


全国の値は、平成27年国民健康・栄養調査。年齢調整値（20歳以上）は、沖縄県・全国とともに平成22年国勢調査男女計人口を基準に年齢調整した値。誤差線は標準誤差で、沖縄県・全国とともに調査人数から算出した。

出典：平成28年度 県民健康・栄養調査結果の概要 平成30年1月 沖縄県保健医療部

【参考】

生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている者の割合(20歳以上)[健康おきなわ21(第2次)の目標値]



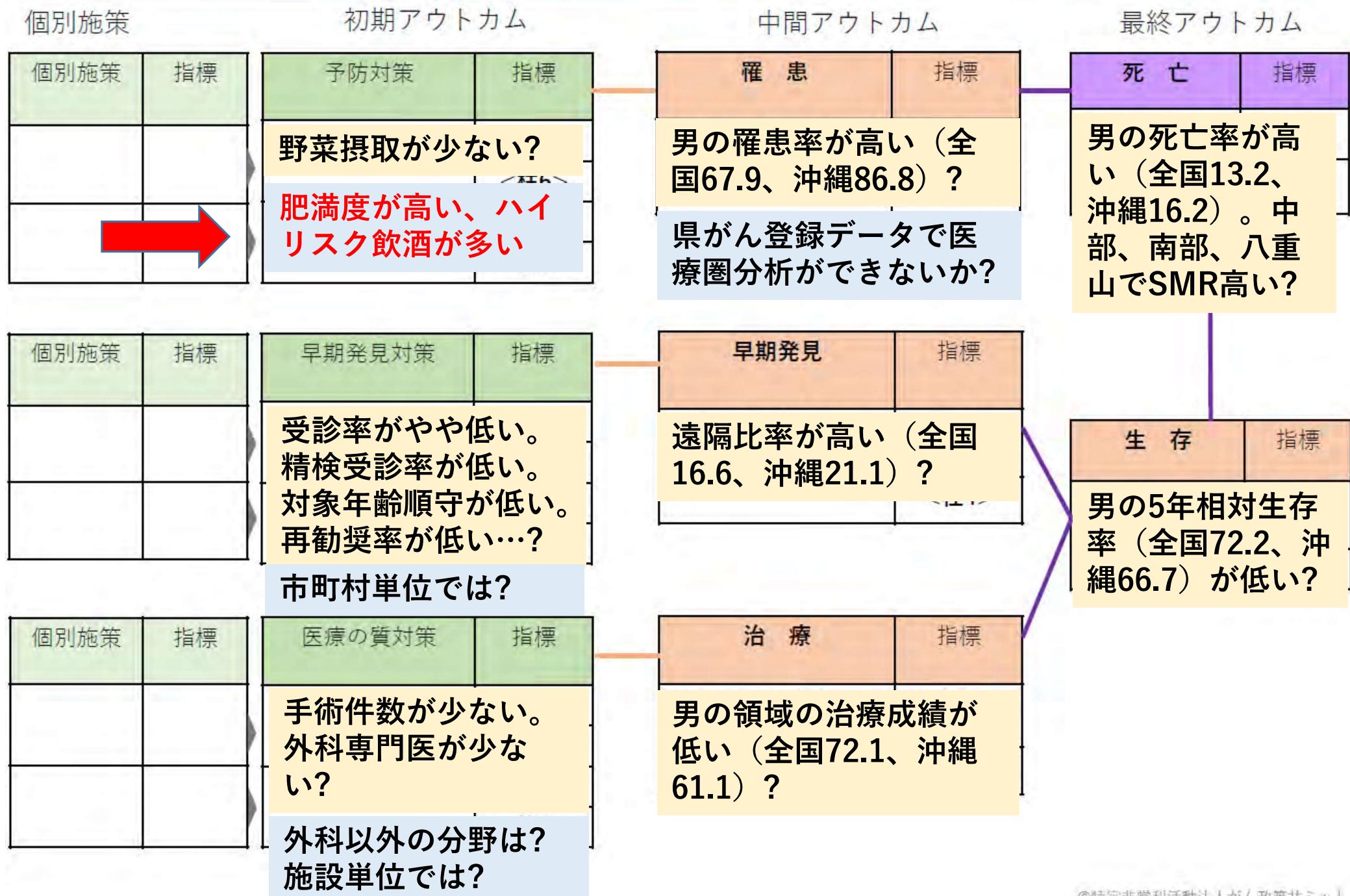
※健康おきなわ21(第2次)目標値は、お酒を「やめた」「ほとんど飲まない」と回答した者を除いた『飲酒する人のうちの生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合』

全国の値は、平成27年国民健康・栄養調査。年齢調整値(20歳以上)は、沖縄県・全国とともに平成22年国勢調査男女計人口を基準に年齢調整した値。誤差線は標準誤差で、沖縄県・全国ともに調査人数から算出した。

参考「健康おきなわ21(第2次)」の目標

生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少

目標値： 男性(40g以上) 13.3%、 女性(20g以上) 15.2%



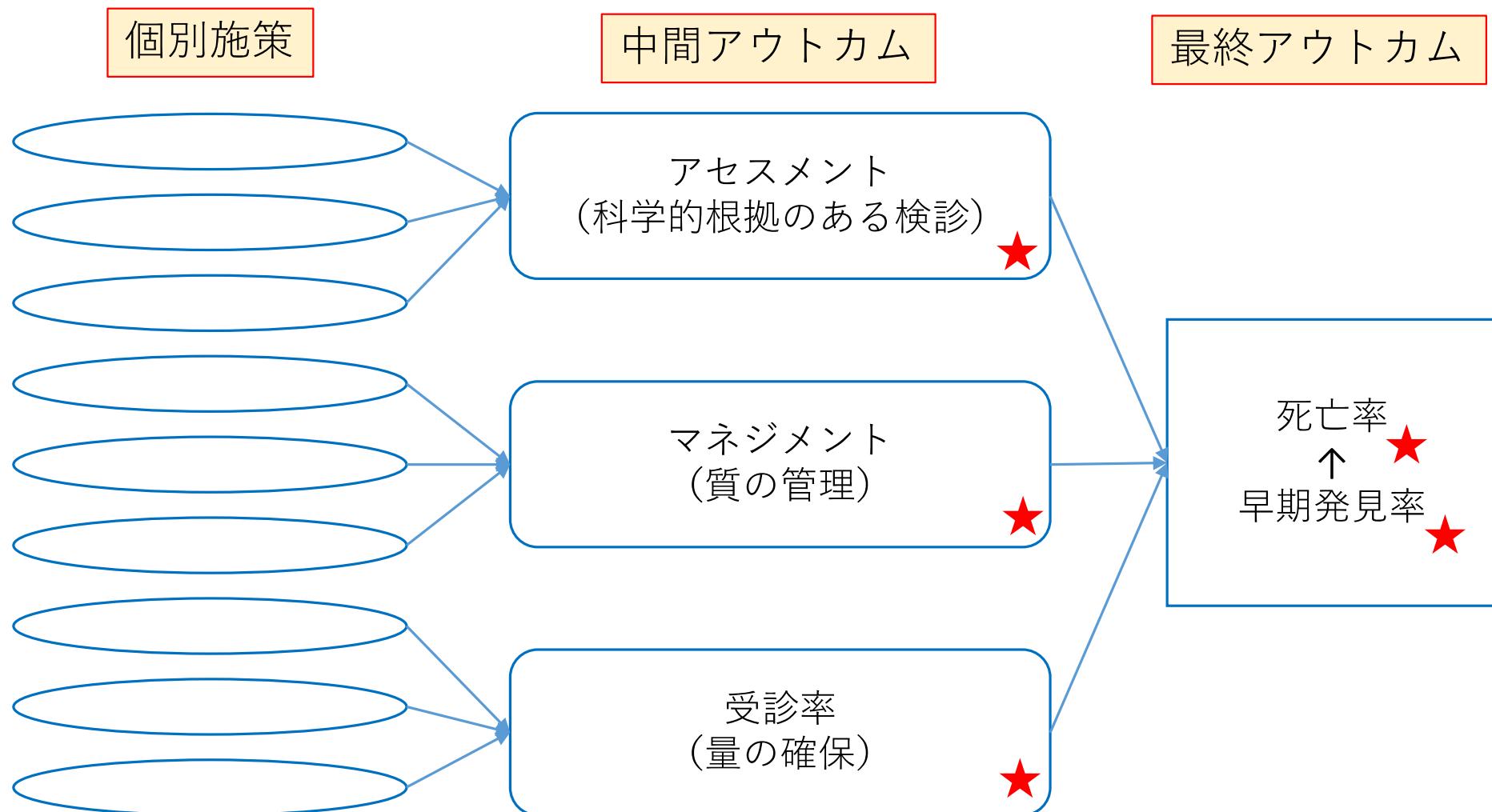
取り上げた項目（定義と判定方針）

	項目	定義	判定
①	ロジックモデルがある	因果関係流れ図	あり=○、準じる表など、あり=△、記載なし=×
②	分野アウトカム目標がある	分野の最終アウトカムに関する目標	明記=○、文章から読み取れる=△、読み取れない=×
③	分野アウトカム目標の指標がある	上記（死亡率、早期発見率）についての指標	目標を設定=○、記載なし=×
④	アセスメント	アセスメントに関する目標	エビデンスのない検診を実施しない=○、エビデンスのある検診を実施する=○、記載なし=×
⑤1	精度管理 精検受診率以外の目標	マネジメント（精検受診率）以外の目標	プロセス指標セットでの設定=○、チェックリストでの設定=○、両方での設定=○、記載なし=×
⑤2	精度管理 精検受診率	マネジメント（精検受診率）の目標	90%超=○、90%=△、90%未満／なし=×
⑥	検診受診率	検診受診率の目標	50%超=○、50%=△、50%未満=×

	①		②		③		④		⑤1		⑤2		⑥		総合
	分野枠組み						(中間) アウトカムに関する具体的な目標の設定								
県名	ロジックモデルがある	備考	分野アウトカム目標がある	備考左の内容	分野アウトカム目標の指標がある	備考左の内容	アセスメント	備考左の内容	精度管理 精検受診率以外の目標	備考左の内容	精度管理 精検受診率	備考左の内容	検診受診率	備考左の内容	ミドリの数
37 香川県	×	—	×	—	×	—	×	—	×	個別目標に「精度管理を十分に行うことで、質の高いがん検診を行うこと」	△	—	△	—	0
38 愛媛県	○×	がん計画にはなし。医療計画のがん分野にロジックモデルあり	○△	がん計画では△。医療計画がん分野では○	○×	がん計画では×。医療計画ロジックモデルにはモニタリング指標として	○	指針に基づかないがん検診について適切に対応	△	がん検診精度管理の充実（現状：全市町で実施）であるが、目標設定は	○	100%	△	—	3.5
39 高知県	×	—	△	冒頭に「がんの早期発見・早期治療につなげ、がんによる死亡者数を減	×	—	○	個別目標欄に「科学的根拠に基づくがん検診を実施する」	○	個別目標に「すべての市町村が精度管理・事業評価を実施する」	△	—	○	50%。ただし40~50歳代の検診率50%と重複	3
40 福岡県	×	—	×	—	×	—	○	個別目標に「科学的根拠に基づくがん検診が実施される」とある。目標	×	—	△	—	△	—	1
41 佐賀県	○×	医療計画のがん分野にロジックモデルあり	△	冒頭に「がんに罹患している疑いのある者や、がんに罹患している者を	○×	医療計画のがん分野には検証指標として「早期がん検査」	×	—	○	チェック至100%、精度管理・事業評価実施率95%以上、検診	△	—	△	—	2
42 長崎県	×	—	△	冒頭に「がんに罹患している人を早めに発見し、必要かつ適切な医療に	×	—	×	—	×	—	△	—	△	—	0
43 熊本県	×	—	△	「がんの早期発見・早期治療につながります」	×	—	×	—	○	精度管理B評価以上市町村（増加）	△	—	○	55%	2
44 大分県	×	—	△	冒頭に、「科学的根拠に基づくがん検診や精密検査の実施は、がんの早期発見につながります」	×	—	○	すべての市町村において、科学的根拠に基づくがん検診が実施される	○	陽性反応の度数、がん発見率を設定	△	—	△	—	2
45 宮崎県	×	—	△	冒頭に「がん検診による早期発見・早期治療が大切です」	×	—	×	—	×	—	○	100%	△	—	1
46 鹿児島県	×	—	△	冒頭に「早期発見体制の充実は極めて重要であり、…進行度が進むにつ	×	—	×	—	×	—	△	—	○	乳がん40歳代、50歳代60%、子宮頸がん20歳代、30歳代60%	1
47 沖縄県	○×	医療計画にがん早期発見のロジックモデル掲載	○	早期診断割合が増加している、死亡率が減少している	○	早期発見率増加、死亡率減少	○	科学的根拠に基づく検診が実施している市町村数41	△	—	△	—	△	—	3.5

ロジックモデルに沿って指標を探す

★印のところに該当する指標のデータセットを作成



分類	定義	出典	原典・注記など
死亡	2016年 大腸がん死亡率（男）（%）（75歳未満、年齢調整、人口10万対）	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2016年）	都道府県別、年別、性別、悪性新生物部位別75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）
生存	5年相対生存率 2006-2008年（男）（%）	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」全国がん罹患モニタリング集計2006-2008生存率報告	
早期発見	臨床進行度分布 限局（男女） 2012年	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」全国がん罹患モニタリング集計2012年罹患数・率報告書	
検診プロセス指標	2014年 大腸がん検診 がん発見率（男）全年齢（%）	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」がん検診に関する統計データのダウンロード3. がん検診のプロセス指標（住民検診）	平成27年度地域保健・健康増進事業報告（平成29年3月8日公表）
検診プロセス指標	2014年 大腸がん検診 精検受診率（男）全年齢（%）	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」がん検診に関する統計データのダウンロード3. がん検診のプロセス指標（住民検診）	平成27年度地域保健・健康増進事業報告（平成29年3月8日公表）
検診プロセス指標	2014年大腸がん検診 要精検率（男）全年齢（%）	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」がん検診に関する統計データのダウンロード3. がん検診のプロセス指標（住民検診）	平成27年度地域保健・健康増進事業報告（平成29年3月8日公表）
検診プロセス指標	2014年大腸がん 陽性反応の中度（男）全年齢（%）	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」がん検診に関する統計データのダウンロード3. がん検診のプロセス指標（住民検診）	平成27年度地域保健・健康増進事業報告（平成29年3月8日公表）
検診マネジメント	都道府県用チェックリスト実施率（住民検診） 大腸がん2016年（集団検診）	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」がん検診に関する統計データのダウンロード2. がん検診の技術体制指標2-1. 都道府県用チェックリスト実施率（住民検診）	国立がん研究センターが実施する「都道府県及び生活習慣病検診等管理指導協議会の活動状況調査」の結果を基に全国、都道府県別の【事業評価のためのチェックリスト（都道府県用）】※1の実施率を集計した。
検診マネジメント	都道府県用チェックリスト実施率（住民検診） 大腸がん2016年（個別検診）	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」がん検診に関する統計データのダウンロード2. がん検診の技術体制指標2-1. 都道府県用チェックリスト実施率（住民検診）	国立がん研究センターが実施する「都道府県及び生活習慣病検診等管理指導協議会の活動状況調査」の結果を基に全国、都道府県別の【事業評価のためのチェックリスト（都道府県用）】※2の実施率を集計した。
検診アセスメント	対象年齢が指針に基づく市区町村割合（%）	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」がん検診に関する統計データのダウンロード1. がん検診の実施状況（住民検診）	厚生労働省が実施する「市区町村におけるがん検診実施状況調査」について、都道府県別、検診部位別、検診方式別に回答市区町村数とその割合を集計した。
検診アセスメント	受診間隔が指針に基づく市区町村割合（%）	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」がん検診に関する統計データのダウンロード1. がん検診の実施状況（住民検診）	厚生労働省が実施する「市区町村におけるがん検診実施状況調査」について、都道府県別、検診部位別、検診方式別に回答市区町村数とその割合を集計した。
検診アセスメント	指針以外の何らかの部位で検診を実施した市区町村の割合（%）	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」がん検診に関する統計データのダウンロード1. がん検診の実施状況（住民検診）	厚生労働省が実施する「市区町村におけるがん検診実施状況調査」について、都道府県別、検診部位別、検診方式別に回答市区町村数とその割合を集計した。
受診率	検診 受診率（男）（%）	平成27年度地域保健・健康増進事業報告 平成27年国勢調査	「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について 報告書」（平成20年3月 がん検診事業の評価に関する委員会）で提案された対象者推計方法を用いて算出しています。
受診率	国民生活基礎調査 検診 受診率（男）（%）	平成28年国民生活基礎調査	熊本県は調査未実施のためデータがありません

*これ以降の数字が公表されている項目もあります

都道府県番号	都道府県	死亡	生存	早期発見	検診プロセス指標	検診プロセス指標	検診プロセス指標	検診プロセス指標	検診マネジメント	検診マネジメント	検診アセスメント	検診アセスメント	受診率	受診率	総合	
		大腸がん死亡率	5年相対生存率	臨床進行度分布(限局)(男女)	がん発見率	精検受診率	要精検率	陽性反応的中度	チェックリスト実施率(集団検診)	チェックリスト実施率(個別検診)	対象年齢が指針に基づく市区町村割合	受診間隔が指針に基づく市区町村割合	指針以外部位検診を実施した市区町村の割合	受診率	国民生活基礎調査検診受診率	黄色の数
0	全国	13.3	72.2	43.2	0.36	65.7	9.8	3.63	63.4	57.0	75.1	99.5	86.5	24.0	42.8	2
15	新潟県	13.3	76.4	44.9	0.52	81.2	8.7	6.00	78.7	70.5	76.7	100	86.7	29.8	50.9	2
16	富山県	11.6	NA	48.5	0.40	73.9	9.2	4.38	70.5	70.5	86.7	100	100	25.9	44.7	2
25	滋賀県	11.5	73.5	46.8	0.47	82.0	8.4	5.58	85.2	85.2	100	100	10.5	18.7	43.3	2
31	鳥取県	12.7	76.1	46.8	0.34	76.4	10.9	3.15	75.4	75.4	84.2	100	89.5	31.5	46.0	2
4	宮城県	12.3	72.1	45.9	0.28	84.3	7.8	3.63	73.8	73.8	80.0	100	100	38.8	52.5	3
18	福井県	14.7	72.5	40.4	0.26	71.1	7.0	3.75	95.1	95.1	70.6	100	70.6	24.7	43.0	3
47	沖縄県	18.7	63.5	41.7	0.23	56.8	8.9	2.52	65.6	60.7	36.6	95.1	43.9	19.2	37.6	9

地域名	二次医療圏名	人口(人)	標準化死亡比(男)	超過死亡数(男)	がん発見数(男) (人)	がん発見率(男) (%)	陽性反応的中率(男) (%)	精検受診率(男) (%)	要精検率(男) (%)	受診率(男) (%)
1 全国		127,094,745	100.0	0	12,544	0.35	3.64	67.2	9.7	6.3
2 沖縄県		1,433,566	115.0	158	89	0.27	2.87	57.3	9.3	6.6
3 北部		101,444	101.7	1	3	0.09	1.07	69.4	8.6	7.8
4 中部		499,000	124.4	83	25	0.25	2.67	54.4	9.3	6.2
5 南部		727,337	113.3	68	50	0.28	2.99	55.3	9.3	6.8
6 宮古		52,380	109.1	5	3	0.35	2.63	68.4	13.2	3.9
7 八重山		53,405	116.8	6	8	0.67	8.16	72.4	8.2	7.2
8 那覇市	南部	319,435	125.5	59	22	0.28	2.81	51.5	9.8	6.6
9 宜野湾市	中部	96,243	114.9	9	5	0.21	1.79	27.5	11.9	6.8
10 石垣市	八重山	47,564	116.8	6	8	0.84	10.26	74.4	8.2	6.6
11 浦添市	南部	114,232	94.6	NA	8	0.34	3.43	48.5	10.0	5.8
12 名護市	北部	61,674	105.9	3	1	0.06	0.74	67.4	8.0	6.9
13 糸満市	南部	58,547	151.0	22	2	0.15	2.04	41.8	7.4	7.3
14 沖縄市	中部	139,279	109.2	8	8	0.39	4.76	79.8	8.2	6.0
15 豊見城市	南部	61,119	92.6	NA	1	0.10	1.04	91.7	9.2	4.8
16 うるま市	中部	118,898	163.7	57	6	0.33	3.41	64.2	9.6	4.4
17 宮古島市	宮古	51,186	109.1	5	3	0.38	2.86	69.5	13.2	3.6
18 南城市	南部	42,016	100.5	0	3	0.23	2.40	66.4	9.5	7.5
19 国頭郡国頭村	北部	4,908	142.7	3	0	0.00	0.00	70.4	10.2	11.0
20 国頭郡大宜味村	北部	3,060	NA	NA	0	0.00	0.00	57.1	8.5	9.4
21 国頭郡東村	北部	1,720	NA	NA	0	0.00	0.00	60.0	5.3	14.4
22 国頭郡今帰仁村	北部	9,531	89.5	NA	0	0.00	0.00	77.8	7.6	8.7
23 国頭郡本部町	北部	13,536	81.3	NA	2	0.60	5.41	67.6	11.1	5.9
24 国頭郡恩納村	中部	10,652	116.9	2	1	0.26	2.63	76.3	9.9	10.8

地域名	二次医療圏名	人口(人)	標準化死亡比(男)	超過死亡数(男)	がん発見数(男) (人)	がん発見率(男) (%)	陽性反応的中率(男) (%)	精検受診率(男) (%)	要精検率(男) (%)	受診率(男) (%)
25 国頭郡宜野座村	中部	5,597	103.0	0	0	0.00	0.00	55.6	7.3	15.4
26 国頭郡金武町	中部	11,232	90.7	NA	0	0.00	0.00	60.9	9.5	11.5
27 国頭郡伊江村	北部	4,260	NA	NA	0	0.00	0.00	77.8	9.7	8.8
28 中頭郡読谷村	中部	39,504	98.3	NA	3	0.27	3.90	70.1	7.0	6.1
29 中頭郡嘉手納町	中部	13,685	162.7	7	0	0.00	0.00	33.3	9.3	7.1
30 中頭郡北谷町	中部	28,308	132.6	6	1	0.17	2.08	45.8	8.0	7.3
31 中頭郡北中城村	中部	16,148	105.9	1	1	0.40	7.14	57.1	5.6	4.5
32 中頭郡中城村	中部	19,454	66.0	NA	0	0.00	0.00	63.9	8.4	7.7
33 中頭郡西原町	南部	34,508	114.6	3	2	0.21	2.50	60.0	8.3	8.1
34 島尻郡与那原町	南部	18,410	94.2	NA	2	0.38	3.92	47.1	9.6	8.9
35 島尻郡南風原町	南部	37,502	75.2	NA	4	0.39	5.06	62.0	7.7	7.8
36 島尻郡渡嘉敷村	南部	730	NA	NA	0	0.00	0.00	75.0	13.8	10.5
37 島尻郡座間味村	南部	870	NA	NA	0	0.00	0.00	75.0	5.3	19.3
38 島尻郡粟国村	南部	759	NA	NA	0	0.00	0.00	28.6	18.4	14.6
39 島尻郡渡名喜村	南部	430	NA	NA	1	4.35	25.00	100.0	17.4	8.6
40 島尻郡南大東村	南部	1,329	NA	NA	0	0.00	0.00	77.8	12.5	7.1
41 島尻郡北大東村	南部	629	NA	NA	2	6.67	40.00	40.0	16.7	13.4
42 島尻郡伊平屋村	北部	1,238	NA	NA	0	0.00	0.00	77.8	8.9	15.6
43 島尻郡伊是名村	北部	1,517	NA	NA	0	0.00	0.00	77.8	10.5	15.1
44 島尻郡久米島町	南部	7,755	47.9	NA	1	0.29	3.13	56.3	9.4	9.9
45 島尻郡八重瀬町	南部	29,066	106.2	1	2	0.25	3.23	58.1	7.7	7.9
46 宮古郡多良間村	宮古	1,194	NA	NA	0	0.00	0.00	55.6	12.5	14.6
47 八重山郡竹富町	八重山	3,998	NA	NA	0	0.00	0.00	53.3	8.3	11.8
48 八重山郡与那国町	八重山	1,843	NA	NA	0	0.00	0.00	100.0	7.8	12.7

●大腸がん検診 沖縄県 集団検診 チェックリスト順守率

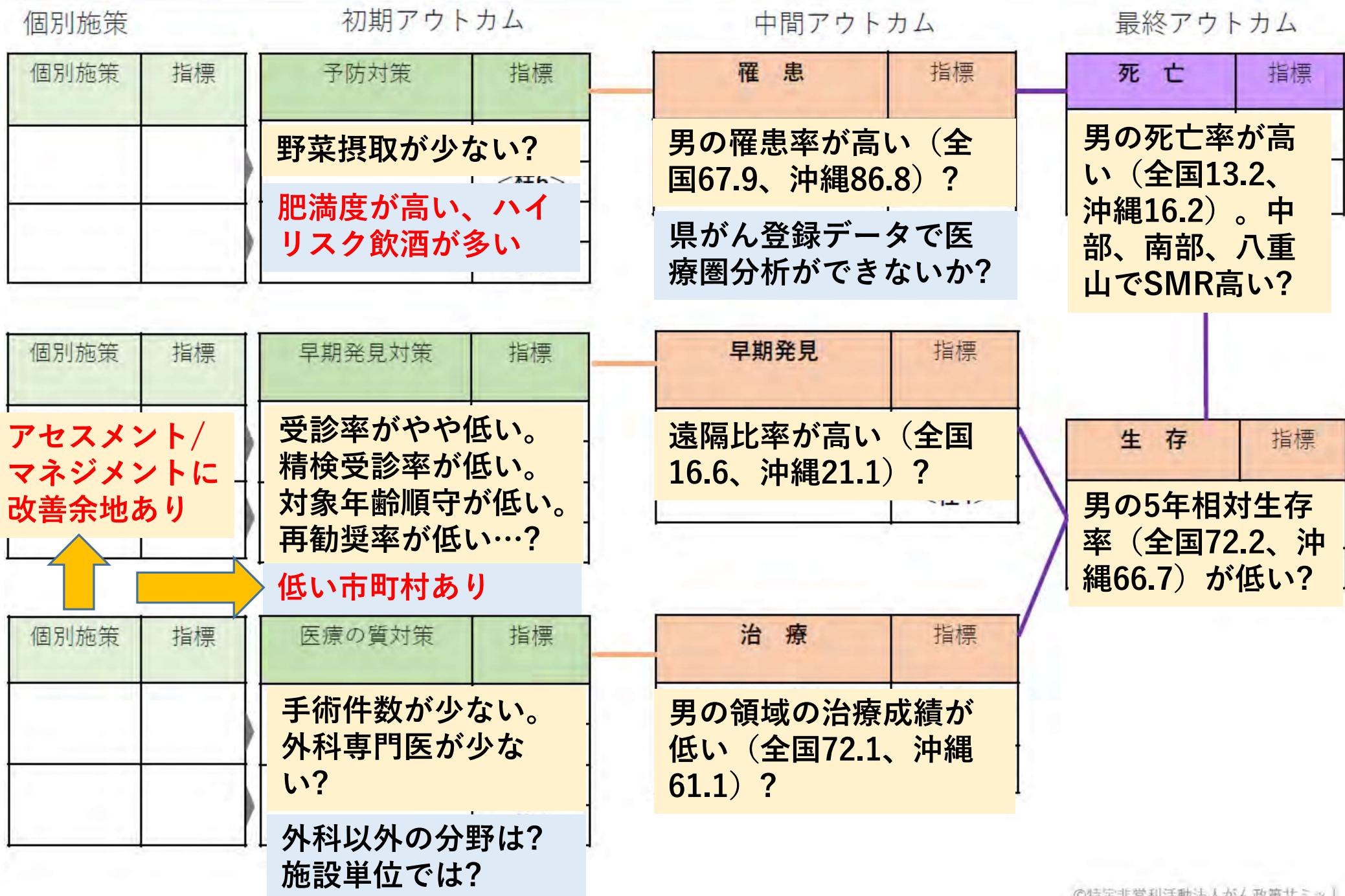
出典:「市区町村用チェックリスト実施率(住民検診)」

自治体名	2016年	2017年	自治体名	2016年	2017年
全国	71.2	75.6	読谷村	34.6	23.1
沖縄県	49.0	54.9	嘉手納町	75.0	75.0
那覇市	65.4	92.3	北谷町	80.8	88.5
宜野湾市	78.8	76.9	北中城村	63.5	78.8
石垣市	61.5	63.5	中城村	30.8	48.1
浦添市	75.0	75.0	西原町	17.3	19.2
名護市	84.6	86.5	与那原町	17.3	23.1
糸満市	36.5	44.2	南風原町	42.3	50.0
沖縄市	69.2	71.2	渡嘉敷村	25.0	30.8
豊見城市	46.2	48.1	座間味村	—	63.5
うるま市	86.5	86.5	粟国村	9.6	7.7
宮古島市	75.0	67.3	渡名喜村	65.4	NA
南城市	13.5	NA	南大東村	88.5	88.5
国頭村	48.1	42.3	北大東村	13.5	9.6
大宜味村	—	75.0	伊平屋村	78.8	75.0
東村	—	42.3	伊是名村	32.7	67.3
今帰仁村	NA	67.3	久米島町	—	36.5
本部町	59.6	61.5	八重瀬町	—	—
恩納村	34.6	32.7	多良間村	23.1	46.2
宜野座村	—	36.5	竹富町	—	57.7
金武町	61.5	53.8	与那国町	38.5	38.5
伊江村	25.0	NA			

●大腸がん検診 沖縄県 個別検診 チェックリスト順守率

出典:「市区町村用チェックリスト実施率(住民検診)」

自治体名	2016年	2017年	自治体名	2016年	2017年
全国	60.8	64.0	読谷村	28.8	21.2
沖縄県	43.2	50.9	嘉手納町	5.8	NA
那覇市	65.4	92.3	北谷町	63.5	88.5
宜野湾市	78.8	76.9	北中城村	67.3	67.3
石垣市	NA	NA	中城村	25.0	30.8
浦添市	75.0	75.0	西原町	17.3	19.2
名護市	NA	NA	与那原町	17.3	25.0
糸満市	38.5	44.2	南風原町	38.5	50.0
沖縄市	NA	NA	渡嘉敷村	NA	NA
豊見城市	46.2	48.1	座間味村	—	NA
うるま市	NA	NA	粟国村	NA	NA
宮古島市	75.0	67.3	渡名喜村	NA	NA
南城市	13.5	NA	南大東村	NA	NA
国頭村	NA	NA	北大東村	NA	NA
大宜味村	—	NA	伊平屋村	NA	NA
東村	—	NA	伊是名村	NA	NA
今帰仁村	NA	NA	久米島町	—	NA
本部町	59.6	59.6	八重瀬町	—	—
恩納村	30.8	28.8	多良間村	NA	NA
宜野座村	—	NA	竹富町	—	NA
金武町	59.6	46.2	与那国町	NA	NA
伊江村	NA	NA			



項目番	連番	表	項目分類	指標名	SPO	全国	北部	中部	南部	宮古	八重山
1	1793	A表	人口	人口		128057352	101272	478619	707219	53270	52438
2	1858	A表	標準化死亡比	総数 男性	0	100.0	83.1	90.8	90.5	97.0	102.0
3	1861	A表	標準化死亡比	総数 女性	0	100.0	77.1	88.9	91.1	98.8	76.3
4	1864	A表	標準化死亡比	胃 男性	0	100.2	54.9	48.2	52.2	63.5	86.0
5	1867	A表	標準化死亡比	胃 女性	0	100.5	51.1	54.5	55.6	45.2	74.0
6	1870	A表	標準化死亡比	大腸 男性	0	100.3	101.7	124.4	113.3	109.1	116.8
7	1873	A表	標準化死亡比	大腸 女性	0	100.4	64.9	88.9	93.5	111.6	71.5
8	1876	A表	標準化死亡比	肝及び肝内胆管 男性	0	100.6	65.5	65.1	71.6	91.0	56.1
9	1879	A表	標準化死亡比	肝及び肝内胆管 女性	0	101.7	62.6	75.5	81.7	112.1	36.5
10	1882	A表	標準化死亡比	気管、気管支及び肺 男性	0	100.0	91.6	105.3	99.9	94.0	112.2
11	1885	A表	標準化死亡比	気管、気管支及び肺 女性	0	100.5	86.4	109.4	96.9	121.6	54.6
12	2618	NDBSCR	入院	EGFR遺伝子検査（リアルタイムPCR法）	P	12,503	63.3	82.1	107.2		
13	3994	NDBSCR	外来	EGFR遺伝子検査（リアルタイムPCR法）	P	12075	44.0	84.9	30.4		
14	2617	NDBSCR	入院	EGFR遺伝子検査（リアルタイムPCR法以外）	P	16,097	32.8	86.0	51.2	29.0	
15	3993	NDBSCR	外来	EGFR遺伝子検査（リアルタイムPCR法以外）	P	14162		55.0	20.1	16.6	
16	3673	NDBSCR	入院	HER2タンパク	P	56,663	29.5	94.0	73.0	51.3	4.8
17	5243	NDBSCR	外来	HER2タンパク	P	67420	110.1	107.8	134.0	7.2	
18	2619	NDBSCR	入院	RAS遺伝子検査	P	11,824	22.2	50.8	36.1	58.9	
19	3995	NDBSCR	外来	RAS遺伝子検査	P	10024	157.6	103.2	54.7		
20	3672	NDBSCR	入院	エストロジエンレセプター	P	52,657	27.0	112.8	68.6	23.3	5.1
21	5242	NDBSCR	外来	エストロジエンレセプター	P	72926	104.8	128.3	130.4		
22	3665	NDBSCR	入院	ガンマナイフによる定位放射線治療	P	12,647			223.0		
23	3315	NDBSCR	入院	がん患者リハビリテーション料	P	213,474	97.0	235.0	152.2	23.4	58.1
24	2540	NDBSCR	入院	がん患者指導管理料（医師・看護師が心理的不安軽減のため面接）	P	19,468		14.2	231.5	264.4	
25	3796	NDBSCR	外来	がん患者指導管理料（医師・看護師が心理的不安軽減のため面接）	P	46196		23.9	113.7	138.2	
26	2539	NDBSCR	入院	がん患者指導管理料（医師と看護師の共同診療方針等を文書等で提供）	P	20,125	13.1	14.0	171.9	34.7	
27	3795	NDBSCR	外来	がん患者指導管理料（医師と看護師の共同診療方針等を文書等で提供）	P	45603	11.8	53.8	86.2	160.6	
28	3797	NDBSCR	外来	がん患者指導管理料（医師等が抗悪性腫瘍剤の必要性等を文書説明）	P	104321		28.1	60.6		
29	3844	NDBSCR	外来	がん治療連携管理料	P	14120		299.5			
30	3843	NDBSCR	外来	がん治療連携指導料	P	93685	2.9	0.3	351.2	25.3	
31	2403	NDBSCR	入院	がん診療連携拠点病院加算	P	210,164		29.9	82.1		

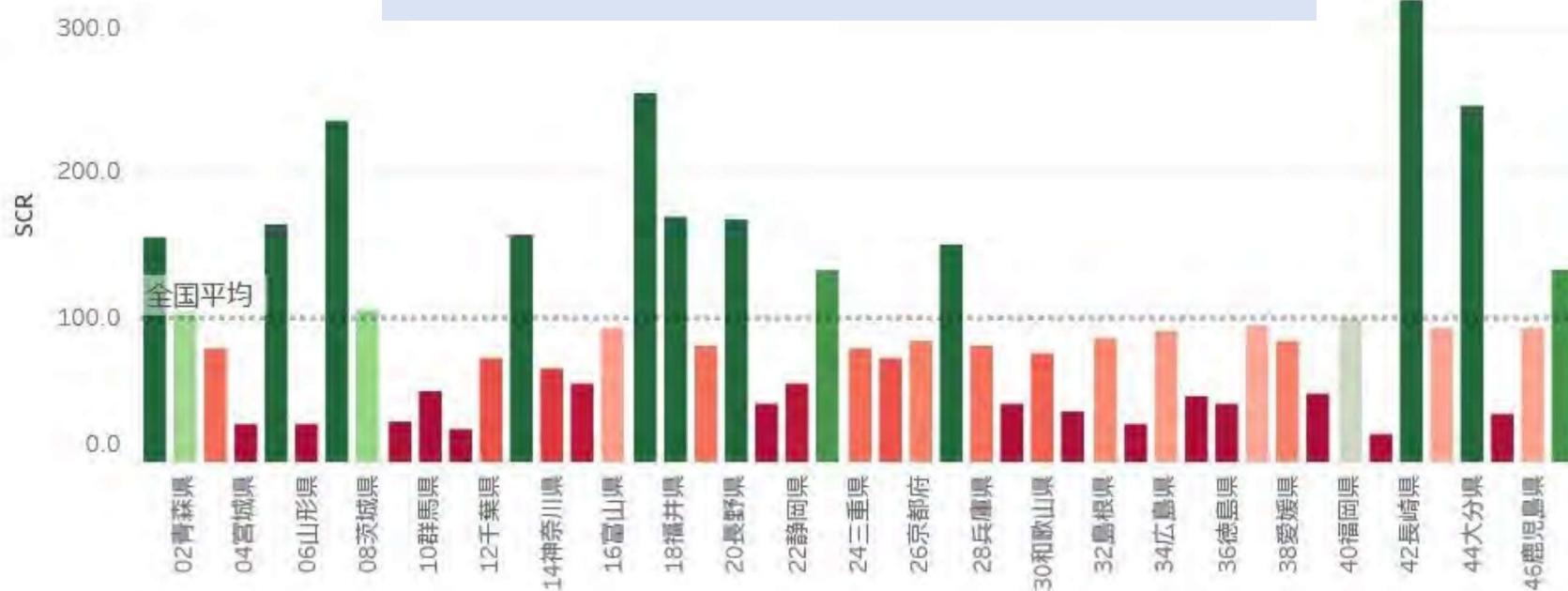
項目番	連番	表	項目分類	指標名	SPO	全国	北部	中部	南部	宮古	八重山
32	2537	NDBSCR	入院	がん性疼痛緩和指導管理料（1以外の場合）	P	50,978	12.7	93.8	61.3	35.5	
33	3791	NDBSCR	外来	がん性疼痛緩和指導管理料（1以外の場合）	P	48516		57.0	45.9	152.3	11.3
34	2538	NDBSCR	入院	がん性疼痛緩和指導管理料（緩和ケアに係る研修を受けた保険医）	P	106,190		80.6	43.5	2.1	2.6
35	3792	NDBSCR	外来	がん性疼痛緩和指導管理料（緩和ケアに係る研修を受けた保険医）	P	140738		76.8	65.7	6.6	
36	2545	NDBSCR	入院	悪性腫瘍特異物質治療管理料（その他・1項目）	P	243,797	26.4	80.6	64.4	48.4	48.3
37	3820	NDBSCR	外来	悪性腫瘍特異物質治療管理料（その他・1項目）	P	4367568	20.7	72.6	84.4	48.7	39.6
38	2547	NDBSCR	入院	悪性腫瘍特異物質治療管理料（その他・2項目以上）	P	704,648	24.0	66.0	60.3	63.8	40.2
39	3822	NDBSCR	外来	悪性腫瘍特異物質治療管理料（その他・2項目以上）	P	7357983	43.8	56.0	71.0	47.7	39.7
40	3819	NDBSCR	外来	悪性腫瘍特異物質治療管理料（尿中BTA）	P	25217			3.5		
41	2569	NDBSCR	入院	医療機器安全管理料（放射線治療計画策定）	P	81,479		51.6	139.0		
42	3853	NDBSCR	外来	医療機器安全管理料（放射線治療計画策定）	P	85637		74.0	125.7		
43	3668	NDBSCR	入院	画像誘導放射線治療加算	P	40,893		126.6	313.4		
44	5239	NDBSCR	外来	画像誘導放射線治療加算	P	65419		72.8	184.1		
45	5231	NDBSCR	外来	外来放射線治療加算	P	194853		69.3	122.1		
46	4821	NDBSCR	外来	抗悪性腫瘍剤処方管理加算（処方せん料）	P	1332965	60.3	66.0	114.7		136.1
47	4814	NDBSCR	外来	抗悪性腫瘍剤処方管理加算（処方料）	P	345819	5.4	136.4	61.4		5.6
48	3936	NDBSCR	外来	在宅悪性腫瘍患者指導管理料	P	10650	279.4	8.8	49.8		
49	2546	NDBSCR	入院	腫瘍マーカー検査初回月加算	P	189,583	44.4	69.0	68.4	60.3	67.0
50	3821	NDBSCR	外来	腫瘍マーカー検査初回月加算	P	563407	44.1	78.2	75.3	65.2	42.1
51	3666	NDBSCR	入院	体外照射（IMRT）（1回目）	P	15,363		61.4	574.7		
52	5237	NDBSCR	外来	体外照射（IMRT）（1回目）	P	36498		13.3	289.3		
53	3664	NDBSCR	入院	体外照射（高エネルギー放射線治療）（1回目）（4門以上の照射）	P	61,713		79.4	99.5		
54	5236	NDBSCR	外来	体外照射（高エネルギー放射線治療）（1回目）（4門以上の照射）	P	85539		126.2	52.6		
55	3662	NDBSCR	入院	体外照射（高エネルギー放射線治療）（1回目）（非対向2門照射）	P	29,141		70.6	19.5		
56	5234	NDBSCR	外来	体外照射（高エネルギー放射線治療）（1回目）（非対向2門照射）	P	59804		38.8	130.8		
57	3658	NDBSCR	入院	放射線治療管理料（4門以上の照射）	P	35,921		73.4	98.1		
58	5228	NDBSCR	外来	放射線治療管理料（4門以上の照射）	P	42351		120.8	46.9		
59	5229	NDBSCR	外来	放射線治療管理料（IMRTによる体外照射）	P	15232		14.9	309.9		
60	3657	NDBSCR	入院	放射線治療管理料（非対向2門照射）	P	17,211		67.0	107.7		
61	5226	NDBSCR	外来	放射線治療管理料（非対向2門照射）	P	28912		43.2	184.3		
62	3659	NDBSCR	入院	放射線治療専任加算	P	81,704		55.4	163.7		

項目番	連番	表	項目分類	指標名	SPO	全国	北部	中部	南部	宮古	八重山
63	5230	NDBSCR	外来	放射線治療専任加算	P	99247		77.8	109.7		
64	2075	A表	医療施設従事医師数	呼吸器外科専門医	S	1324	2	6	5	0	1
65	2077	A表	医療施設従事医師数	乳腺専門医	S	1169	0	1	13	0	0
66	2079	A表	医療施設従事医師数	消化器外科専門医	S	5989	4	8	27	2	2
67	2089	A表	医療施設従事医師数	放射線科専門医	S	5300	3	14	41	2	2
68	2091	A表	医療施設従事医師数	病理専門医	S	1541	1	4	11	0	1
69	2094	A表	医療施設従事医師数	細胞診専門医	S	1767	0	5	11	0	0
70	2097	A表	医療施設従事医師数	消化器内視鏡専門医	S	11910	3	26	60	1	3
71	2101	A表	医療施設従事医師数	気管支鏡専門医	S	1566	0	3	4	1	1
72	2102	A表	医療施設従事医師数	核医学専門医	S	798	0	2	6	0	0
73	2104	A表	医療施設従事医師数	婦人科腫瘍専門医	S	574	0	3	4	0	0
74	2108	A表	医療施設従事医師数	がん薬物療法専門医	S	842	1	0	4	0	0
75	1260	A表	病院数（重複計）	外来化学療法室施設数	S	1763	1	4	10	2	1
76	1279	A表	病院数（重複計）	緩和ケア病棟有 施設数	S	366	0	1	3	0	0
77	1282	A表	病院数（重複計）	緩和ケアチーム有 施設数	S	992	1	4	7	0	0
78	1440	A表	一般診療所数（重複）	外来化学療法 施設数	S	420	0	1	3	0	0
79	1470	A表	病院数（重複計）	放射線治療計画装置 台数	S	1719	0	3	11	0	0
80	1479	A表	病院数（重複計）	放射線治療（腔内・組織内照射） 施設数	S	183	0	0	1	0	0
81	1481	A表	病院数（重複計）	R A L S 施設数	S	163	0	0	1	0	0
82	1483	A表	病院数（重複計）	IMRT（強度変調照射）等の高精度照射 施設数	S	309	0	1	5	0	0

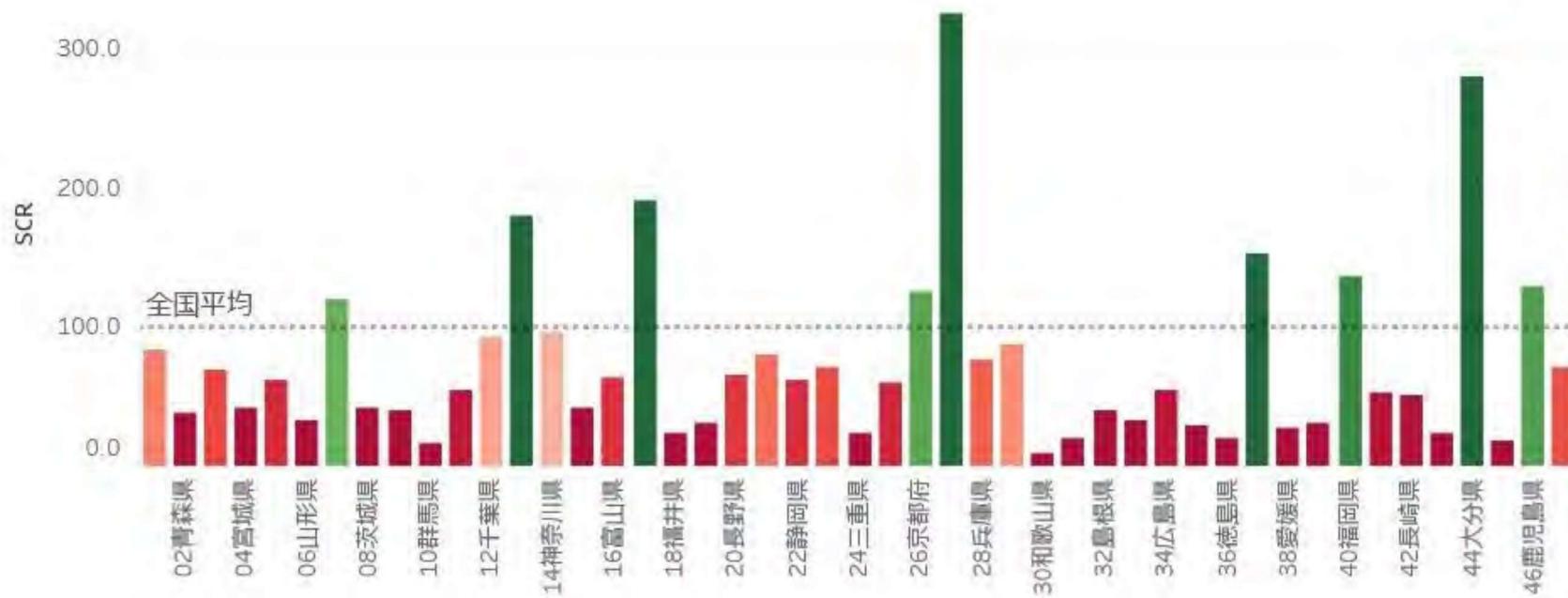
- ・ A表とあるのは「全国地域別・病床機能情報等データベース」のA表からとった
- ・ 連番は、NDBSCRと上記をつなげたときの連番
- ・ 統合データセット（Excel）をご希望の方は、メールにてご連絡ください
- ・ O=アウトカム指標、P=プロセス指標、S=ストラクチャー指標
- ・ イタリックの数字は生数字（標準化など調整を行っていない）

都道府県別(入院)

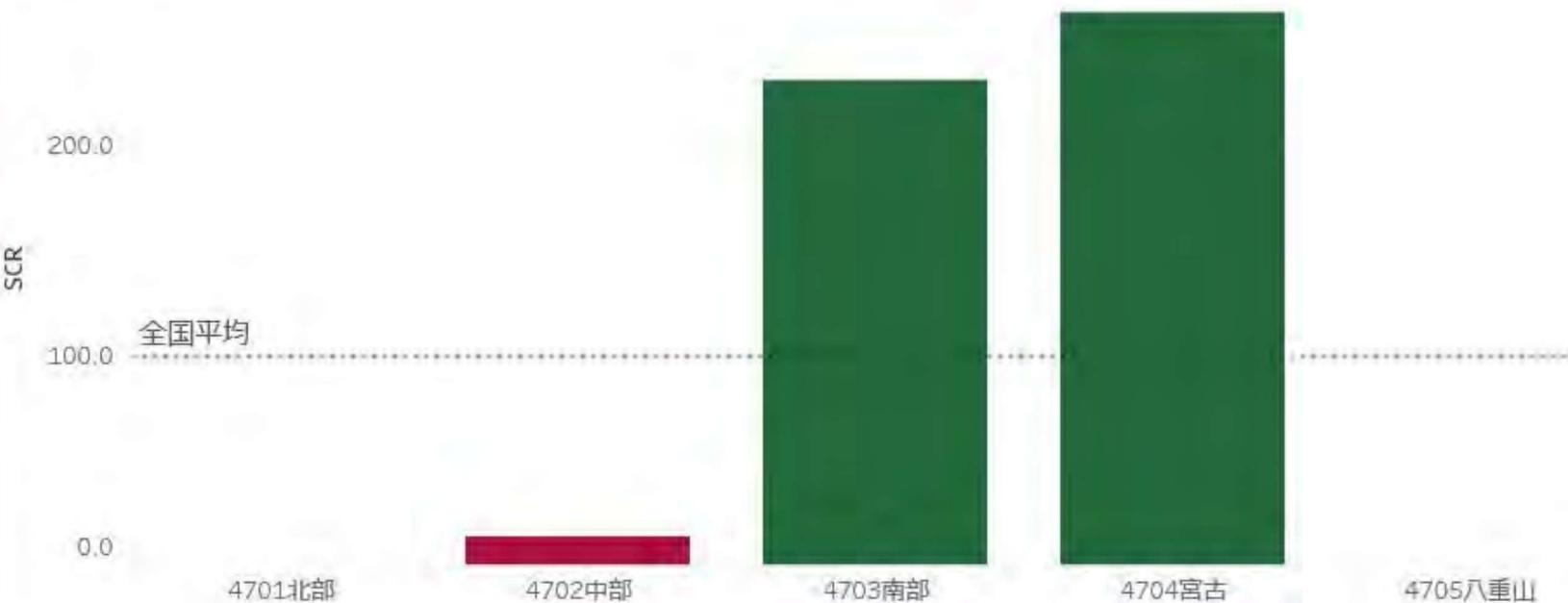
2017年8月4日沖縄県がん診療連携協議会資料
36枚の図のうち18枚を再掲



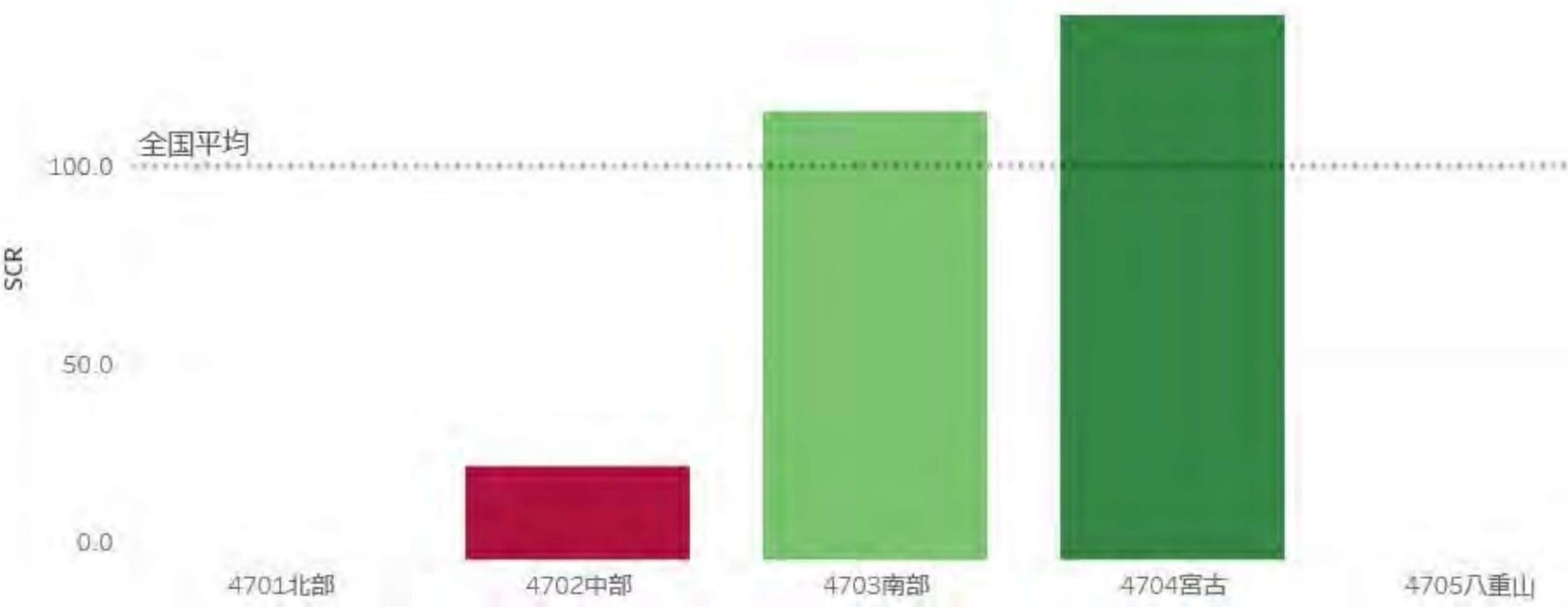
都道府県別(外来)

出典：NDBデータ由来の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)

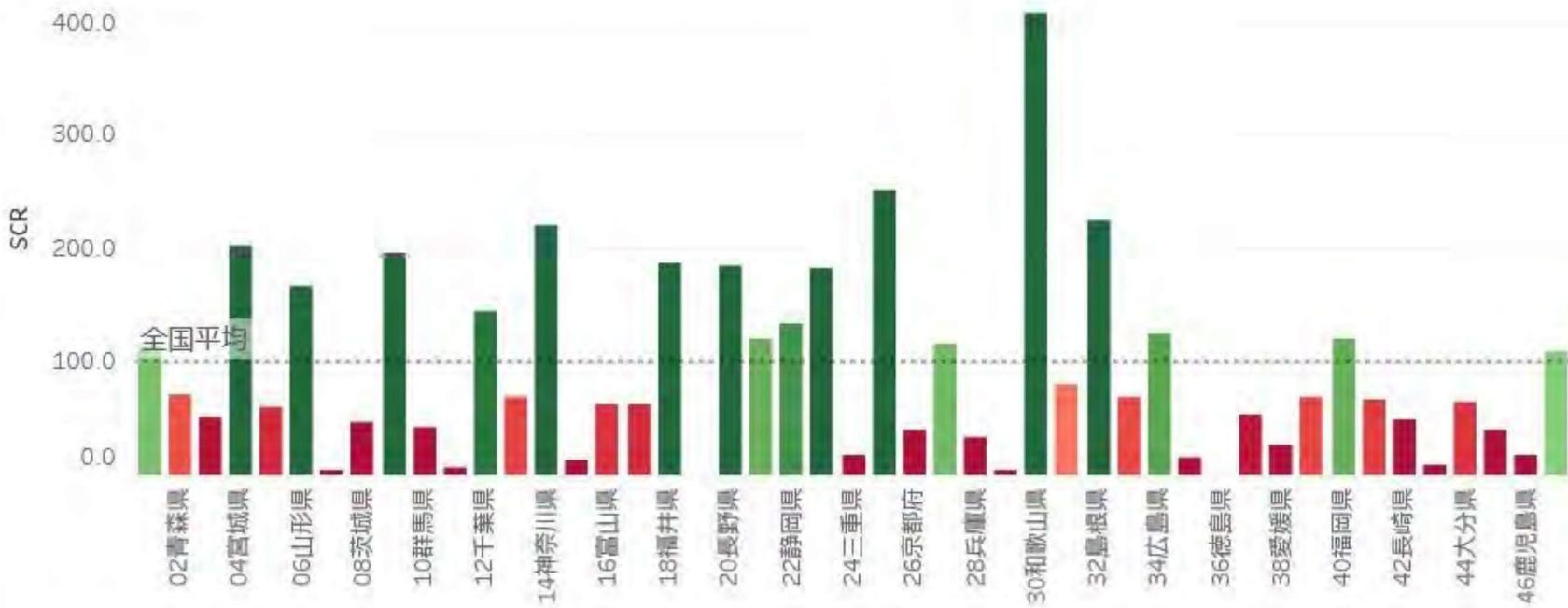
二次医療圏別(入院)



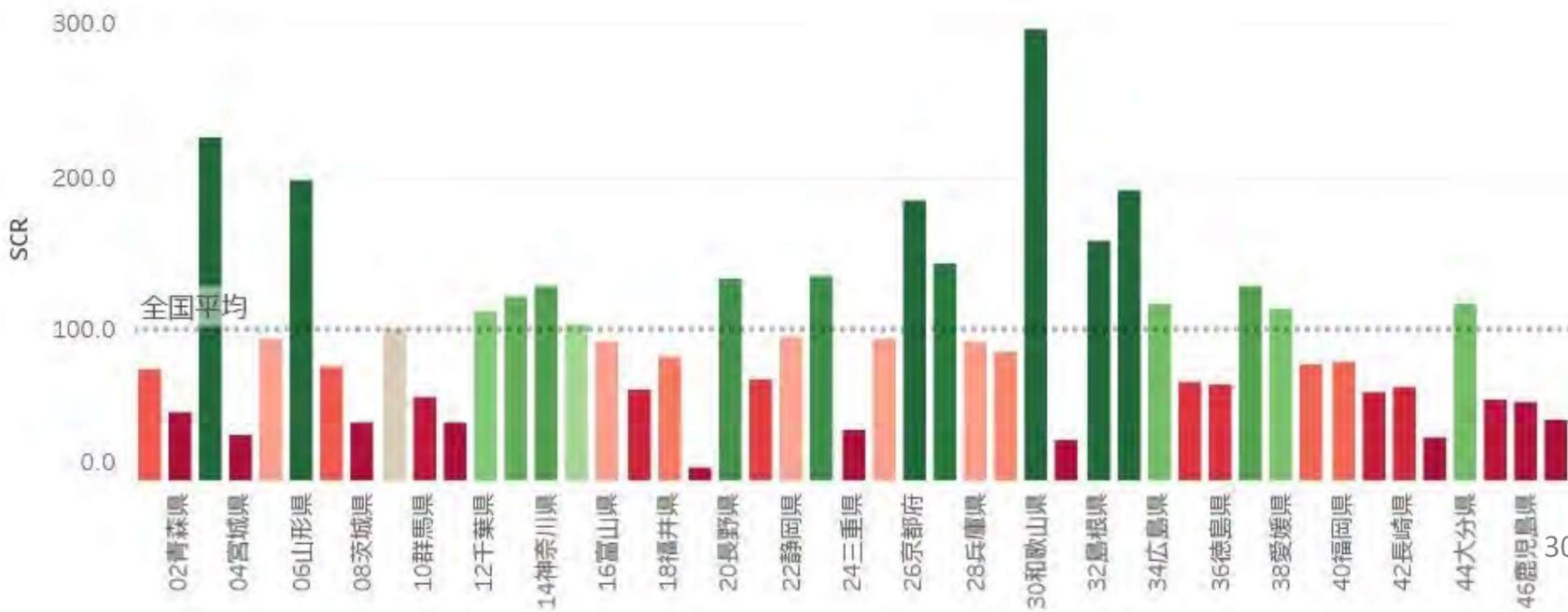
二次医療圏別(外来)

出典：NDBデータ由来の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)

都道府県別(入院)



都道府県別(外来)

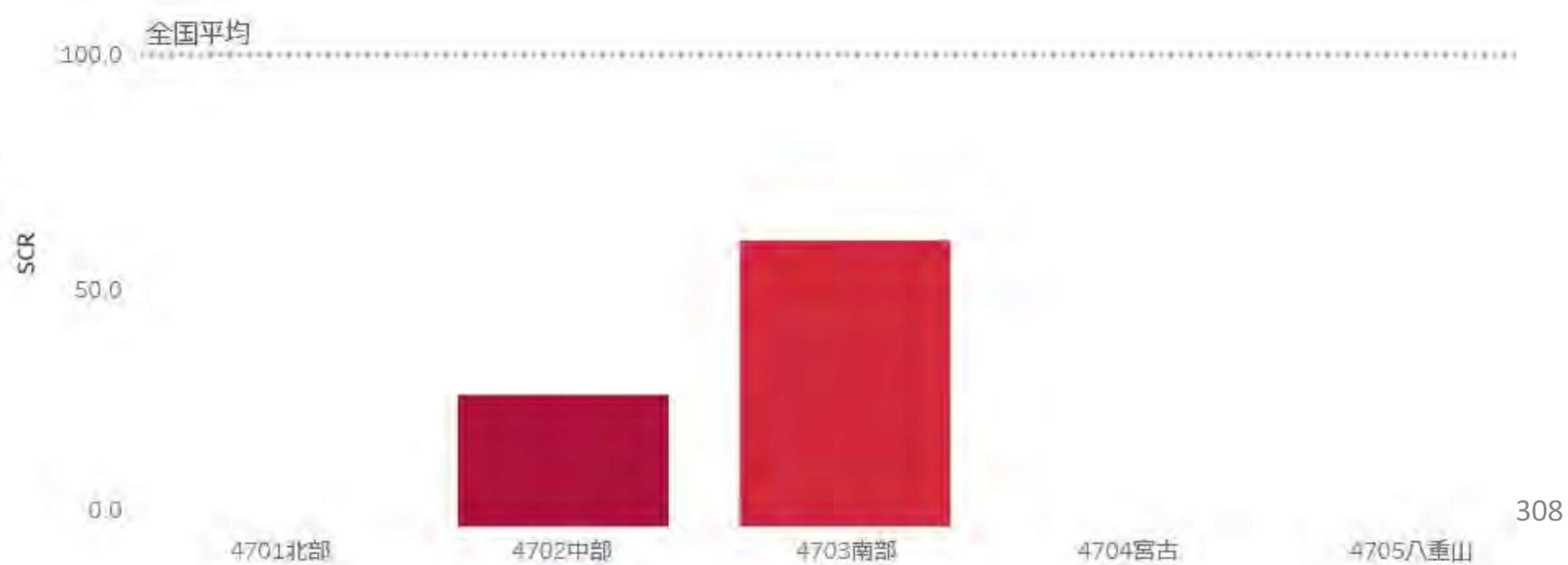


出典：NDBデータ由来の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)

二次医療圏別(入院)

二次医療圏別(外来)

出典：NDBデータ由来の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)

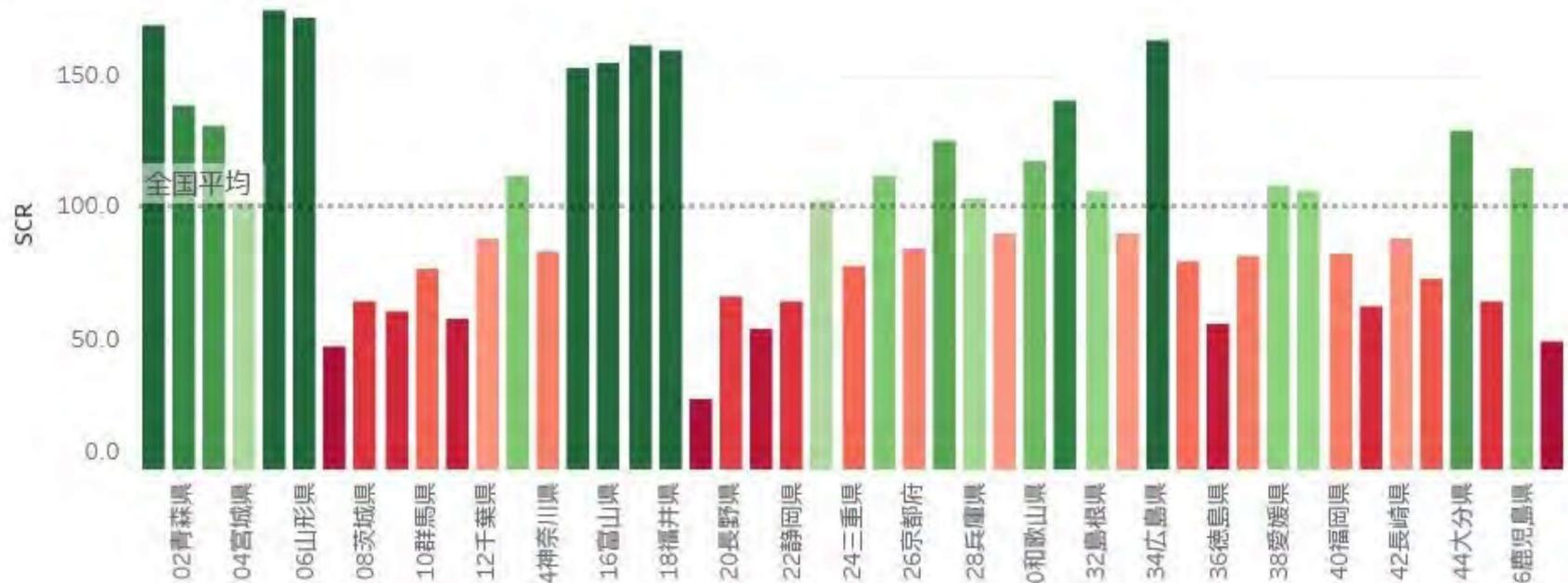


2017年8月4日沖縄県がん診療連携協議会資料再掲

診療行為名

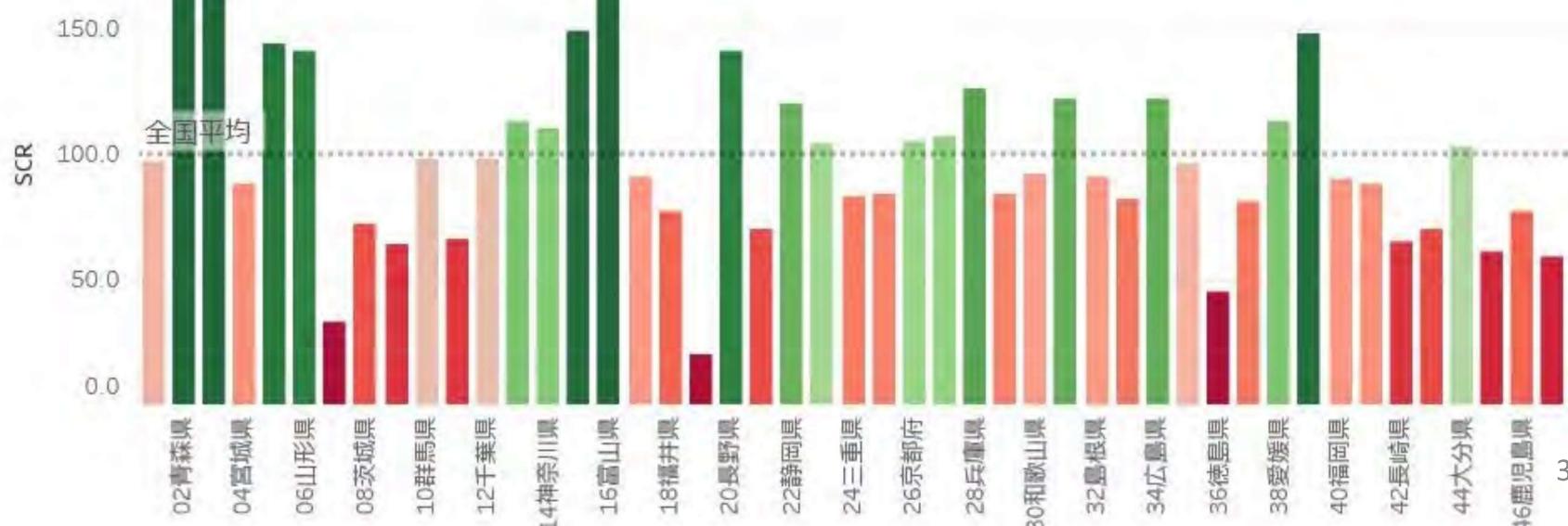
B医学管理等_がん性疼痛緩和指導管理料（緩和ケアに係る研修を受けた保険医）

都道府県別(入院)

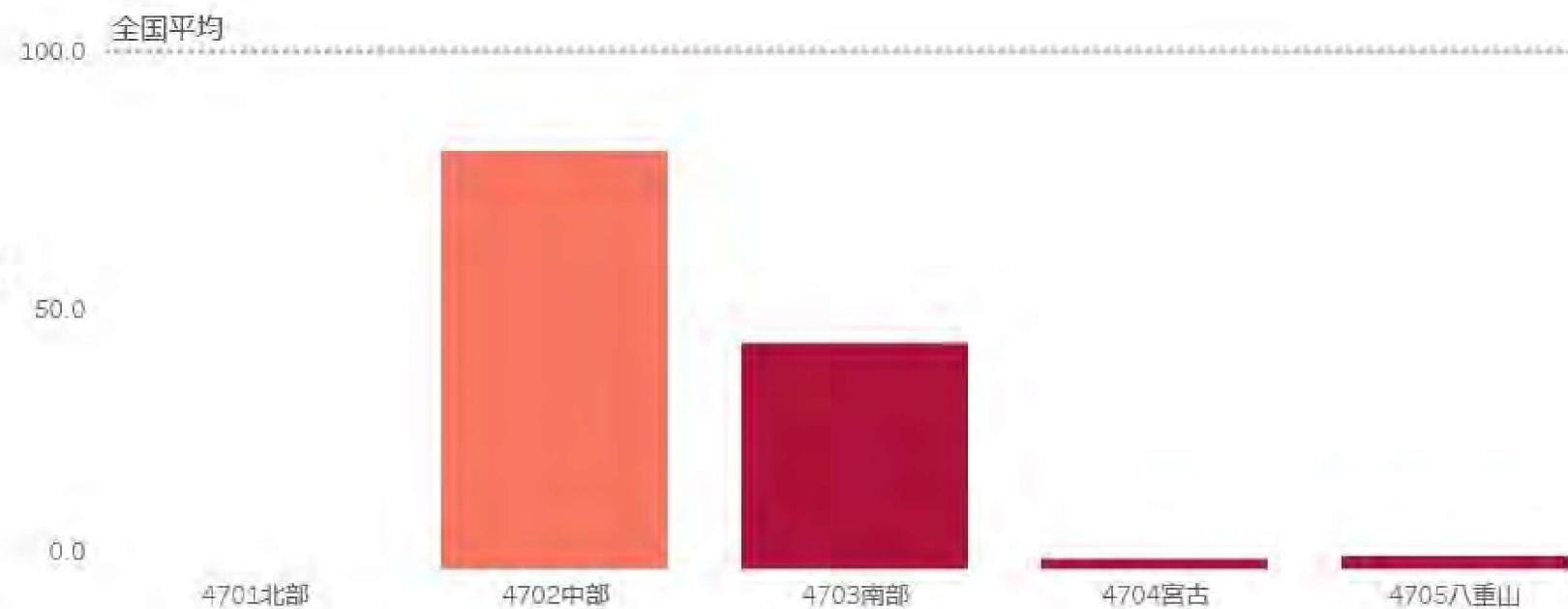


都道府県別(外来)

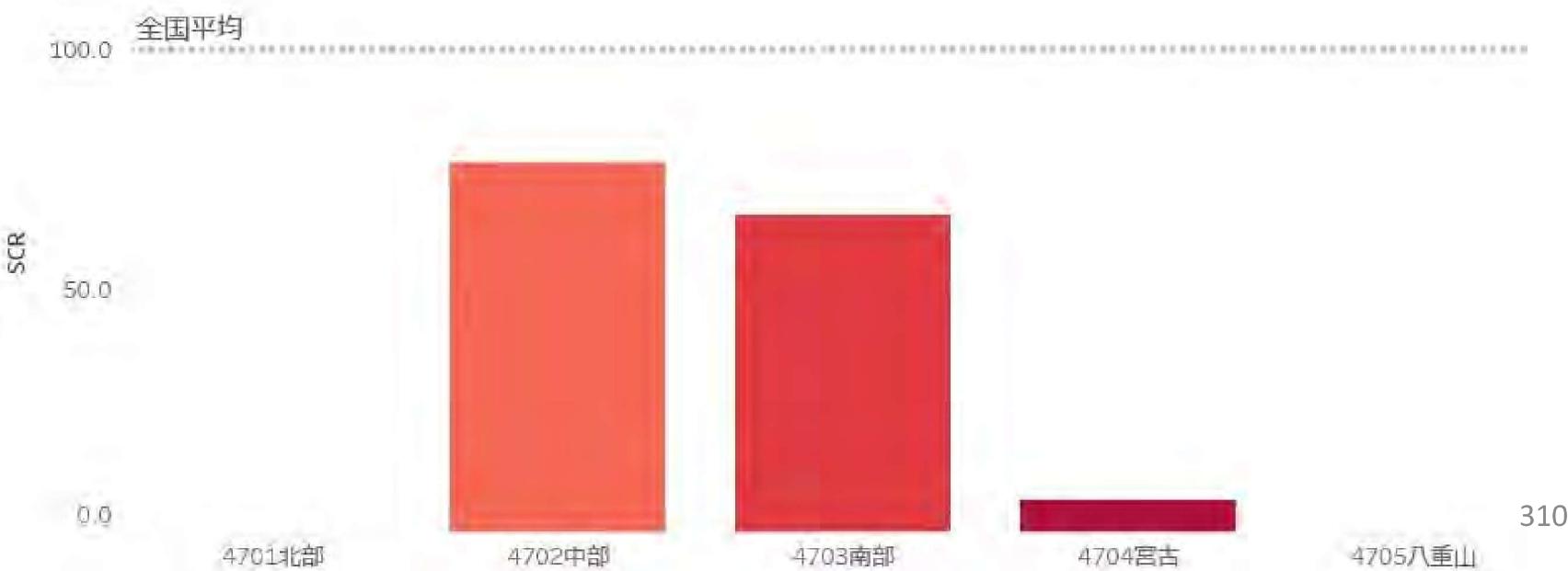
出典：NDBデータ由来の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)



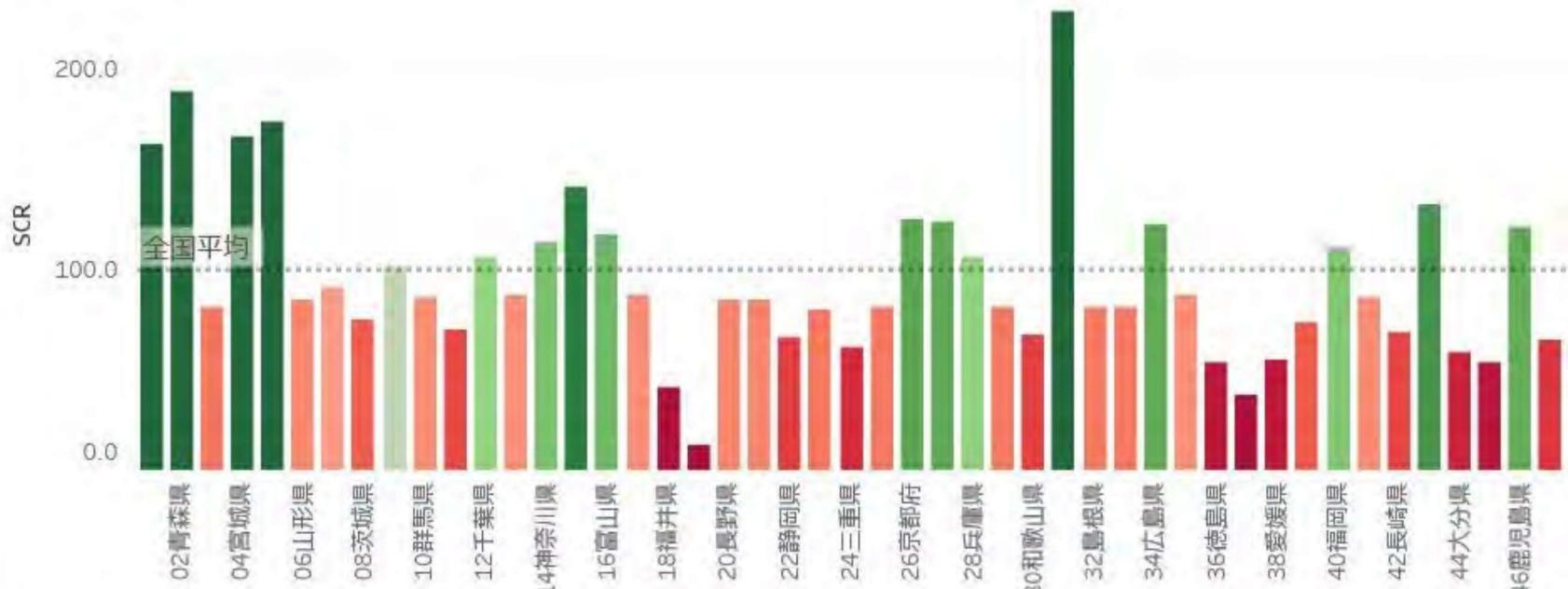
二次医療圏別(入院)



二次医療圏別(外来)

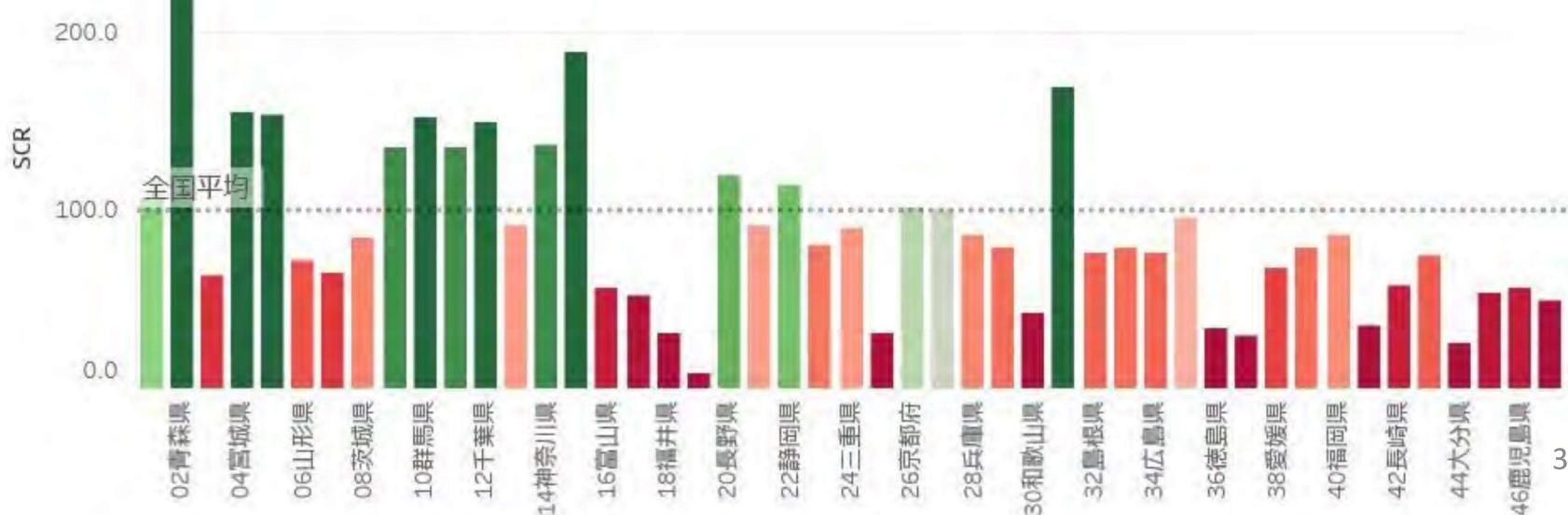
出典：NDBデータ由来の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)

都道府県別(入院)

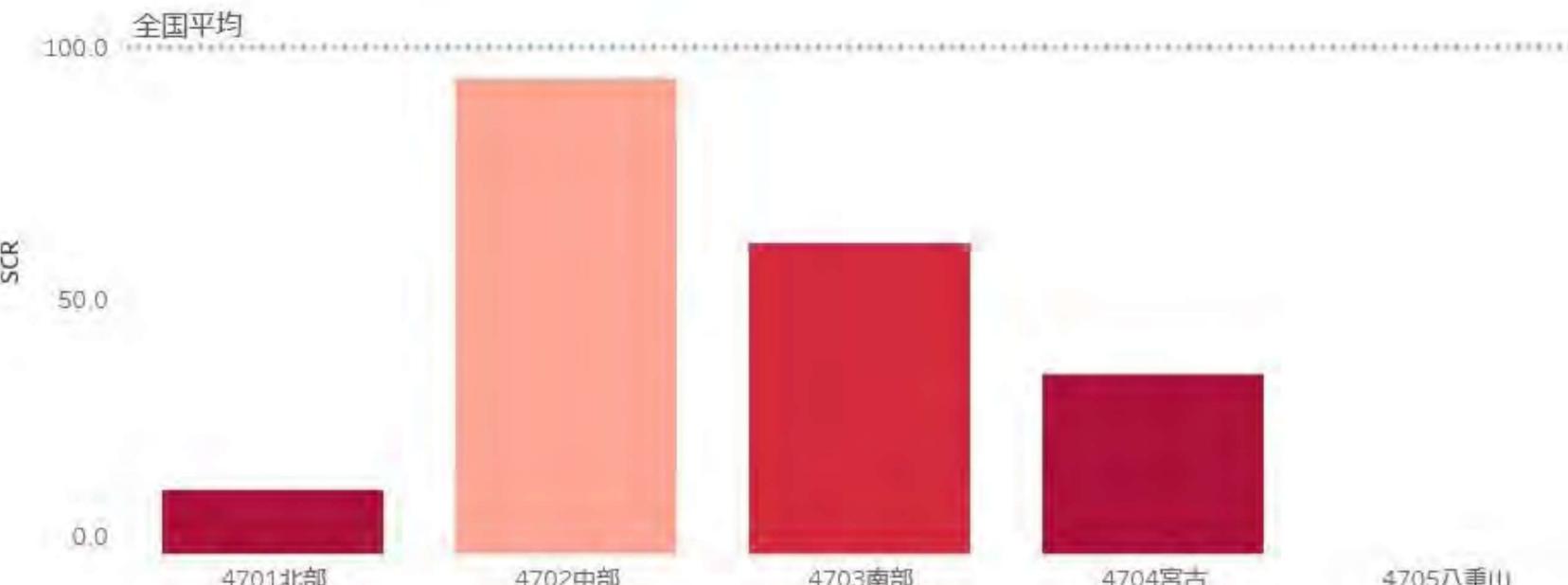


都道府県別(外来)

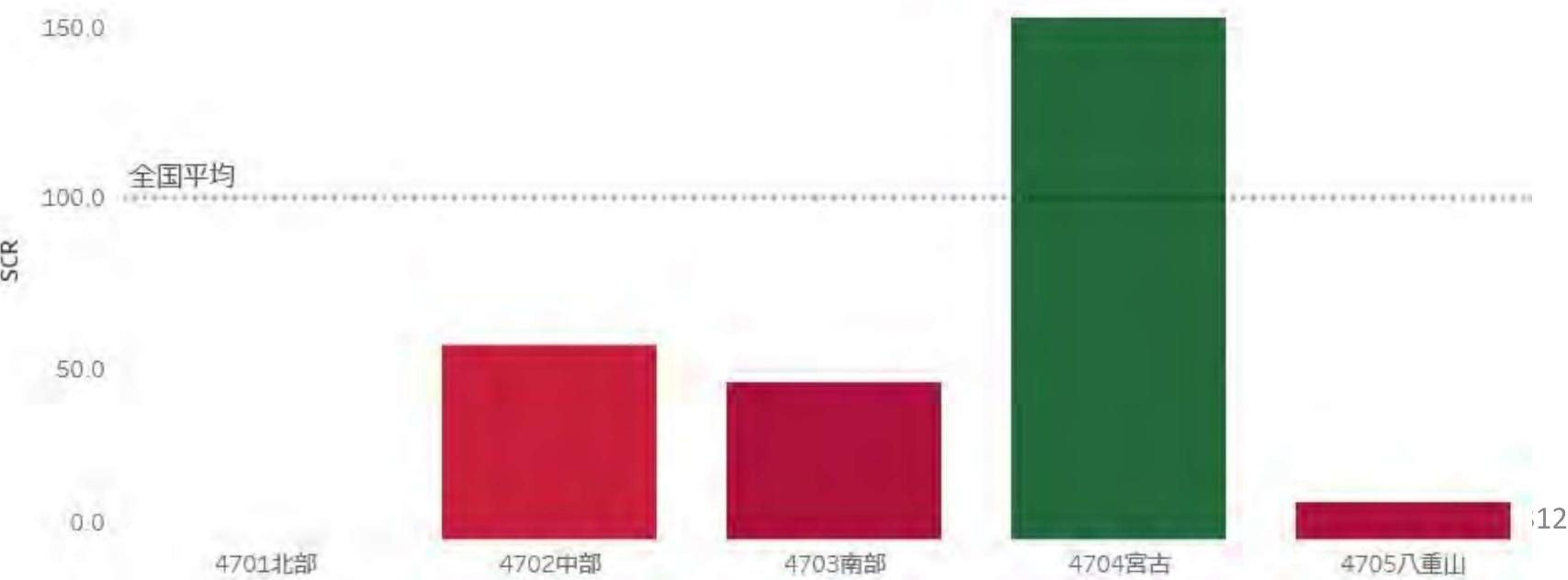
出典：NDBデータ由来の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)



二次医療圏別(入院)

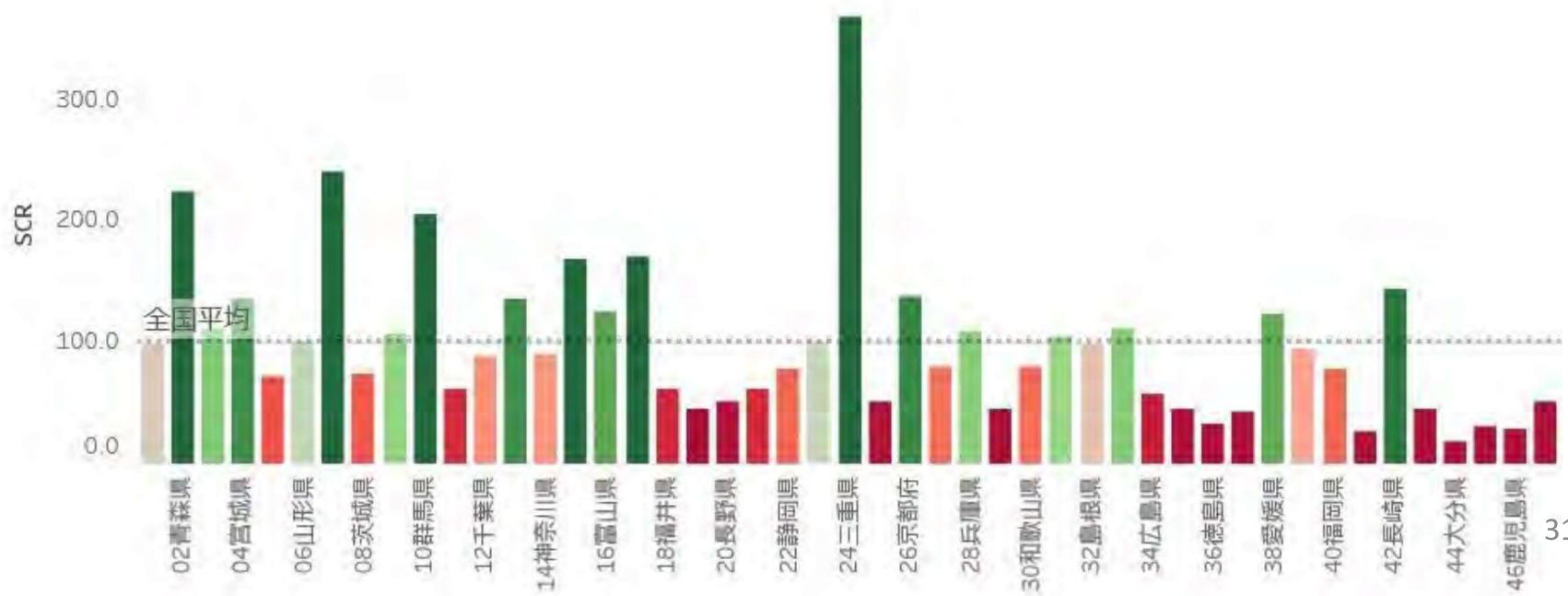


二次医療圏別(外来)

出典：NDBデータ由来の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)

都道府県別(入院)

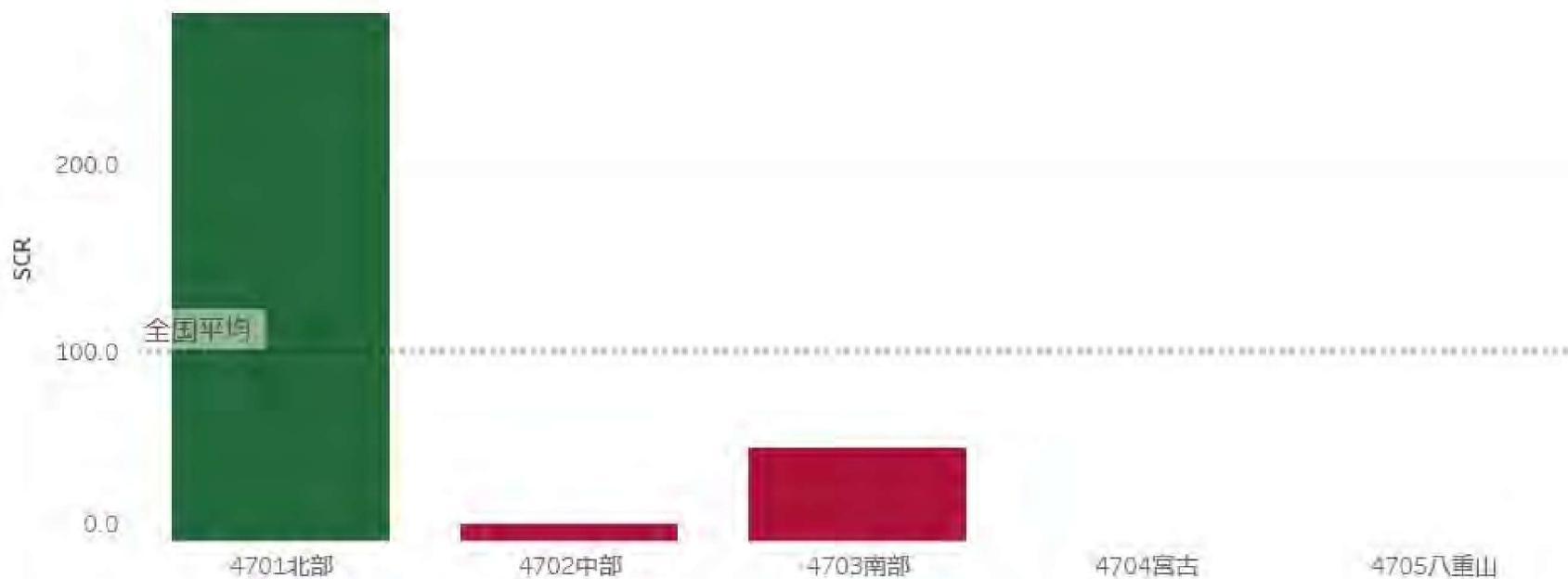
都道府県別(外来)

出典：NDBデータ由来の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)

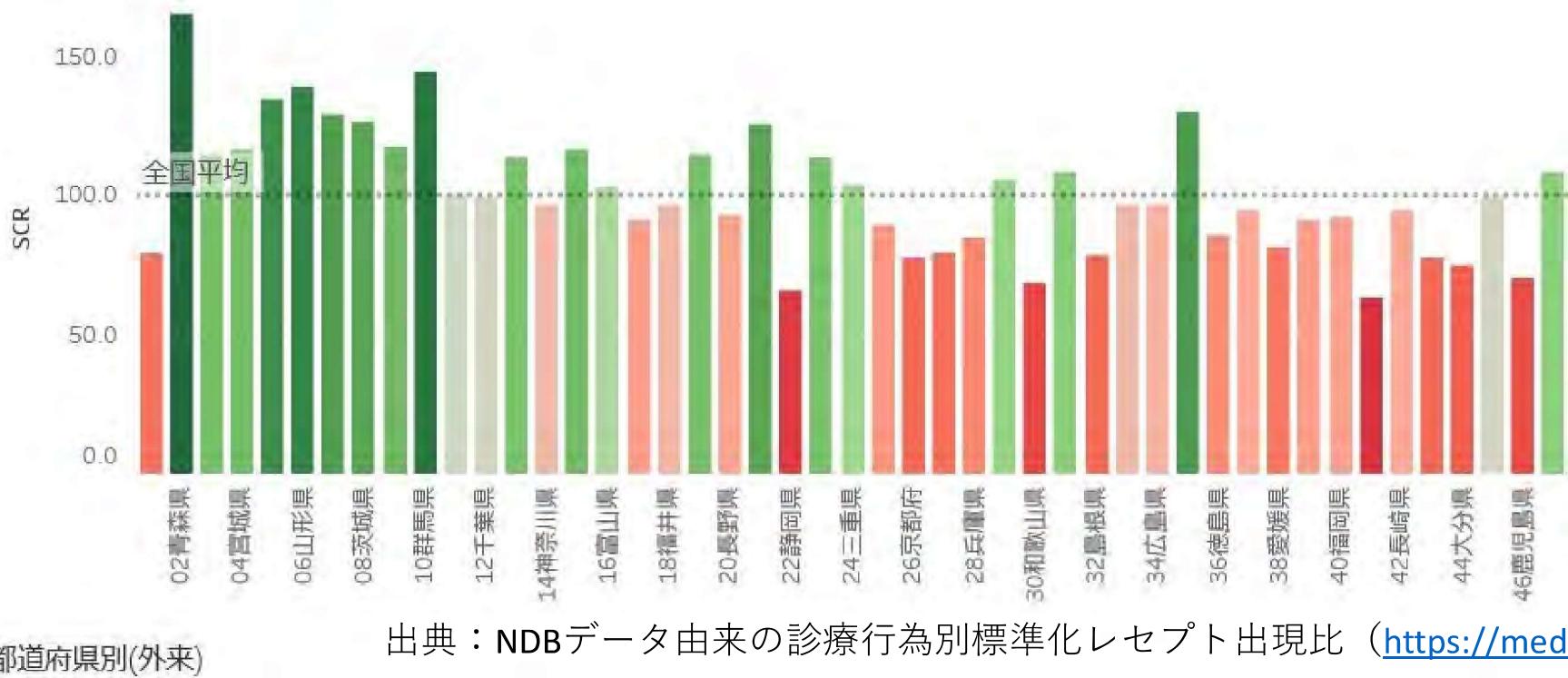
二次医療圏別(入院)

二次医療圏別(外来)

出典：NDBデータ由来の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)

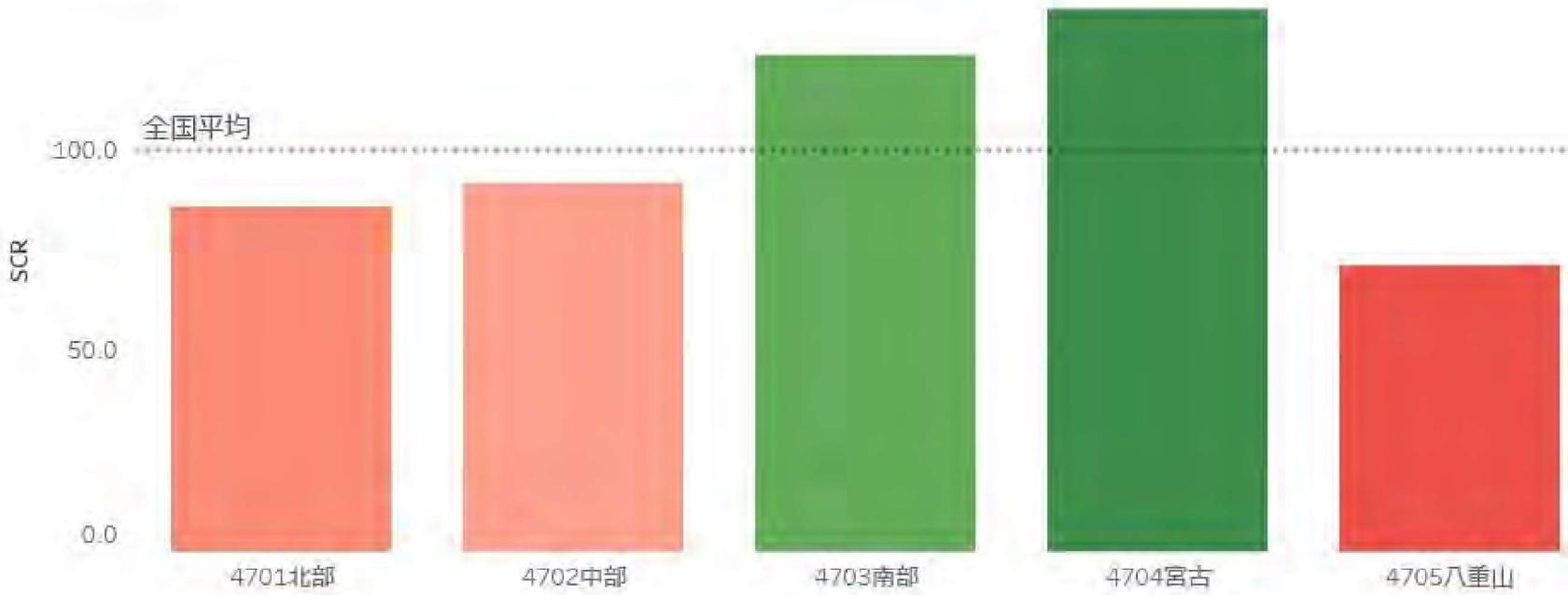


都道府県別(入院)

注記：NDBデータ由来の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)

都道府県別(外来)

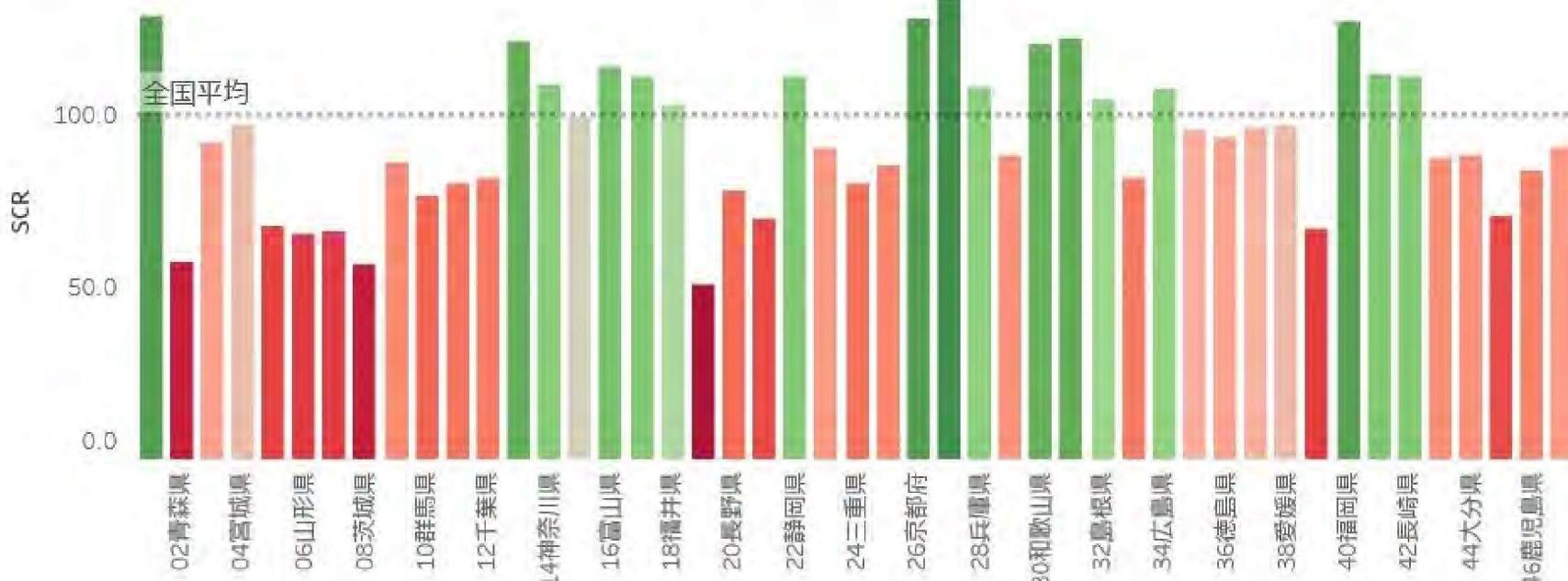
二次医療圏別(入院)



二次医療圏別(外来)

出典：NDBデータ由來の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)

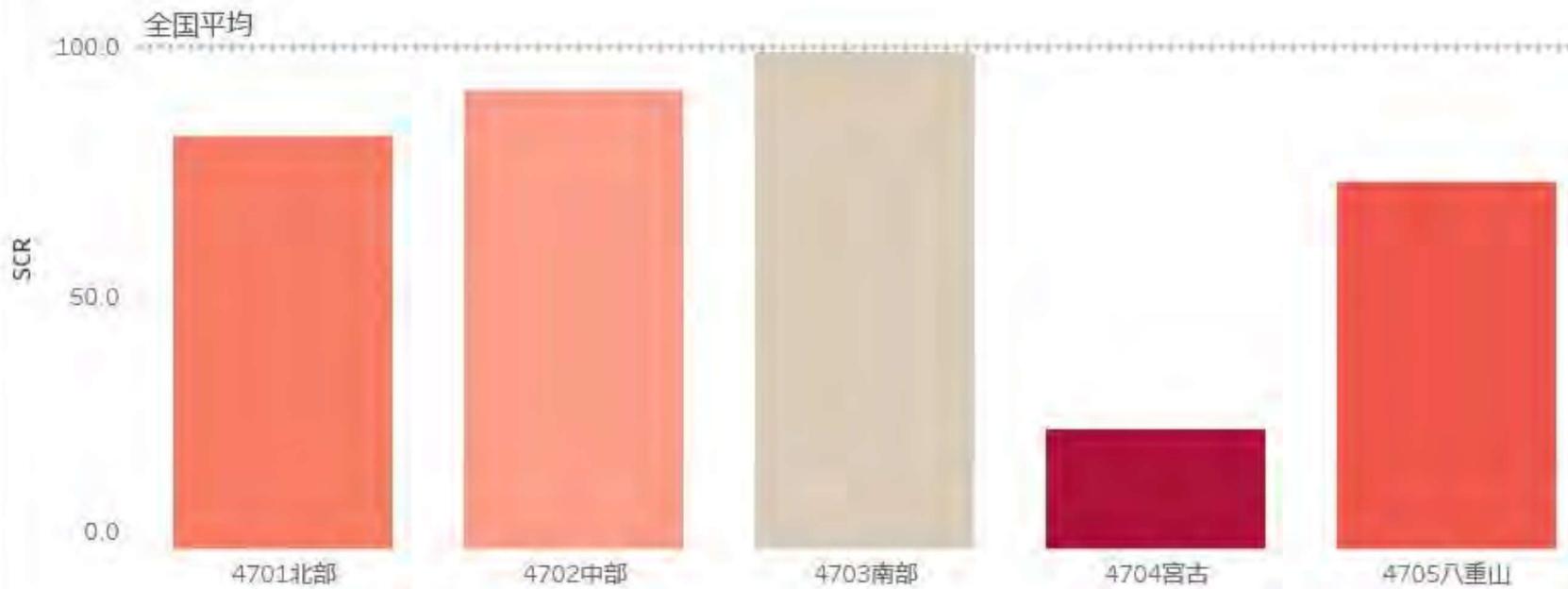
都道府県別(入院)



都道府県別(外来)

注記：NDBデータ由来の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)

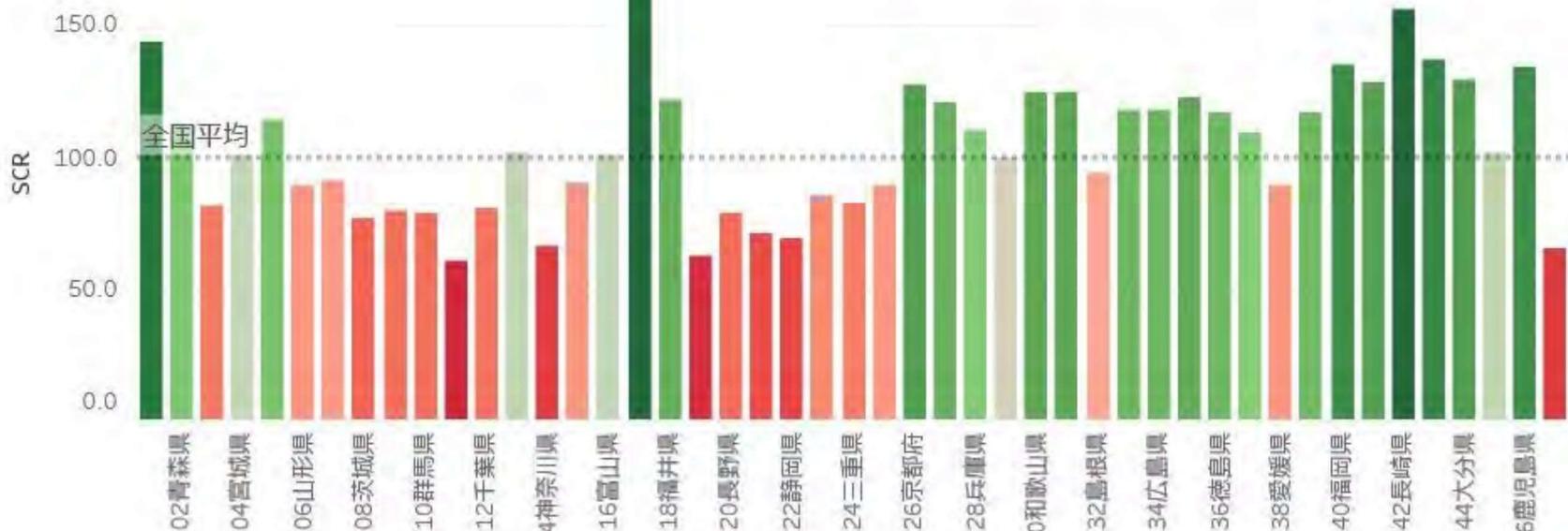
二次医療圏別(入院)



二次医療圏別(外来)

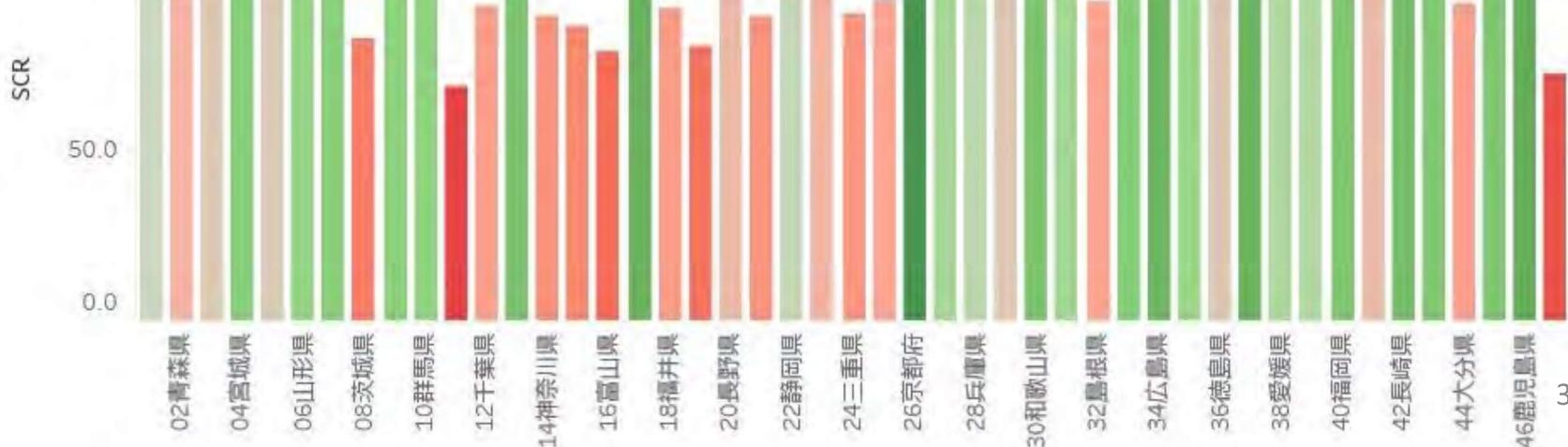
出典：NDBデータ由來の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)

都道府県別(入院)



都道府県別(外来)

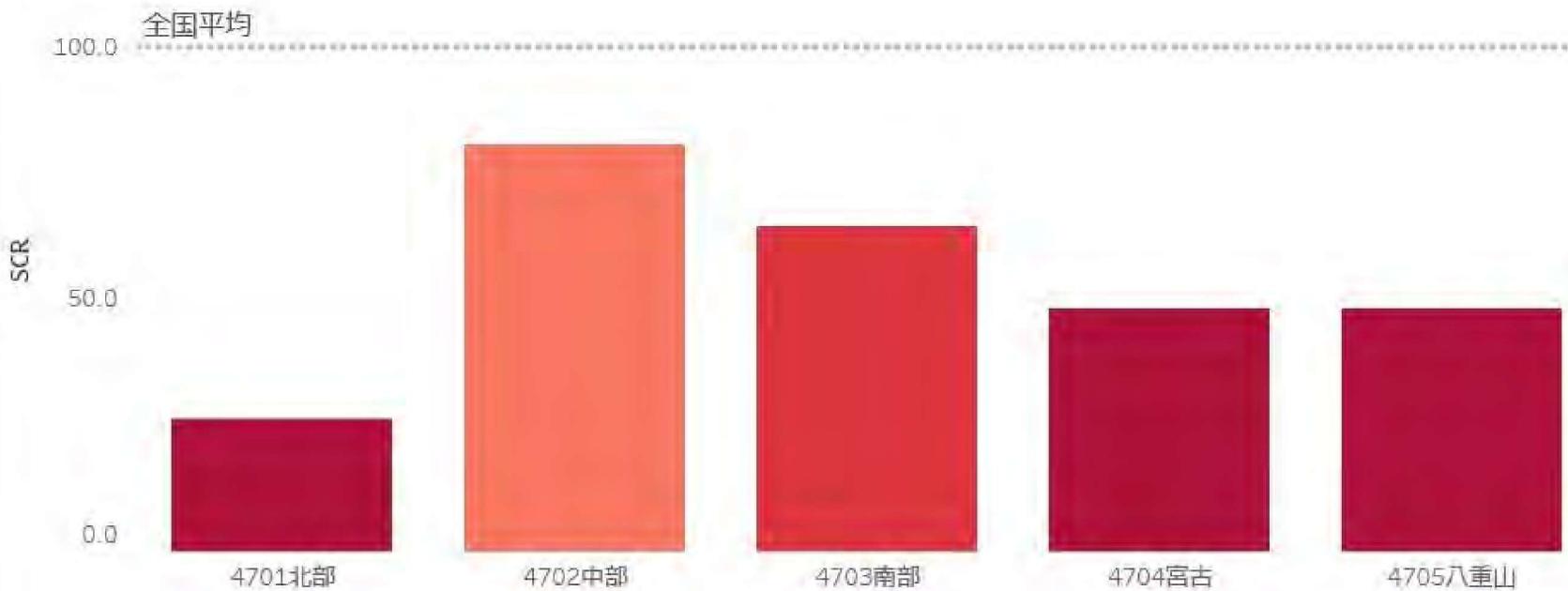
出典：NDBデータ由來の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)



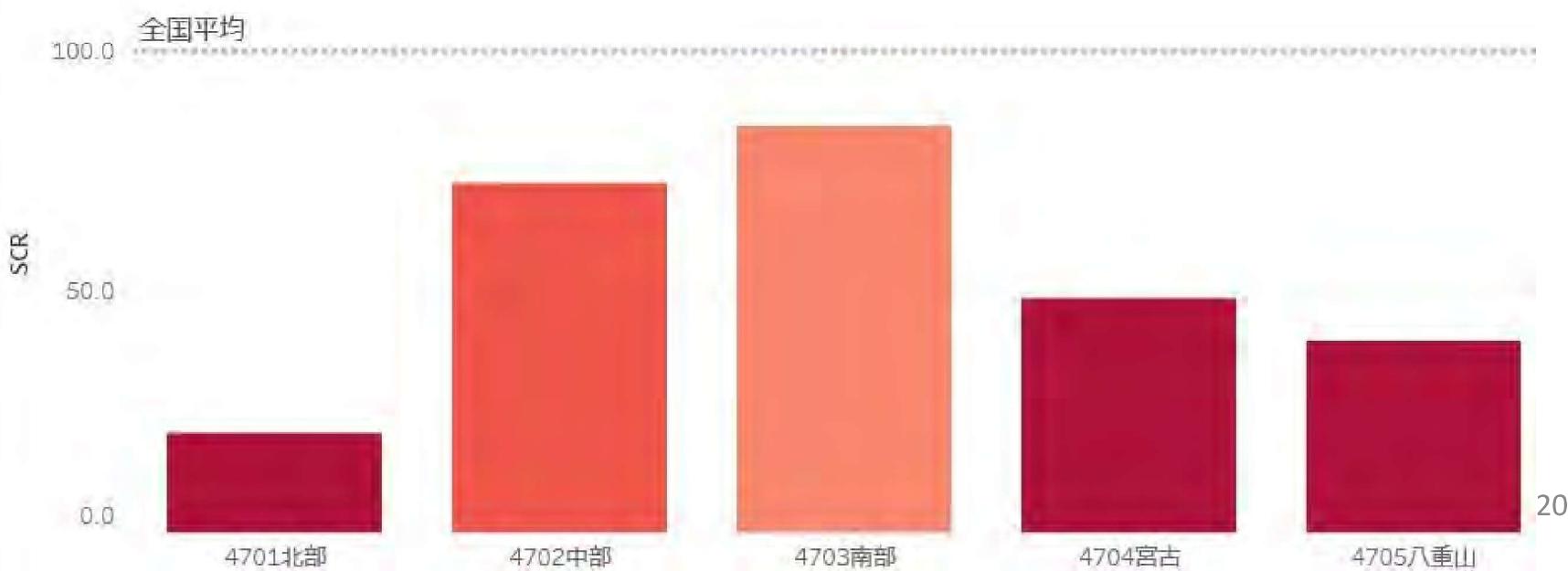
診療行為名

B医学管理等_悪性腫瘍特異物質治療管理料（その他・1項目）

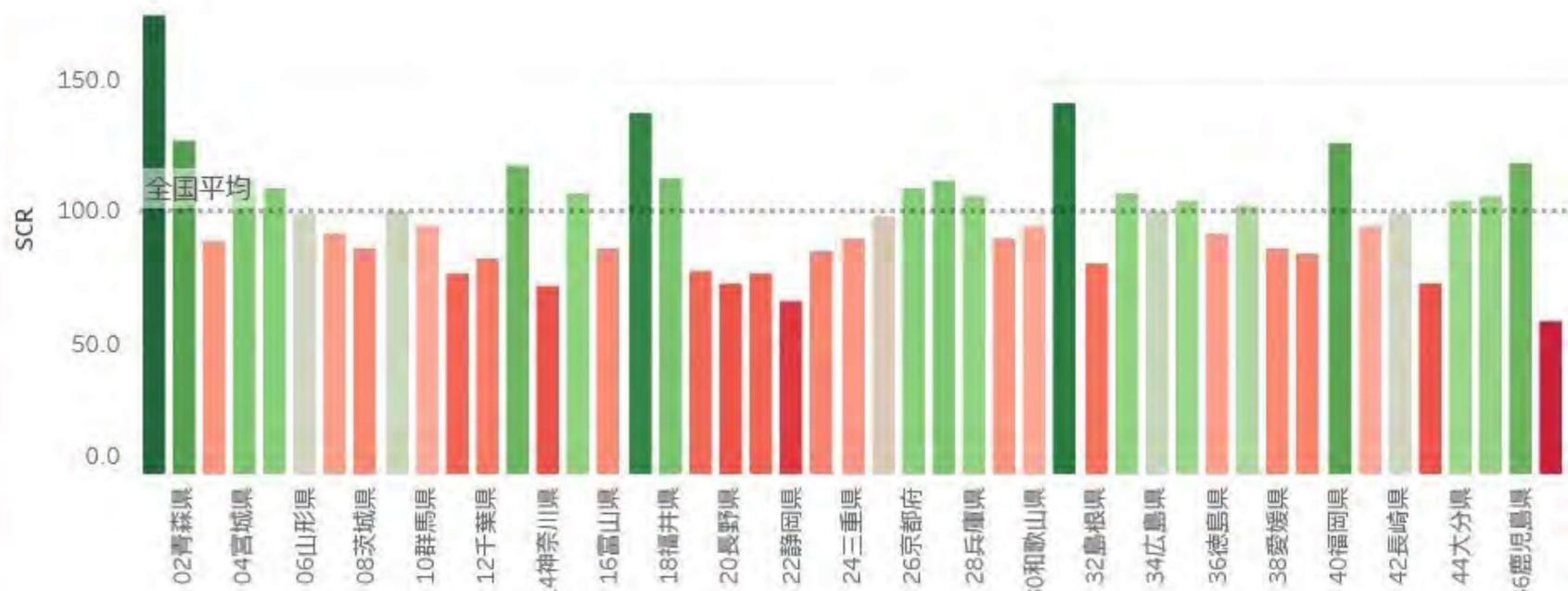
二次医療圏別(入院)



二次医療圏別(外来)

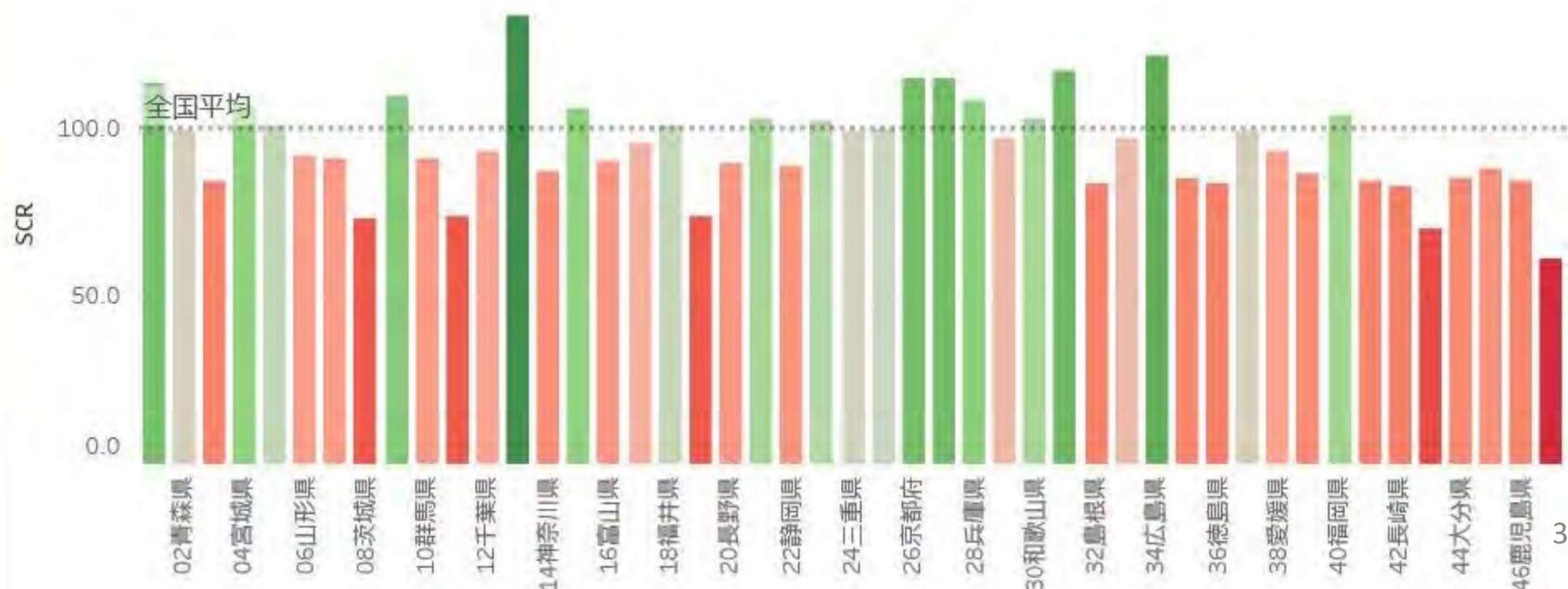
出典：NDBデータ由来の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)

都道府県別(入院)



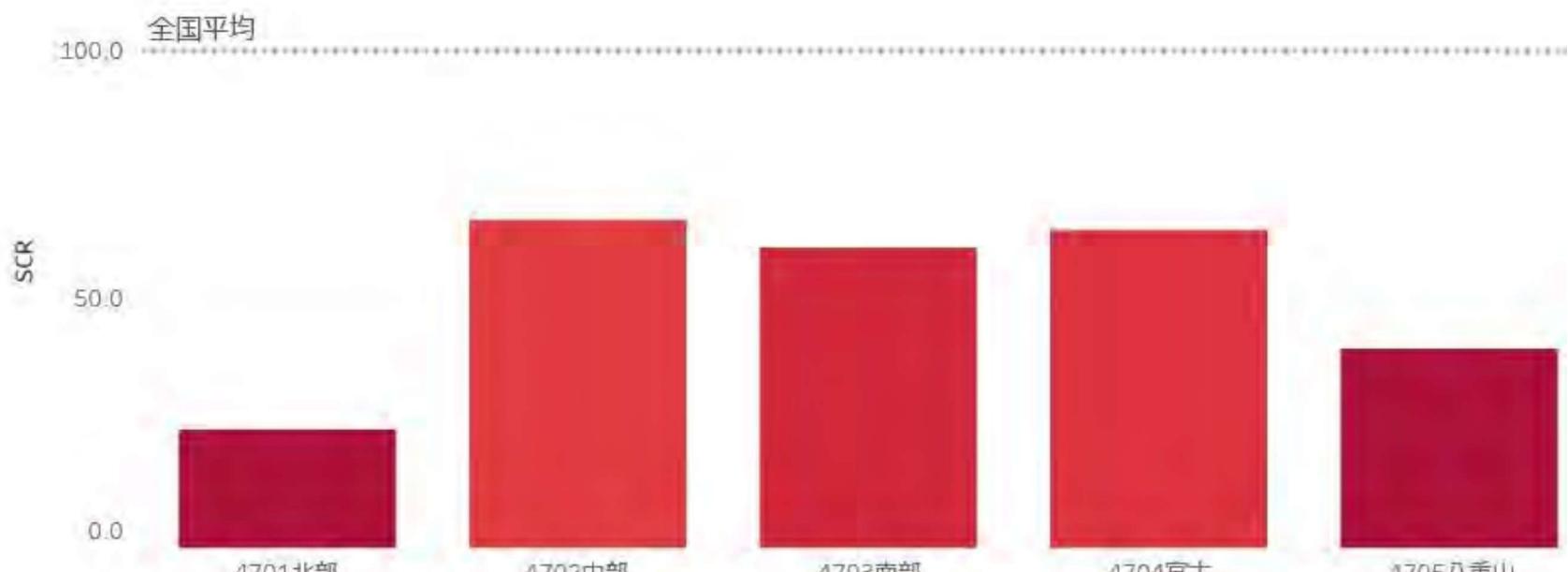
都道府県別(外来)

出典：NDBデータ由來の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)



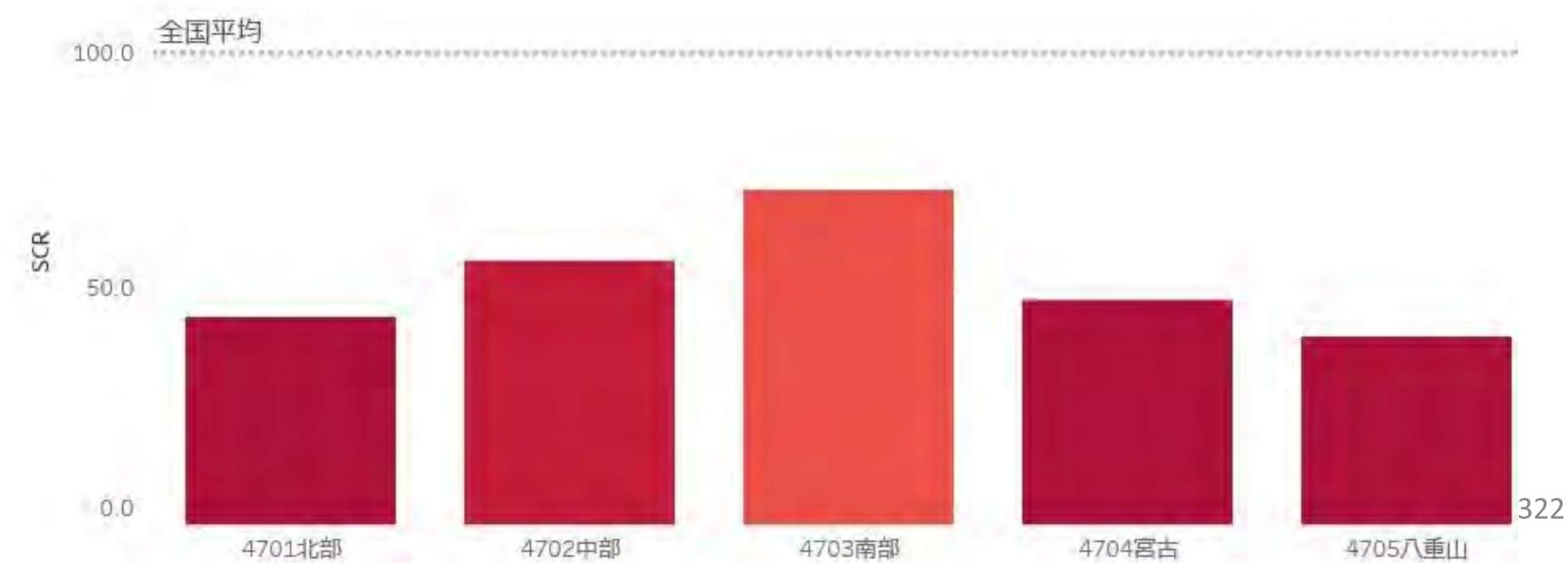
診療行為名 B医学管理等_悪性腫瘍特異物質治療管理料（その他・2項目以上）

二次医療圏別(入院)



二次医療圏別(外来)

出典：NDBデータ由来の診療行為別標準化レセプト出現比 (<https://medysis.jp/>)



大腸

5年生存率

神奈川県立がんセンター

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95% CI high	平均年齢(歳)
全体	326	106	-	98.8	67.3	61.9	72.2	65.5
I期	81	-	-	97.5	90.0	80.9	94.9	65.8
II期	81	15	0	100.0	81.5	71.2	88.4	65.1
III期	83	18	-	98.8	78.2	67.7	85.7	65.5
IV期	76	65	-	98.7	14.0	7.3	22.9	65.7

大腸がんに関して、公表PDFからデータを手拾いし一覧表にした

ル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 ヘルプ 実行したい作業を入力してください

fx 69.5

	B	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
番	施設名	4 全体 生存状況 把握割合	5 全体 実測生存 率 (%)	6 全体 95%CI low	7 全体 95% CI high	8 全体 平均年齢 (歳)	9 I期 対象数	10 I期 死亡数	11 I期 打ち切り 数	12 I期 生存状況 把握割合	13 I期 実測生存 率 (%)	14 I期 95%CI low	15 I期 95% CI high	16 I期 平均年齢 (歳)	17 II期 対象数	18 II期 死亡数	19 II期 打ち切り 数	20 II期 生存状況 把握割合 (%)
1	北海道がんセンター	97.9	59.5	51	67	67	44	-	-	97.7	88.6	74.8	95.1	68.6	29	-	0	
2	王子総合病院	96.7	61.5	53.8	68.2	69.4	43	-	-	93	78.3	62.4	88	70.9	44	-	-	
3	JA北海道厚生連帯広厚生病院	94	57.8	51.5	63.6	70	52	-	-	90.4	80	65.9	88.7	68.9	64	12	-	
4	北見赤十字病院	97.9	63.1	56.6	68.9	70.9	54	-	-	98.1	86.9	74.4	93.5	70.4	77	20	-	
5	函館五稜郭病院	100	58.5	51.1	65.2	70.6	46	11	0	100	76.1	61	86	71.3	54	19	0	
7	釧路労災病院	91.8	62.3	54.6	69	69.4	36	-	-	97.2	80.1	62.7	90	69.1	54	-	-	
3	青森県立中央病院	91.7	64.9	59.9	69.3	68	90	13	15	83.3	84.8	75.3	90.9	67.8	125	31	-	
0	岩手県立中央病院	99.8	59.8	55.6	63.7	70.2	133	21	0	100	84.2	76.8	89.4	69.5	148	39	0	
1	岩手県立二戸病院	98.6	59.9	51.4	67.4	72.5	33	-	0	100	87.9	70.9	95.3	71	34	-	-	
2	岩手医科大学附属病院	95.5	61.1	55.6	66.1	68.3	75	12	-	93.3	83.8	73.2	90.4	69.2	88	21	-	
3	岩手県立中部病院	98.4	57.4	50.1	64	70.8	49	-	-	98	81.4	67.4	89.9	66.7	59	14	-	
6	東北大学病院	96.9	56.7	48.5	64	67.8	48	13	0	100	72.9	58	83.3	70.8	31	-	-	
7	宮城県立がんセンター	100	67.8	60.4	74.1	67.5	52	-	0	100	84.6	71.6	92	68.8	37	-	0	
8	石巻赤十字病院	98	53.6	47.3	59.5	71.3	84	23	-	94	72.4	61.5	80.8	69.4	66	23	0	
0	大崎市民病院	97.4	64.6	59.2	69.5	69.8	80	17	-	98.8	78.6	67.8	86.1	69.4	76	15	-	
1	東北労災病院	92.3	71.2	64.7	76.7	67.4	59	-	-	86.4	84.7	72.7	91.7	69.6	54	-	-	
4	大曲厚生病医療センター	93.1	53.8	46.7	60.3	71.3	56	12	-	89.3	77.5	63.6	86.6	69.2	47	16	-	
5	秋田赤十字病院	98	66.8	61.1	71.9	68	89	11	-	97.8	87.4	78.5	92.8	69.3	73	12	-	
6	秋田厚生病医療センター	98.6	51.5	44.6	58	70.9	35	-	-	97.1	97.1	81.4	99.6	70.4	58	23	-	
7	山形県立中央病院	99.5	70.1	65.2	74.4	68.9	116	14	0	100	87.9	80.5	92.7	67.1	96	23	0	
9	公立置賜総合病院	89	63.4	56.6	69.5	71.3	57	13	11	80.7	75.7	61.8	85.2	70.4	94	25	11	
0	日本海総合病院	92.4	60.9	55	66.2	70.2	82	16	13	84.1	78.3	67	86.1	70.5	100	29	-	
1	福島県立医科大学附属病院	94.3	55.9	48	63.1	68.5	52	17	-	96.2	66.3	51.4	77.5	71.3	44	12	-	
2	太田総合病院附属太田西ノ内病	96.3	61.8	56.4	66.7	68.7	61	-	-	96.7	96.6	87.2	99.2	68.5	113	30	-	

はじめに 大腸がん5年生存率リスト

全体 1期 1期誤差範囲付グラフ 1期誤差範囲付グラフ 降順 2期 ... +

了 フィルター モード

検索するには、ここに入力します

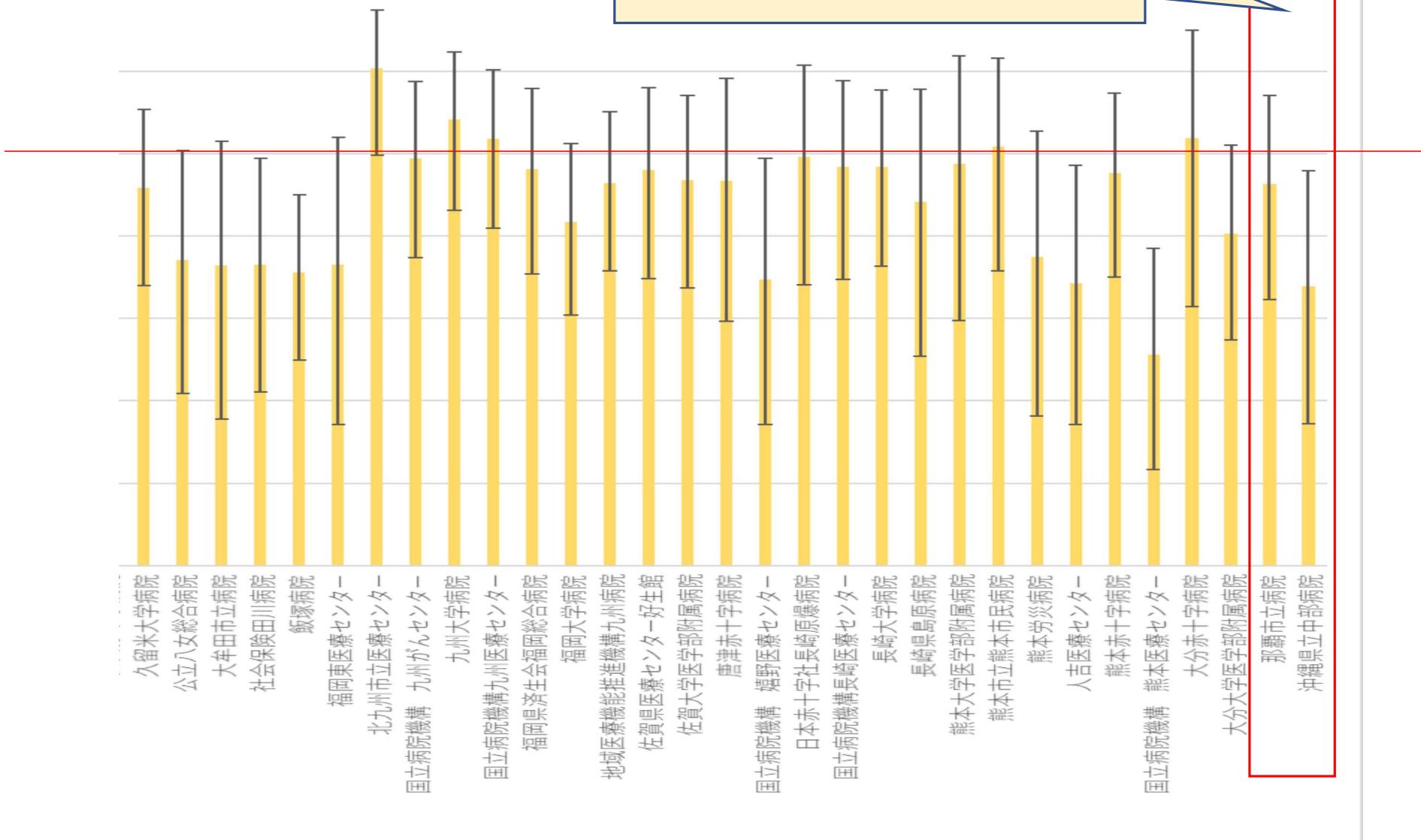
出典：がん診療連携拠点病院院内がん登録2008-2009年5年生存率集計報告書
データセットの作成・加工：埴岡健一

データセットに付した注釈

■使用される際の注意	
1	■出典
2	がん診療連携拠点病院院内がん登録2008-2009年5年生存率集計 報告書
3	1) 5年生存率集計報告書
4	付表3. 施設別2008-2009年5年生存率集計
5	https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/brochure/hosp_c_reg_surv.html
6	https://ganjoho.jp/data/reg_stat/statistics/brochure/hosp_c_reg_surv_3_2008.pdf
7	
8	■作業
9	核施設の大腸5年生ぞ率の表から、全施設の統合表を作成
10	
11	■使用される際の注意
12	1. 上記の報告書付表2ページ目にある注を読む
13	2. 各施設データ冒頭にあるコメントを読む
14	3. データの限界に留意する
15	* データ入力に関しては正確を期しましたが、エラーがある可能性があるので、使用される方が正確性を確認してください
16	
17	

北から南に並べた場合
九州・沖縄部分

那覇市立病院と沖縄県立中部病院が公表されている



院内がん登録データからみる 沖縄県のがん診療の現状



2015年症例 沖縄県院内がん登録集計報告書

琉球大学医学部附属病院 部位別 UICC TNM分類 総合ステージ別 5年相対生存率

	院内がん登録(全国291施設)				琉球大学医学部附属病院								
	2008年				2007-2008年				2009-2010年				
	対象者数	相対生存率	95%信頼区間	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	
大腸	I期	6,636	95.5	94.5-96.5	-	45	-	-	24	93.2	7.6	8.3	
	II期	6,937	88.5	87.3-89.6	-	15	96.2	7.4	6.7	22	72.1	10.8	0.0
	III期	6,690	76.5	75.2-77.8	-	25	67.3	10.8	8.0	28	87.8	8.1	0.0
	IV期	5,175	17.5	16.4-18.6	-	22	16.7	9.0	9.1	26	20.4	8.4	0.0
	不明	348	30.2	24.6-36.2	-	2	50.8	37.9	0.0	0	-	-	-
	全体	25,786	72.6	71.9-73.3	3.7	109	-	-	100	70.5	5.3	2.0	

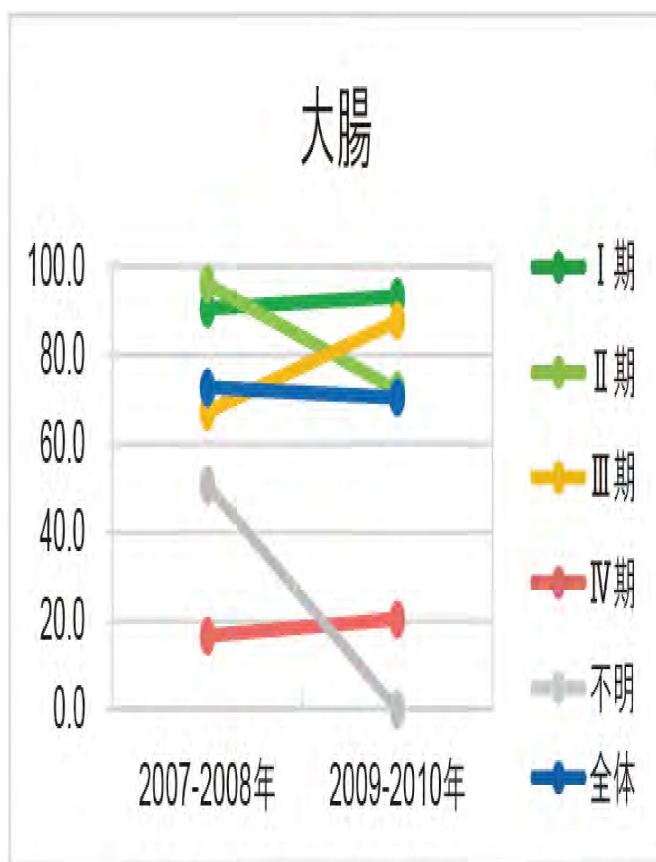
那覇市立病院 部位別 UICC TNM分類 総合ステージ別 5年相対生存率

	院内がん登録(全国291施設)				那覇市立病院								
	2008年				2007-2008年			2009-2010年					
	対象者数	相対 生存率	95% 信頼区間	生死 不明割合	対象者数	相対 生存率	標準誤差	生死 不明割合	対象者数	相対 生存率	標準誤差	生死 不明割合	
大腸	I期	6,636	95.5	94.5-96.5	-	26	90.5	9.2	7.7	38	94.2	6.5	5.3
	II期	6,937	88.5	87.3-89.6	-	40	87.4	7.6	7.5	51	78.7	7.6	3.9
	III期	6,690	76.5	75.2-77.8	-	51	76.2	7.6	3.9	58	73.9	7.0	0.0
	IV期	5,175	17.5	16.4-18.6	-	41	11.6	5.4	2.4	32	13.8	6.4	0.0
	不明	348	30.2	24.6-36.2	-	1	0.0	0.0	0.0	0	-	-	-
	全体	25,786	72.6	71.9-73.3	3.7	159	65.5	4.6	5.0	179	70.7	4.2	2.2

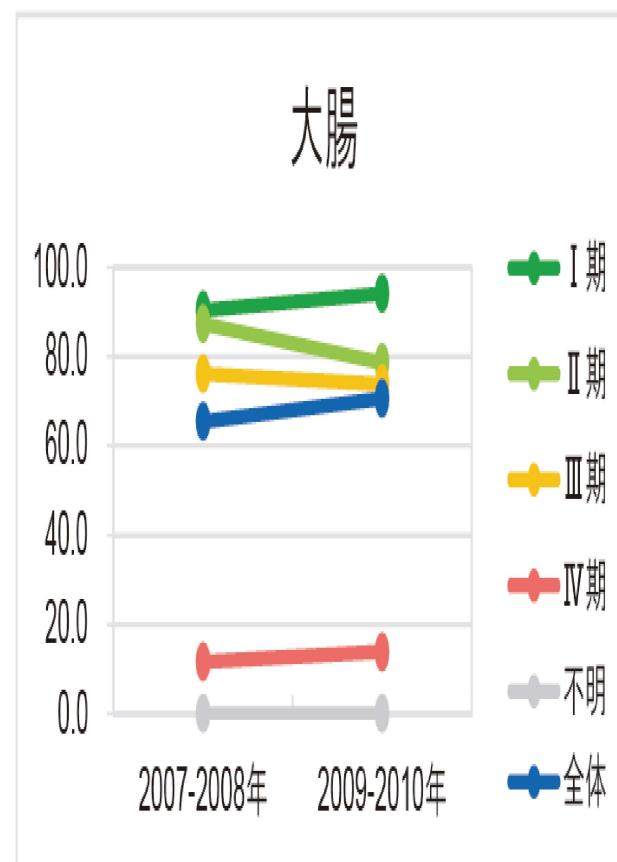
沖縄県立中部病院 部位別 UICC TNM分類 総合ステージ別 5年相対生存率

	院内がん登録(全国291施設)				沖縄県立中部病院							
	2008年				2007-2008年				2009-2010年			
	対象者数	相対 生存率	95% 信頼区間	生死 不明割合	対象者数	相対 生存率	標準誤差	生死 不明割合	対象者数	相対 生存率	標準誤差	
大腸	I期	6,636	95.5	94.5-96.5	-	22	88.6	9.1	0.0	23	79.0	10.3
	II期	6,937	88.5	87.3-89.6	-	42	76.4	8.0	2.4	38	80.1	8.5
	III期	6,690	76.5	75.2-77.8	-	33	70.2	9.2	0.0	41	69.5	9.0
	IV期	5,175	17.5	16.4-18.6	-	35	9.1	5.0	0.0	37	17.8	6.7
	不明	348	30.2	24.6-36.2	-	5	0.0	0.0	0.0	2	0.0	0.0
	全体	25,786	72.6	71.9-73.3	3.7	137	58.5	4.8	0.7	141	60.8	4.8

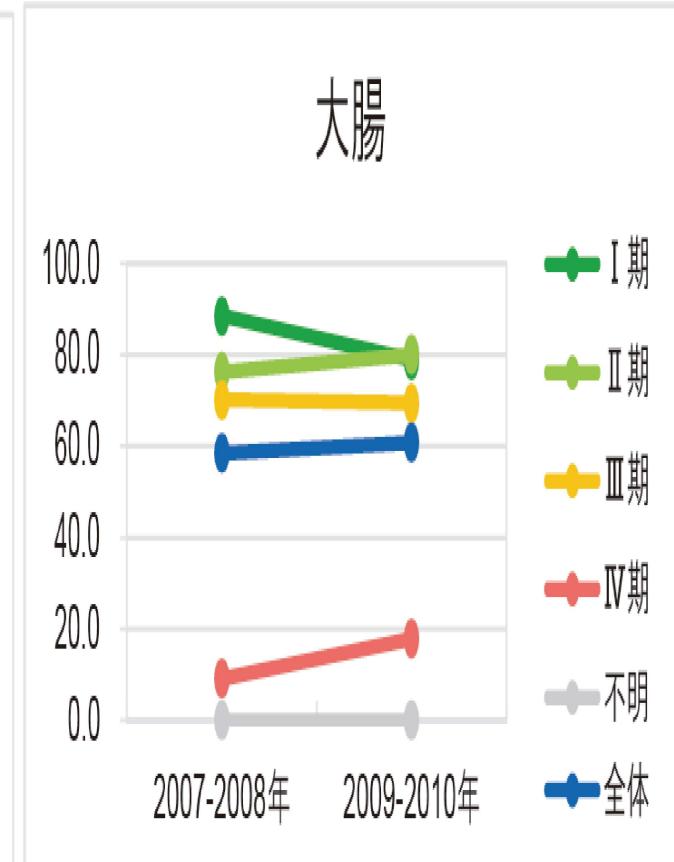
琉球大学病院



那覇市立病院



沖縄県中部病院





🔍 病院のがん治療状況について調べる

最終更新日 2017年03月09日



がん治療ができる病院をさがす



がんの種類を部位からさがす



がんの精密検査ができる施設をさがす



胸部



消化管



肝臓・胆のう・脾臓



泌尿器

› 肺がん

› 乳がん

› 胃がん

› 大腸がん

› 肝がん

› 脾がん

› 前立腺がん



女性

血管・リンパ

› 乳がん

› 子宮頸がん

› 子宮体がん（子宮内膜がん）

› 血液腫瘍（悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病、その他
の造血器腫瘍）

出所：<https://mirunshirun.jp/>

大腸がん施設別進行度別5年生存率の公表（網掛は症例数が少ないため数字の信頼度が低い部分）

		2007年				2008年				2009年			
		対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合
沖縄県がん診療連携拠点病院3施設	I期	43	-	-	11.6	56	-	-	21.4	45	92.4	5.6	4.4
	II期	47	75.5	7.9	0	33	69.8	9.4	6.1	35	87.3	8.7	0
	III期	44	71	8.3	4.5	68	86.4	6	4.4	69	85.7	5.6	0
	IV期	51	14.1	5.4	7.8	48	7.4	4.1	2.1	44	22	6.7	0
	不明	14	79.4	14.8	7.1	14	-	-	14.3	21	53.5	12.5	4.8
	全体	199	64.4	4.1	6	219	64.6	3.8	9.1	214	72.6	3.7	1.4
国立大学法人琉球大学医学部附属病院	I期	19	-	-	26.32	31	-	-	29.03	15	95.9	7.2	6.7
	II期	4	100	0	0	5	81.1	18.9	0	11	74.1	14.1	0
	III期	9	-	-	22.22	15	87.56	9.02	0	15	95.2	7.3	0
	IV期	9	-	-	22.22	11	19.43	12.8	0	13	16.4	11.1	0
	不明	2	100	0	0	3	-	-	66.67	2	51.8	40.8	0
	全体	43	-	-	20.93	65	-	-	16.92	56	77.1	6.8	1.8

地方独立行政法人那覇市立病院	I期	16	96.1	6.9	0	14	-	-	14.3	18	92	8.1	0
	II期	29	82.4	9.4	0	14	-	-	14.3	14	86.9	13.1	0
	III期	15	64.7	14.3	0	32	79.5	9.9	9.4	25	80.5	9.5	0
	IV期	25	8.6	5.9	0	14	0	0	7.1	12	18	11.8	0
	不明	2	51.1	39.3	0	6	85	16.2	0	11	67.3	15.7	9.1
	全体	87	62.5	6	0	80	67.1	6.5	10	80	76.3	5.8	1.3
沖縄県立中部病院	I期	11	92.8	9.6	0	11	74.3	16.1	9.1	12	80.3	14	8.3
	II期	15	50.5	14.1	0	14	63	14.9	0	10	82.3	19	0
	III期	20	82.5	10.9	0	21	84.5	10.6	0	29	79.3	9.3	0
	IV期	20	23	10.2	10	23	4.6	4.5	0	19	27.9	11.1	0
	不明	11	70.5	18.3	9.1	5	46.7	26.1	0	8	28.2	18.9	0
	全体	77	63.2	6.4	3.9	74	52.4	6.6	1.4	78	65.1	6.5	1.3

出典元：院内がん登録データからみる沖縄県のがん診療の現状（院内がん登録集計報告書）（2014年症例）

2017年01月31日集計

プロセス、ストラクチャー指標を施設別に確認する

出典：がん対策地域別データ集
全がんデータ集、施設別、
がん拠点病院部分から

➡ はチェックポイントの例



	琉球大学 医学部附 属病院	那覇市 立病院	沖縄県立 八重山病 院	北部地区 医師会病 院	沖縄県立 中部病院	沖縄県立 宮古病院
	南部	南部	八重山	北部	中部	宮古
	都道府県が ん診療連携 拠点病院	地域がん診 療連携拠点 病院	地域がん診 療病院	地域がん診 療病院	地域がん診 療連携拠点 病院	地域がん診 療病院
1 緩和ケア病棟入院料算定病床（床）	0	0	0	0	0	0
2 緩和ケア診療加算（件：12カ月実績実績）	0	0	0	0	115	0
3 がん診療連携拠点病院加算（件：12カ月実績実績）	494	344	0	0	195	0
4 患者サポート体制充実加算（件：12カ月実績実績）	7732	10852	4506	4040	11941	5224
5 緩和ケア病棟入院料（件：12カ月実績実績）	0	0	0	0	0	0
6 がん性疼痛緩和指導管理料1（件：12カ月実績実績）	8	1	2	0	201	2
7 がん性疼痛緩和指導管理料2（件：12カ月実績実績）	20	0	2	9	146	0
8 がん患者指導管理料1（件：12カ月実績実績）	66	1	0	0	29	13
9 がん患者指導管理料2（件：12カ月実績実績）	100	15	0	0	26	55
10 がん患者指導管理料3（件：12カ月実績実績）	21	1	0	0	75	0
11 外来緩和ケア管理料（件：12カ月実績実績）	0	0	0	0	0	0
12 外来放射線照射診療料（件：12カ月実績実績）	389	779	0	0	878	0
13 ニコチン依存症管理料（件：12カ月実績実績）	44	97	80	0	263	0
14 リンパ浮腫指導管理料（件：12カ月実績実績）	0	20	0	0	16	0
15 がん治療連携計画策定料1（件：12カ月実績実績）	27	46	0	0	0	0
16 がん治療連携計画策定料2（件：12カ月実績実績）	0	1	0	0	0	0
17 がん治療連携管理料（件：12カ月実績実績）	0	9	0	0	127	0
18 画像診断管理加算1（件：12カ月実績実績）	0	10557	0	0	6428	6355
19 画像診断管理加算2（件：12カ月実績実績）	21630	0	5523	7573	0	0
20 外来化学療法加算1（件：12カ月実績実績）	2075	1346	490	861	2065	0
21 がん患者リハビリテーション料（件：12カ月実績実績）	290	5126	206	2941	2904	636

		琉球大学 医学部附 属病院	那霸市 立病院	沖縄県立 八重山病 院	北部地区 医師会病 院	沖縄県立 中部病院	沖縄県立 宮古病院
22	放射線治療管理料 (件：12カ月実績実績)	848	154	0	0	450	0
23	放射線治療専任加算 (件：12カ月実績実績)	738	249	0	0	454	0
24	外来放射線治療加算 (件：12カ月実績実績)	4836	3945	0	0	5430	0
25	新入院がん患者 (人：12カ月実績実績)	4011	1539	368	366	1433	204
26	新入院患者に占めるがん患者の割合 (%：12カ月実績)	32.1	13.2	7.4	8.8	10.2	3.5
27	院内死亡がん患者 (人：12カ月実績)	88	142	45	57	151	57
28	新入院患者 (人：4カ月実績)	4205	4022	1834	1396	4784	1714
29	新入院がん患者 (人：4カ月実績)	1434	538	150	136	533	61
30	新入院患者に占めるがん患者の割合 (%：4カ月実績)	34.1	13.4	8.2	9.7	11.1	3.6
31	新入院がん患者 肺がん (人：4カ月実績)	94	66	24	11	46	4
32	新入院がん患者 大腸がん (直腸がんを含む) (人：4カ月実績)	64	82	50	38	70	21
33	新入院がん患者 乳がん (人：4カ月実績)	18	59	2	11	40	6
34	新規入院患者 セカンドオピニオン外来 (件：12カ月実績)	153	24	0	1	19	0
35	悪性腫瘍の手術件数の総数 (件：4カ月実績)	250	216	59	67	161	70
36	手術の状況 肺がん (開胸手術) (件：4カ月実績)	1	0	0	0	1	0
37	手術の状況 肺がん (胸腔鏡下手術) (件：4カ月実績)	8	6	14	0	4	0
38	手術の状況 大腸がん (開腹手術) (件：4カ月実績)	4	9	8	10	3	9
39	手術の状況 大腸がん (腹腔鏡下手術) (件：4カ月実績)	12	10	1	11	5	3
40	手術の状況 大腸がん (内視鏡手術) (件：4カ月実績)	0	18	0	18	6	0
41	手術の状況 乳がん (手術) (件：4カ月実績)	9	31	0	9	22	1
42	手術の状況 乳がん (乳癌冷凍凝固摘出術) (件：4カ月実績)	0	0	0	0	0	0
43	手術の状況 乳がん (乳腺腫瘍摘出術 (生検)) (件：4カ月実績)	0	1	0	2	0	2
44	手術の状況 乳がん (乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術) (件：4カ月実績)	0	0	0	0	0	0
45	手術の状況 乳がん (乳房再建術 (乳房切除後) 二期的)	0	0	0	0	0	3
46	放射線治療 全がん 対外照射 体外照射 (人：4カ月実績)	6020	2129	0	0	9953	0
47	放射線治療 全がん 対外照射 定位照射 (脳) (人：4カ月実績)	14	0	0	0	0	0

		琉球大学 医学部附 属病院	那霸市 立病院	沖縄県立 八重山病 院	北部地区 医師会病 院	沖縄県立 中部病院	沖縄県立 宮古病院
48	放射線治療 全がん 対外照射 定位照射（体幹部）	56	0	0	0	0	0
49	放射線治療 全がん 対外照射 強度変調放射線治療	1892	290	0	0	1620	0
50	放射線治療 全がん 小線源治療（人：4カ月実績）	113	0	0	0	0	0
51	放射線治療 肺がん 入院（人：4カ月実績）	15	8	0	0	7	0
52	放射線治療 大腸がん 入院（人：4カ月実績）	0	3	0	0	1	0
53	放射線治療 乳がん 入院（人：4カ月実績）	3	3	0	0	1	0
54	放射線治療 肺がん 外来（人：4カ月実績）	12	6	0	0	9	0
55	放射線治療 大腸がん 外来（人：4カ月実績）	2	2	0	0	4	0
56	放射線治療 乳がん 外来（人：4カ月実績）	26	48	0	0	68	0
57	化学療法 入院（人：4カ月実績）	626	137	14	0	119	28
58	化学療法 外来（人：4カ月実績）	539	132	48	0	169	55
59	気管支内視鏡検査（件：12カ月実績）	176	106	52	74	211	32
60	大腸内視鏡検査（件：12カ月実績）	932	1577	530	2163	1854	740
61	高エネルギー放射線治療の施設基準（件：12カ月実績）	15463	5805	0	0	8178	0
62	強度変調放射線治療（IMRT）の施設基準（件：12カ月実績）	1085	0	0	0	0	0
63	画像誘導放射線治療加算の施設基準（件：12カ月実績）	6918	0	0	0	3326	0
64	体外照射呼吸性移動対策加算の施設基準（件：12カ月実績）	0	0	0	0	0	0
65	定位放射線治療の施設基準（件：12カ月実績）	26	0	0	0	4	0
66	医師（人：常勤換算）	383.25	136.1	46	30.7	220.5	56
67	看護師（人：常勤換算）	590.9	502.5	153.1	214.5	470.1	211
68	診療放射線技師（人：常勤換算）	31.54	26	8	11	27.2	9
69	麻酔科専門医（人：常勤換算）	17	4	1	0	6	1
70	放射線治療専門医（人：常勤換算）	3	1	0	0	2	0
71	病理専門医（人：常勤換算）	5	2	0	1	1	0
72	消化器外科専門医（人：常勤換算）	6	3	2	1	1	1
73	消化器がん外科治療認定医（人：常勤換算）	3	3	1	0	1	1



		琉球大学 医学部附 属病院	那霸市 立病院	沖縄県立 八重山病 院	北部地区 医師会病 院	沖縄県立 中部病院	沖縄県立 宮古病院
74	呼吸器外科専門医（人：常勤換算）	1	1	0	0	0	0
75	消化器内視鏡専門医（人：常勤換算）	11	8	0	2	3	1
76	乳腺専門医（人：常勤換算）	0	2	0	0	0	0
77	がん薬物療法専門医（人：常勤換算）	1	0	0	0	0	0
78	緩和医療専門医（人：常勤換算）	0	0	0	0	0	0
79	がん治療認定医（人：常勤換算）	26	6	2	2	8	0
80	がん看護専門看護師（人：常勤換算）	1	1	0	0	1	0
81	がん化学療法看護認定看護師（人：常勤換算）	1	1	1	0	2	0
82	がん性疼痛看護認定看護師（人：常勤換算）	0	0	0	0	1	2
83	乳がん看護認定看護師（人：常勤換算）	0	0	0	0	0	0
84	緩和ケア認定看護師（人：常勤換算）	1	0	0	0	1	0
85	皮膚・排泄ケア認定看護師（人：常勤換算）	4	3	1	1	1	2
86	摂食・嚥下障害看護認定看護師（人：常勤換算）	0	0	0	0	0	0
87	手術看護認定看護師（人：常勤換算）	1	0	0	0	0	0
88	がん放射線療法看護認定看護師（人：常勤換算）	1	0	0	0	0	0
89	がん専門薬剤師（人：常勤換算）	2	0	0	0	0	0
90	がん薬物療法認定薬剤師（人：常勤換算）	1	0	1	0	0	0
91	医学物理士（人：常勤換算）	1	0	0	0	0	0
92	放射線治療品質管理士（人：常勤換算）	0	1	0	0	0	0
93	診療情報管理士（人：常勤換算）	5.77	14	2	9	0	2
94	臨床心理士（人：常勤換算）	1	0.1	0	0	1	2



大腸がん死亡激減プロジェクト

1. 沖縄県外科会で個々の病院の大腸がん診療のデータを持ち寄り発表、協議
 - ① 5年生存率等の基礎データ
 - ② レジメン登録、化学療法の順守率・完遂率
 - ③ 4月の引き継ぎ時のインシデント、など
 - ④ 現場の状況、など
 - ⑤ 死亡例の検討、など
 - ⑥ その他
2. 拠点病院のQIデータを発表・協議
3. 医療者が自らのデータを開示して、問題点を抽出し、その後ロジックモデルを使い、さらにインパクト評価をして、個別施策まで作成する予定

拠点病院:QI結果

		区分	2009年 (%)	2011年 (%)	P
<術前評価>					
QI 3 術前の診断的内視鏡検査所見の記載		記録	64.1 (n=187)	80.4 (n=195)	< 0.01
QI 7 cSM以深直腸癌術前の骨盤部造影CT/MRI		診療行為	100 (n=77)	90.6 (n=73)	< 0.01
<手術療法関連>					
QI 10 直腸癌患者への術後機能障害の説明		説明	48.7 (n=76)	46.4 (n=72)	ns
QI 17 直腸癌手術における適切な肛門側切除範囲の確保		記録	63.8 (n=74)	65.2 (n=66)	ns
QI 19 病理組織学的所見の記載		記録	99.1 (n=205)	98.6 (n=209)	ns
QI 40 StageⅢ治癒切除手術後の腹部画像検査サーベイランス		診療行為	75.5 (n=55)	72.3 (n=65)	ns
QI 45 術前未検索の残存大腸への内視鏡検査		診療行為	12.5 (n=46)	5.6 (n=40)	ns
<内視鏡治療関連>					
QI 26 内視鏡的摘除後の病理所見の診療録への記載		記録	83.5 (n=41)	83.8 (n=63)	ns
QI 27 内視鏡的摘除を受けた患者に対する追加手術		診療行為	36.7 (n=9)	0 (n=5)	ns
<化学療法関連>					
QI 32 StageⅢ大腸癌に対する術後補助化学療法		診療行為	69.4 (n=73)	74.1 (n=78)	ns
QI 36 化学療法施行中の患者における有害事象有無の記載		記録	80.2 (n=111)	82.4 (n=94)	ns
QI 37 化学療法の画像診断による治療効果判定		診療行為	84.2 (n=38)	84.4 (n=38)	ns

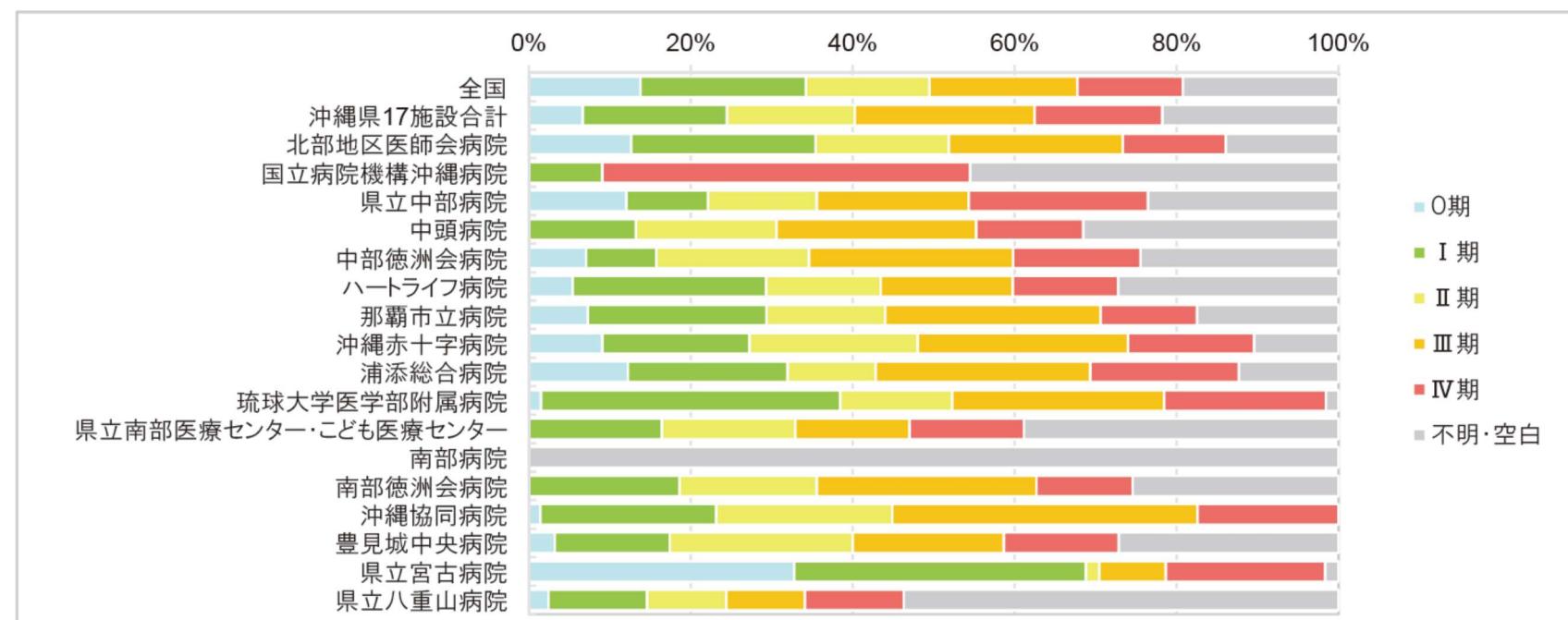
ns: not significant

診療行為 = 診断および治療などの診療行為の実施, 説明 = 患者に対する説明の適切性, 記録 = 診療録の記載の適切性,

施設別 UICC TNM分類 治療前ステージ別 登録数

大腸	0期	I期	II期	III期	IV期	不明・空白	合計
全国	11,748 (13.8%)	17,396 (20.4%)	12,981 (15.3%)	15,565 (18.3%)	11,067 (13.0%)	16,354 (19.2%)	85,111 (100.0%)
沖縄県17施設合計	103 (6.7%)	276 (17.9%)	244 (15.8%)	343 (22.2%)	244 (15.8%)	336 (21.7%)	1,546 (100.0%)
北部地区医師会病院	10 (12.7%)	18 (22.8%)	13 (16.5%)	17 (21.5%)	10 (12.7%)	11 (13.9%)	79 (100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (45.5%)	5 (45.5%)	11 (100.0%)
県立中部病院	18 (12.1%)	15 (10.1%)	20 (13.4%)	28 (18.8%)	33 (22.1%)	35 (23.5%)	149 (100.0%)
中頭病院	0 (0.0%)	29 (13.2%)	38 (17.4%)	54 (24.7%)	29 (13.2%)	69 (31.5%)	219 (100.0%)
中部徳洲会病院	9 (7.1%)	11 (8.7%)	24 (18.9%)	32 (25.2%)	20 (15.7%)	31 (24.4%)	127 (100.0%)
ハートライフ病院	5 (5.4%)	22 (23.9%)	13 (14.1%)	15 (16.3%)	12 (13.0%)	25 (27.2%)	92 (100.0%)
那覇市立病院	8 (7.3%)	24 (22.0%)	16 (14.7%)	29 (26.6%)	13 (11.9%)	19 (17.4%)	109 (100.0%)
沖縄赤十字病院	7 (9.1%)	14 (18.2%)	16 (20.8%)	20 (26.0%)	12 (15.6%)	8 (10.4%)	77 (100.0%)
浦添総合病院	18 (12.2%)	29 (19.7%)	16 (10.9%)	39 (26.5%)	27 (18.4%)	18 (12.2%)	147 (100.0%)
琉球大学医学部附属病院	1 (1.5%)	24 (36.9%)	9 (13.8%)	17 (26.2%)	13 (20.0%)	1 (1.5%)	65 (100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0 (0.0%)	14 (16.5%)	14 (16.5%)	12 (14.1%)	12 (14.1%)	33 (38.8%)	85 (100.0%)
南部病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
南部徳洲会病院	0 (0.0%)	11 (18.6%)	10 (16.9%)	16 (27.1%)	7 (11.9%)	15 (25.4%)	59 (100.0%)
沖縄協同病院	1 (1.4%)	15 (21.7%)	15 (21.7%)	26 (37.7%)	12 (17.4%)	0 (0.0%)	69 (100.0%)
豊見城中央病院	5 (3.2%)	22 (14.2%)	35 (22.6%)	29 (18.7%)	22 (14.2%)	42 (27.1%)	155 (100.0%)
県立宮古病院	20 (32.8%)	22 (36.1%)	1 (1.6%)	5 (8.2%)	12 (19.7%)	1 (1.6%)	61 (100.0%)
県立八重山病院	1 (2.4%)	5 (12.2%)	4 (9.8%)	4 (9.8%)	5 (12.2%)	22 (53.7%)	41 (100.0%)

施設別 UICC TNM分類 治療前ステージ別 登録割合



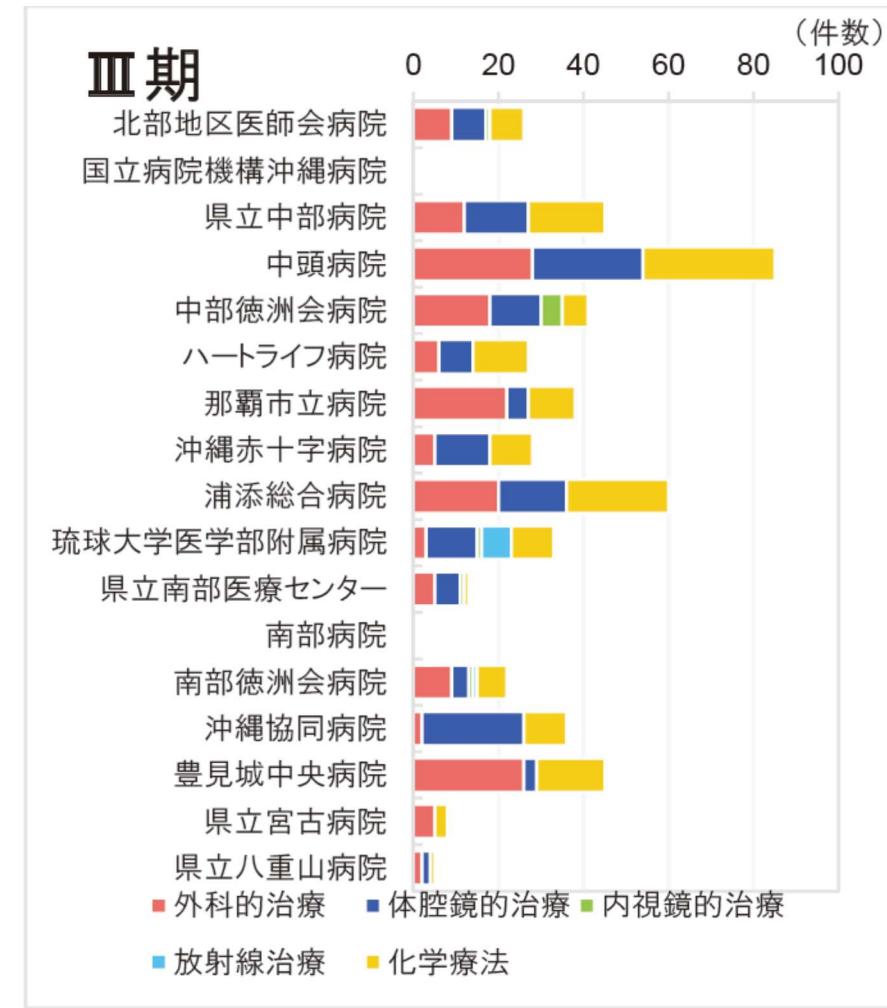
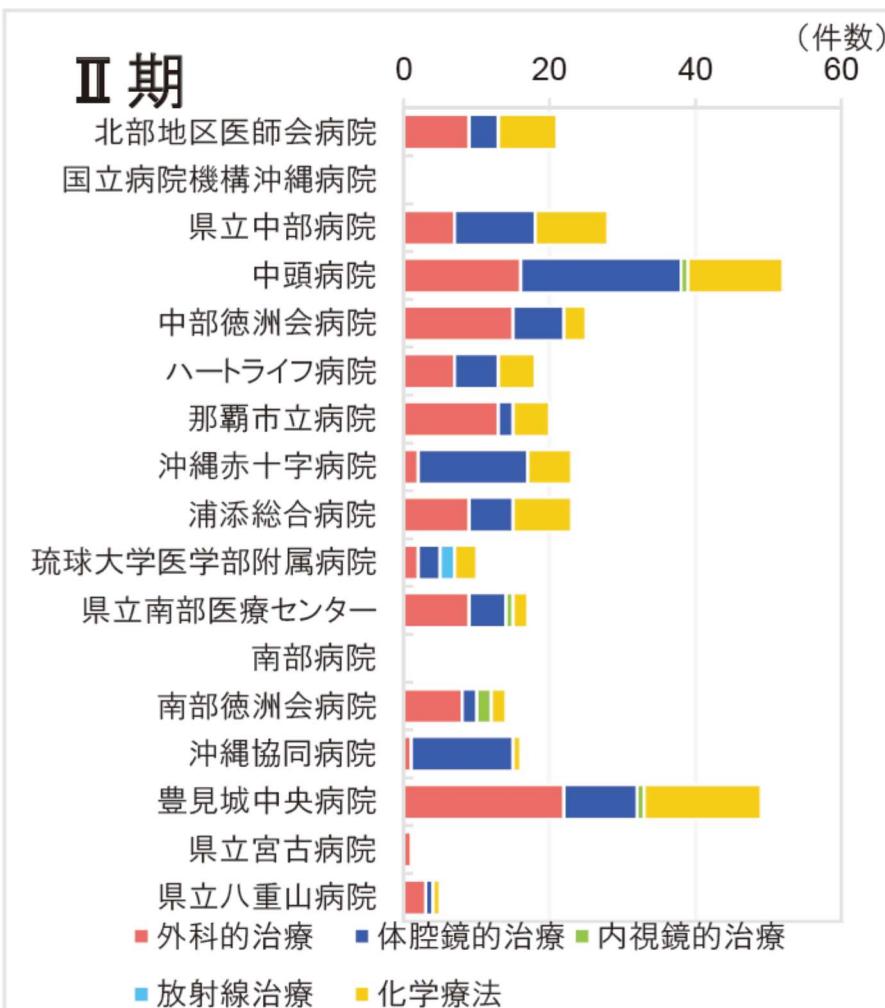
出典：2015年症例 沖縄県院内がん登録集計報告書

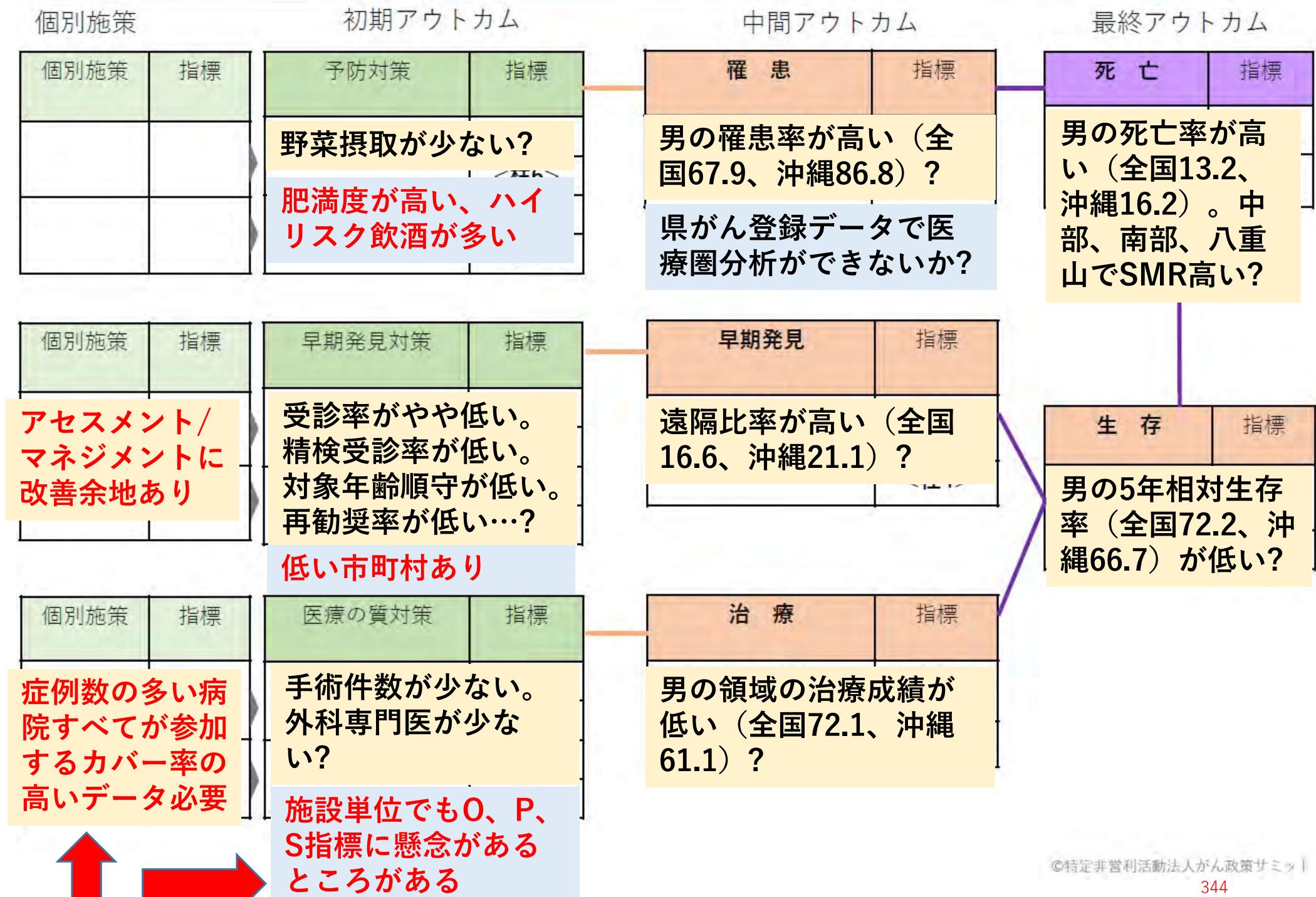
病院別の症例数 大腸がん（うち3期）

症例の多い病院すべてが参加して議論することが重要と思われる

- 1 中頭病院 219 (54)
- 2 豊見城中央病院 155 (29)
- 3 県立中部病院 149 (28)
- 4 中部徳洲会病院 127 (32)
- 5 那覇市立病院 109 (29)
- 6 ハートライフ病院 92 (15)
- 7 県立南部医療センター・こども医療センター 85 (12)
- 8 北部地区医師会病院 79 (17)
- 9 沖縄赤十字病院 77 (20)
- 10 沖縄協同病院 69 (26)
- 11 琉球大学医学部附属病院 65 (17)

...

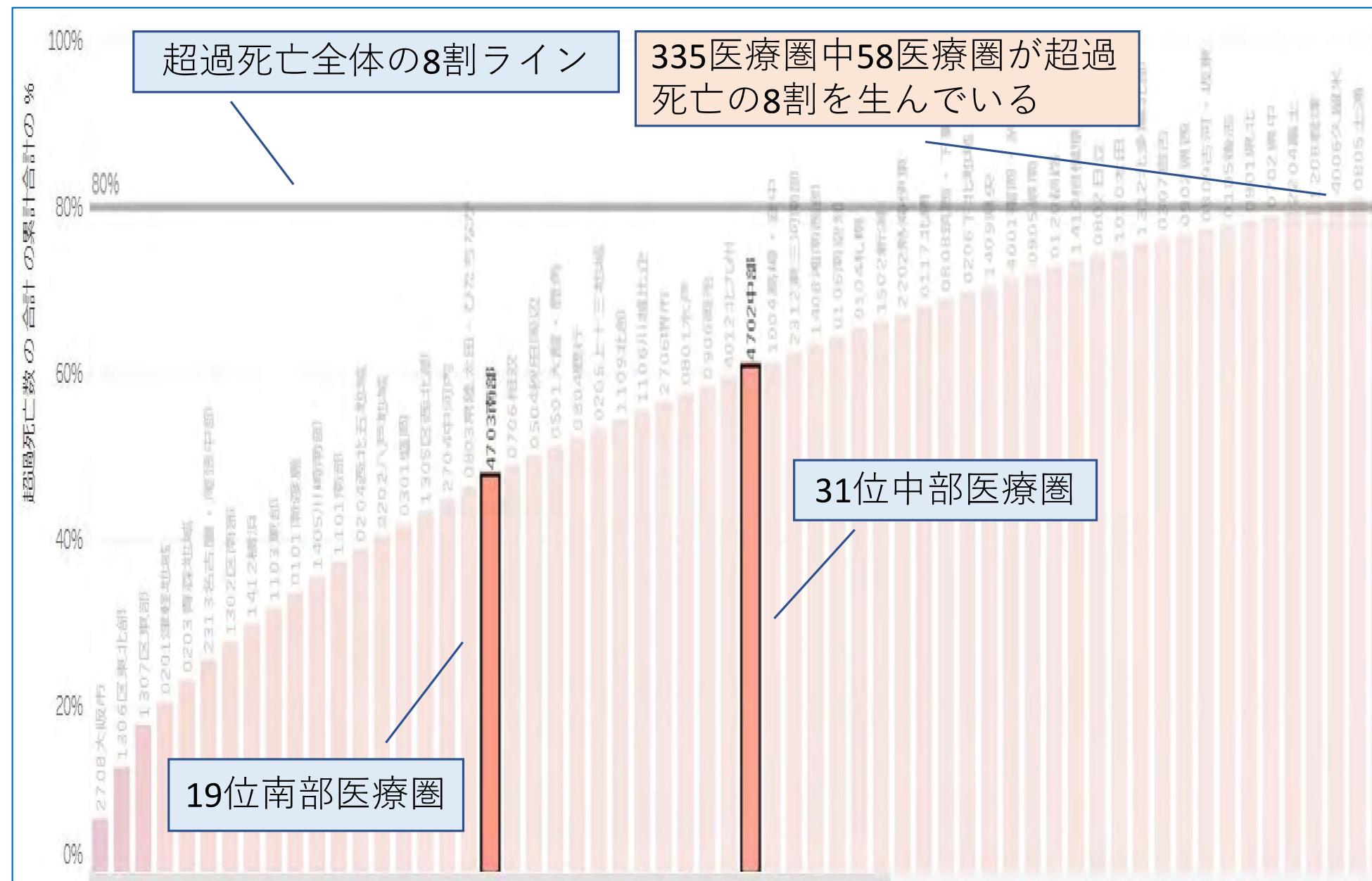




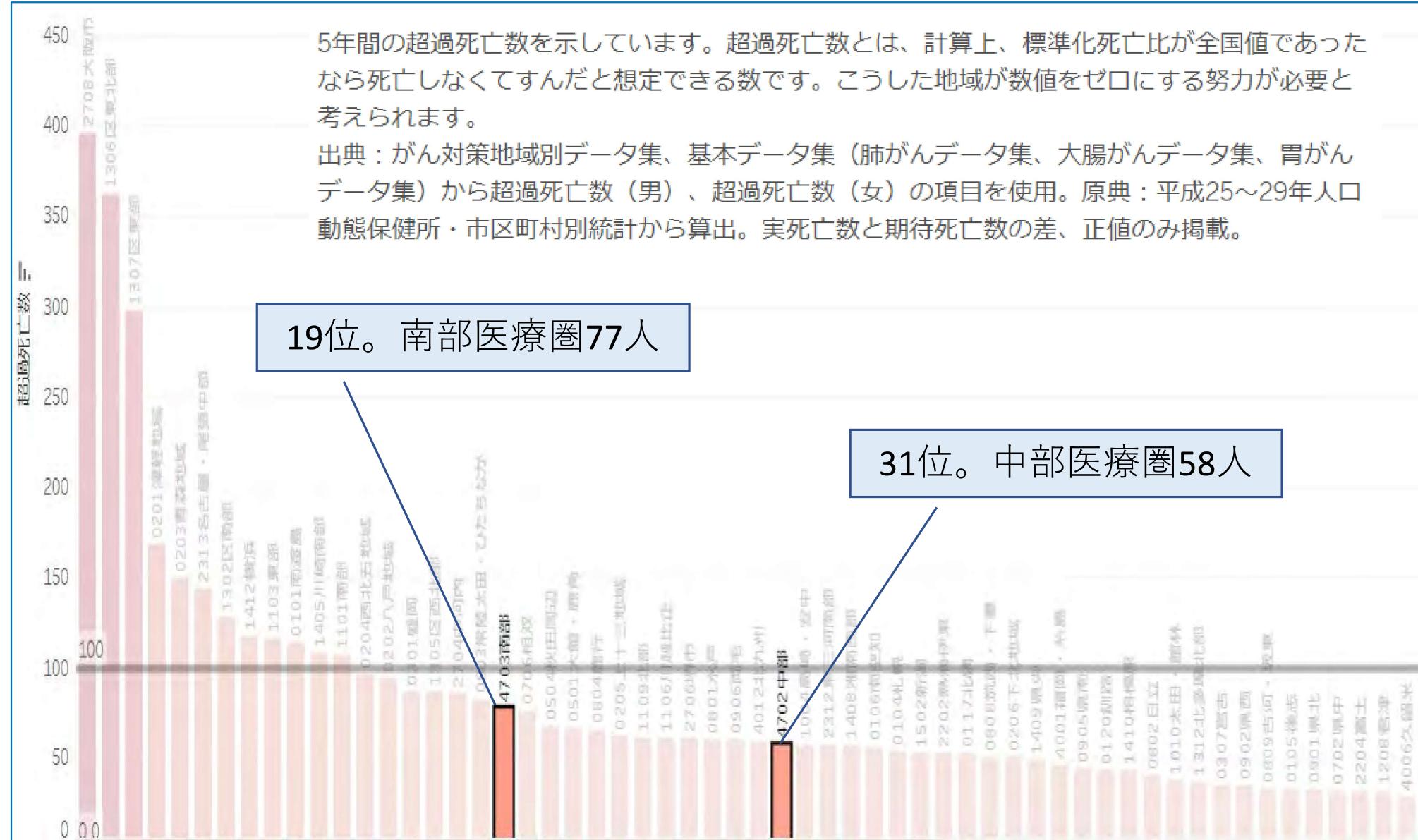


医療圏別 超過死亡数（大腸がん）

<2022年5月13日資料>



超過死亡8割を生む58医療圏に沖縄からは2医療圏が入っている



沖縄が2医療圏の超過死亡をゼロにすれば、地域にも全国にも朗報